

藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査
アンケート調査結果報告書

2024年(令和6年)3月

藤沢市

目次

第1章	調査概要	1
1	調査の実施概要.....	1
(1)	調査目的.....	1
(2)	調査対象者.....	1
(3)	調査実施期間.....	1
(4)	調査方法.....	1
(5)	配布・回収状況.....	2
2	アンケート調査の分析について.....	3
(1)	アンケート調査の分析の視点.....	3
(2)	「世帯タイプ」の分類.....	3
(3)	「生活困難層」の分類.....	6
(4)	「生活満足度」の分類.....	9
(5)	世帯タイプ・生活困難層・生活満足度の間の関係(分布)について.....	10
3	本報告書の構成と調査結果の見方.....	20
(1)	アンケート調査の結果と分析の構成.....	20
(2)	アンケート調査の結果の見方.....	20
4	調査結果の要旨.....	22
(1)	保護者・家庭の状況.....	22
(2)	子どもの状況.....	34
第2章	アンケート調査結果(5歳児保護者)	45
(1)	あなたの世帯のことについてうかがいます.....	45
(2)	お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます.....	49
(3)	お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます.....	57

(4) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	98
(5) あなたのご家庭での生活や家計に <u>ついて</u> うかがいます	126
(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでの <u>ご経験</u> に <u>ついて</u> うかがいます	148
(7) 子育てへの支援に <u>ついて</u> うかがいます	155
第3章 アンケート調査結果(小学生 5 年生保護者)	163
(1) あなたの世帯のことに <u>ついて</u> うかがいます	163
(2) お子さんのお母さまとお父さまの <u>職業</u> に <u>ついて</u> うかがいます	167
(3) お子さんのこと、子育てのことに <u>ついて</u> うかがいます	177
(4) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	221
(5) あなたのご家庭での生活や家計に <u>ついて</u> うかがいます	250
(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでの <u>ご経験</u> に <u>ついて</u> うかがいます	275
(7) 子育てへの支援に <u>ついて</u> うかがいます	282
第4章 アンケート調査結果(小学生5年生子ども).....	291
(1) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	291
(2) あなたのいつもの生活に <u>ついて</u> うかがいます	292
(3) 学校のことや勉強のことに <u>ついて</u> うかがいます	325
(4) あなたが <u>ふだん</u> 考えていることに <u>ついて</u> うかがいます	338
第5章 アンケート調査結果(中学生2年生保護者)	379
(1) あなたの世帯のことに <u>ついて</u> うかがいます	379
(2) お子さんのお母さまとお父さまの <u>職業</u> に <u>ついて</u> うかがいます	383
(3) お子さんのこと、子育てのことに <u>ついて</u> うかがいます	393
(4) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	433
(5) あなたのご家庭での生活や家計に <u>ついて</u> うかがいます	464
(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでの <u>ご経験</u> に <u>ついて</u> うかがいます	489
(7) 子育てへの支援に <u>ついて</u> うかがいます	497

第6章	アンケート調査結果(中学生2年生子ども)	507
(1)	あなたのことについてうかがいます	507
(2)	あなたのいつもの生活についてうかがいます	508
(3)	学校のことや勉強のことについてうかがいます	546
(4)	あなたがふだん考えていることについてうかがいます	563
参考資料	608

第1章 調査概要

1 調査の実施概要

(1) 調査目的

「子どもと子育て家庭の生活実態調査」アンケート調査(以下、「アンケート調査」という。)は、子育て家庭の所得水準等の経済状況、子どもや子育て家庭の生活状況、子どもの学習状況、子どもや子育て家庭の抱える課題や支援ニーズ等について、多面的に実態把握することを目的としている。

アンケート調査は、別途実施した支援者ヒアリング調査、及び社会資源調査とともに、その調査結果を多角的な視点で分析し、「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」及び「藤沢市子ども共育計画」について、令和7年度から5か年の計画を策定するにあたり、子どもと子育て家庭に係る福祉施策・教育施策等の方向性を検討する際の基礎調査とするために実施した。

(2) 調査対象者

- ① 5歳児の子どもを持つ保護者(全数、3,749 件)
- ② 市立小学校及び市立特別支援学校小学部の5年生の児童本人及びその保護者(全数、各 3,913 件)
- ③ 市立中学校及び市立特別支援学校中学部の2年生の生徒本人及びその保護者(全数、各 3,615 件)

(3) 調査実施期間

- ① 2023年(令和5年)9月29日～10月23日(消印有効)
- ② 2023年(令和5年)10月2日～10月23日(消印有効)
- ③ 2023年(令和5年)10月2日～10月23日(消印有効)

(4) 調査方法

- ① 郵送配布・郵送回収
- ② 各学校経由の配布・郵送回収
- ③ 各学校経由の配布・郵送回収

(5) 配布・回収状況

図表 1-1 配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率	有効回答数
5歳児保護者票	3,749 件	2,209 件	58.9%	2,198 件
小中学生保護者票	7,528 件	2,956 件	39.3%	2,941 件
うち、小学生保護者	3,913 件	—	—	1,574 件
うち、中学生保護者	3,615 件	—	—	1,114 件
うち、判別不能	—	—	—	253 件
小学生票	3,913 件	1,647 件	42.1%	1,644 件
中学生票	3,615 件	1,143 件	31.6%	1,143 件

※ 回収率は、回収数を配布数で割った割合。

※ 小学生保護者及び、中学生保護者に対しては、同一の調査票(小中学生保護者票)を用いて調査を行った。そのため、小学生保護者及び中学生保護者については、小学生票、中学生票とデータの紐づけが可能であった調査票数を、有効回答数とし、紐づけができなかった調査票を判別不能とした。

2 アンケート調査の分析について

(1) アンケート調査の分析の視点

本報告書では、5種類の集計(5歳児保護者・小学校5年生子ども・小学校5年生保護者・中学校2年生子ども・中学校2年生保護者)それぞれについて、各設問の単純集計結果を掲載した。

5歳児保護者票・小中学生保護者票では、世帯の状況を尋ねる設問があり、これらを用いて「世帯タイプ別」「生活困難層別」に回答者の世帯を分類し、クロス集計を行った。小学生票、中学生票については、小中学生保護者票と紐づけることで、上記の分類別にクロス集計を行い分析した。加えて、5歳児保護者票、小中学生保護者票、小学生票、中学生票のそれぞれに、生活満足度を尋ねる設問があり、これを用いて「生活満足度別」に回答者を分類し、クロス集計を行った。なお、クロス集計の目的は、「回答者をいくつかのグループに分け、グループによってどのような状況の違いがあるかを分析する」ことである。

それぞれのクロス集計の分類の定義及び分布状況については次項に示すとおりである。

(2) 「世帯タイプ」の分類

世帯タイプは、2019年(平成31年)3月発行の「藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査アンケート調査結果報告書」(以下、「前回調査」という。)と同様の分類方法により、「ひとり親世帯(2世代同居)」、「ひとり親世帯(3世代同居)」、「ふたり親世帯(2世代同居)」、「ふたり親世帯(3世代同居)」の4分類を設けた。

世帯タイプのクロス集計分析は、ひとり親世帯の抱える困難状況を把握する目的で実施した。特に、世帯に大人が1人であると想定される「ひとり親世帯かつ親と子の2世代同居世帯」の状況を把握するために、祖父母との同居の有無を加味したクロス集計の分類としている。

分類には、「宛名のお子さんの同居者」の設問(5歳児保護者票の問3-4、小中学生保護者票の問3-4)と「回答者の現在の婚姻状況」の設問(5歳児保護者票の問20、小中学生保護者票の問14)をそれぞれ用いた。

分類方法は、宛名のお子さんの同居者について「祖母」もしくは「祖父」のいずれかを選択している場合に「3世代同居」とし、「祖母」「祖父」いずれも選択していなければ「2世代同居」とした。また婚姻状況について「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」のいずれかを選択している場合に「ひとり親世帯」とし、それ以外の場合に「ふたり親世帯」とした。

図表 1-2 世帯タイプを判定する設問・判定条件

判定に使用する設問	保護者票設問番号		判定条件
	5歳児	小中	
同居家族の子どもからみた続柄	問 3-4	問 3-4	・2世代同居は、「祖母」「祖父」いずれも選択せず ・3世代同居は、「祖母」「祖父」いずれかを選択
回答者の婚姻状況	問 20	問 14	・ふたり親世帯は、「結婚している(事実婚を含む)」を選択 ・ひとり親世帯は、「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」を選択

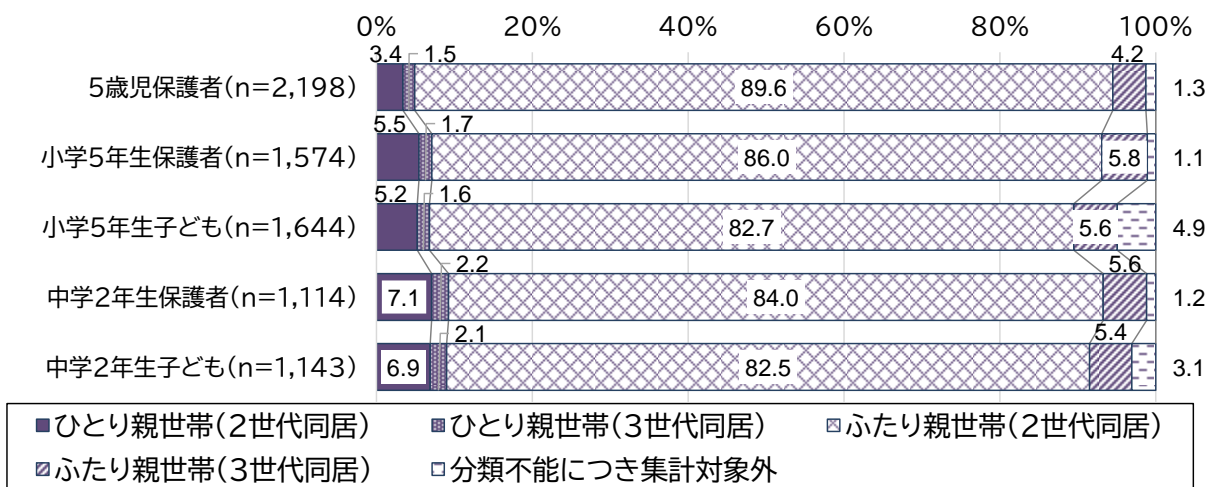
これら2種類の設問への回答による判定を組み合わせ、次のような世帯タイプの分類を行った。

図表 1-3 世帯タイプの分類

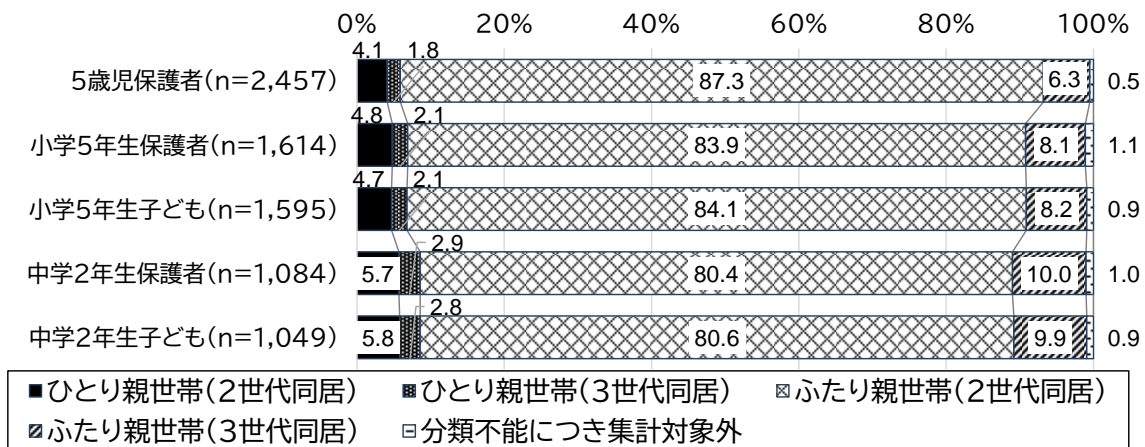
世帯タイプ	同居家族の子どもからみた続柄	回答者の婚姻状況
ひとり親世帯(2世代同居)	「祖母」「祖父」いずれも選択せず	「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」を選択
ひとり親世帯(3世代同居)	「祖母」「祖父」いずれかを選択	「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」を選択
ふたり親世帯(2世代同居)	「祖母」「祖父」いずれも選択せず	「結婚している(事実婚を含む)」を選択
ふたり親世帯(3世代同居)	「祖母」「祖父」いずれかを選択	「結婚している(事実婚を含む)」を選択

「世帯タイプ別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 1-4 世帯タイプの分布状況(調査対象別)



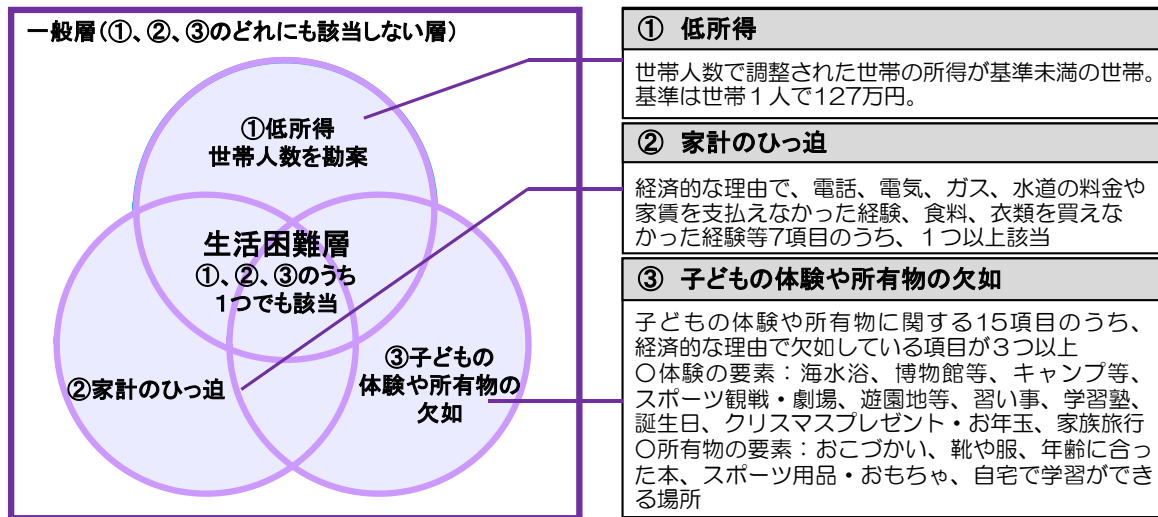
図表 1-5 世帯タイプの分布状況(前回調査)



(3) 「生活困難層」の分類

前回調査では、「子どもの貧困」の状態を把握するにあたって、世帯所得だけでなく、家計のひっ迫や子どもの体験、所有物の欠如といった様々な要因により、「生活困難」の状況にあると考えられる世帯を定義し、分析を行った。本調査においても、前回調査と比較することが可能となるよう調査票を設計し、同様の分類方法により「生活困難層」のクロス集計を行った。

図表 1-6 「生活困難」の把握方法



生活困難層の判定項目は、①低所得、②家計のひっ迫、③子どもの体験や所有物の欠如の3つの要素により構成されている。アンケート調査票(5歳児保護者票・小中学生保護者票)で、「生活困難」の各要素の判定に使用する設問は下表のとおりである。ただし、この判定方法は小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票をもとに作成したため、設問項目が一部異なっている5歳児保護者票とは完全には合致していない点¹に留意が必要である。

図表 1-7 生活困難層を判定する設問・判定条件

3つの要素	保護者票設問番号		設問項目	判定条件
	5歳児	小中		
①低所得	問 3-1	問 3-1	同居人数	次ページの、【低所得の判定基準に関する補足】を参照
	問 32	問 26	世帯の年間収入(可処分所得)	
②家計のひっ迫	問 28	問 22	食料が買えない経験	図表1-6②の7項目のうち 1つ以上該当
	問 29	問 23	衣類が買えない経験	
	問 30	問 24	公共料金等の不払いの有無	
③子どもの体験や所有物の欠如	問 15	問 9	体験の剥奪	図表1-6③の 15 項目のうち、経済的な理由で欠如している項目が3つ以上該当
	問 16	問 10	家庭での経験の剥奪	
	問 17	問 11	経済的理由で世帯にないもの	

¹ 5歳児保護者票では、③子どもの体験や所有物の欠如を判定する項目のうち「学習塾」、「おこづかい」、「自宅で学習ができる場所」を除く12項目を用いた。

【低所得の判定基準に関する補足】

「①低所得」に関する基準は、等価可処分所得²127 万円とした。この基準は、令和4年国民生活基礎調査（調査実施は令和3年）の貧困線になったものである。なお、本調査で把握した世帯の可処分所得は、国民生活基礎調査の可処分所得と把握方法や調査方法が異なる³ため、厳密には、国民生活基礎調査の相対的貧困率と比較することはできない点に留意が必要である。

今回のアンケート調査では、5歳児保護者票の問 32 及び小中学生保護者票の問 26 で世帯の総収入から税金等を引いた手取り収入を質問し、5歳児保護者票の問3-1及び小中学生保護者票の問3-1で世帯の人数を尋ねた。下表は、世帯の可処分所得についての設問の選択肢と、世帯の人数を掛け合わせ、「①低所得」に該当する選択肢の組み合わせを示しており、本報告書の分析で「①低所得」に該当するとした組み合わせを「1」と表示している。⁴

図表 1-8 低所得の判定基準

		同居人数（問3-1の回答）								
		2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人
世帯の年間収入（可処分所得）（問26の回答）		180万円	220万円	254万円	284万円	311万円	336万円	359万円	381万円	402万円
1	0～50万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	50～100万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	100～150万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	150～200万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	200～250万円	0	1	1	1	1	1	1	1	1
6	250～300万円	0	0	1	1	1	1	1	1	1
7	300～350万円	0	0	0	0	1	1	1	1	1
8	350～400万円	0	0	0	0	0	0	1	1	1
9	400～450万円	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10	450～500万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	500～550万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	550～600万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	600～650万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	650～700万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	700～750万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	750～800万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	800～850万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	850～900万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	900～950万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	950～1000万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	1000～1100万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	1100～1200万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	1200～万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0

² 世帯の可処分所得（世帯の収入から税金・社会保険料等を除いた、いわゆる世帯の手取り収入）を世帯の人数の平方根で除することで、「その世帯の世帯員一人当たりの生活水準」を意味する等価可処分所得となる。

³ 直近に実施された令和4年（2022年）国民生活基礎調査における貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）は、2015年に改訂されたOECDの所得定義の新たな基準により算出されている。旧基準の可処分所得は、所得から所得税、住民税、社会保険料及び固定資産税を差し引いたもの、新基準の可処分所得は、所得から所得税、住民税、社会保険料、固定資産税、自動車税・軽自動車税・自動車重量税、企業年金の掛金及び仕送り額を差し引いたものである。

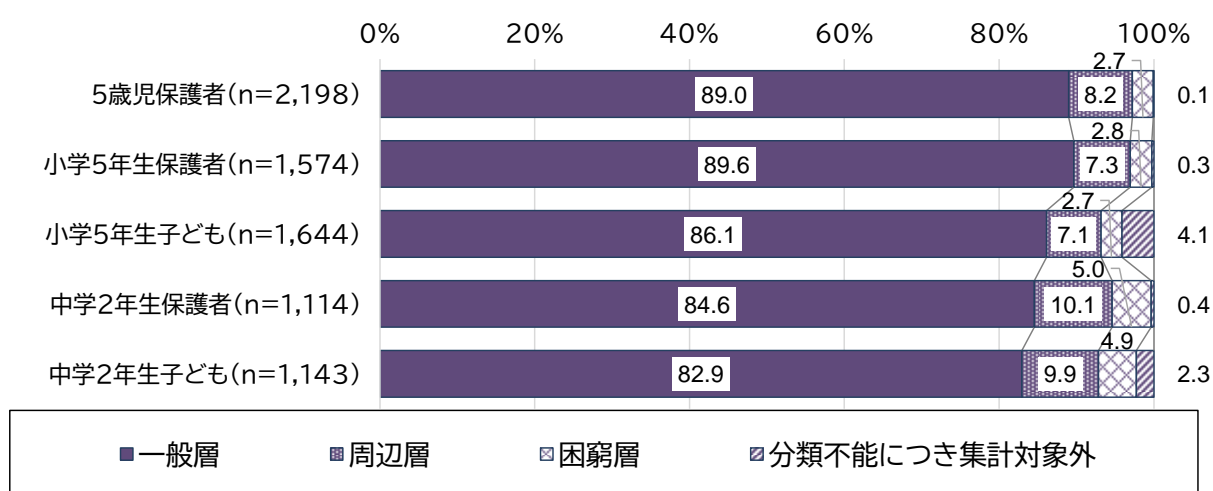
⁴ 数式から算出する世帯の人数別の「低所得」基準額が細かい値となるのに対して、本調査の世帯の可処分所得に関する設問は50万円ごと（1,000万円以上は100万円ごと）の区切りで尋ねており、世帯の可処分所得を厳密に把握することはできない。そのため本報告書では、基準額をその範囲内を含む選択肢（世帯の人数が2人なら、基準額180万円を範囲に含んでいる「150～200万円」の選択肢）までを「低所得」に該当するものとした。したがって、理論上よりも多くの回答者を「低所得」と判定している可能性がある（例えば、実際の可処分所得が190万円の2人世帯は、理論上は「低所得」に該当しないが、本報告書の分析では該当すると判定している）点に留意が必要である。

本報告書では、上記の「生活困難」の判定要素(①低所得、②家計のひっ迫、③子どもの体験や所有物の欠如)のうち、いずれにも該当しない層を「一般層」、いずれか1つのみに該当する層を「周辺層」、2つ以上に該当する層を「困窮層」として、3層に分類し、クロス集計に使用した。なお、「周辺層」と「困窮層」をまとめて「生活困難層」と呼ぶことがある。

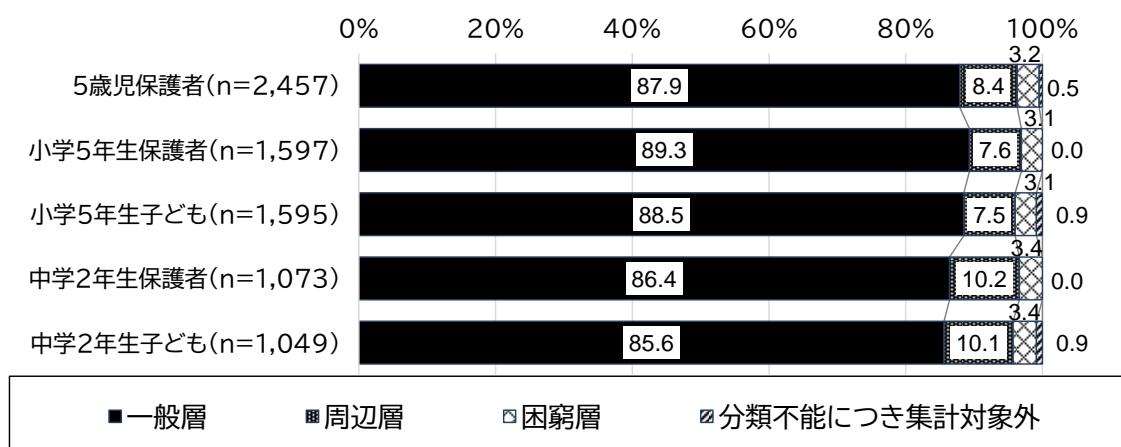
また、「生活困難度」という言葉を用いて、「生活困難」の度合いが一般層、周辺層、困窮層の順に高くなるということを指し示すこととする。

「生活困難層別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 1-9 生活困難層の分布状況(調査対象別)



図表 1-10 生活困難層の分布状況(前回調査)



(4) 「生活満足度」の分類

本調査では、子どもや保護者の現在の「ウェルビーイング⁵」の状態を把握するための設問として、最近の生活にどのくらい満足しているかを尋ねた「生活満足度」の設問を新たに設置した。

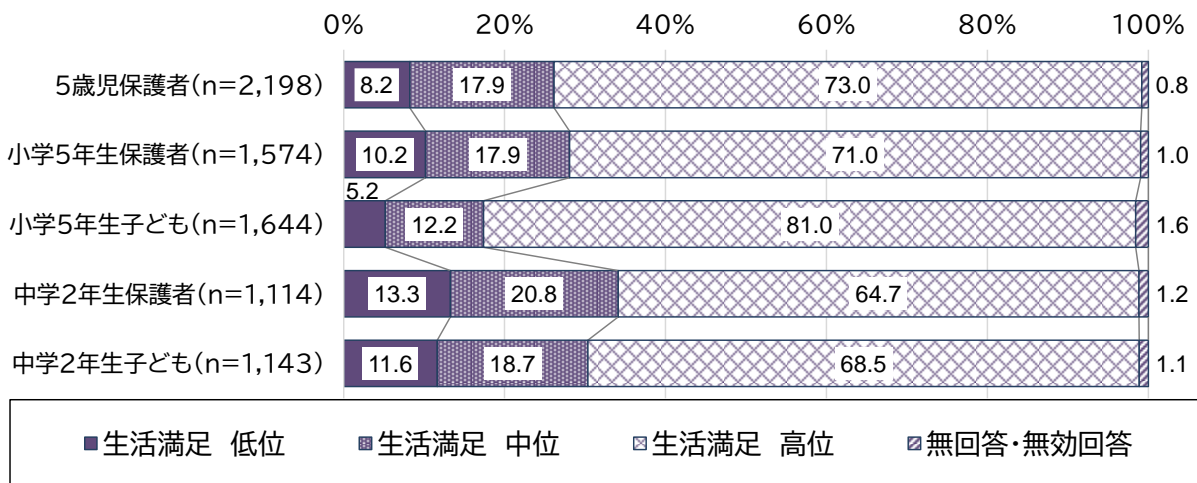
保護者票、子ども票それぞれの「生活満足度」に関する設問を分析軸として設定し、クロス集計を行った。生活満足度の回答は、まったく満足していない(0)から十分に満足している(10)までの 11 段階である。本調査においては、満足度の0～4点を「生活満足 低位」、5・6点を「中位」、7～10 点を「高位」として区分し、集計した。

図表 1-11 生活満足度の該当設問

調査票	生活満足度の設問番号
5歳児保護者	問 23
小中学生保護者	問 19
小学5年生	問 23
中学2年生	問 24

「生活満足度別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 1-12 生活満足度の分布状況(調査対象別)



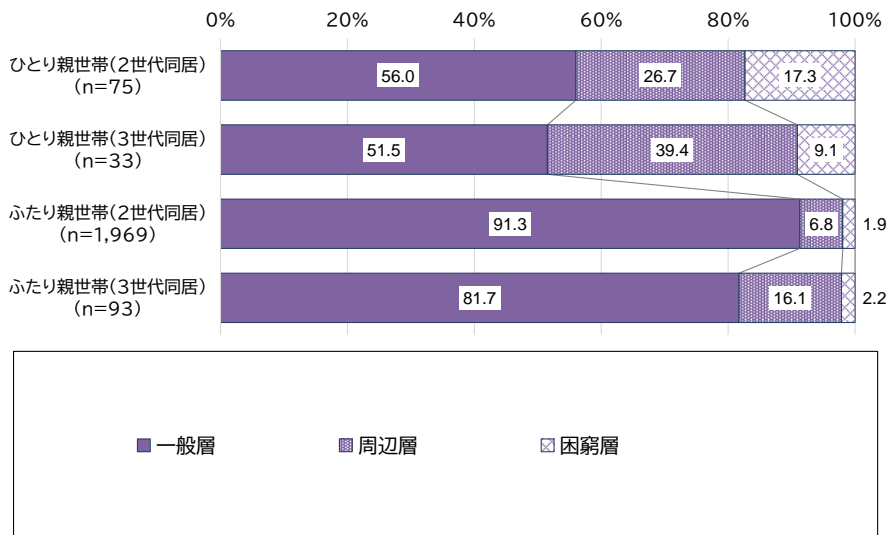
⁵ 「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的に幸せな状態にあることを指す。また、ウェルビーイングは、包括的な幸福として、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など生涯にわたる持続的な幸福を含む。「はじめの 100 か月の育ちビジョン」(こども家庭庁、2023 年 12 月)では、「このようなウェルビーイングの向上を、権利行使の主体としてのこども自身が、主体的に実現していく視点が重要である。なお、ウェルビーイングは、生涯にわたる全ての時期を通じて高めることが重要であり、こどもとともに育つおとなにとっても重要なものである。」としている。

(5) 世帯タイプ・生活困難層・生活満足度の間の関係(分布)について

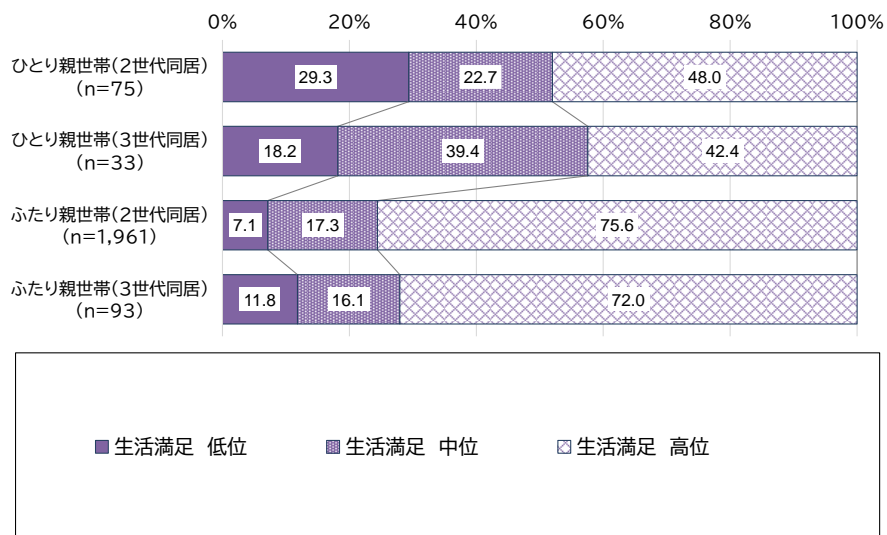
参考として、世帯タイプ・生活困難層・生活満足度の分類の間の関係(分布)は次のとおりとなっている。

【5歳児保護者について】

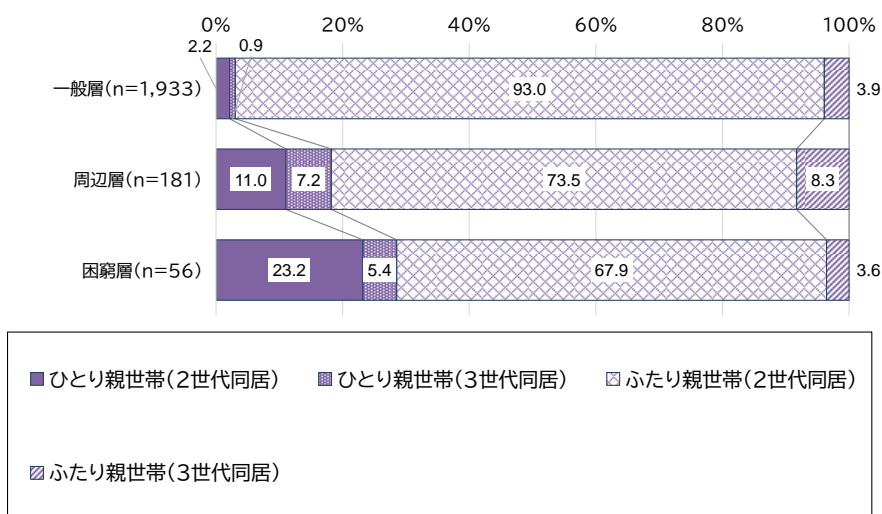
図表 1-13 世帯タイプ×生活困難層の分布(5歳児保護者)



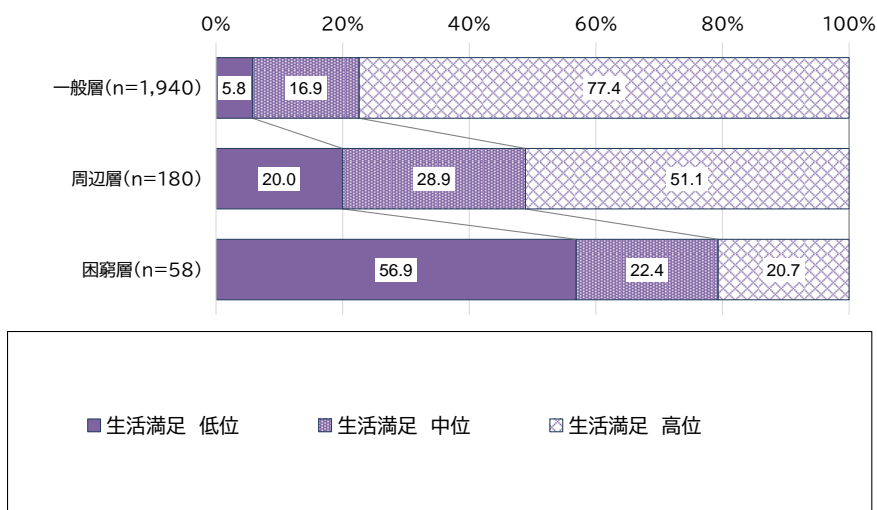
図表 1-14 世帯タイプ×生活満足度の分布(5歳児保護者)



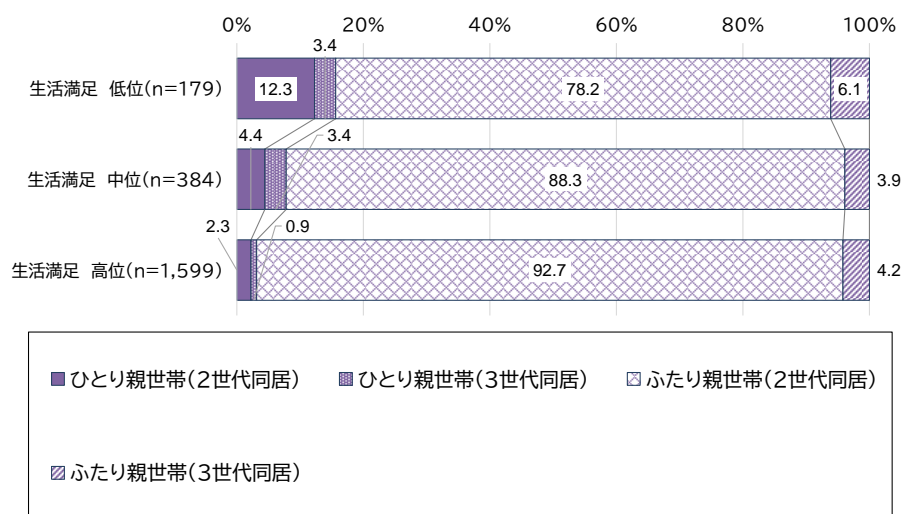
図表 1-15 生活困難層×世帯タイプの分布(5歳児保護者)



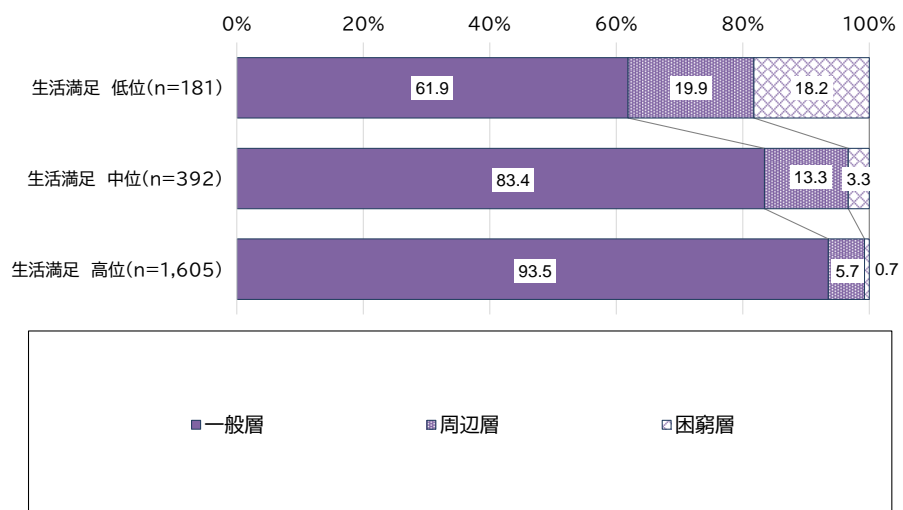
図表 1-16 生活困難層×生活満足度の分布(5歳児保護者)



図表 1-17 生活満足度×世帯タイプの分布(5歳児保護者)

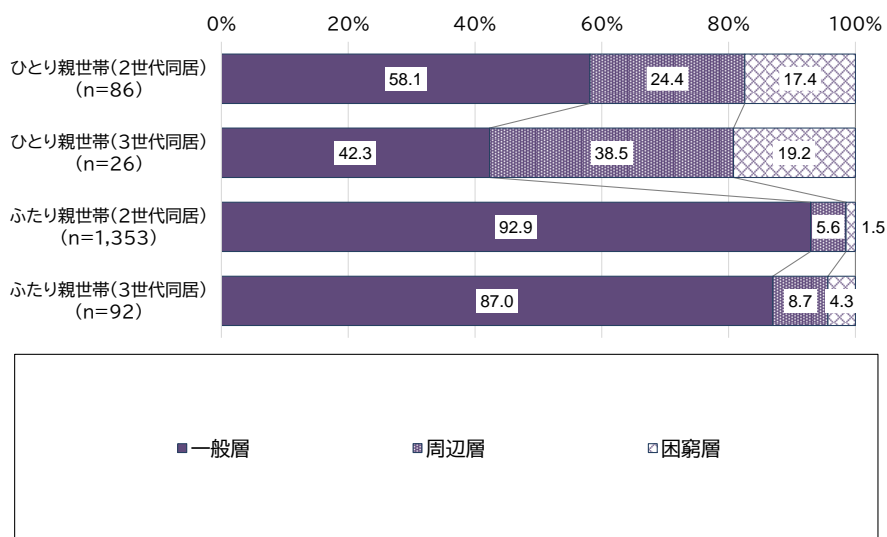


図表 1-18 生活満足度×生活困難層の分布(5歳児保護者)

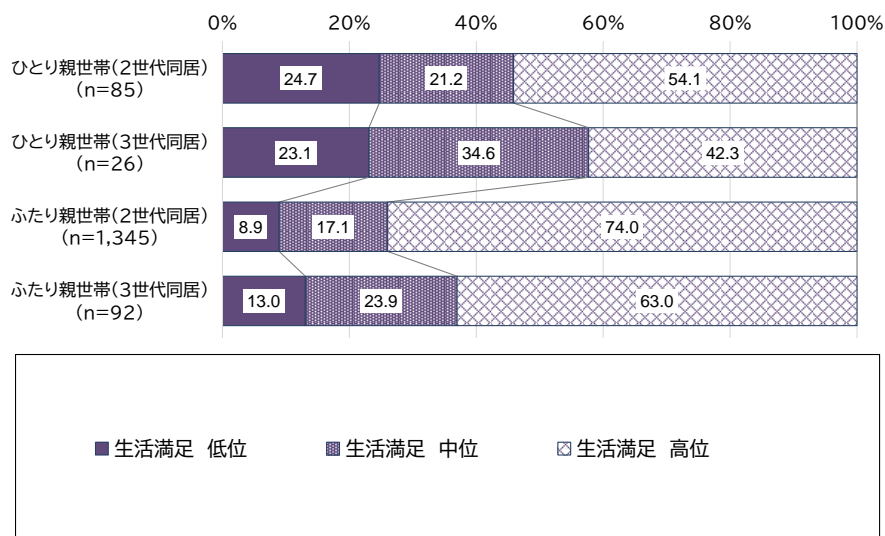


【小学5年生保護者について】

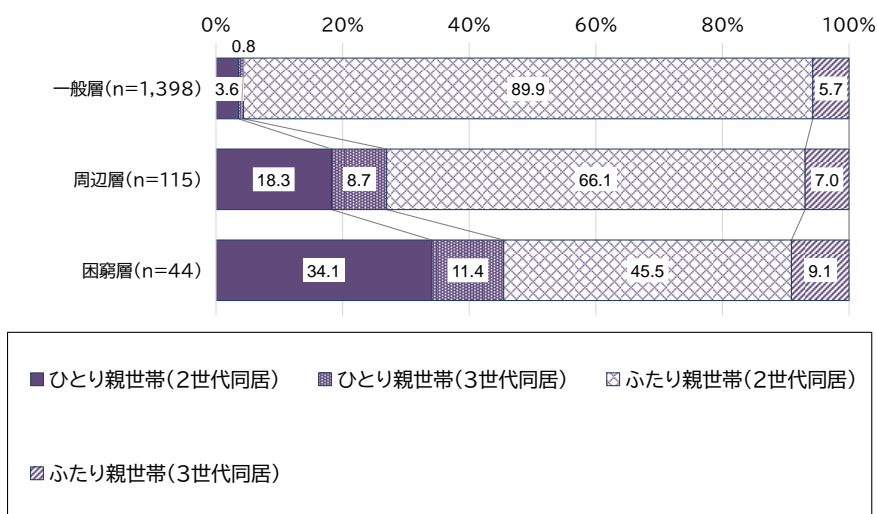
図表 1-19 世帯タイプ×生活困難層の分布(小学5年生保護者)



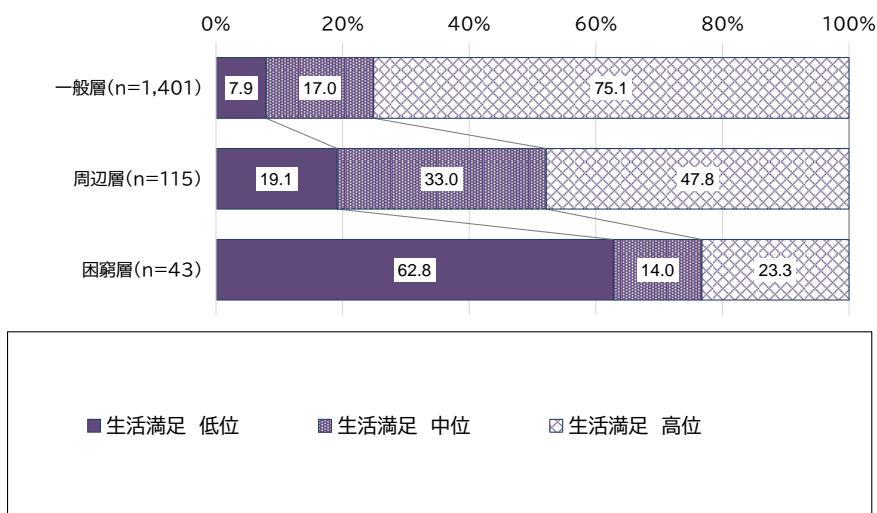
図表 1-20 世帯タイプ×生活満足度の分布(小学5年生保護者)



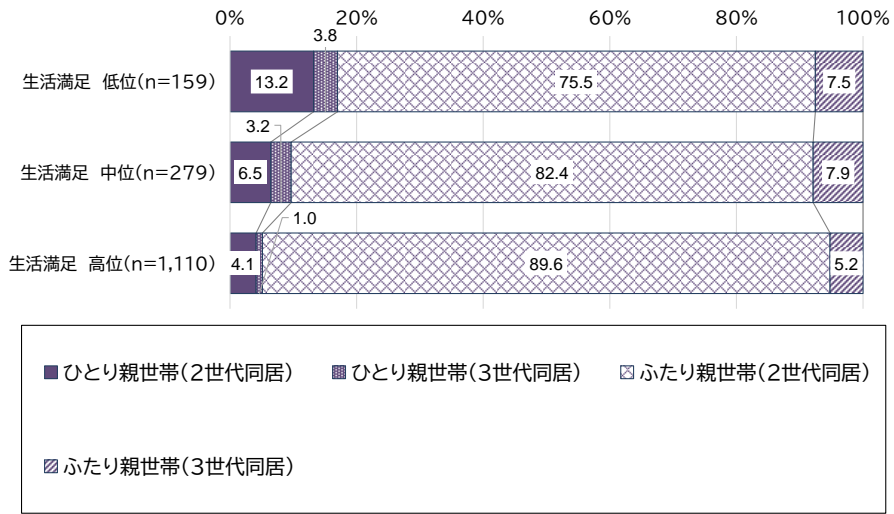
図表 1-21 生活困難層×世帯タイプの分布(小学5年生保護者)



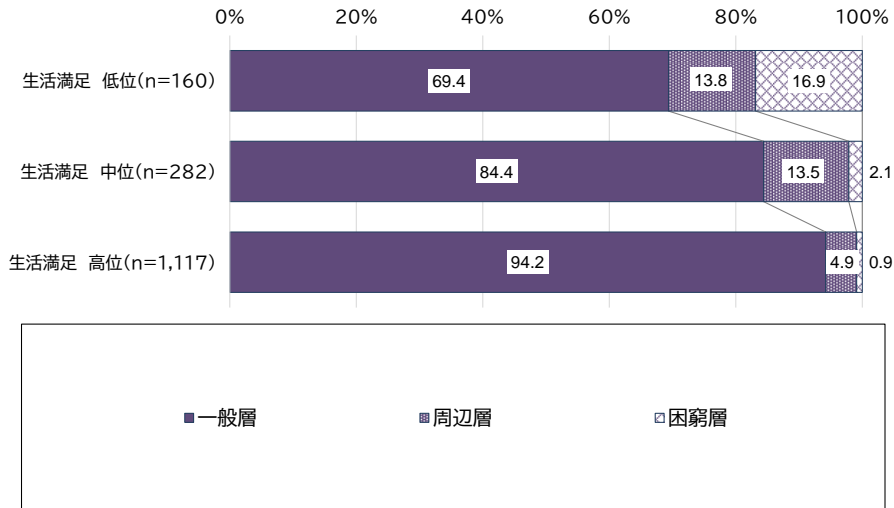
図表 1-22 生活困難層×生活満足度の分布(小学5年生保護者)



図表 1-23 生活満足度×世帯タイプの分布(小学5年生保護者)

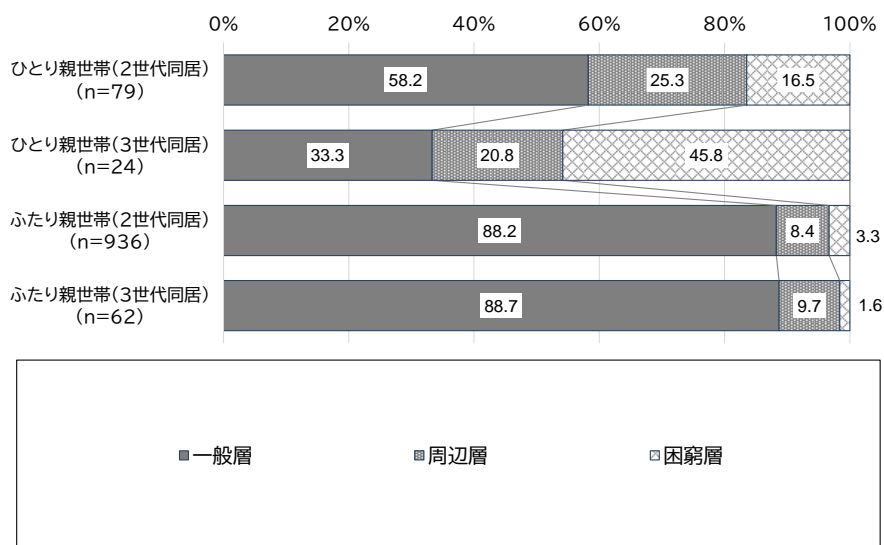


図表 1-24 生活満足度×生活困難層の分布(小学5年生保護者)

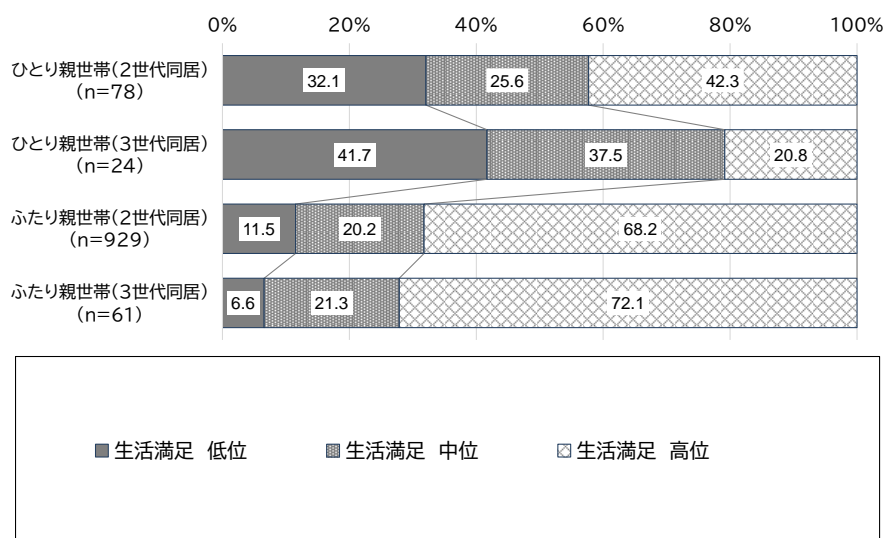


【中学2年生保護者について】

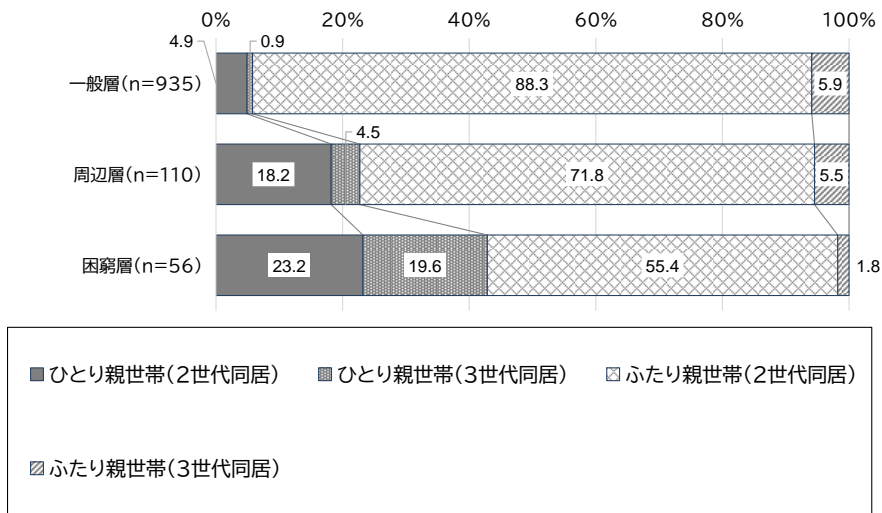
図表 1-25 世帯タイプ×生活困難層の分布(中学2年生保護者)



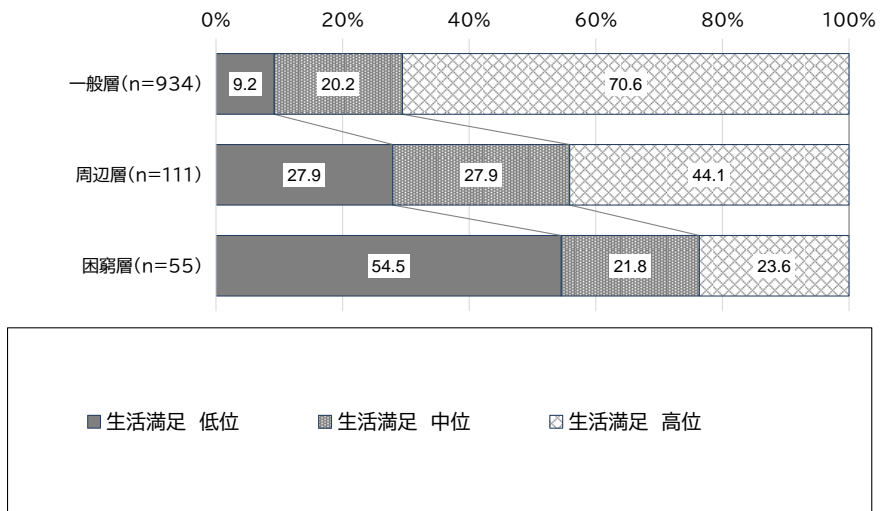
図表 1-26 世帯タイプ×生活満足度の分布(中学2年生保護者)



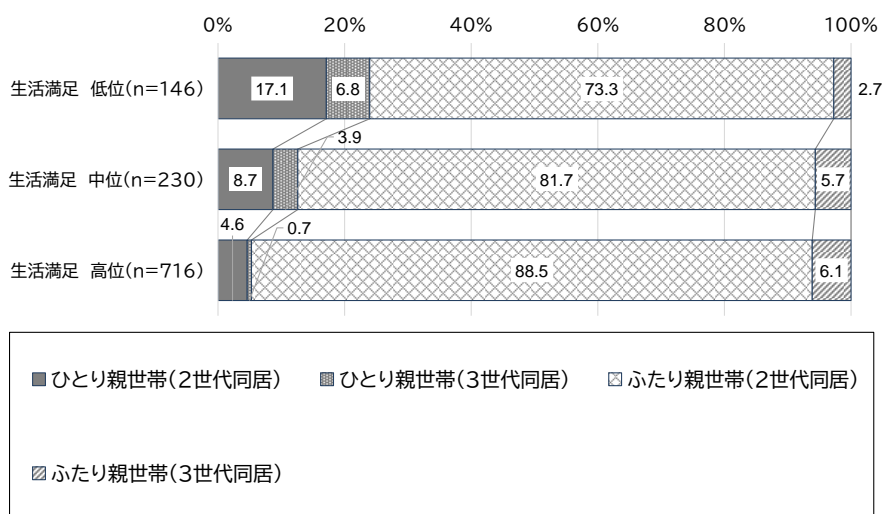
図表 1-27 生活困難層×世帯タイプの分布(中学2年生保護者)



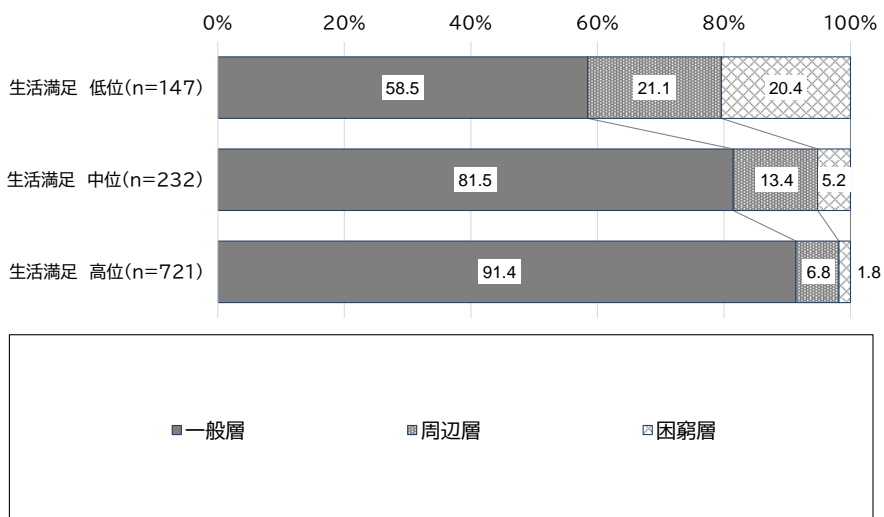
図表 1-28 生活困難層×生活満足度の分布(中学2年生保護者)



図表 1-29 生活満足度×世帯タイプの分布(中学2年生保護者)

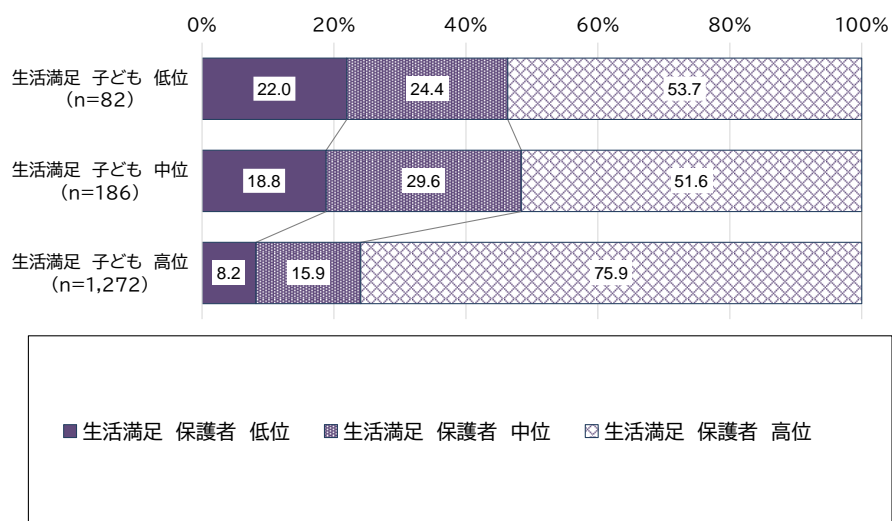


図表 1-30 生活満足度×生活困難層の分布(中学2年生保護者)



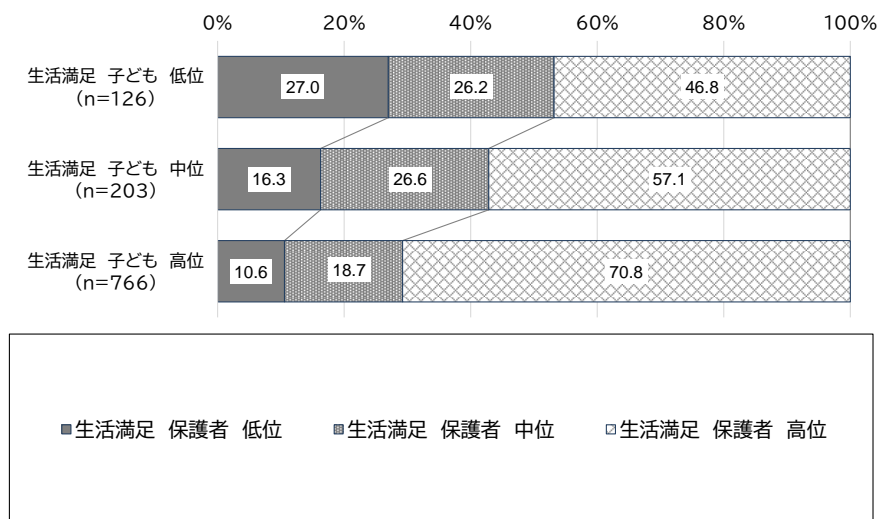
【小学5年生子どもについて】

図表 1-31 生活満足度(子ども)×生活満足度(保護者)の分布(小学5年生)



【中学2年生子どもについて】

図表 1-32 生活満足度(子ども)×生活満足度(保護者)の分布(中学2年生)



3 本報告書の構成と調査結果の見方

(1) アンケート調査の結果と分析の構成

本報告書の第2章以降の構成として、第2章で5歳児保護者票の調査結果、第3章で小中学生保護者票のうち小学5年生保護者に該当する調査結果、第4章で小学5年生子ども票の結果、第5章で小中学生保護者票のうち中学2年生保護者に該当する調査結果、第6章で中学2年生子ども票の結果を掲載した。

各章では、該当する調査票の設問順を踏襲した順番で、設問項目ごとに単純集計結果を掲載している。加えて、部分的に、前回調査との経年比較と、クロス集計結果を掲載している。経年比較については、前回調査結果と比較可能な項目で特筆する変化が見られた集計結果の中から抜粋して掲載した。クロス集計結果については、「回答者をいくつかのグループに分け、グループによってどのような状況の違いがあるかを分析する」というクロス集計の目的に則して、「グループによって状況に違いがある」集計結果を中心に抜粋して掲載した。クロス集計結果で、「状況に違いがある」かどうかの判断には、クロス集計結果に対して χ (カイ)2乗検定(互いの要素に重複のない分類同士を比べて分布に違いがあるかどうかを調べる統計的手法)⁶を行った結果を補助的に用いている。

(2) アンケート調査の結果の見方

- 図(グラフ)の中で使用されている「n=」は、その設問に対する回答者数を示す。
- 設問の中には単一回答の質問(選択肢の中から1つ回答を選ぶ質問)、複数回答の質問(選択肢の中から該当するものを複数選択する質問)、数値を回答する質問、自由に回答を記述する質問がある。
- 回答の比率は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、全ての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- 回答の比率は選択肢ごとに小数点第2位で四捨五入しているため、その割合の合計が100.0%にならない場合がある。また、設問に無回答であった場合も含めて集計を行った割合を示している。
- 数値回答の質問は、前回調査を参考に集計単位をカテゴリー化して回答を集計している。自由記述による回答は、回答内容に基づき分類・整理をし、分類別の件数を集計した。ひとりの方が複数の分類にまたがる内容を回答している場合には、それぞれの分類でカウントしている。なお、回答の一部を要約・抜粋により掲載しているものがあるため、全ての回答の内容を網羅しているわけではない。また、回答者の意見は基本的には原文のまま掲載しているが、部分的に、誤字や脱字の修正、文末表現の統一、()書きでの補記を行った。
- 前回調査(2019年(平成31年)3月発行の「藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査アンケート調査結果報告書」と今回調査の比較を行っている箇所)で、一部各調査票における選択肢の文言が完全には一致しないものがある。
- 図表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

⁶ 本調査に関する χ (カイ)2乗検定の補足的な説明と検定の結果については集計表を参照。

- 第2章の5歳児保護者問 22、第3章の小学5年生保護者問 16、第5章の中学2年生保護者問 16では、過去1か月間のこころの状態を質問しており、その回答結果をもとに「K6」の尺度得点を算出している。なお、K6 は、国の国民生活基礎調査で「こころの状態」を把握する指標として用いられている。K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そろそろ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか」「何をするのも骨折りだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階（「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点)）で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

4 調査結果の要旨

本報告書の第2章から第6章の各章を、(1)保護者や家庭に関する状況と、(2)子どもの状況に分けて、調査要旨を掲載した。

(1)保護者・家庭の状況は、第2章の5歳児保護者票のうち保護者自身や家庭に該当する調査結果、第3章の小学5年生保護者の調査結果、第5章の中学2年生保護者の調査結果を、調査項目別に整理した。(2)子どもの状況は、第2章の5歳児保護者票のうち5歳児の子どもの状況に該当する調査結果、第4章の小学5年生子ども票の調査結果、第6章の中学2年生子ども票の調査結果を、調査項目別に掲載した。

【 】内には、該当する調査名称と設問番号を示している。例えば、【5歳児保護者問4】は、第2章の5歳児保護者調査の問4の結果を要約している。

(1) 保護者・家庭の状況

ア 世帯の生活状況

(ア) 母親の就業状況

- 5歳児の母親では、「勤め(常勤・正規職員)」が35.6%、「専業主婦」が26.3%。前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は11.3ポイント増加し、「専業主婦」と回答した割合は14.8ポイント減少。ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)では、「勤め(常勤・正規職員)」が45.8%と最も多く、困窮層(n=58)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が36.2%と最も多い。【5歳児保護者問4】
- 小学5年生の母親では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が38.6%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が25.6%、「専業主婦」が23.2%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「勤め(常勤・正規職員)」が45.1%と最も多く、困窮層(n=41)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が53.7%と最も多い。【小学5年生保護者問4】
- 中学2年生の母親では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が46.4%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が23.9%、「専業主婦」が17.4%。前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は5.7ポイント増加。ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「勤め(常勤・正規職員)」が47.8%と最も多い。【中学2年生保護者問4】

(イ) 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

- 小学5年生の働いている母親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、全体が48.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=64)で37.5%、困窮層(n=33)では、24.2%、生活満足 低位(n=119)では34.5%。【小学5年生保護者問4-1】
- 中学2年生の働いている母親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、全体が42.8%、困窮層(n=42)では26.2%。【中学2年生保護者問4-1】

(ウ) 父親の就業状況

- 5歳児の父親では、「勤め(常勤・正規職員)」が87.3%。困窮層(n=44)では、「勤め(常勤・正規職員)」が68.2%。【5歳児保護者問5】
- 小学5年生の父親では、勤め(常勤・正規職員)」が88.0%。困窮層(n=27)では、「勤め(常勤・正規職員)」が66.7%。【小学5年生保護者問5】
- 中学2年生の父親では、「勤め(常勤・正規職員)」が86.8%。困窮層(n=37)では、「勤め(常勤・正規職員)」が56.8%【中学2年生保護者問5】

(エ) 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

- 小学5年生の働いている父親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、39.7%。【小学5年生保護者問5-1】
- 中学2年生の働いている父親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、39.2%。【中学2年生保護者問5-1】

(オ) 婚姻状況・養育費

- 5歳児保護者では、「結婚している(事実婚を含む)」が94.5%、困窮層(n=59)では69.5%、生活満足 低位(n=181)では84.5%。【5歳児保護者問20】
「離婚(別居中を含む)」と回答した方に、子どもの養育費の取り決めについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が41.4%。【5歳児保護者問20-1】
- 小学5年生保護者では、「結婚している(事実婚を含む)」が92.1%。困窮層(n=44)では54.5%。【小学5年生保護者問14】
「離婚(別居中を含む)」と回答した方に、子どもの養育費の取り決めについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が48.4%。【小学5年生保護者問14-1】
- 中学2年生保護者では、「結婚している(事実婚を含む)」が90.2%、困窮層(n=56)では57.1%、生活満足 低位(n=148)では75.7%。【中学2年生保護者問14】
「離婚(別居中を含む)」と回答した方に、子どもの養育費の取り決めについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が39.6%。【中学2年生保護者問14-1】

(カ) 介護・介助が必要な方の有無

- 5歳児保護者では、同居家族に介護または介助が必要な方の有無について、全体では、「いる」が2.3%、困窮層(n=59)では、「いる」が8.5%。【5歳児保護者問3-2】
- 小学5年生保護者では、全体では「いる」が3.4%、困窮層(n=44)では、「いる」が13.6%。【小学5年生保護者問3-2】
- 中学2年生保護者では、全体では「いる」が3.9%。【中学2年生保護者問3-2】

(キ) 子育ての中でしていること

a. お子さんと一緒にからだを使った運動をする

- 5歳児保護者が、「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」に「あてはまる」と回答した割合は、全体では27.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では13.3%、困窮層(n=59)では10.2%、生活満足 低位(n=181)では13.8%。【5歳児保護者問14B】

b. お子さんに、絵本の読み聞かせをしている

- 5歳児保護者が、「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」に「あてはまらない」と回答した割合は、全体では13.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では28.0%、困窮層(n=59)では37.3%、生活満足 低位(n=181)では27.6%。【5歳児保護者問14I】

c. お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする

- 小学5年生保護者では、「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」ことについて、「あてはまる」が全体では75.8%、生活満足 低位(n=160)では64.4%。【小学5年生保護者問6A】
- 中学2年生保護者では、「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」ことについて、「あてはまる」が全体では62.7%、生活満足 低位(n=148)では49.3%。【中学2年生保護者問6A】

d. お子さんの勉強をみる

- 小学5年生保護者では、「お子さんの勉強をみる」ことについて、「あてはまる」が全体では47.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では34.9%、困窮層(n=44)では38.6%、生活満足 低位(n=160)では33.1%。【小学5年生保護者問6B】
- 中学2年生保護者では、「お子さんの勉強をみる」ことについて、「あてはまる」と回答した割合は全体では19.7%。前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は5.1ポイント減少。【中学2年生保護者問6B】

e. お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする

- 小学5年生保護者では、「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」ことについて、「あてはまる」が全体では59.1%で、前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は8.9ポイント増加。困窮層(n=44)では「あてはまる」と回答した割合は40.9%、生活満足 低位(n=160)では45.6%。【小学5年生保護者問6D】
- 中学2年生保護者では、「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」ことについて、「あてはまる」と回答した割合は全体では55.9%、困窮層(n=56)では44.6%、生活満足 低位(n=148)では43.9%【中学2年生保護者問6D】

(ク) 子どもの発達に関する医師の診断

- 5歳児の子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがある割合は7.6%。
【5歳児保護者問12】
- 医師の診断結果について尋ねたところ、全体では「発達障がい」が44.0%と最も多く、「知的な遅れ」が27.7%。【5歳児保護者問12-1】
- 小学5年生の子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがある割合は7.8%。【小学5年生保護者問8】
- 医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が41.5%と最も多く、「知的な遅れ」が23.6%、「身体障がい」が5.7%であった。前回調査と比較すると、「知的な遅れ」と回答した割合は12.1ポイント増加した。【小学5年生保護者問8-1】
- 中学2年生の子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがある割合は8.4%。【中学2年生保護者問8】
- 医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が56.4%と最も多く、「知的な遅れ」が23.4%、「身体障がい」が8.5%であった。前回調査と比較すると、「発達障がい」と回答した割合は28.1ポイント増加、「知的な遅れ」と回答した割合は16.3ポイント増加した。【中学2年生保護者問8-1】

(ケ) 家庭での経験の剥奪

a. 毎年新しい洋服・靴を買う

- 5歳児保護者では、「毎年新しい洋服・靴を買う」について、全体では「している」が96.3%。困窮層(n=59)では、「経済的にできない」が32.2%。【5歳児保護者問16A】
- 小学5年生保護者では、「毎年新しい洋服・靴を買う」について、全体では「している」が96.3%。困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が27.3%。【小学5年生保護者問10B】
- 中学2年生保護者では、「毎年新しい洋服・靴を買う」について、全体では「している」が94.4%。困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が23.2%。【中学2年生保護者問10B】

b. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

- 5歳児保護者では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」ことについて、「経済的にできない」が4.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では21.3%、困窮層(n=59)では69.5%、生活満足 低位(n=181)では20.4%。【5歳児保護者問16B】
- 小学5年生保護者では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」ことについて、「経済的にできない」が2.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では10.5%、困窮層(n=44)では47.7%、生活満足 低位(n=160)では8.8%。【小学5年生保護者問10C】
- 中学2年生保護者では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」ことについて、「経済的にできない」が6.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では16.5%、困窮層(n=56)では48.2%、生活満足 低位(n=148)では20.3%。【中学2年生保護者問10C】

c. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)

- 小学5年生保護者では、「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」ことについて、「経済的にできない」が 6.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 17.4%、困窮層(n=44)では 63.6%、生活満足 低位(n=160)では 21.3%。【小学5年生保護者問 10D】
- 中学2年生保護者では、「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」ことについて「経済的にできない」が 6.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 19.0%、困窮層(n=56)では 55.4%、生活満足 低位(n=148)では 21.6%。【中学2年生保護者問 10D】

d. 1年に1回くらい家族旅行に行く

- 5歳児保護者では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」について「経済的にできない」が 6.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 28.0%、困窮層(n=59)では 76.3%、生活満足 低位(n=181)では 27.1%。【5歳児保護者問 16D】
- 小学5年生保護者では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」について「経済的にできない」が 5.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 18.6%、困窮層(n=44)では 65.9%、生活満足 低位(n=160)では 19.4%。【小学5年生保護者問 10F】
- 中学2年生保護者では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」について「経済的にできない」が 10.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 25.3%、困窮層(n=56)では 71.4%、生活満足 低位(n=148)では 32.4%。【中学2年生保護者問 10F】

(コ) 経済的理由で世帯にないもの

- 5歳児保護者では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」がないと回答した割合は 6.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 21.3%、困窮層(n=59)では 67.8%、生活満足 低位(n=181)では 27.1%。【5歳児保護者問 17】
- 小学5年生保護者では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」がないと回答した割合は 5.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 15.1%、困窮層(n=44)では 61.4%、生活満足 低位(n=160)では 22.5%。【小学5年生保護者問 11】
- 中学2年生保護者では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」がないと回答した割合は 6.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 15.2%、困窮層(n=56)では 62.5%、生活満足 低位(n=148)では 20.9%。【中学2年生保護者問 11】

(サ) 暮らしの状況

- 5歳児保護者では、現在の暮らしの認識について、「大変苦しい」と回答した割合は、全体が 5.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 24.0%、困窮層(n=59)では 67.8%、生活満足 低位(n=181)では 32.6%。【5歳児保護者問 26】
- 小学5年生保護者では、現在の暮らしの認識について、「大変苦しい」と回答した割合は、全体で 5.5%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 20.9%、困窮層(n=44)では 65.9%、生活満足 低位(n=160)では 31.9%。【小学5年生保護者問 20】

- 中学2年生保護者では、現在の暮らしの認識について、「大変苦しい」と回答した割合は、全体で8.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では24.1%、困窮層(n=56)では64.3%、生活満足低位(n=148)では32.4%。【中学2年生保護者問20】

(シ) 食料が買えない経験

- 5歳児保護者では、お金が足りなくて食料が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は91.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では78.7%、困窮層(n=59)では27.1%、生活満足低位(n=181)では69.6%。【5歳児保護者問28】
- 小学5年生保護者では、お金が足りなくて食料が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は92.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では75.6%、困窮層(n=44)では29.5%、生活満足低位(n=160)では73.8%。【小学5年生保護者問22】
- 中学2年生保護者では、お金が足りなくて食料が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は89.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では75.9%、困窮層(n=56)では16.1%、生活満足低位(n=148)では66.9%。【中学2年生保護者問22】

(ス) 衣類が買えない経験

- 5歳児保護者では、お金が足りなくて衣類が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は88.8%、困窮層(n=59)では13.6%、生活満足低位(n=181)では63.5%。【5歳児保護者問29】
- 小学5年生保護者では、お金が足りなくて衣類が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は91.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では73.3%、困窮層(n=44)では18.2%、生活満足低位(n=160)では66.9%。【小学5年生保護者問23】
- 中学2年生保護者では、お金が足りなくて衣類が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は84.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では63.3%、困窮層(n=56)では12.5%、生活満足低位(n=148)では59.5%。【中学2年生保護者問23】

(セ) 過去1年の間に料金・家賃等の不払いの有無

a. 電話料金

- 「電話料金」について支払えないことが「あった」と回答した割合は、5歳児保護者では1.8%、小学5年生保護者では1.0%、中学2年生保護者では1.9%。【5歳児保護者問30A】【小中学生保護者問24A】

b. 家賃

- 5歳児保護者では、「家賃」について支払えないことが「あった」と回答した割合は1.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では12.0%、困窮層(n=59)では33.9%。【5歳児保護者問30E】
- 小学5年生保護者では、「家賃」について支払えないことが「あった」割合は1.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では8.1%、困窮層(n=44)では18.2%。【小学5年生保護者問24E】

- 中学2年生保護者では、「家賃」について支払えないことが「あった」割合は 1.1%、困窮層(n=56)では 12.5%。【中学2年生保護者問 24E】

(ソ) 子どもの進学に関する保護者の希望

- 5 歳児保護者の子どもの進学への希望についてみると、全体では、「大学またはそれ以上」が 73.6%、「まだわからない」が 16.8%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「大学またはそれ以上」が 49.3%、「まだわからない」が 29.3%。困窮層(n=59)では、「大学またはそれ以上」が 42.4%、「まだわからない」が 35.6%。生活満足 低位(n=181)では、「大学またはそれ以上」が 59.7%、「まだわからない」が 22.1%。【5 歳児保護者問 18】
- 小学5年生保護者の子どもの進学への希望についてみると、全体では、大学またはそれ以上」が 73.6%、「まだわからない」が 14.6%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「大学またはそれ以上」が 62.8%、「まだわからない」が 14.0%。困窮層(n=44)では、「大学またはそれ以上」が 40.9%、「まだわからない」が 20.5%。生活満足 低位(n=160)では、「大学またはそれ以上」が 59.4%、「まだわからない」が 20.0%。【小学5年生保護者問 12】
- 中学2年生保護者の子どもの進学への希望についてみると、全体では、「大学またはそれ以上」が 74.9%、「まだわからない」が 11.2%。前回調査と比較すると「大学またはそれ以上」の割合が 6.8 ポイント増加。ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「大学またはそれ以上」が 59.5%、「まだわからない」が 12.7%。困窮層(n=56)では、「大学またはそれ以上」が 44.6%、「まだわからない」が 21.4%。生活満足 低位(n=148)では、「大学またはそれ以上」が 63.5%、「まだわからない」が 12.8%。【中学2年生保護者問12】

(タ) 母親の最終学歴（最後に通った学校）

- 5 歳児の母親の最終学歴は、「大学」が 46.7%と最も多く、以下、「高専、短大、専門学校等」が 33.3%、「高等学校」が 11.8%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)、困窮層(n=57)、生活満足 低位(n=179)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【5 歳児保護者問 33】
- 小学5年生の母親の最終学歴は、「大学」が 41.0%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が 39.0%、「高等学校」が 13.6%。前回調査と比較すると、「大学」と回答した割合が 7.8 ポイント増加、「高専、短大、専門学校等」と回答した割合は 7.6 ポイント減少。ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多く、困窮層(n=41)では「高等学校」が最も多く、生活満足 低位(n=155)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【小学5年生保護者問 27】
- 中学2年生の母親の最終学歴は、「高専、短大、専門学校等」が 40.4%と最も多く、「大学」が 36.9%、「高等学校」が 16.7%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多く、困窮層(n=51)では、「高等学校」が最も多く、生活満足 低位(n=143)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【中学2年生保護者問 27】

(チ) 父親の最終学歴（最後に通った学校）

- 5歳児の父親の最終学歴は、「大学」が49.9%と最も多く、以下、「大学院」が15.9%、「高専、短大、専門学校等」が15.5%。困窮層(n=43)では「高等学校」が最も多い。【5歳児保護者問34】
- 小学5年生の父親の最終学歴は、「大学」が51.9%と最も多く、「大学院」が15.5%、「高等学校」が14.5%。【小学5年生保護者問28】
- 中学2年生の父親の最終学歴は、「大学」が50.3%と最も多く、「高等学校」が17.1%、「高専、短大、専門学校等」が16.3%。困窮層(n=36)では、「高等学校」「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【中学2年生保護者問28】

イ 保護者の悩み事・相談相手

(ア) 子育てに関する悩みごと

- 子育てに関する悩みごととして、5歳児保護者では、「子どもの教育費」が31.5%、「子どもの食事や栄養管理」が19.8%で多くなっていた。「子どもの教育費」について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では57.3%、困窮層(n=59)では86.4%、生活満足 低位(n=181)では58.6%。【5歳児保護者問19】
- 小学5年生保護者では、「子どもの進学や受験が心配」が29.5%、「子どもの教育費」が26.5%で多くなっていた。「子どもの教育費」について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では51.2%、困窮層(n=44)では81.8%、生活満足 低位(n=160)では58.8%。【小学5年生保護者問13】
- 中学2年生保護者では、「子どもの進学や受験が心配」が47.3%と最も多く、次に「子どもの教育費」が32.0%となっていた。「子どもの進学や受験が心配」について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では54.4%、困窮層(n=56)では69.6%、生活満足 低位(n=148)では67.6%。【中学2年生保護者問13】

(イ) 支えてくれる人・手伝ってくれる人

a. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

- 5歳児保護者について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が「いない」割合は全体で4.0%、困窮層(n=59)では13.6%、生活満足 低位(n=181)では15.5%。【5歳児保護者24A】
- 小学5年生保護者について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が「いない」割合は全体で5.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では19.8%、困窮層(n=44)では20.5%、生活満足 低位(n=160)では20.0%。【小学5年生保護者問17A】
- 中学2年生保護者について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が「いない」割合は全体で6.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では19.0%、困窮層(n=56)では23.2%、生活満足 低位(n=148)では18.9%。【中学2年生保護者問17A】

b. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

- 5歳児保護者について、「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」が「いない」割合についてみると、6.5%、困窮層(n=59)では18.6%、生活満足 低位(n=181)では22.1%。【5歳児保護者 24B】
- 小学5年生保護者について、「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」が「いない」割合は全体で7.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では18.6%、生活満足 低位(n=160)では22.5%。【小学5年生保護者問 17B】
- 中学2年生保護者について、「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」が「いない」割合は全体で9.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では24.1%、困窮層(n=56)では26.8%、生活満足 低位(n=148)では27.0%。【中学2年生保護者問 17B】

c. いざという時のお金の援助を頼める人

- 5歳児保護者について、「いざという時のお金の援助を頼める人」が「いない」割合は全体で12.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では34.7%、困窮層(n=59)では54.2%、生活満足 低位(n=181)では39.2%。【5歳児保護者 24F】
- 小学5年生保護者について、「いざという時のお金の援助を頼める人」が「いない」割合は全体で11.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では24.4%、困窮層(n=44)では38.6%、生活満足 低位(n=160)では29.4%。【小学5年生保護者問 17F】
- 中学2年生保護者について、「いざという時のお金の援助を頼める人」が「いない」割合は全体で15.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では35.4%、困窮層(n=56)では60.7%、生活満足 低位(n=148)では43.2%。【中学2年生保護者問 17F】

(ウ) 相談相手・相談先

- 5歳児保護者の相談相手・相談先について、「配偶者・パートナー」が84.8%と最も多く、以下、「自分や配偶者の親」が71.0%、「友人・知人」が58.3%。「相談できる相手がない」と回答した割合は、全体が1.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では6.7%、困窮層(n=59)では8.5%、生活満足 低位(n=181)では7.2%。【5歳児保護者問 25】
- 小学5年生保護者の相談相手・相談先について、「配偶者・パートナー」が80.8%と最も多く、「自分や配偶者の親」が67.3%、「友人・知人」が57.6%。「相談できる相手がない」と回答した割合は、全体が1.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では5.8%、困窮層(n=44)では11.4%、生活満足 低位(n=160)では10.0%。【小学5年生保護者問 18】
- 中学2年生保護者の相談相手・相談先について、「配偶者・パートナー」が77.9%と最も多く、「自分や配偶者の親」が62.7%、「友人・知人」が57.7%。「相談できる相手がない」と回答した割合は、全体が1.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では10.1%、困窮層(n=56)では10.7%、生活満足 低位(n=148)では7.4%。【中学2年生保護者問 18】

(エ) 子どもが生まれてからの経験

- 5歳児保護者では、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」が15.6%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が12.9%。「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」割合について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では25.3%、困窮層(n=58)が34.5%、生活満足 低位(n=180)では30.0%。【5歳児保護者問35】
- 小学5年生保護者では、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」が12.9%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が11.4%。「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」割合について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では24.4%、困窮層(n=44)では15.9%、生活満足 低位(n=159)では26.4%。【小学5年生保護者問29】
- 中学2年生保護者では、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」が13.7%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が12.3%。「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」割合について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では20.3%、困窮層(n=55)では36.4%、生活満足 低位(n=147)では25.9%。【中学2年生保護者問29】

ウ 保護者のウェルビーイング

(ア) 保護者の健康状態

- 5歳児保護者では、自分の健康状態が「よい」と回答した割合は、全体では47.2%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では32.0%、困窮層(n=59)では33.9%、生活満足 低位(n=181)では18.2%。【5歳児保護者問21】
- 小学5年生保護者では、自分の健康状態が「よい」と回答した割合は、全体では45.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では38.4%、困窮層(n=44)では11.4%、生活満足 低位(n=160)では13.1%。【小学5年生保護者問15】
- 中学2年生保護者では、自分の健康状態が「よい」と回答した割合は、全体では37.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では38.0%、困窮層(n=56)では19.6%、生活満足 低位(n=148)では13.5%。【中学2年生保護者問15】

(イ) 過去1か月のころの状態

a. 自分は価値のない人間だと感じたか

- 5歳児保護者では、「自分は価値のない人間だと感じたか」について「全くない」と回答した割合は、全体では75.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では54.7%、困窮層(n=59)では40.7%、生活満足 低位(n=181)では43.1%。【5歳児保護者問22F】
- 小学5年生保護者では、「自分は価値のない人間だと感じたか」について「全くない」と回答した割合は、全体では74.2%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では60.5%、困窮層(n=44)では36.4%、生活満足 低位(n=160)では41.3%。【小学5年生保護者問16F】

- 中学2年生保護者では、「自分は価値のない人間だと感じたか」について「全くない」と回答した割合は、全体では 70.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 50.6%、困窮層(n=56)では 37.5%、生活満足 低位(n=148) では 35.1%。【中学2年生保護者問 16F】

(ウ) 過去 1 か月間のこころの状態 (K 6 尺度得点)

- 5歳児保護者で K6尺度の得点が 10 点以上(心理的苦痛を感じている)の割合は、全体が 11.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 25.3%、困窮層(n=59)では 42.3%、生活満足 低位(n=181)では 43.6%。【5歳児保護者問 22 をもとに算出】
- 小学5年生保護者で K6尺度の得点が 10 点以上(心理的苦痛を感じている)の割合は、全体が 10.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では 27.9%、困窮層(n=44)では 50.0%、生活満足 低位(n=160) では 39.4%。【小学5年生保護者問 16 をもとに算出】
- 中学2年生保護者で K6尺度の得点が 10 点以上(心理的苦痛を感じている)の割合は、全体が 13.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 29.2%、困窮層(n=56)では 42.8%、生活満足 低位(n=148) では 47.3%。【中学2年生保護者問 16 をもとに算出】

工 保護者の意見

(ア) 支援制度等への興味

a. 家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所

- 小学5年生保護者の「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 18.9%、「興味がある」が 25.5%。【小学5年生保護者問 30A】
- 中学2年生保護者の「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 8.4%、「興味がある」が 13.7%。【中学2年生保護者問 30A】

b. 家以外で、お子さんが休日にいることができる場所

- 小学5年生保護者の「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 13.5%、「興味がある」が 26.6%。【小学5年生保護者問 30C】
- 中学2年生保護者の「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 8.3%、「興味がある」が 21.5%。【中学2年生保護者問 30C】

c. お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所

- 小学5年生保護者の「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 23.3%、「興味がある」が 31.3%。【小学5年生保護者問 30E】
- 中学2年生保護者の「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 24.0%、「興味がある」が 31.3%。【中学2年生保護者問 30E】

d. 地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所

- 小学5年生保護者の「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 33.5%「興味がある」が 37.0%。【小学5年生保護者問 30F】
- 中学2年生保護者の「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 33.2%、「興味がある」が 34.6%。【中学2年生保護者問 30F】

e. 学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所

- 小学5年生保護者の「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 21.5%、「興味がある」が 53.6%。【小学5年生保護者問 30G】
- 中学2年生保護者の「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 19.6%、「興味がある」が 50.4%。【中学2年生保護者問 30G】

f. お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス

- 小学5年生保護者の「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」についての回答は、「使ってみたい」が 32.3%「興味がある」が 31.1%。【小学5年生保護者問 30H】
- 中学2年生保護者の「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」についての回答は、「使ってみたい」が 24.5%、「興味がある」が 29.7%。【中学2年生保護者問 30H】

(イ) 子育て（教育を含む）の悩み・あるとよい周囲からのサポート（自由記述）

- 5歳児の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、「保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援」が最も多かった。また、「一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等の子どもの預け先に関する意見や、子育て世帯への経済的支援、家計の悩みも多く挙げられた。(意見を提出した人数 957件)【5歳児保護者問 36】
- 小学5年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」等の子育てに関連する経済的な悩みや要望、「長期休暇・休日の子どもの居場所」「子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)」「学校の敷地内での子どもの居場所・学校の開放」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等、子どもの居場所に関する意見が多く挙げられた。(意見を提出した人数 459件)【小学5年生保護者問 31】
- 中学2年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」等の子育てに関連する経済的な悩みや要望、「学校教育の充実(相談・SC含む)」「いじめ・登校しぶり・不登校」等、学校や教育に関する意見が多く挙げられた。(意見を提出した人数 323件)【中学2年生保護者問 31】

(2) 子どもの状況

ア 子どもの生活状況

(ア) 平日の朝食の摂取状況

- 5歳児の子どもについて、平日の朝食を「いつも食べる(週に5日)」のは全体の95.7%。【5歳児保護者問6】
- 小学5年生の子どもについて、平日の朝食を「いつも食べる(週に5日)」のは全体の92.8%。【小学5年生子ども問2】
- 中学2年生の子どもについて、平日の朝食を「いつも食べる(週に5日)」のは全体の90.2%。【中学2年生子ども問2】

(イ) 平日の朝食の相手

- 小学5年生の子どもについて、平日の朝食を「ひとりで食べる」のは全体の18.4%、生活満足 低位(n=85)では30.6%。【小学5年生子ども問3】
- 中学2年生の子どもについて、平日の朝食を「ひとりで食べる」のは全体の36.8%、困窮層(n=56)では48.2%、生活満足 低位(n=133)では53.4%。【中学2年生子ども問3】

(ウ) 放課後を過ごす相手

- 小学5年生の子どもが放課後を過ごす相手について、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が38.6%と最も多く、以下、「友だち」が22.8%、「おうちの人以外の大人(塾・習い事の先生や、児童クラブの指導員、近所の大人など)」が12.4%。前回調査と比較すると、「友だち」と回答した割合は5.2ポイント減少。【小学5年生子ども問4】
- 中学2年生の子どもが放課後を過ごす相手について、「部活動の仲間」が51.7%と最も多く、以下、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が20.5%、「ひとりでいる」が9.1%。前回調査と比較すると、「部活動の仲間」は16.2ポイント減少し、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」は6.3ポイント増加、「ひとりでいる」は4.6ポイント増加。「ひとりでいる」割合は、困窮層(n=56)では12.5%、生活満足 低位(n=133)では20.3%。【中学2年生子ども問4】

(エ) 就寝時間

- 小学5年生の子どもについて、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」と回答した割合は、全体で48.5%、生活満足 低位(n=85)では34.1%。【小学5年生子ども問8】
- 中学2年生の子どもについて、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」と回答した割合は、全体で38.1%、生活満足 低位(n=133)では25.6%。【中学2年生子ども問8】

(オ) 夏休みの昼食

- 小学5年生の子どもについて、夏休みの昼食を「いつも食べていた(週に7日)」と回答した割合は、全体で91.9%、生活満足 低位(n=85)では78.8%。【小学5年生子ども問9】

- 中学2年生の子どもについて、夏休みの昼食を「いつも食べていた(週に7日)」と回答した割合は、全体で84.4%。【中学2年生子ども問9】

(カ) 安心できる場所

- 小学5年生の子どもが安心できる居場所については、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が80.5%と最も多く、以下、「自分の部屋」が53.5%、「学校」が38.7%。「ほっとできる場所がない」と回答した割合は全体が1.3%、生活満足 低位(n=85)では10.6%。【小学5年生子ども問12】
- 中学2年生の子どもが安心できる居場所については、「自分の部屋」が77.4%と最も多く、以下、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が65.7%、「学校(部活動など)」が36.6%。「ほっとできる場所はない」と回答した割合は全体が1.2%、生活満足 低位(n=133)では6.8%。【中学2年生子ども問12】

(キ) 家事や家族の世話

- 小学5年生の子どもについて、大人が行うような家事や家族の世話を「している」のは全体が30.0%、生活満足 低位(n=85)では44.7%。【小学5年生子ども問13】
家事や家族の世話をする中での経験として、「自分の時間が取れない」が5.9%、「宿題など勉強する時間がない」が4.3%。生活満足 低位(n=38)では、「自分の時間が取れない」が26.3%、「宿題など勉強する時間がない」が15.8%。【小学5年生子ども問13-5】
- 中学2年生の子どもについて、大人が行うような家事や家族の世話を「している」のは全体が26.3%。【中学2年生子ども問13】
家事や家族の世話をする中での経験として、「自分の時間が取れない」が10.6%、「宿題など勉強する時間がない」が6.0%。生活満足 低位(n=26)では、「自分の時間が取れない」が34.6%、「宿題など勉強する時間がない」が23.1%。【中学2年生子ども問13-5】

(ク) 携帯電話・スマートフォンの使用状況

- 小学5年生の子どもについて、自分が使える「けいたい電話・スマートフォン」が「ある」と回答した割合は60.7%で、「ない(ほしい)」は29.3%。前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は10.4ポイント増加した。【小学5年生子ども問14H】
「ある」と回答した方が、スマートフォンを平日3時間以上使用する割合は、13.2%。【小学5年生子ども問15】
「ある」と回答した方について、家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用の「ルールを決めている」のは75.3%。【小学5年生子ども問15-1】
「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は53.4%。【小学5年生子ども問15-2】
- 中学2年生の子どもについて、自分が使える「けいたい電話・スマートフォン」が「ある」と回答した割合は90.5%、「ない(ほしい)」が6.8%。前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は11.4ポイント増加。【中学2年生子ども問14H】

「ある」と回答した方が、スマートフォンを平日3時間以上使用する割合は、33.8%【中学2年生子ども問 15】

「ある」と回答した方について、家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用の「ルールを決めている」のは 69.4%。【中学2年生子ども問 15-1】

「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は 38.6%。【中学2年生子ども問 15-2】

(ケ) ゲームの使用状況

- 小学5年生の子どもについて、「多くの友だちが持っているゲーム機」が「ある」が 82.1%、「ない(ほしい)」が 6.7%。【小学5年生子ども問 14G】

「ある」と回答した方が、ゲームを平日3時間以上する割合は、17.4%。【小学5年生子ども問 16】

「ある」と回答した方について、家庭内でのゲームで遊ぶ際の「ルールを決めている」のは 57.3%。【小学5年生子ども問 16-1】

「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は 42.5%。【小学5年生子ども問 16-2】

- 中学2年生の子どもについて、「多くの友だちが持っているゲーム機」が「ある」が 82.9%、「ない(ほしい)」が 4.5%。【中学2年生子ども問 14G】

「ある」と回答した方が、ゲームを平日3時間以上する割合は、16.5%。【中学2年生子ども問 16】

「ある」と回答した方について、家庭内でのゲームで遊ぶ際の「ルールを決めている」のは 48.8%。【中学2年生子ども問 16-1】

「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は 42.9%。【中学2年生子ども問 16-2】

イ 子どもの学校生活・学習状況

(ア) 物理的なはく奪（学習環境）

a. 自分の家で学習をすることができる場所

- 小学5年生の子どもでは、「自分の家で学習をすることができる場所」が「ある」と回答した割合は 92.5%、「ない(ほしい)」が 3.3%、困窮層(n=44)では「ない(ほしい)」が 11.4%。【小学5年生子ども問 14A】
- 中学2年生の子どもでは、「自分の家で学習をすることができる場所」が「ある」と回答した割合は 95.4%、「ない(ほしい)」が 2.5%。困窮層(n=56)では「ない(ほしい)」が 8.9%。【中学2年生子ども問 14A】

b. (自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット

- 小学5年生の子どもでは、「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」について、「ある」が 77.9%。「ない(ほしい)」の回答割合は、全体が 12.2%、困窮層(n=44)では 29.5%、生活満足 低位(n=85)では 24.7%。【小学5年生子ども問 14F】
- 中学2年生の子どもでは、「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」について、「ある」が 84.3%。「ない(ほしい)」の回答割合は、全体が 8.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 16.5%、困窮層(n=56)では 25.0%、生活満足 低位(n=133)では 16.5%。【中学2年生子ども問 14F】

(イ) 授業の理解度

- 小学5年生の子どもについて、学校の授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した割合の合計は、全体で 5.5%、困窮層(n=44)では 15.9%、生活満足 低位(n=85)では 18.8%。【小学5年生子ども問 18】
「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した方について、学校の授業がわからなくなった時期は、「5年生になってから」が 24.4%と最も多く、以下、「4年生のころ」が 18.9%、「3年生のころ」「わからない」がそれぞれ 15.6%。【小学5年生子ども問 18-1】
- 中学2年生の子どもについて、学校の授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した割合の合計は、全体で 8.0%、困窮層(n=56)では 33.9%、生活満足 低位(n=133)では 23.3%。【中学2年生子ども問 18】
「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した方について、学校の授業がわからなくなった時期は、「中学1年生のころ」が 38.0%と最も多く、以下、「小学5・6年生のころ」が 21.7%、「中学2年生になってから」が 15.2%。【中学2年生子ども問 18-1】

(ウ) 家庭での学習状況

- 小学5年生の子どもについて、学校の宿題を「している」と回答した割合は、全体では 84.1%、困窮層(n=44)では 70.5%、生活満足 低位(n=85)では 69.4%。【小学5年生子ども問 19A】
- 中学2年生の子どもについて、学校の宿題を「している」と回答した割合は、全体では 52.5%、生活満足 低位(n=133)では、「している」が 37.6%。【中学2年生子ども問 19A】

(エ) 平日の学校以外での勉強時間

- 小学5年生の子どもについて、平日の学校以外での勉強時間(1日あたり)について「まったくしない」と回答した割合は、全体では 7.1%、困窮層(n=44)では 20.5%。【小学5年生子ども問 20】
- 中学2年生の子どもについて、平日の学校以外での勉強時間(1日あたり)について「まったくしない」と回答した割合は、全体では 8.5%、困窮層(n=56)では 23.2%。【中学2年生子ども問 20】

(オ) 学校への遅刻の頻度

- 小学5年生の子どもについて、学校への「遅刻はしない」と回答した割合は 78.5%、生活満足 低位(n=85)では 56.5%。【小学5年生子ども問 21】

- 中学2年生の子どもについて、学校への「遅刻はしない」と回答した割合は 77.2%、前回調査と比較すると、6.1 ポイント減少。ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「遅刻はしない」が 68.4%、困窮層(n=56)66.1%、生活満足 低位(n=133)では 68.4%。【中学2年生子ども問 21】

(カ) 将来の夢

- 小学5年生の子どもについて、将来の夢が「ない」と回答した割合は 30.3%。前回調査と比較すると、「ない」と回答した割合は 5.3 ポイント増加。生活満足 低位(n=85)では「ない」が 42.4%。【小学5年生子ども問 22】

「ない」と回答した方について、夢がない理由を尋ねると「具体的に、何も思いうかばないから」が 60.6%、「わからない」が 18.3%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」が 12.4%。【小学5年生子ども問 22-2】

- 中学2年生の子どもについて、将来の夢が「ない」と回答した割合は 53.7%。前回調査と比較すると、「ない」と回答した割合は 10.9 ポイント増加。【中学2年生子ども問 22】

「ない」と回答した方について、夢がない理由を尋ねると「具体的に、何も思いうかばないから」が 67.8%と最も多く、以下、「わからない」が 15.0%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」が 11.7%。【中学2年生子ども問 22-2】

(キ) 進学意向

- 中学2年生の子どもの進学意向については、「大学またはそれ以上」が 58.1%、「まだわからない」が 21.8%。前回調査と比較すると、「まだわからない」と回答した割合は 5.5 ポイント増加。ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「大学またはそれ以上」が 48.1%、「まだわからない」が 25.3%。困窮層(n=56)では、「大学またはそれ以上」が 35.7%、「まだわからない」が 32.1%。生活満足 低位(n=133)では、「大学またはそれ以上」が 48.1%、「まだわからない」が 27.8%。【中学2年生子ども問 23】

(ク) 不登校傾向等

a. 学校に行きたくないと思った

- 小学5年生子どもが「学校に行きたくないと思った」ことが「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 45.4%。前回調査と比較すると、「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 14.3ポイント増加。生活満足 低位(n=85)では、「よくあった」「時々あった」の合計が 77.6%。【小学5年生子ども問 27A】
- 中学2年生の子どもが「学校に行きたくないと思った」ことが「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 51.6%。前回調査と比較すると、「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 10.5 ポイント増加。生活満足 低位(n=133)では、「よくあった」「時々あった」の合計が 81.2%。【中学2年生子ども問 28A】

b. いじめられた経験

- 小学5年生子どもが「いじめられた」ことが「なかった」と回答した割合は 63.1%。前回調査と比較すると、「なかった」と回答した割合は 7.5 ポイント減少。生活満足 低位(n=85)では、「なかった」が 32.9%。【小学5年生子ども問 27C】
- 中学2年生の子どもが「いじめられた」ことが「なかった」と回答した割合は 72.6%。生活満足 低位(n=133)では、「なかった」が 54.1%。【中学2年生子ども問 28C】

ウ 子どものウェルビーイング

(ア) 健康状態

- 小学5年生の子どもについて、自身の健康状態については、「よい」の割合は、全体で 51.5%、困窮層(n=44)では 38.6%、生活満足 低位(n=85)では 29.4%。【小学5年生子ども問 10】
- 中学2年生の子どもについて、自身の健康状態については、「よい」の割合は、全体で 39.5%、生活満足 低位(n=133)では 14.3%。【中学2年生子ども問 10】

(イ) 虫歯

- 5歳児の子どもについて、「虫歯になったことがない」の割合は、全体で 74.0%、困窮層(n=59)では 64.4%。【5歳児保護者問 13】
- 小学5年生の子どもについて、「虫歯になったことがない」が 42.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 31.4%、困窮層(n=44)では 31.8%。【小学5年生子ども問 11】
- 中学2年生の子どもについて、「虫歯になったことがない」が 40.2%、困窮層(n=56)では 32.1%。【中学2年生子ども問 11】

(ウ) 自己についての認識

a. 自分のことが好きだ

- 小学5年生の子どもについて、「自分のことが好きだ」と、「とても思う」「思う」の合計が 64.7%。前回調査と比較すると、自分のことが好きだ(「とても思う」「思う」の合計)と回答した割合は 6.0 ポイント増加した。【小学5年生子ども問 24A】
- 中学2年生の子どもについて、「自分のことが好きだ」と、「とても思う」「思う」の合計が 56.0%。前回調査と比較すると、自分のことが好きだ(「とても思う」「思う」の合計)と回答した割合は 7.6 ポイント増加。【中学2年生子ども問 25A】

b. ひとりぼっちだと感じることもある

- 小学5年生の子どもについて、「ひとりぼっちだと感じることもある」と、「とても思う」が全体では 6.0%、生活満足 低位(n=85)では、22.4%。【小学5年生子ども問 24E】
- 中学2年生の子どもについて、「ひとりぼっちだと感じることもある」と、「とても思う」が全体では 7.7%。【中学2年生子ども問 25E】

c. 自分は価値のある人間だと思う

- 小学5年生の子どもについて、「自分は価値のある人間だと思う」と、「思わない」と回答した割合は全体では10.6%、生活満足 低位(n=85)では40.0%。【小学5年生子ども問 24H】
- 中学2年生の子どもについて、「自分は価値のある人間だと思う」と、「思わない」と回答した割合は全体では12.7%、生活満足 低位(n=133)では36.1%。【中学2年生子ども問 25H】

エ 子どもの悩み事・相談相手

(ア) 悩み等の相談相手

- 小学5年生の子どもの悩み等の相談相手については、「お母さん・お父さん」が75.2%と最も多く、以下、「学校の友だち」が47.0%、「担任の先生」が21.5%。生活満足 低位(n=85)では、「お母さん・お父さん」が50.6%と最も多く、以下、「学校の友だち」が30.6%、「だれにも相談したくない・できない」が29.4%。【小学5年生子ども問 25】
- 中学2年生の子どもの悩み等の相談相手については、「お母さん・お父さん」が57.9%と最も多く、以下、「学校の友だち」が57.6%、「きょうだい」が16.5%。生活満足 低位(n=133)では、「学校の友だち」が39.8%と最も多く、以下、「お母さん・お父さん」が33.8%、「だれにも相談したくない・できない」が26.3%。【中学2年生子ども問 26】

(イ) 自分や家族についての心配ごとや困っていること

- 小学5年生の子どもについて、自分や家族についての心配ごとや困っていることで「特に困っていることはない」が全体では75.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では70.9%、困窮層(n=44)では54.5%、生活満足 低位(n=85)では48.2%。
悩みごとの内容では、「家の中が散らかっている」が11.6%、「きょうだいの世話やめんどうをみるのが大変」が5.5%。【小学5年生子ども問 28】
- 中学2年生の子どもについて、自分や家族についての心配ごとや困っていること「特に困っていることはない」が全体では69.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では62.0%、困窮層(n=56)では42.9%、生活満足 低位(n=133)では46.6%。
悩みごとの内容では、「家の中が散らかっている」が11.3%、「家で落ち着いて勉強できない」が7.8%。【中学2年生子ども問 29】

(ウ) 学校での困りごと

- 小学5年生の子どもについて、学校での困りごとについて「特に困っていることはない」と回答した割合は、全体では67.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では60.5%、困窮層(n=44)では56.8%、生活満足 低位(n=85)では31.8%。
悩みごとの内容では、全体では、「将来(進路)のことが不安」が11.5%、「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」が9.3%。
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「将来(進路)のことが不安」「勉強がよくわからない」がそれぞれ15.1%。

困窮層(n=44)では、「勉強がよくわからない」が 25.0%、「同学年の人との関係がうまくいっていない」「将来(進路)のことが不安」がそれぞれ 13.6%。

生活満足 低位(n=85)では、「悩みがあっても大人の人とうまく相談できない」が 28.2%、「将来(進路)のことが不安」が 25.9%。【小学5年生子ども問 29】

- 中学2年生の子どもについて、学校での困りごとについて「特に困っていることはない」と回答した割合は、全体では 50.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 46.8%、困窮層(n=56)では 42.9%、生活満足 低位(n=133)では 26.3%。

悩みごとの内容では、全体では、「将来(進路)のことが不安」が 33.6%、「勉強がよくわからない」が 15.7%。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「将来(進路)のことが不安」が 36.7%、「勉強がよくわからない」が 25.3%。

困窮層(n=56)では、「将来(進路)のことが不安」が 39.3%、「勉強がよくわからない」が 35.7%。生活満足 低位(n=133)では、「将来(進路)のことが不安」が 50.4%と最も多く、以下、「勉強がよくわからない」が 31.6%、「同学年の人との関係がうまくいっていない」「悩みがあっても大人の人とうまく相談できない」がそれぞれ 30.1%。【中学2年生子ども問 30】

オ 子どもの意見

(ア) 支援制度等への興味

a. 家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所

- 小学5年生子どもの「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 24.8%、「興味がある」が 30.2%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 11.5 ポイント増加。【小学5年生子ども問 26A】
- 中学2年生子どもの「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 16.2%、「興味がある」が 24.9%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 5.1 ポイント増加。【中学2年生子ども問 27A】

b. 家以外で休日にいることができる場所

- 小学5年生子どもの「家以外で休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 26.3%、「興味がある」が 28.3%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 12.1 ポイント増加。【小学5年生子ども問 26C】
- 中学2年生子どもの「家以外で休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 21.5%、「興味がある」が 28.5%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 7.0 ポイント増加。【中学2年生子ども問 27C】

c. 家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所

- 小学5年生子どもの「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が29.0%、「興味がある」が24.1%。【小学5年生子ども問26E】
- 中学2年生子どもの「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が31.2%、「興味がある」が28.2%。【中学2年生子ども問27E】

d. 地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所

- 小学5年生子どもの「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が19.2%、「興味がある」が25.1%。【小学5年生子ども問26F】
- 中学2年生子どもの「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が21.6%、「興味がある」が26.0%。【中学2年生子ども問27F】

e. 学校以外で、なんでも相談できる場所

- 小学5年生子どもの「学校以外で、なんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が15.5%、「興味がある」が26.3%。【小学5年生子ども問26G】
- 中学2年生子どもの「学校以外で、なんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が13.0%、「興味がある」が21.1%。【中学2年生子ども問27G】

f. 夏休みの間、昼ご飯を出してくれる場所

- 小学5年生子どもの「夏休みの間、昼ご飯を出してくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が20.0%、「興味がある」が20.8%。【小学5年生子ども問26H】
- 中学2年生子どもの「夏休みの間、昼ご飯を出してくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が12.9%、「興味がある」が18.5%。【中学2年生子ども問27H】

(イ) 市へ意見を伝えやすい方法

- 小学5年生の子どもについて、市へ意見を伝えやすい方法として、「紙のアンケートに回答する」が51.8%と最も多く、次いで「インターネット上のアンケートに回答する」が26.9%。【小学5年生子ども問31】
- 中学2年生の子どもについて、市へ意見を伝えやすい方法として、「インターネット上のアンケートに回答する」が52.5%と最も多く、次いで「紙のアンケートに回答する」が43.8%、「LINEなどのSNSのチャットに意見を言う」が28.6%。【中学2年生子ども問32】

(ウ) 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること（自由記述）

- 小学5年生の子どもの自由記述(意見を提出した人数331件)で、「悩んでいる子どものために必要なこと」に関する意見では、「気軽に悩み相談できる場所・工夫」「学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策」「居場所・安らげる場」に関する意見が多くなっていた。「あなたが困っていること」に関する記述内容は、「友達との関係・いじめ・人間関係の悩み」「勉強・授業・宿題・

学校生活全般の悩み」「家族・家に関する悩み」についての意見が多くなっていた。【小学5年生子ども問 30】

- 中学2年生の子どもの自由記述(意見を提出した人数 353 件)で「悩んでいる子どものために必要なこと」に関する意見では、「学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策」「気軽に悩み相談できる場所・工夫」「周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける」「居場所・安らげる場」に関する意見が多くなっていた。「あなたが困っていること」に関する記述内容は、「勉強・授業・学校生活全般の悩み」「学校のルール・制度・施設・設備のこと」「友達との関係・いじめ・人間関係の悩み」についての意見が多くなっていた。【中学2年生子ども問 31】

第2章 アンケート調査結果(5歳児保護者)

(1) あなたの世帯のことについてうかがいます

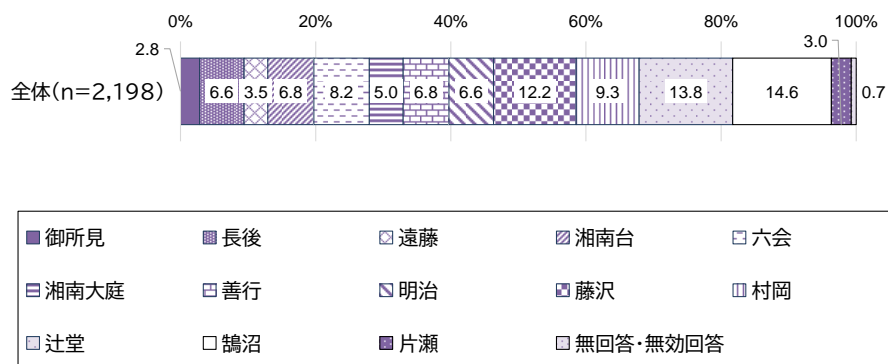
ア 居住地区

居住地区についてみると、「鶴沼」が14.6%と最も多く、以下、「辻堂」が13.8%、「藤沢」が12.2%と続いていた。

【5歳児保護者問1】

お住まいの地区としてあてはまるものをお選びください。(単一回答)

図表 2-1 居住地区 (単純集計)



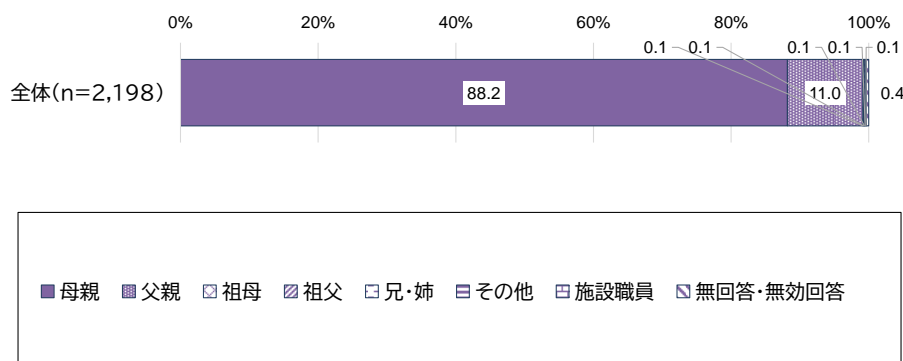
イ 回答者の子どもとの続柄

回答者の子どもとの続柄についてみると、「母親」が88.2%、「父親」が11.0%であった。

【5歳児保護者問2】

お子さんとあなた(回答者)との関係は、次のどれになりますか。(単一回答)

図表 2-2 回答者の子どもとの続柄 (単純集計)



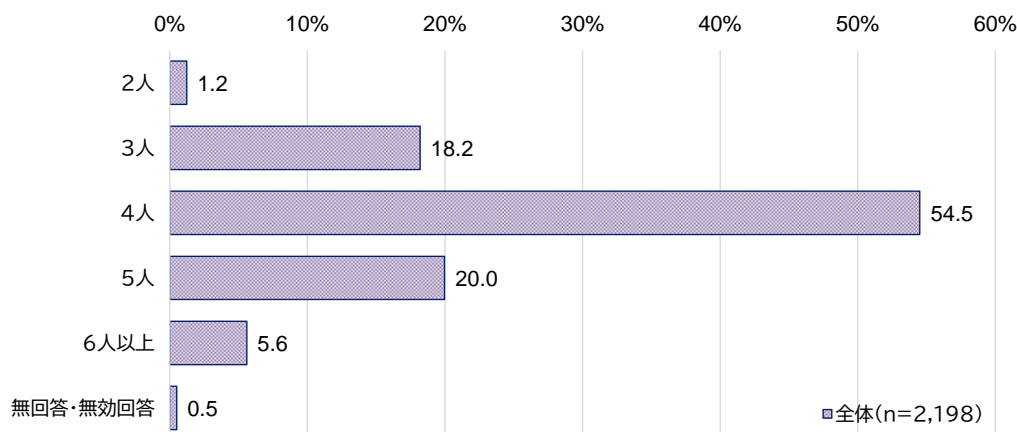
ウ 同居人数

調査票の宛名の子どもを含めて同居している人数をみると、「4人」が54.5%と最も多くなっており、次いで、「5人」が20.0%、「3人」が18.2%となっていた。

【5歳児保護者問 3-1】

あなたと、宛名のお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。(数値回答)

図表 2-3 同居人数 (単純集計)



エ 介護・介助が必要な方の有無

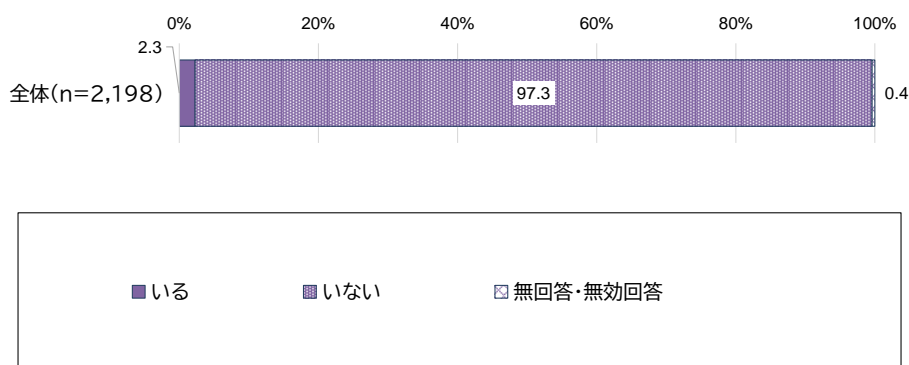
介護または介助が必要な方の有無についてみると、全体では、「いる」が2.3%、「いない」が97.3%であった。

困窮層(n=59)では、「いる」が8.5%、「いない」が88.1%となっていた。

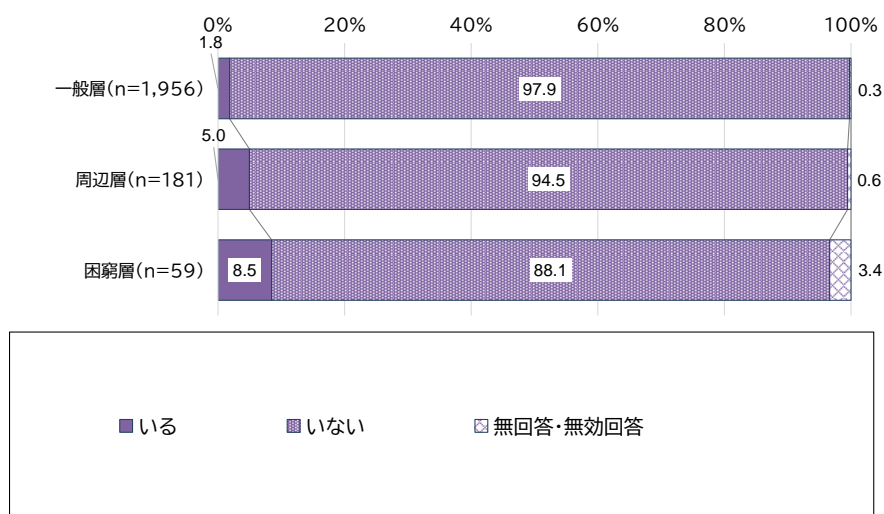
【5歳児保護者問 3-2】

お子さんと同居しているご家族に、介護または介助が必要な方がいますか。(単一回答)

図表 2-4 介護・介助が必要な方の有無 (単純集計)



図表 2-5 介護・介助が必要な方の有無（生活困難層別クロス集計）



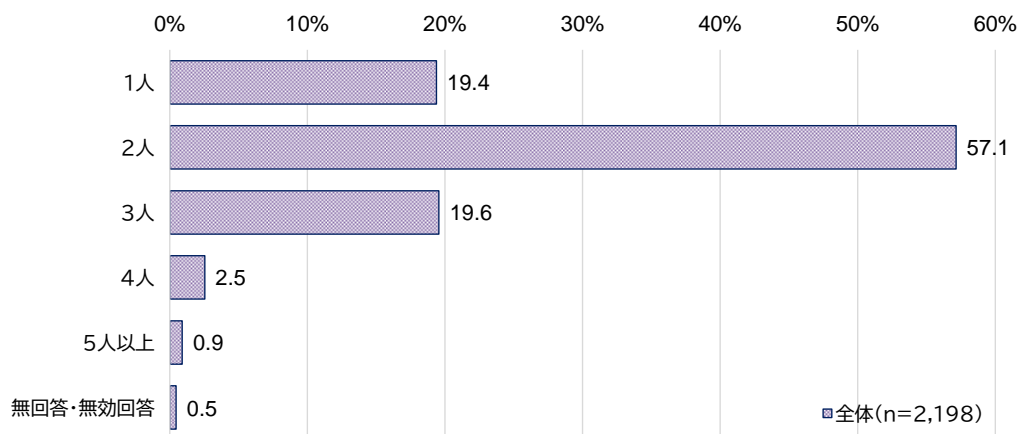
オ 子どもの人数

宛名の子どもを含めた同居している家族の子どもの人数についてみると、「2人」が 57.1%と最も多くなっており、以下、「3人」が 19.6%、「1人」が 19.4%となっていた。

【5歳児保護者問 3-3】

お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。(数値回答)

図表 2-6 同居している家族の子どもの人数（単純集計）



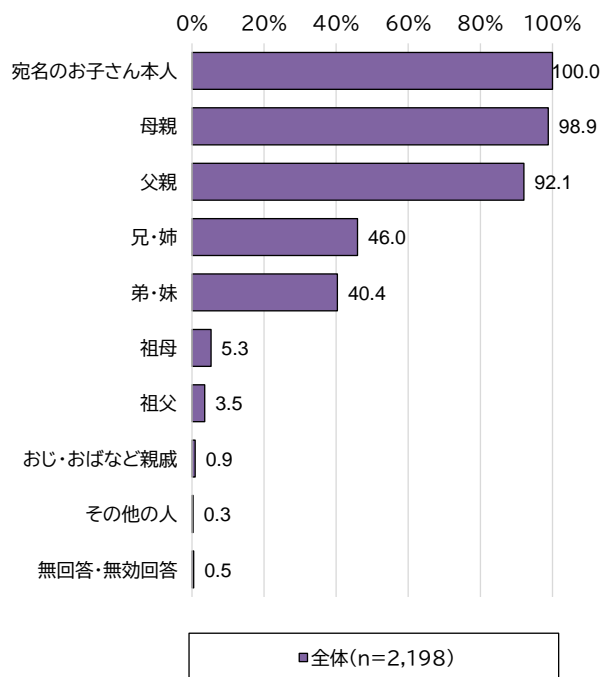
カ 同居家族の子どもからみた続柄

子どもと同居している家族について、子どもからみた続柄についてみると、「母親」と同居している方が98.9%、「父親」と同居している方が92.1%、「兄・姉」と同居している方が46.0%であった。

【5歳児保護者問3-4】

お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

図表 2-7 同居している家族のうち、子どもからみた続柄 (単純集計)



(2) お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

ア 母親の就業状況

父子家庭ではない世帯の場合に、母親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が 35.6%と最も多く、次いで、「専業主婦」が 26.3%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 25.8%となっていた。

前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は、今回調査は 35.6%、前回調査は 24.3%で、11.3 ポイント増加し、「専業主婦」と回答した割合は、今回調査は 26.3%、前回調査は 41.1%で、14.8 ポイント減少した。

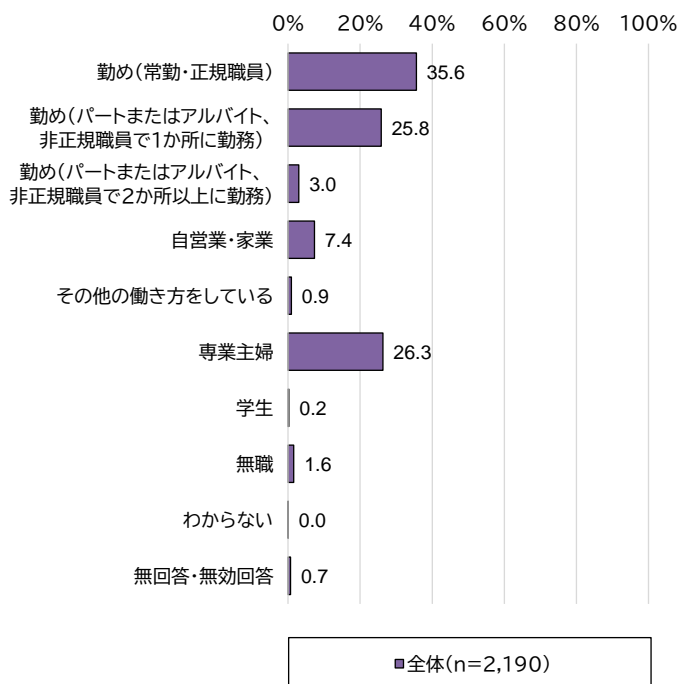
ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)では、「勤め(常勤・正規職員)」が 45.8%と最も多く、以下、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 31.9%、「専業主婦」が 8.3%であった。

困窮層(n=58)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 36.2%と最も多く、「専業主婦」が 22.4%、「勤め(常勤・正規職員)」が 20.7%であった。

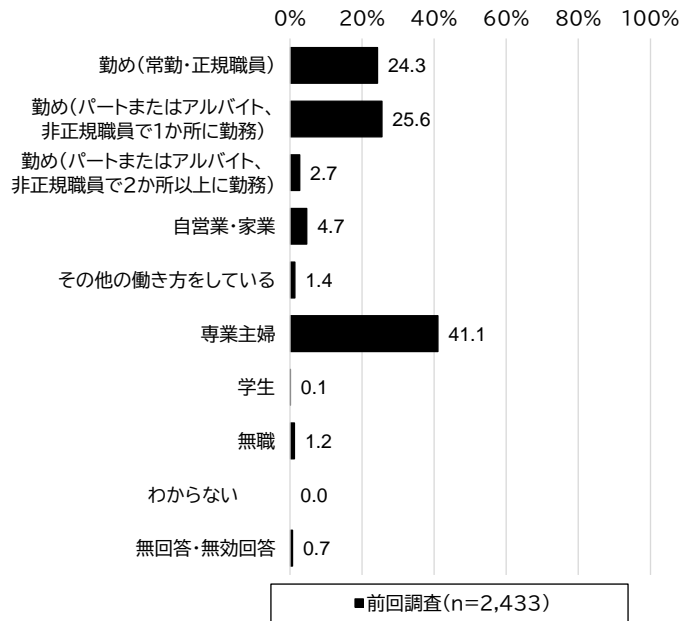
【5 歳児保護者問 4】

お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答)

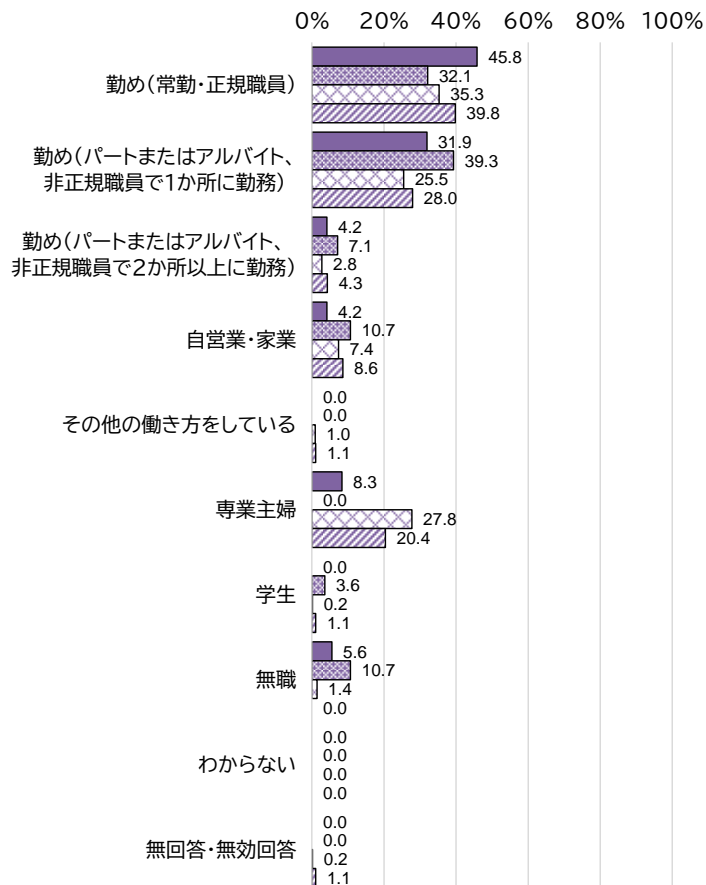
図表 2-8 母親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 2-9 母親の現在の就業状況（前回調査 単純集計）

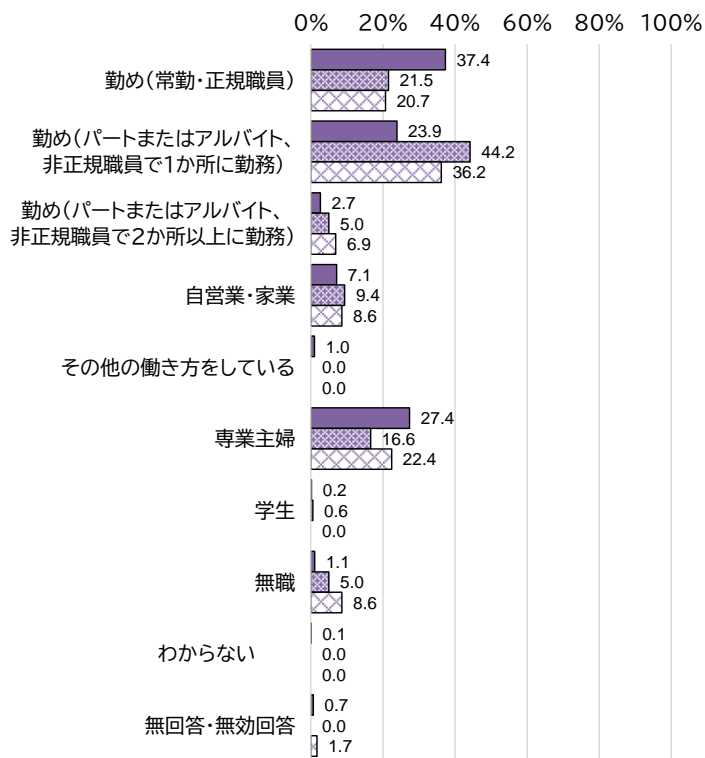


図表 2-10 母親の現在の就業状況（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとりの親世帯(2世代同居)(n=72) □ひとりの親世帯(3世代同居)(n=28)
 □ふたりの親世帯(2世代同居)(n=1,969) □ふたりの親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-11 母親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,949) □周辺層(n=181) □困窮層(n=58)

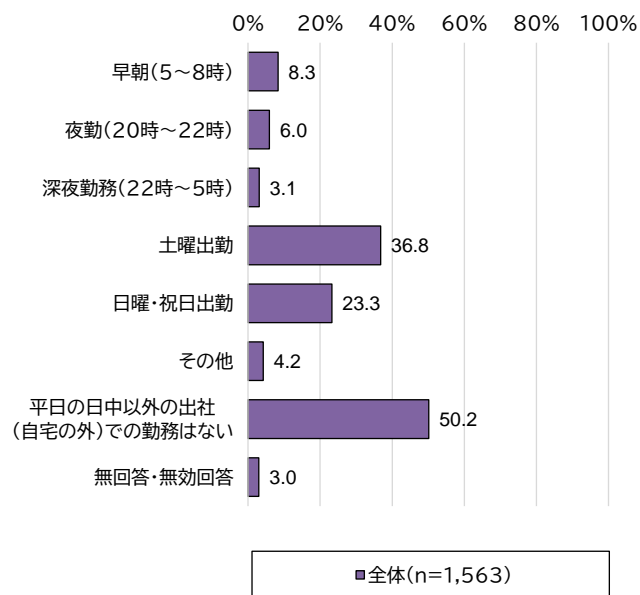
イ 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

父子家庭ではない世帯かつ問4で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、全体では、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 50.2%と最も多く、次いで、「土曜出勤」がある方が 36.8%、「日曜・祝日出勤」がある方が 23.3%となっていた。

【5 歳児保護者問 4-1】

問 4 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お母さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 2-12 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



ウ 父親の就業状況

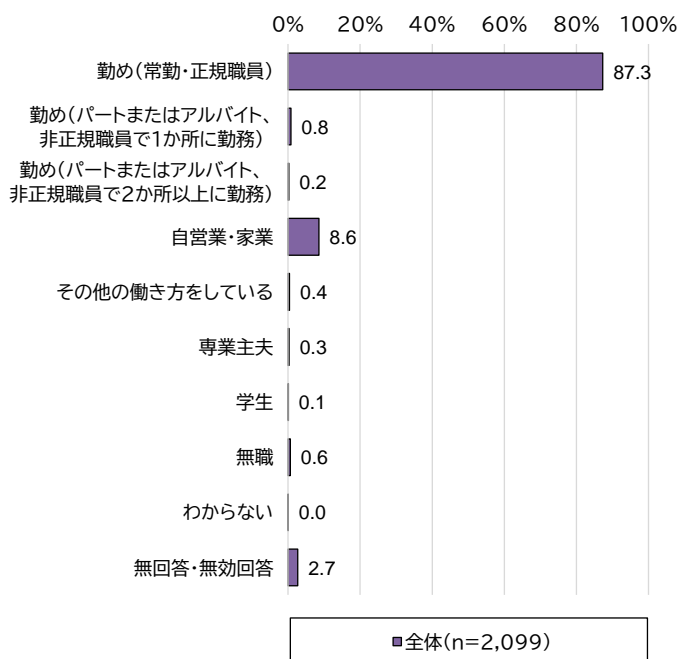
母子家庭ではない世帯の場合に、父親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が 87.3%と最も多く、次に、「自営業・家業」が 8.6%となっていた。

困窮層(n=44)では、「勤め(常勤・正規職員)」が 68.2%と最も多く、「自営業・家業」が 20.5%となっていた。

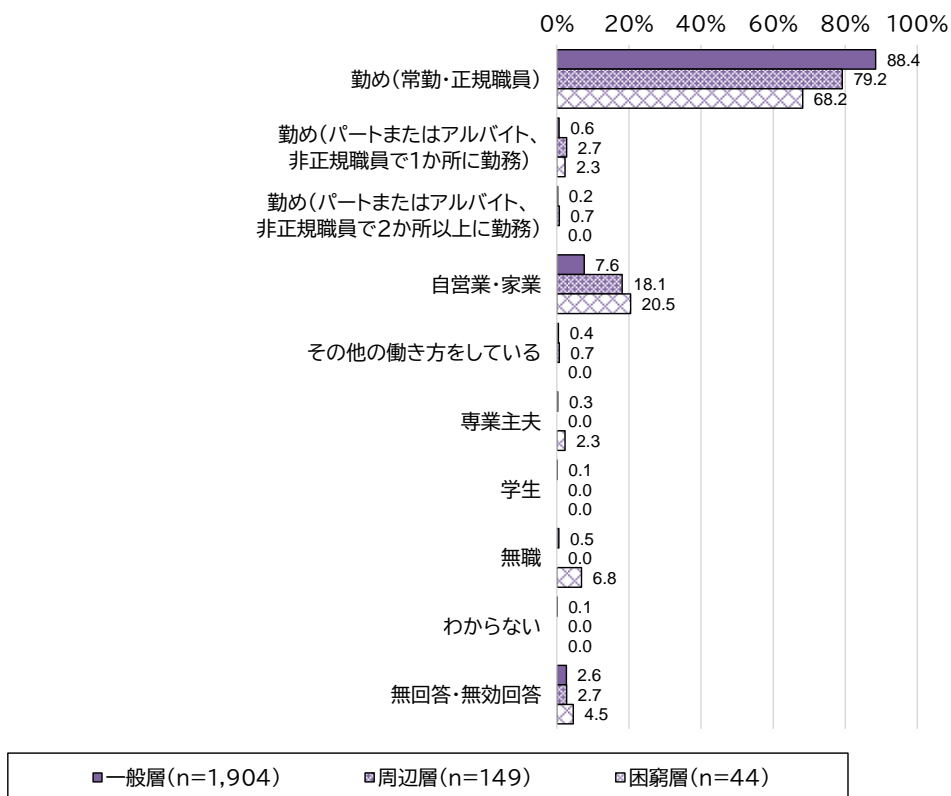
【5 歳児保護者問 5】

お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。(複数回答)

図表 2-13 父親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 2-14 父親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



エ 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

母子家庭ではない世帯かつ問5で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、全体では、「土曜出勤」がある方が45.1%と最も多く、以下、「日曜・祝日出勤」がある方が39.2%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が35.9%と続いていた。

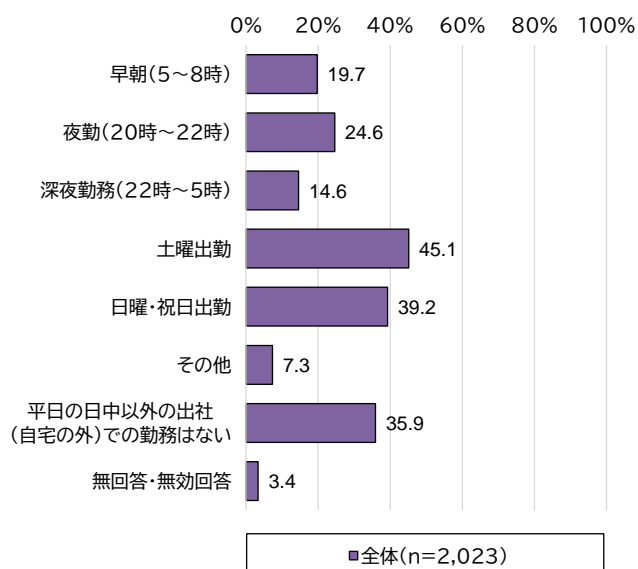
困窮層(n=39)では、「土曜出勤」がある方が71.8%と最も多く、続いて、「日曜・祝日出勤」がある方が61.5%、「早朝(5～8時)」の勤務がある方が38.5%となっていた。

生活満足 低位(n=142)では、「土曜出勤」がある方が58.5%と最も多く、次に「日曜・祝日出勤」がある方が53.5%、「夜勤(20時～22時)」がある方が31.7%と続いていた。

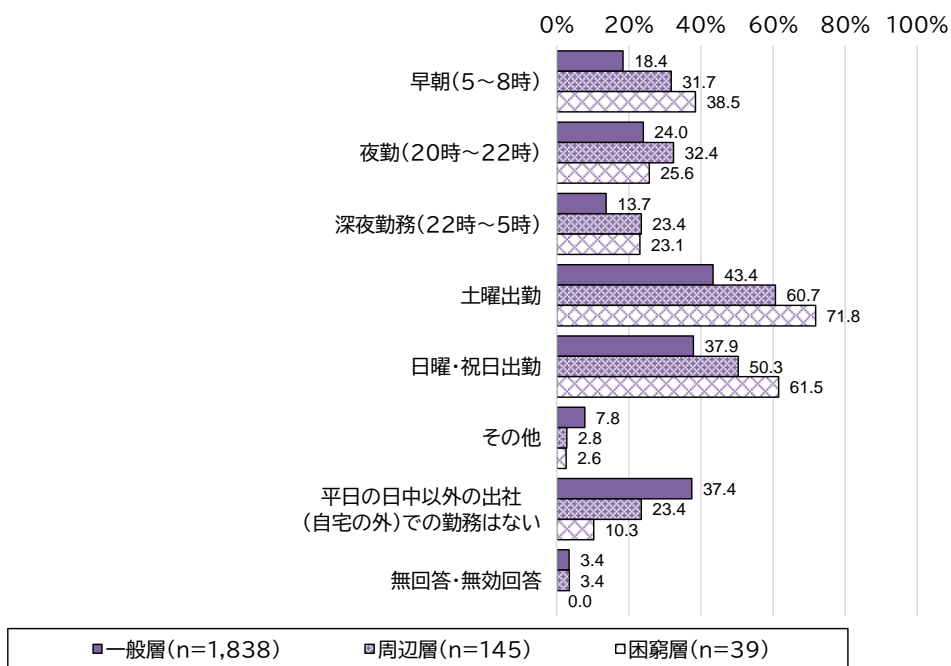
【5歳児保護者問5-1】

問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お父さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

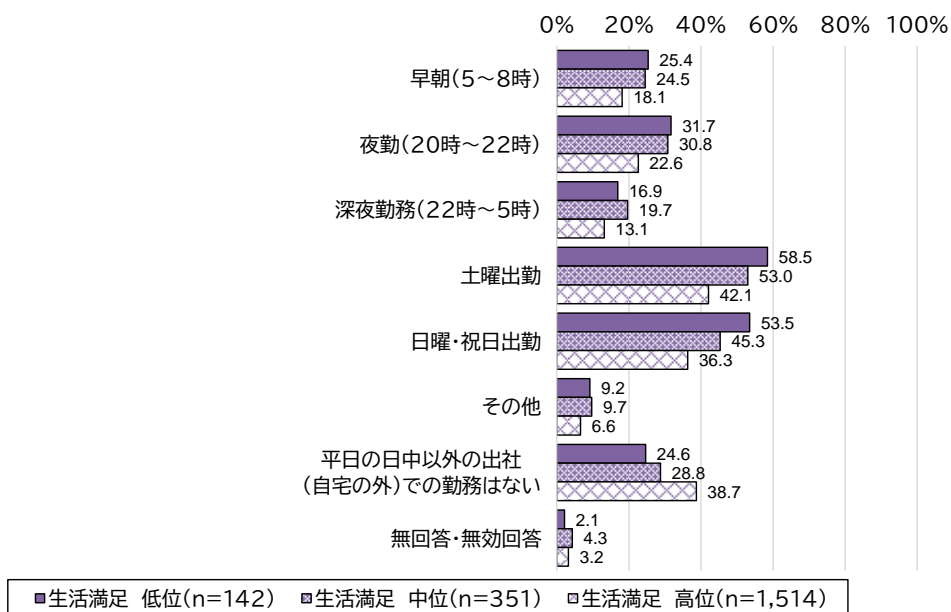
図表 2-15 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



図表 2-16 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 2-17 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活満足度別クロス集計）



(3) お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

ア 平日の朝食の摂取状況

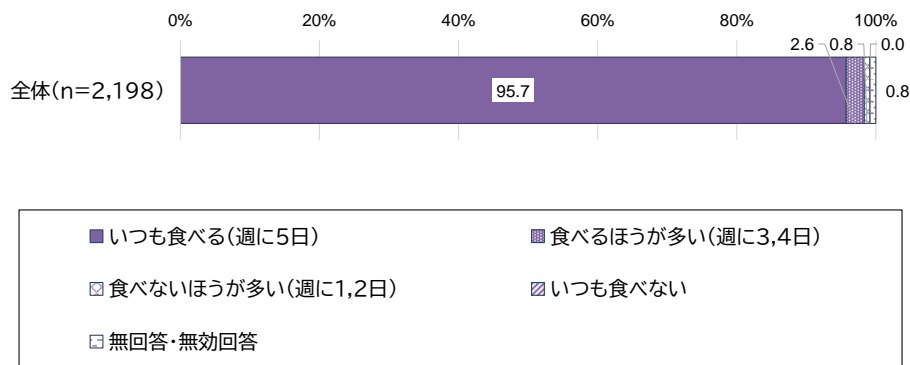
調査票の宛名の子どもの平日の朝食の摂取についてみると、全体では、「いつも食べる(週に5日)」が95.7%と最も多く、次いで、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が2.6%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が0.8%となっていた。

困窮層(n=59)では、「いつも食べる(週に5日)」が86.4%と最も多く、次に、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が11.9%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が1.7%と続いていた。

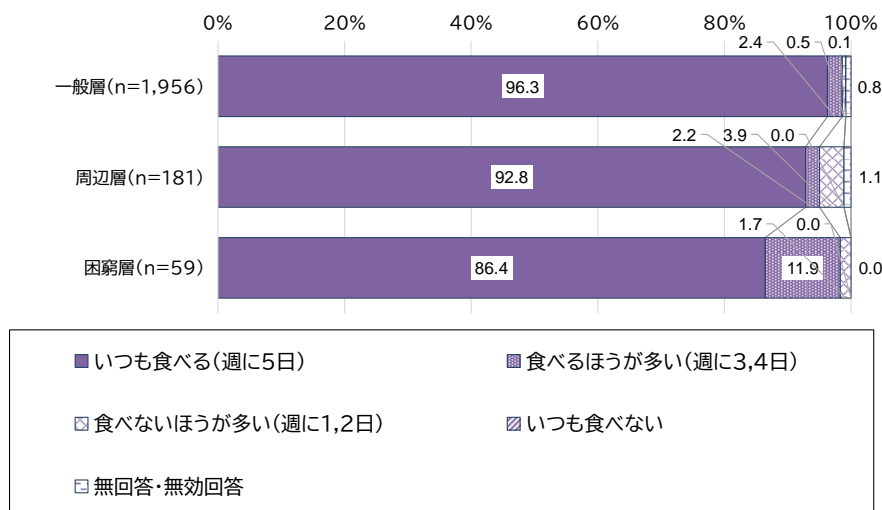
【5歳児保護者問6】

お子さんは、平日に毎日朝ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 2-18 回答者の子どもの平日の朝食の摂取 (単純集計)



図表 2-19 回答者の子どもの平日の朝食の摂取 (生活困難層別クロス集計)



イ 平日の朝食を大人と食べる頻度

子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度についてみると、全体では、「いつも食べる(週に5日)」が 62.1%と最も多く、次に「食べるほうが多い(週に3,4日)」が 13.6%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 12.6%となっていた。

前回調査と比較すると、「いつも食べる(週に5日)」と回答した割合は、今回調査は 62.1%、前回調査は 67.9%で、5.8 ポイント減少した。

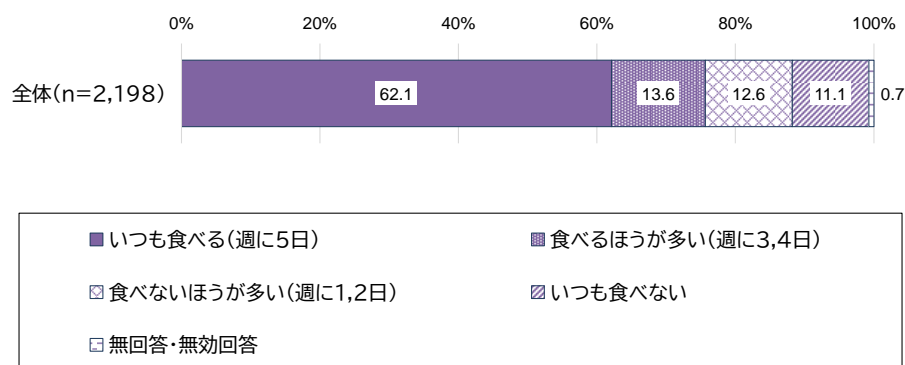
ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いつも食べる(週に5日)」が 49.3%と最も多く、以下、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 21.3%、「食べるほうが多い(週に3,4日)」と「いつも食べない」がそれぞれ 14.7%となっていた。

生活満足 低位(n=181)については、「いつも食べる(週に5日)」が 53.0%と最も多く、以下、「いつも食べない」が 18.8%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 16.0%となっていた。

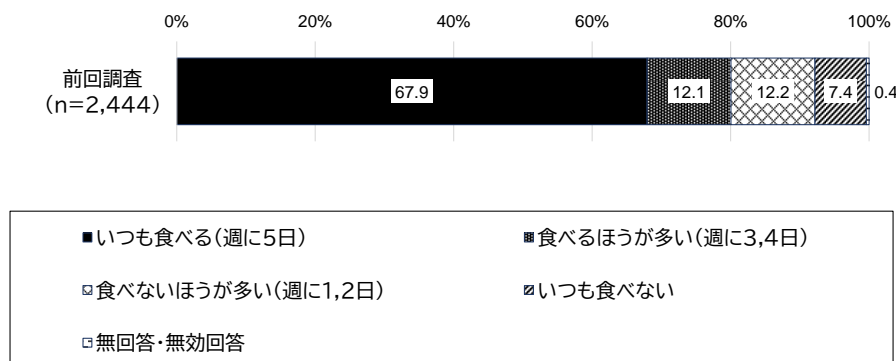
【5 歳児保護者問 7】

お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に朝ごはんを食べていますか。(単一回答)

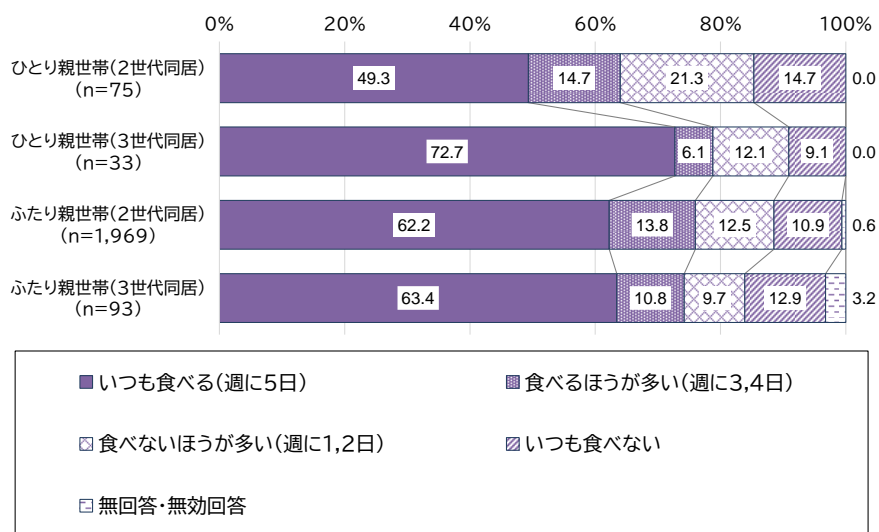
図表 2-20 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度 (単純集計)



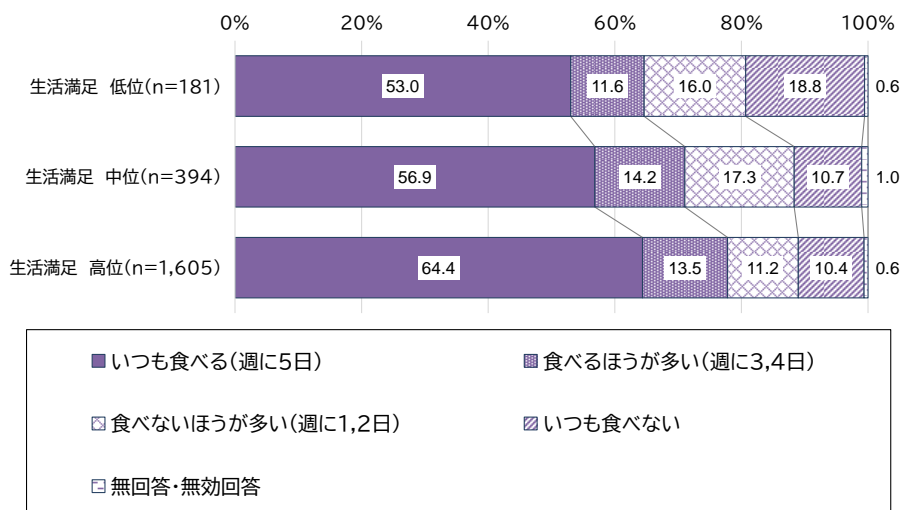
図表 2-21 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度 (前回調査 単純集計)



図表 2-22 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-23 回答者の子どもが平日の朝食を大人と一緒に食べる頻度（生活満足度別クロス集計）



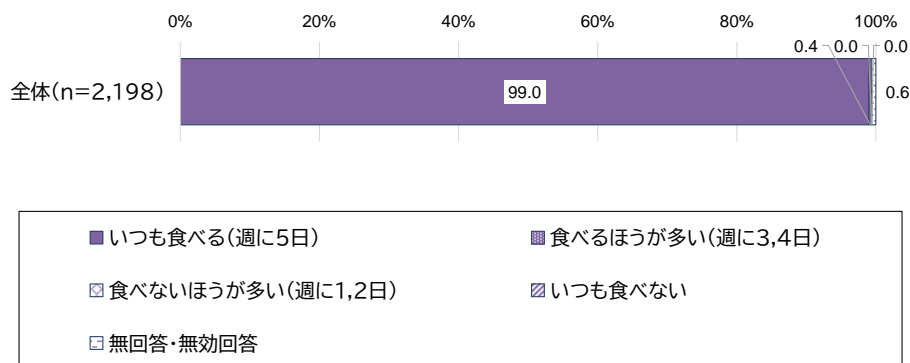
ウ 平日の夕食の摂取状況

子どもの平日の夕食の摂取についてみると、全体では、「いつも食べる(週に5日)」が 99.0%と最も多く、次に「食べるほうが多い(週に3,4日)」が 0.4%となっていた。

【5 歳児保護者問 8】

お子さんは、平日に毎日夕ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 2-24 回答者の子どもの平日の夕食の摂取 (単純集計)



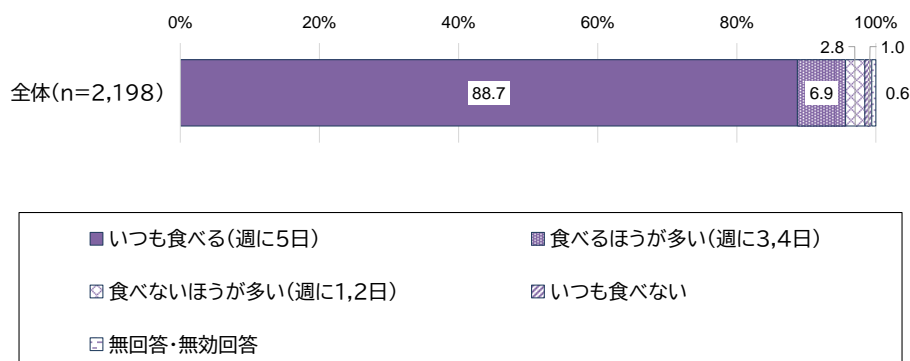
エ 平日の夕食を大人と食べる頻度

子どもが平日の夕食を大人と一緒に食べる頻度についてみると、「いつも食べる(週に5日)」が 88.7%と最も多く、以下、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が 6.9%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が 2.8%となっていた。

【5 歳児保護者問 9】

お子さんは、平日におうちの大人の人とどのくらい一緒に夕ごはんを食べていますか。(単一回答)

図表 2-25 回答者の子どもが平日の夕食を大人と一緒に食べる頻度 (単純集計)



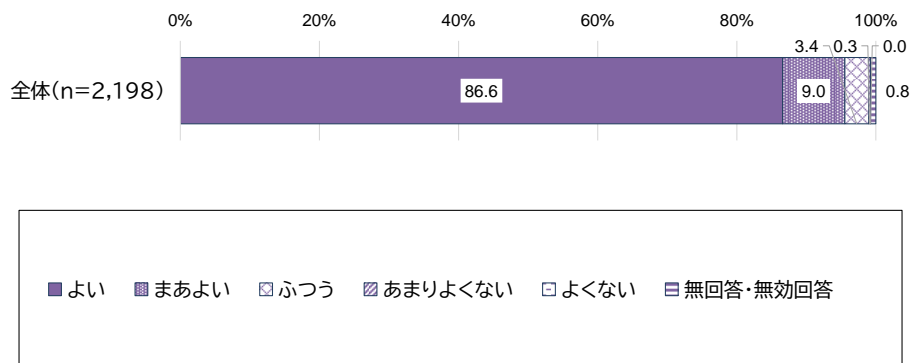
オ 健康状態

健康状態についてみると、「よい」が 86.6%、「まあよい」が 9.0%であった。

【5 歳児保護者問 10】

お子さんの健康状態についてうかがいます。(単一回答)

図表 2-26 回答者の子どもの健康状態 (単純集計)



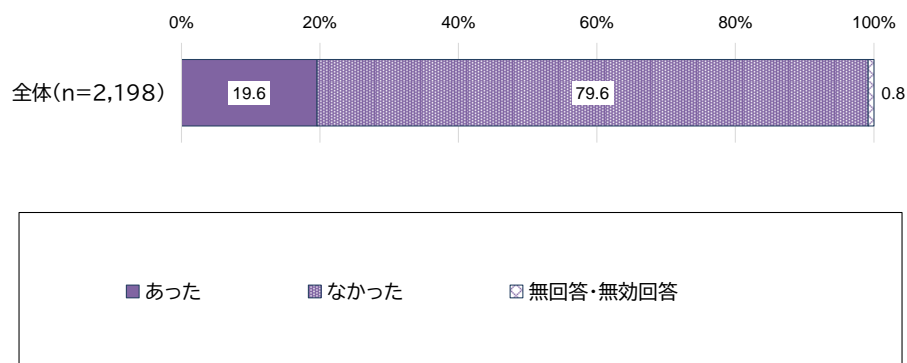
カ 過去 1 年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

過去 1 年間に、子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった経験についてみると、「あった」が 19.6%、「なかった」が 79.6%であった。

【5 歳児保護者問 11】

過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(単一回答)

図表 2-27 過去 1 年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (単純集計)



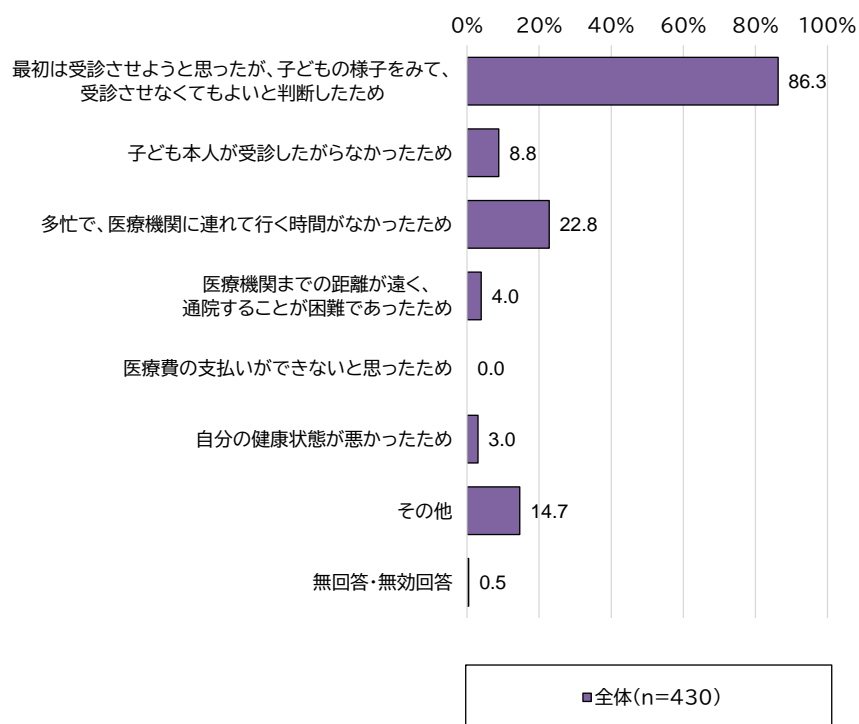
キ 医療機関を受診させなかった理由

問 11 で、過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「あった」と回答した方に、その理由について尋ねたところ、「最初を受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が 86.3%と最も多く、次いで、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が 22.8%であった。

【5 歳児保護者問 11-1】

問 11 で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)

図表 2-28 医療機関を受診させなかった理由 (単純集計)



ク 発達に関する医師の診断

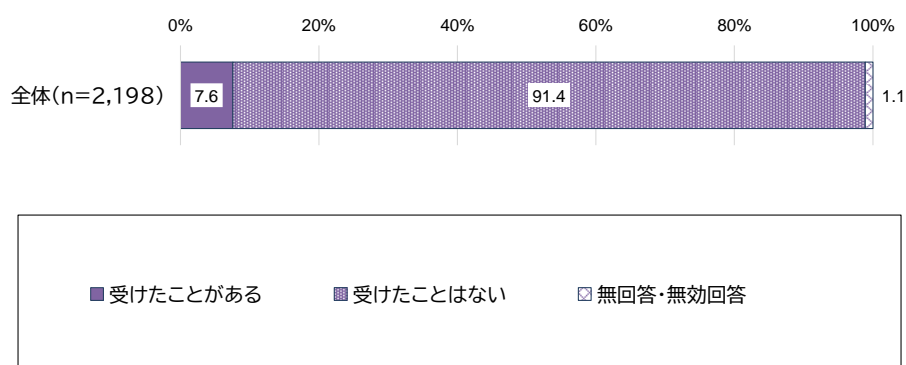
子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがあるかどうかについては、全体では、「受けたことがある」が7.6%、「受けたことはない」が91.4%と回答していた。

生活満足 低位(n=181)では、「受けたことがある」が13.3%、「受けたことはない」が86.2%となっていた。

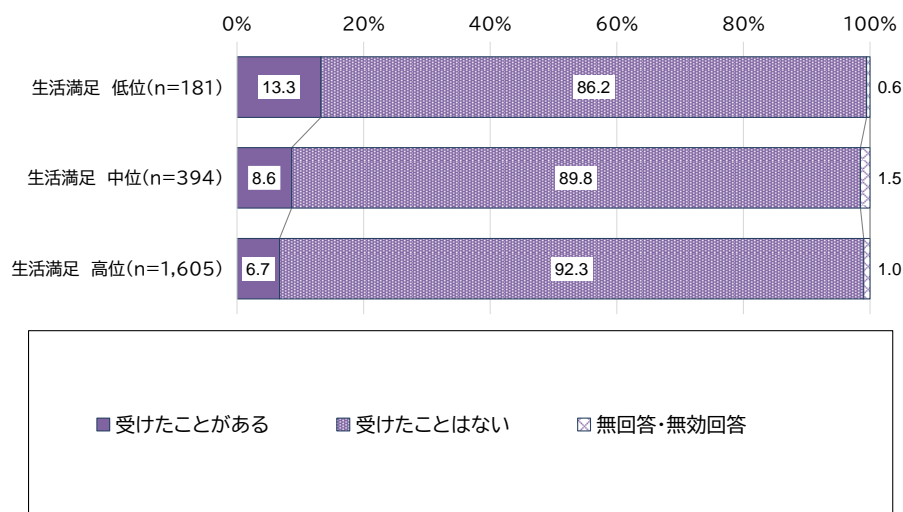
【5歳児保護者問12】

お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか。(単一回答)

図表 2-29 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (単純集計)



図表 2-30 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (生活満足度別クロス集計)



ケ 医師の診断結果

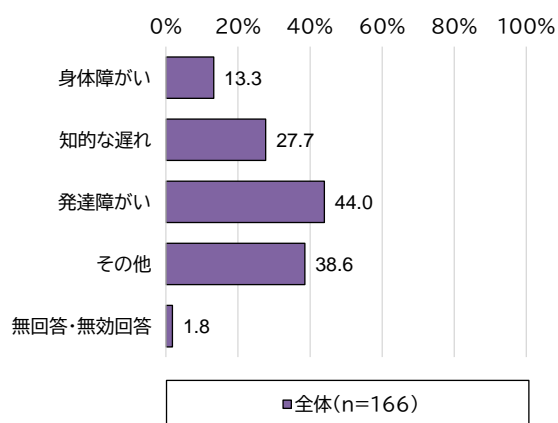
問 12 で子どもの発達に関して何らかの医師の診断を「受けたことがある」と回答した回答者に対して、医師の診断結果について尋ねたところ、全体では「発達障がい」が 44.0%と最も多く、「知的な遅れ」が 27.7%との回答であった。

生活満足 低位(n=24)では、「発達障がい」が 66.7%と最も多く、「知的な遅れ」が 41.7%であった。

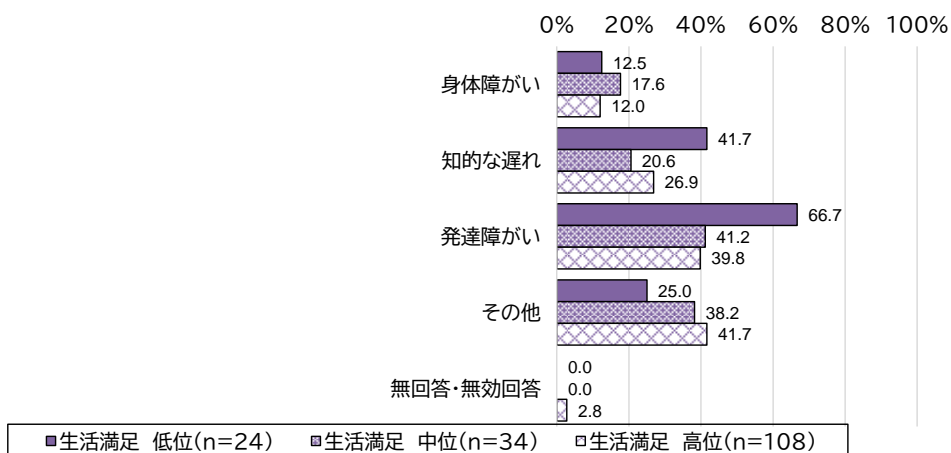
【5 歳児保護者問 12-1】

問 12 で「1. 受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それはどのような診断ですか。(複数回答)

図表 2-31 医師の診断結果（単純集計）



図表 2-32 医師の診断結果（生活満足度別クロス集計）



コ 虫歯の状態

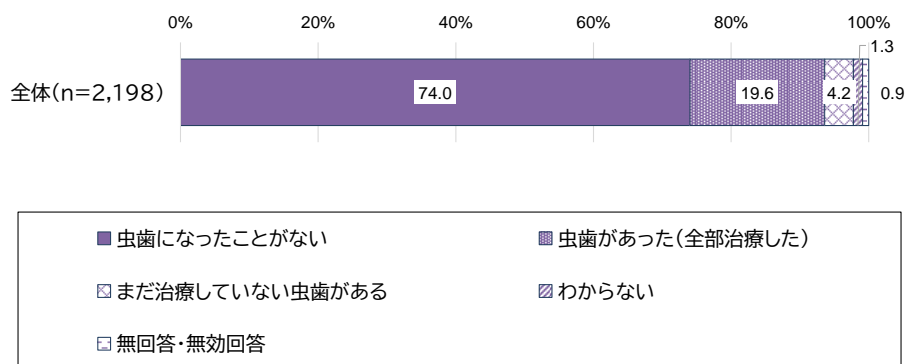
子どもの虫歯の状態についてみると、全体では、「虫歯になったことがない」が74.0%、「虫歯があった(全部治療した)」が19.6%、「まだ治療していない虫歯がある」が4.2%との回答であった。

困窮層(n=59)では、「虫歯になったことがない」が64.4%、「虫歯があった(全部治療した)」が20.3%、「まだ治療していない虫歯がある」が10.2%であった。

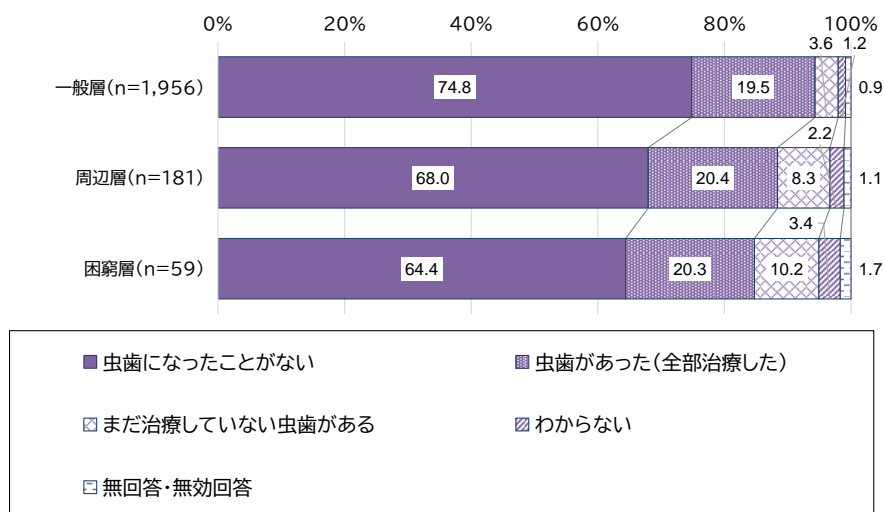
【5歳児保護者問13】

お子さんの虫歯の状態について教えてください。(単一回答)

図表 2-33 回答者の子どもの虫歯の状態 (単純集計)



図表 2-34 回答者の子どもの虫歯の状態 (生活困難層別クロス集計)



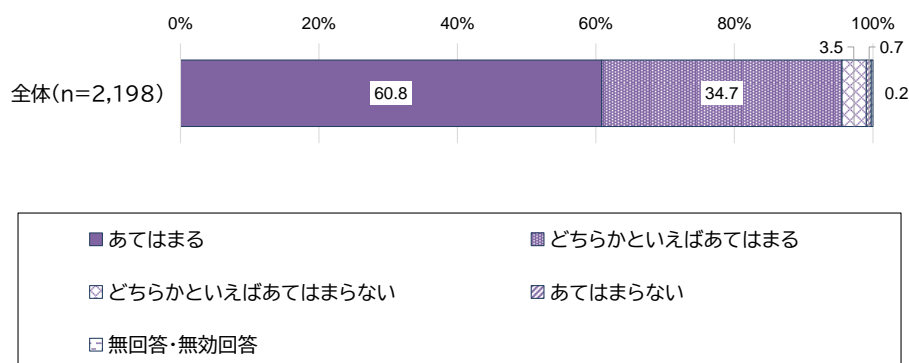
サ 子どもとの関わり

「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」についてみると、「あてはまる」が 60.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 34.7%であった。

【5 歳児保護者問 14A】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-35 「お子さんを、決まった時間に寝かせるようにしている」の実施状況 (単純集計)



「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」についてみると、全体では、「あてはまる」が 27.1%、「どちらかといえばあてはまる」が 41.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「あてはまる」が 13.3%、「どちらかといえばあてはまる」が 44.0%であった。

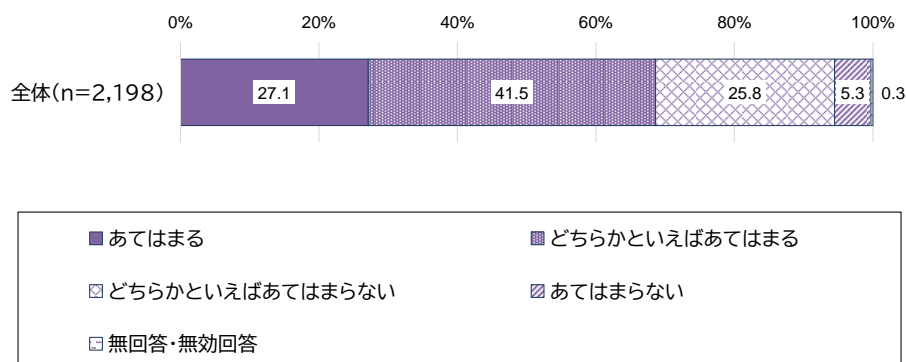
困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 10.2%、「どちらかといえばあてはまる」が 33.9%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 13.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 30.9%であった。

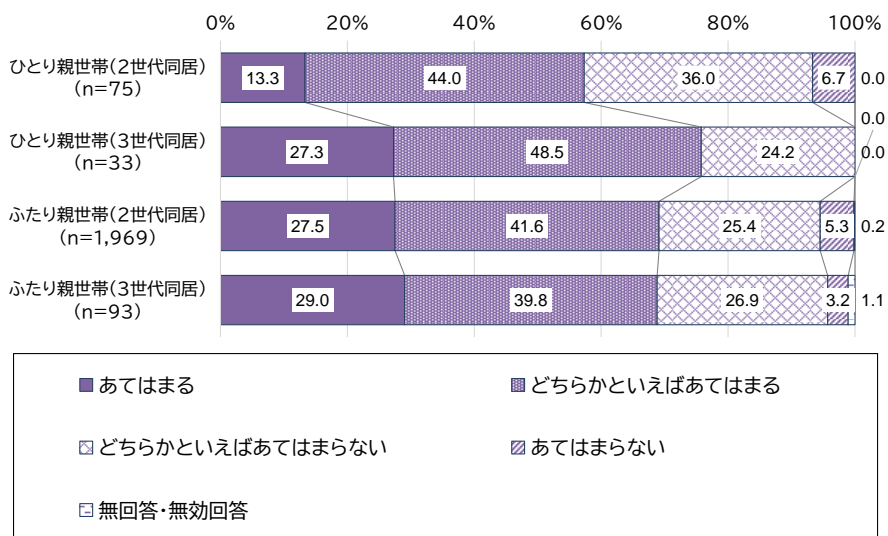
【5 歳児保護者問 14B】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

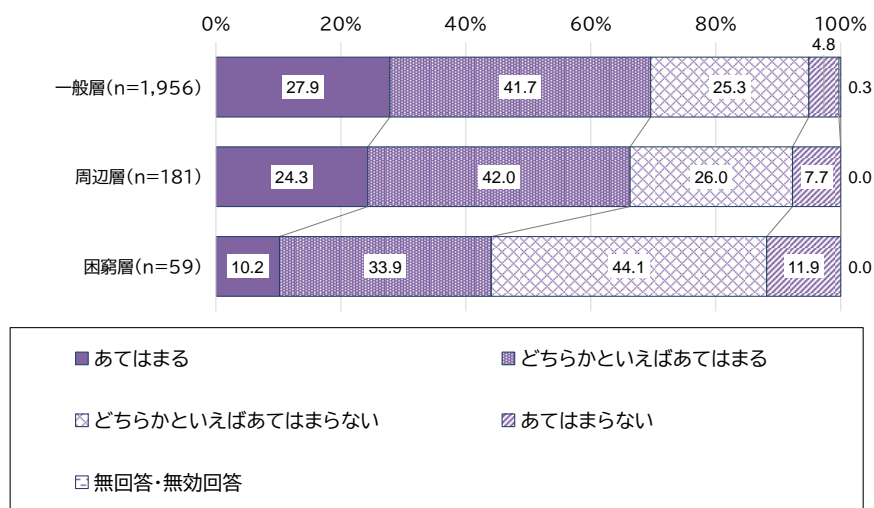
図表 2-36 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況(単純集計)



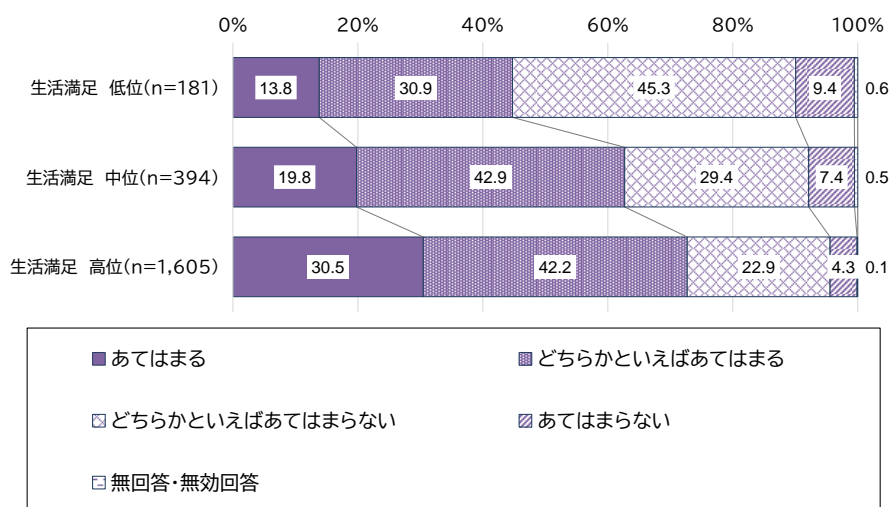
図表 2-37 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-38 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 2-39 「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

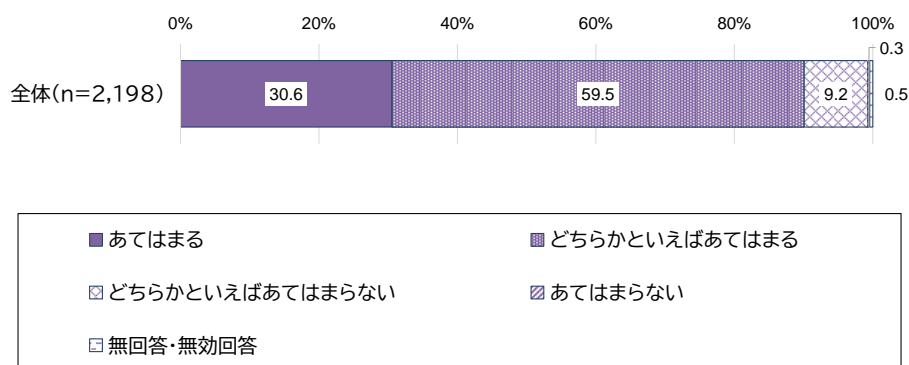


「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」についてみると、全体では「あてはまる」が 30.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 59.5%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 18.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 57.5%であった。

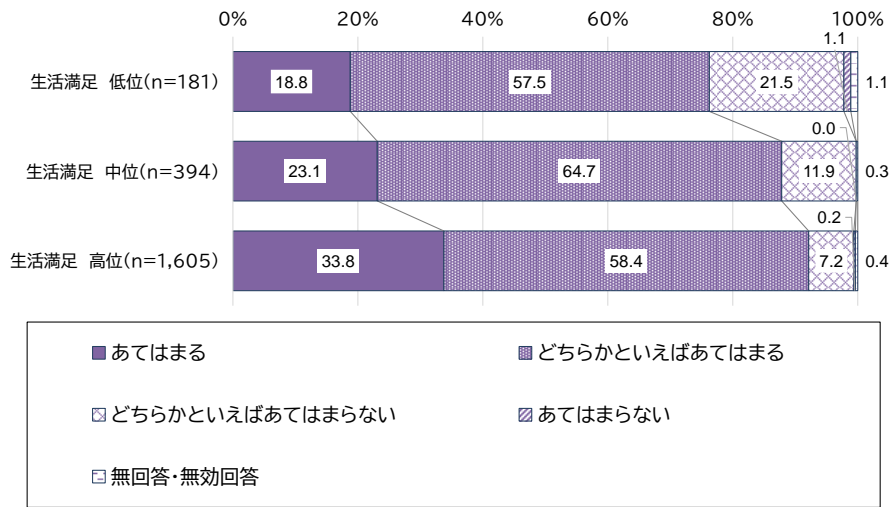
【5 歳児保護者問 14C】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-40 「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」の実施状況（単純集計）



図表 2-41 「お子さんが遊びに誘って来たら一緒に遊ぶ」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

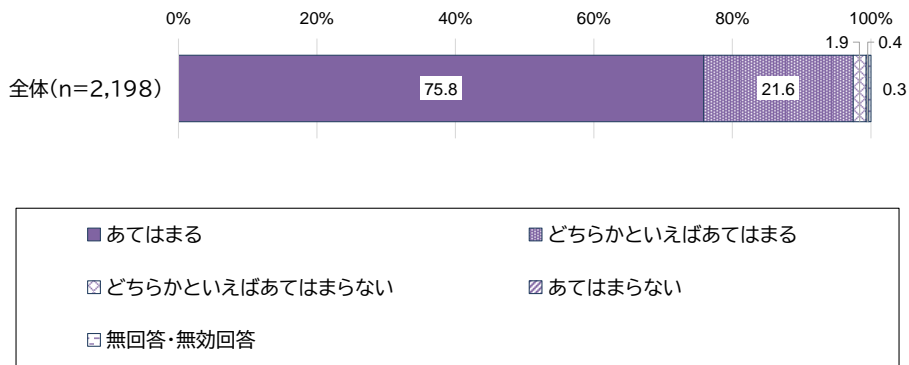


「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」についてみると、全体では「あてはまる」が 75.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 21.6%であった。
 困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 47.5%、「どちらかといえばあてはまる」が 39.0%であった。

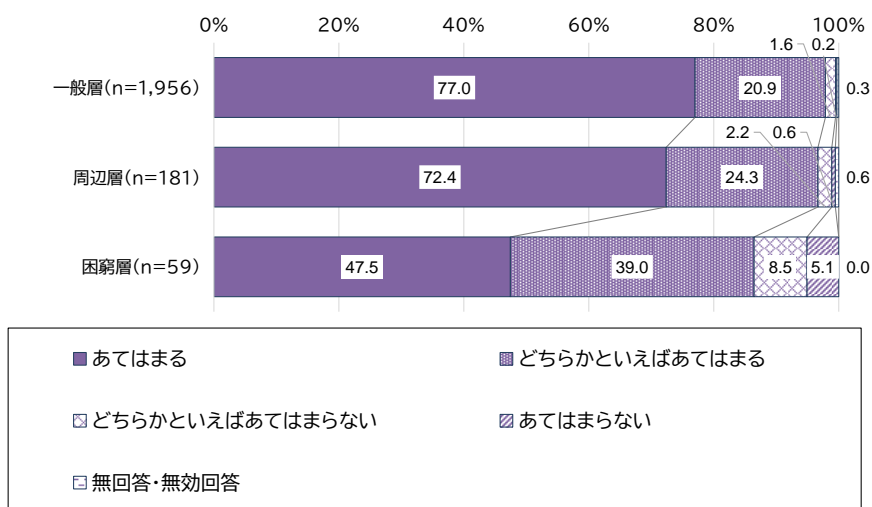
【5 歳児保護者問 14D】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-42 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（単純集計）



図表 2-43 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活困難層別クロス集計）

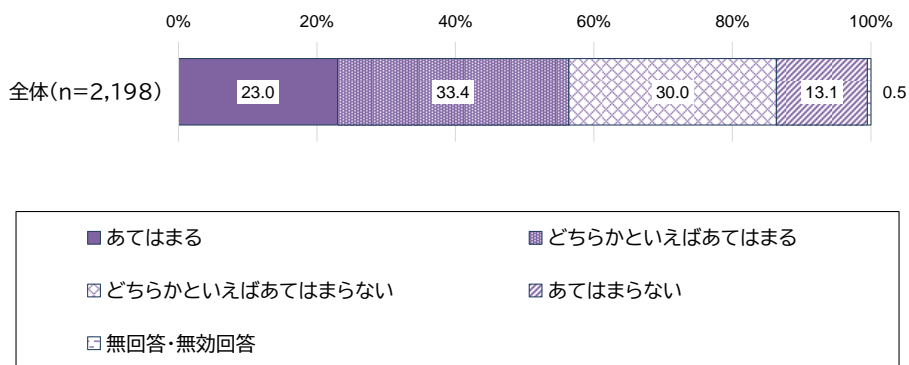


「お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある」についてみると、「あてはまる」が23.0%、「どちらかといえばあてはまる」が33.4%であった。

【5歳児保護者問14E】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-44 「お子さんと一緒にする家事や、お子さんの決まったお手伝いがある」の実施状況（単純集計）



「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」についてみると、全体では、「あてはまる」が32.9%、「どちらかといえばあてはまる」が34.8%であった。

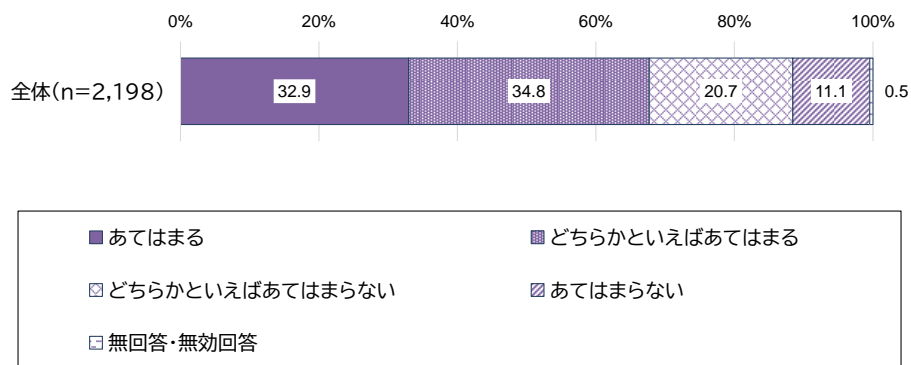
困窮層(n=59)では、「あてはまる」が20.3%、「どちらかといえばあてはまる」が30.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が21.5%、「どちらかといえばあてはまる」が39.8%であった。

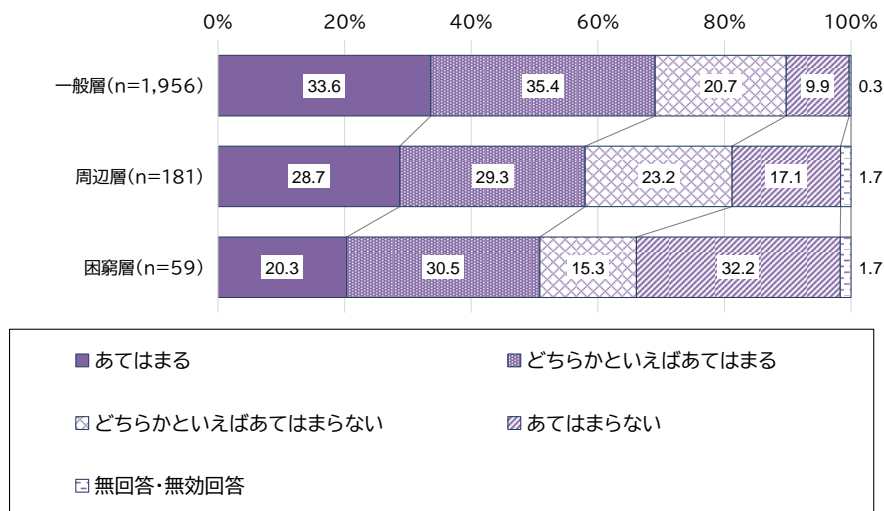
【5歳児保護者問14F】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

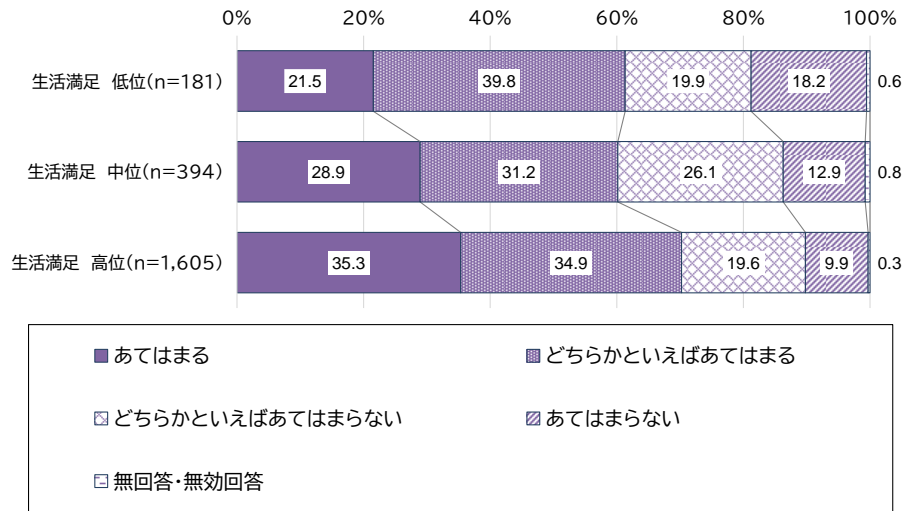
図表 2-45 「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」の実施状況 (単純集計)



図表 2-46 「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-47 「テレビを見る時間やゲームをする時間を限定している」の実施状況
(生活満足度別クロス集計)

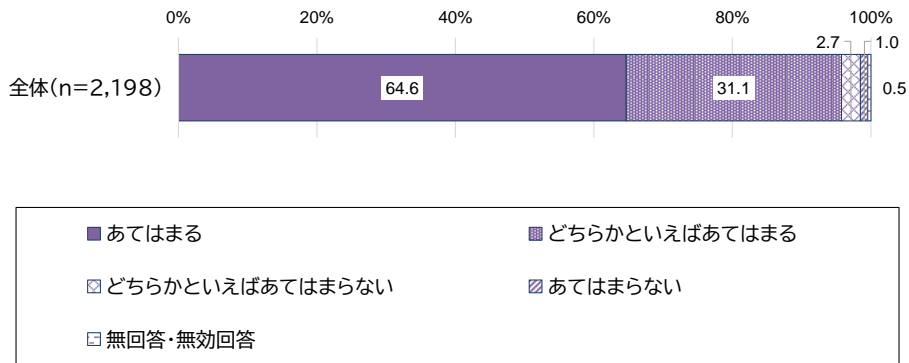


「お子さんと、その日の出来事、友だちのことについて話をする」についてみると、「あてはまる」が64.6%、「どちらかといえばあてはまる」が31.1%であった。

【5歳児保護者問14G】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-48 「お子さんと、その日の出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (単純集計)

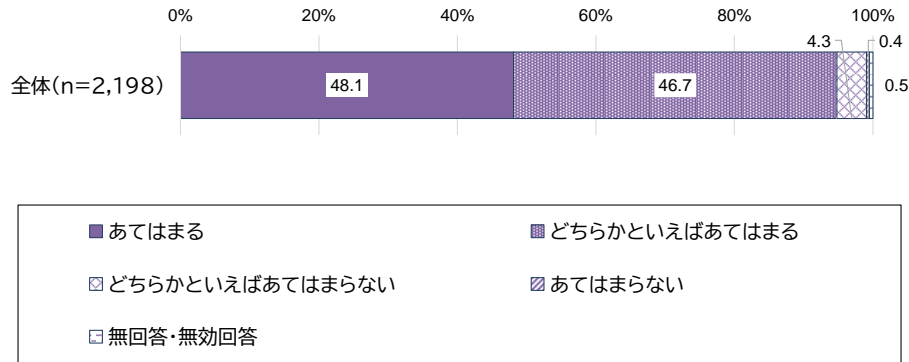


「普段から、お子さんの話を最後まで聞くようにしている」についてみると、「あてはまる」が 48.1%、「どちらかといえばあてはまる」が 46.7%であった。

【5 歳児保護者問 14H】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 2-49 「普段から、お子さんの話を最後まで聞くようにしている」の実施状況 (単純集計)



「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」についてみると、「あてはまる」が 30.5%、「どちらかといえばあてはまる」が 31.2%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「あてはまる」が 17.3%、「どちらかといえばあてはまる」が 24.0%であった。

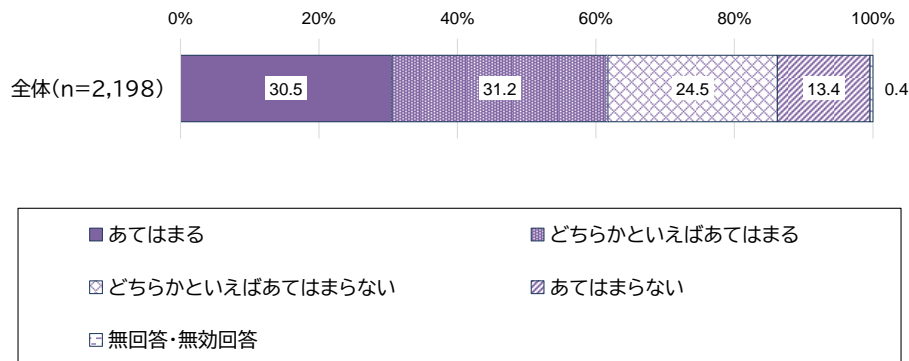
困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 13.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 20.3%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 17.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 26.0%であった。

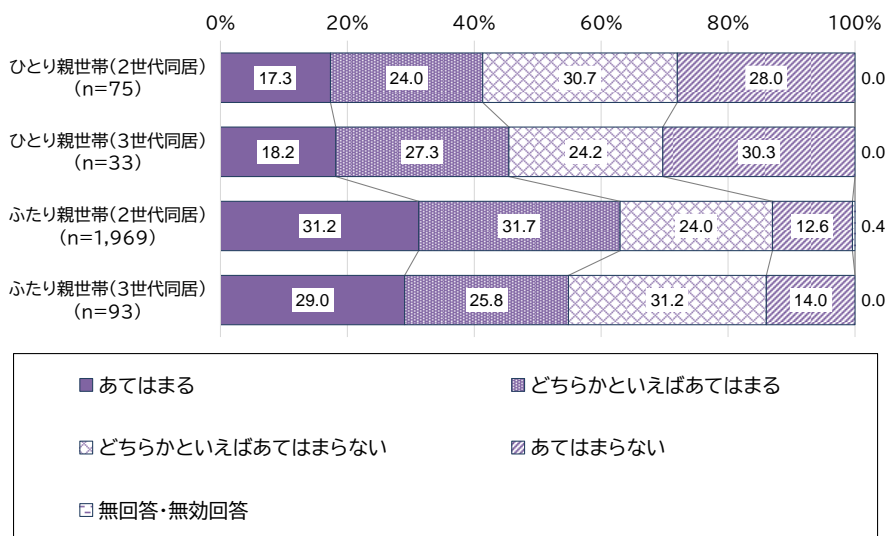
【5 歳児保護者問 14I】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

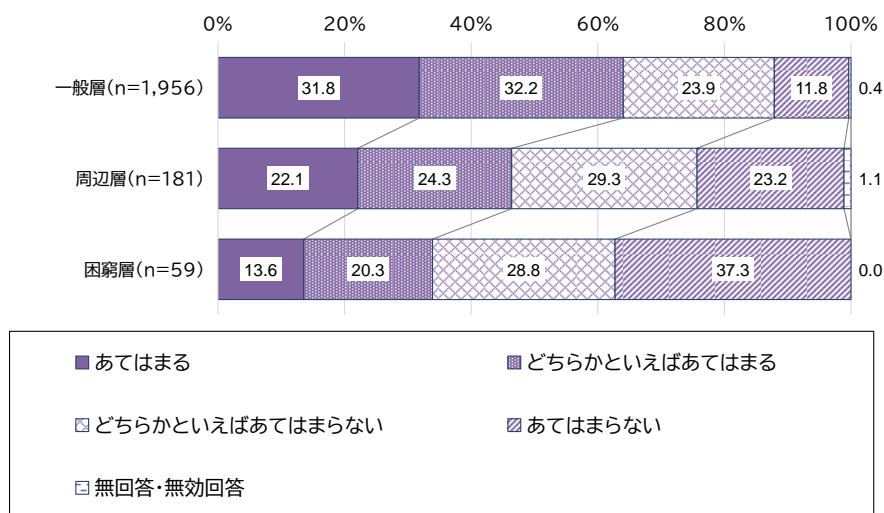
図表 2-50 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況 (単純集計)



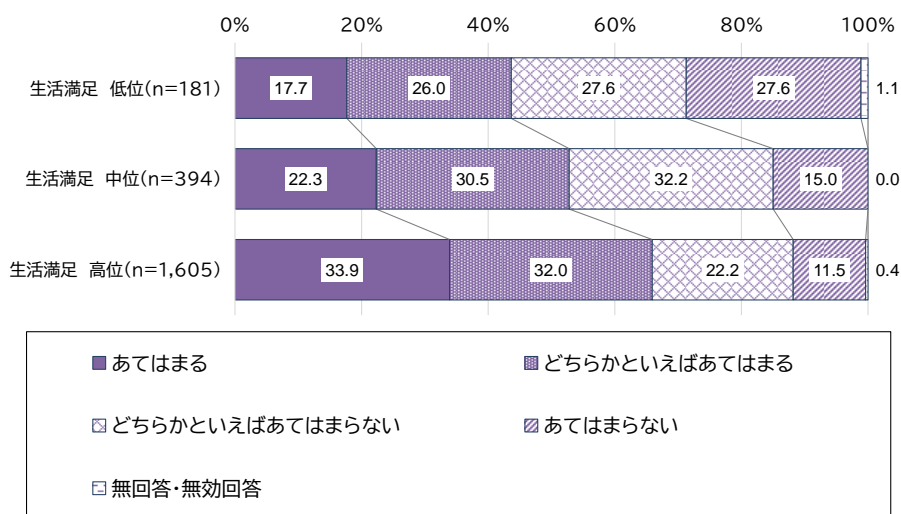
図表 2-51 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-52 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 2-53 「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

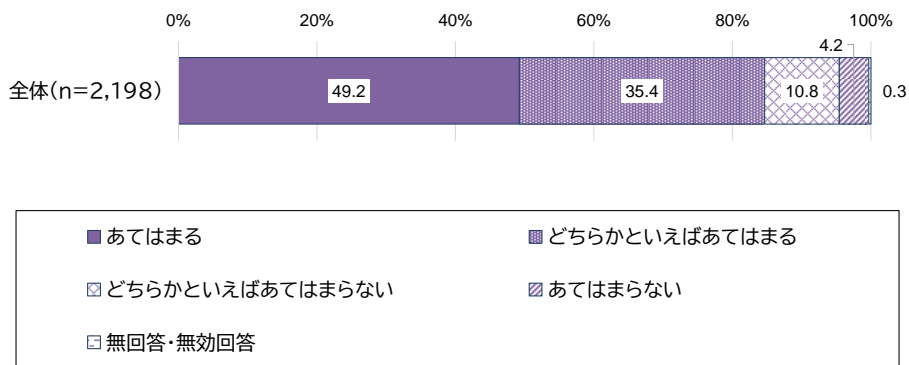


「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」についてみると、全体では「あてはまる」が 49.2%、「どちらかといえばあてはまる」が 35.4%であった。
 困窮層(n=59)では、「あてはまる」が 28.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 30.5%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「あてはまる」が 34.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 38.1%であった。

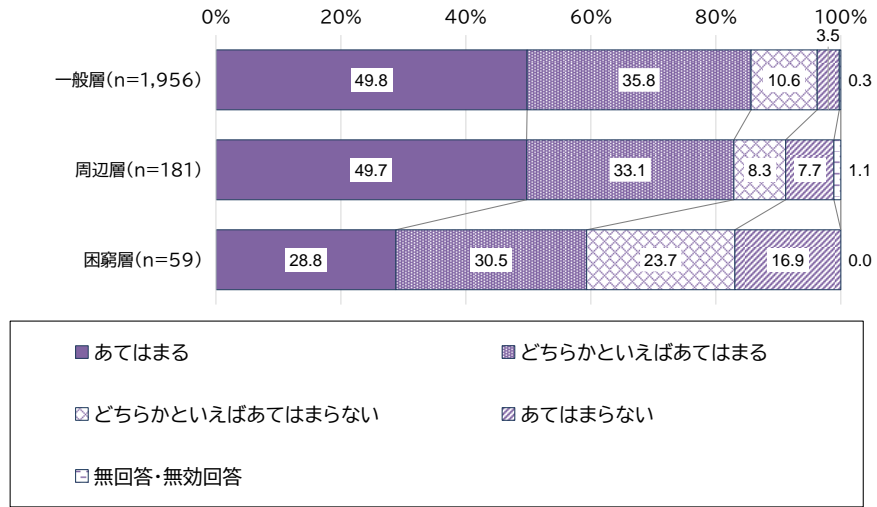
【5 歳児保護者問 14J】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

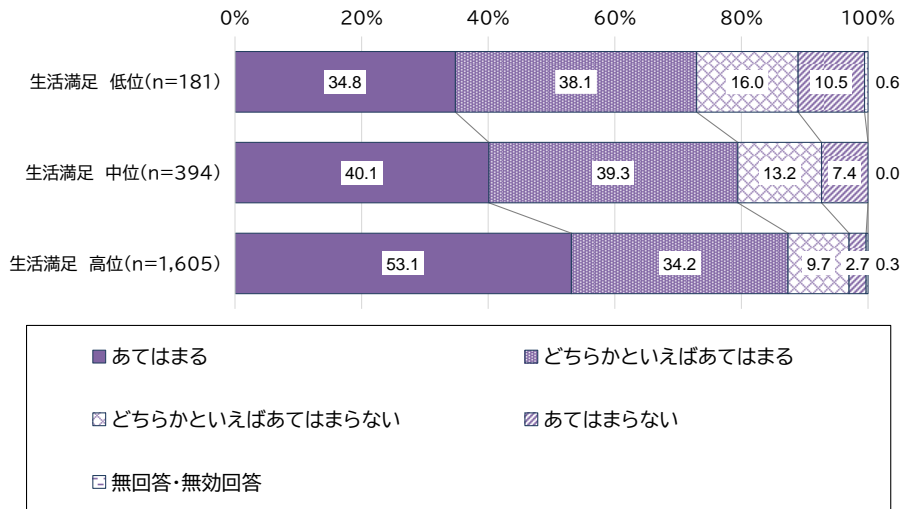
図表 2-54 「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」の実施状況（単純集計）



図表 2-55 「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」の実施状況
(生活困難層別クロス集計)



図表 2-56 「地域のおまつりやイベントと一緒に参加している」の実施状況
(生活満足度別クロス集計)



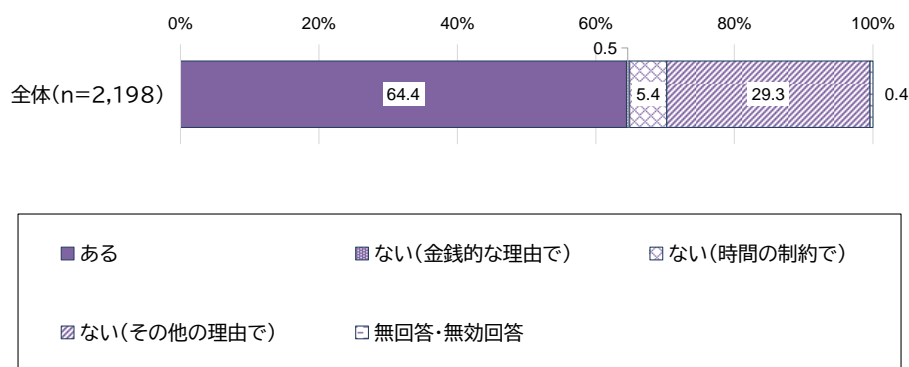
シ 体験の剥奪

「海水浴に行く」についてみると、「ない(金銭的な理由で)」が 0.5%であった。

【5 歳児保護者問 15A】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-57 「海水浴に行く」の実施状況 (単純集計)



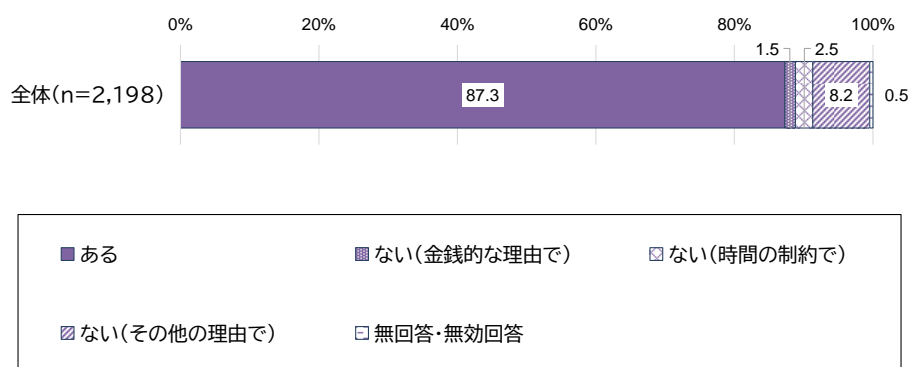
「博物館・美術館・水族館などに行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が 1.5%であった。

困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が 28.8%であった。

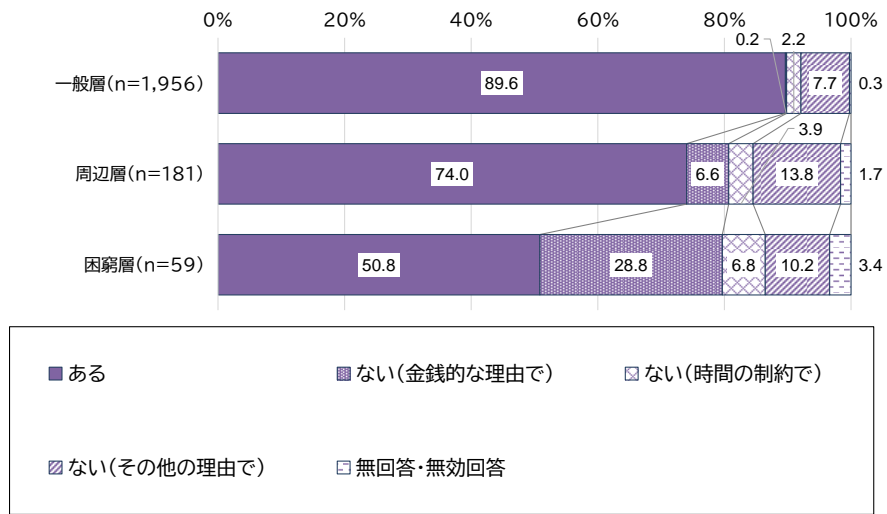
【5 歳児保護者問 15B】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-58 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況 (単純集計)



図表 2-59 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）⁷

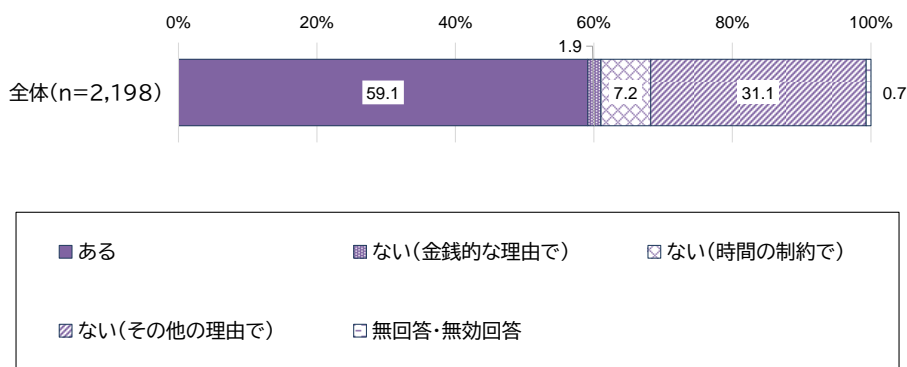


「キャンプやバーベキューに行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が 1.9%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「ない(金銭的な理由で)」が 6.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が 35.6%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「ない(金銭的な理由で)」が 11.6%であった。

【5 歳児保護者問 15C】

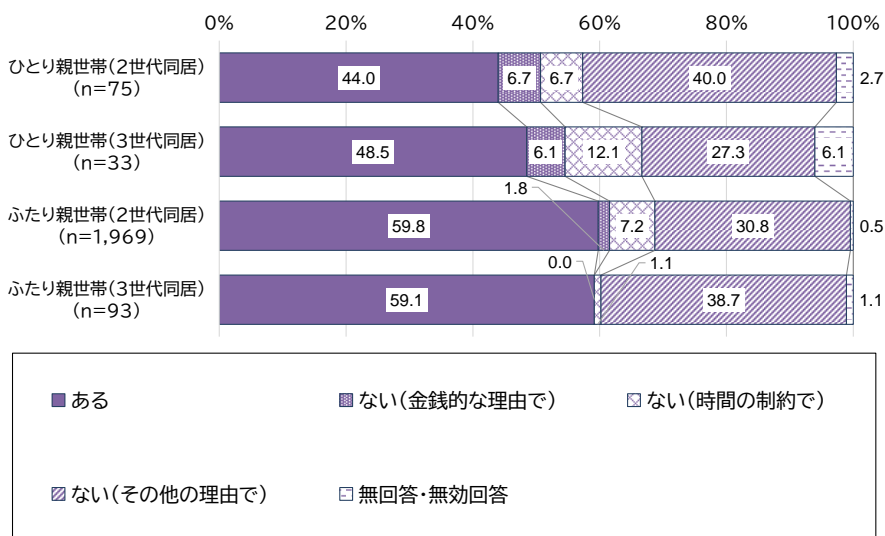
過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-60 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（単純集計）

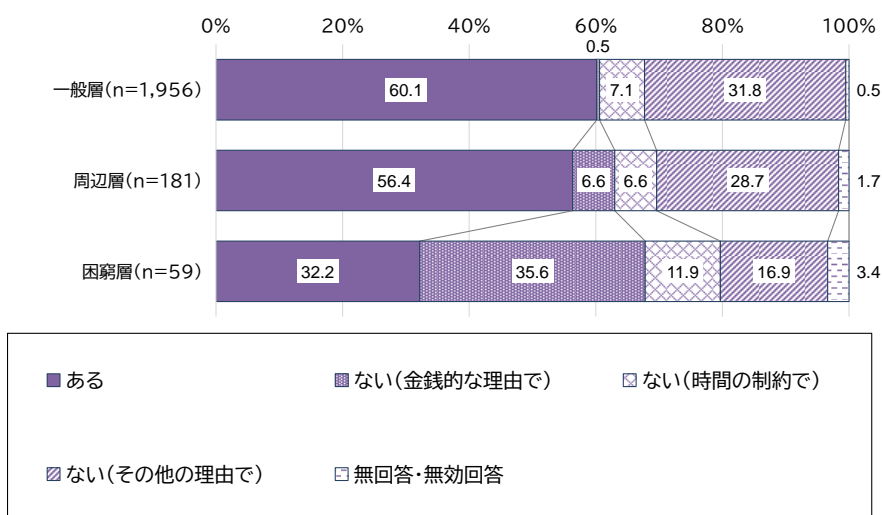


⁷ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-61 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

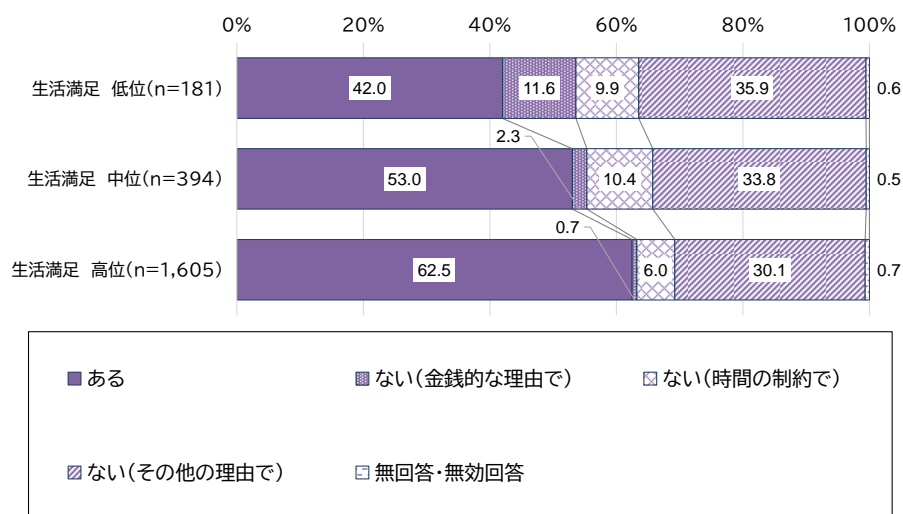


図表 2-62 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）⁸



⁸ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-63 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



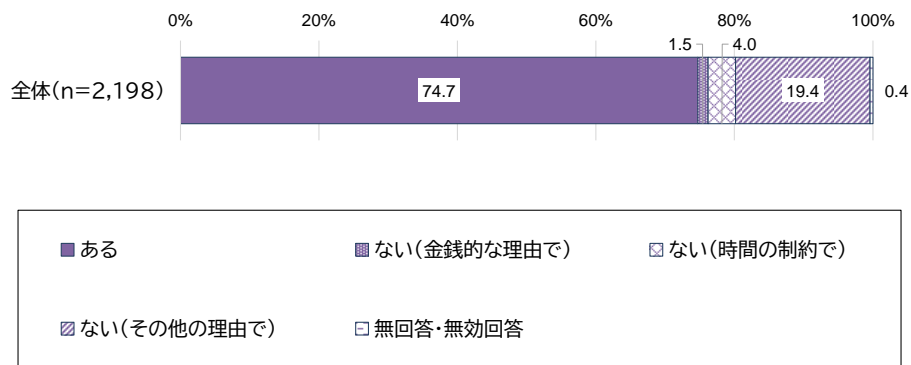
「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が1.5%であった。

困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が28.8%であった。

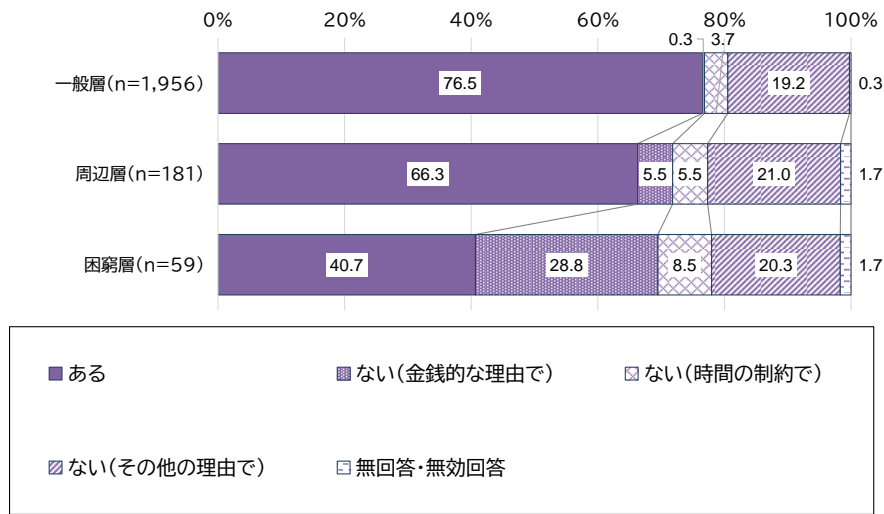
【5歳児保護者問 15D】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-64 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（単純集計）



図表 2-65 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）⁹

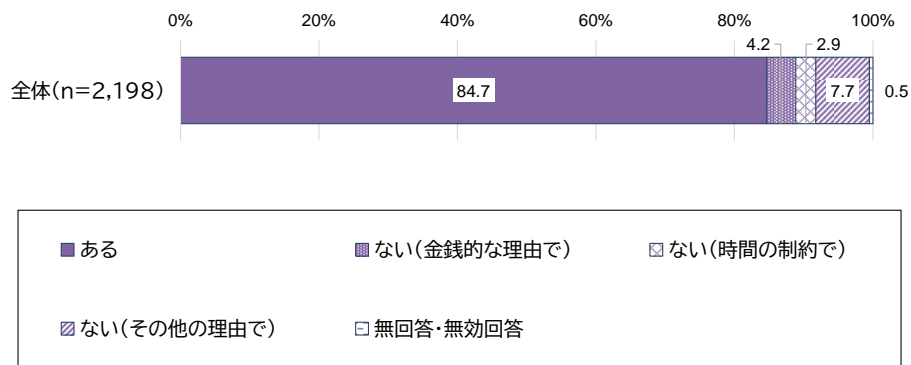


「遊園地やテーマパークに行く」についてみると、全体では、「ない(金銭的な理由で)」が 4.2%であった。
 困窮層(n=59)では、「ない(金銭的な理由で)」が 50.8%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「ない(金銭的な理由で)」が 15.5%であった。

【5 歳児保護者問 15E】

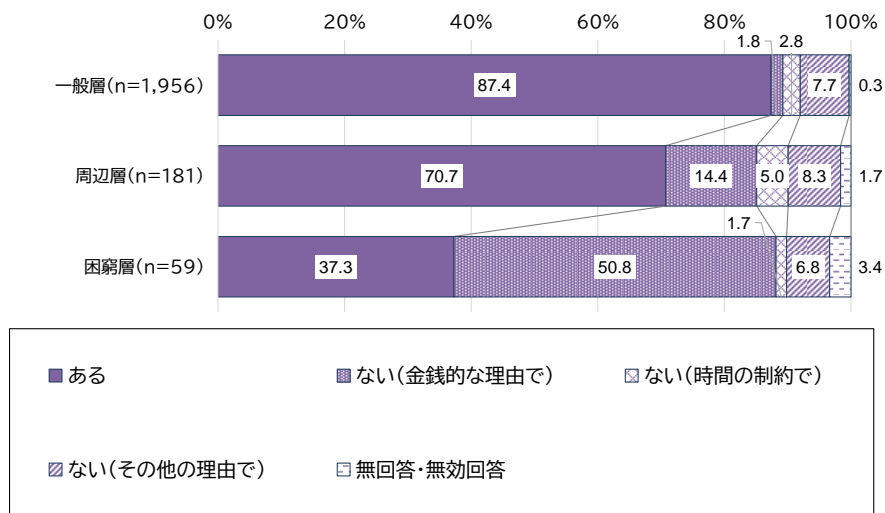
過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 2-66 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況（単純集計）

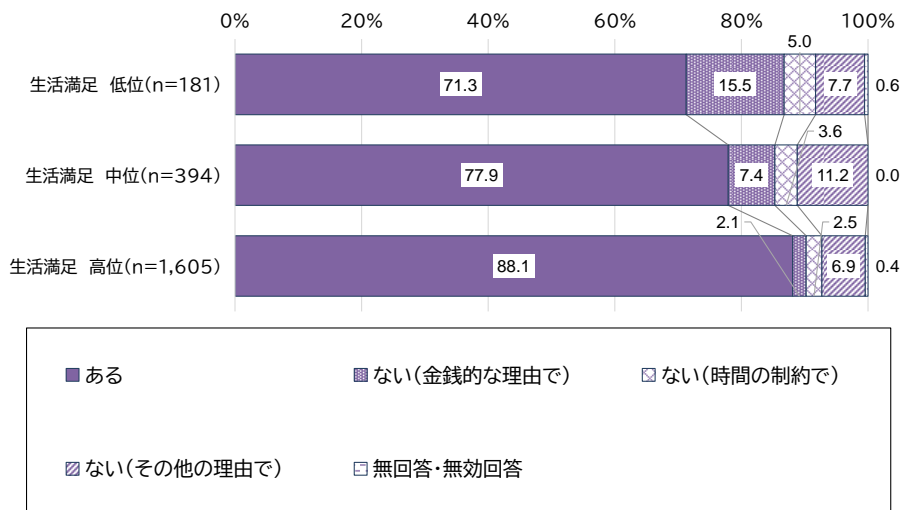


⁹ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-67 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）¹⁰



図表 2-68 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



¹⁰ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

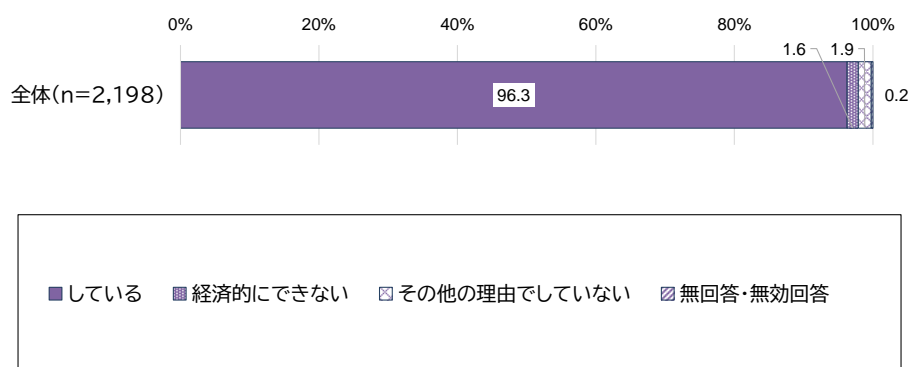
ス 家庭での経験の剥奪

「毎年新しい洋服・靴を買う」についてみると、全体では、「経済的にできない」は1.6%であった。
 困窮層(n=59)では、「経済的にできない」は32.2%であった。

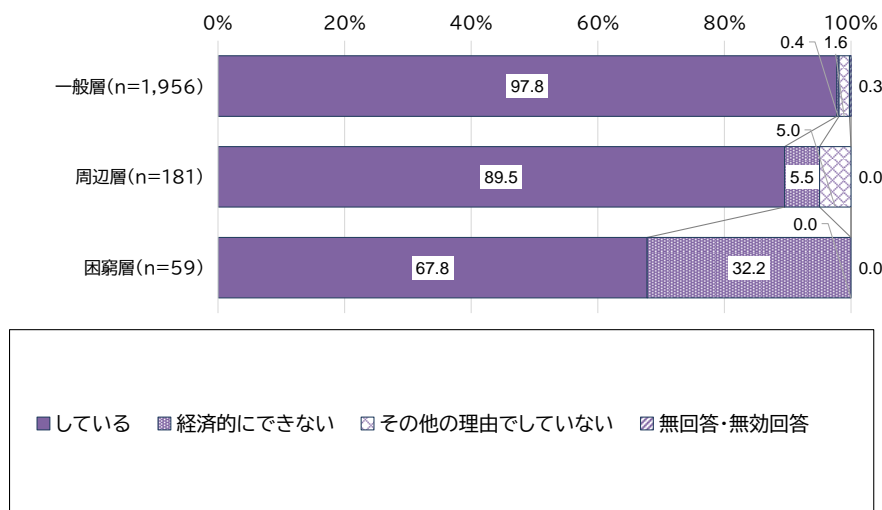
【5歳児保護者問16A】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-69 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況（単純集計）



図表 2-70 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況（生活困難層別クロス集計）¹¹



¹¹ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」についてみると、全体では、「経済的にできない」が 4.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「経済的にできない」が 21.3%であった。

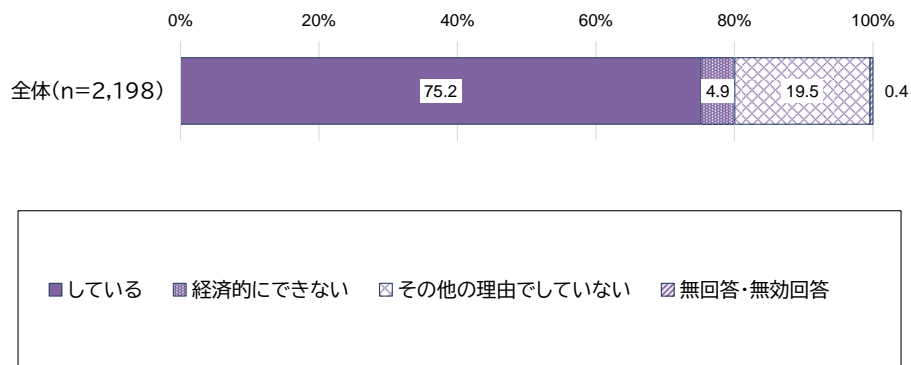
困窮層(n=59)では、「経済的にできない」が 69.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「経済的にできない」が 20.4%であった。

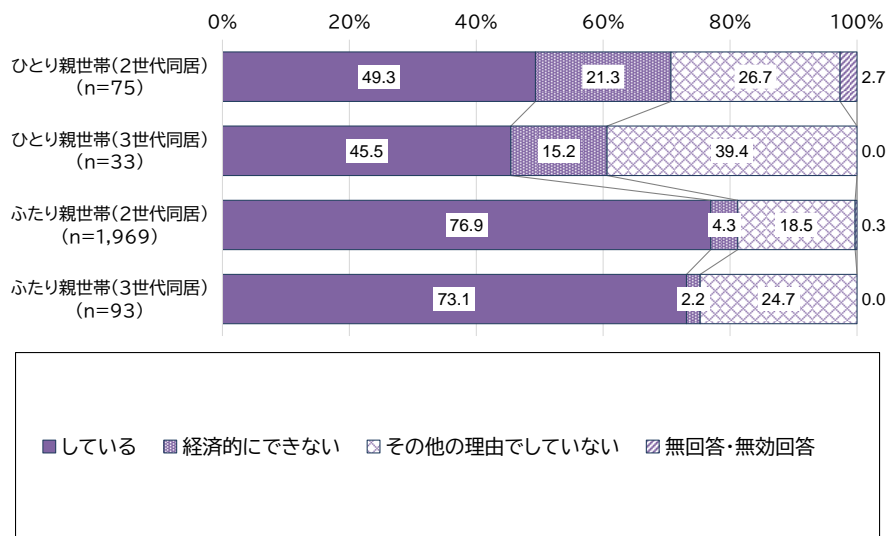
【5 歳児保護者問 16B】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

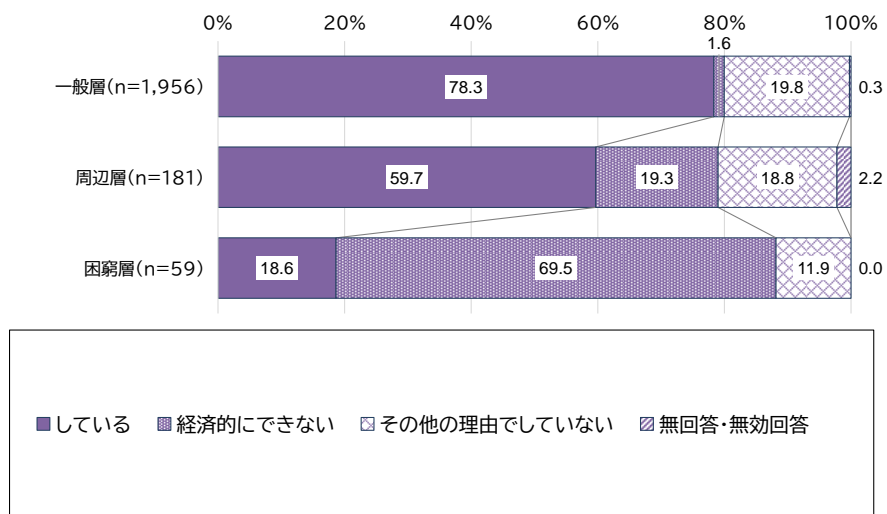
図表 2-71 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (単純集計)



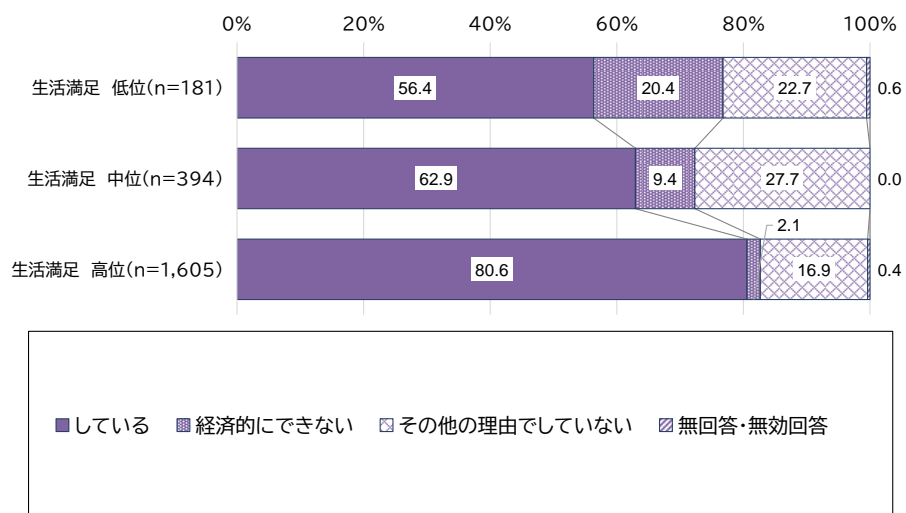
図表 2-72 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-73 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)¹²



図表 2-74 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



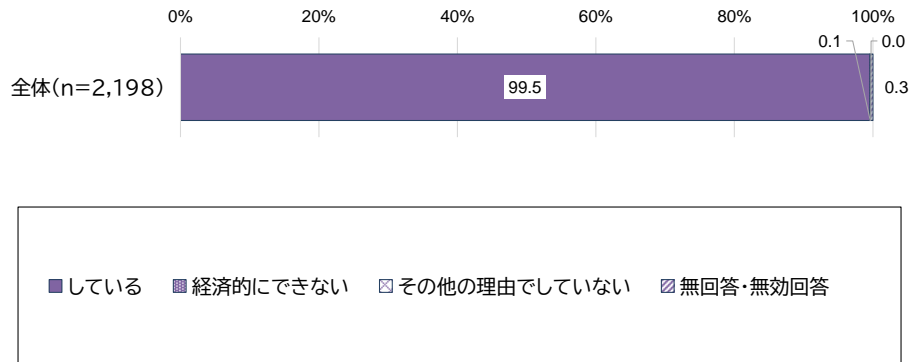
¹² 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「お誕生日のお祝いをする」についてみると、「経済的にできない」は0.1%であった。

【5歳児保護者問 16C】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-75 「お誕生日のお祝いをする」の実施状況 (単純集計)



「1年に1回くらい家族旅行に行く」についてみると、全体では、「経済的にできない」が6.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「経済的にできない」が28.0%であった。

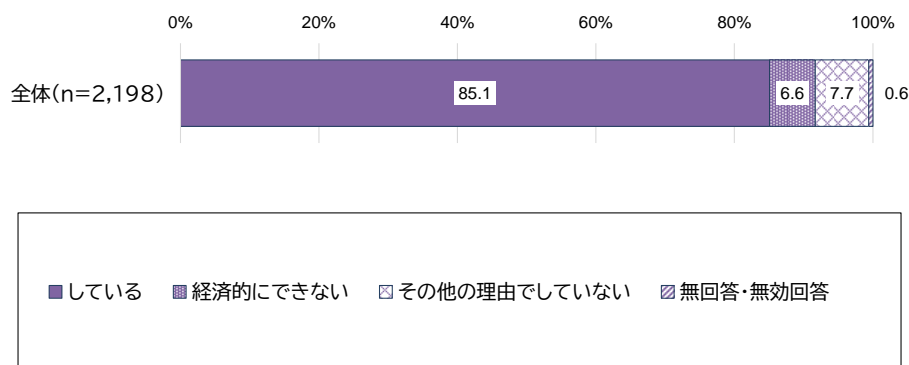
困窮層(n=59)では、「経済的にできない」が76.3%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「経済的にできない」が27.1%であった。

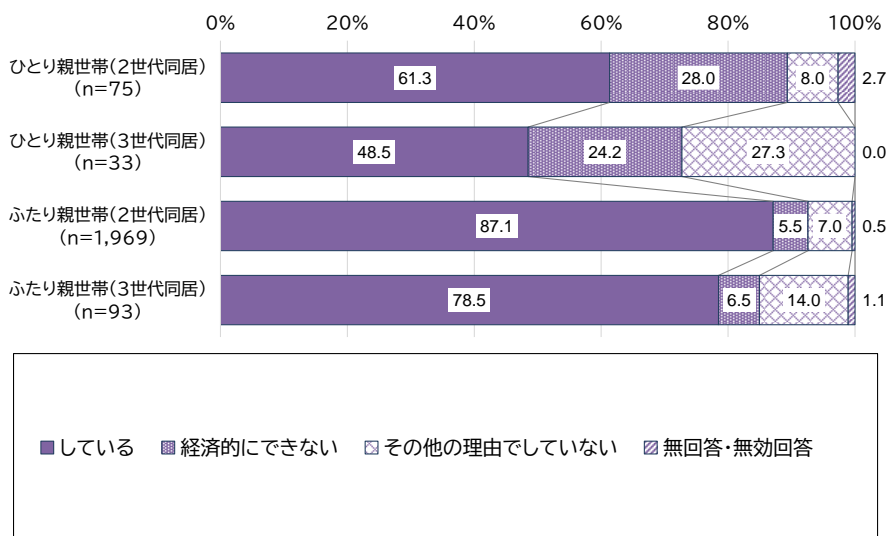
【5歳児保護者問 16D】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

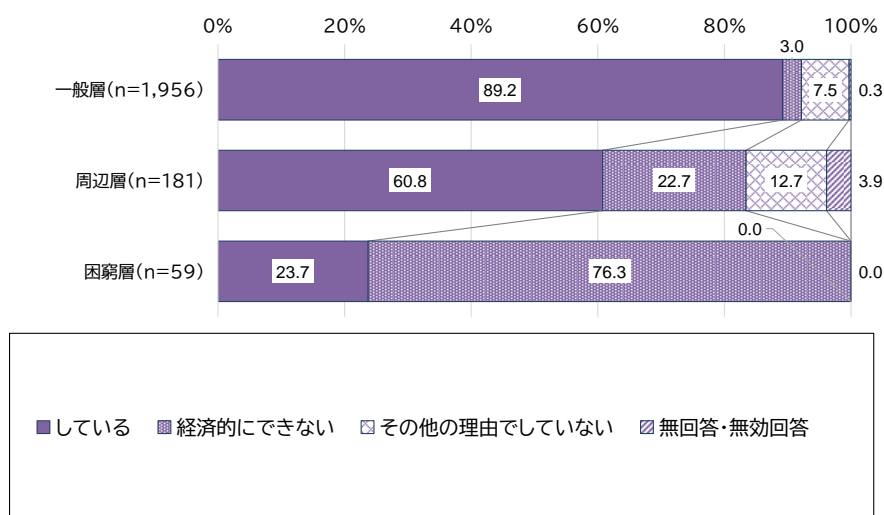
図表 2-76 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況 (単純集計)



図表 2-77 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

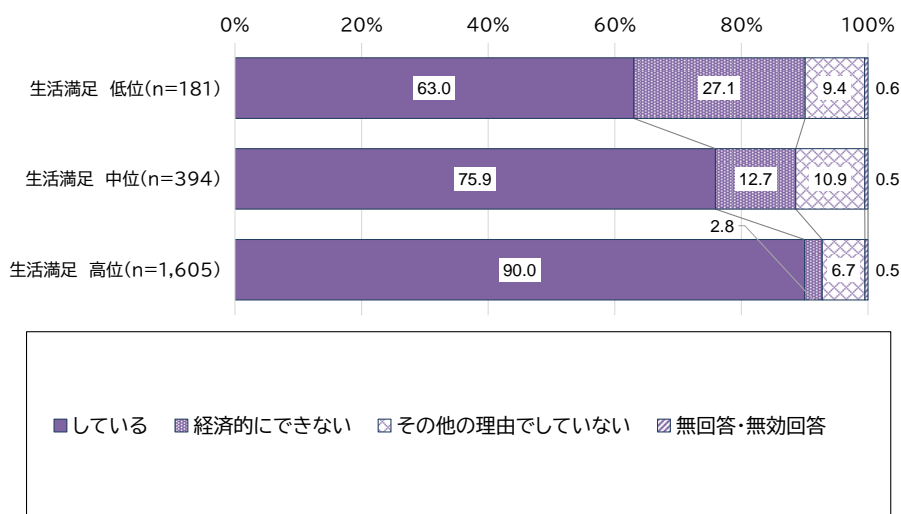


図表 2-78 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）¹³



¹³ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-79 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

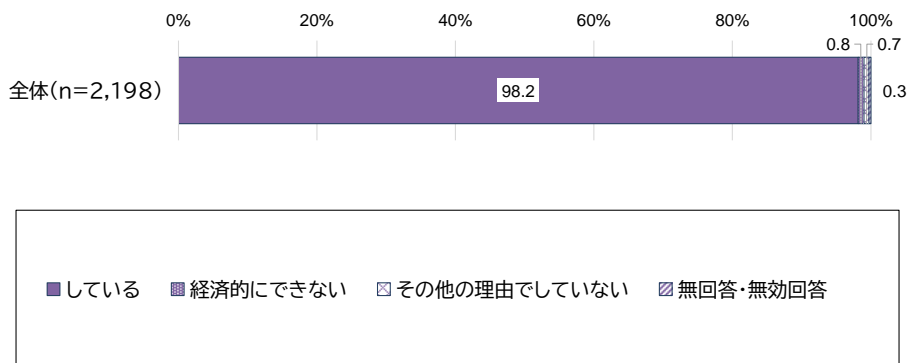


「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」についてみると、「経済的にできない」は 0.8%であった。

【5 歳児保護者問 16E】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Fについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（単一回答）

図表 2-80 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」の実施状況（単純集計）

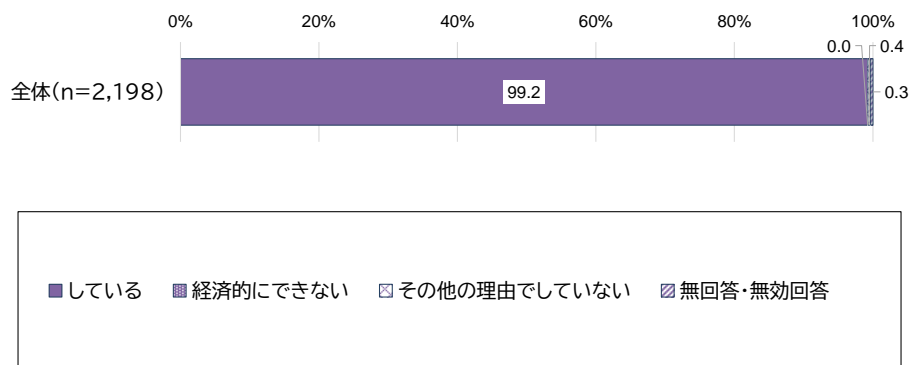


「子どもの園行事などへ保護者が参加する」についてみると、「経済的にできない」は 0.0%であった。

【5 歳児保護者問 16F】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～F について、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-81 「子どもの園行事などへ保護者が参加する」の実施状況 (単純集計)



セ 経済的理由で世帯にないもの

経済的理由で世帯にないものに尋ねたところ、全体では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が73.2%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が6.6%、「自家用車」が6.0%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が2.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が46.7%であった。世帯にないものに関する回答では、「自家用車」が28.0%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が21.3%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が12.0%であった。

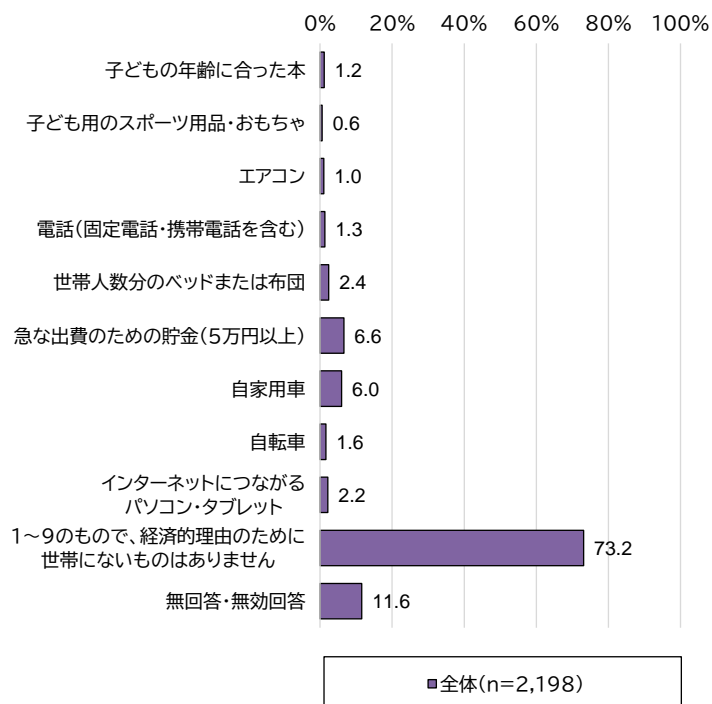
困窮層(n=59)では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合は8.5%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が67.8%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が37.3%、「自家用車」「インターネットにつながるパソコン・タブレット」がそれぞれ27.1%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「1～9のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が47.0%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が27.1%、「自家用車」が13.8%、「世帯人数分のベッドまたは布団」が9.9%であった。

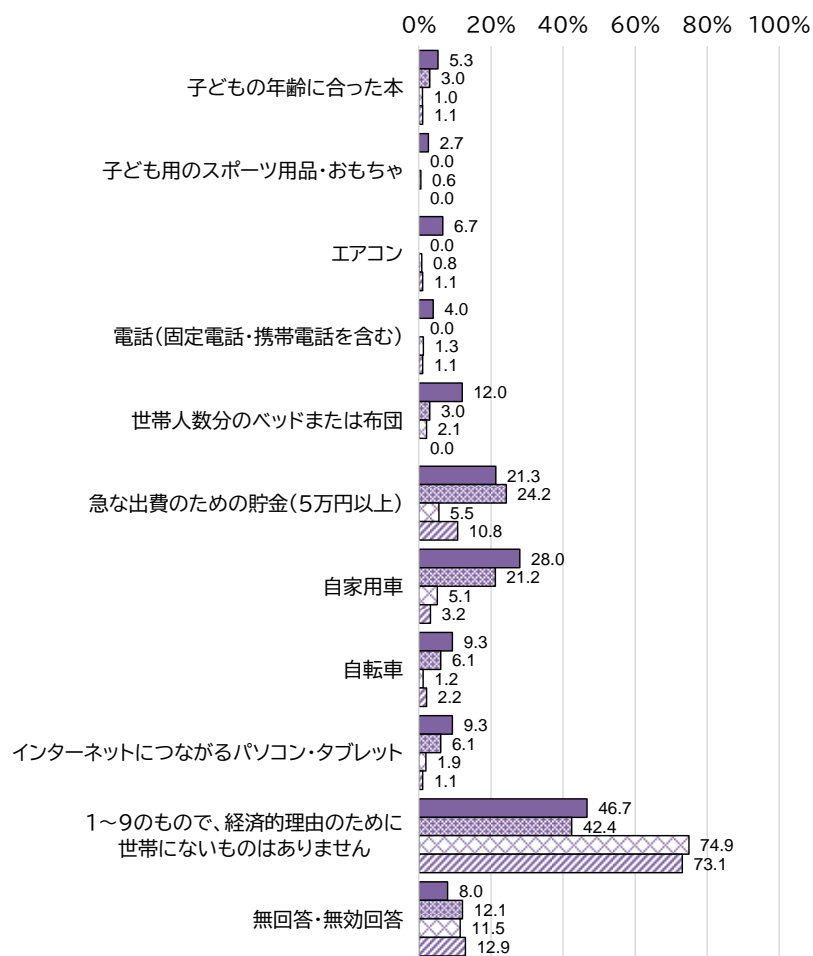
【5 歳児保護者問 17】

次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。(複数回答)

図表 2-82 経済的理由で世帯にないもの (単純集計)

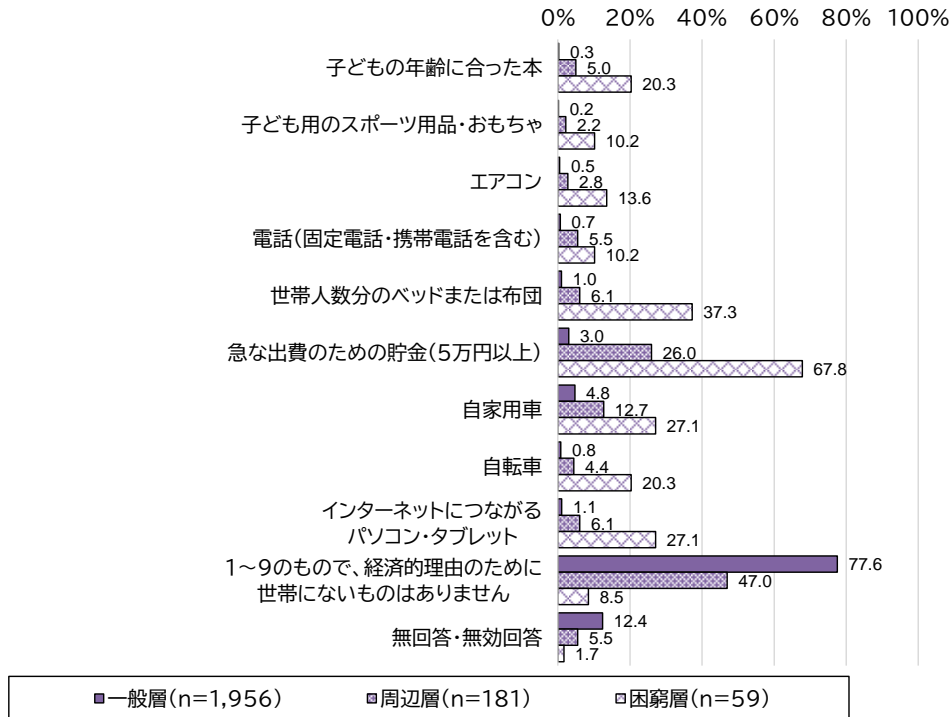


図表 2-83 経済的理由で世帯にないもの（世帯タイプ別クロス集計）

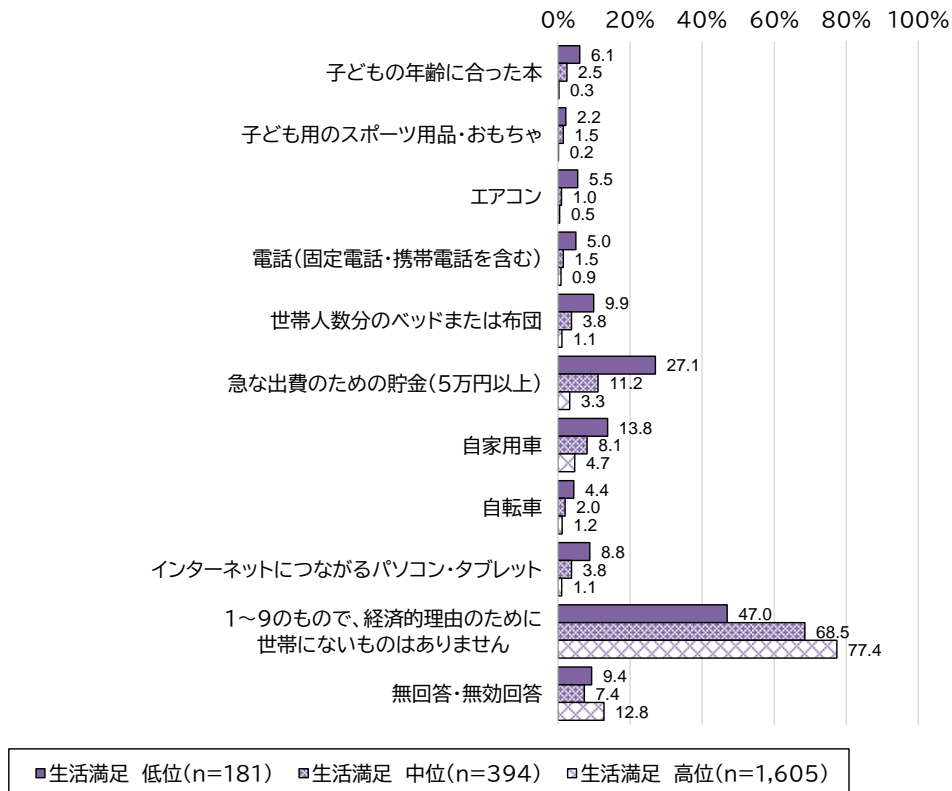


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=75) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=33)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,969) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-84 経済的理由で世帯にないもの（生活困難層別クロス集計）¹⁴



図表 2-85 経済的理由で世帯にないもの（生活満足度別クロス集計）



0

¹⁴ 「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

ソ 進学への希望

子どもの進学への希望についてみると、全体では、「大学またはそれ以上」が 73.6%と最も多く、以下、「まだわからない」が 16.8%、「高専・短大・専門学校等まで」が 5.4%と続いた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「大学またはそれ以上」が 49.3%と最も多く、以下、「まだわからない」が 29.3%、「高専・短大・専門学校等まで」が 12.0%となっていた。

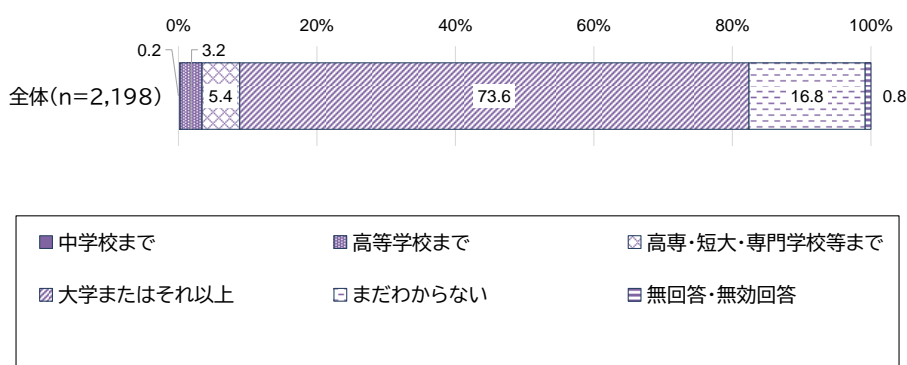
困窮層(n=59)では、「大学またはそれ以上」が 42.4%と最も多く、次いで、「まだわからない」が 35.6%、「高専・短大・専門学校等まで」が 10.2%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「大学またはそれ以上」が 59.7%と最も多く、「まだわからない」が 22.1%、「高専・短大・専門学校等まで」が 10.5%となっていた。

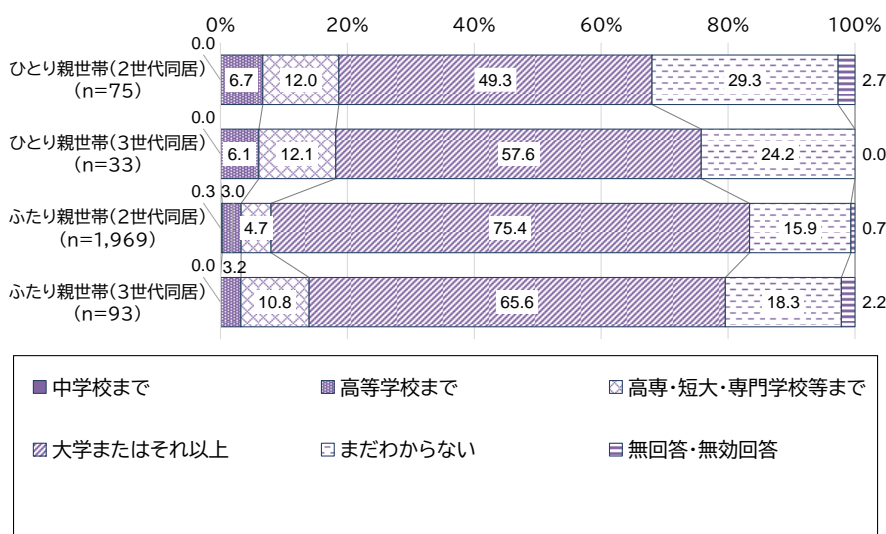
【5 歳児保護者問 18】

お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。(単一回答)

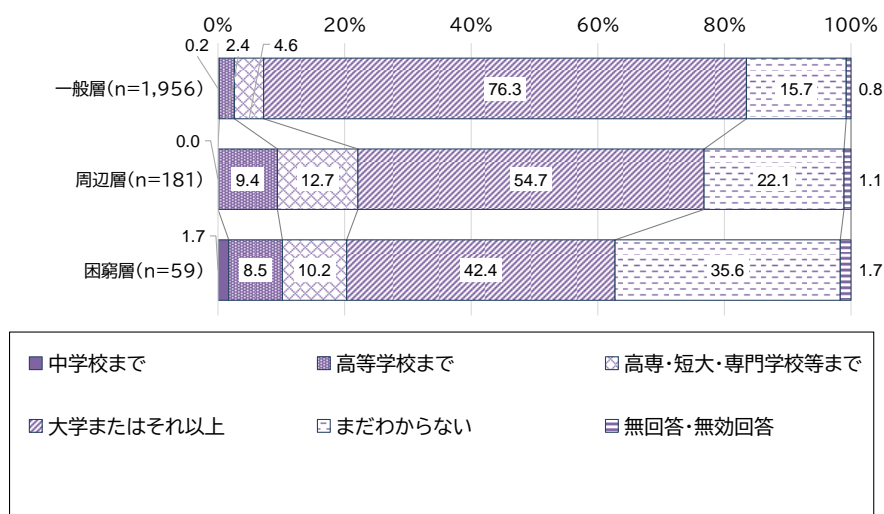
図表 2-86 子どもの進学への希望 (単純集計)



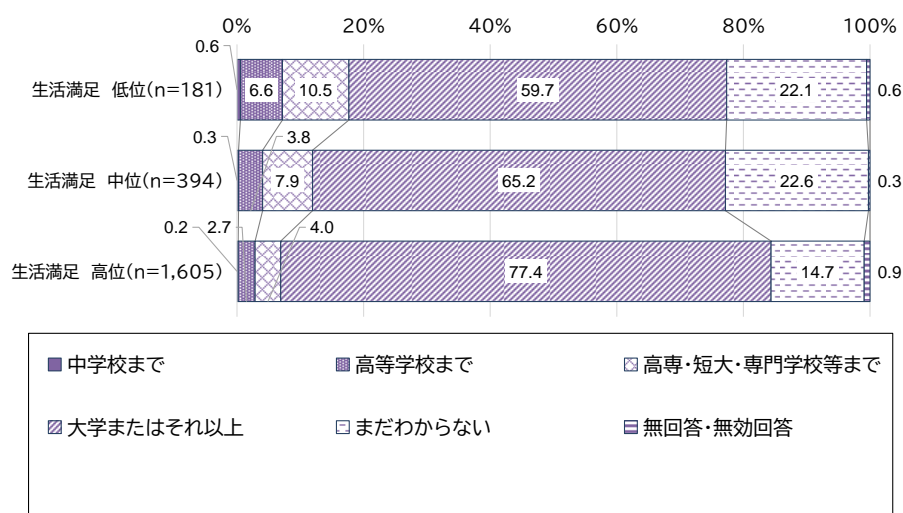
図表 2-87 子どもの進学への希望 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-88 子どもの進学への希望（生活困難層別クロス集計）



図表 2-89 子どもの進学への希望（生活満足度別クロス集計）



タ 子育てに関する悩みごと

子育てに関する悩みごとについて尋ねたところ、全体では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が39.2%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が31.5%と最も多く、「子どもの食事や栄養管理」が19.8%、「子どもの心身の発達や病気」が15.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が17.3%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が57.3%と最も多く、「子どもの心身の発達や病気」が22.7%、「子どもの食事や栄養管理」が20.0%となっていた。

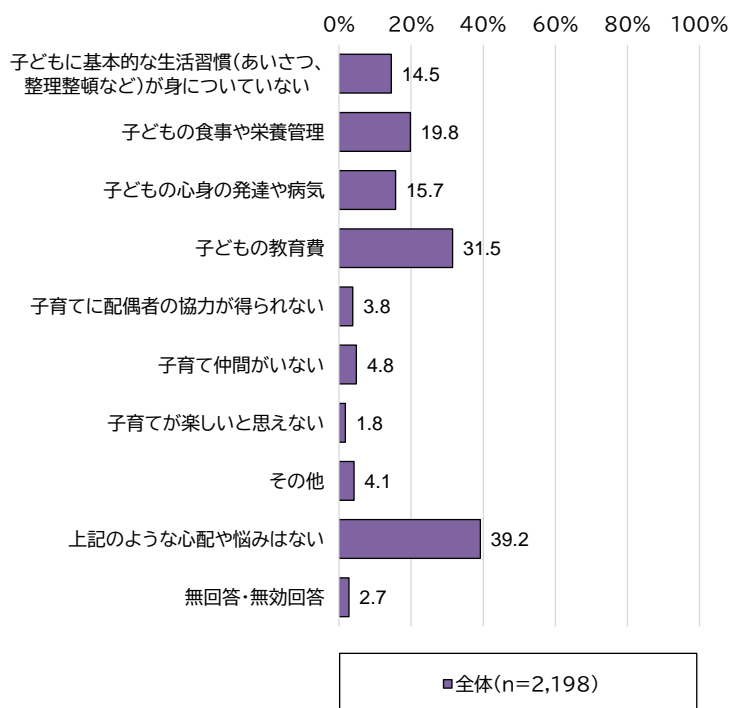
困窮層(n=59)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が3.4%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が86.4%と最も多く、「子どもの食事や栄養管理」が32.2%、「子どもの心身の発達や病気」が23.7%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が13.8%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が58.6%と最も多く、「子どもの食事や栄養管理」が32.6%、「子どもの心身の発達や病気」が28.7%となっていた。

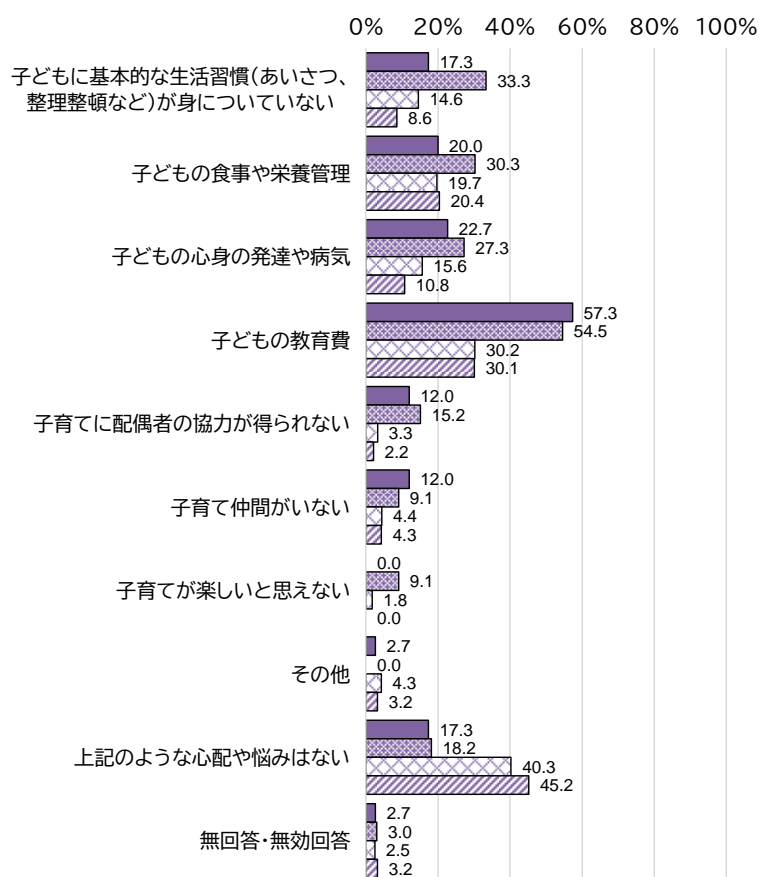
【5歳児保護者問19】

宛名のお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(複数回答)

図表 2-90 子育てに関する悩みごと (単純集計)

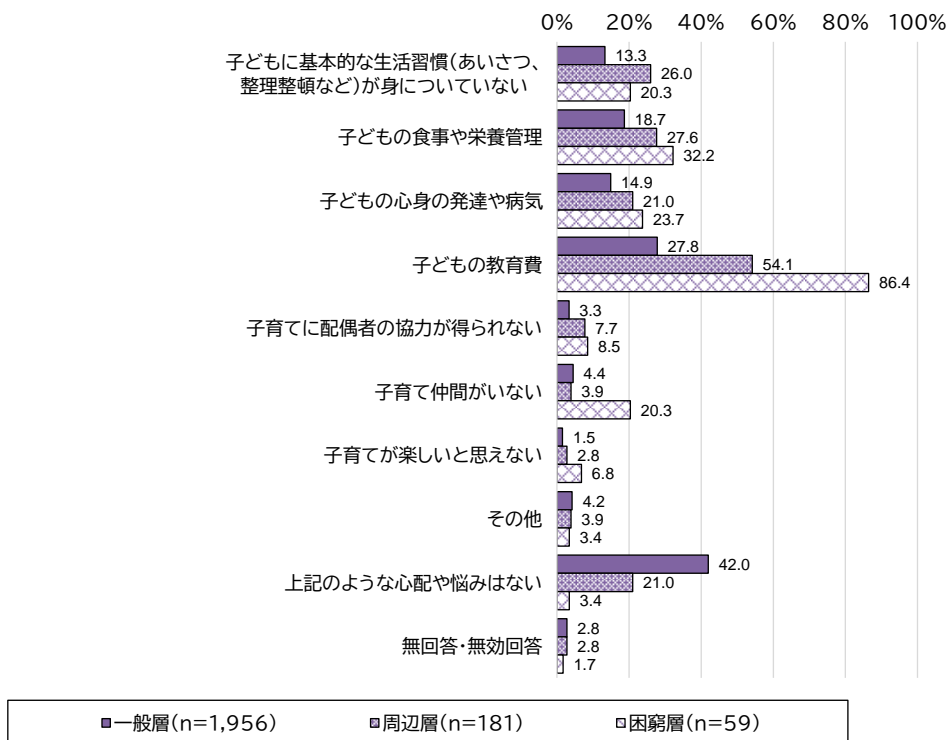


図表 2-91 子育てに関する悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）

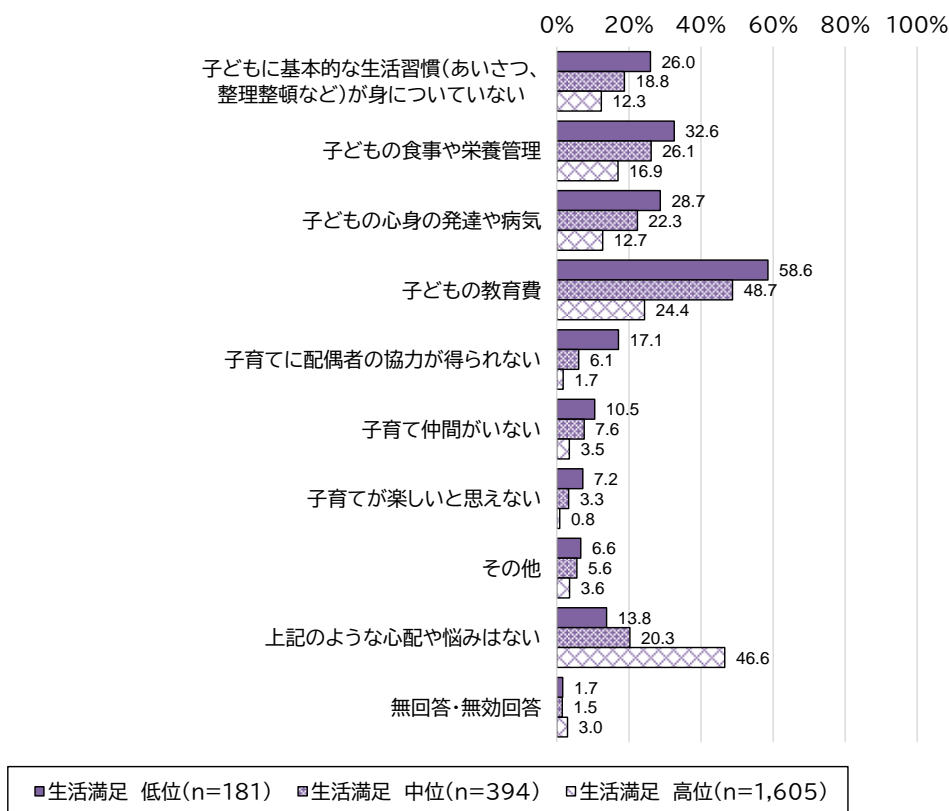


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=75) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=33)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,969) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-92 子育てに関する悩みごと（生活困難層別クロス集計）



図表 2-93 子育てに関する悩みごと（生活満足度別クロス集計）



(4) あなたのことについてうかがいます

ア 婚姻状況

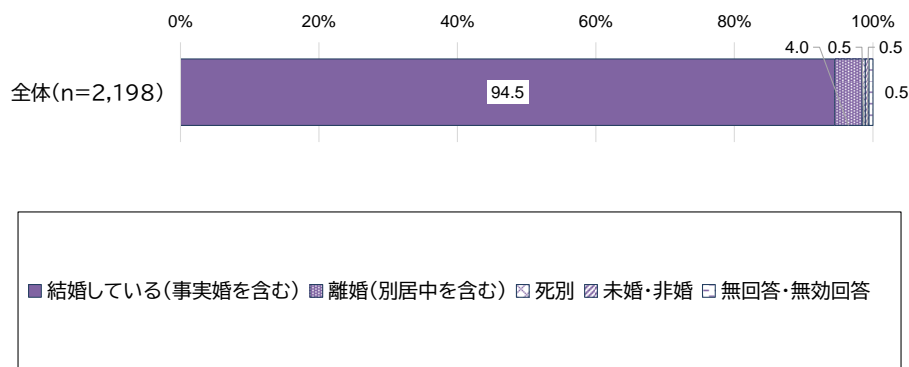
回答者の婚姻状況についてみると、「結婚している(事実婚を含む)」が94.5%と最も多くなっていた。困窮層(n=59)では、「結婚している(事実婚を含む)」が69.5%と最も多く、次いで「離婚(別居中を含む)」が22.0%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「結婚している(事実婚を含む)」が84.5%と最も多く、次に「離婚(別居中を含む)」が13.3%と続いた。

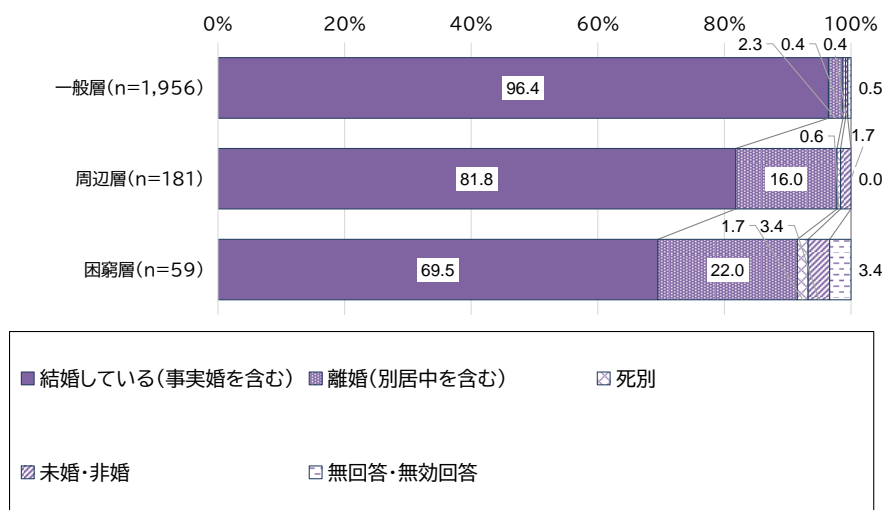
【5歳児保護者問 20】

現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(単一回答)

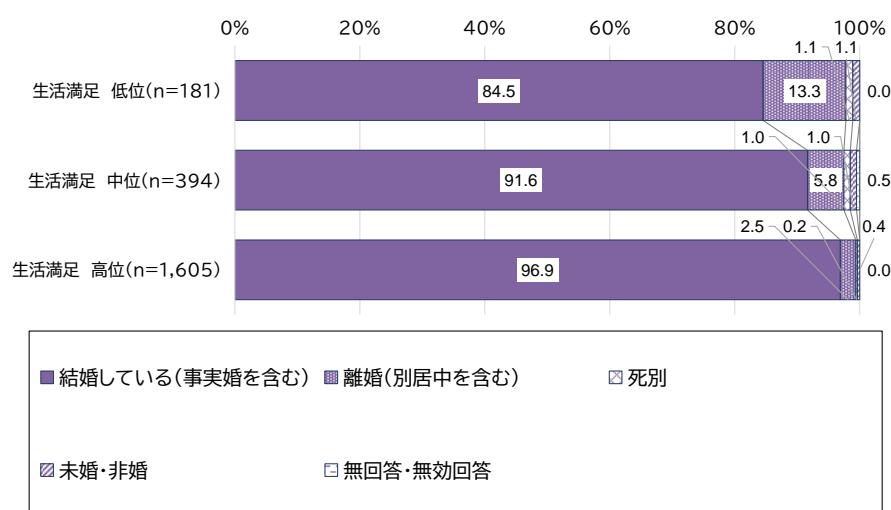
図表 2-94 回答者の婚姻状況 (単純集計)



図表 2-95 回答者の婚姻状況 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-96 回答者の婚姻状況（生活満足度別クロス集計）



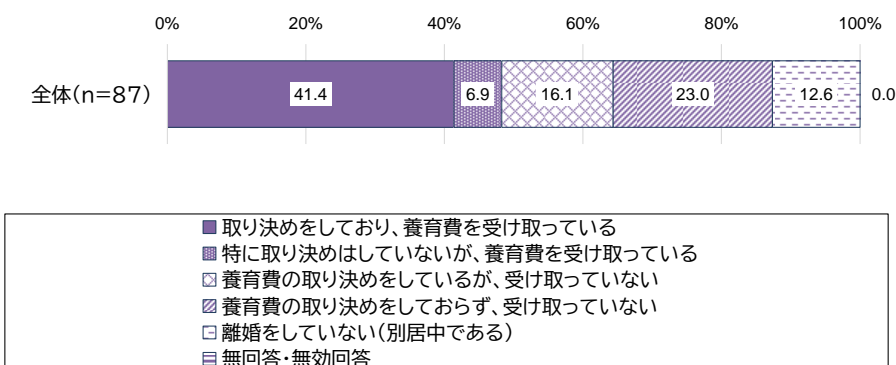
イ 養育費の取り決め

問 20 で、「2(「離婚(別居中を含む)」)と回答した方に、離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしているかどうかについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が 41.4%と最も多く、以下、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 23.0%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が 16.1%と続いていた。

【5 歳児保護者問 20-1】

問 20 で、「2. 離婚(別居中を含む)」を選んだ方にうかがいます。離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。(単一回答)

図表 2-97 離婚相手との養育費の取り決め（単純集計）



ウ 健康状態に関する認識

回答者の健康状態に関する認識についてみると、全体では、「よい」が 47.2%、「まあよい」が 26.8%、「ふつう」が 19.5%、「あまりよくない」が 5.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「ふつう」が 37.3%と最も多くなっており、「よい」が 32.0%、「まあよい」が 17.3%であった。

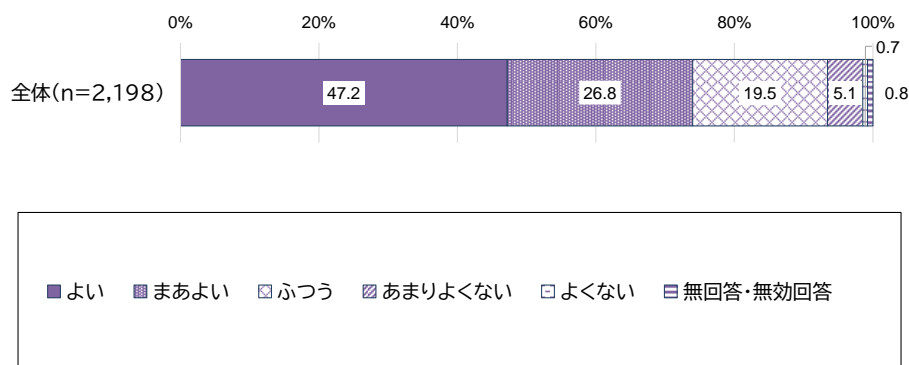
困窮層(n=59)では、「よい」が 33.9%、「ふつう」が 22.0%、「まあよい」が 20.3%、であった。

生活満足 低位(n=181)では、「ふつう」が 38.1%と最も多く、「まあよい」が 21.0%、「よい」が 18.2%となっていた。

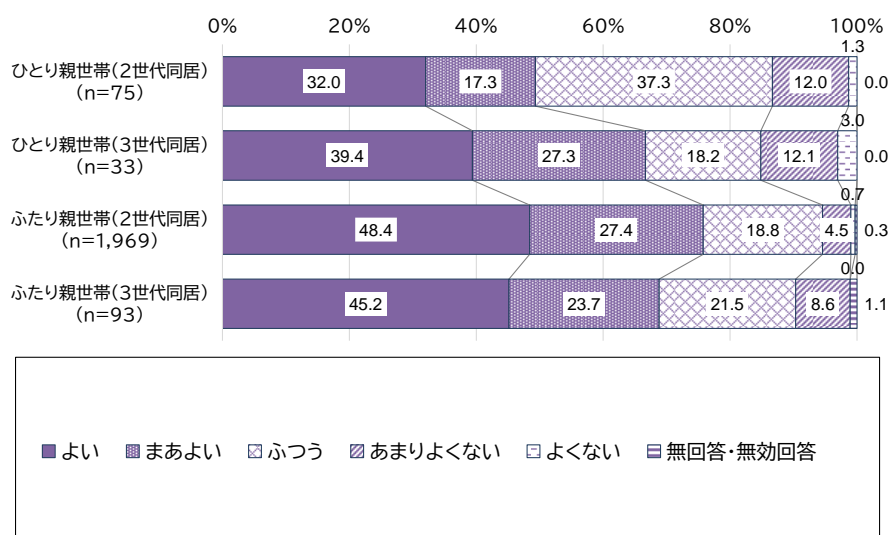
【5 歳児保護者問 21】

あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。(単一回答)

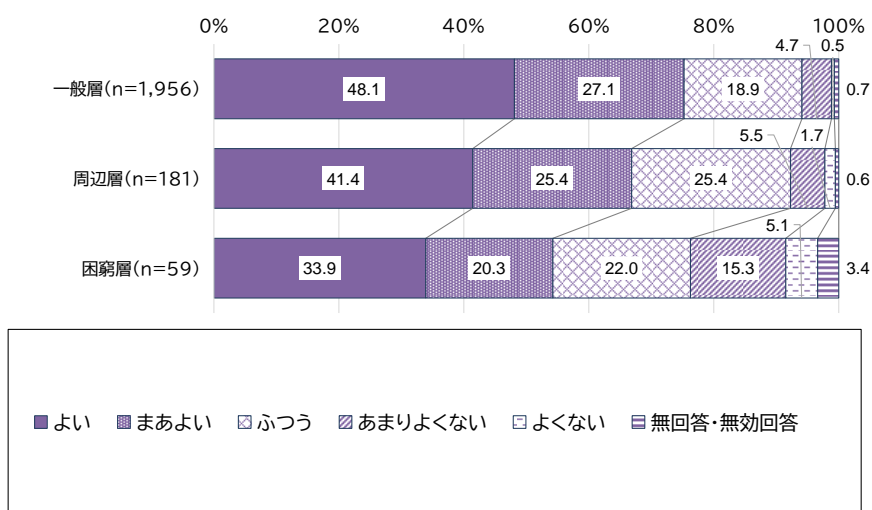
図表 2-98 回答者の健康状態に関する認識 (単純集計)



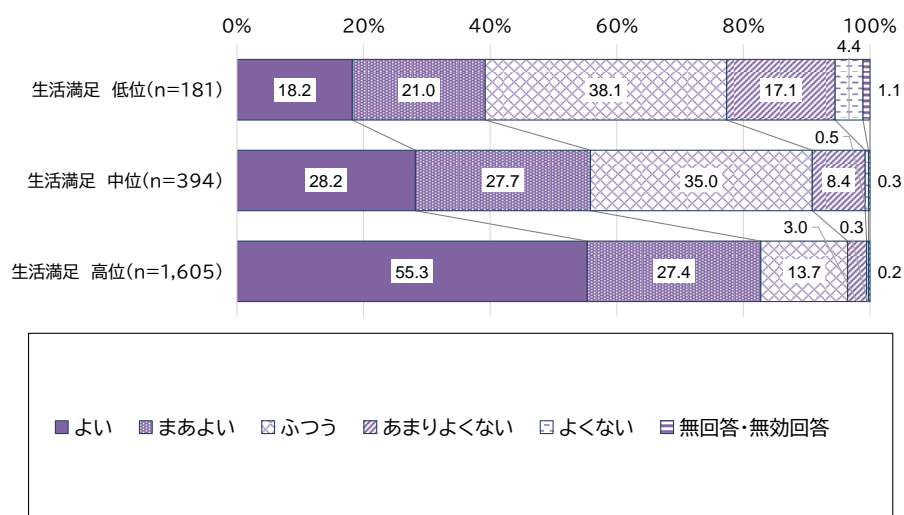
図表 2-99 回答者の健康状態に関する認識 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-100 回答者の健康状態に関する認識（生活困難層別クロス集計）



図表 2-101 回答者の健康状態に関する認識（生活満足度別クロス集計）



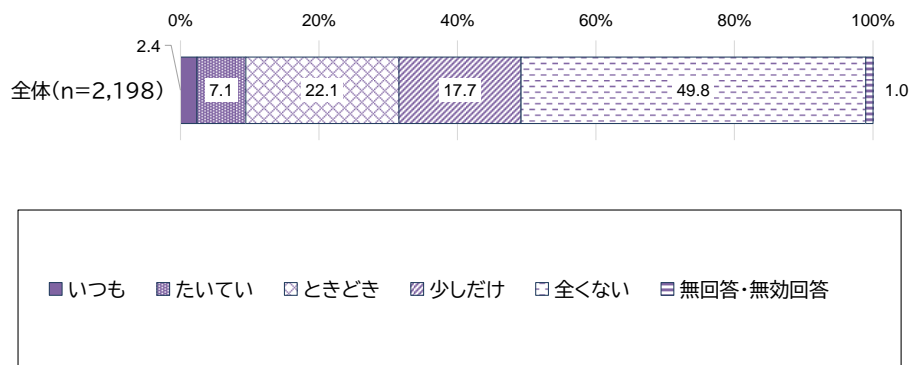
工 過去 1 か月間の心の状態

「神経過敏に感じましたか」についてみると、「全くない」が 49.8%であった。

【5 歳児保護者問 22A】

次の A～F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-102 「神経過敏に感じましたか」の頻度 (単純集計)

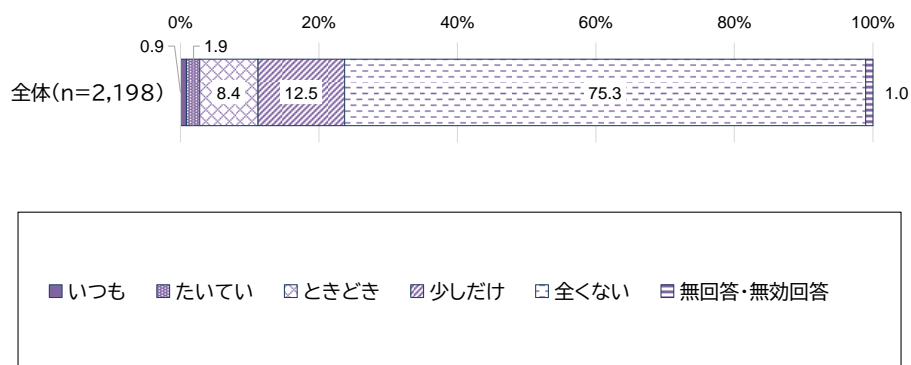


「絶望的だと感じましたか」についてみると、「全くない」が 75.3%であった。

【5 歳児保護者問 22B】

次の A～F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-103 「絶望的だと感じましたか」の頻度 (単純集計)

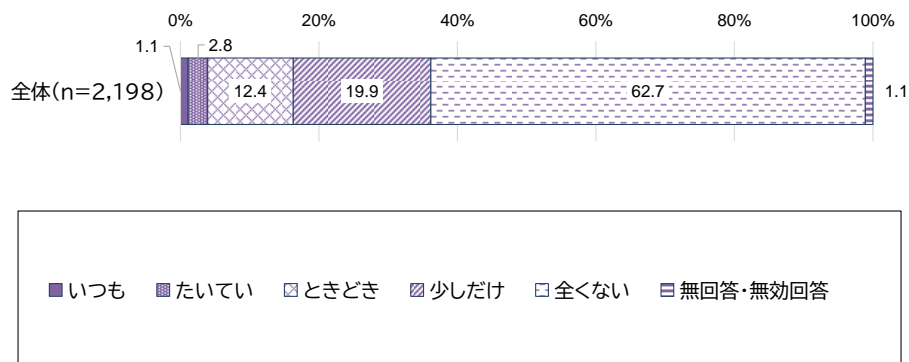


「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」についてみると、「全くない」が62.7%であった。

【5歳児保護者問 22C】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-104 「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」の頻度 (単純集計)

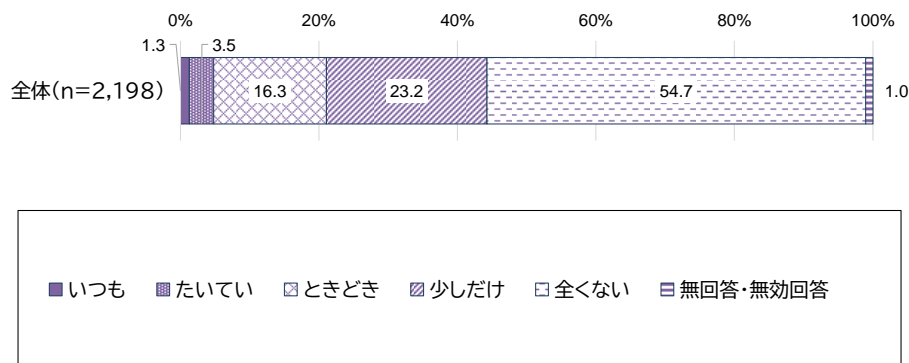


「気分が沈んで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか」についてみると、「全くない」が54.7%であった。

【5歳児保護者問 22D】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-105 「気分が沈んで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか」の頻度 (単純集計)

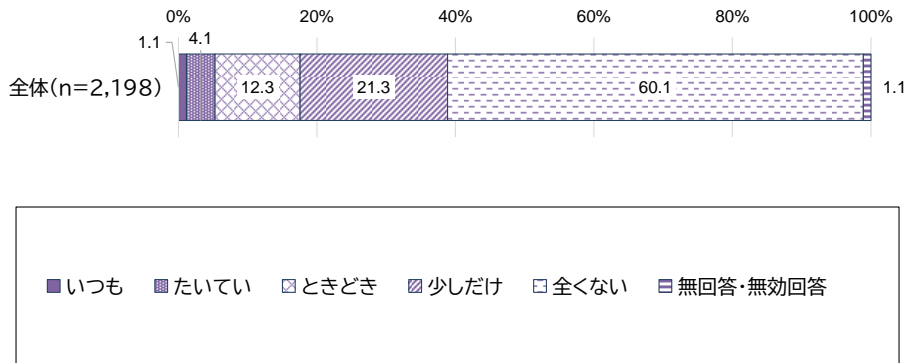


「何をするのも骨折りだと感じましたか」についてみると、「全くない」が 60.1%であった。

【5 歳児保護者問 22E】

次の A～F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 2-106 「何をするのも骨折りだと感じましたか」の頻度 (単純集計)

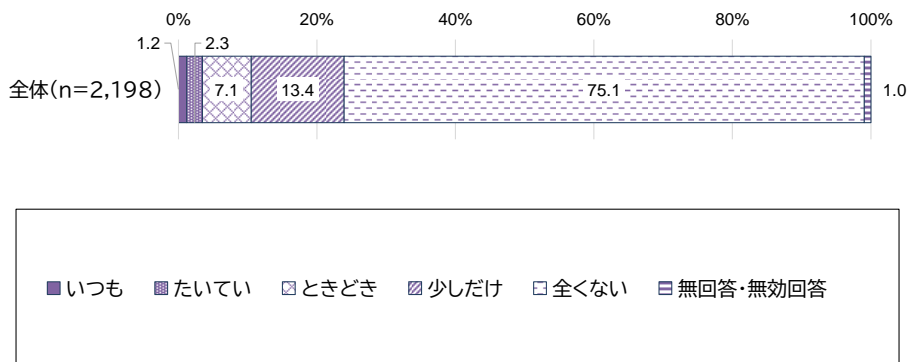


「自分は価値のない人間だと感じましたか」についてみると、全体では、「全くない」が 75.1%であった。
ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「全くない」が 54.7%であった。
困窮層(n=59)では、「全くない」が 40.7%であった。
生活満足 低位(n=181)では、「全くない」が 43.1%であった。

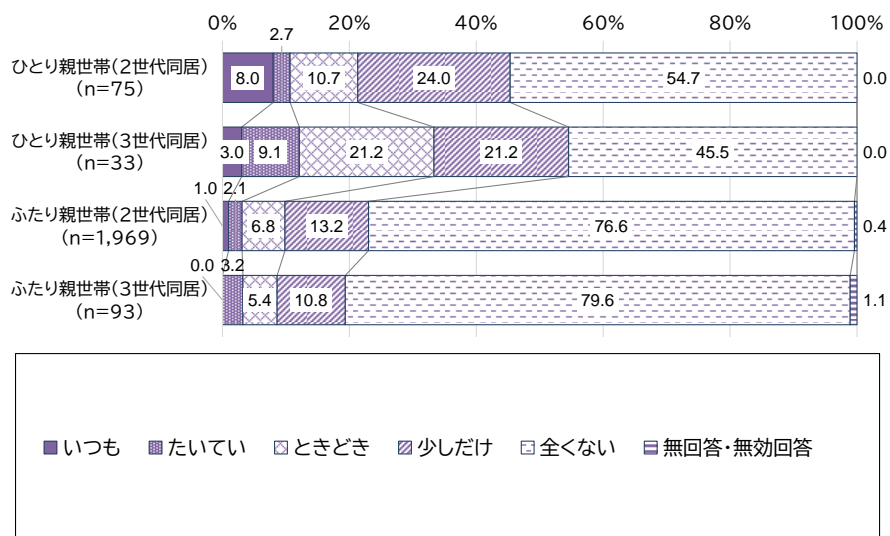
【5 歳児保護者問 22F】

次の A～F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

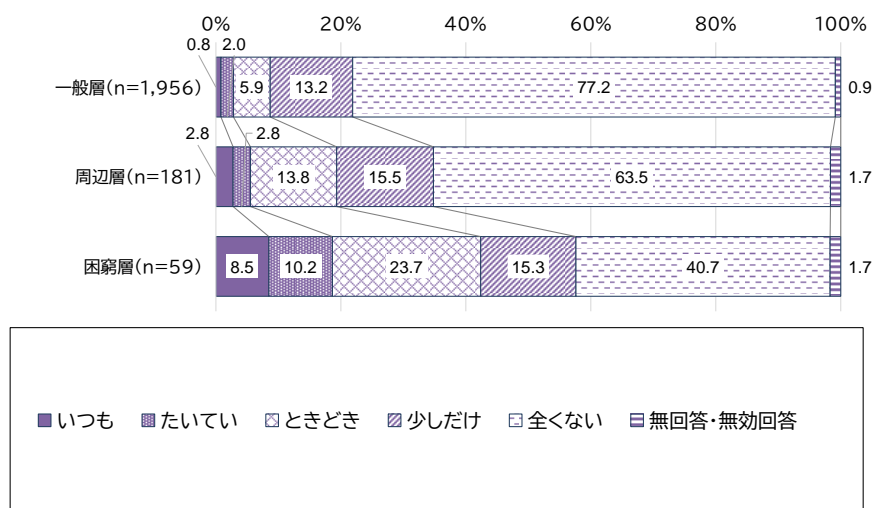
図表 2-107 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度 (単純集計)



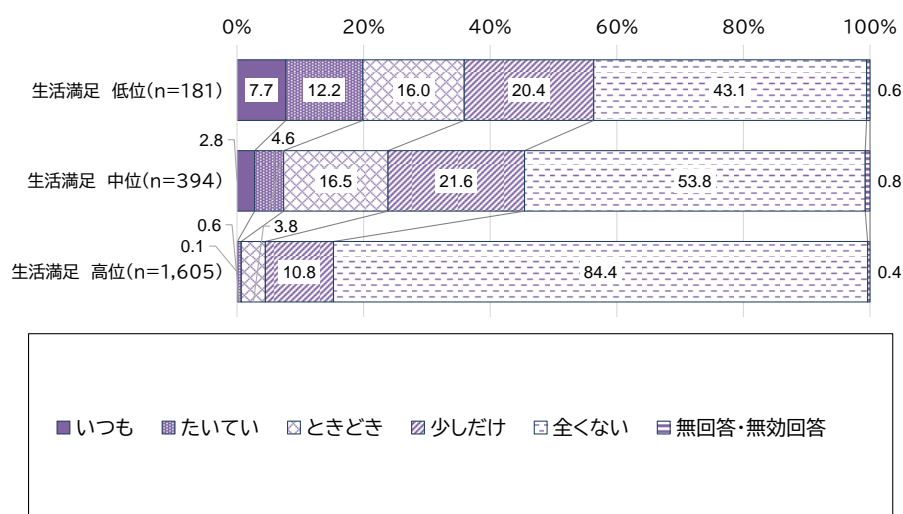
図表 2-108 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-109 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活困難層別クロス集計）



図表 2-110 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活満足度別クロス集計）



オ 過去1か月間のこころの状態(K6)¹⁵

過去1か月間のこころの状態(K6)についてみると、全体では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、11.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、25.3%であった。

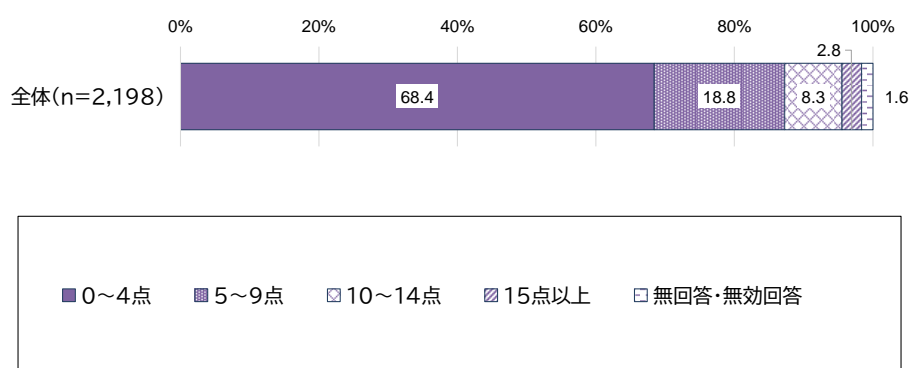
困窮層(n=59)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、42.3%であった。

生活満足 低位(n=181)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、43.6%であった。

【5 歳児保護者 K6 得点】

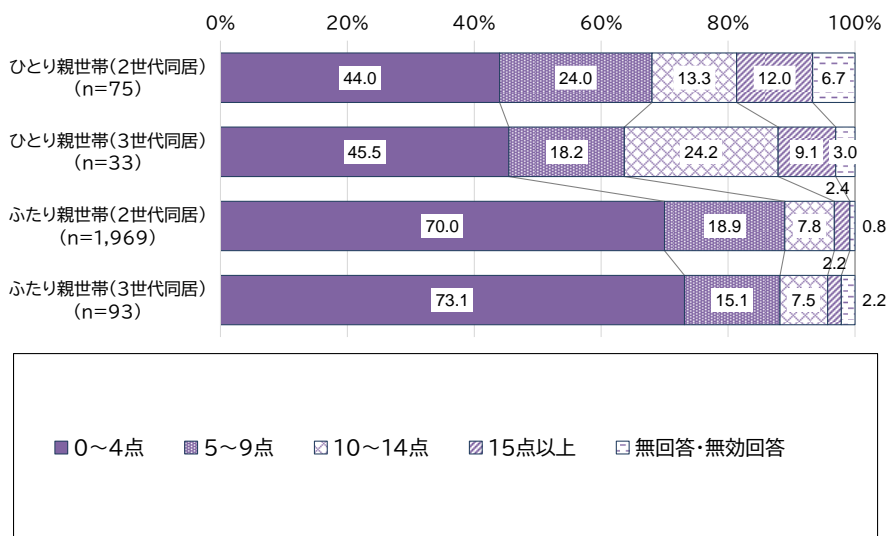
過去1か月間のこころの状態(K6)

図表 2-111 過去1か月間のこころの状態(K6)（単純集計）

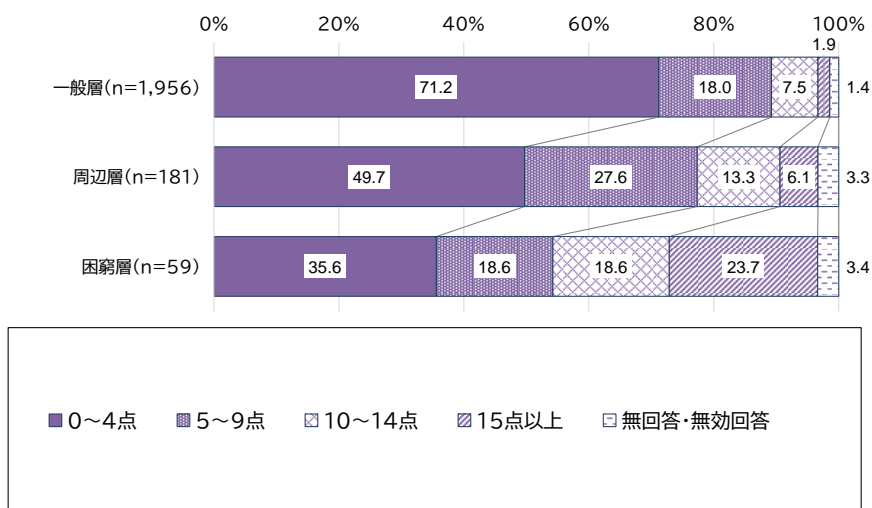


¹⁵ 第1章3節2項アンケート調査結果の見方参照

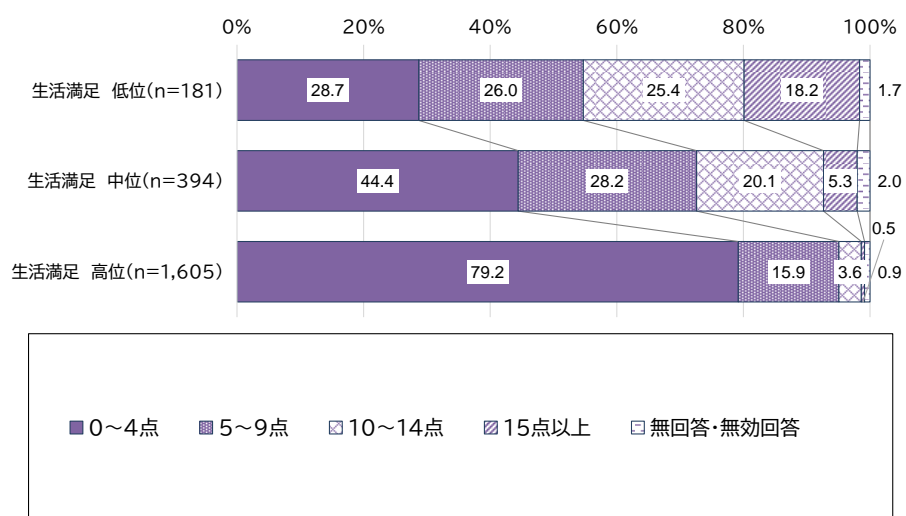
図表 2-112 過去1か月間のこころの状態(K6) (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-113 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活困難層別クロス集計)



図表 2-114 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活満足度別クロス集計)



カ 生活満足度

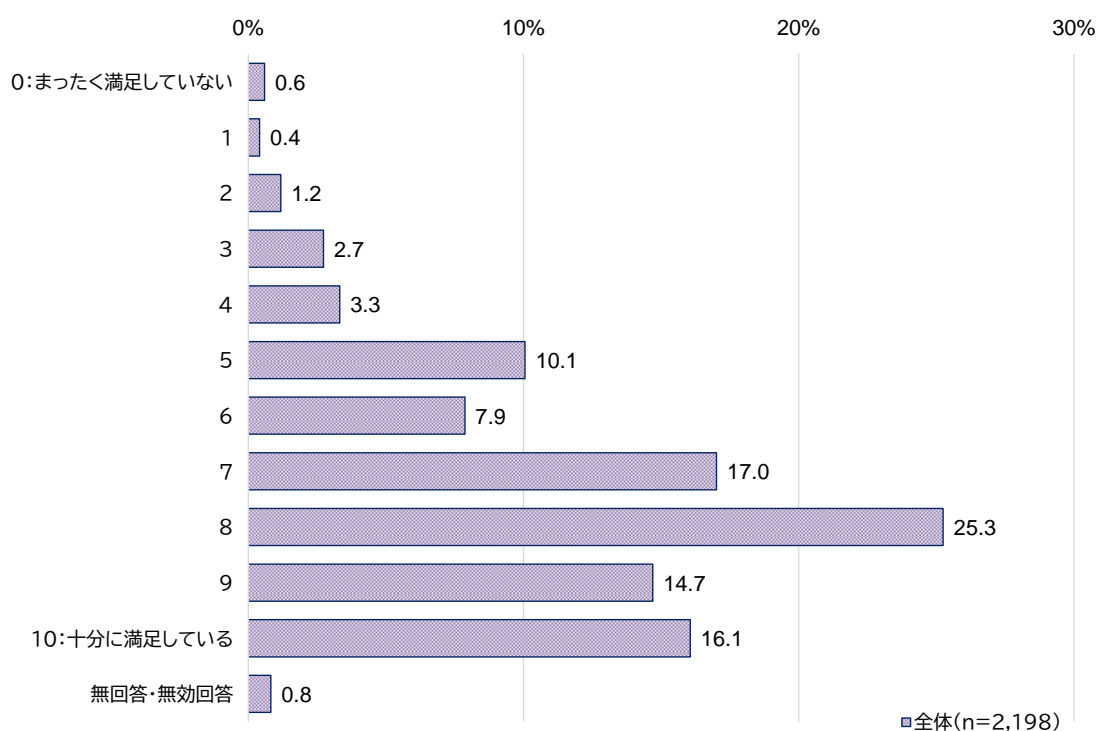
最近の生活の満足度についてみると、全体では、「0～4」と回答した割合の合計は 8.2%、「5～6」と回答した割合の合計は 18.0%、「7～10」と回答した割合の合計は 73.1%であった。

困窮層(n=59)では、「0～4」と回答した割合の合計は 56.0%、「5～6」と回答した割合の合計は 22.0%、「7～10」と回答した割合の合計は 20.4%であった。

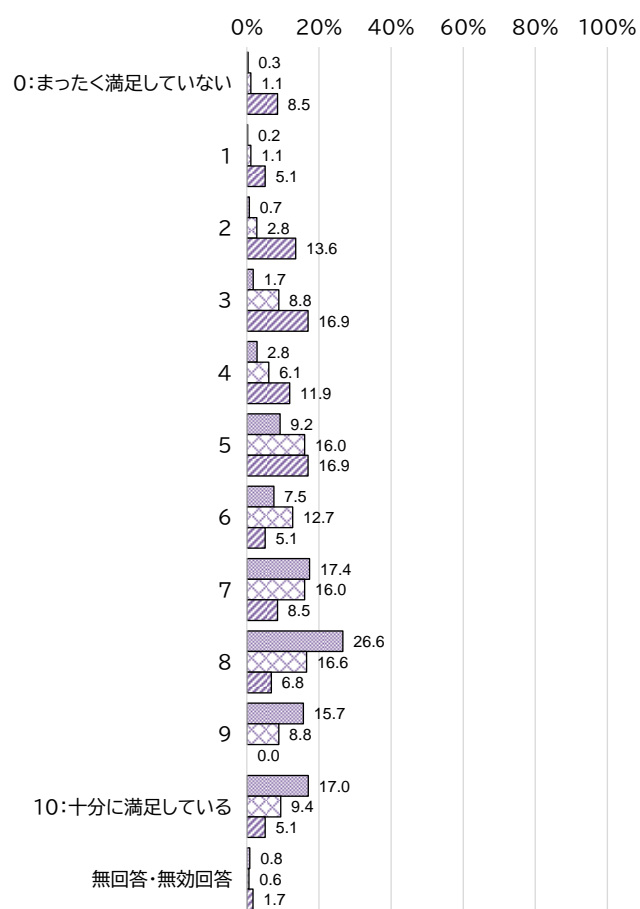
【5 歳児保護者問 23】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(単一回答)

図表 2-115 最近の生活の満足度 (単純集計)



図表 2-116 最近の生活の満足度（生活困難層別クロス集計）



□一般層(n=1,956) □周辺層(n=181) □困窮層(n=59)

キ 支えてくれる人・手伝ってくれる人

「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」についてみると、全体では、「いない」が 4.0%であった。

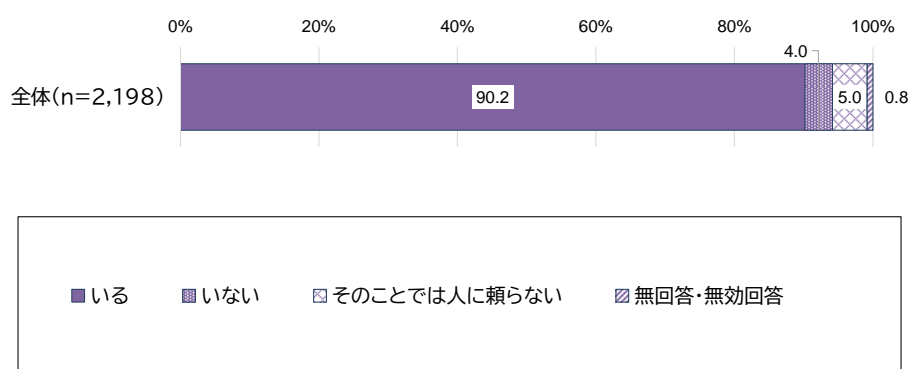
困窮層(n=59)では、「いない」が 13.6%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「いない」が 15.5%であった。

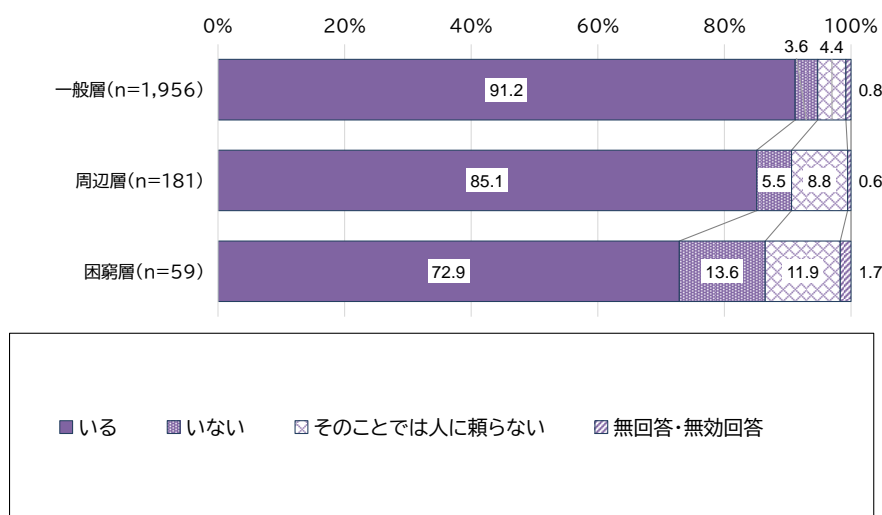
【5 歳児保護者問 24A】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

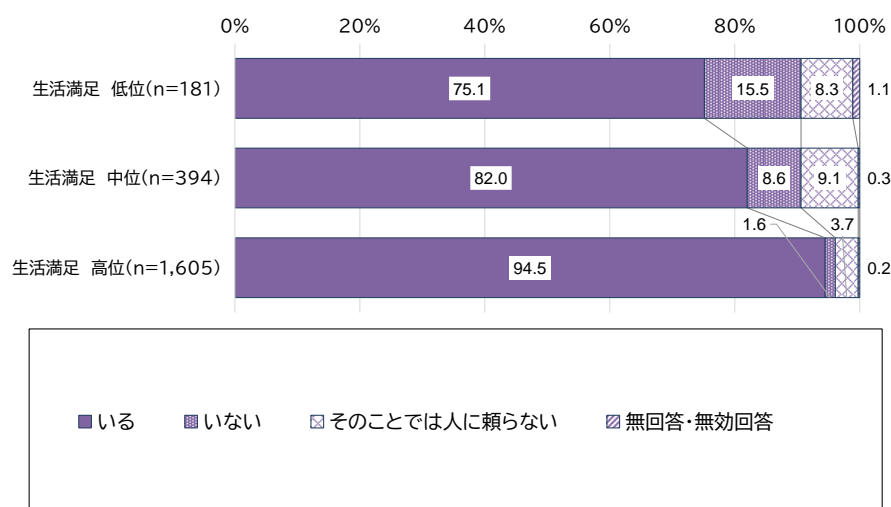
図表 2-117 「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無 (単純集計)



図表 2-118 「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-119 「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無
(生活満足度別クロス集計)

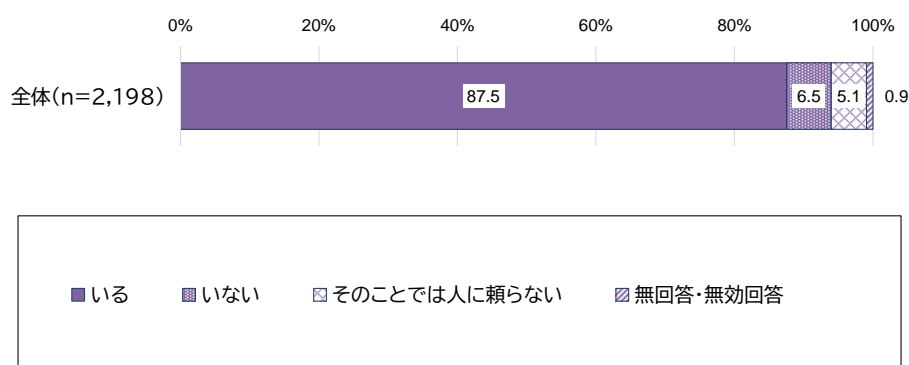


「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」についてみると、全体では、「いない」が 6.5% であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が 18.6% であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が 22.1% であった。

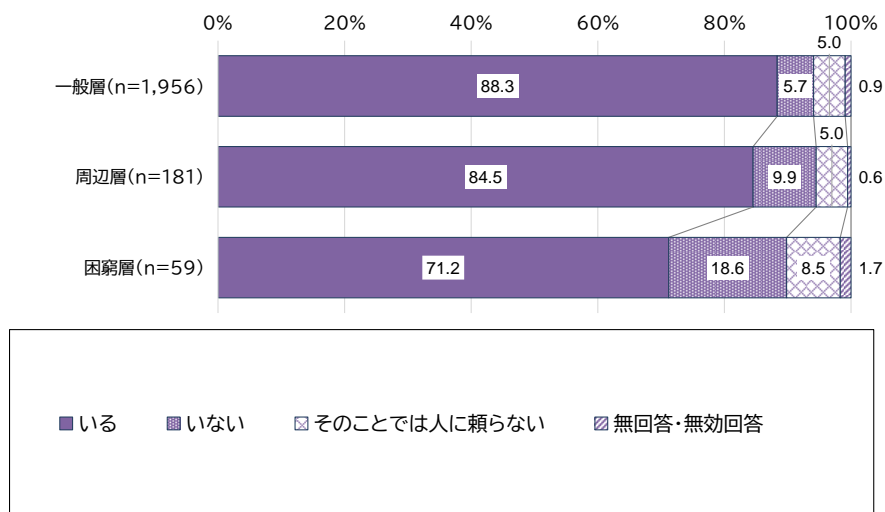
【5 歳児保護者問 24B】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

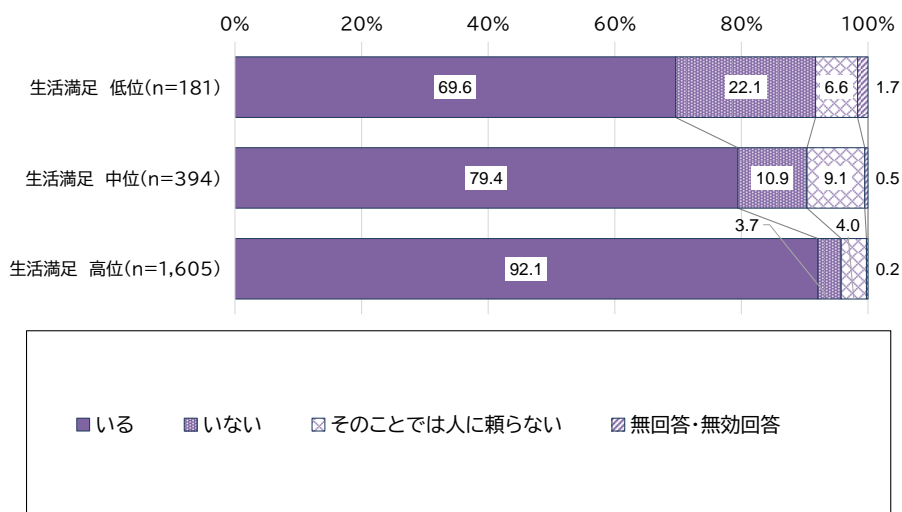
図表 2-120 「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無 (単純集計)



図表 2-121 「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無
(生活困難層別クロス集計)



図表 2-122 「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無
(生活満足度別クロス集計)



「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」についてみると、全体では、「いない」が12.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いない」が40.0%であった。

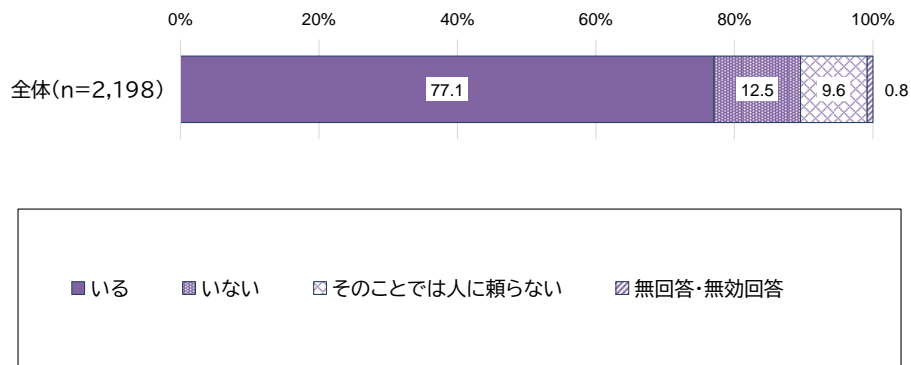
困窮層(n=59)では、「いない」が47.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「いない」が35.4%であった。

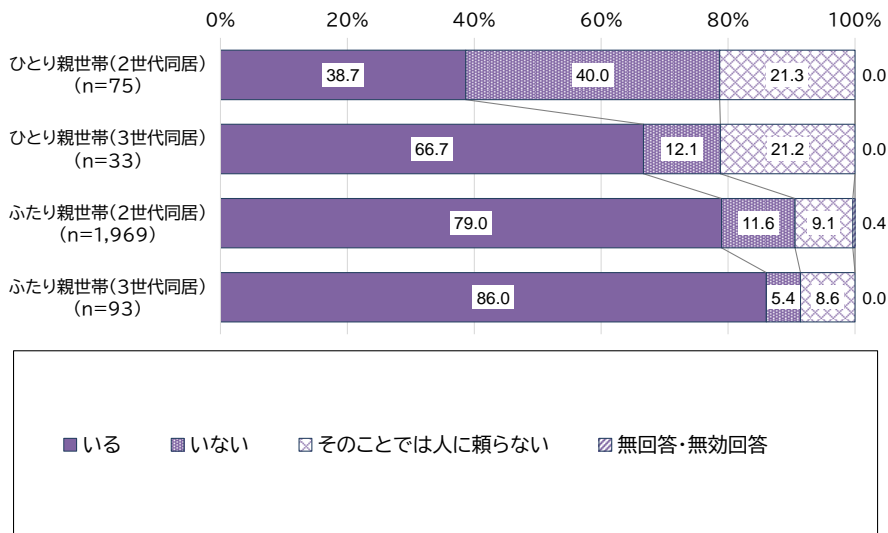
【5歳児保護者問 24C】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

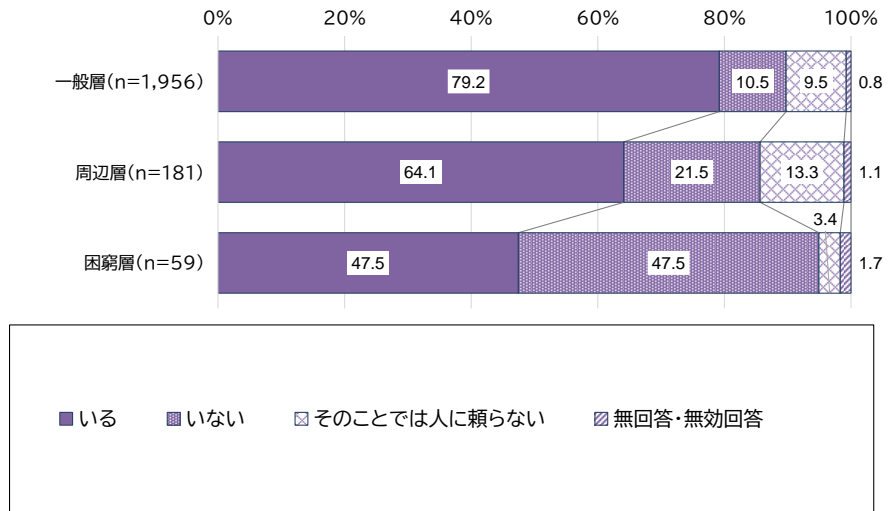
図表 2-123 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無 (単純集計)



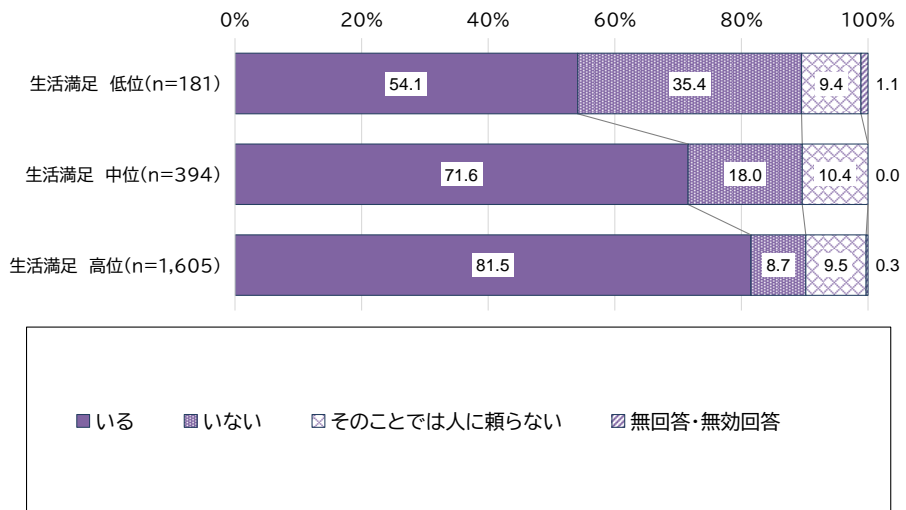
図表 2-124 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-125 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無
(生活困難層別クロス集計)



図表 2-126 「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無
(生活満足度別クロス集計)

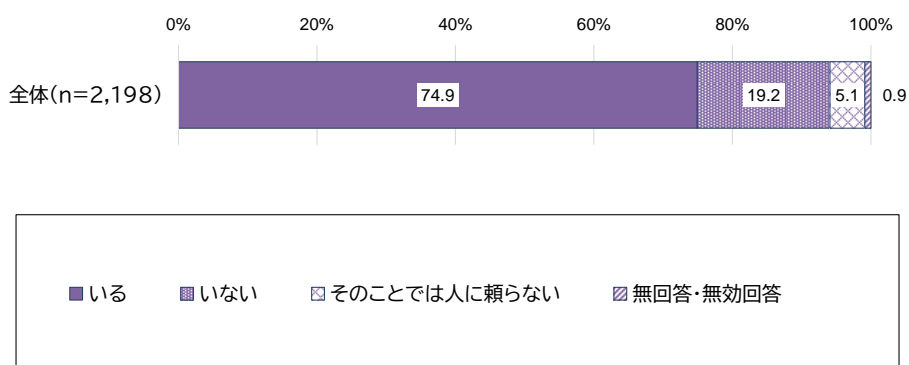


「留守を頼める人」についてみると、全体では「いない」が19.2%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いない」が34.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が40.7%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が37.6%であった。

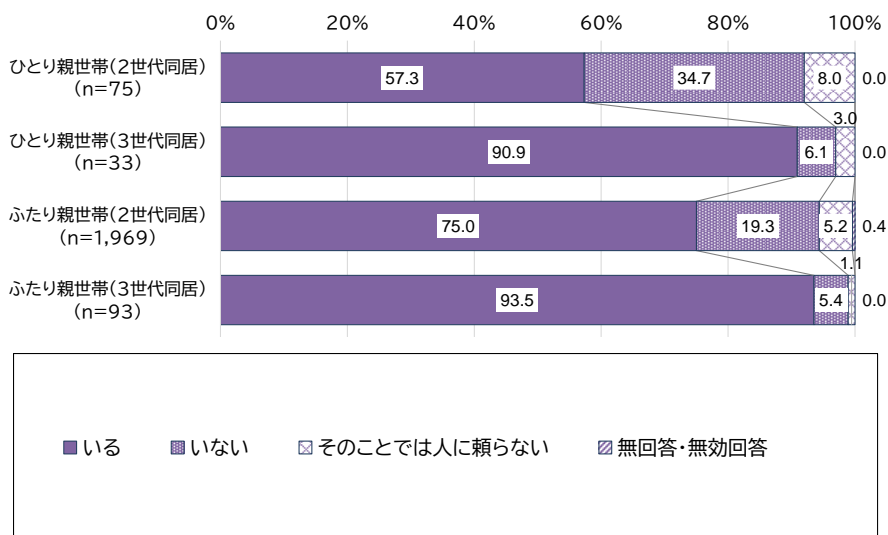
【5 歳児保護者問 24D】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

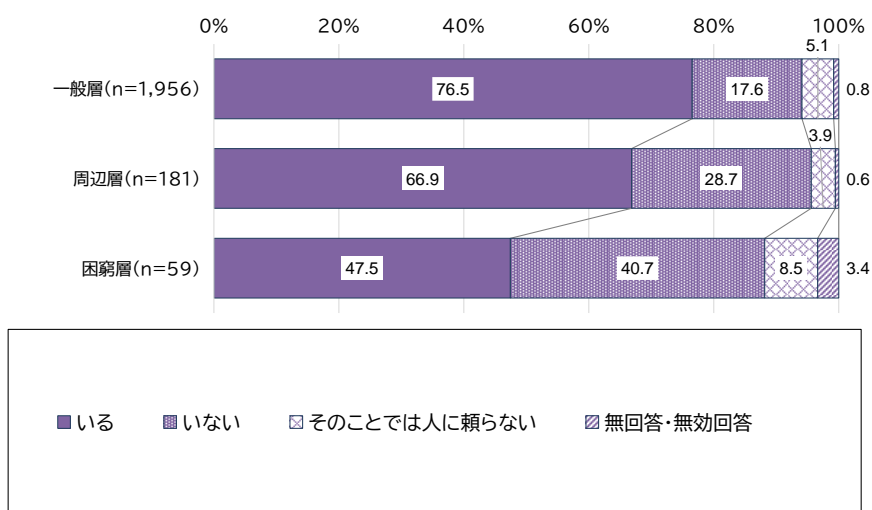
図表 2-127 「留守を頼める人」の有無 (単純集計)



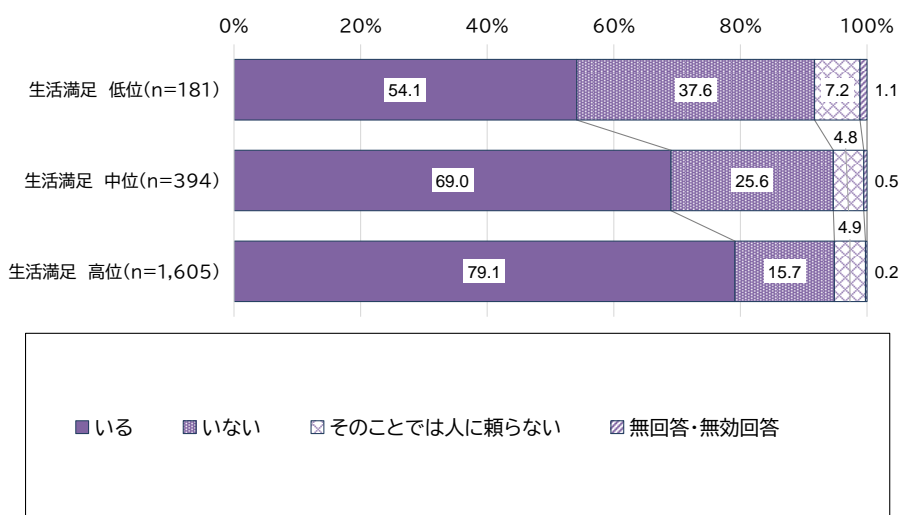
図表 2-128 「留守を頼める人」の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-129 「留守を頼める人」の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 2-130 「留守を頼める人」の有無（生活満足度別クロス集計）

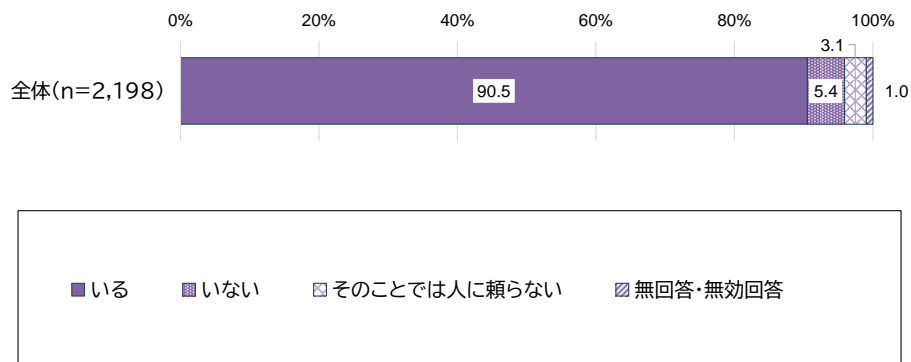


「重要な事柄の相談を出来る人」についてみると、全体では、「いない」が 5.4%であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が 27.1%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が 21.5%であった。

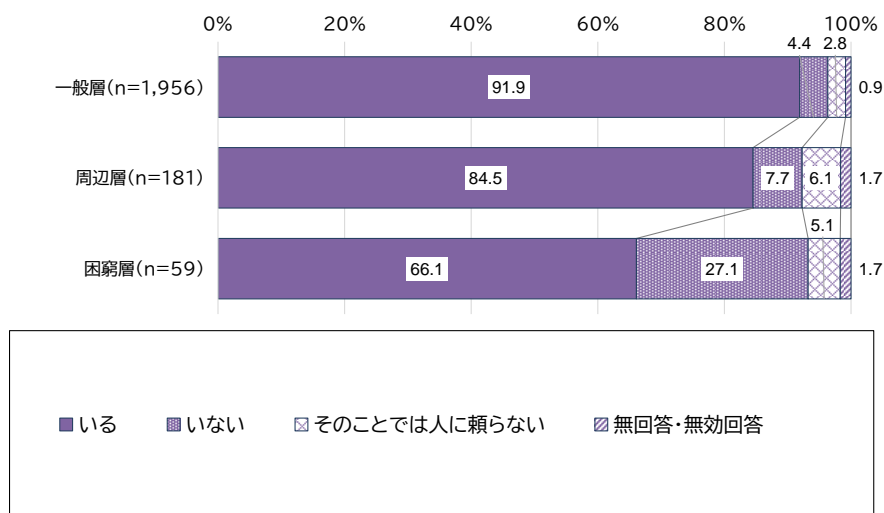
【5 歳児保護者問 24E】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

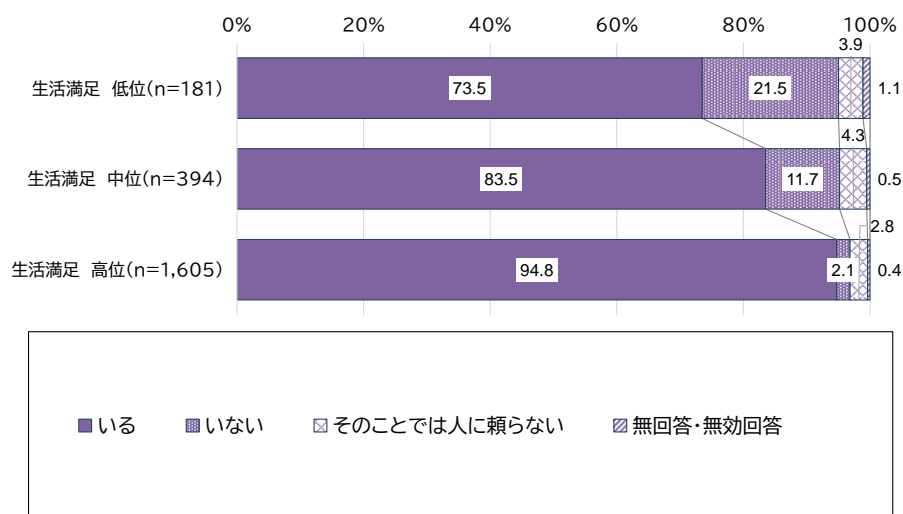
図表 2-131 「重要な事柄の相談を出来る人」の有無 (単純集計)



図表 2-132 「重要な事柄の相談を出来る人」の有無 (生活困難層別クロス集計)



図表 2-133 「重要な事柄の相談を出来る人」の有無（生活満足度別クロス集計）

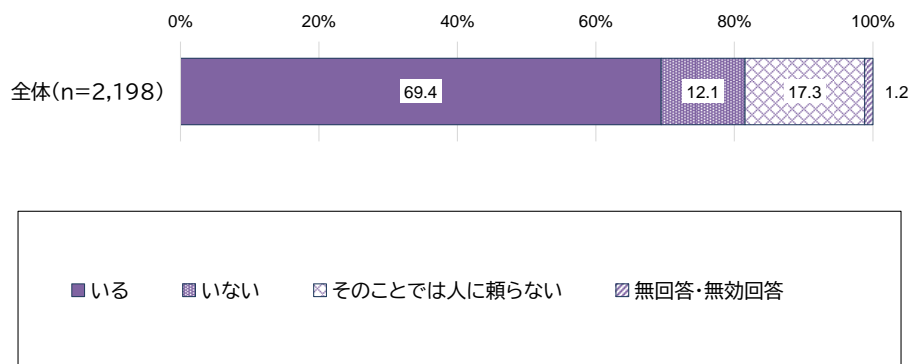


「いざという時のお金の援助を頼める人」についてみると、「いない」が12.1%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「いない」が34.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「いない」が54.2%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「いない」が39.2%であった。

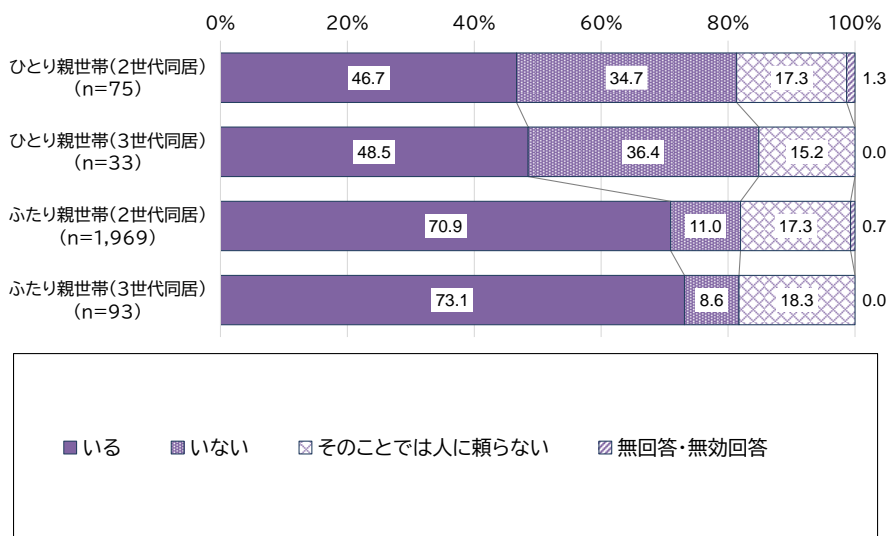
【5歳児保護者問 24F】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

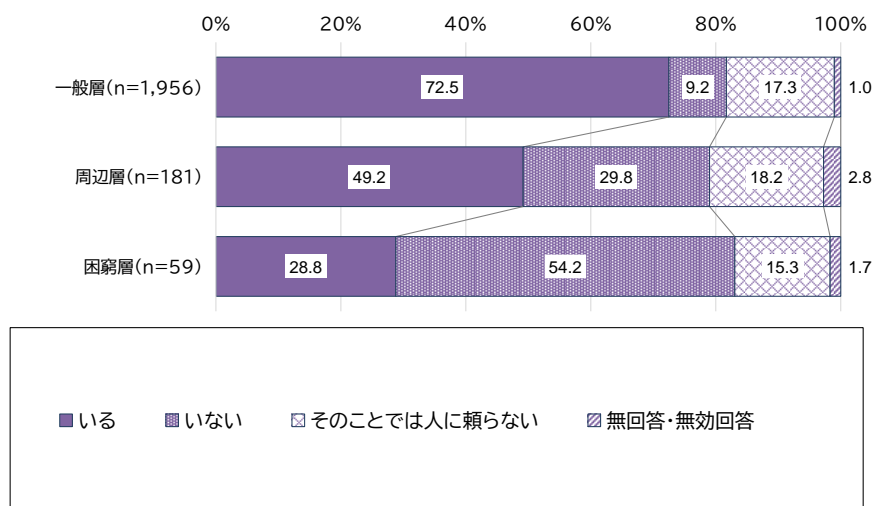
図表 2-134 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（単純集計）



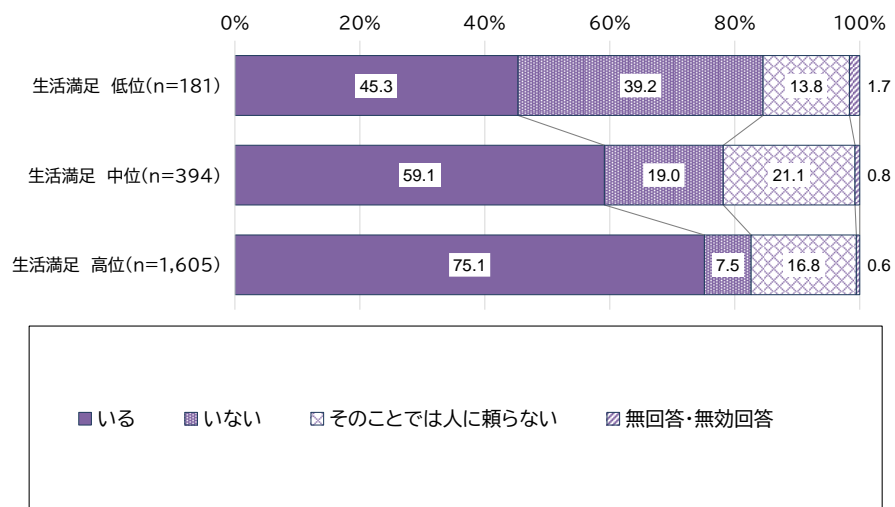
図表 2-135 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-136 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 2-137 「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無（生活満足度別クロス集計）



ク 相談相手・相談先

相談相手・相談先についてみると、全体では、「配偶者・パートナー」が 84.8%と最も多く、以下、「自分や配偶者の親」が 71.0%、「友人・知人」が 58.3%と続いた。また、「相談できる相手がない」は 1.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「自分や配偶者の親」が 60.0%と最も多く、次いで、「友人・知人」が 58.7%、「きょうだい・その他の親戚」が 46.7%との回答であった。また、「相談できる相手がない」は 6.7%であった。

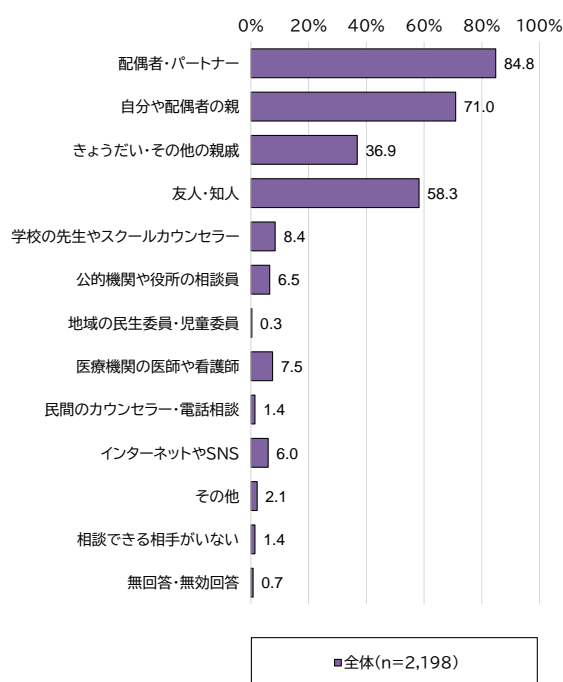
困窮層(n=59)では、「配偶者・パートナー」が 50.8%と最も多く、以下、「自分や配偶者の親」が 45.8%、「友人・知人」が 40.7%の順となった。また、「相談できる相手がない」は 8.5%であった。

生活満足 低位(n=181)では、「配偶者・パートナー」が 58.6%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 55.2%、「友人・知人」が 46.4%であった。また、「相談できる相手がない」は 7.2%であった。

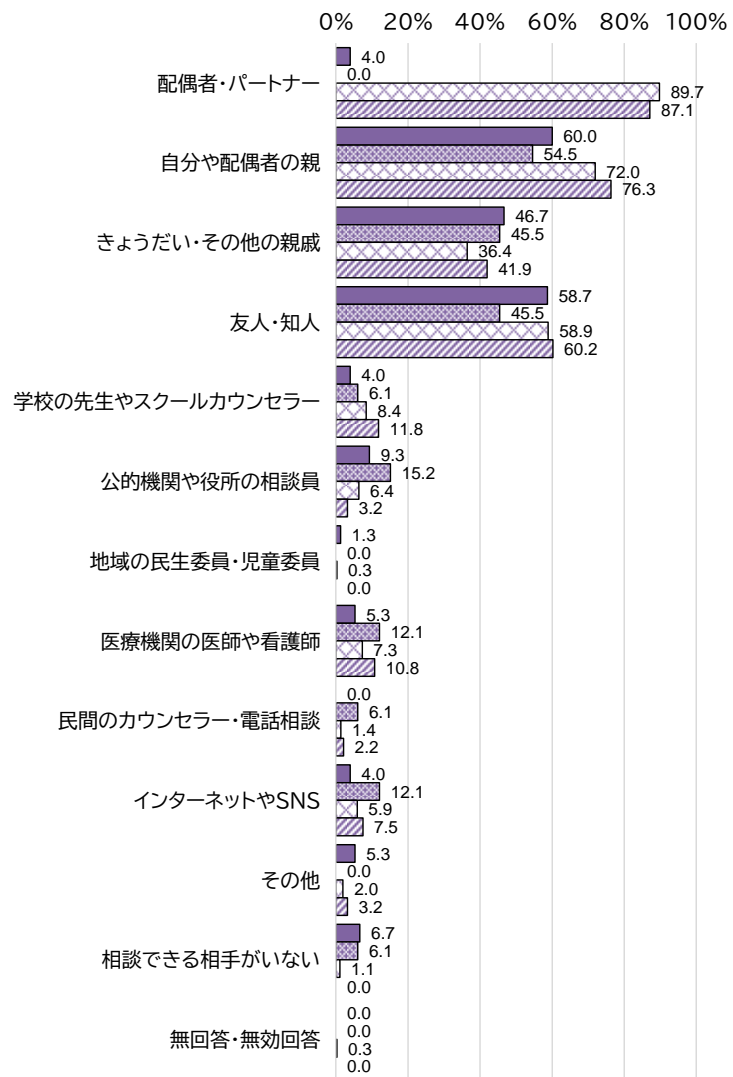
【5 歳児保護者問 25】

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(複数回答)

図表 2-138 相談相手・相談先 (単純集計)

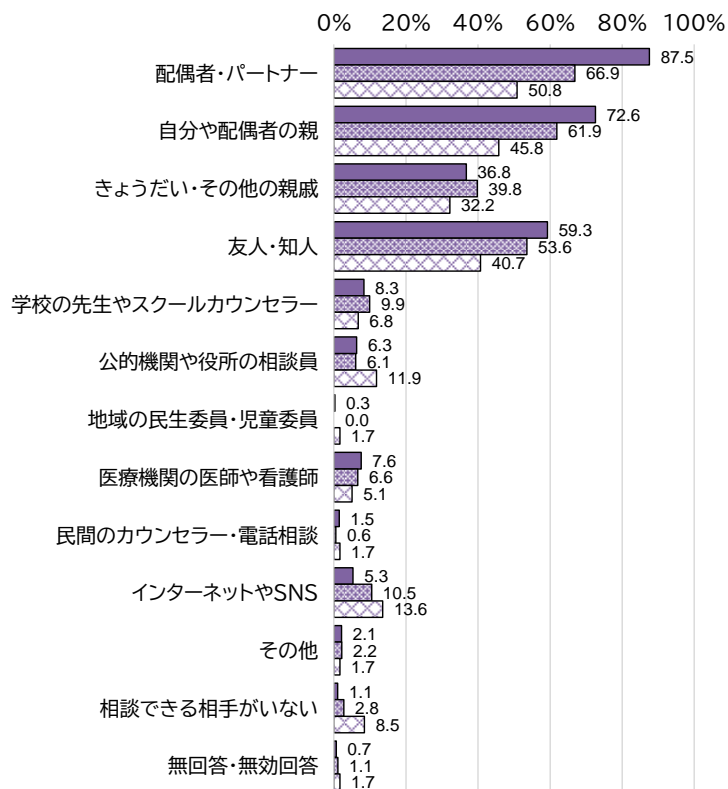


図表 2-139 相談相手・相談先（世帯タイプ別クロス集計）



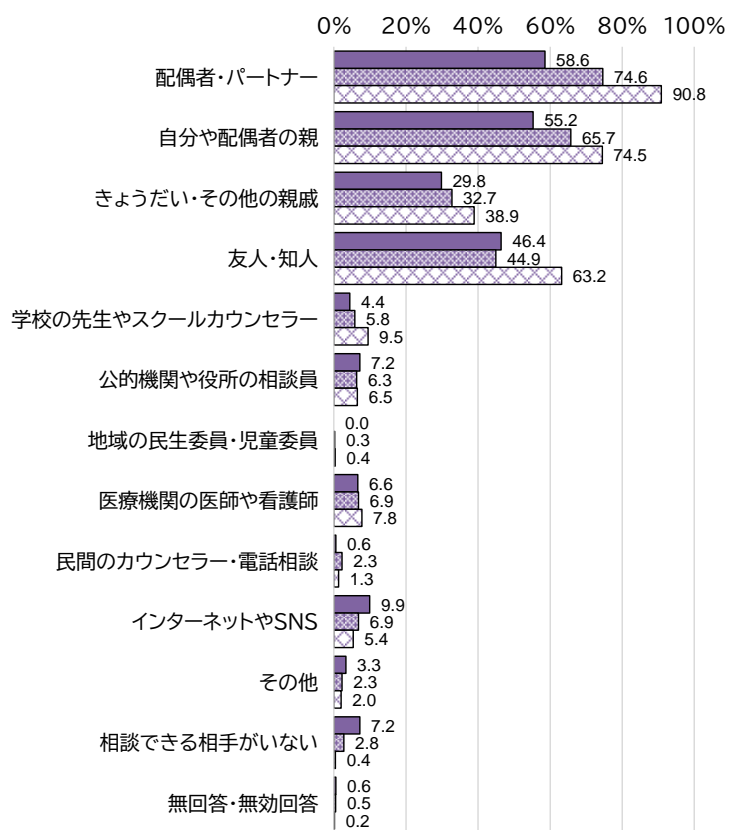
ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)
 ひとり親世帯(3世代同居)(n=33)
 ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,969)
 ふたり親世帯(3世代同居)(n=93)

図表 2-140 相談相手・相談先（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,956) ▨周辺層(n=181) □困窮層(n=59)

図表 2-141 相談相手・相談先（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=181) ■生活満足 中位(n=394) □生活満足 高位(n=1,605)

(5) あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

ア 暮らしの状況

現在の暮らしの状況についてみると、全体では、「普通」が 53.7%と最も多く、以下、「やや苦しい」が 19.4%、「ややゆとりがある」が 16.5%となっていた。また、「大変苦しい」は 5.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「普通」が 36.0%と最も多く、次いで、「やや苦しい」が 32.0%、「大変苦しい」が 24.0%と続いた。

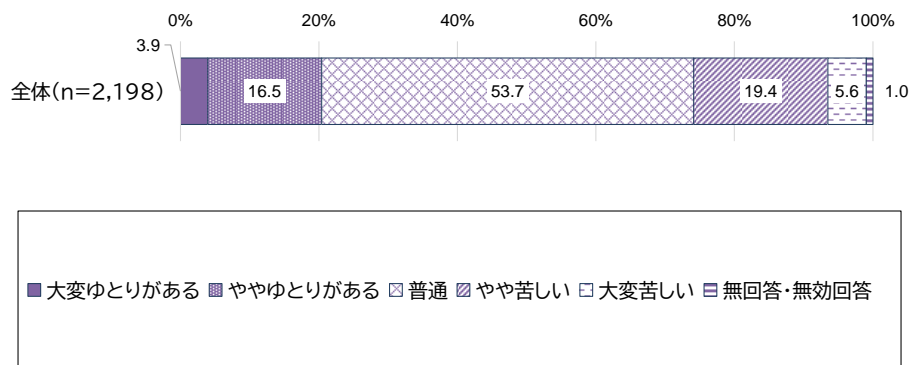
困窮層(n=59)では、「大変苦しい」が 67.8%と最も多く、次いで「やや苦しい」が 27.1%、「普通」が 1.7%との回答であった。

生活満足 低位(n=181)では、「やや苦しい」が 34.8%と最も多く、「大変苦しい」が 32.6%、「普通」が 27.1%であった。

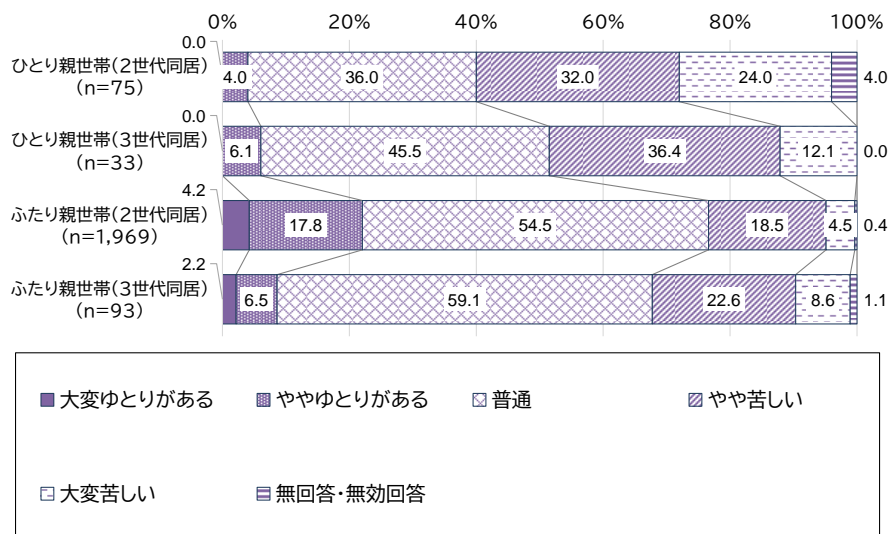
【5 歳児保護者問 26】

現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単一回答)

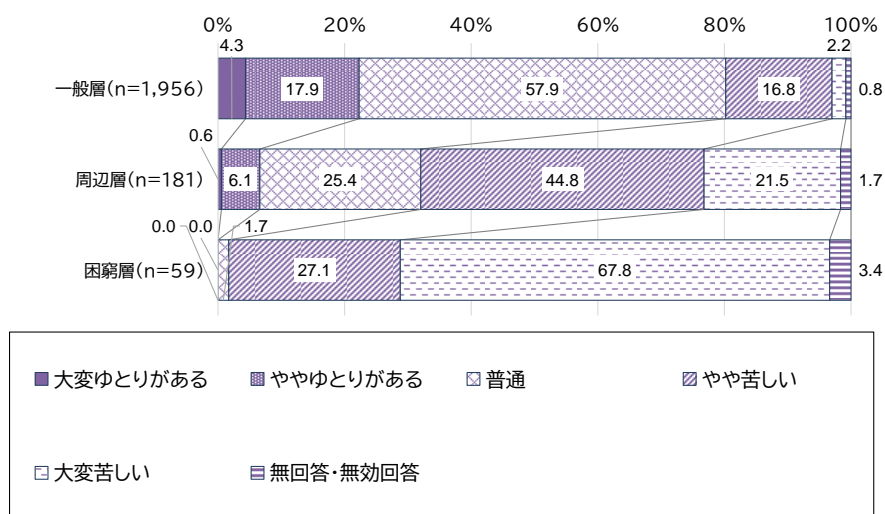
図表 2-142 現在の暮らしの状況 (単純集計)



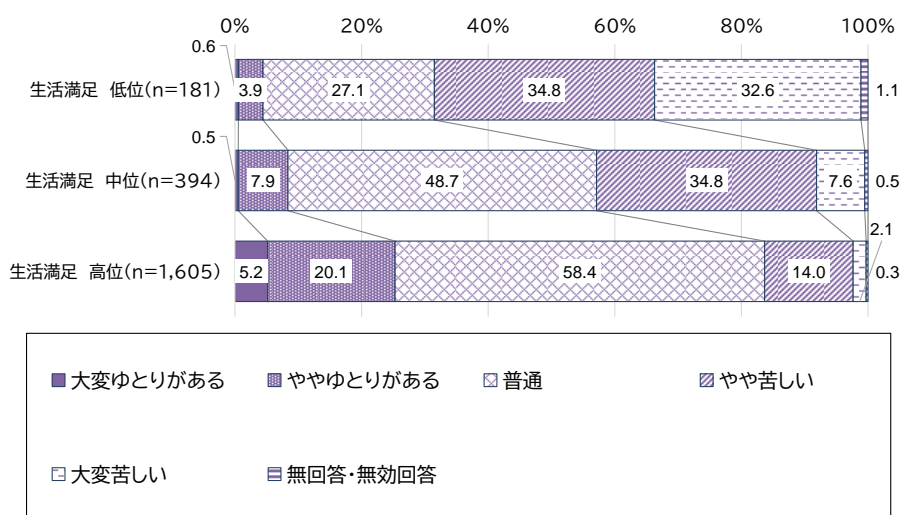
図表 2-143 現在の暮らしの状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-144 現在の暮らしの状況（生活困難層別クロス集計）



図表 2-145 現在の暮らしの状況（生活満足度別クロス集計）



イ 家計の状況

家庭の家計についてみると、全体では、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 43.9%と最も多くなっており、以下、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 29.8%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」が 11.5%と続いた。

前回調査と比較すると、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」と回答した割合は、今回調査は 43.9%、前回調査は 36.7%で、7.2 ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 42.7%と最も多く、以下、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 21.3%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 12.0%であった。

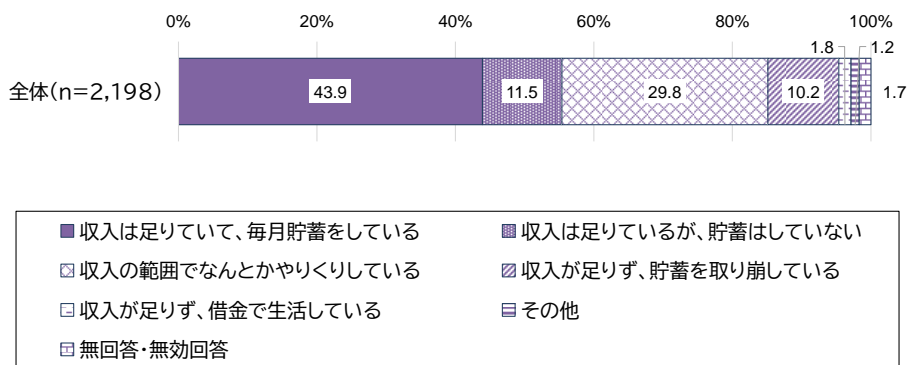
困窮層(n=59)では、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 35.6%と最も多く、次いで、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 30.5%、「収入が足りず、借金で生活している」が 25.4%となっていた。

生活満足 低位(n=181)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 34.3%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 28.2%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 18.2%となっていた。

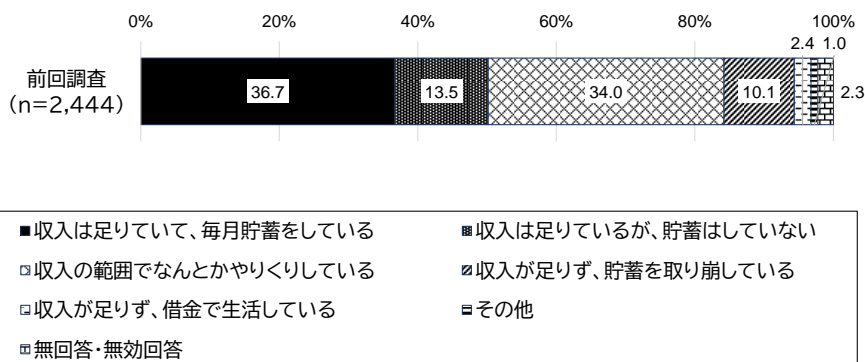
【5 歳児保護者問 27】

ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(単一回答)

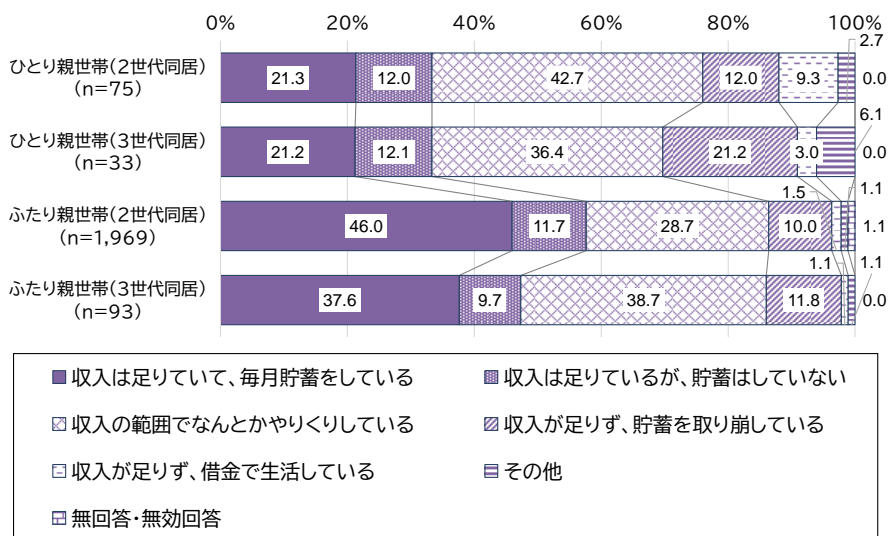
図表 2-146 家庭の家計 (単純集計)



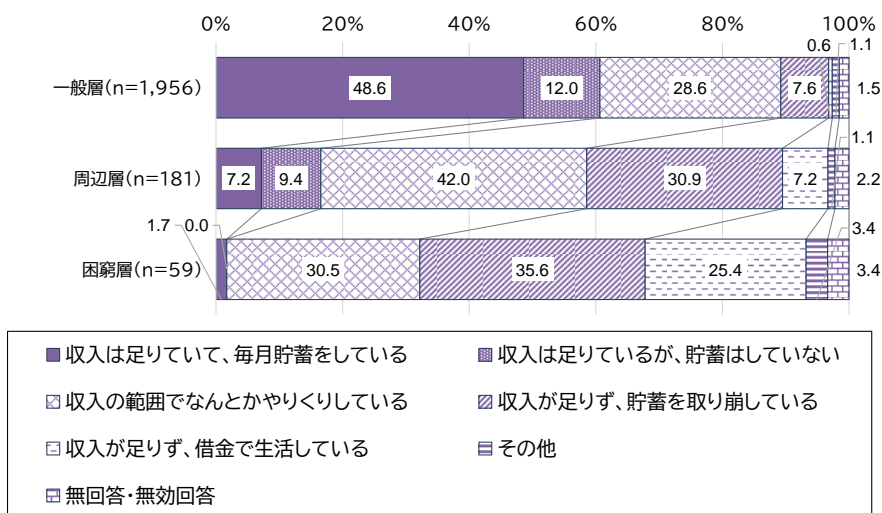
図表 2-147 家庭の家計 (前回調査 単純集計)



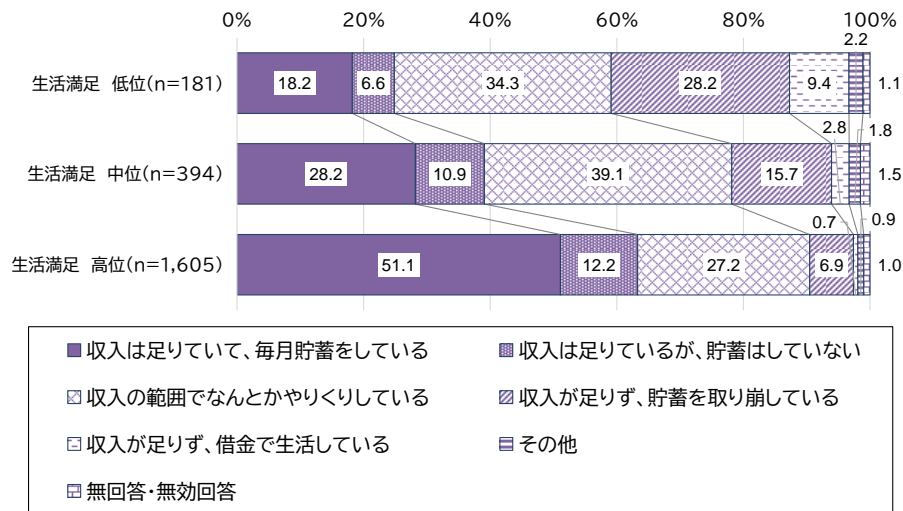
図表 2-148 家庭の家計（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-149 家庭の家計（生活困難層別クロス集計）



図表 2-150 家庭の家計（生活満足度別クロス集計）



ウ 食料が買えない経験

お金が足りなくて食料が買えなかった経験についてみると、全体では、「まったくなかった」が 91.9%、「まれにあった」が 5.2%、「ときどきあった」が 1.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「まったくなかった」が 78.7%と最も多くなっており、次いで、「まれにあった」が 16.0%、「ときどきあった」が 4.0%と続いた。

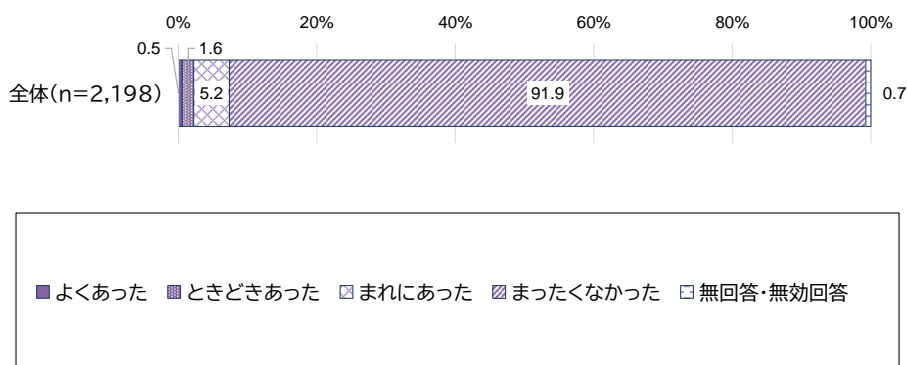
困窮層(n=59)では、「まれにあった」が 39.0%と最も多く、以下、「まったくなかった」が 27.1%、「ときどきあった」が 25.4%と続いた。

生活満足 低位(n=181)では、「まったくなかった」が 69.6%と最も多く、「まれにあった」が 17.7%、「ときどきあった」が 7.7%との回答であった。

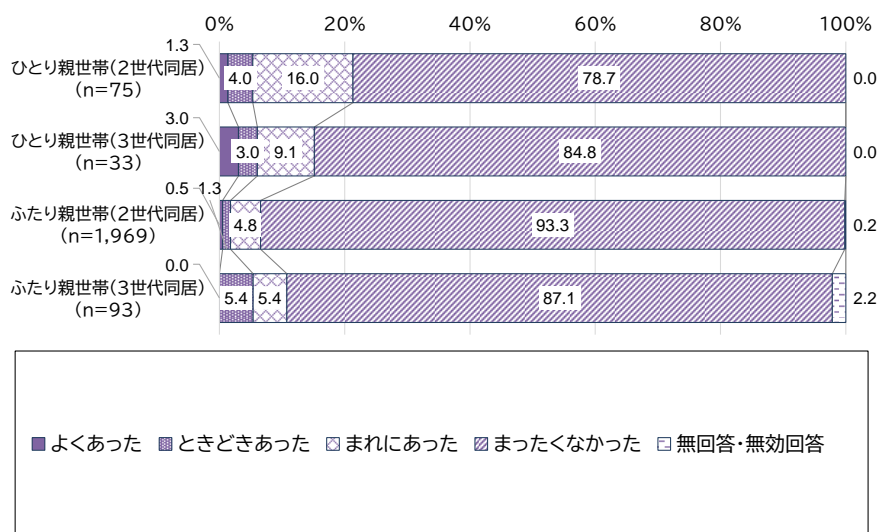
【5 歳児保護者問 28】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(単一回答)

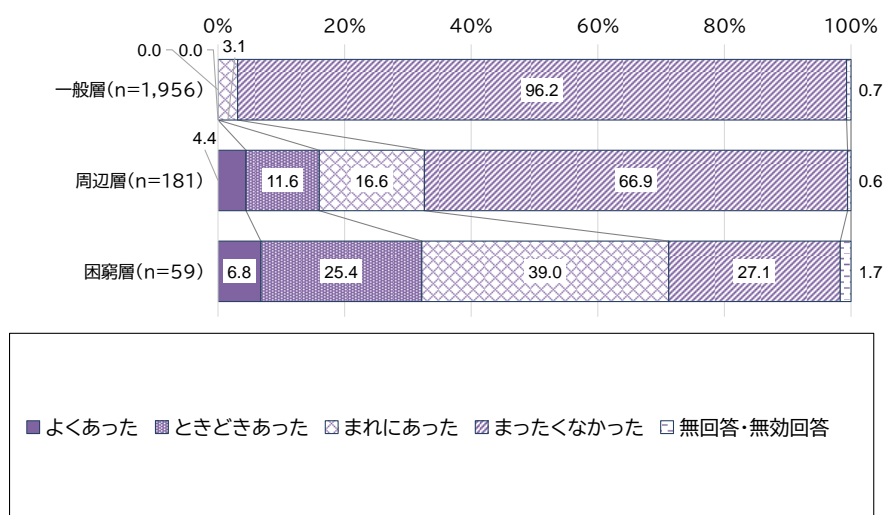
図表 2-151 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（単純集計）



図表 2-152 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）

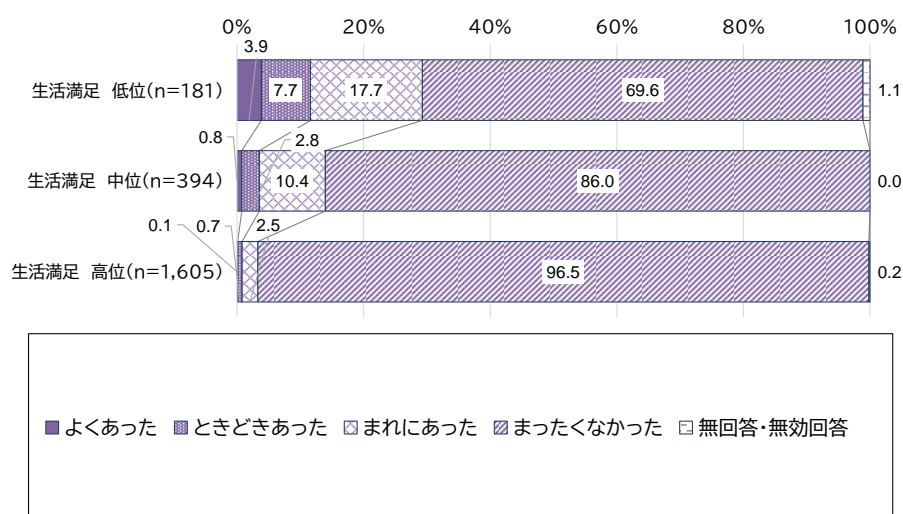


図表 2-153 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）¹⁶



¹⁶ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 2-154 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



工 衣類が買えない経験

お金が足りなくて衣類が買えなかった経験についてみると、全体では、「まったくなかった」が 88.8%と最も多く、「まれにあった」が 5.6%、「ときどきあった」が 2.7%であった。

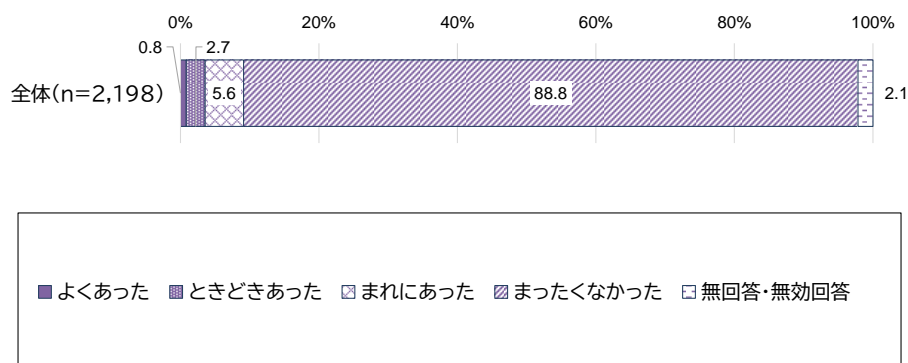
困窮層(n=59)では、「ときどきあった」が 47.5%と最も多くなっており、以下、「まれにあった」が 25.4%、「まったくなかった」が 13.6%と続いた。

生活満足 低位(n=181)では、「まったくなかった」が 63.5%と最も多く、次いで、「まれにあった」が 16.0%、「ときどきあった」が 12.7%であった。

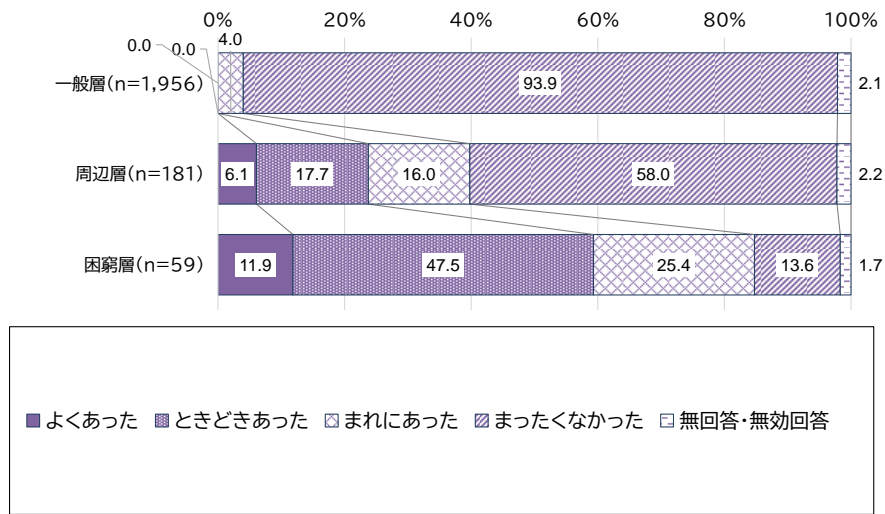
【5 歳児保護者問 29】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(単一回答)

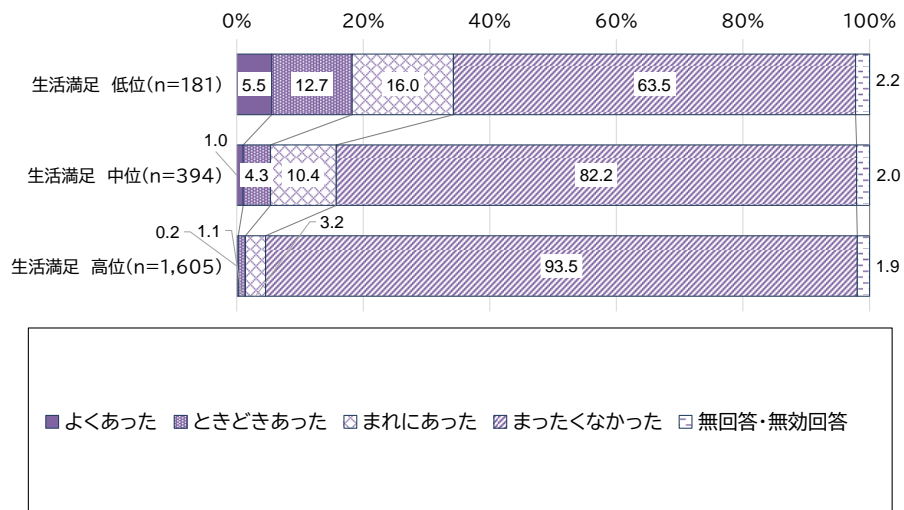
図表 2-155 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（単純集計）



図表 2-156 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）¹⁷



図表 2-157 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



¹⁷ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

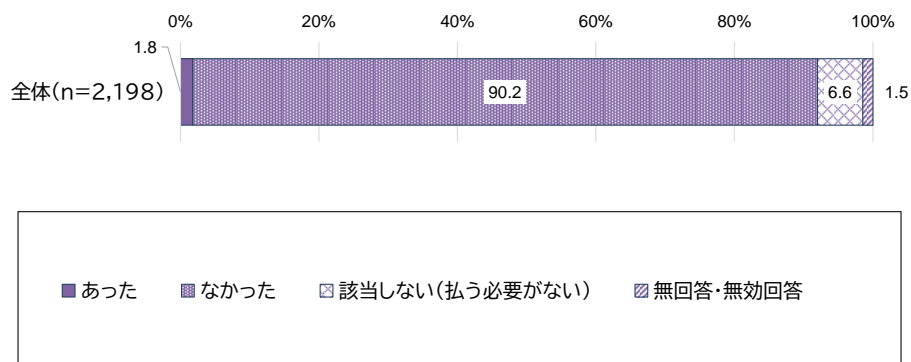
オ 公共料金等の不払いの有無

「電話料金」についてみると「あった」が1.8%であった。

【5歳児保護者問 30A】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-158 「電話料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

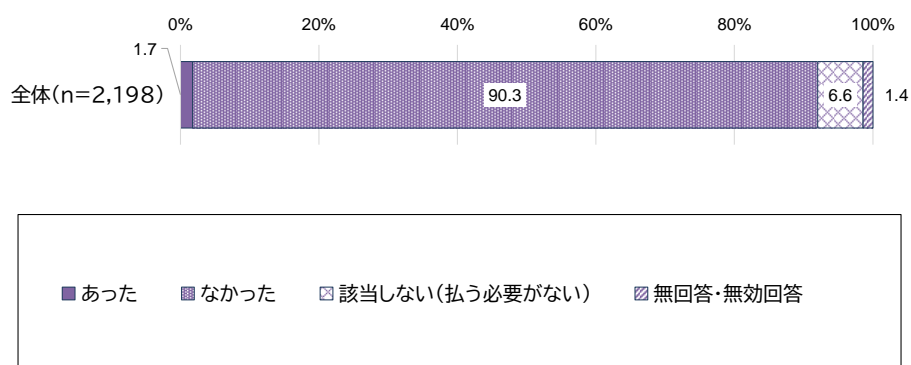


「電気料金」についてみると、「あった」が1.7%となっていた。

【5歳児保護者問 30B】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-159 「電気料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

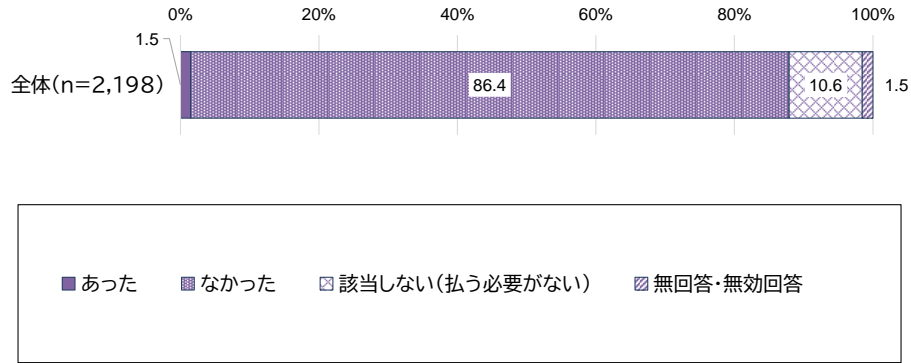


「ガス料金」についてみると、「あった」が 1.5%であった。

【5 歳児保護者問 30C】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-160 「ガス料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

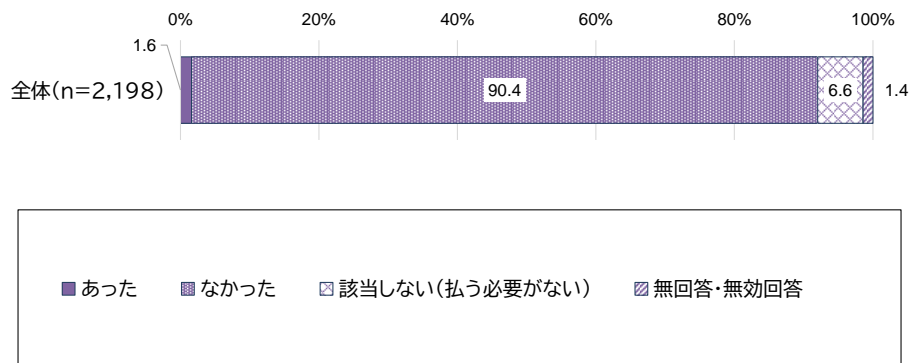


「水道料金」についてみると、「あった」が 1.6%であった。

【5 歳児保護者問 30D】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-161 「水道料金」が支払えなかった経験 (単純集計)

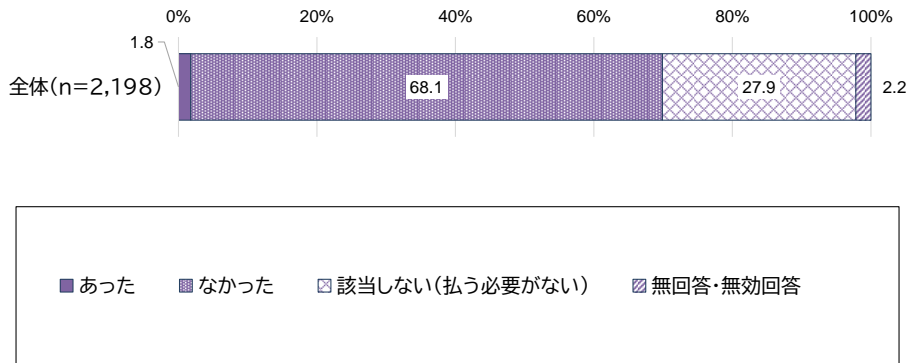


「家賃」についてみると、全体では、「あった」が1.8%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「あった」が12.0%であった。
 困窮層(n=59)では、「あった」が33.9%であった。

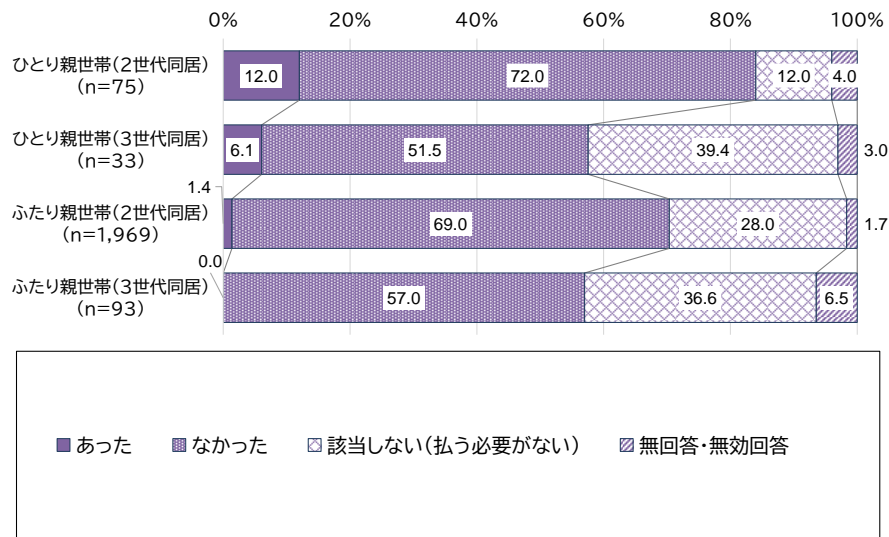
【5歳児保護者問 30E】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA~Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

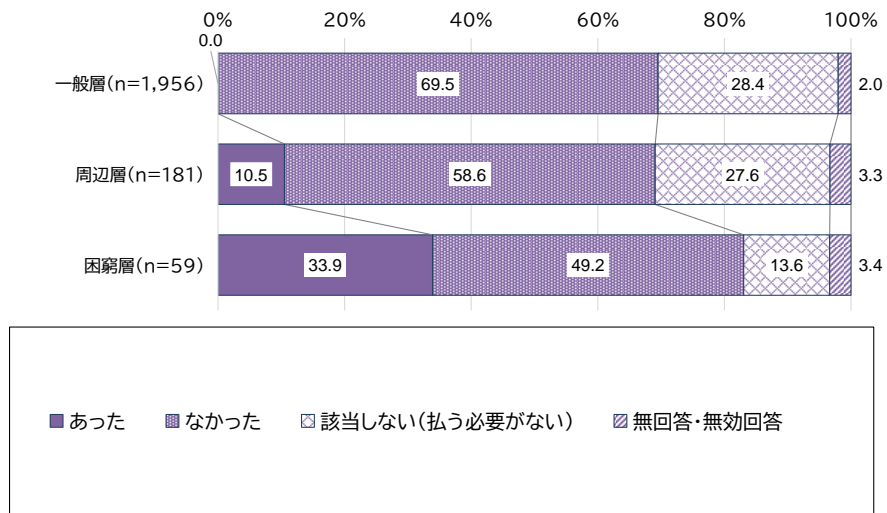
図表 2-162 「家賃」が支払えなかった経験 (単純集計)



図表 2-163 「家賃」が支払えなかった経験 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-164 「家賃」が支払えなかった経験（生活困難層別クロス集計）¹⁸

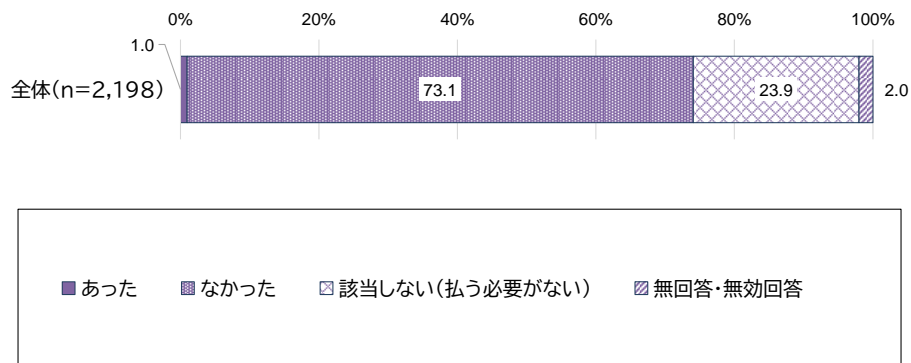


「住宅ローン」についてみると、「あった」が 1.0%であった。

【5 歳児保護者問 30F】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-165 「住宅ローン」が支払えなかった経験（単純集計）



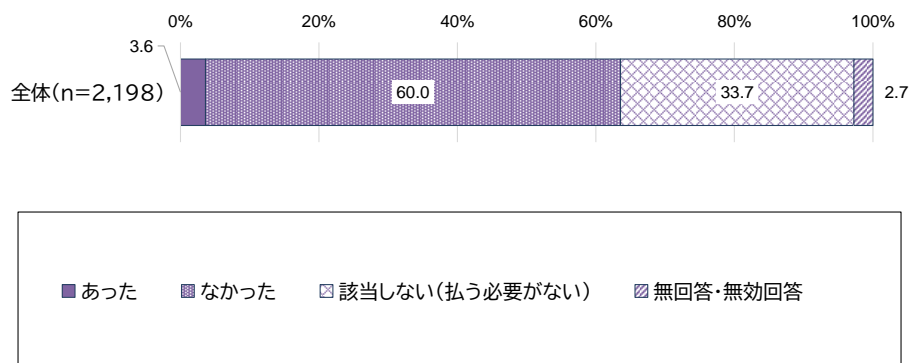
¹⁸ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

「その他の債務」についてみると、「あった」が 3.6%であった。

【5 歳児保護者問 30G】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 2-166 「その他の債務」が支払えなかった経験 (単純集計)



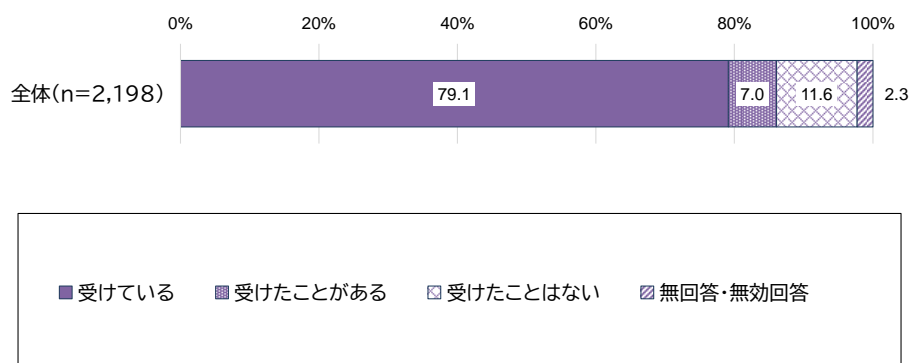
力 手当・援助等の有無

「児童手当」についてみると、「受けている」が 79.1%であった。

【5 歳児保護者問 31A】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-167 「児童手当」の受取状況 (単純集計)

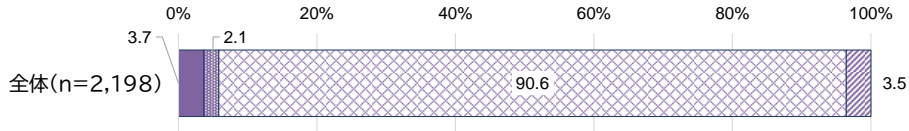


「就学援助」についてみると、全体では、「受けている」が 3.7%であった。
 困窮層(n=59)では、「受けている」が 28.8%であった。

【5 歳児保護者問 31B】

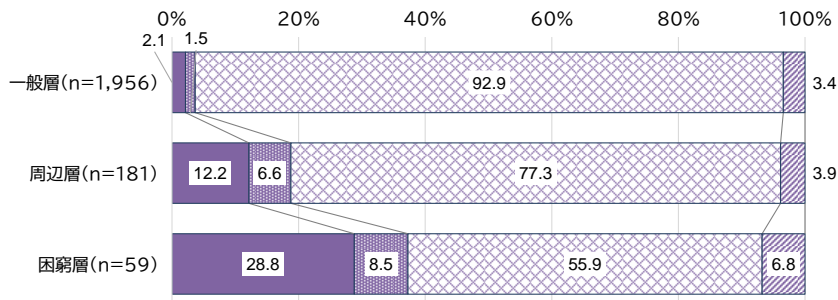
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-168 「就学援助」の受取状況 (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 2-169 「就学援助」の受取状況 (生活困難層別クロス集計)



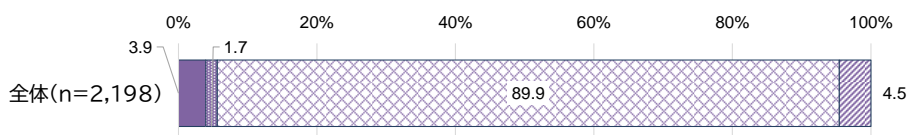
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「児童扶養手当」についてみると、全体では、「受けている」が3.9%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「受けている」が28.0%であった。
 困窮層(n=59)では、「受けている」が16.9%であった。

【5歳児保護者問 31C】

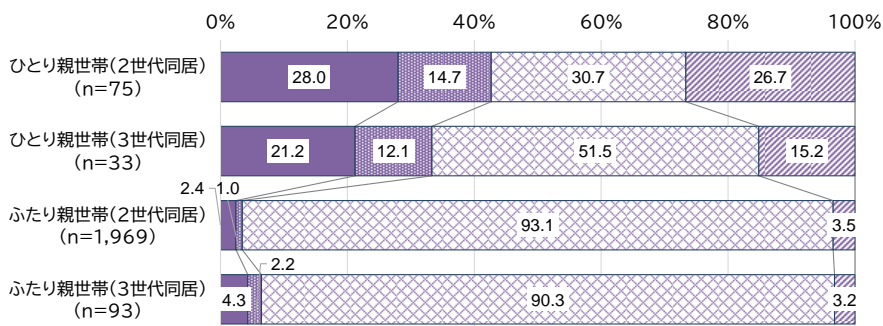
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-170 「児童扶養手当」の受取状況 (単純集計)



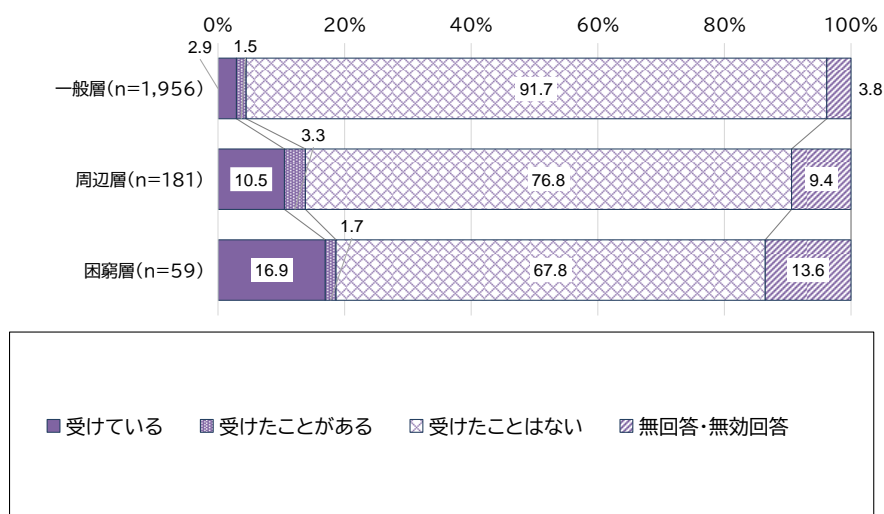
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 2-171 「児童扶養手当」の受取状況 (世帯タイプ別クロス集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 2-172 「児童扶養手当」の受取状況（生活困難層別クロス集計）

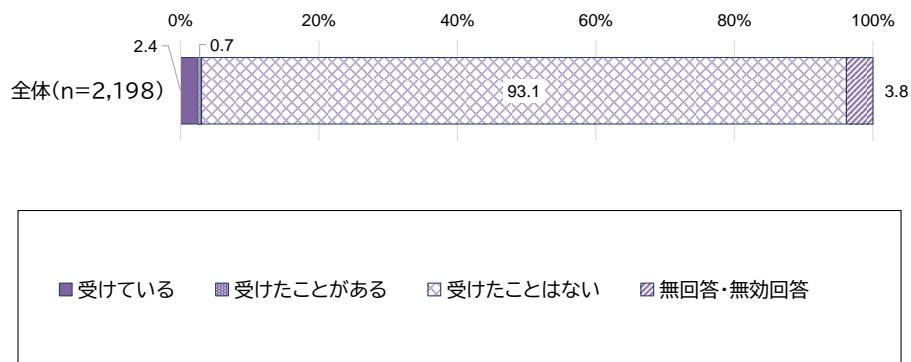


「障がいや難病の手当」についてみると、「受けている」が 2.4%であった。

【5 歳児保護者問 31D】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-173 「障がいや難病の手当」の受取状況（単純集計）

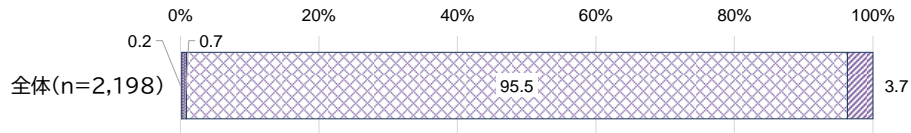


「生活保護」についてみると、「受けている」が0.2%であった。

【5歳児保護者問 31E】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-174 「生活保護」の受取状況 (単純集計)



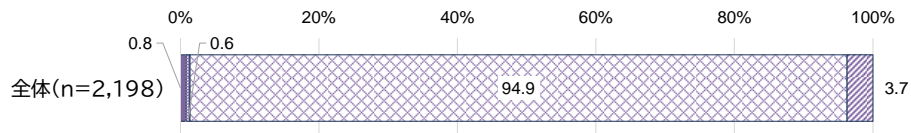
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

「公的年金(老齢年金)」についてみると、「受けている」が0.8%であった。

【5歳児保護者問 31F】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-175 「公的年金(老齢年金)」の受取状況 (単純集計)



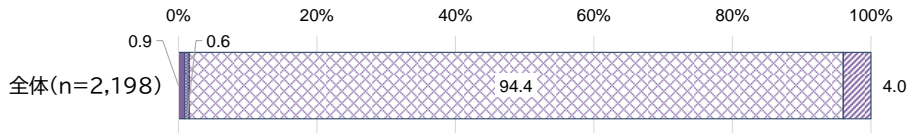
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ■ 無回答・無効回答

「公的年金(遺族年金、障害年金)」についてみると、「受けている」が0.9%であった。

【5歳児保護者問 31G】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-176 「公的年金(遺族年金、障害年金)」の受取状況 (単純集計)



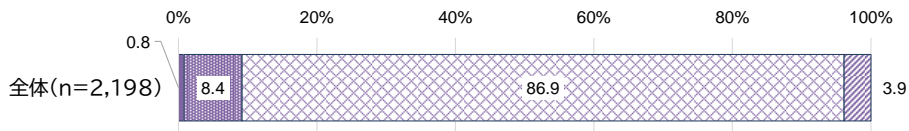
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「雇用保険(失業保険)」についてみると、「受けている」が0.8%であった。

【5歳児保護者問 31H】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-177 「雇用保険(失業保険)」の受取状況 (単純集計)



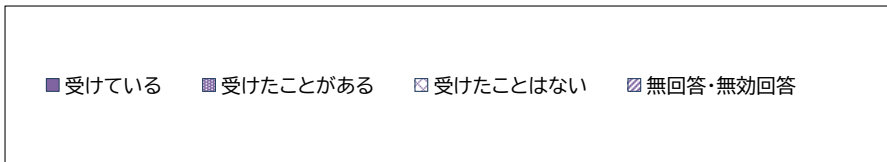
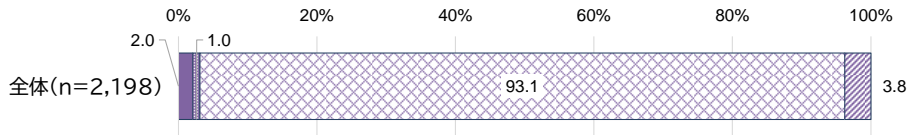
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「養育費」についてみると、全体では、「受けている」が2.0%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「受けている」が41.3%であった。
 生活満足 低位(n=181)では、「受けている」が6.1%であった。

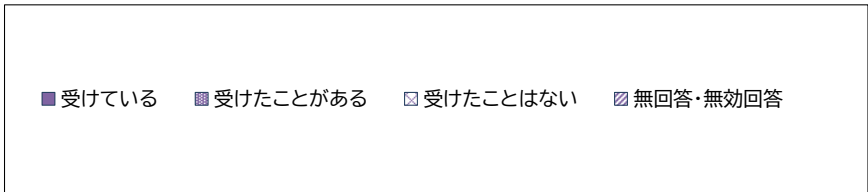
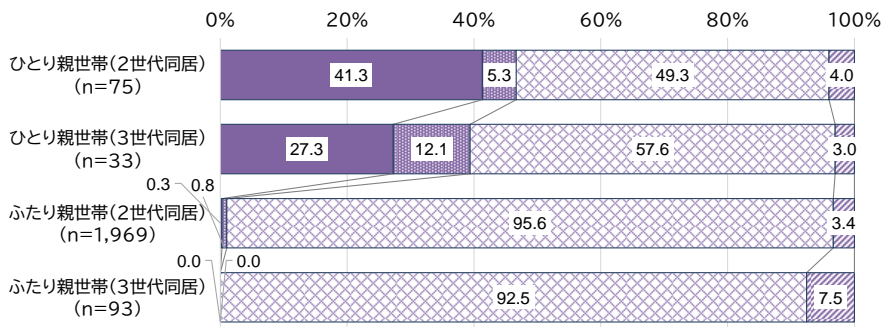
【5歳児保護者問 31I】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

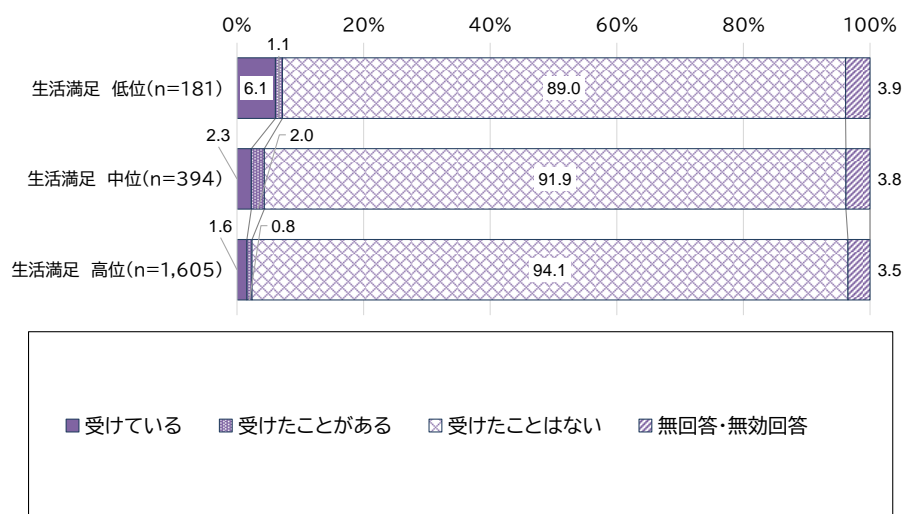
図表 2-178 「養育費」の受取状況 (単純集計)



図表 2-179 「養育費」の受取状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 2-180 「養育費」の受取状況（生活満足度別クロス集計）

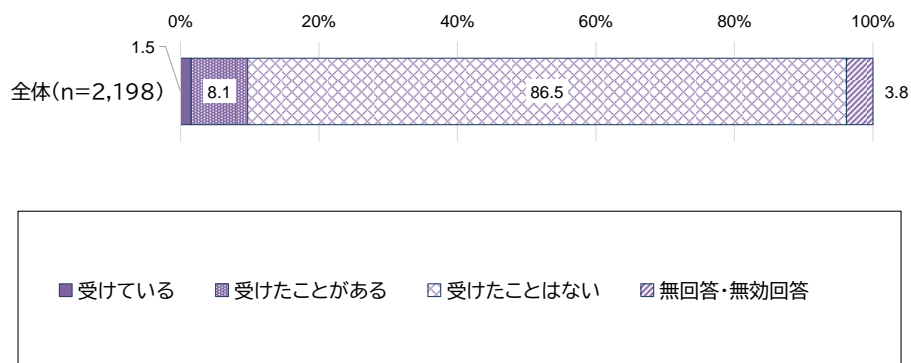


「親・親族からの仕送り」についてみると、全体では、「受けている」が1.5%であった。
 困窮層(n=59)では、「受けている」が3.4%であった。

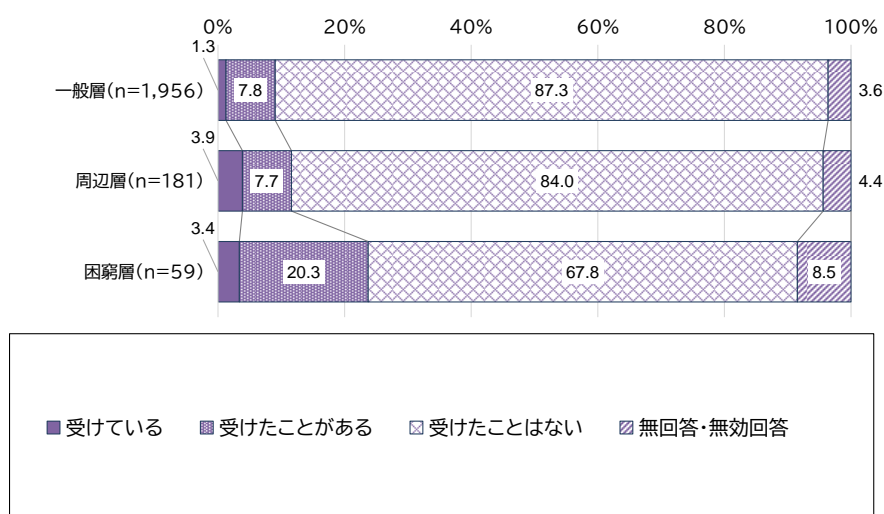
【5歳児保護者問 31J】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-181 「親・親族からの仕送り」の受取状況（単純集計）



図表 2-182 「親・親族からの仕送り」の受取状況（生活困難層別クロス集計）

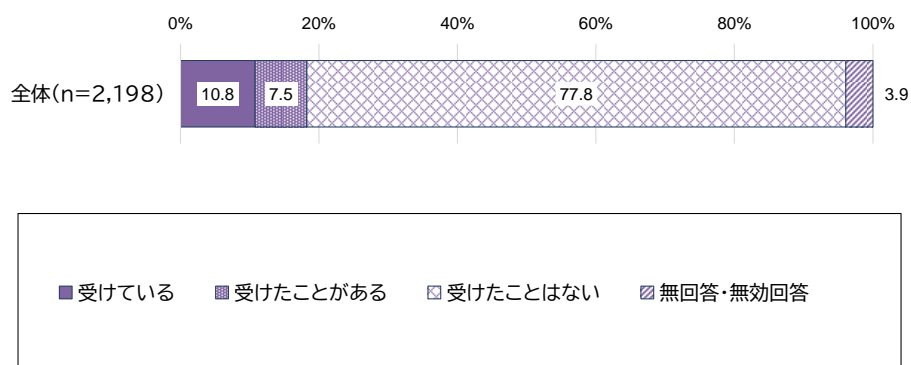


「その他、株式配当などの副収入」についてみると、「受けている」が10.8%であった。

【5歳児保護者問 31K】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 2-183 「その他、株式配当などの副収入」の受取状況（単純集計）



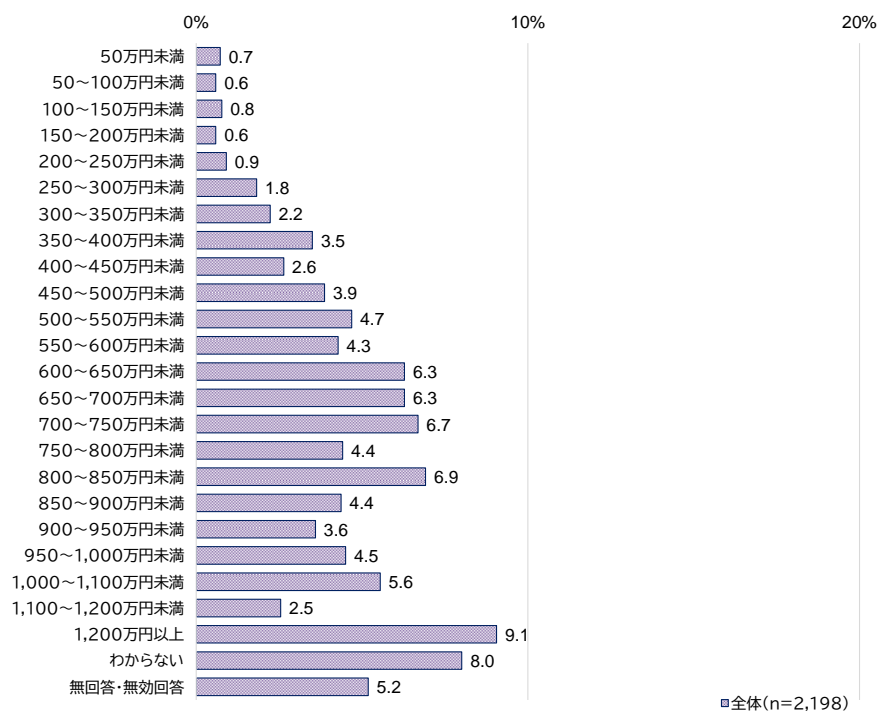
キ 世帯の年間収入

前年(2022年)の世帯収入についてみると、「1,200万円以上」が9.1%と最も多く、「800～850万円未満」が6.9%、「700～750万円未満」が6.7%であった。

【5歳児保護者問32】

前年(2022年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(単一回答)

図表 2-184 前年(2022年)の世帯収入 (単純集計)



(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます

ア 母親の最終学歴(最後に通った学校)

回答者が母親かひとり親ではない父親の場合に、宛名の子ども母親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が46.7%と最も多く、以下、「高専、短大、専門学校等」が33.3%、「高等学校」が11.8%と続いていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)では、「高専、短大、専門学校等」が31.9%と最も多く、次に、「高等学校」と「大学」がそれぞれ26.4%との回答であった。

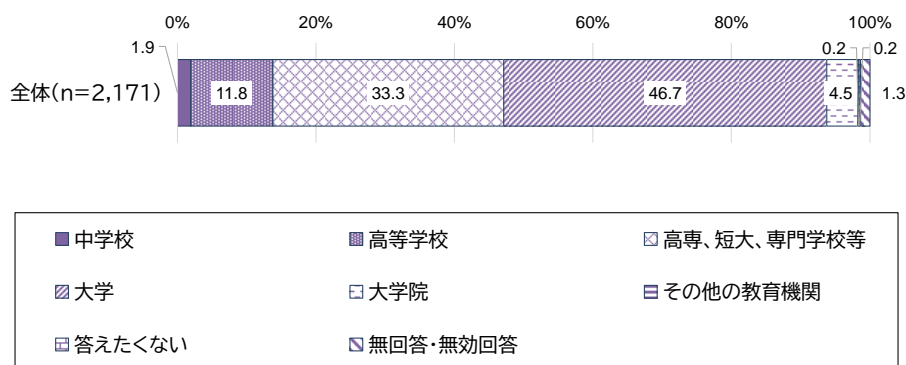
困窮層(n=57)では、「高専、短大、専門学校等」が42.1%と最も多く、次いで、「高等学校」が24.6%、「大学」が19.3%であった。

生活満足 低位(n=179)では、「高専、短大、専門学校等」が36.9%と最も多く、「大学」が31.8%、「高等学校」が18.4%であった。

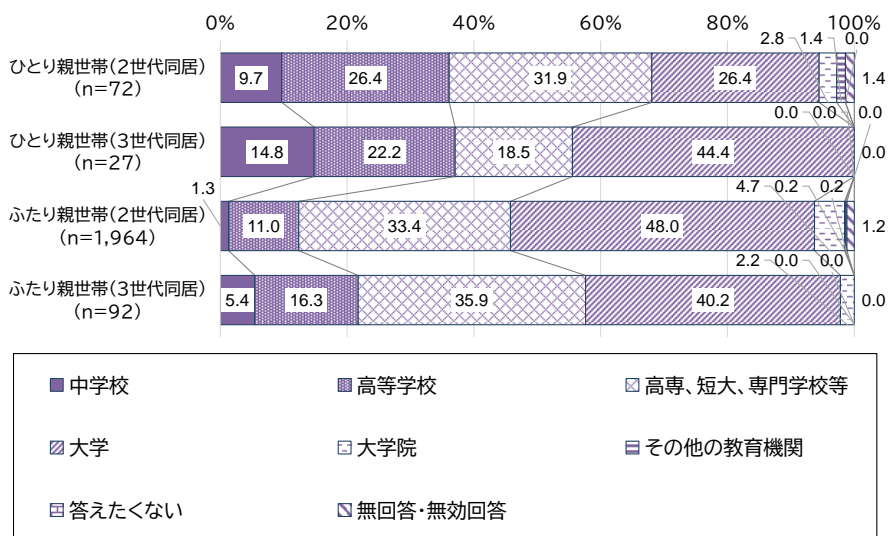
【5歳児保護者問33】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問36にお進みください)お子さんのお母さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問34にお進みください。(単一回答)

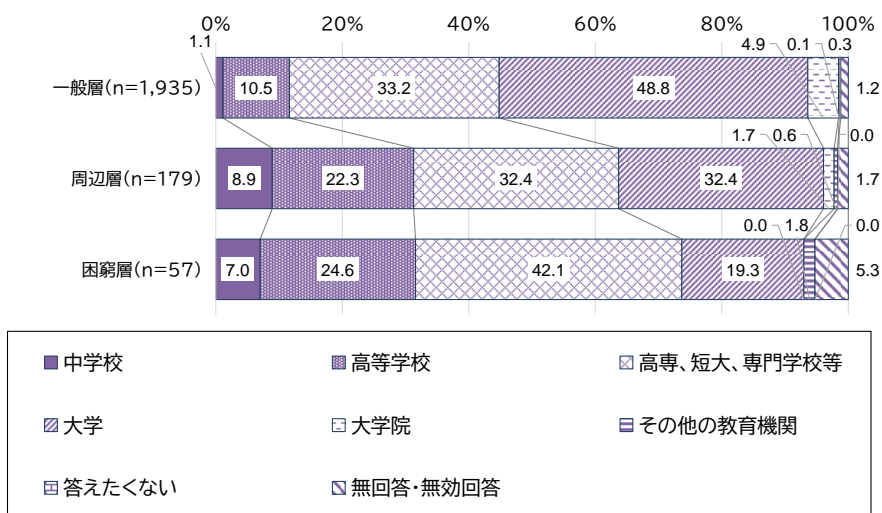
図表 2-185 母親の最後に通った学校 (単純集計)



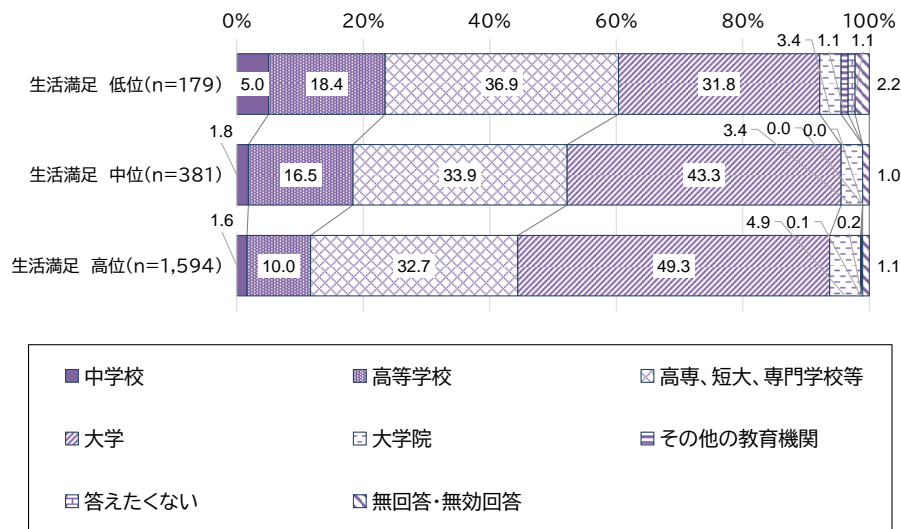
図表 2-186 母親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-187 母親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 2-188 母親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



イ 父親の最終学歴（最後に通った学校）

回答者が父親かひとり親ではない母親の場合に、宛名の子どものお父さんの最終学歴を尋ねた結果、「大学」が 49.9%と最も多く、以下、「大学院」が 15.9%、「高専、短大、専門学校等」が 15.5%と続いた。

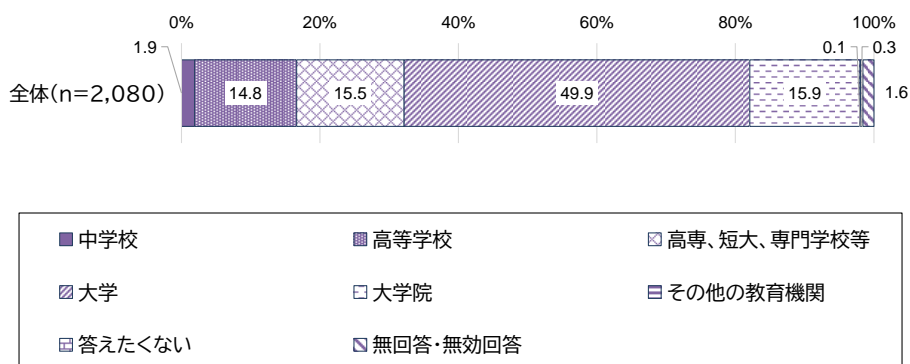
困窮層 (n=43) では、「高等学校」が 46.5%と最も多く、以下、「大学」が 23.3%、「高専、短大、専門学校等」が 18.6%と続いた。

生活満足 低位 (n=153) では、「大学」が 41.8%と最も多く、以下、「高等学校」が 24.8%、「高専、短大、専門学校等」が 19.6%となった。

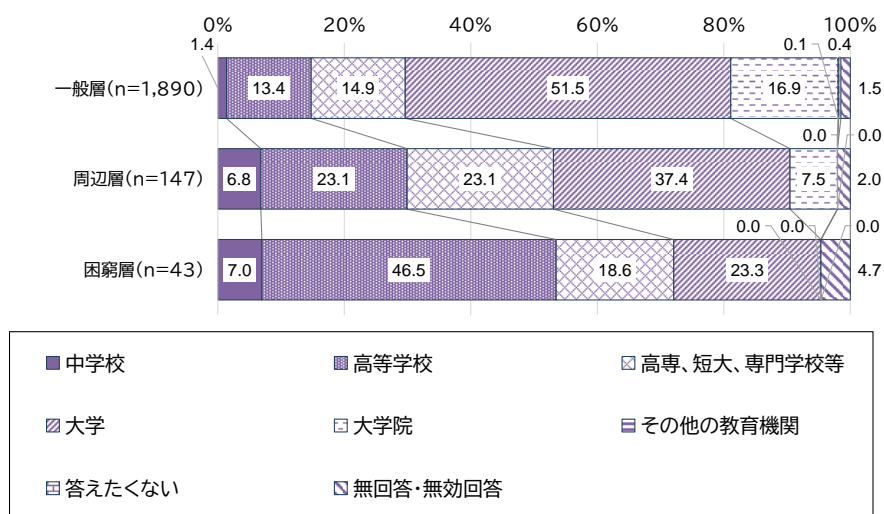
【5 歳児保護者問 34】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 36にお進みください) お子さんのお父さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。 ※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 35にお進みください。(単一回答)

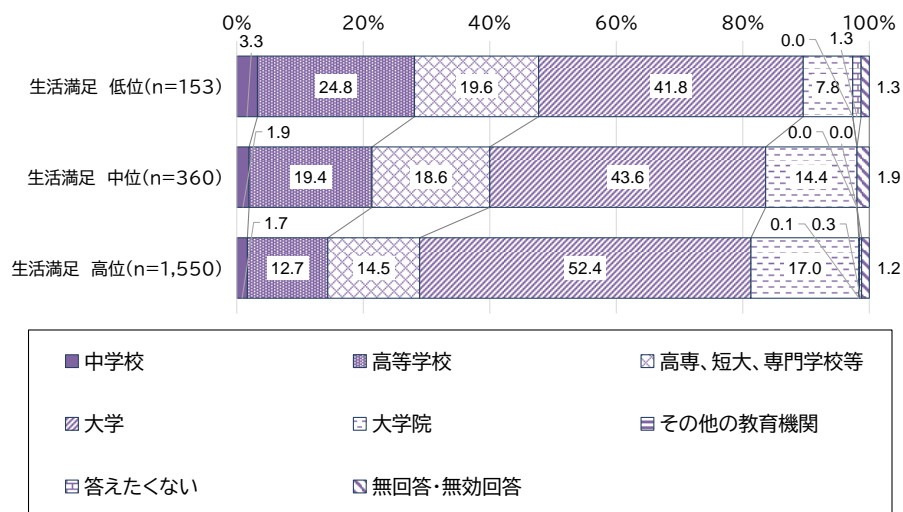
図表 2-189 父親の最後に通った学校（単純集計）



図表 2-190 父親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 2-191 父親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



ウ 子どもが生まれてからの経験

回答者が母親か父親の場合に、子どもが生まれてから回答者が経験したことを尋ねた結果、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 66.2%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 15.6%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 12.9%であった。

前回調査と比較すると、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は、今回調査は 66.2%、前回調査は 73.1%で、6.9 ポイント減少した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 45.3%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」「自殺を考えたことがある」と回答した割合が 25.3%と最も多かった。

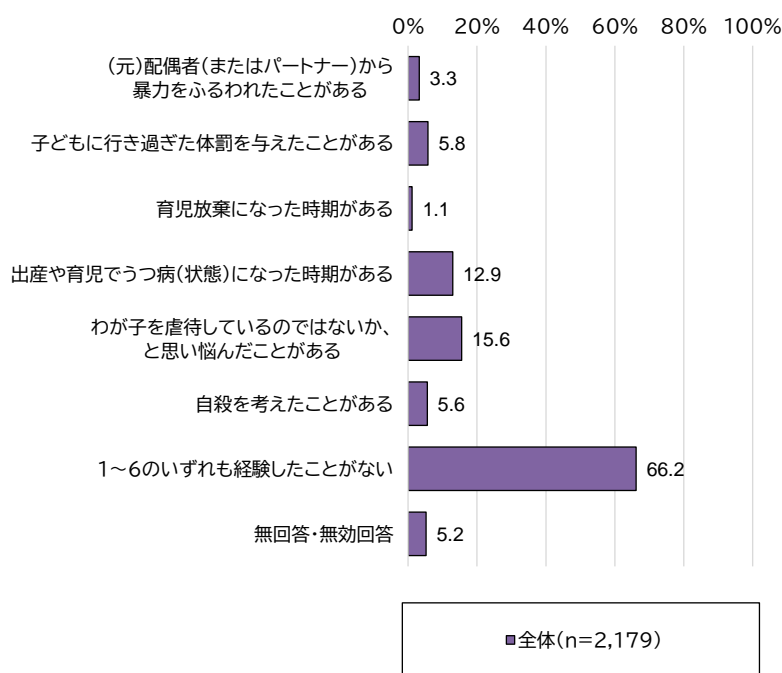
困窮層(n=58)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 37.9%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 34.5%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」「自殺を考えたことがある」と回答した割合が 25.9%であった。

生活満足 低位(n=180)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 38.3%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 30.0%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 26.1%であった。

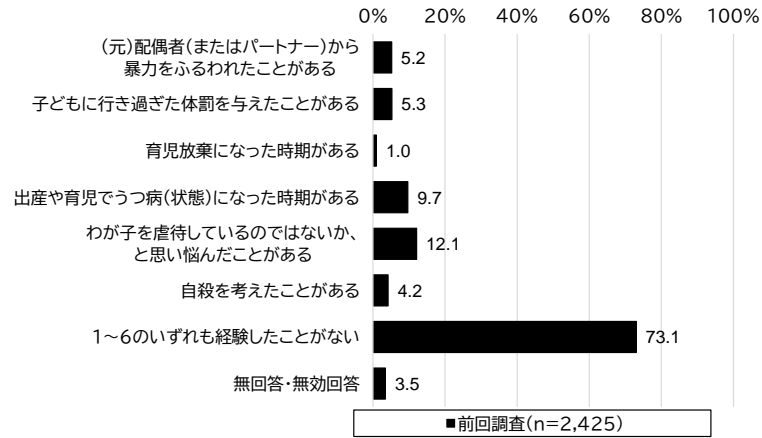
【5 歳児保護者問 35】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 36にお進みください)あなたはお子さんをもってから、次のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

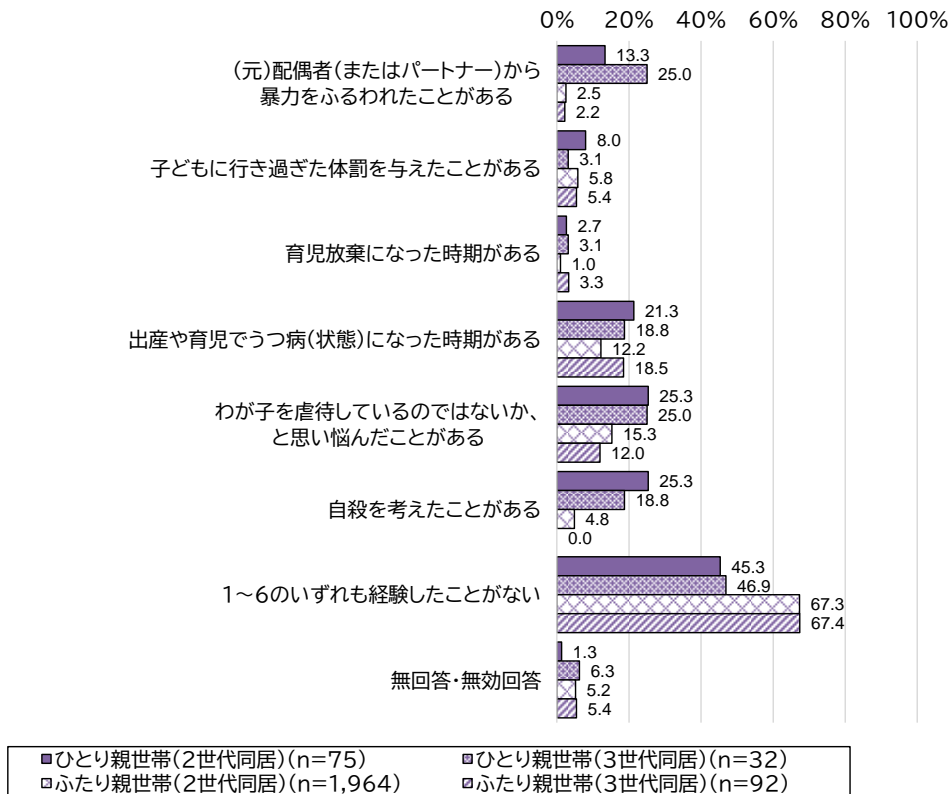
図表 2-192 子どもが生まれてからの経験 (単純集計)



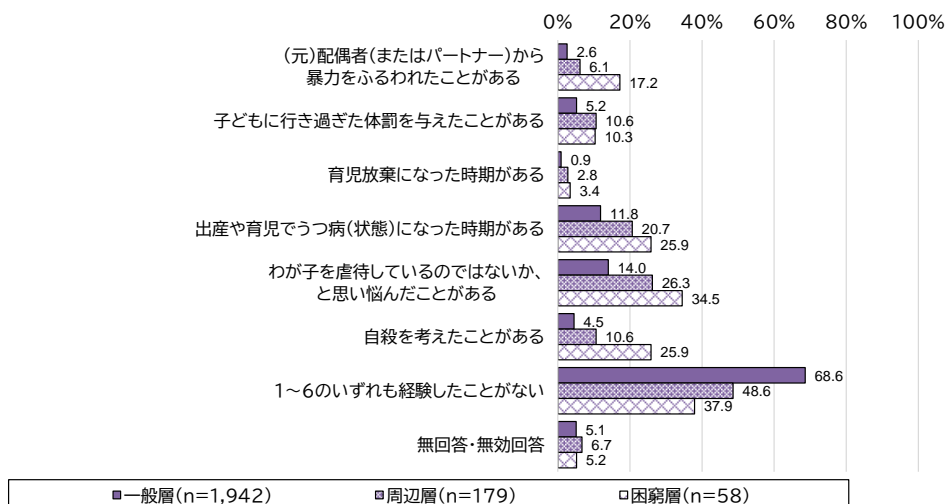
図表 2-193 子どもが生まれてからの経験（前回調査 単純集計）



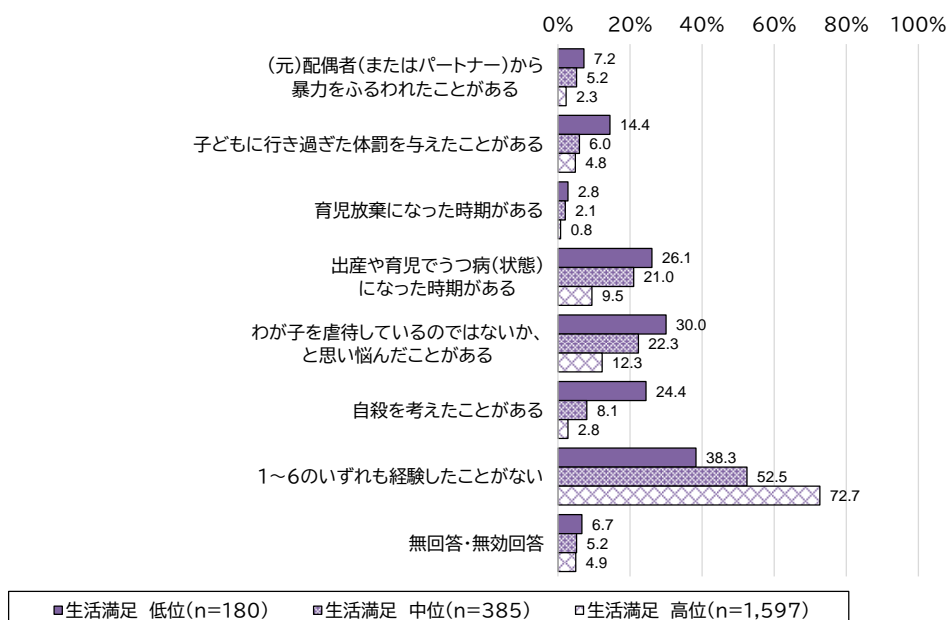
図表 2-194 子どもが生まれてからの経験（世帯タイプ別クロス集計）



図表 2-195 子どもが生まれてからの経験（生活困難層別クロス集計）



図表 2-196 子どもが生まれてからの経験（生活満足度別クロス集計）



(7) 子育てへの支援についてうかがいます

ア 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述)

5歳児の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、957件の自由記述が寄せられた。自由記述の内容を分類すると、「保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援」が最も多かった。また、「一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等の子どもの預け先に関する意見も多く挙げられた。

【5歳児保護者問 36】

最後に、子育て(教育を含む)をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。(自由記述)

図表 2-197 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述意見の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
1	保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援	184	19.2%
2	一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)	176	18.4%
3	子育て世帯への経済的支援、家計の悩み	165	17.2%
4	子育てに関する相談・講座・仲間作り・子育て支援センター	146	15.3%
5	学童・放課後児童クラブに関する要望	139	14.5%
6	子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援	109	11.4%
7	保育所等の充実・改善(待機児童を含む)	74	7.7%
8	障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育	71	7.4%
9	長期休暇・休日の子どもの居場所	64	6.7%
10	医療・医療費助成・健診	62	6.5%
11	幼児期の教育・保育の無償化、保育料	57	6.0%
12	小1の壁、小学校への接続に関する悩み、支援	56	5.9%
13	子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)	51	5.3%
14	子育てに関する情報提供、広報、手続きの電子化・効率化	48	5.0%
15	給食・給食費、昼食サービス	47	4.9%
16	教育制度、学校のルール(学区・制服・指定用品、PTA など含む)	41	4.3%
16	学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放	41	4.3%
18	公園・スポーツ施設・遊び場	35	3.7%
19	防犯・交通安全・登下校の安全確保、不審者対策等	33	3.4%
20	ひとり親世帯への支援(児童扶養手当、養育費等)	28	2.9%
21	DV、虐待、家族の悩み、近隣の気になる家庭	27	2.8%
22	学校教育の充実(相談・SC、施設、設備含む)	22	2.3%
23	教職員に関すること(教員、人員配置、授業内容など含む)	18	1.9%
24	幼稚園の充実・改善	13	1.4%
25	いじめ・登校しぶり・不登校に関する悩み・支援	11	1.1%
その他			
-	その他の子育てに関する悩み	36	3.8%
-	その他、市の教育・子育て支援	29	3.0%
-	アンケート調査	20	2.1%
-	その他、特になし	15	1.6%
合計(意見を提出した人数 957 件)		1818	—

子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートに関する上位 10 項目の代表的な意見

1位 保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援

- 小学校になってからの習い事の送迎。フルタイムで働きたいと思うが、遠方(歩いて行けない距離)での習い事の送迎ができなくなるので難しい。
- まだまだ母親が働きやすい環境とはいえないように思う。保育園へもなかなか入れずという声を聞く。下の子が小さいので、私は現在、まだ仕事はしていないが、例えば、3歳になった時点ですぐ入園できる幼稚園がもっと増えたらいいと思った。少しでも預け先の確保ができると、色々な面でお母さんたちも助かると思う。
- 日々、時間がなく(帰宅してから就寝まで)、子どもたちにお手伝いや自由に遊ぶ時間を作っておあげられないこと。自分に余裕がなく「待つ」ことができない。「早くして!!」が口癖になっていて、子どもたちの自己効力感を阻害してしまっているように感じる。
- 育児休暇など社会の制度は整備されつつあるが、育休をとると、職場の方々に迷惑がかかり、人員をすぐに補充してくれることもない。業務負担が増えるだけ。精神的に辛いことがある。当事者以外の周囲の方々にも配慮される環境整備があると、もっと気持ちよく仕事ができると思う。もちろん自分は他人が育休を取得する場合は協力したい。ただ、「子どもがいない」「仕事をしていなかった」人にとっては、わざわざ育休をとって仕事を続けるのかという考えなのだそう。
- どうしようもないことだが、フルタイムで働きながら子ども3人を育てていくのが忙しく、余ゆうがない。アンケートに答えながら“ゆたか”というワードがあったが、経済的にはゆたかに値するのかもしれないが、それは寝る時間を削ったからであって、気もちの“ゆたかさ”には直結していない。でも育てていくために働く。本当はもっと余裕をもって学校行事や保育園行事、休日の習い事、遊びに全力で取り組みたいのになというジレンマを常に抱えている。
- 現在、うつ病により休職状態になっている。そのため生活がかなり厳しく、子どもに我慢させることが多く、罪悪感が出る。また、妻も体調不良になったりすると全部自分が家事育児をしないといけなくなり、体力も精神面も辛くなっている。仕事に復帰しても妻が体調不良になったら自分が全部やらないといけなくなるので、やっていけるか不安である。

2位 一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)

- 父・母の両親が共に高齢&遠方住まいのため何かあった時に子どもの預け先がない。たまに下の子(2歳)の一時預かりを利用することもあるが、予約がとりづらい&回数制限もあり、もっと気軽に、直前でも預けられるようなサービスを作ってほしい。
- 共働きで土曜日の預け先が、幼稚園に行かせているためにない。高齢な義父母に見てもらっている。
- 一時保育の、受け入れ条件が1人で食事できるなど、1歳児でできるわけないのに受け入れ条件が入っている事がなぜ?と思う。もう少し考えてほしい。

- 身内が近くにいないので一時預かりがもっと便利に使えるようになってほしかったと思う。小学校、幼稚園、未就園の3人兄妹なので下校の時間がかぶってしまったり、参観、面談、病院さえ行けなかったりする。小学校にも放課後一時預かりのようなサポートがあれば本当に助かる。
- 平日以外で子育てサポートの申し込みや面接ができるの良い。ファミサポや子育てサポートの申し込みをしたいが、平日のため、なかなか時間がとれず、ふみきれない。
- 子どもの体調が悪い時にあずけ先がない。
- 一時保育の利用が藤沢市は1歳からで、0歳の時には預かってもらえないことが不便に感じた。母親の急な受診などの時に預かってもらえる場が0歳の子から受け入れ可能だとありがたく思う。

3位 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み

- 私は子どもが4人いるため年収は低くないが、子どもにかかるお金も多いため、年収などで給付金の基準を区切られてしまうともうすることができない。なので家族の人数を考慮した上で決定して頂けたらと思う。
- 両親、義両親が近くに住んでいたり、金銭的な事など子育て全般の周りの人たちとの格差がものすごく気になる。今これだけ差があるのなら、今後、私が働いてももう経験格差などを埋められることがないのだなと漠然と不安になることがよくある。共働き前提の子育て社会だと親が遠方に住んでいてサポートも受けられないし、仕事に家事に育児にと体力的にも無理だし、やる事が多すぎてパンクしそうだし、圧倒的に不利だなと感じる。
- 経済的な援助が増えてほしい。貯蓄を取り崩して生活しているので大変である。
- シングルマザーでまだ子どもが小学校入学前で、就労時間が短いため、金銭的余裕がない。
- 産後1ヵ月間、家事代行を低価格で依頼できるサービスの利用がしたい。体が回復するまで、心身、経済的負担がない形で、所得に関わらず子どもが欲しい家庭にはしっかり出産直後の支援は公的扶助で補っていただけると助かる。特に2人目、3人目と子どもを産みたい家庭が増えると思う。
- 引っ越しをできる余裕もなく、季節によって光熱費が高くて支払が追い付かず、貯蓄ができない。子どもが小さいと極端な節約も限られてできない。
- 児童手当の所得制限をなくして欲しい。

4位 子育てに関する相談・講座・仲間作り・子育て支援センター

- いわゆるママ友ができそうと感じても、どのように距離を縮められるのかわからない。コロナ禍で疎遠になった友人も多く、孤独とは言わないが寂しく思うことがある。子育てについて気軽に相談できる場所が欲しい。
- 第1子出産時には3回産後うつテストを受けるように指導があったが、第2子出産時には1回あったかなかったか程度であった。しかし第2子出産後の育児中に、上の子のかんしゃくもあり、下の子の後追いが苦しく追いつめられた。たまたま通っていた心療内科を受診することができた

が、保育園を通じてカウンセラーや心療内科とつながることができるようになったらいいなと思う。

- 託児つきの公民館等での講座がもっとたくさんあったら利用したい。今はとても少なく感じている。
- 新生児～生後4ヶ月ごろ、ハローベビー訪問があるが、その時、状況によって悩みがあるため、その時期だけではなく、3歳児4歳児、5歳児とか定期的な訪問があれば良いと感じた。どこに悩みを相談して良いのかわからない。就学しているところ(保育園、幼稚園)にも相談できないことがある。
- 幼稚園や保育園での個別相談会開催(子どもの発達状況を専門家の目線で見ると相談に乗る機会を作って欲しい)。
- 子育てをしていて、自分の感情のコントロール(怒り)が難しく感じる事がある。今後の子どもの成長(人格や性格)に影響が出るのではないかと不安である。周りのお母さん達は穏やかに子育てをしているように見えてしまうが、同じ悩みを持っている人同士が交流できるサポートがあるといいと思う。
- 行政の行う子育て関連の講座や事業は平日に実施が多く、参加できないことがあるため、土日等の休日の実施をご検討頂けると参加しやすいと思う。

5位 学童・放課後児童クラブに関する要望

- 日曜・祝日もやっている学童を作って欲しい。学童の時間をもう少し延長して欲しい。
- 小学校に入り、学童に入れなかもしれないと聞き、本当に入れなかった場合どうしようか迷っている。枠をもっと増やしてほしい
- 学童サービスが使いづらい。単発でも使えるようにしていただけたら、もっと使いやすくなり、働きやすくなると思う。
- 学童の費用が高すぎるので、考えて欲しい。長く(できれば高学年まで)利用したいが、月々の利用料が高すぎる。
- 学童保育(公的な)で、もうすこし塾のような、学習面のサポートがあると良い。
- 収入(納税)の額で公立学童に入れることはなさそうなのだが(数も少ないため)、民間学童は非常に高く、困っている。そのためのサポート、補助金がほしい。
- 共働きが多くなってきている状態。近年ではコロナもあって在宅勤務が主になったが、学童に通う事ができる年齢の上限が小学校低学年までである事に不満と不安を感じている。藤沢市の人口も保育園等も増えてきているため、学童も増やしてほしい。

6位 子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援

- 15、10、5歳の子が3人いる。3人とも学習グレーである。私立高校助成金など補助金類はもらえないが、教育費3人分は余裕があるわけではなく心配である。

- 昨今の度重なる増税、物価高により、以前より日常での食費や光熱費など当たり前に支払う額が大きくなり、生活にゆとりが少なくなっているように感じる。子どもには沢山投資したいし、習いごとも多くさせてあげたいが、躊躇してしまう。子育て世帯にメリットがあるような税金の使い方をしてほしい。できれば大学まで教育費の無償化を実施してほしい。藤沢市が子育てがしやすい自治体として日本一の市になることを期待している。
- 子どもが3人いるため、教育費が不安。子どもたちが望めば大学まで行かせてあげたいが、塾代や学費が高すぎて叶えてあげられないのではないかと不安である。子どもにお金をかけすぎると自分たちの老後資金にも影響があるため、教育面と経済面等のサポートがほしい。
- 子どもの勉強(上の子)を見たいのですが、時間がない。
- 高校の義務教育 or 無償化
- どのような環境にある子どもも等しく高等教育が受けられる行政のサポートをお願いしたい。親が急に病気で働けなくなってしまった場合など、支援を必要としている家庭に寄り沿った行政であってほしい。
- 現在3人の子育てをしているが(0歳、5歳、7歳)、これから先中学・高校・大学と3人それぞれがやりたいこと、好きなことを叶えてあげられたらと思うが、十分な教育費を準備してあげられるのか自信はない。4人目も欲しい気持ちはあるが、躊躇してしまう。私立や大学の無償化などが実現され、藤沢・神奈川・日本に暮らす全ての子どもたちが平等に、広い選択肢の中で学びを受けられることを心から願う。金銭的不安理由で、2人目、3人目を悩んでいる友人も多い。

7位 保育所等の充実・改善(待機児童を含む)

- 母親が求職中で子どもを保育園に入れた際、2ヶ月以内に就職しないと退園させられてしまうということで、ずいぶん焦った。3、4ヶ月の猶予があると嬉しい。
- 保育園に入れない。兄弟・姉妹で同じ園に入れないと仕事ができない。朝の出勤に間に合わない。
- 自宅近くの保育園に入りやすくしてほしい。
- 子どもは、親の前と他人の前では態度が違う事もあるので、保育園でのおむかえ時など「今日も元気でした！」と報告は受けるが、もっと詳しく伝えてくれると親の知らない部分を知る事ができるので助かる。子どもから「今日はこんな事があった」と本人から伝えてくれる事もあるが、言いにくい部分もあつたりするので、大人からみて伝えてくれると親としては安心する。
- 保育園を利用していますが、急な早出勤や残業等で、申請時間外(特に朝)を利用すると、保育園に詰問される。もう少し保育サポートの面から受け入れていただきたい。子どもが早起きできたので少し早めに登園しても、先生が子どもに「早起きしたからって早く来ていいってもんじゃないんだよ」と言っているのを聞いて、耳を疑った。保育士不足で、受け入れていただいているだけ感謝しなければいけないのかもしれないが、とても保育士さん達に保育について相談できる環境ではない。

8位 障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育

- 藤沢市には全ての小学校に支援級がない事に困っている。発達グレーな子どもは増えているように感じるが、支えてくれる人も場所も足りていないと思う。
- 発達相談をうたいながら、時間を見つけて相談に行っても既定のボーダーラインが決まっており、一人一人の困りごとに寄り沿うことはしないことが非常に不満。もっと一人一人に寄り沿ってみてはどうか。
- 発達障害のために、しつけがなっていない、親の甘やかしとよく言われたり、理解してもらえなくて悩む事がある。「障害者理解」という学びが学校、地域、会社などでもっと広がるといいなあと思った。
- 今は放課後デイがずいぶん増えたが、信頼して預けたいと思える事業者はごく一部である。子どもの将来がとても心配である。安心して子どもが暮らせるような、お願いできるような事業者が増えることを願う。
- 子どもは言語聴覚士(ST)さんの指導を週1程度の頻度で必要としているが、そのような指導が受けられる市の施設が藤沢市にはない(受けられても月1程度と言われた)。高額な指導料(約8000円/回)を払って民間の施設に通うか、幼稚園を休ませて遠方の医療機関に通うしか手がなく、また ST 指導を受けられる施設の情報もなかなかないため、先が見えずに不安ばかりであった。横浜市には手厚くサポートしてくれる施設(例:横浜市総合リハビリテーションセンター)があるそうで引っ越しも考えたが、家庭の都合もあるためそれはできなかった。周りでも ST さんを必要としている方が数人いる。同じように困っている人もたくさんいると思う。なので、藤沢市でもそのような施設、または情報提供等のサポートの拡充を切に願う。
- 現在悩んでいることはないが、上の子(発達障害)を育てている時は悩みが多く、どのような支援があるのかもわからず、とても不安だった。行政の方から、「このような支援がある」等具体的な話がなく、全体的に自分で調べることが多く、ただでさえ発達障害児の育児で手いっぱいだったので、もう少しどういった支援があるのか、その支援を受けるにはどこへ行ったら良いか等「話を聞く」や「このようにしたらどうか?」という支援だけではなく、より具体的な話がきけたら良かったなと思う。
- 発達障がい、5歳児、知的なし、ASD の男の子を育てている。藤沢市の支援級は知的ありがベースになっていて、息子のような情緒相当の子どもの適切な支援を受けられる場所がない。インクルーシブとは名ばかりで、普通級へ行っても特別な支援があるわけでもなく驚いている。そんな子どもや(グレーな子もしい)親が安心して子育てをできる市になれば良いなと日ごろから思っている。

9位 長期休暇・休日の子どもの居場所

- 子ども長期休みの際に、預けられるところがあると良い。普段、学童に入っていないけれど、長期休みは親がいない時間が長くなるので心配。

- 長期間の休みの時だけ、子どもを預かってくれる場所が欲しい。学童は日頃から入っていないと枠が足りたりずに入れないと聞いている。
- 子どもの長期休みの間、親の方が心身ともに疲れ果ててしまう。子どもを預けられる場所・人があると助かる。
- 小学校高学年の子どもが受けられるサマースクールの受け皿がもっと増えるといいなと思う。
- 学童保育終了後(高学年)の居場所があるとよい
- 夏休みなど高額でなく預けられる学童保育などができたら働きやすいと思う。

10位 医療・医療費助成・健診

- 家族全員がもう1人欲しいと願ってくれているので妊活をしているが、保険適用になったとはいえ体外受精の金額や出費が多いため、妊活に対しての制度をもっと見なおし、対応して欲しい。少子化をストップすべく、妊活を頑張っている人たちにもっと市や県や国がサポート&応援すべきだと思う。
- 小児医療費助成制度の補助について(めがね、コルセットなど)。一度全額支払い、申請した後、数ヶ月後に口座に振り込まれるが、一度購入時に全額支払う事がとても難しい世帯もあるかと思う。購入時に相殺され支払う額を少しでも最小限にできないのだろうか。市が7割負担するのであれば3割だけの支払いで済むようにしてほしい。
- 予防接種の予診票を各家庭に送った方が良いと思う。その年に受ける注射の種類が分かるし、(嫌がる)子どもを連れて医療機関に行き、副反応の注意事項を読み、予診票をその場で書くのは大変！！子どもが複数人いる人は尚更だと思う。転勤で他の地域に住んだ事があるが、予診票が送られて来ない事は、初めてである。
- 予防接種の無償化(特にインフルエンザ)。
- 小児科の増設(急な発熱時等に診察予約がとれない)。コロナの影響もあり、どこも予約診療であるし、新規は断わられる場合もある。

第3章 アンケート調査結果(小学生 5 年生保護者)

(1) あなたの世帯のことについてうかがいます

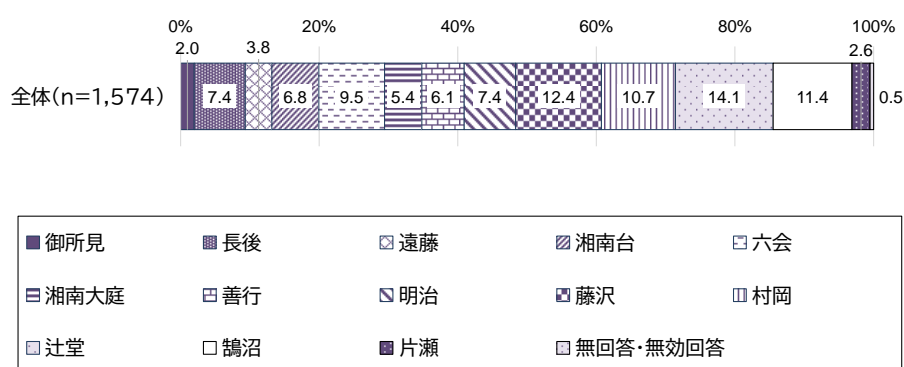
ア 居住地区

居住地区については、「辻堂」が 14.1%と最も多く、「藤沢」が 12.4%、「鶴沼」が 11.4%であった。

【小学5年生保護者問 1】

お住まいの地区としてあてはまるものをお選びください。(単一回答)

図表 3-1 居住地区 (単純集計)



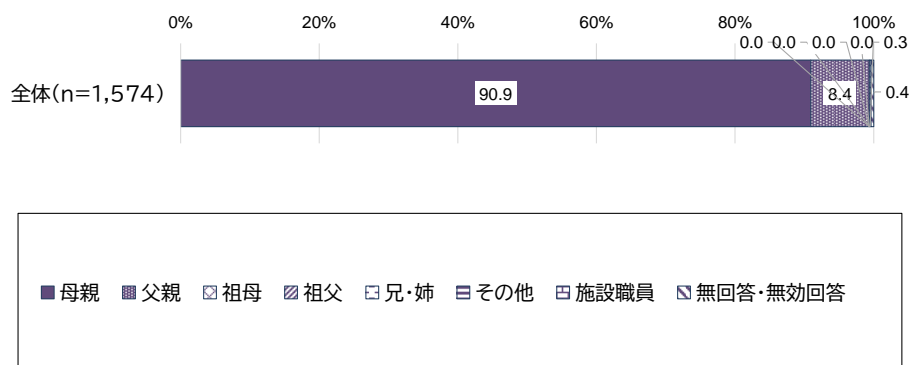
イ 回答者と子どもとの続柄

回答者と子どもとの続柄は、「母親」が 90.9%、「父親」が 8.4%であった。

【小学5年生保護者問 2】

お子さんとあなた(回答者)との関係は、次のどれになりますか。(単一回答)

図表 3-2 回答者と子どもとの続柄 (単純集計)



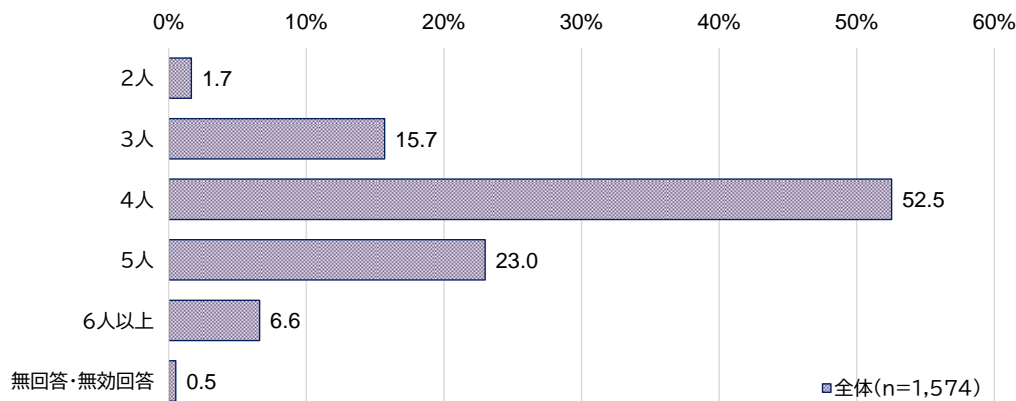
ウ 同居人数

調査票の宛名の子どもと同居している人数は、「4人」が52.5%、「5人」が23.0%、「3人」が15.7%であった。

【小学5年生保護者問 3-1】

あなたと、この調査票を受け取ったお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。(数値回答)

図表 3-3 同居人数 (単純集計)



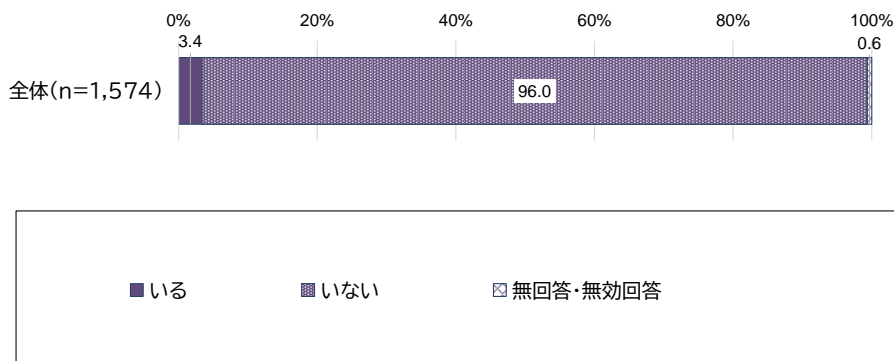
エ 介護・介助が必要な方の有無

介護または介助の必要な方がいるか尋ねたところ、「いない」が96.0%、「いる」が3.4%であった。困窮層(n=44)では、「いない」が86.4%、「いる」が13.6%であった。

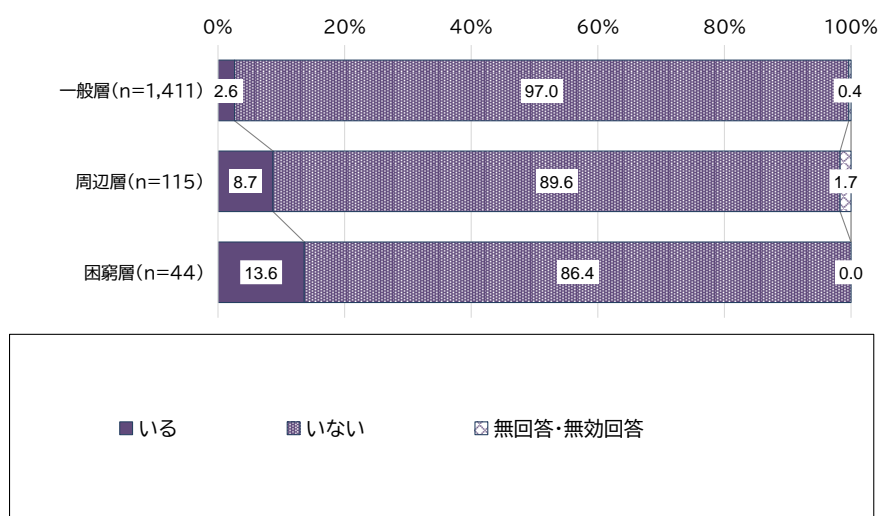
【小学5年生保護者問 3-2】

お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか。(単一回答)

図表 3-4 介護・介助が必要な方の有無 (単純集計)



図表 3-5 介護・介助が必要な方の有無（生活困難層別クロス集計）



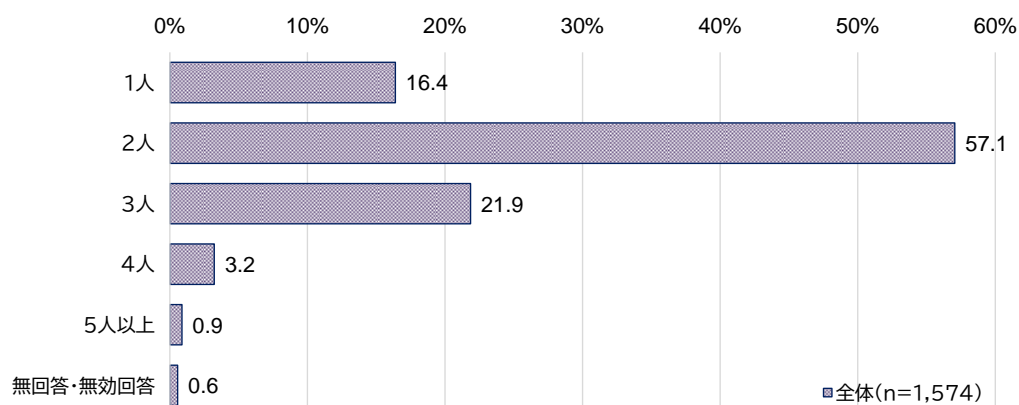
オ 子どもの人数

宛名の子どもを含めた同居している家族の子どもの人数についてみると、「2人」が 57.1%、「3人」が 21.9%、「1人」が 16.4%であった。

【小学5年生保護者問 3-3】

お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。この調査票を受け取ったお子さんを含めた人数をお答えください。(数値回答)

図表 3-6 同居している家族の子どもの人数（単純集計）



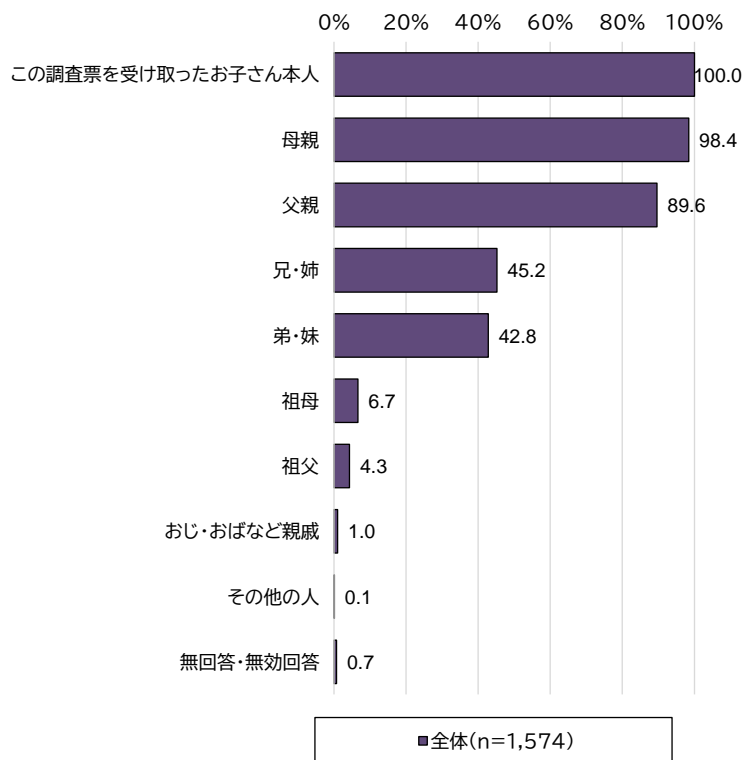
カ 同居家族の子どもからみた続柄

子どもと同居している家族について、子どもからみた続柄についてみると、「母親」と同居している方が98.4%、「父親」と同居している方が89.6%、「兄・姉」と同居している方が45.2%であった。

【小学5年生保護者問 3-4】

お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

図表 3-7 同居している家族のうち、子どもからみた続柄 (単純集計)



(2) お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

ア 母親の就業状況

父子家庭ではない世帯の場合に、母親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 38.6%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が 25.6%、「専業主婦」が 23.2%であった。

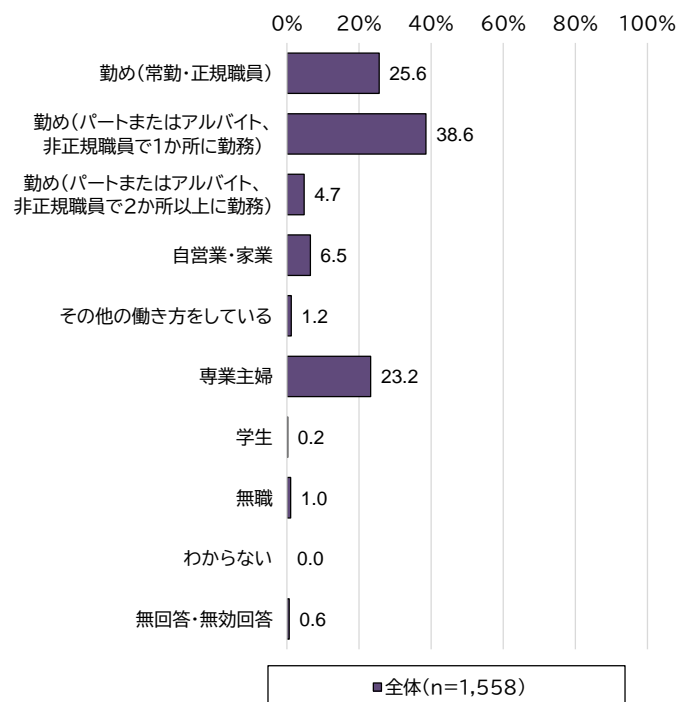
ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「勤め(常勤・正規職員)」が 45.1%と最も多く、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 32.4%、「自営業・家業」が 9.9%であった。

困窮層(n=41)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 53.7%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が 12.2%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)」が 9.8%であった。

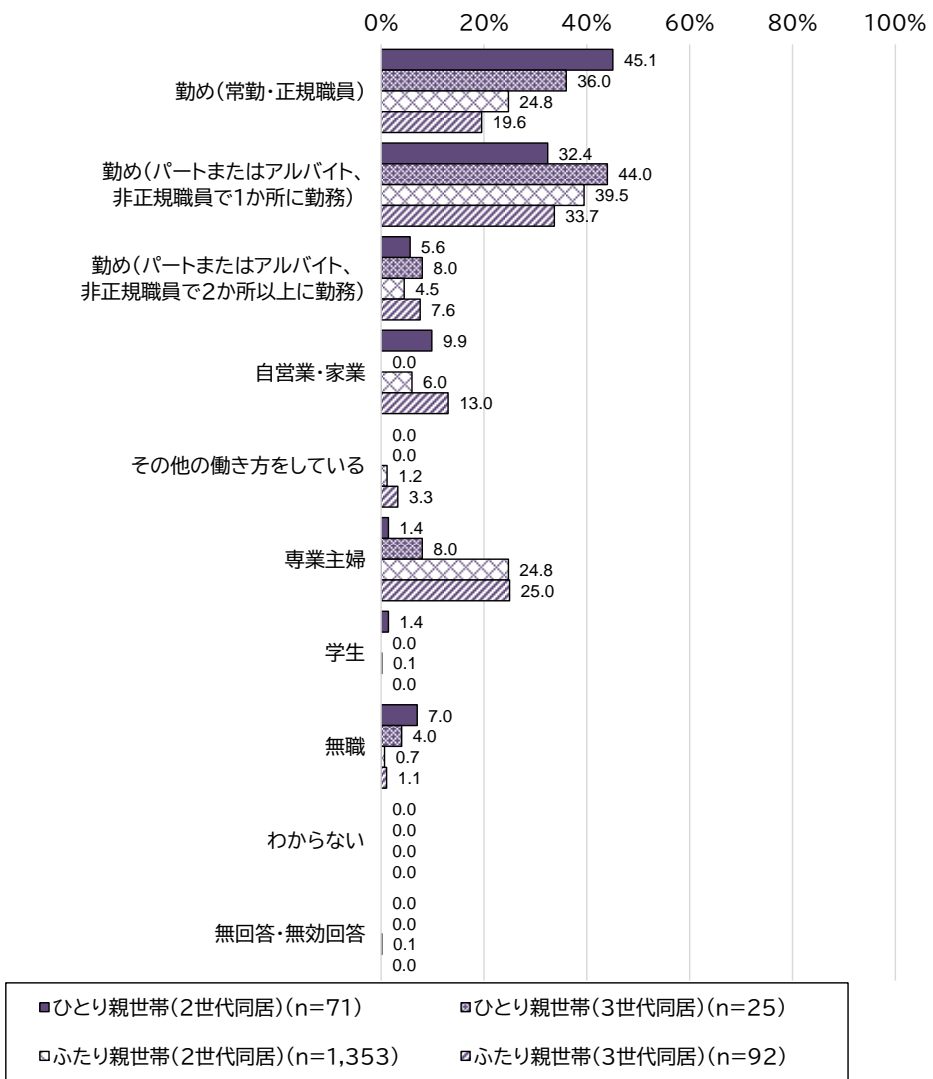
【小学5年生保護者問 4】

お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答)

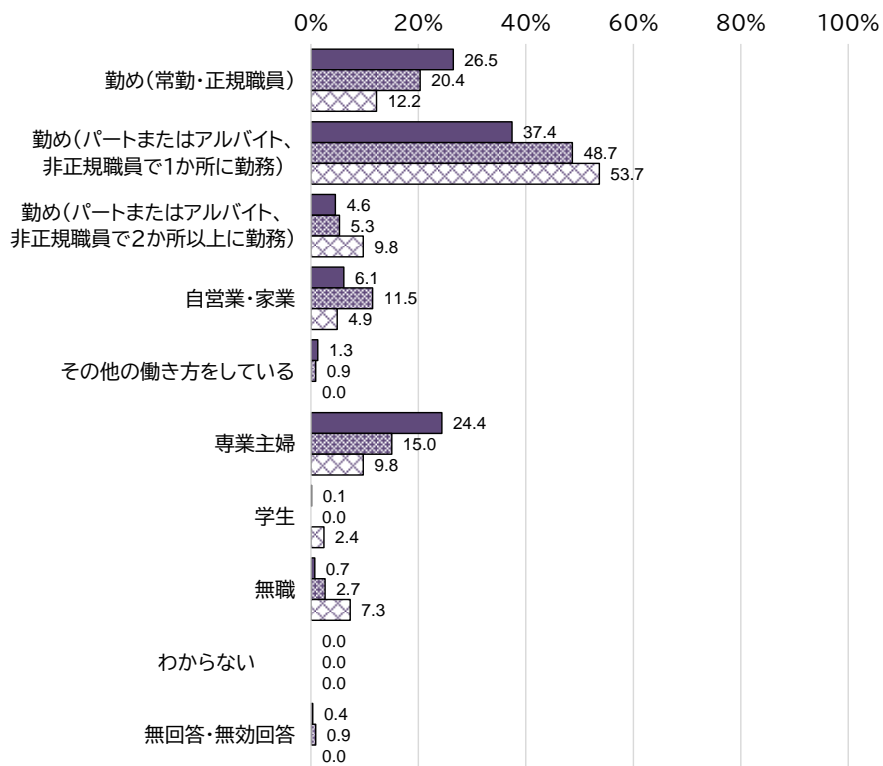
図表 3-8 母親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 3-9 母親の現在の就業状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-10 母親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,400) ▨周辺層(n=113) □困窮層(n=41)

イ 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

父子家庭ではない世帯かつ問4で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 48.9%と最も多く、「土曜出勤」がある方が 35.9%、「日曜・祝日出勤」がある方が 27.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=64)では、「土曜出勤」がある方が 46.9%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 37.5%であった。

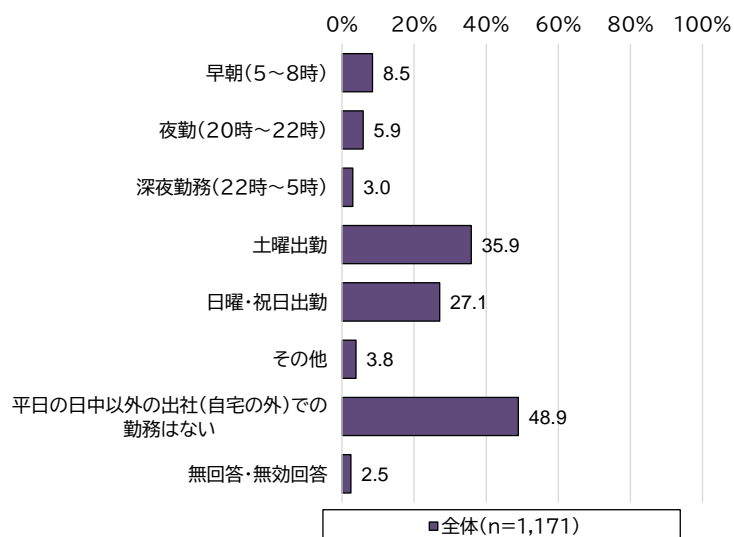
困窮層(n=33)では、「日曜・祝日出勤」がある方が 60.6%と最も多く、「土曜出勤」がある方が 45.5%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 24.2%であった。

生活満足 低位(n=119)では、「土曜出勤」がある方が 48.7%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方が 37.0%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 34.5%であった。

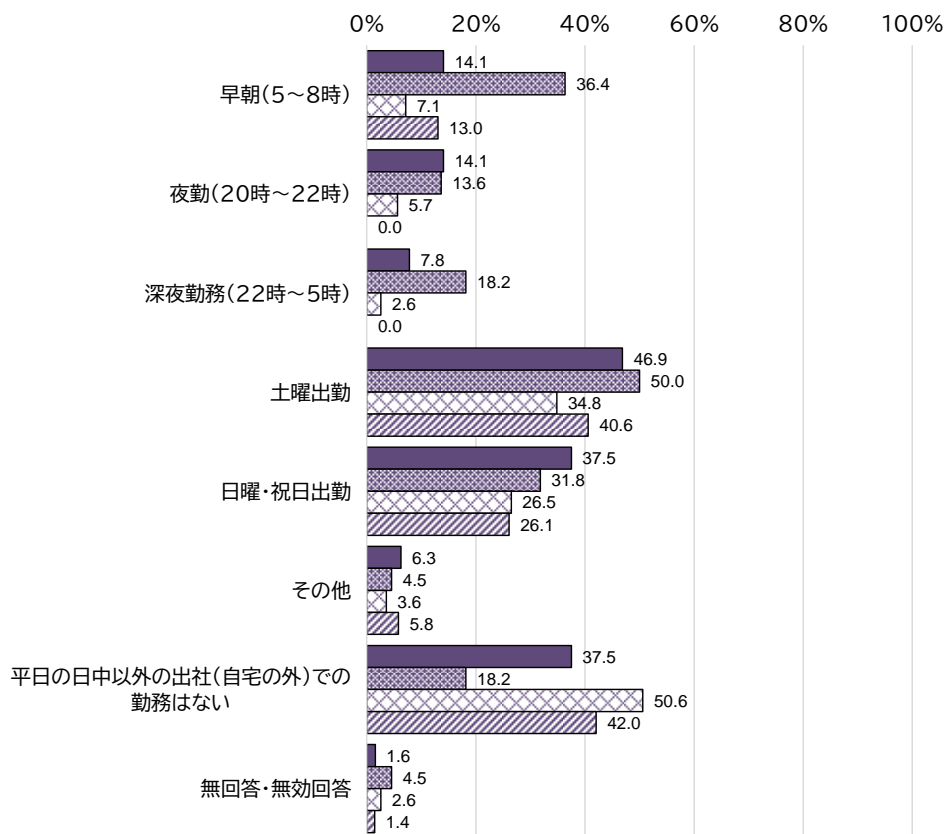
【小学5年生保護者問 4-1】

問 4 で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お母さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 3-11 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)

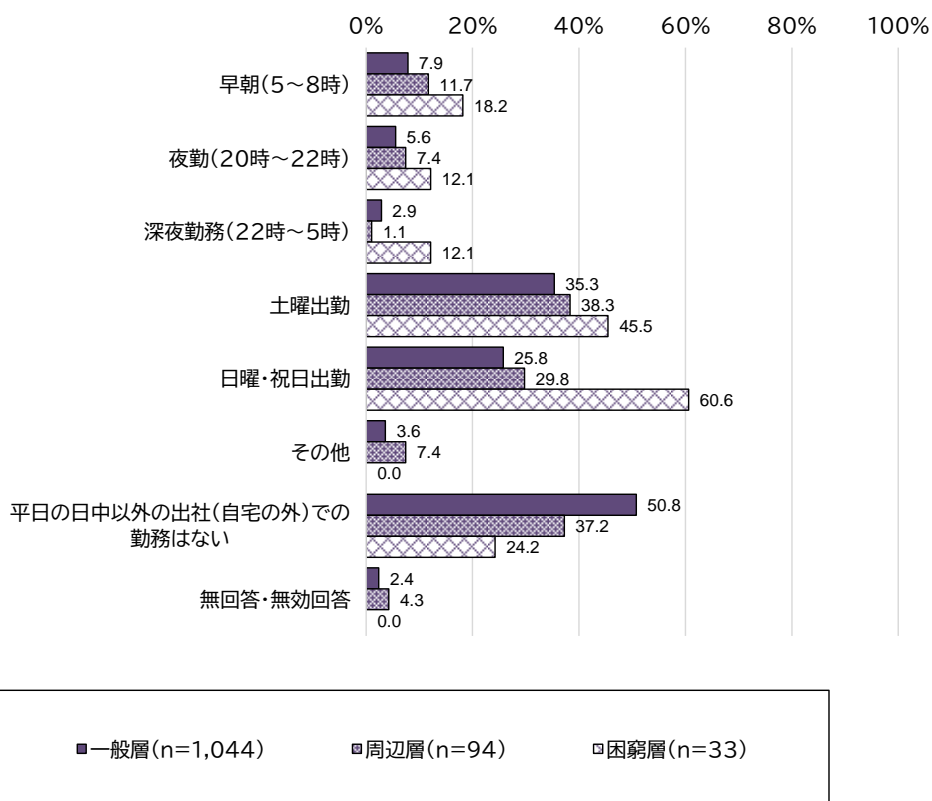


図表 3-12 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（世帯タイプ別クロス集計）

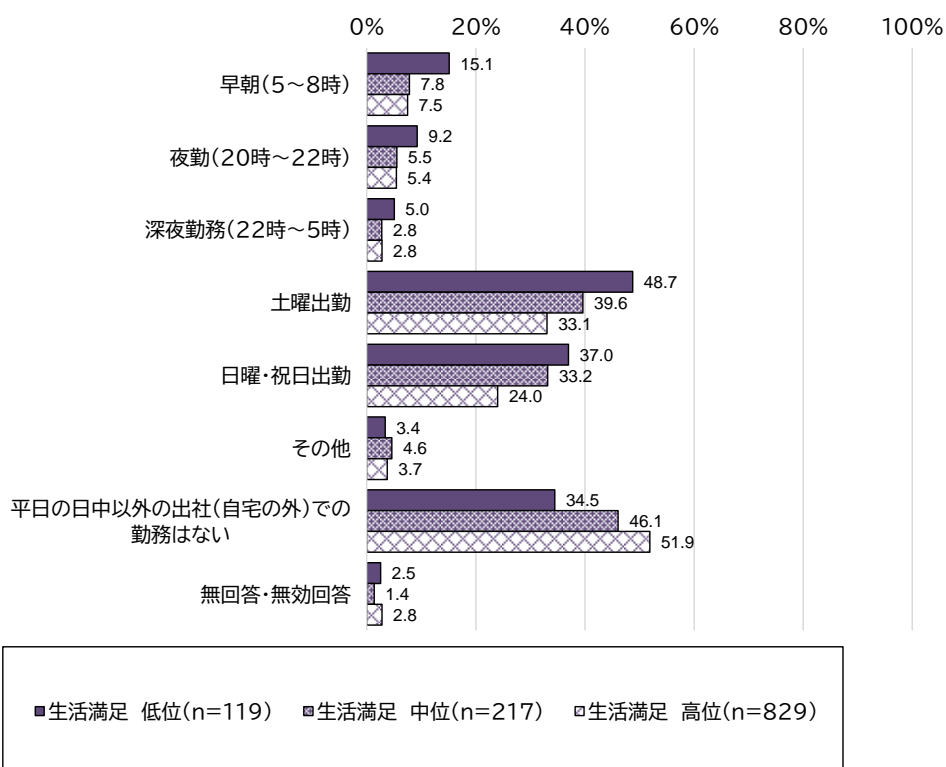


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=64)	□ひとり親世帯(3世代同居)(n=22)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,008)	□ふたり親世帯(3世代同居)(n=69)

図表 3-13 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-14 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活満足度別クロス集計）



ウ 父親の就業状況

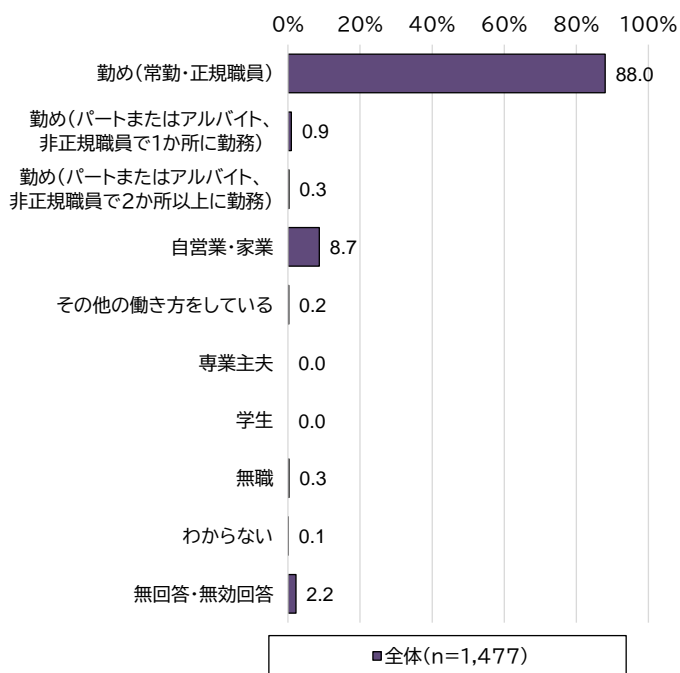
母子家庭ではない世帯の場合に、父親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が88.0%と最も多く、「自営業・家業」が8.7%であった。

困窮層(n=27)では、「勤め(常勤・正規職員)」が66.7%と最も多く、「自営業・家業」が22.2%であった。

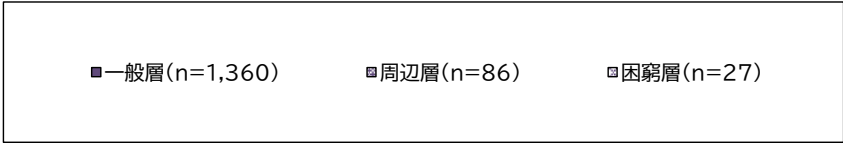
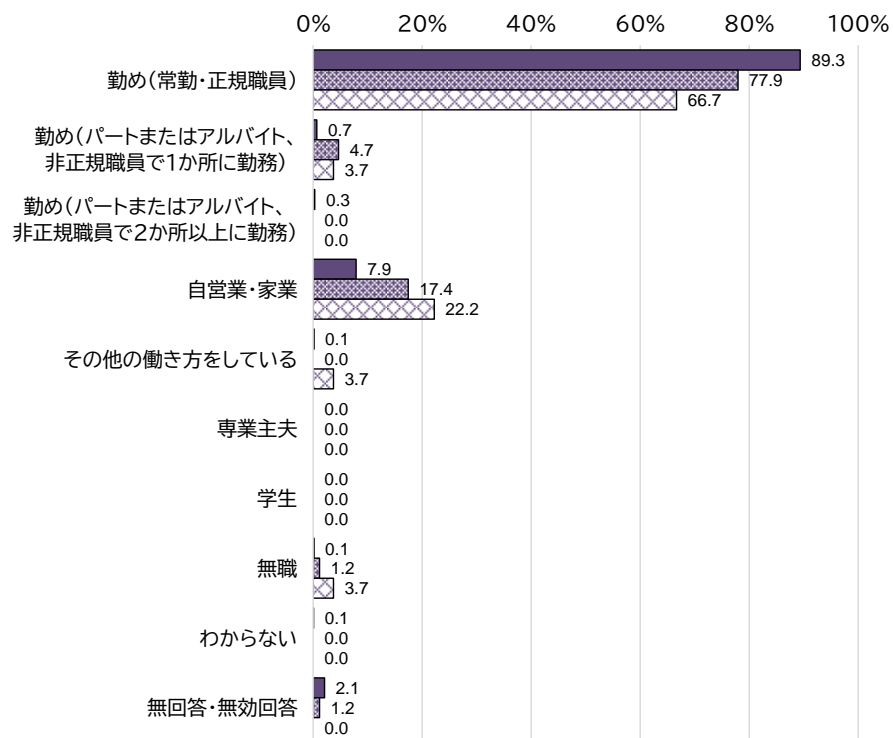
【小学5年生保護者問5】

お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。(複数回答)

図表 3-15 父親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 3-16 父親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



エ 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

母子家庭ではない世帯かつ問5で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、「土曜出勤」が41.1%と最も多く、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」が39.7%、「日曜・祝日出勤」が35.4%であった。

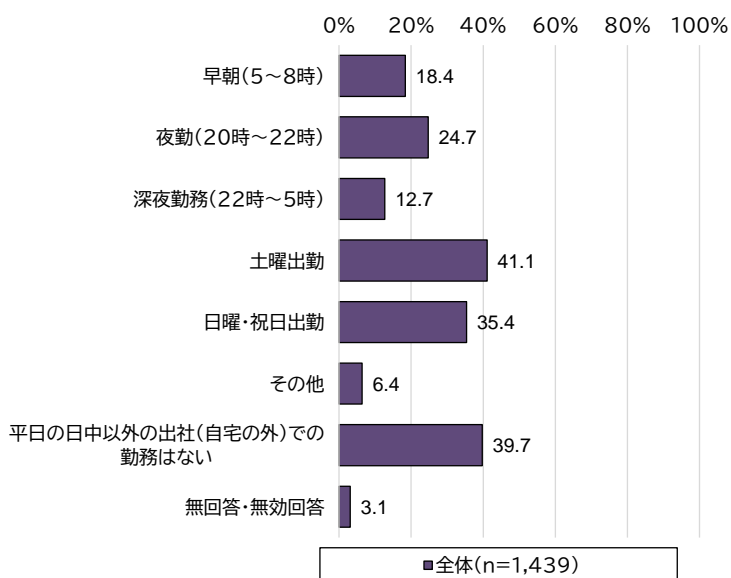
困窮層(n=26)では、「土曜出勤」が73.1%と最も多く、「日曜・祝日出勤」が57.7%、「早朝(5～8時)」が34.6%であった。

生活満足 低位(n=133)では、「土曜出勤」「日曜・祝日出勤」が57.9%と最も多く、「夜勤(20時～22時)」が38.3%であった。

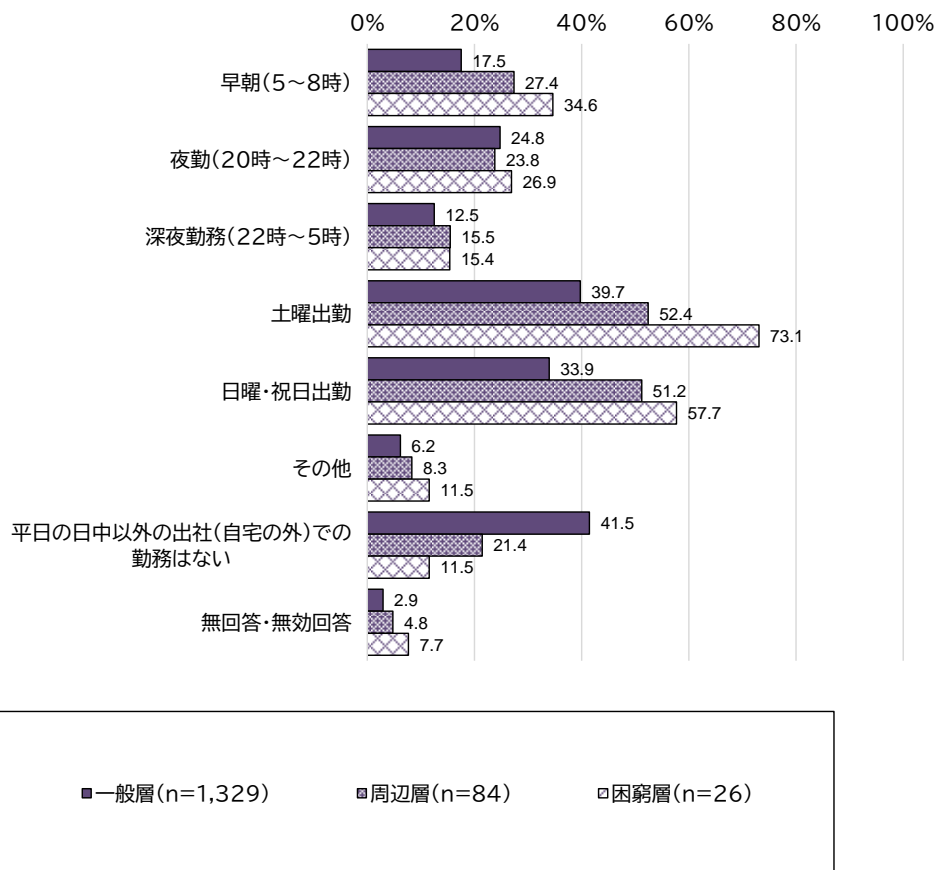
【小学5年生保護者問5-1】

問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お父さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

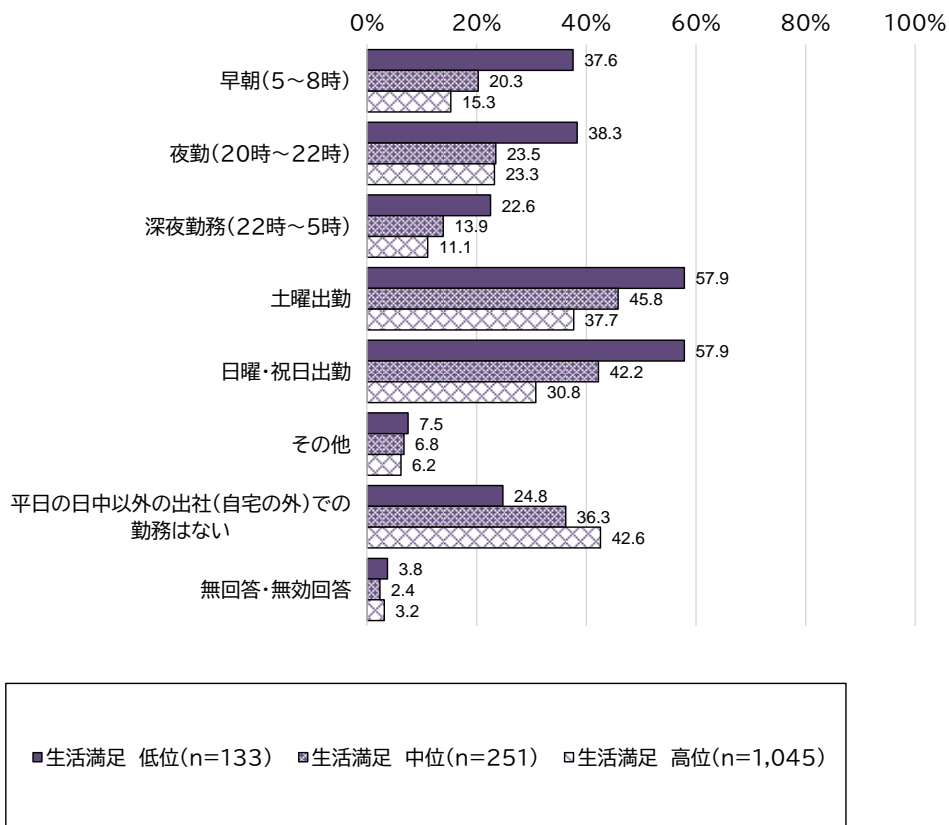
図表 3-17 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



図表 3-18 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-19 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活満足度別クロス集計）



(3) お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

ア 子育ての中でしていること

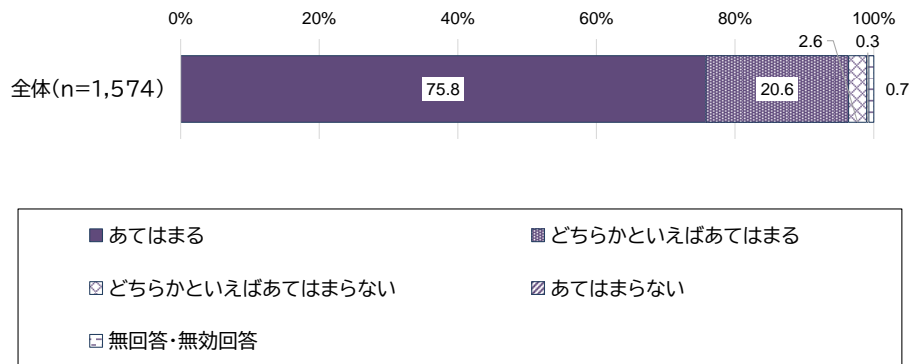
「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」は、「あてはまる」が 75.8%、「どちらかといえばあてはまる」が 20.6%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が 64.4%、「どちらかといえばあてはまる」が 28.1%であった。

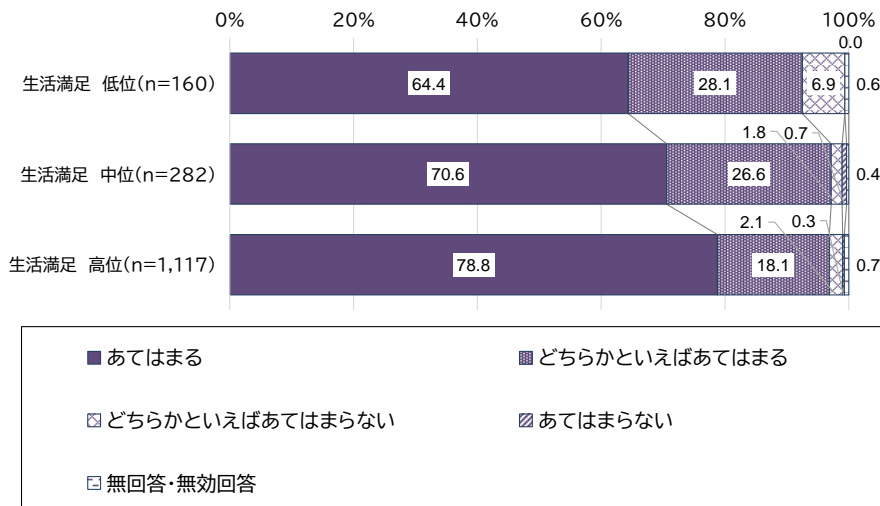
【小学5年生保護者問 6A】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 3-20 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (単純集計)



図表 3-21 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



「お子さんの勉強をみる」は、「あてはまる」が47.4%、「どちらかといえばあてはまる」が33.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「あてはまる」が34.9%、「どちらかといえばあてはまる」が37.2%であった。

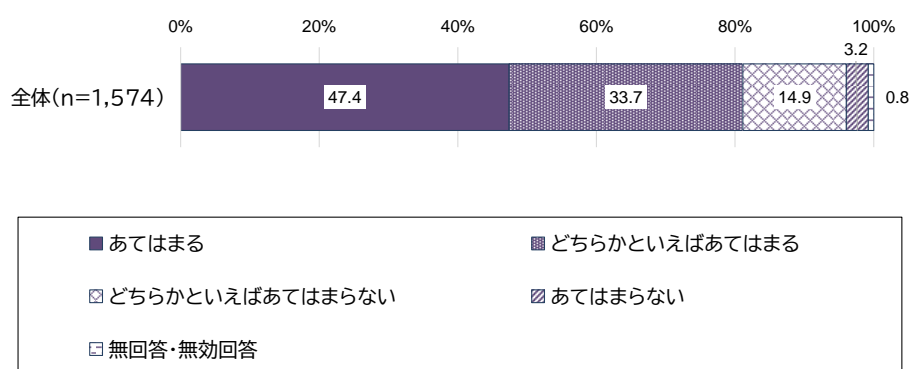
困窮層(n=44)では、「あてはまる」が38.6%、「どちらかといえばあてはまる」が31.8%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が33.1%、「どちらかといえばあてはまる」が35.6%であった。

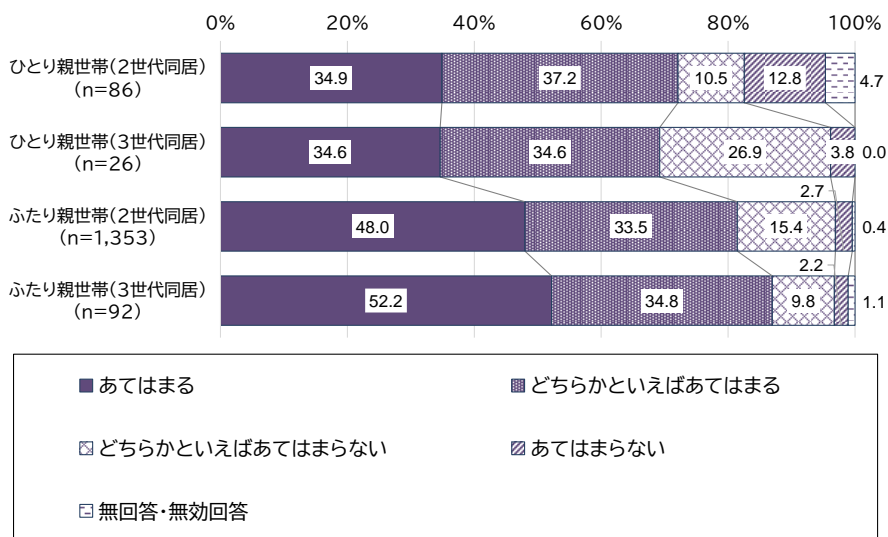
【小学5年生保護者問 6B】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

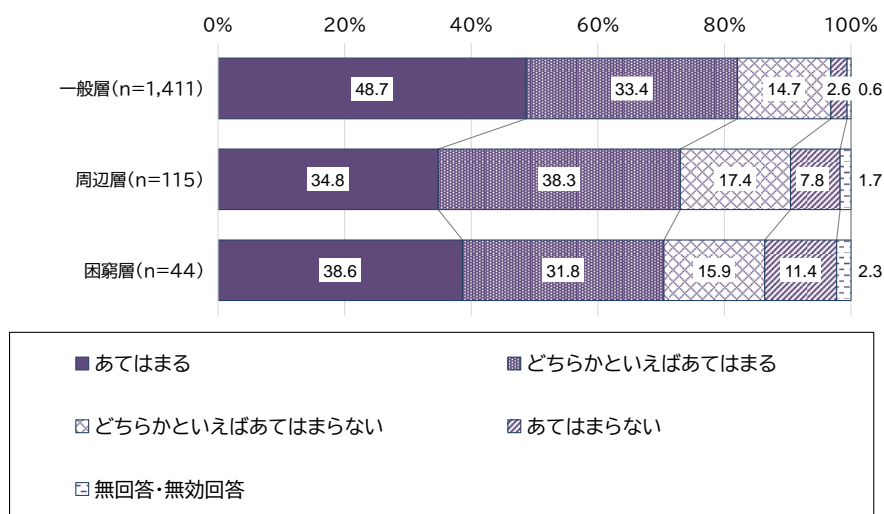
図表 3-22 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (単純集計)



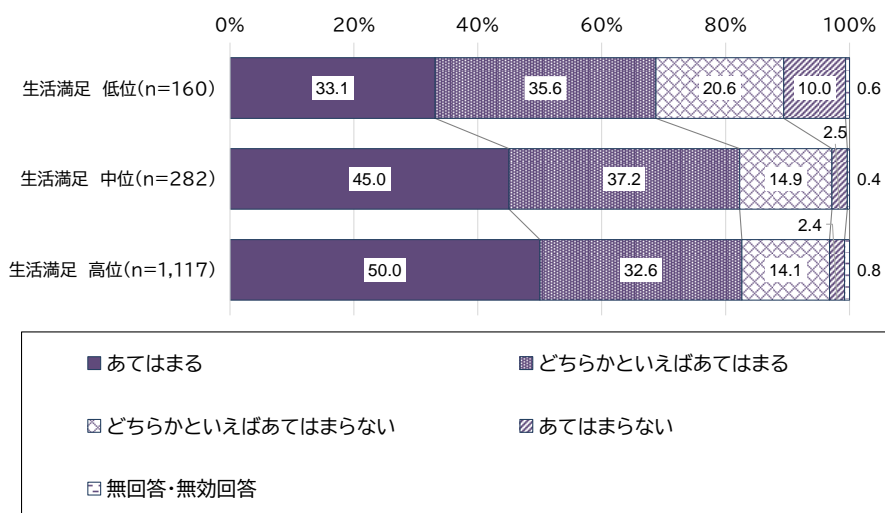
図表 3-23 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-24 「お子さんの勉強をみる」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-25 「お子さんの勉強をみる」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」は、「あてはまる」が69.1%、「どちらかといえばあてはまる」が24.6%であった。

前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は今回調査は69.1%、前回調査は57.7%で、11.4ポイント増加した。

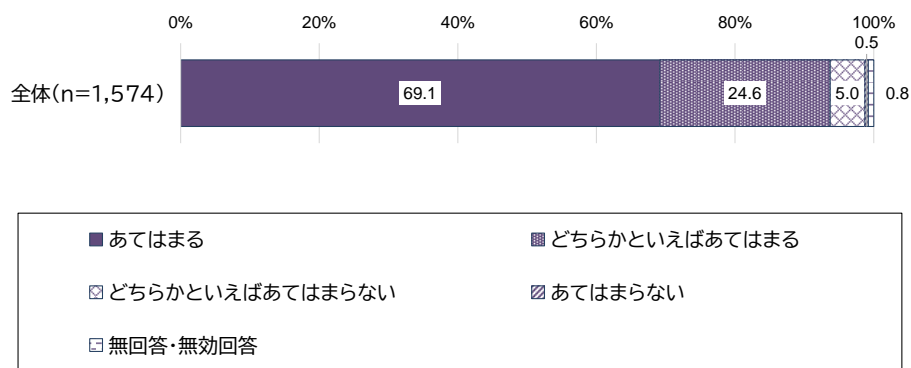
困窮層(n=44)では、「あてはまる」が47.7%、「どちらかといえばあてはまる」が38.6%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が55.6%、「どちらかといえばあてはまる」が31.9%であった。

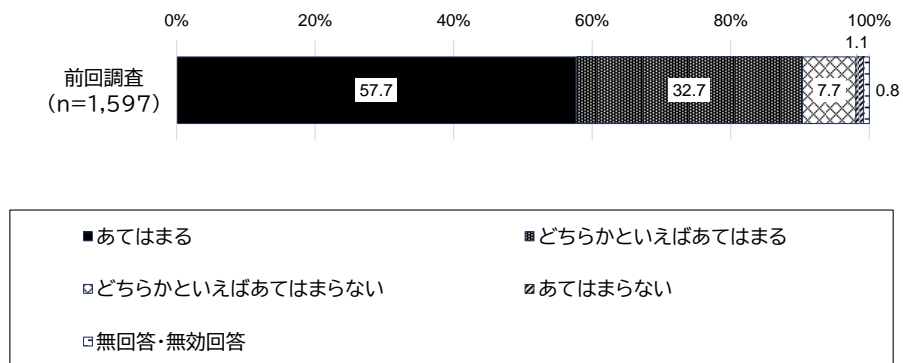
【小学5年生保護者問 6C】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

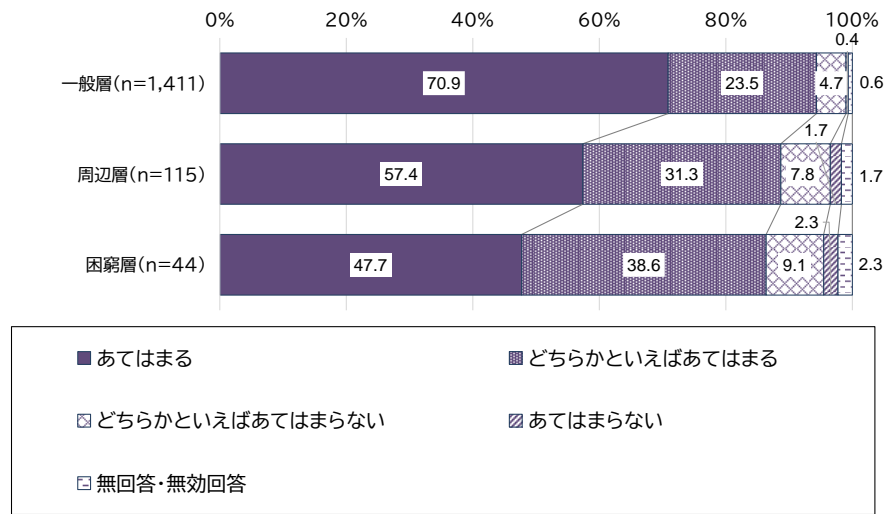
図表 3-26 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (単純集計)



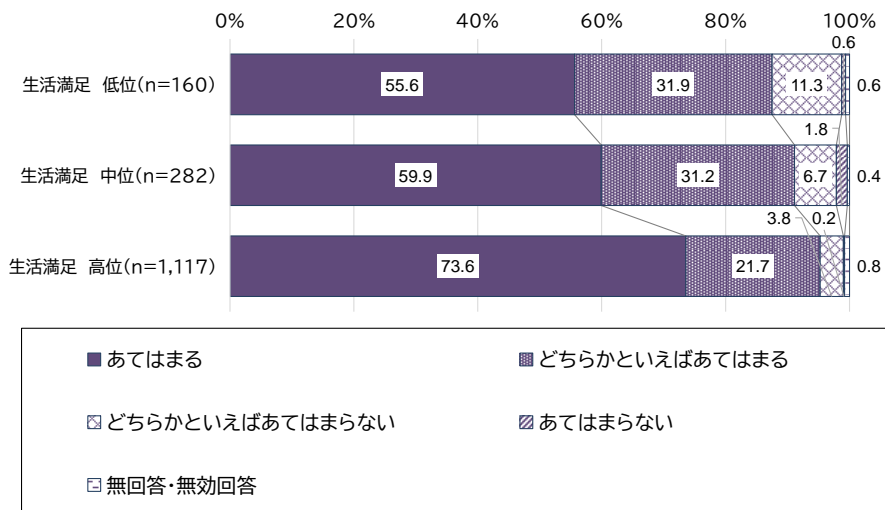
図表 3-27 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (前回調査 単純集計)



図表 3-28 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-29 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」は、「あてはまる」が 59.1、「どちらかといえばあてはまる」が 31.4%であった。

前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は、今回調査は 59.1%、前回調査は 50.2%で、8.9 ポイント増加した。

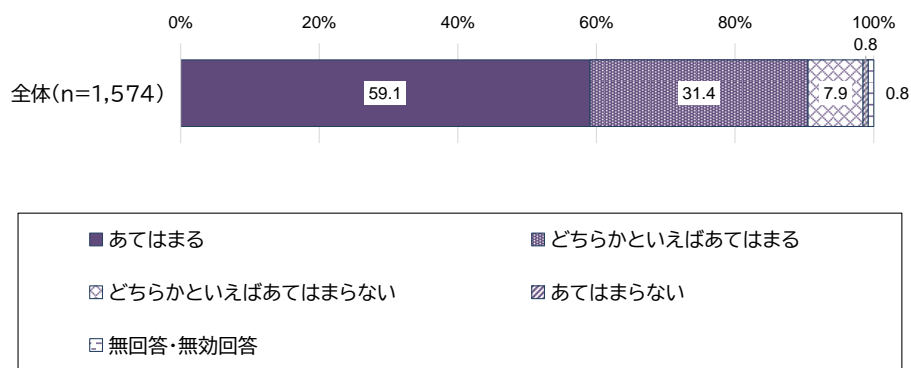
困窮層(n=44)では、「あてはまる」が 40.9%、「どちらかといえばあてはまる」が 34.1%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「あてはまる」が 45.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 32.5%であった。

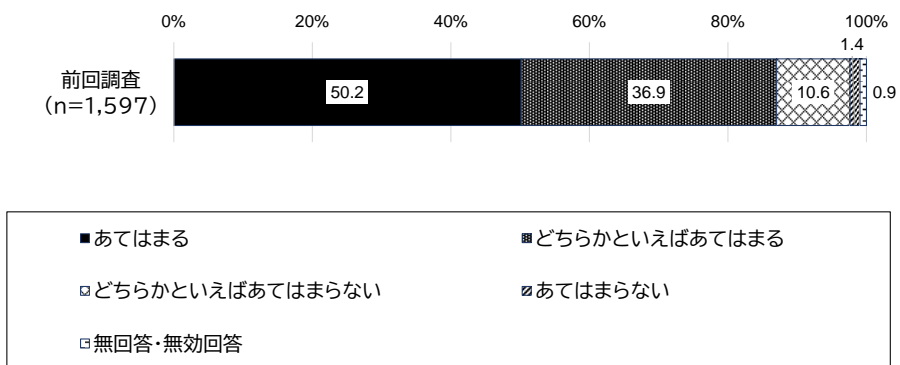
【小学5年生保護者問 6D】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

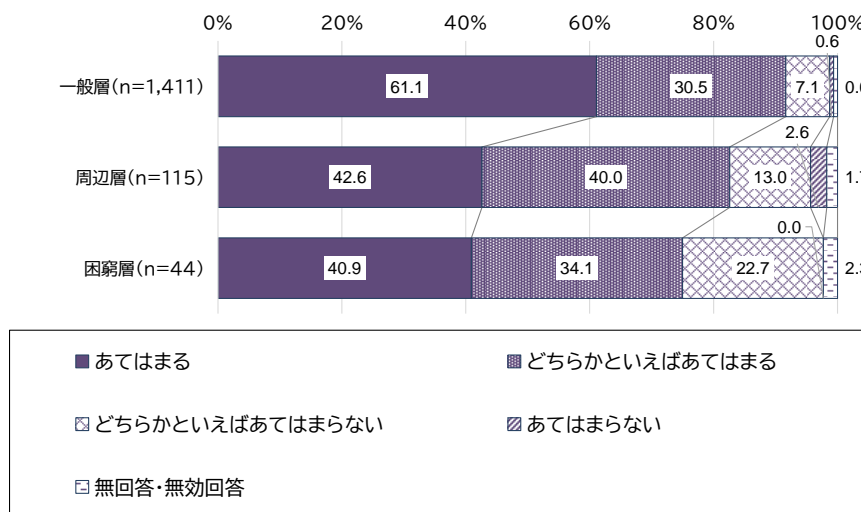
図表 3-30 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況 (単純集計)



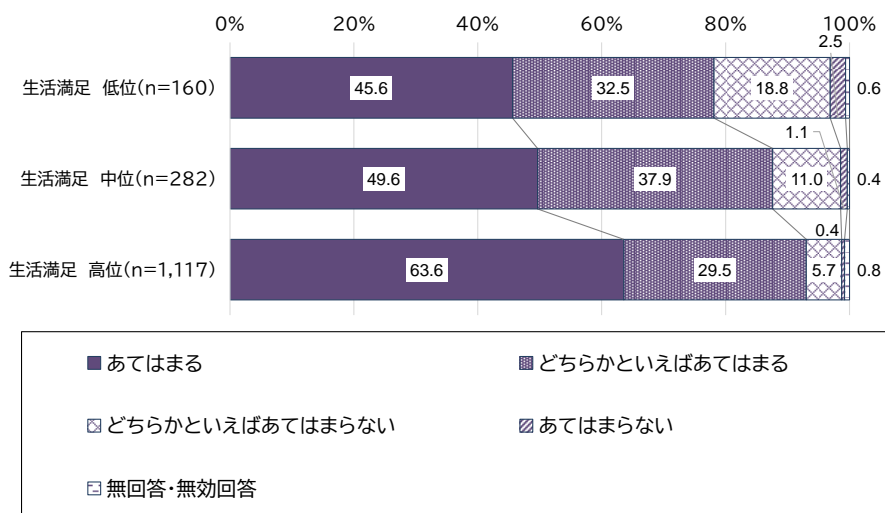
図表 3-31 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況 (前回調査 単純集計)



図表 3-32 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況
(生活困難層別クロス集計)



図表 3-33 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況
(生活満足度別クロス集計)



イ 過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

過去1年間に、子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった経験については、「なかった」が80.0%、「あった」が19.2%であった。

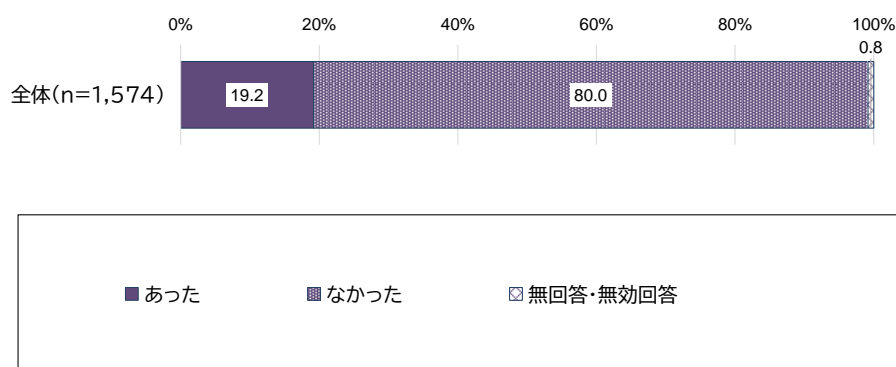
困窮層(n=44)では、「なかった」が50.0%、「あった」が47.7%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「なかった」が65.6%、「あった」が33.8%であった。

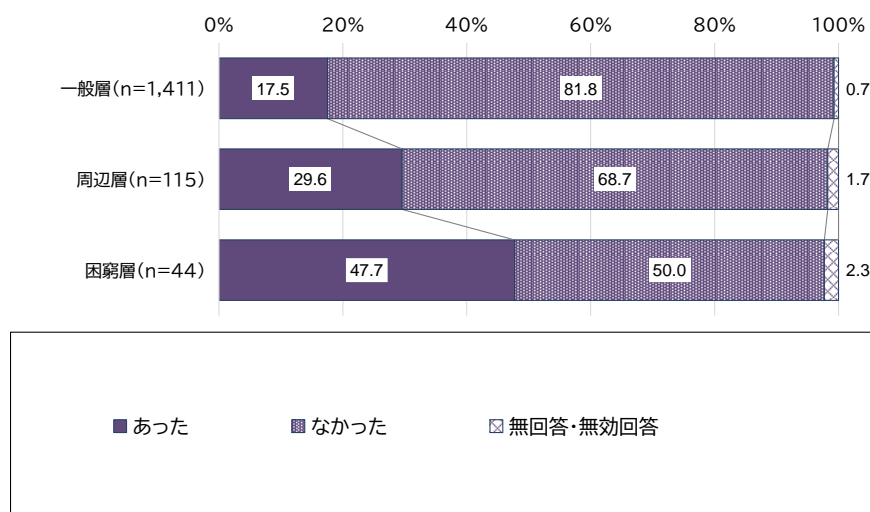
【小学5年生保護者問7】

過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(単一回答)

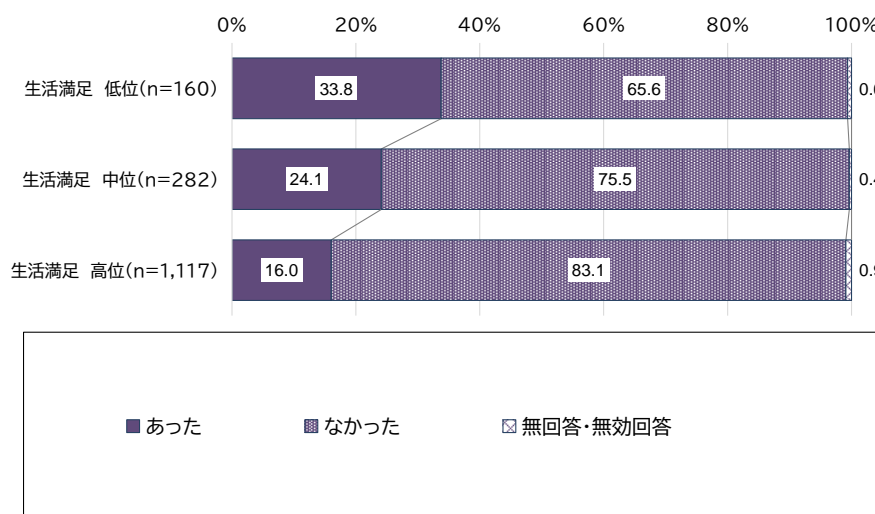
図表 3-34 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (単純集計)



図表 3-35 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (生活困難層別クロス集計)



図表 3-36 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験
(生活満足度別クロス集計)



ウ 医療機関を受診させなかった理由

問7で、過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「あった」と回答した方に、その理由について尋ねたところ、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が79.1%と最も多く、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が25.8%、「子ども本人が受診しなかったため」が19.2%であった。

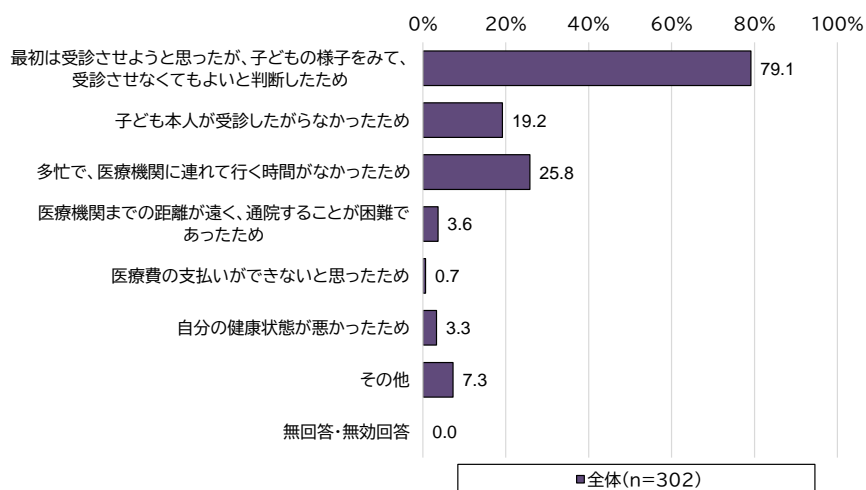
困窮層(n=21)では、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が57.1%と最も多く、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が47.6%、「子ども本人が受診しなかったため」「医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため」が14.3%であった。

生活満足 低位(n=54)では、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が66.7%と最も多く、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が42.6%、「子ども本人が受診しなかったため」が25.9%であった。

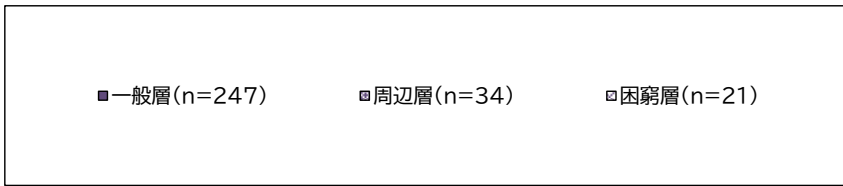
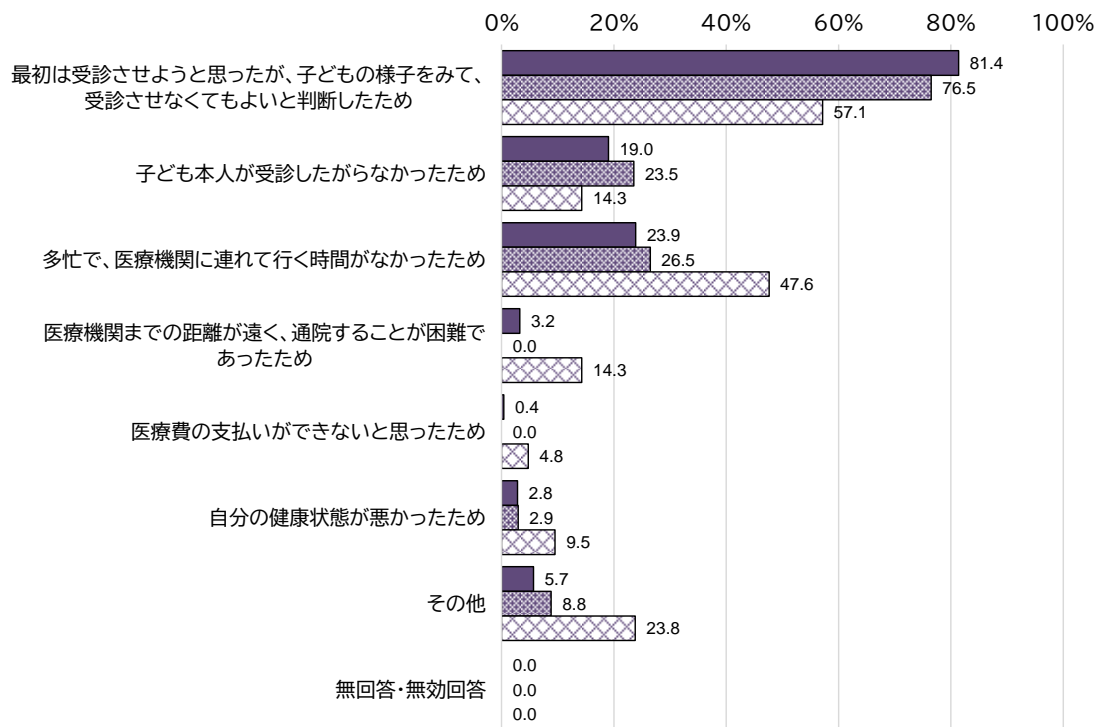
【小学5年生保護者問7-1】

問7-1で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。その理由は何ですか。(複数回答)

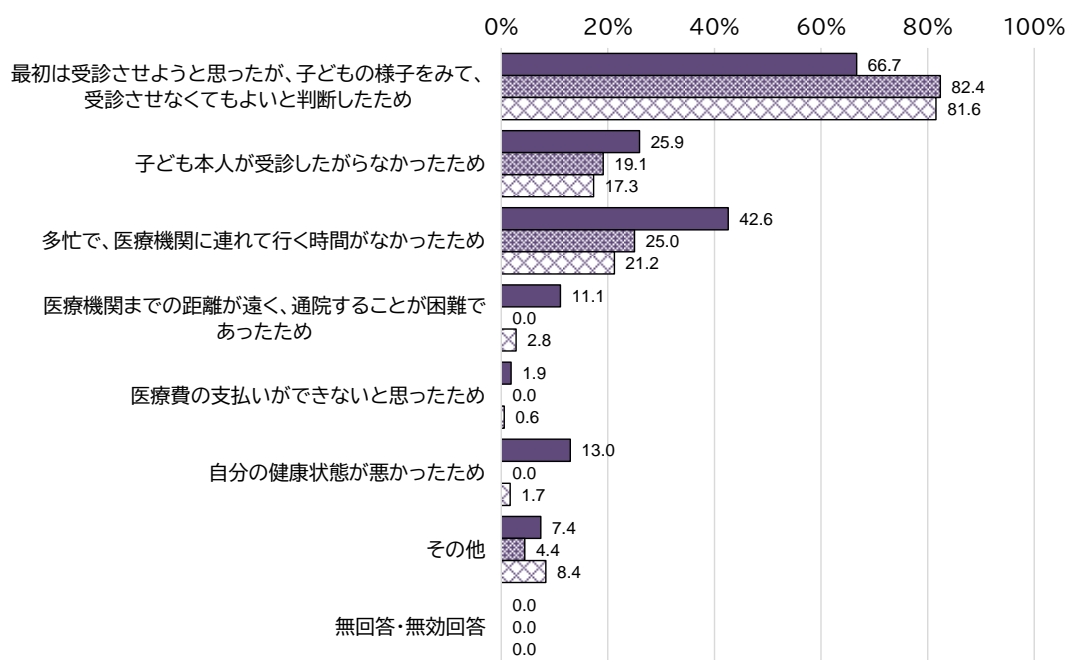
図表 3-37 医療機関を受診させなかった理由 (単純集計)



図表 3-38 医療機関を受診させなかった理由（生活困難層別クロス集計）



図表 3-39 医療機関を受診させなかった理由（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=54) ■生活満足 中位(n=68) □生活満足 高位(n=179)

工 発達に関する医師の診断

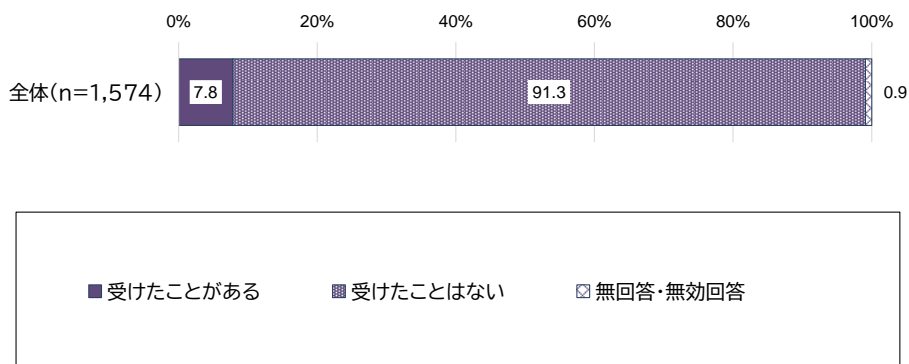
子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがあるかどうかについては、「受けたことはない」が91.3%、「受けたことがある」が7.8%であった。

困窮層(n=44)では、「受けたことはない」が79.5%と最も多く、「受けたことがある」が18.2%であった。

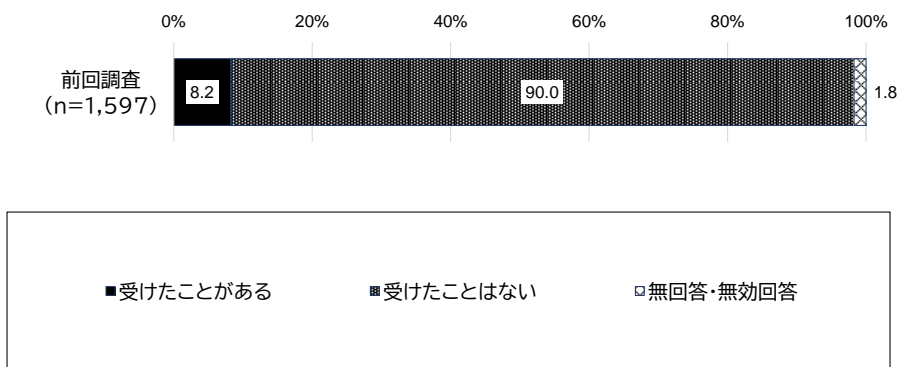
【小学5年生保護者問 8】

お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか。(単一回答)

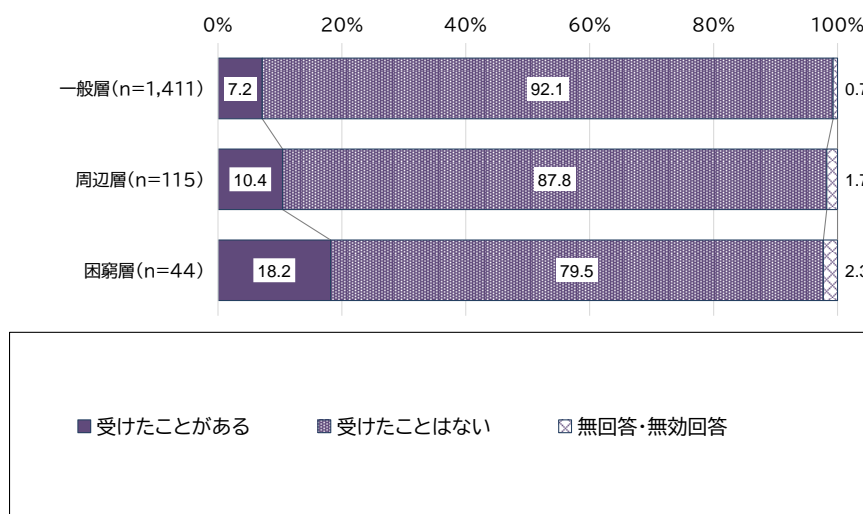
図表 3-40 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (単純集計)



図表 3-41 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (前回調査 単純集計)



図表 3-42 回答者の子どもの発達に関する医師の診断（生活困難層別クロス集計）



オ 医師の診断結果

問 8 で子どもの発達に関して何らかの医師の診断を「受けたことがある」と回答した方に対して、医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が 41.5%と最も多く、「知的な遅れ」が 23.6%、「身体障がい」が 5.7%であった。

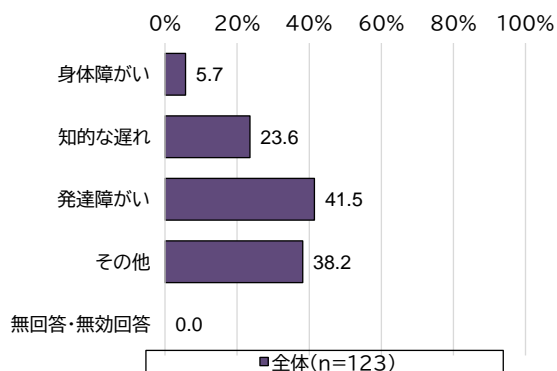
前回調査と比較すると、「知的な遅れ」と回答した割合は、今回調査は 23.6%、前回調査は 11.5%で、12.1 ポイント増加した。

困窮層(n=8)では、「知的な遅れ」が 62.5%と最も多く、「発達障がい」が 25.0%であった。

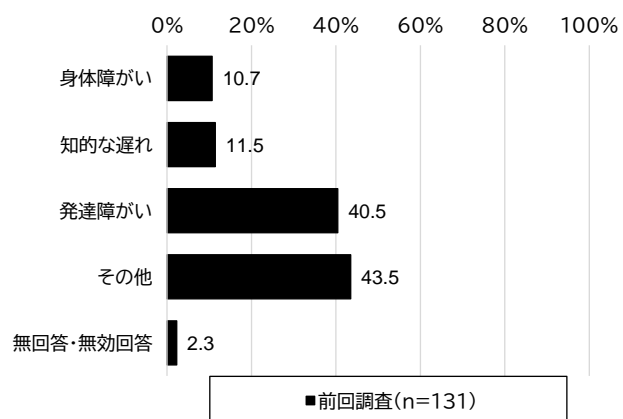
【小学5年生保護者問 8-1】

問8で「1. 受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それはどのような診断ですか。(複数回答)

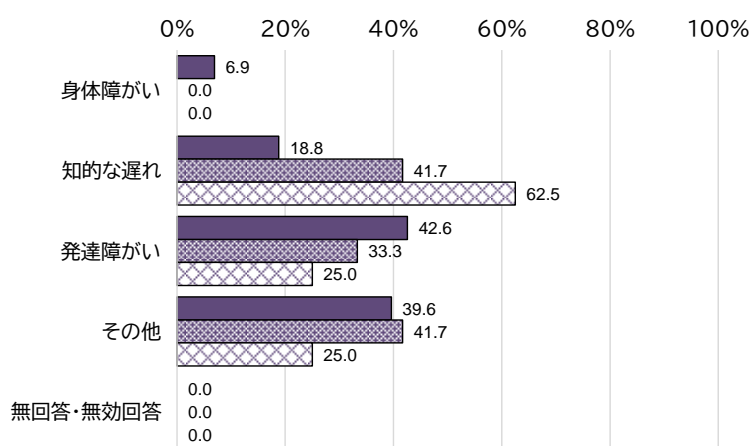
図表 3-43 医師の診断結果（単純集計）



図表 3-44 医師の診断結果（前回調査 単純集計）



図表 3-45 医師の診断結果（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=101) ▨周辺層(n=12) ▩困窮層(n=8)

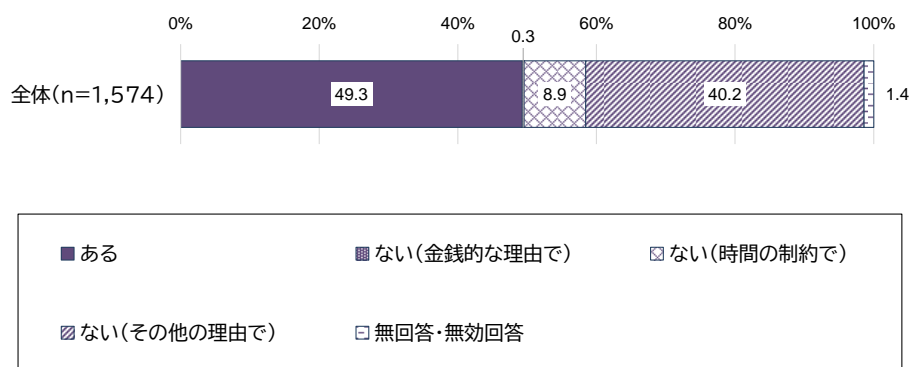
カ 体験の剥奪

「海水浴に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、0.3%であった。

【小学5年生保護者問 9A】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 3-46 「海水浴に行く」の実施状況 (単純集計)



「博物館・美術館・水族館などに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、1.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「ない(金銭的な理由で)」が、8.1%であった。

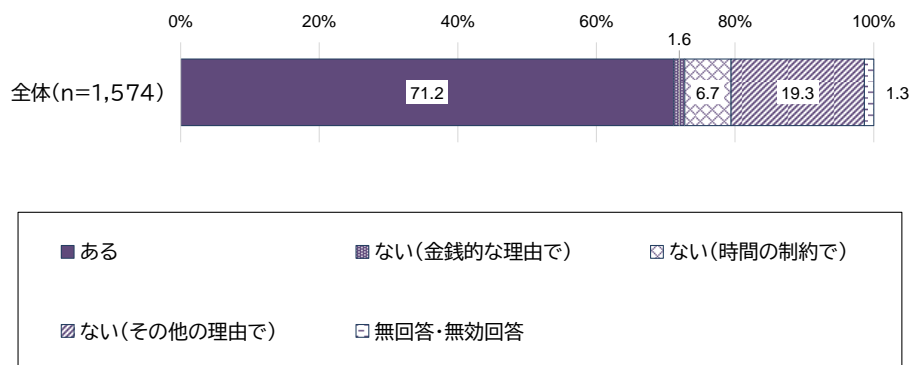
困窮層(n=44)では、「ない(金銭的な理由で)」が31.8%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「ない(金銭的な理由で)」が10.0%であった。

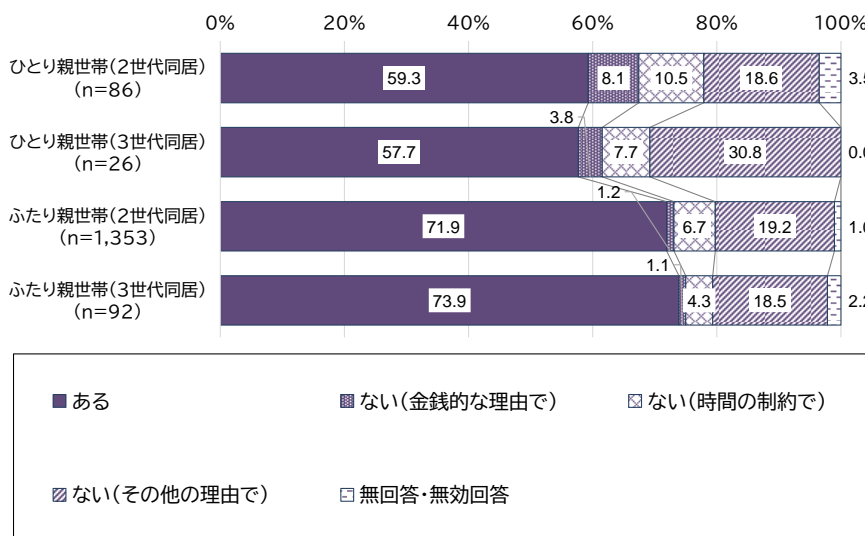
【小学5年生保護者問 9B】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

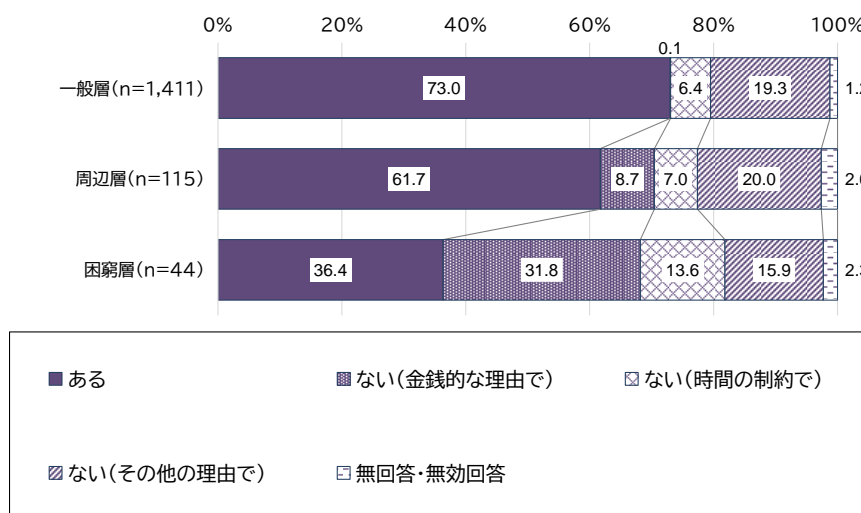
図表 3-47 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況 (単純集計)



図表 3-48 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

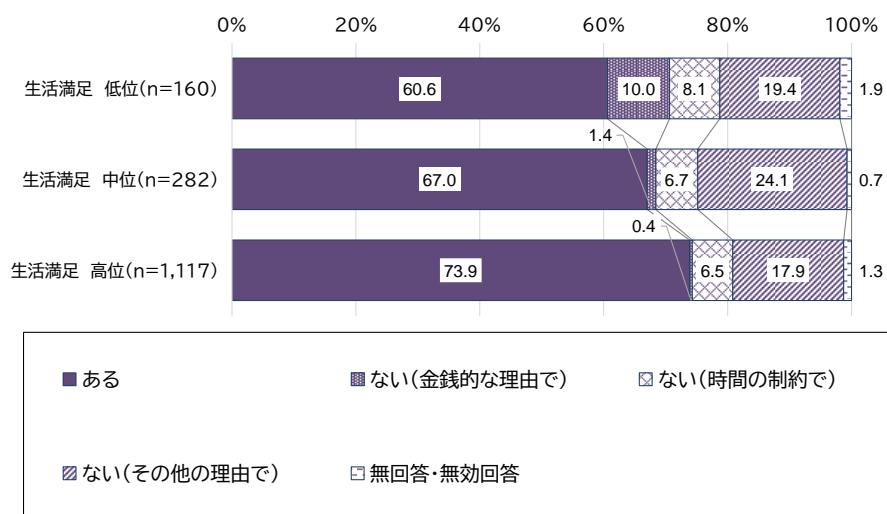


図表 3-49 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）¹⁹



¹⁹ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-50 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

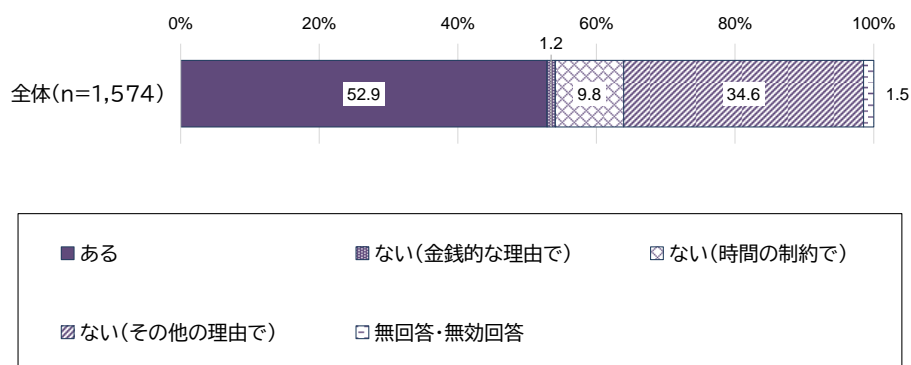


「キャンプやバーベキューに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、1.2%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「ない(金銭的な理由で)」が 9.3%であった。
 困窮層(n=44)では、「ない(金銭的な理由で)」が 22.7%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「ない(金銭的な理由で)」が、6.9%であった。

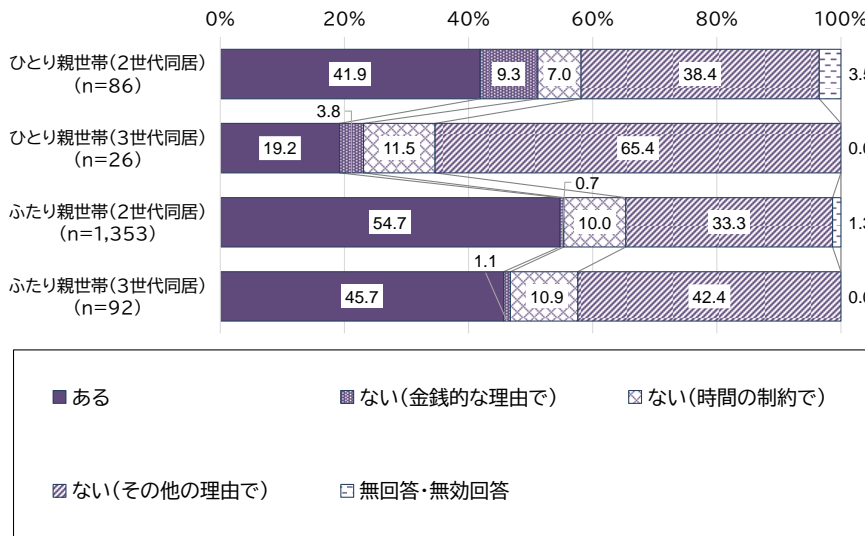
【小学5年生保護者問 9C】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

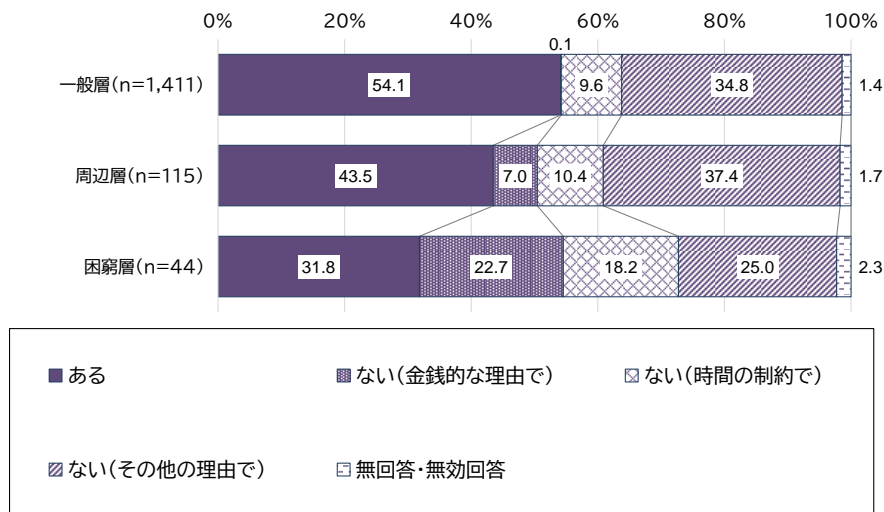
図表 3-51 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（単純集計）



図表 3-52 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

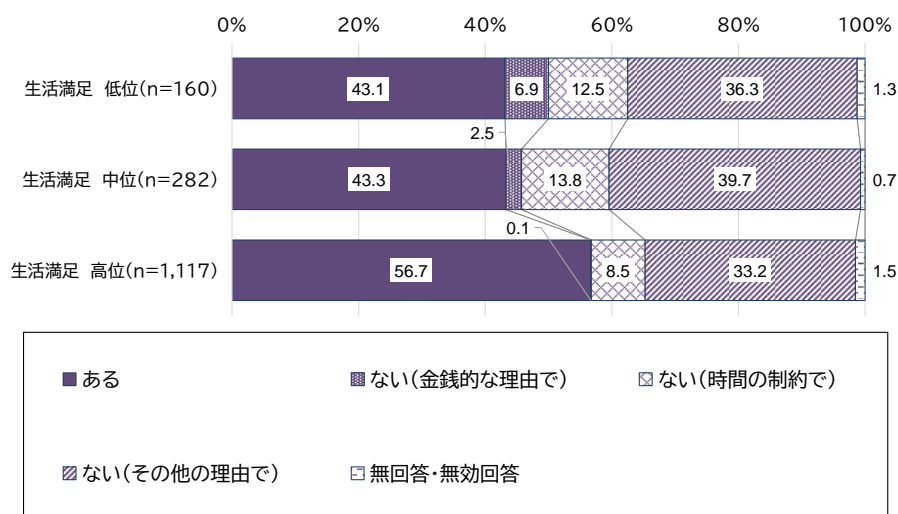


図表 3-53 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）²⁰



²⁰ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-54 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

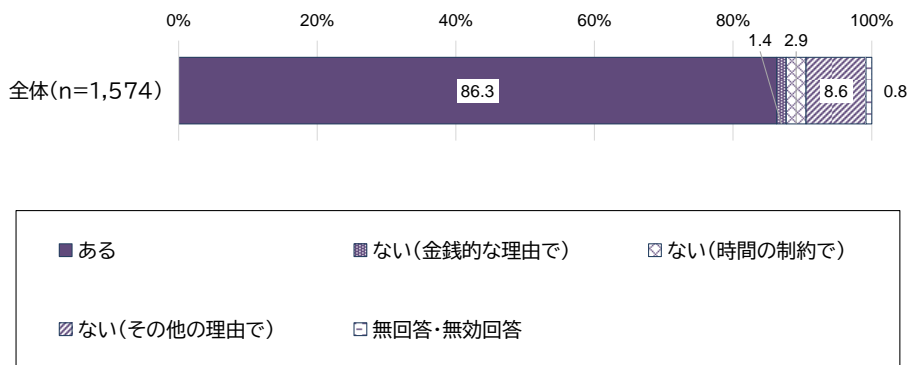


「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が 1.4%であった。

【小学5年生保護者問 9D】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 3-55 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（単純集計）

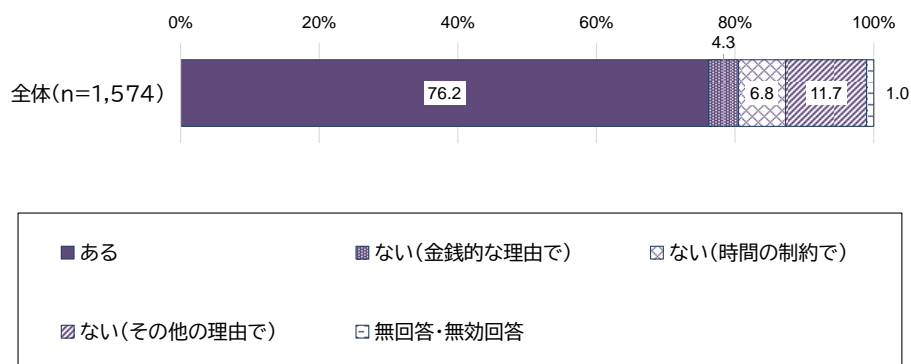


「遊園地やテーマパークに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が4.3%であった。

【小学5年生保護者問 9E】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 3-56 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況 (単純集計)



キ 家庭での経験の剥奪

「毎月おこづかいを渡す」は、「経済的にできない」が 2.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「経済的にできない」が 11.6%であった。

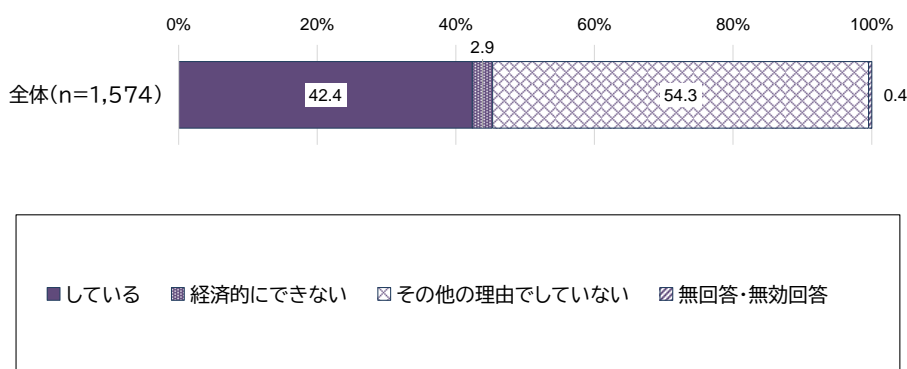
困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が 43.2%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「経済的にできない」が 11.9%であった。

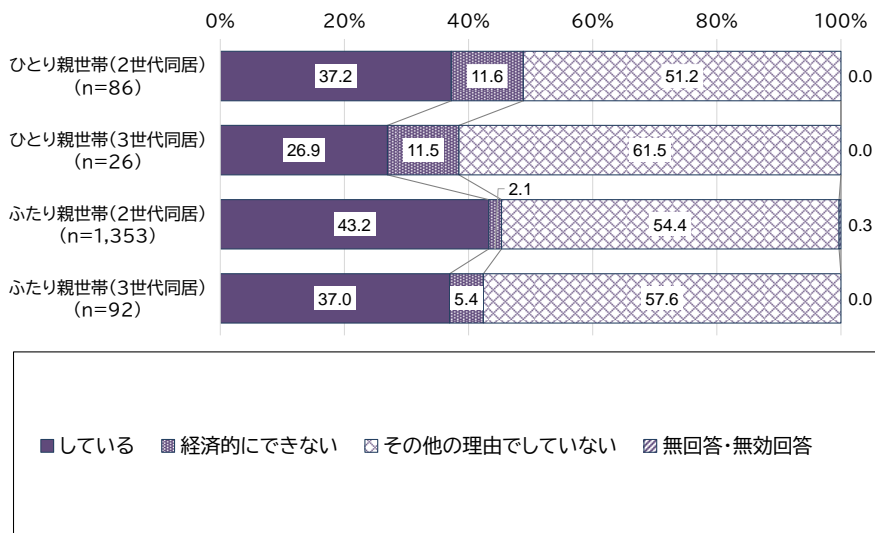
【小学5年生保護者問 10A】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

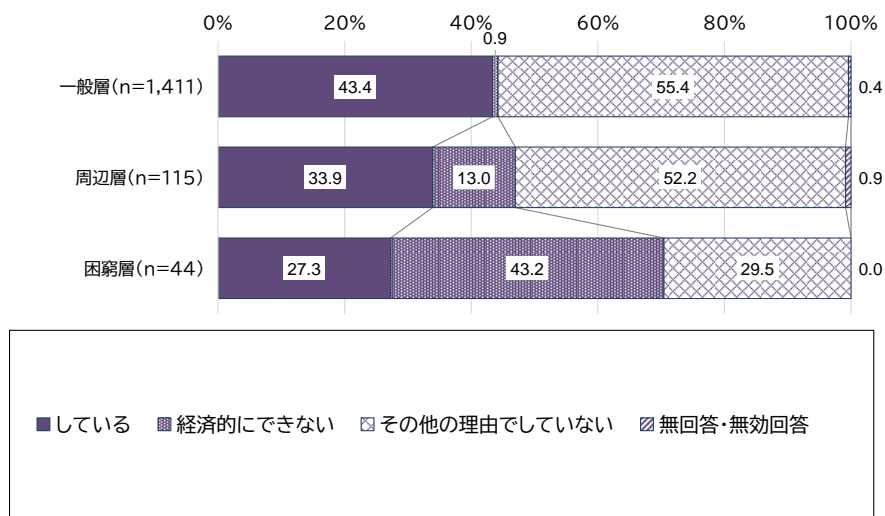
図表 3-57 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（単純集計）



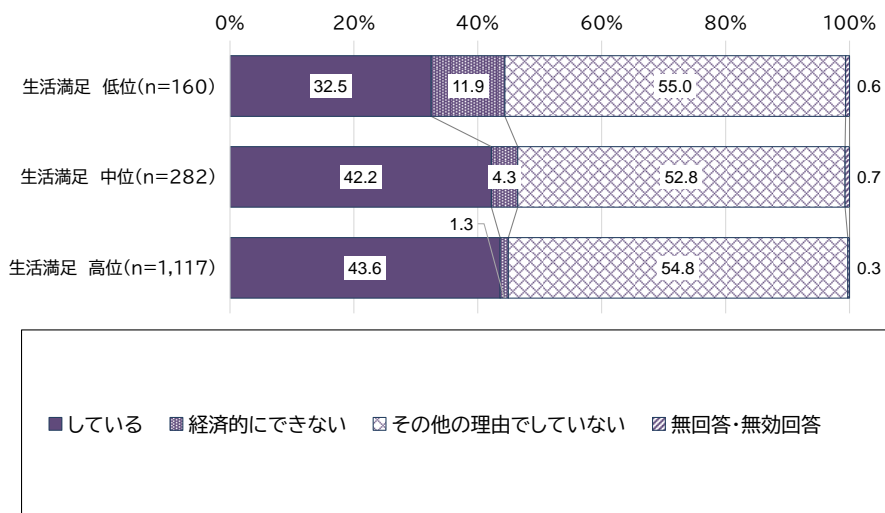
図表 3-58 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-59 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（生活困難層別クロス集計）²¹



図表 3-60 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



²¹ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

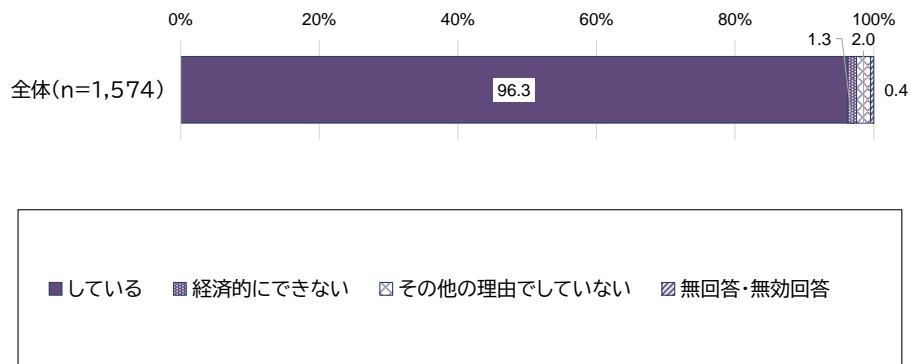
「毎年新しい洋服・靴を買う」は、「経済的にできない」が1.3%であった。

困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が27.3%であった。

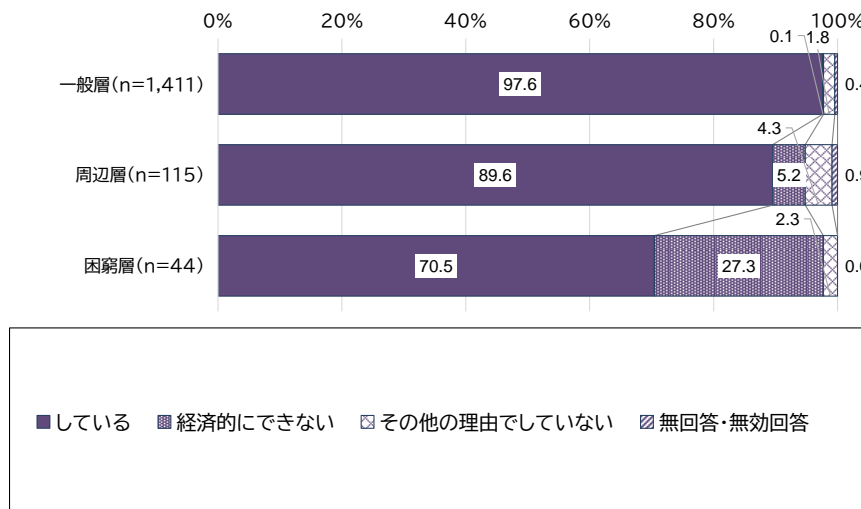
【小学5年生保護者問 10B】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 3-61 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況 (単純集計)



図表 3-62 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)²²



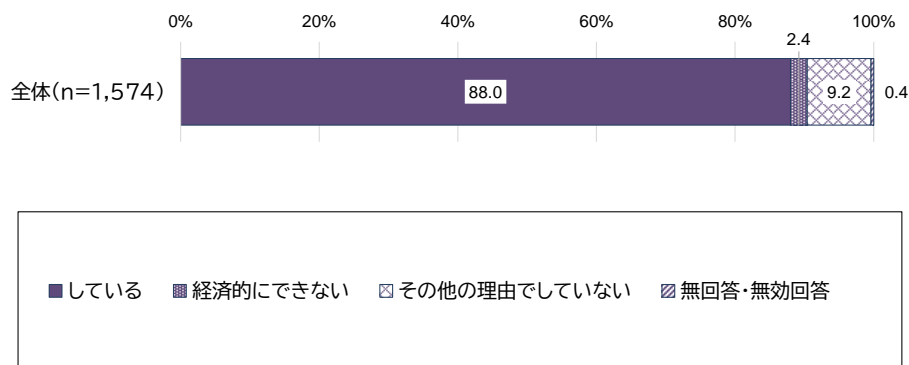
²² 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」は、「経済的にできない」が 2.4%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「経済的にできない」が 10.5%であった。
 困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が 47.7%であった。
 生活満足 低位(n=160) では、「経済的にできない」が 8.8%であった。

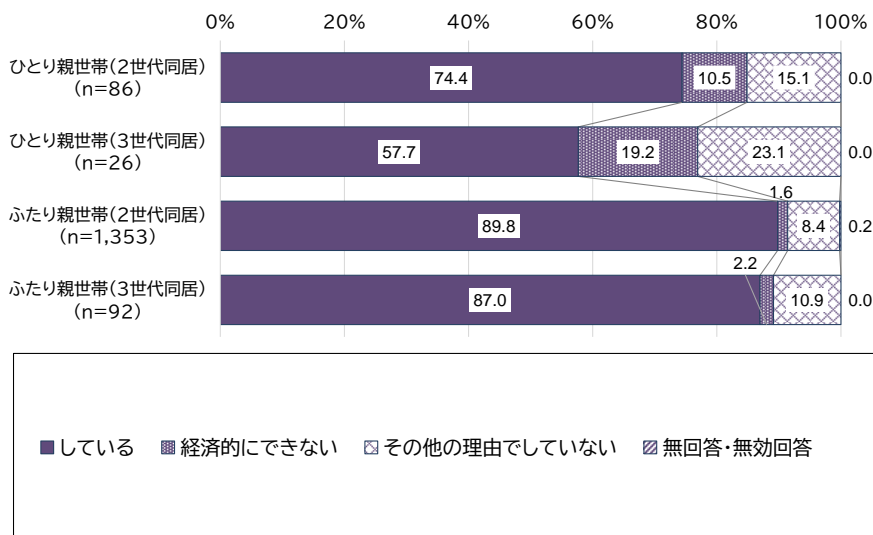
【小学5年生保護者問 10C】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

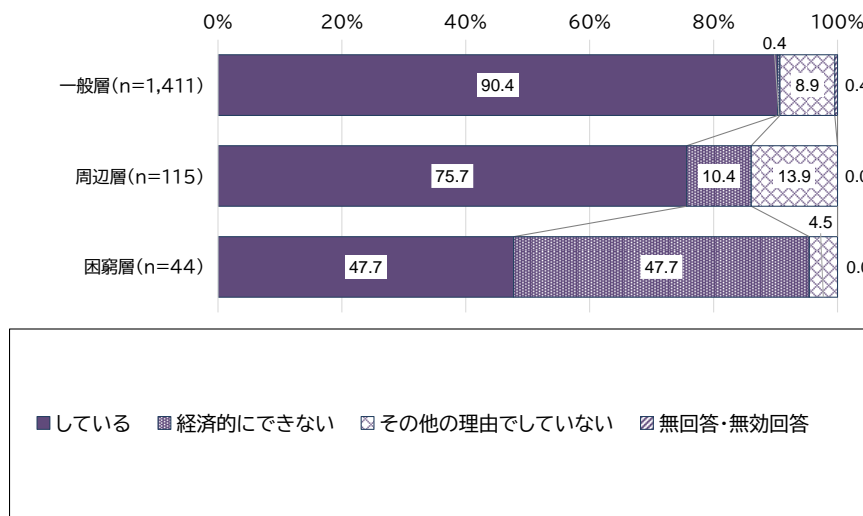
図表 3-63 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (単純集計)



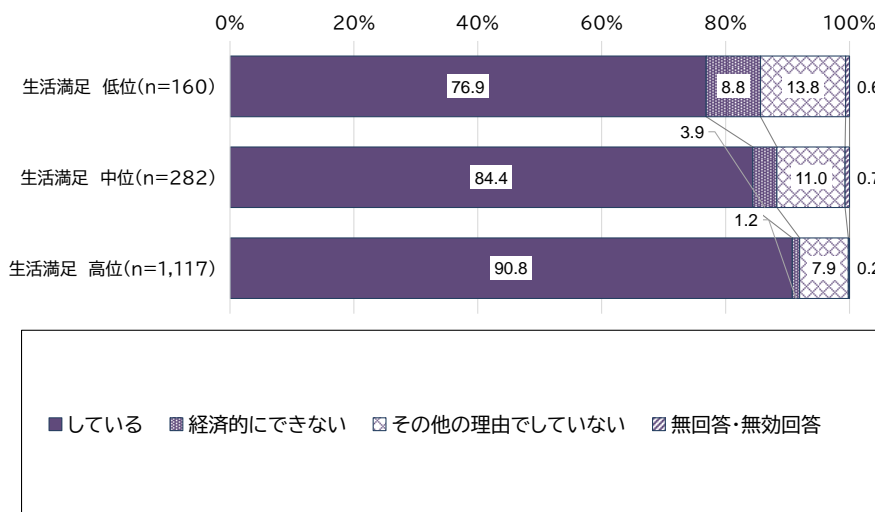
図表 3-64 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-65 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)²³



図表 3-66 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



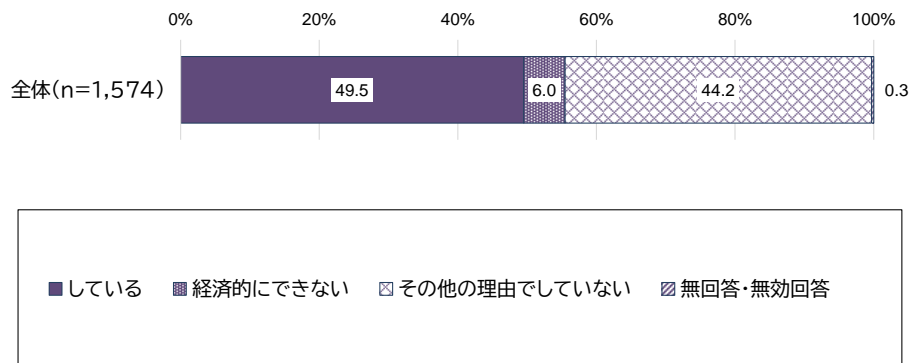
²³ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」は、「経済的にできない」が6.0%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「経済的にできない」が17.4%であった。
 困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が63.6%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「経済的にできない」が21.3%であった。

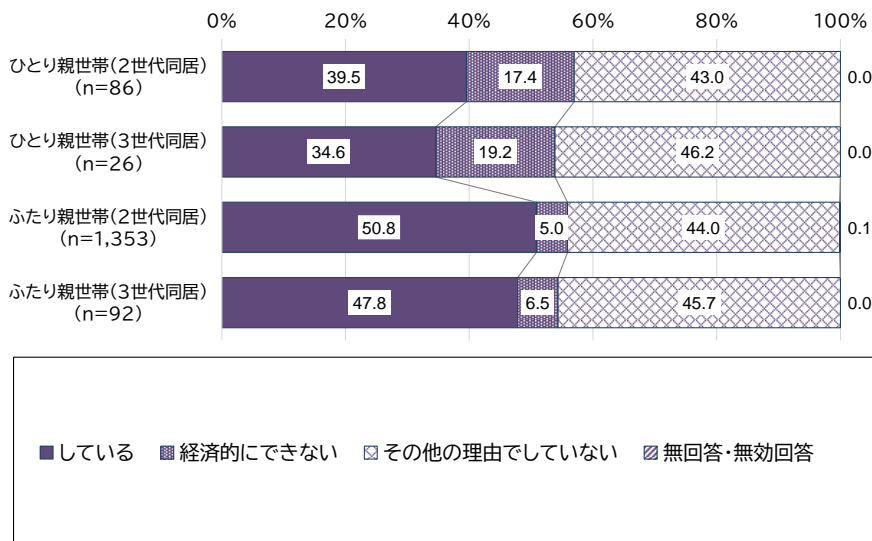
【小学5年生保護者問 10D】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

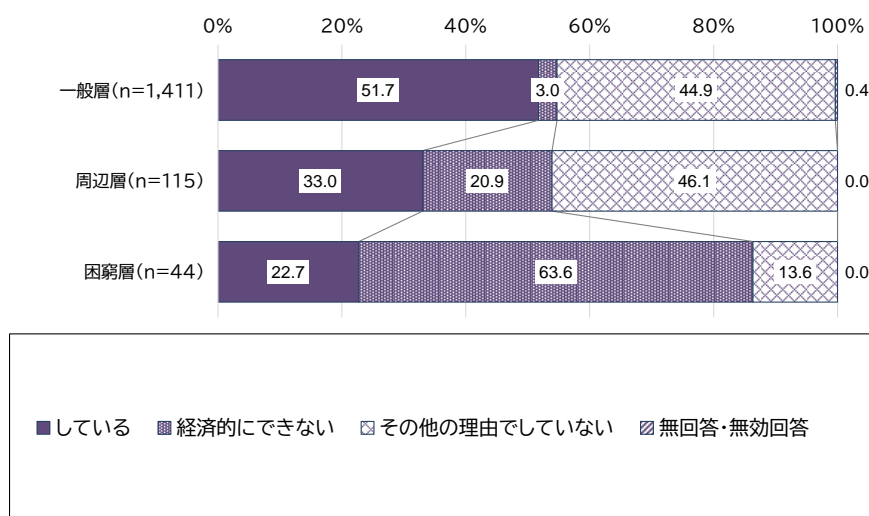
図表 3-67 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (単純集計)



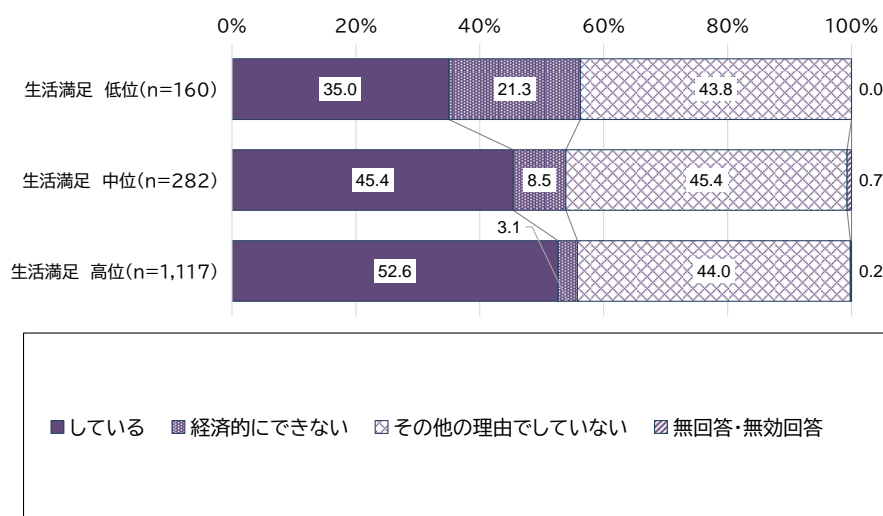
図表 3-68 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-69 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況
(生活困難層別クロス集計)²⁴



図表 3-70 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況
(生活満足度別クロス集計)



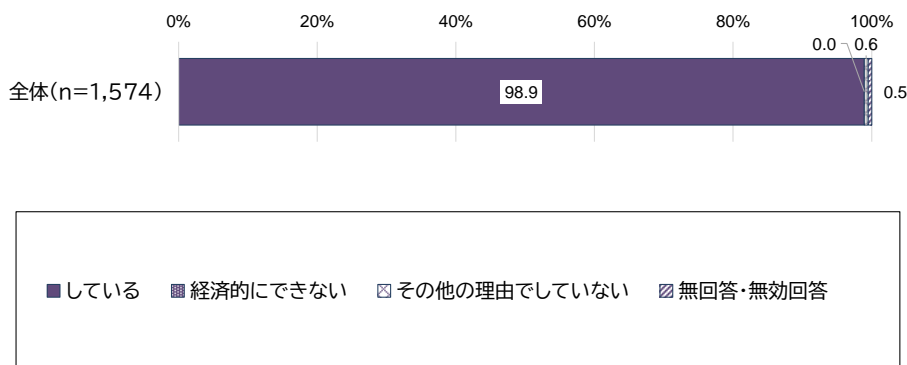
²⁴ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「お誕生日のお祝いをする」は、「経済的にできない」は0.0%であった。

【小学5年生保護者問 10E】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 3-71 「お誕生日のお祝いをする」の実施状況 (単純集計)



「1年に1回くらい家族旅行に行く」は、「経済的にできない」が5.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「経済的にできない」が18.6%であった。

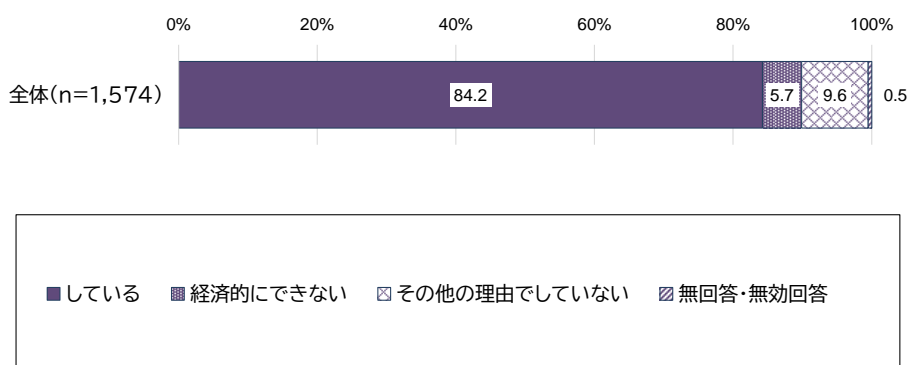
困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が65.9%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「経済的にできない」が19.4%であった。

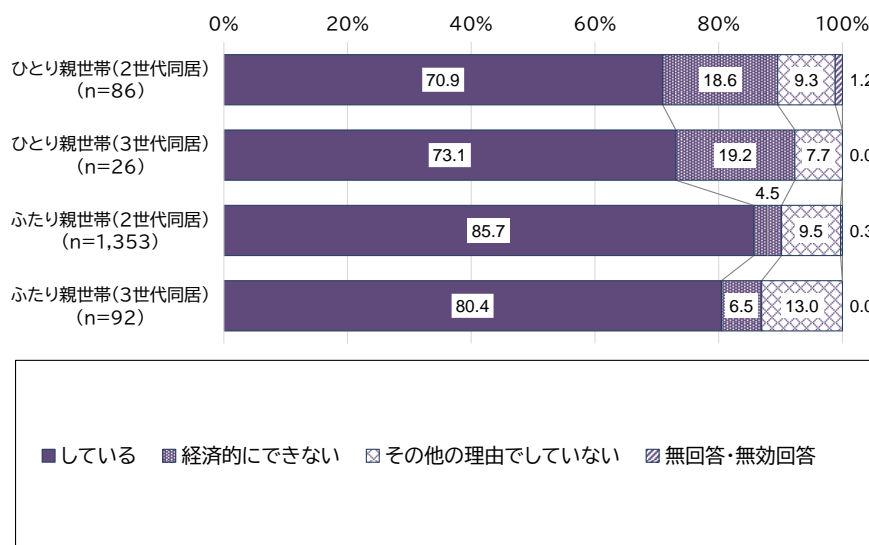
【小学5年生保護者問 10F】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

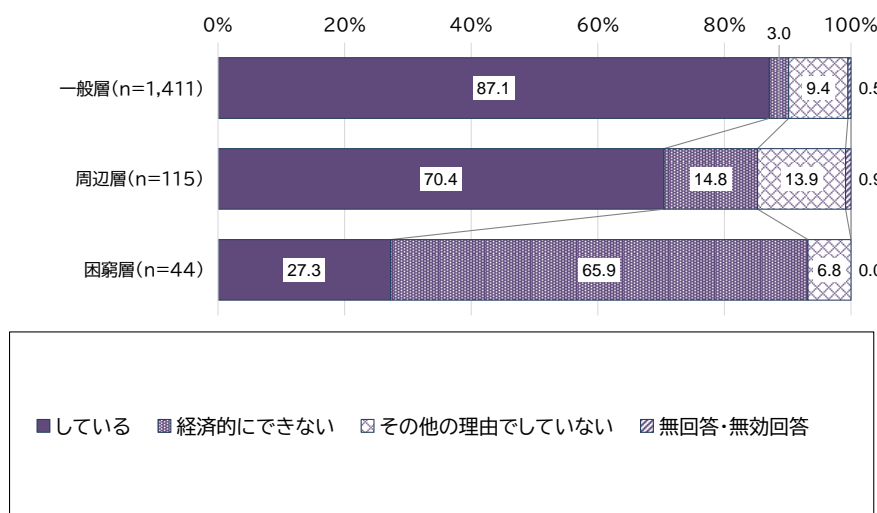
図表 3-72 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況 (単純集計)



図表 3-73 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

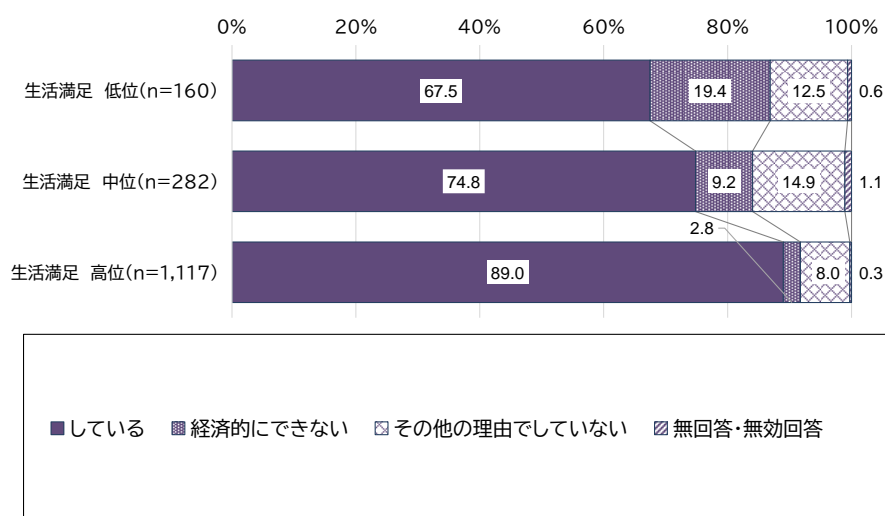


図表 3-74 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）²⁵



²⁵ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-75 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

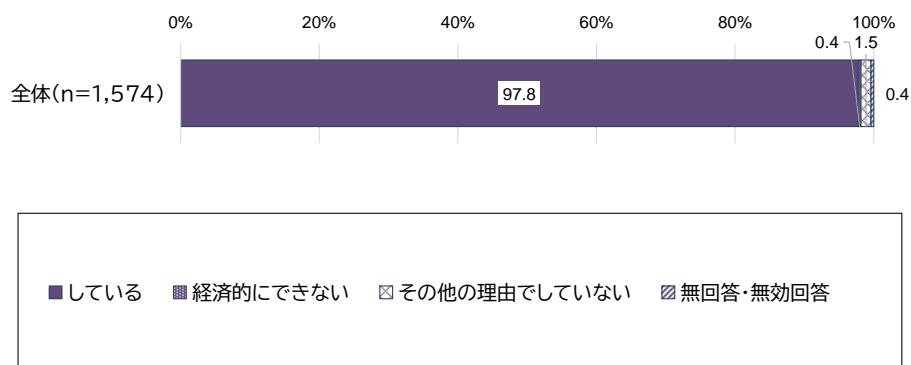


「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」は、「経済的にできない」が0.4%であった。

【小学5年生保護者問 10G】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（単一回答）

図表 3-76 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」の実施状況（単純集計）

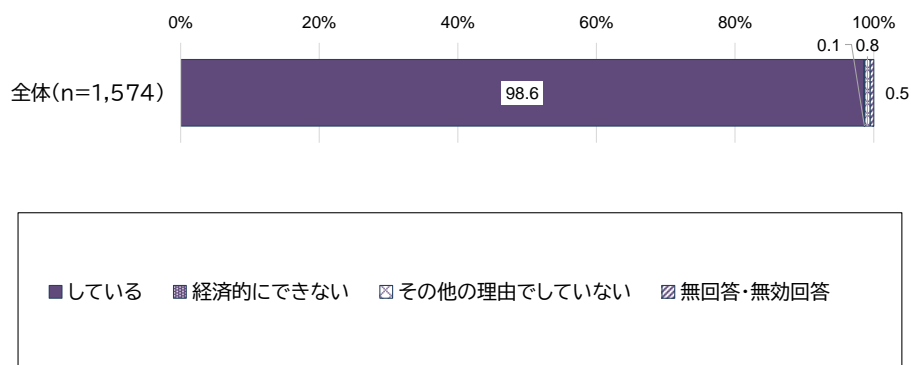


「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」は、「経済的にできない」は0.1%であった。
 困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が4.5%であった。

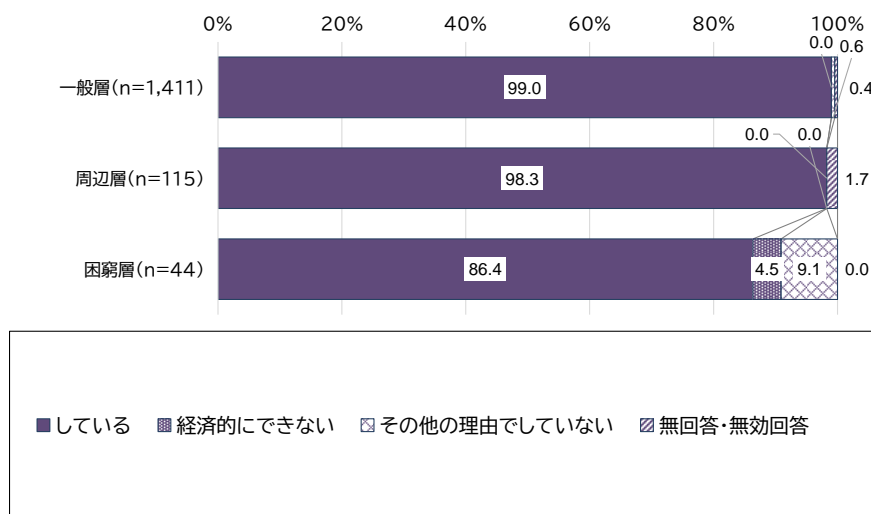
【小学5年生保護者問 10H】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 3-77 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（単純集計）



図表 3-78 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



ク 経済的理由で世帯にないもの

経済的理由のために世帯にないものを尋ねたところ、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 78.7%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 5.1%、「自家用車」が 4.4%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 2.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 53.5%であった。世帯にないものに関する回答では、「自家用車」が 27.9%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 15.1%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 12.8%であった。

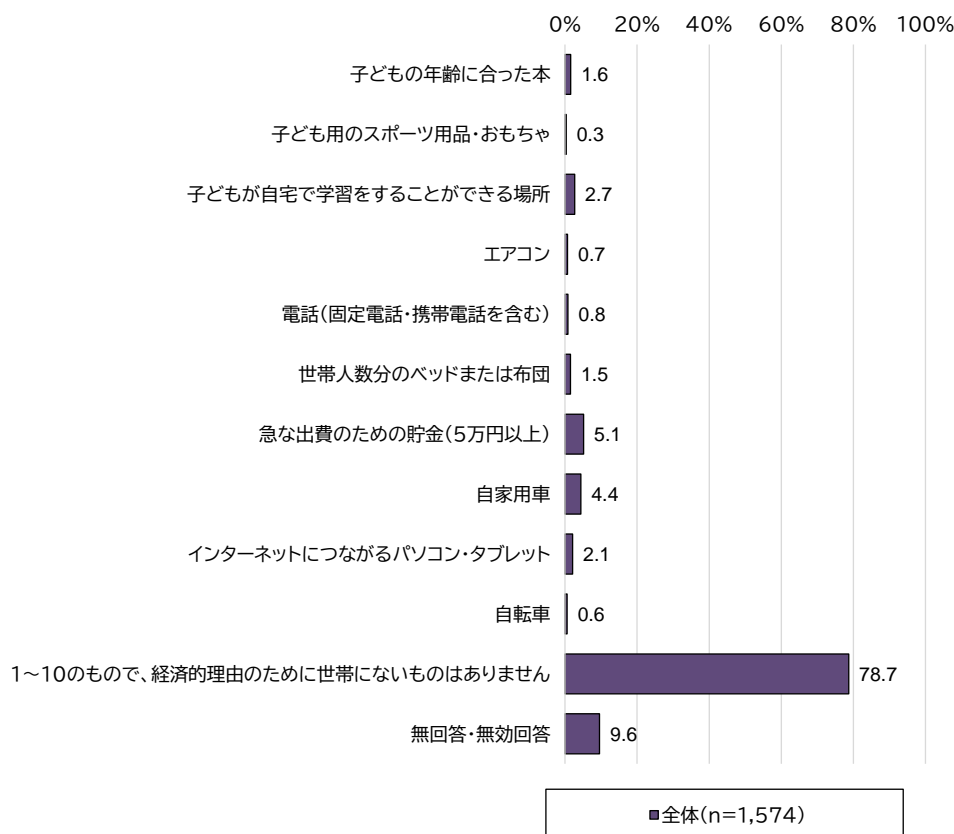
困窮層(n=44)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 15.9%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 61.4%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 36.4%、「インターネットにつながるパソコン・タブレット」が 31.8%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 59.4%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 22.5%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 11.9%、「自家用車」が 10.6%であった。

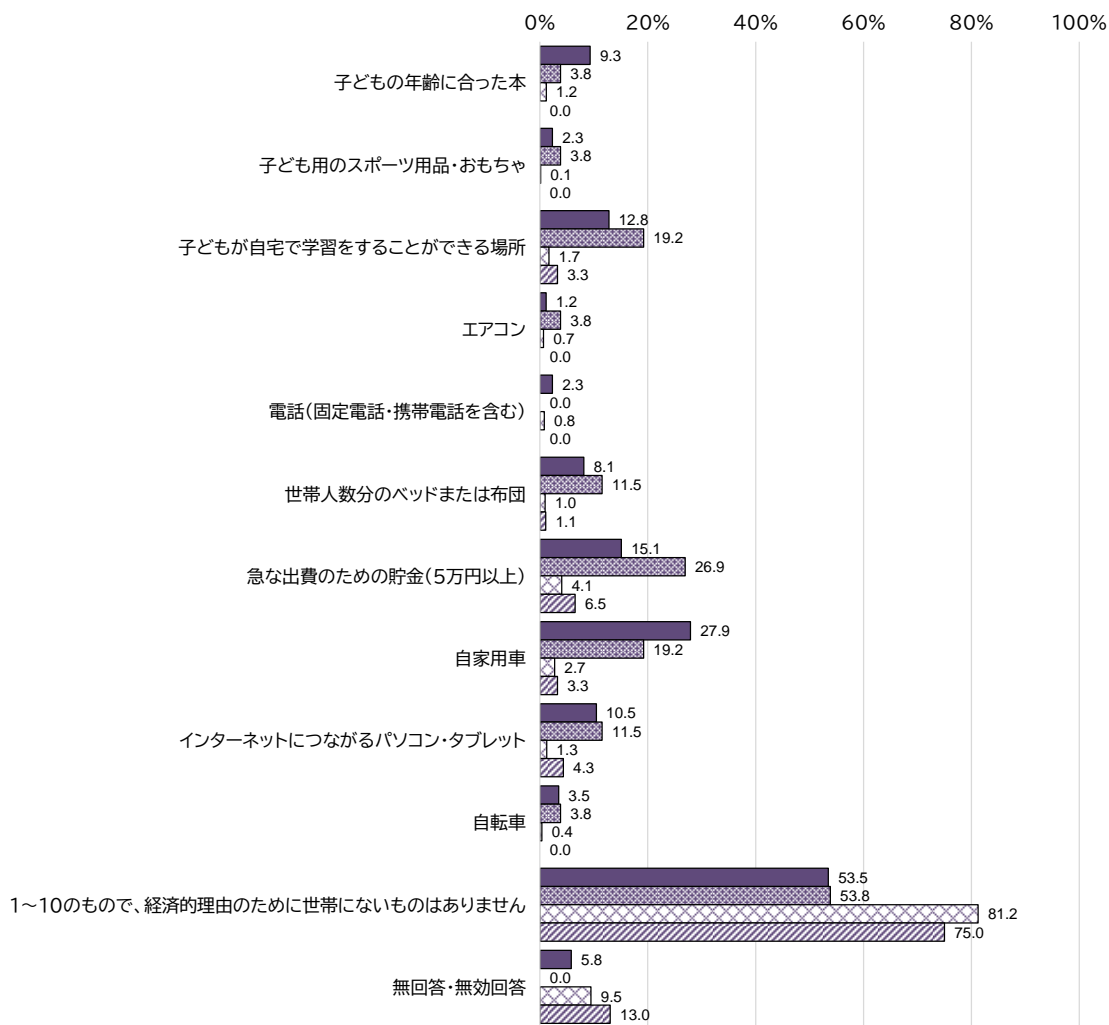
【小学5年生保護者問 11】

次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。(複数回答)

図表 3-79 経済的理由で世帯にないもの (単純集計)

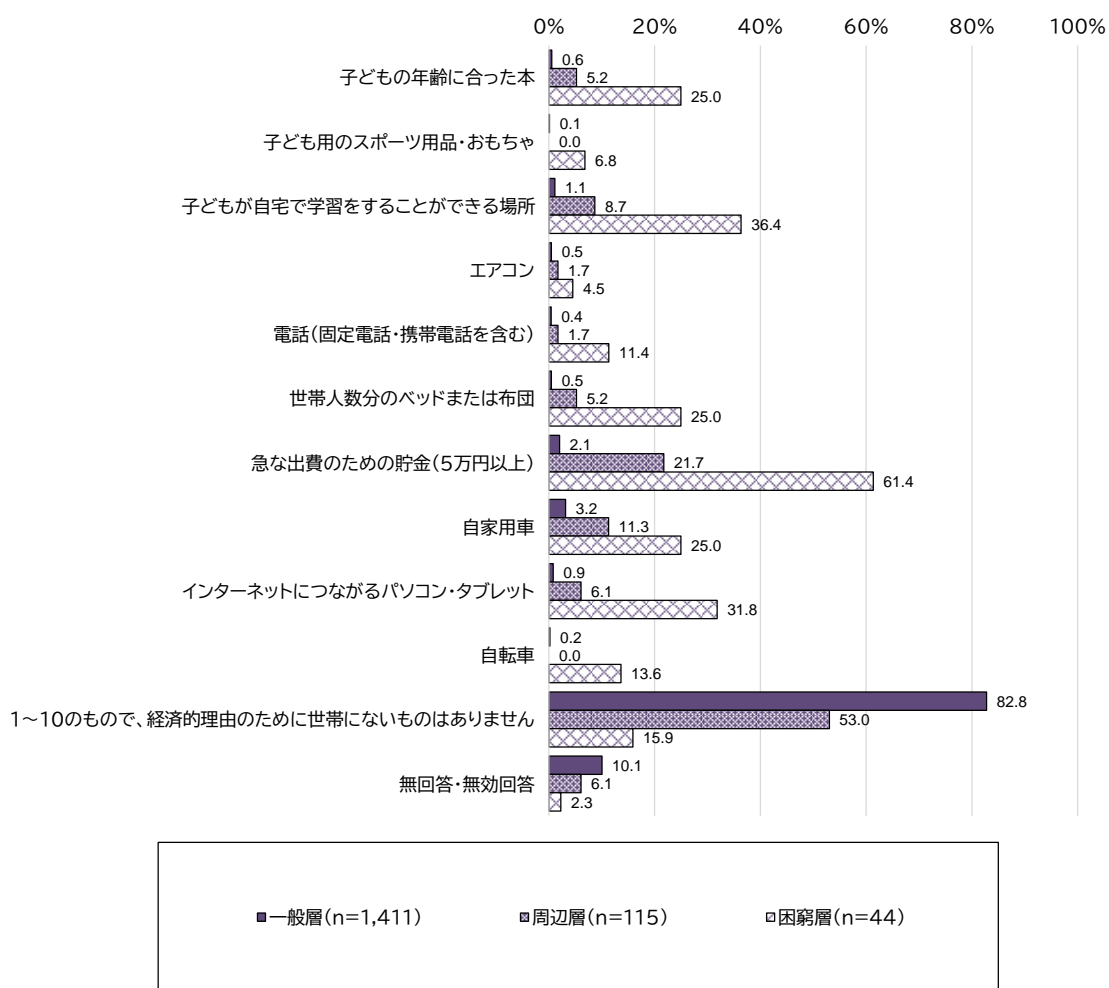


図表 3-80 経済的理由で世帯にないもの（世帯タイプ別クロス集計）



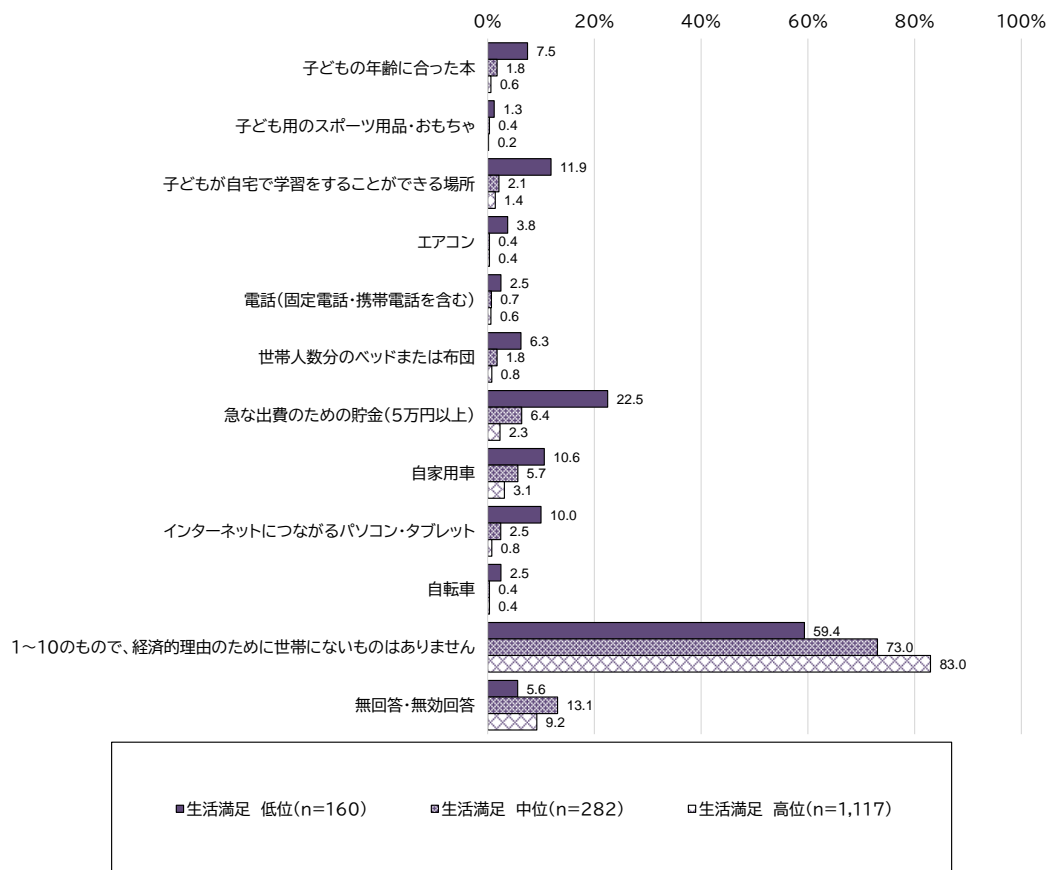
■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,353) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 3-81 経済的理由で世帯にないもの（生活困難層別クロス集計）²⁶



²⁶ 「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-82 経済的理由で世帯にないもの（生活満足度別クロス集計）



ケ 進学への希望

子どもの進学への希望についてみると、「大学またはそれ以上」が 73.6%と最も多く、「まだわからない」が 14.6%、「高専・短大・専門学校等まで」が 7.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「大学またはそれ以上」が 62.8%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」が 16.3%、「まだわからない」が 14.0%であった。

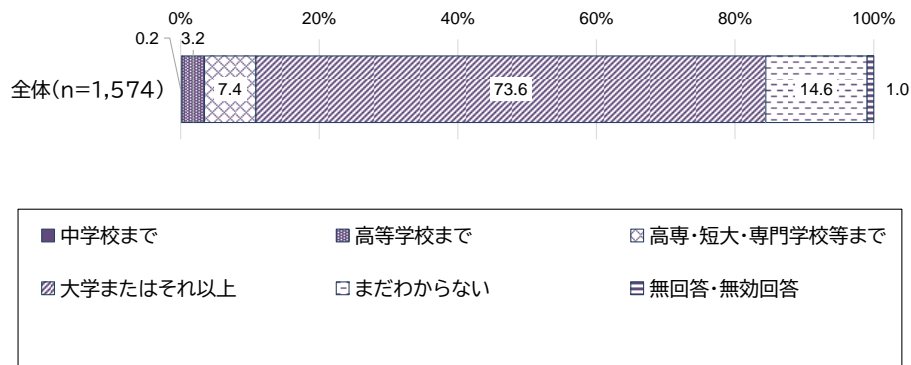
困窮層(n=44)では、「大学またはそれ以上」が 40.9%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」「まだわからない」がともに 20.5%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「大学またはそれ以上」が 59.4%と最も多く、「まだわからない」が 20.0%、「高専・短大・専門学校等まで」が 10.0%であった。

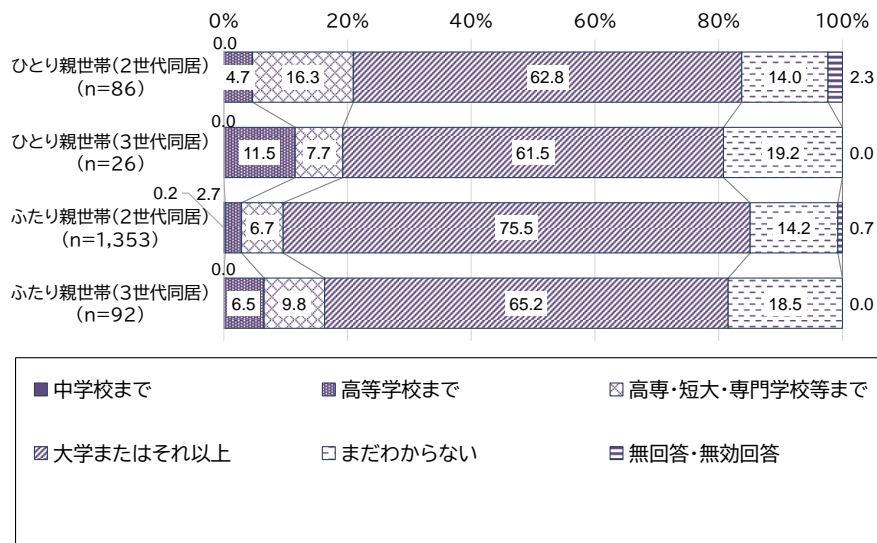
【小学5年生保護者問 12】

お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(単一回答)

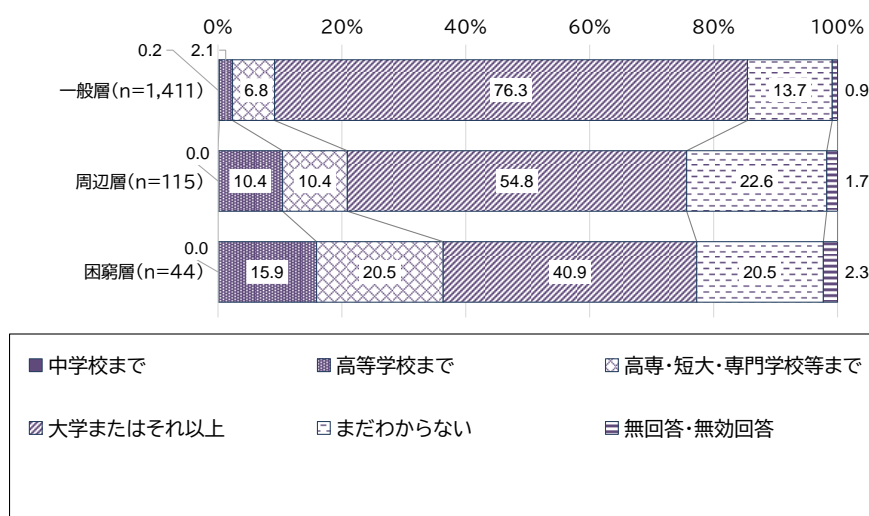
図表 3-83 子どもの進学への希望 (単純集計)



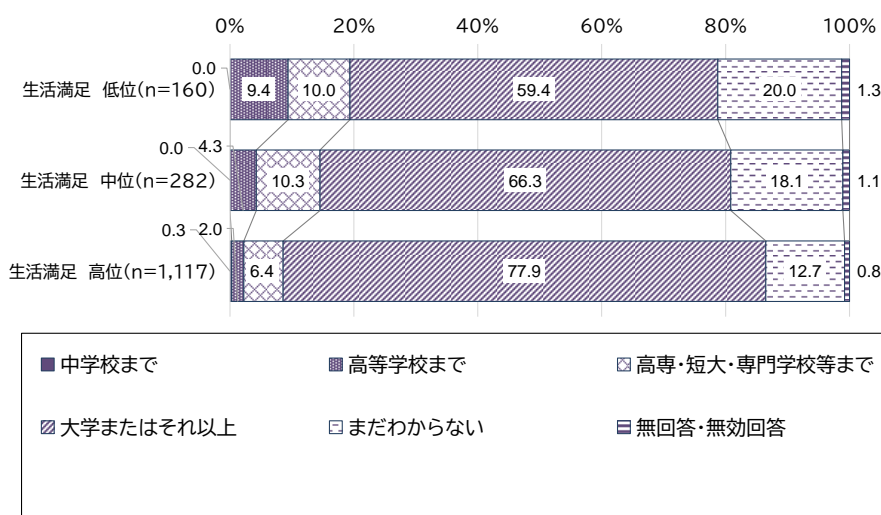
図表 3-84 子どもの進学への希望 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-85 子どもの進学への希望（生活困難層別クロス集計）



図表 3-86 子どもの進学への希望（生活満足度別クロス集計）



コ 希望どおり進学すると思うか

問 12 で 5(まだわからない)以外の回答をした方に、子どもが希望どおりの学校まで進むことになると思かどうか尋ねたところ、「思う」が 51.5%、「わからない」が 45.7%、「思わない」が 2.3%であった。

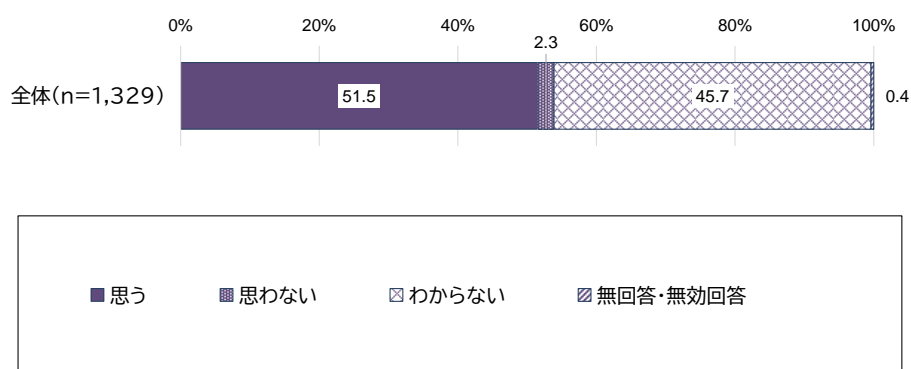
困窮層(n=34)では、「わからない」が 64.7%と最も多く、「思う」が 29.4%、「思わない」が 5.9%であった。

生活満足 低位(n=126) では、「わからない」が 61.1%と最も多く、「思う」が 32.5%、「思わない」が 6.3%であった。

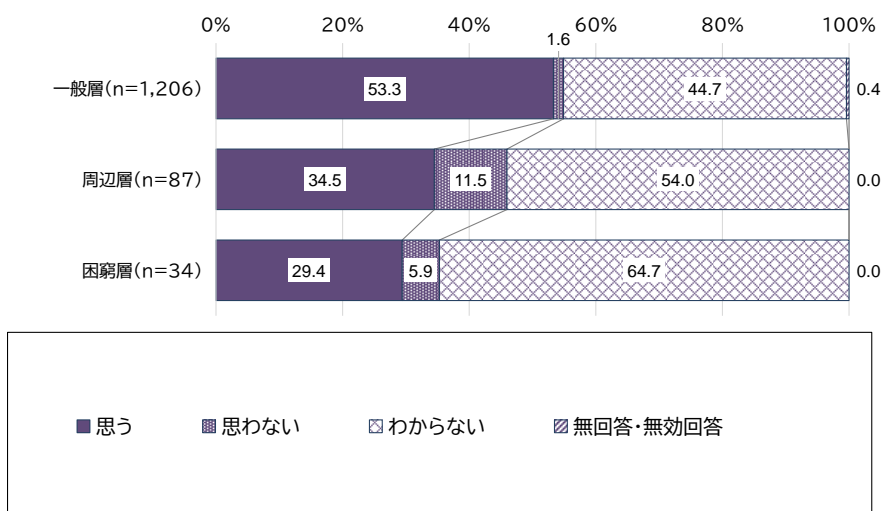
【小学5年生保護者問 12-1】

問 12 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。あなたは、お子さんが問 12 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(単一回答)

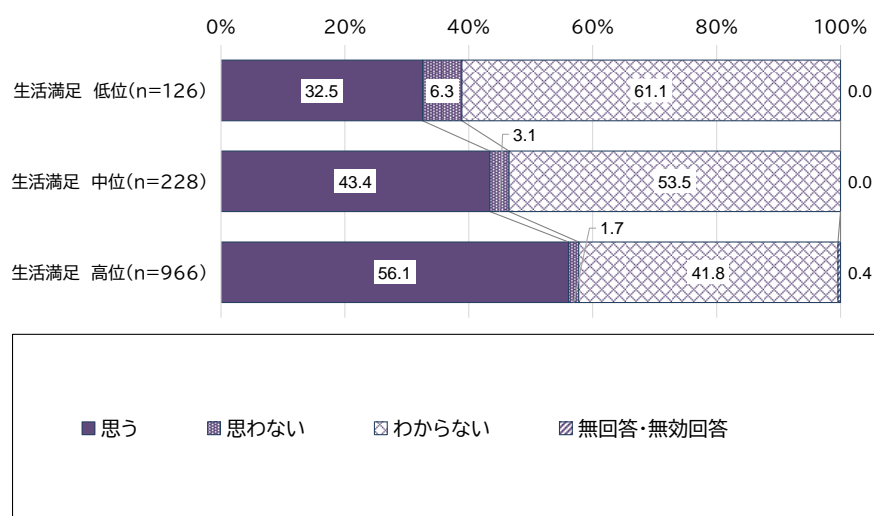
図表 3-87 希望どおり進学すると思うか (単純集計)



図表 3-88 希望どおり進学すると思うか (生活困難層別クロス集計)



図表 3-89 希望どおり進学すると思うか（生活満足度別クロス集計）



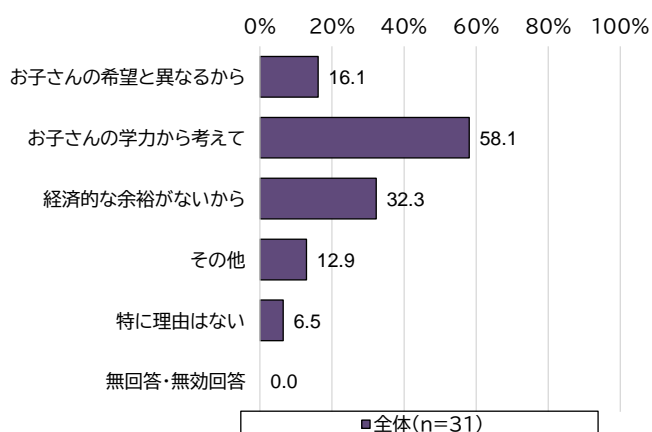
サ 希望どおりの学校に進まないと思う理由

問 12-1で2(思わない)を選んだ方に、その理由について尋ねたところ、「お子さんの学力から考えて」が 58.1%と最も多く、「経済的な余裕がないから」が 32.3%、「お子さんの希望と異なるから」が 16.1%であった。

【小学5年生保護者問 12-2】

問 12-1で「2. 思わない」を選んだ方にうかがいます。その理由について教えてください。(複数回答)

図表 3-90 希望どおりの学校に進まないと思う理由（単純集計）



シ 子育てに関する悩みごと

子育てに関する悩みごとについて尋ねたところ、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が38.9%であった。悩み事の項目としては、「子どもの進学や受験が心配」が29.5%と最も多く、「子どもの教育費」が26.5%、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が身につけていない」が14.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が22.1%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が51.2%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が34.9%、「子どもの心身の発達や病気」が22.1%であった。

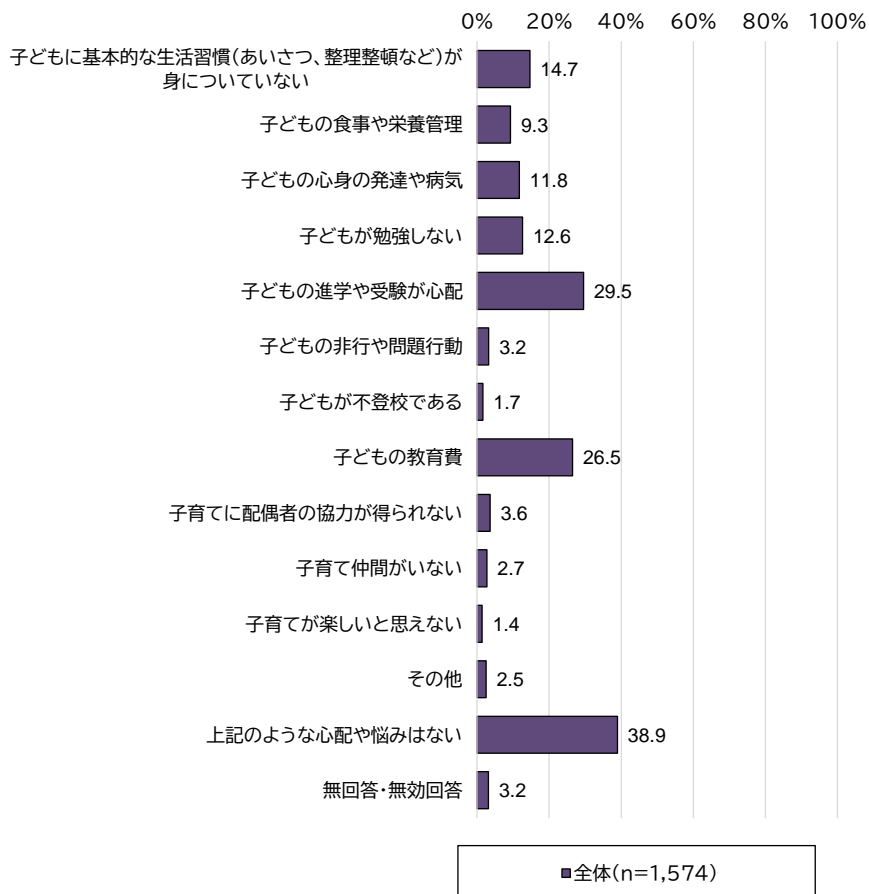
困窮層(n=44)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が9.1%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が81.8%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が34.1%、「子どもの心身の発達や病気」が29.5%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「上記のような心配や悩みはない」と回答した割合が12.5%であった。悩みごとの項目としては、「子どもの教育費」が58.8%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が46.9%、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が身につけていない」が29.4%であった。

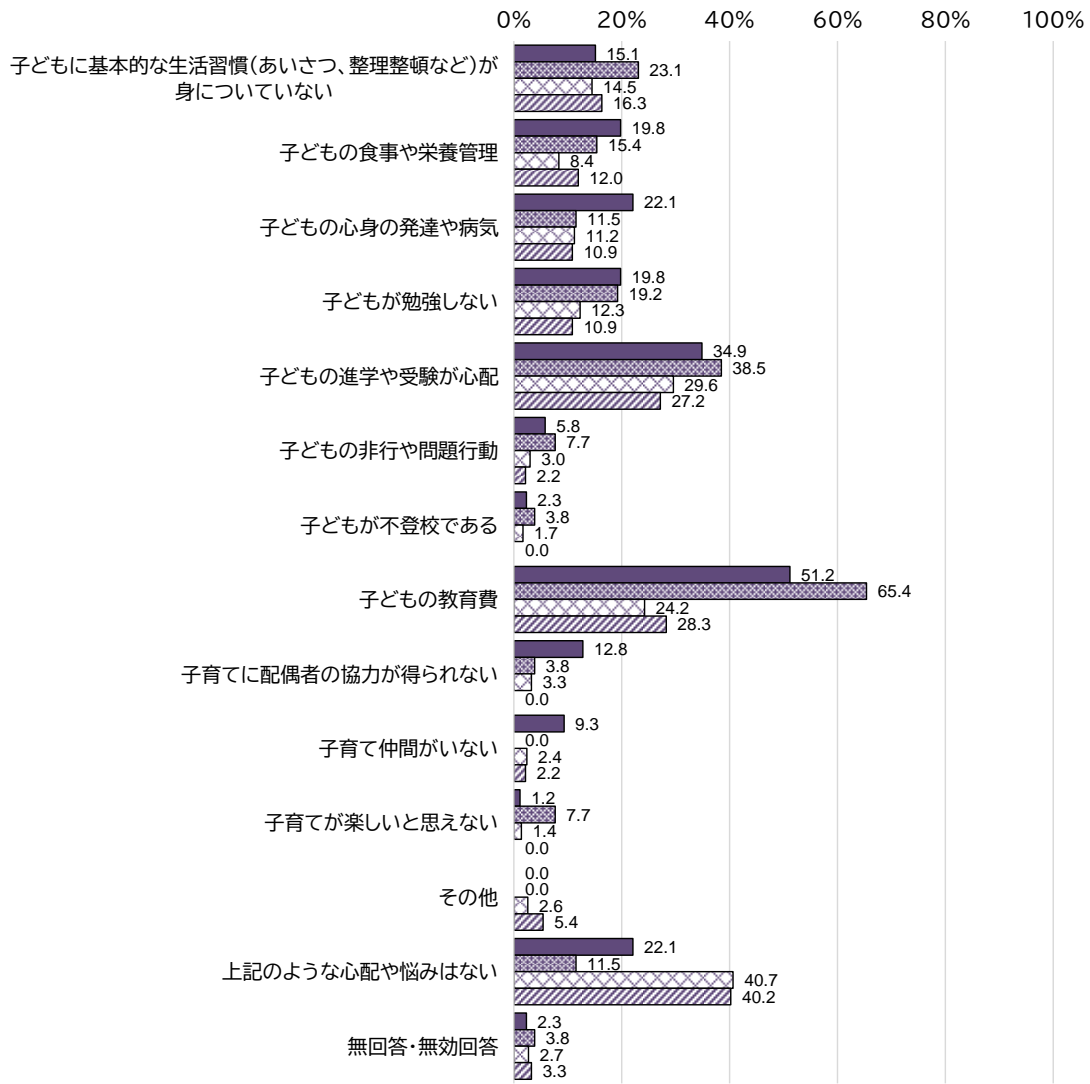
【小学5年生保護者問13】

この調査票を受け取ったお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(複数回答)

図表 3-91 子育てに関する悩みごと (単純集計)

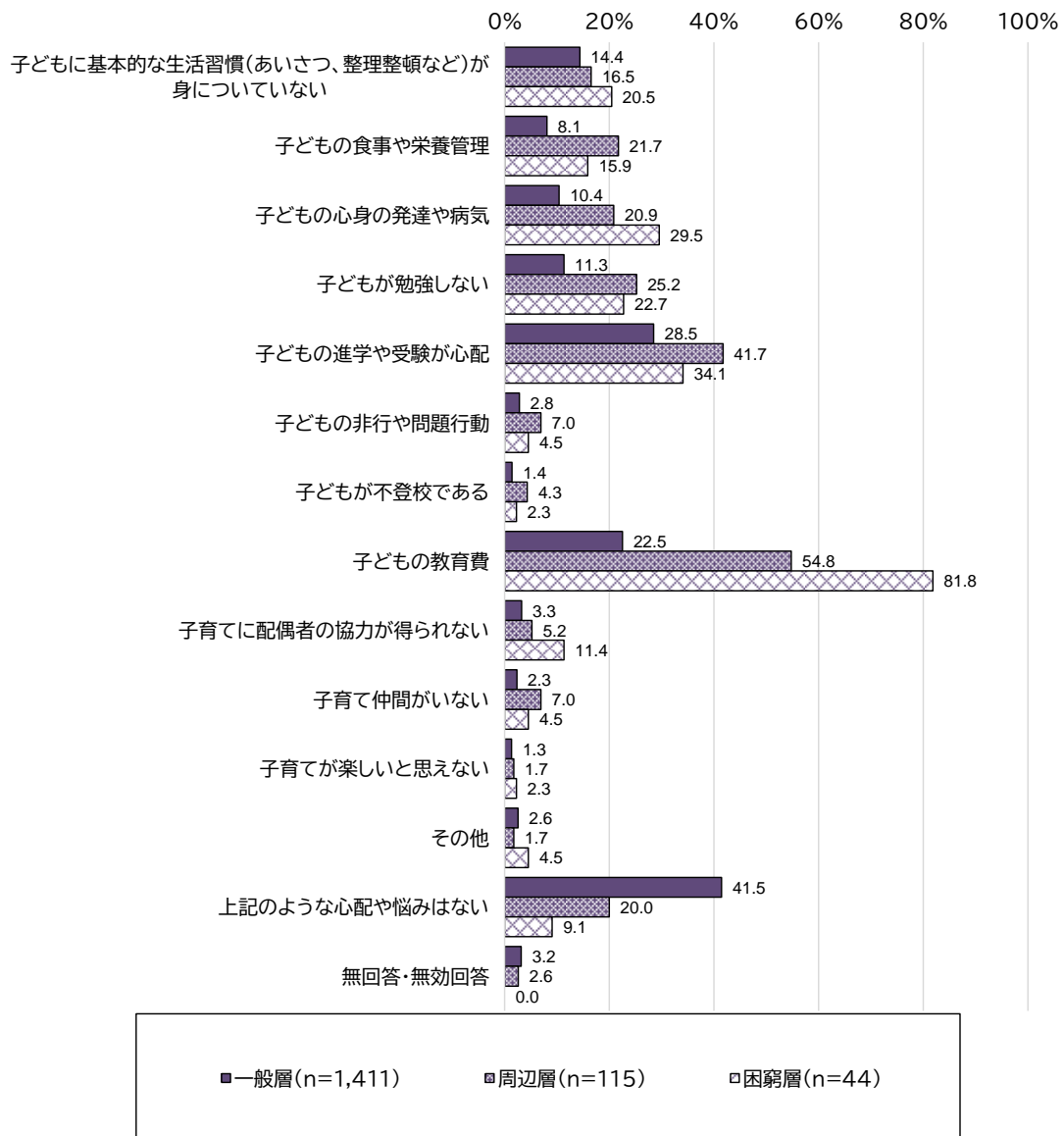


図表 3-92 子育てに関する悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）

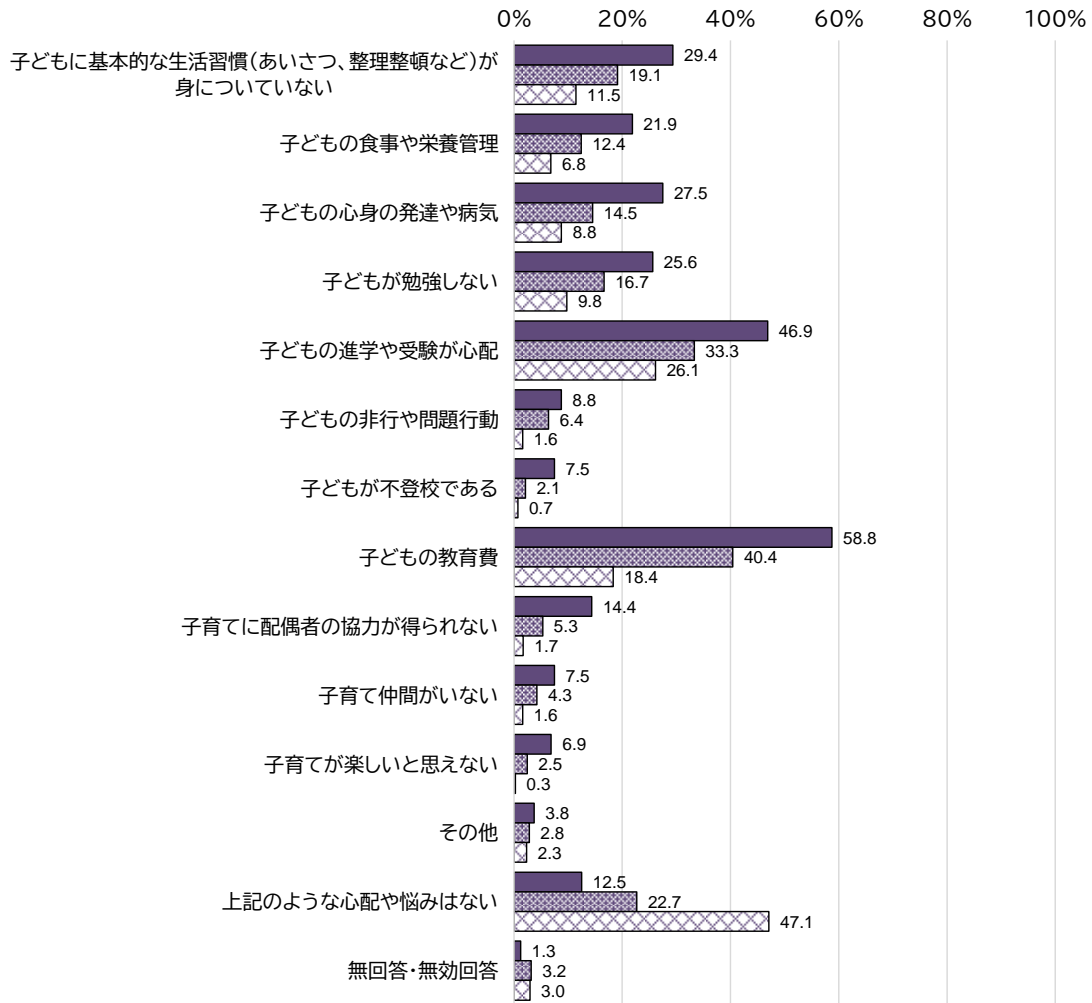


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) ▨ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
 ▩ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,353) ▧ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 3-93 子育てに関する悩みごと（生活困難層別クロス集計）



図表 3-94 子育てに関する悩みごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=160) ■生活満足 中位(n=282) □生活満足 高位(n=1,117)

(4) あなたのことについてうかがいます

ア 婚姻状況

回答者本人の婚姻状況について、「結婚している(事実婚を含む)」が 92.1%、「離婚(別居中を含む)」が 5.9%、「死別」が 0.8%であった。

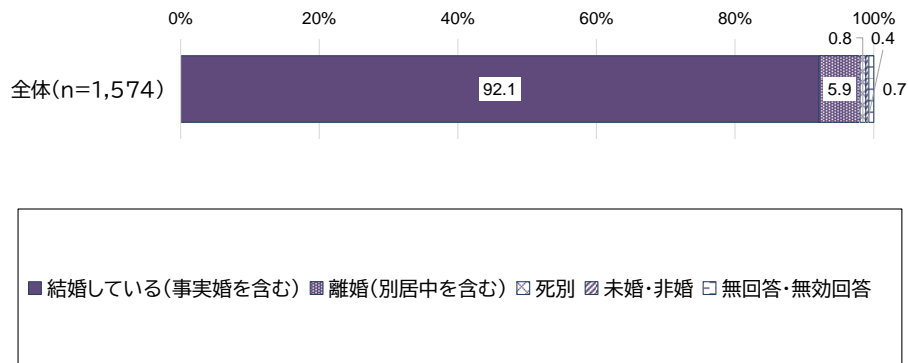
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「離婚(別居中を含む)」が 82.6%と最も多く、「死別」が 14.0%、「未婚・非婚」が 3.5%であった。

困窮層(n=44)では、「結婚している(事実婚を含む)」が 54.5%と最も多く、「離婚(別居中を含む)」が 40.9%、「死別」「未婚・非婚」がともに 2.3%であった。

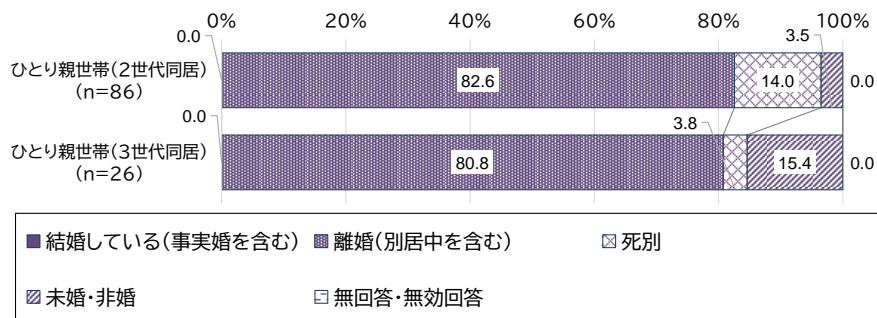
【小学5年生保護者問 14】

現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(単一回答)

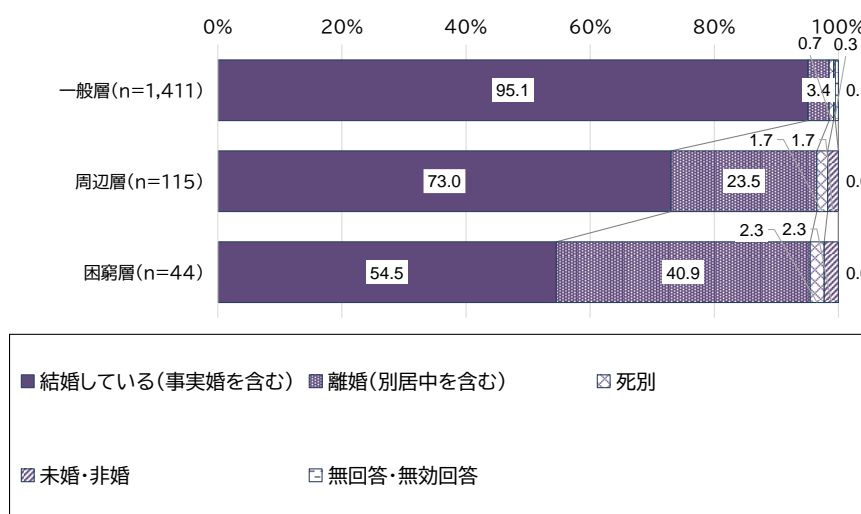
図表 3-95 回答者の婚姻状況 (単純集計)



図表 3-96 回答者の婚姻状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-97 回答者の婚姻状況（生活困難層別クロス集計）



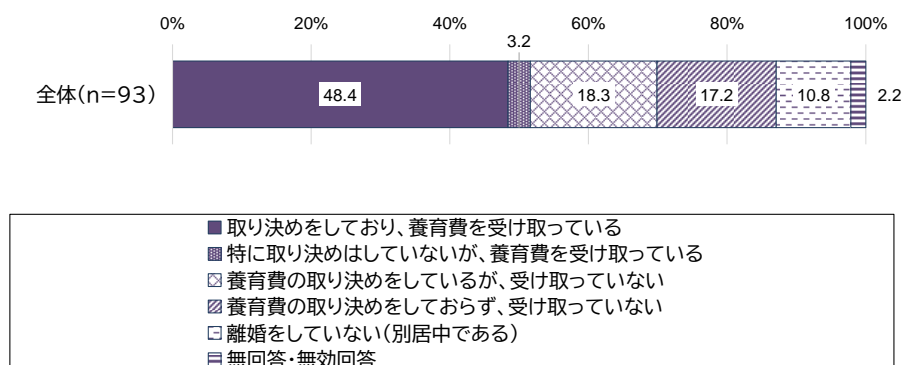
イ 養育費の取り決め

問 14 で2(「離婚(別居中を含む)」)と回答した方に、離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしているかどうかについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が 48.4%と最も多く、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が 18.3%、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 17.2%であった。

【小学5年生保護者問 14-1】

問 14 で、「2. 離婚(別居中を含む)」を選んだ方にうかがいます。離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。(単一回答)

図表 3-98 離婚した相手との、子どもの養育費の取り決めの有無（単純集計）



ウ 健康状態に関する認識

回答者の健康状態については、「よい」が 45.0%と最も多く、「まあよい」が 25.3%、「ふつう」が 22.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「よい」が 38.4%と最も多く、「ふつう」が 25.6%、「まあよい」が 20.9%であった。

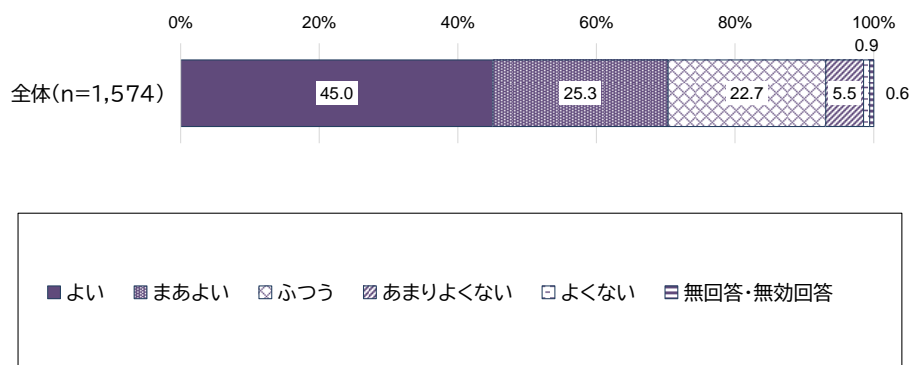
困窮層(n=44)では、「ふつう」が 34.1%と最も多く、「あまりよくない」が 29.5%、「まあよい」が 15.9%であった。

生活満足 低位(n=160) では、「ふつう」が 38.1%と最も多く、「まあよい」が 23.8%、「あまりよくない」が 18.8%であった。

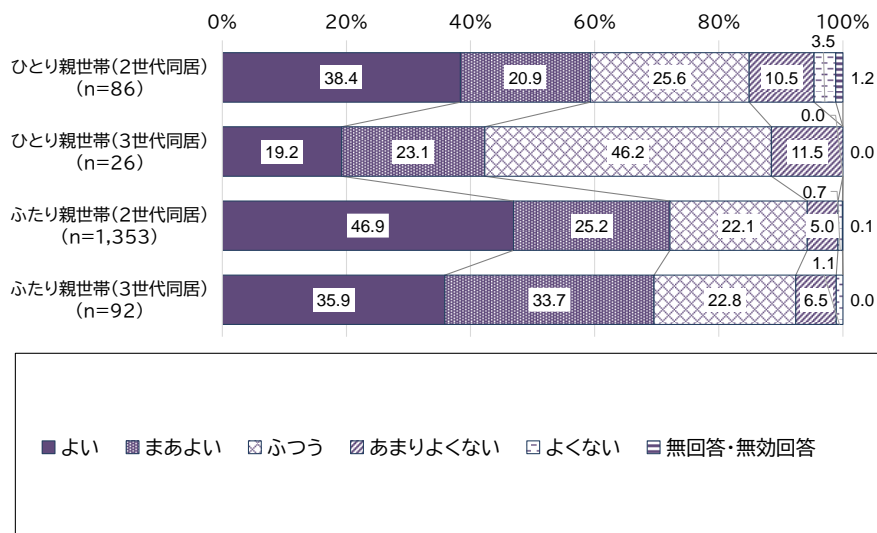
【小学5年生保護者問 15】

あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。(単一回答)

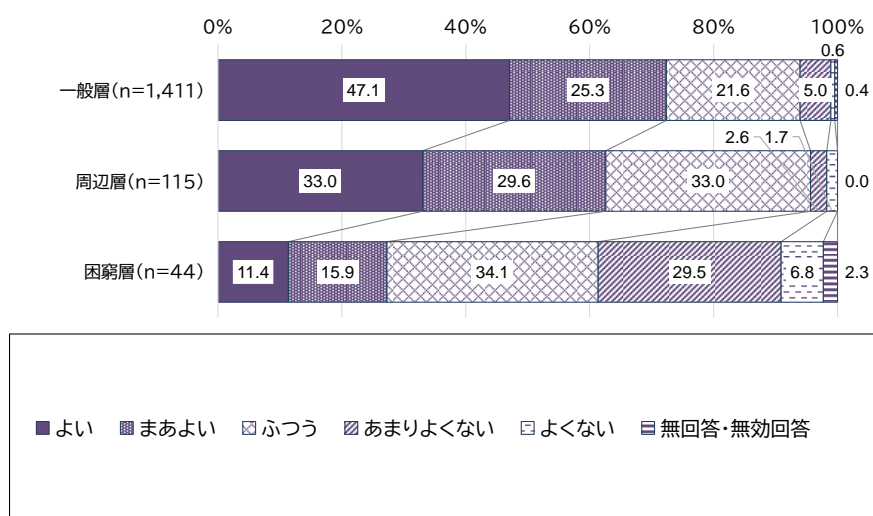
図表 3-99 回答者の健康状態に関する認識 (単純集計)



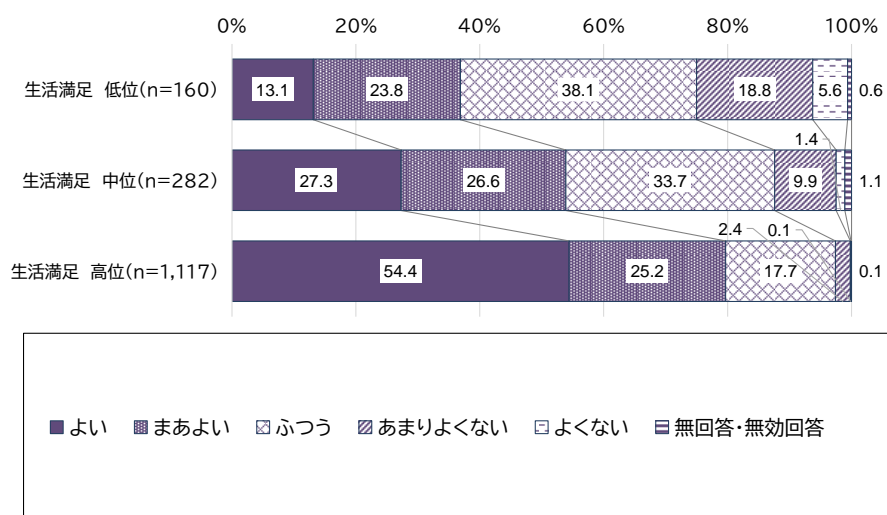
図表 3-100 回答者の健康状態に関する認識 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-101 回答者の健康状態に関する認識（生活困難層別クロス集計）



図表 3-102 回答者の健康状態に関する認識（生活満足度別クロス集計）



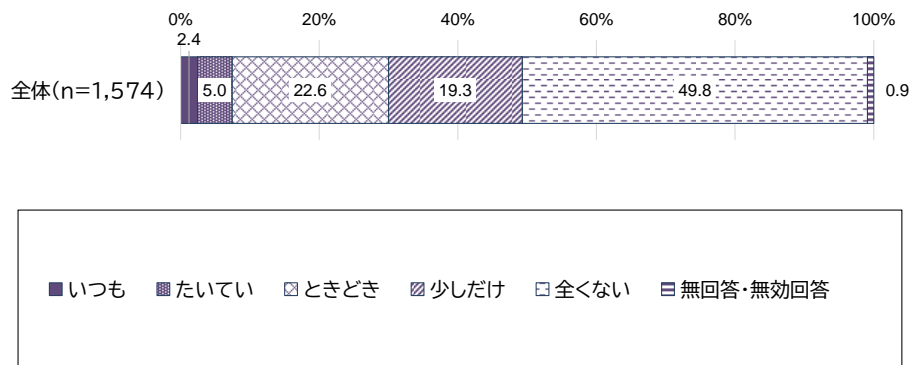
エ 過去1か月間のこころの状態

「神経過敏に感じましたか」は、「全くない」が49.8%であった。

【小学5年生保護者問 16A】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-103 「神経過敏に感じましたか」の頻度 (単純集計)

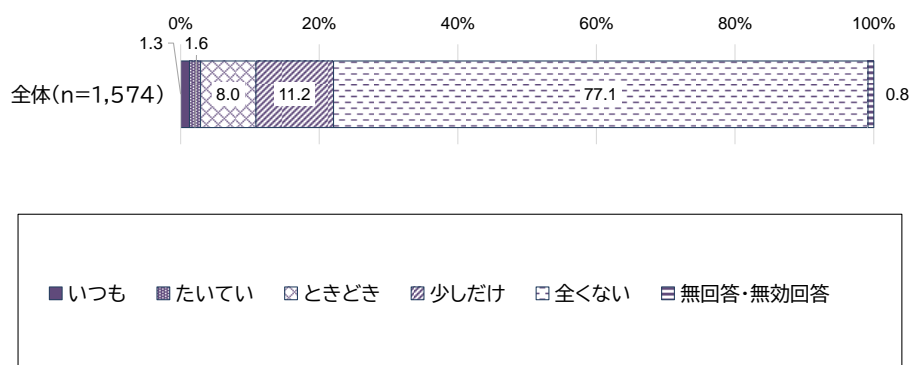


「絶望的だと感じましたか」は、「全くない」が77.1%であった。

【小学5年生保護者問 16B】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-104 「絶望的だと感じましたか」の頻度 (単純集計)

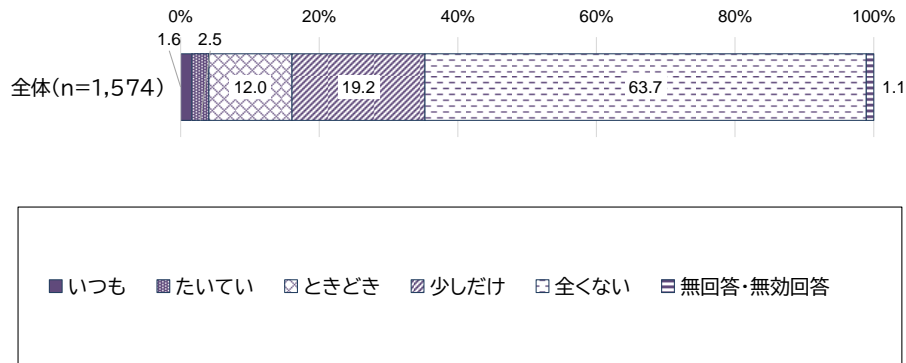


「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」は、「全くない」が 63.7%であった。

【小学5年生保護者問 16C】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-105 「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」の頻度 (単純集計)

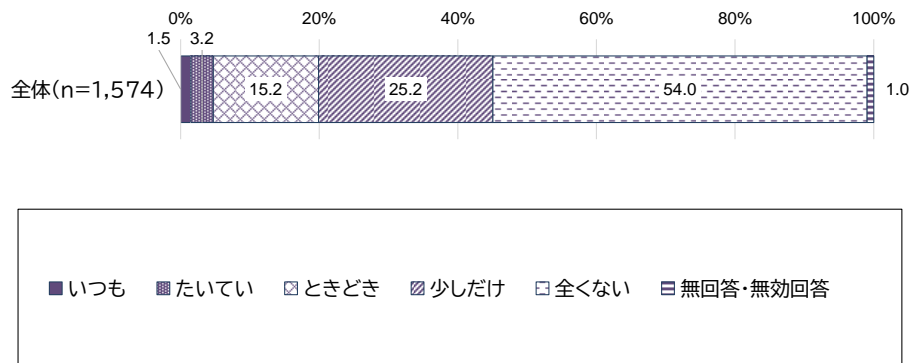


「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」は、「全くない」が 54.0%であった。

【小学5年生保護者問 16D】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-106 「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」の頻度 (単純集計)

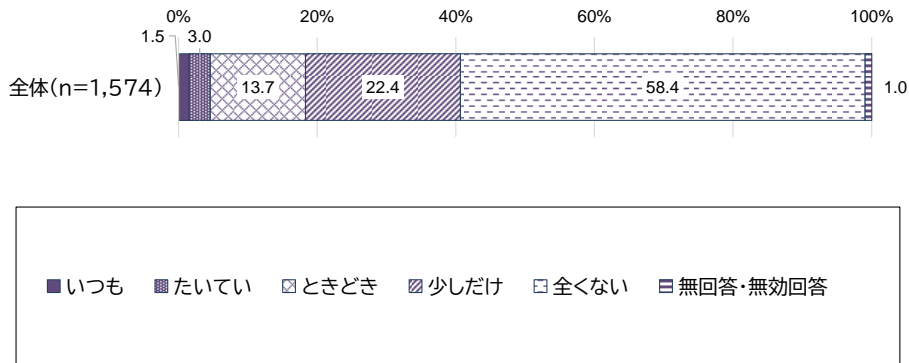


「何をするのも骨折りだと感じましたか」は、「全くない」が 58.4%であった。

【小学5年生保護者問 16E】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 3-107 「何をするのも骨折りだと感じましたか」の頻度 (単純集計)



「自分は価値のない人間だと感じましたか」は、「全くない」が 74.2%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「全くない」が 60.5%であった。

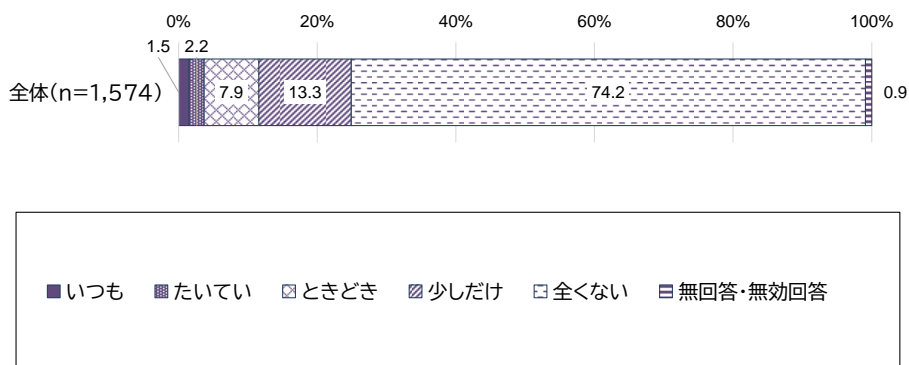
困窮層(n=44)では、「全くない」が 36.4%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「全くない」が 41.3%であった。

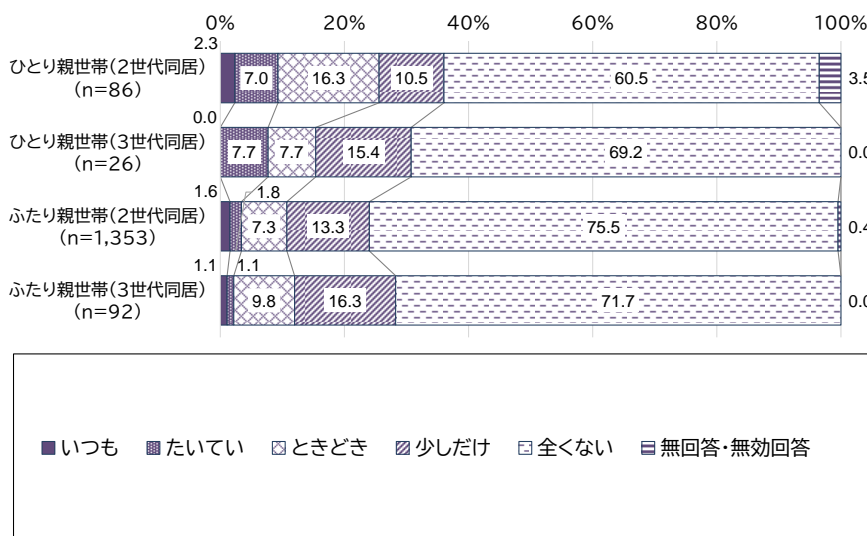
【小学5年生保護者問 16F】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

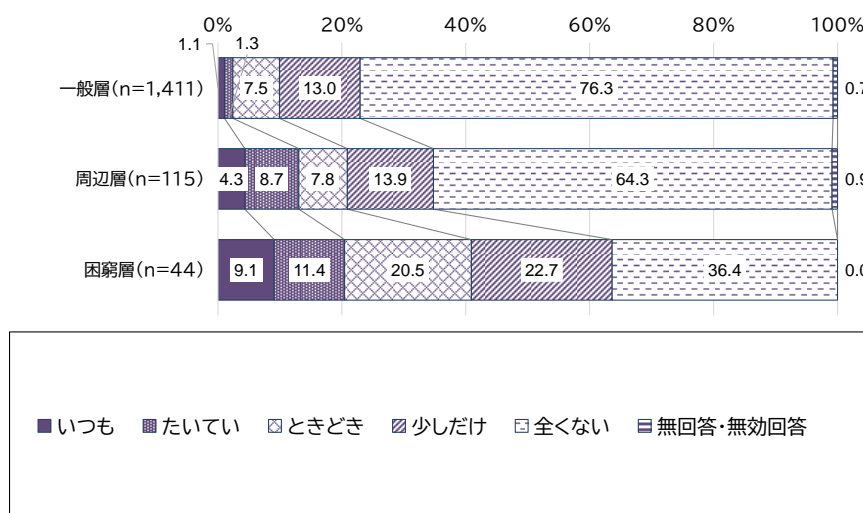
図表 3-108 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度 (単純集計)



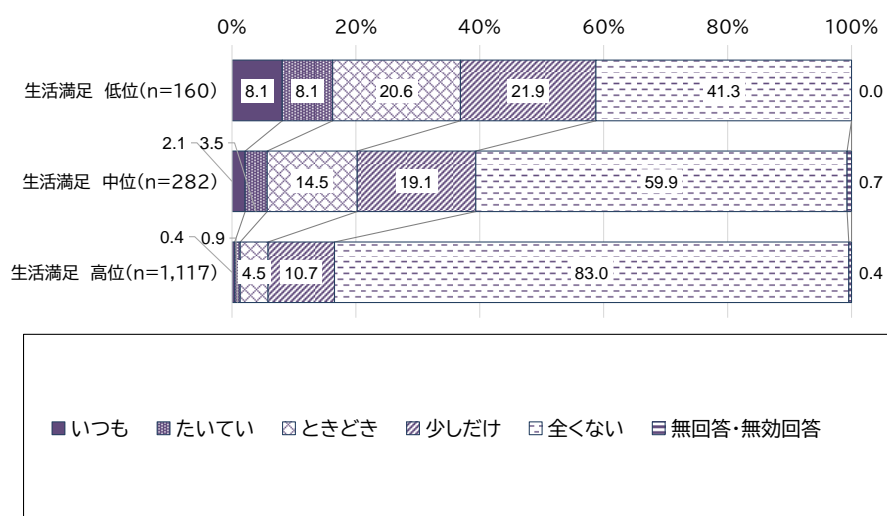
図表 3-109 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-110 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活困難層別クロス集計）



図表 3-111 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活満足度別クロス集計）



オ 過去1か月間のこころの状態(K6)²⁷

過去1か月間のこころの状態(K6)は、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、10.8%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、27.9%であった。

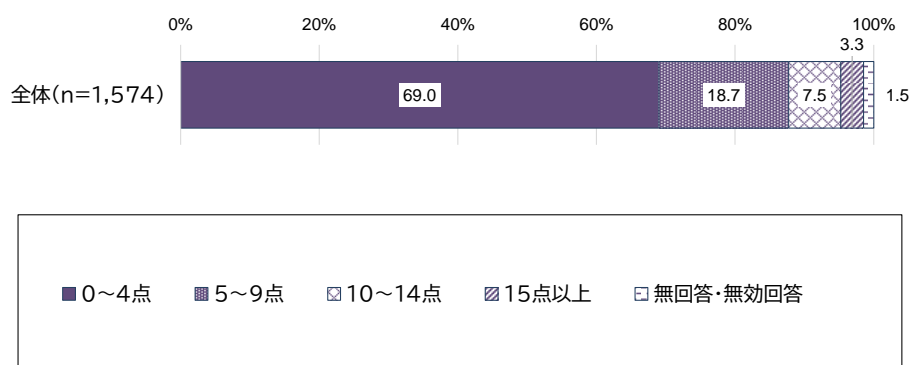
困窮層(n=44)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、50.0%であった。

生活満足 低位(n=160)では、10点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、39.4%であった。

【小学5年生保護者 K6 得点】

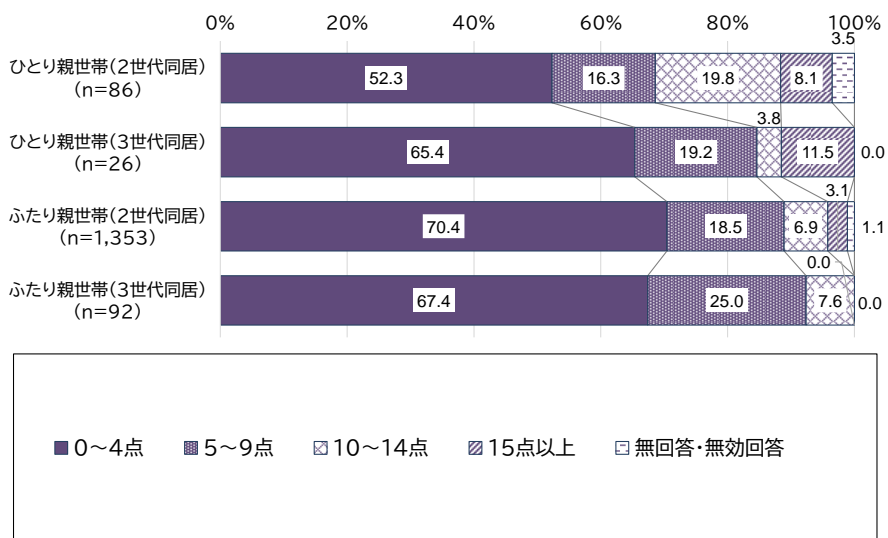
過去1か月間のこころの状態(K6)

図表 3-112 過去1か月間のこころの状態(K6)（単純集計）

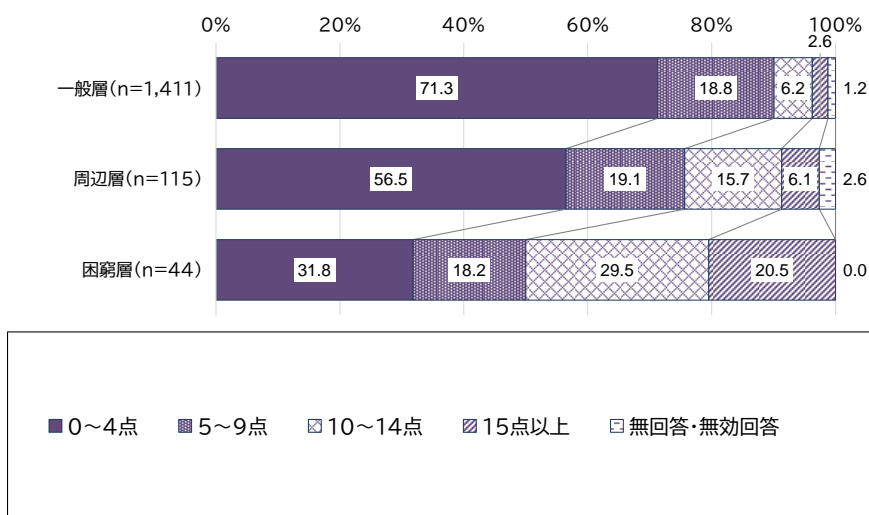


²⁷ 第1章3節2項アンケート調査結果の見方参照

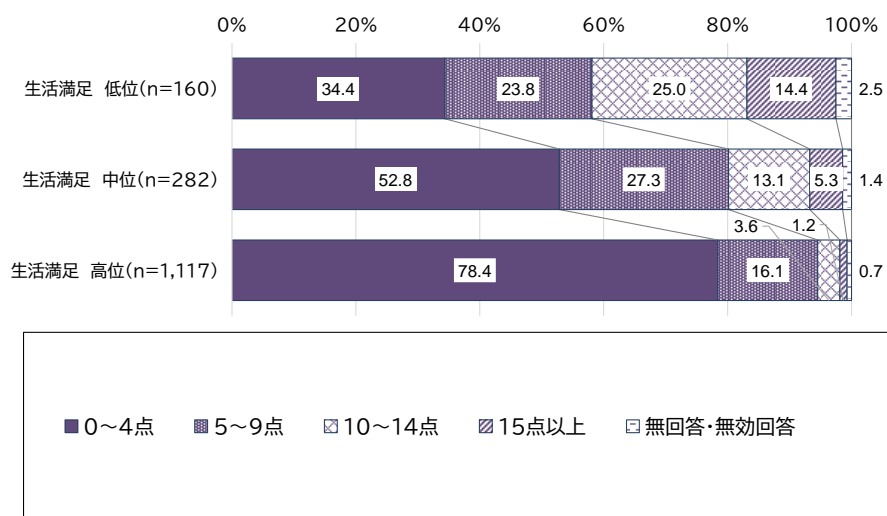
図表 3-113 過去1か月間のこころの状態(K6) (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-114 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活困難層別クロス集計)



図表 3-115 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活満足度別クロス集計)



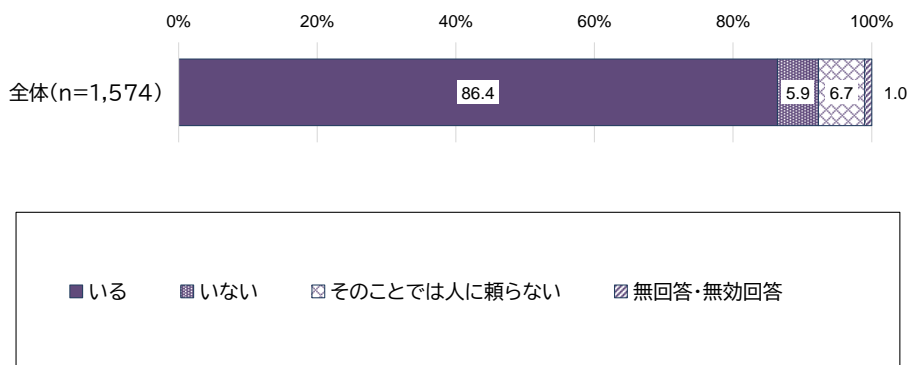
カ 支えてくれる人・手伝ってくれる人

「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」についてみると、「いない」が 5.9%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が 19.8%であった。
 困窮層(n=44)では、「いない」が 20.5%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が 20.0%であった。

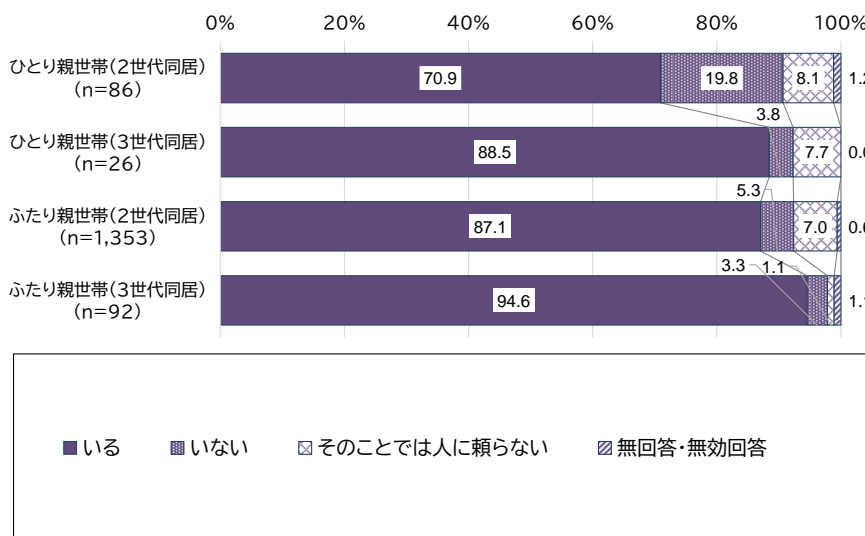
【小学5年生保護者問 17A】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

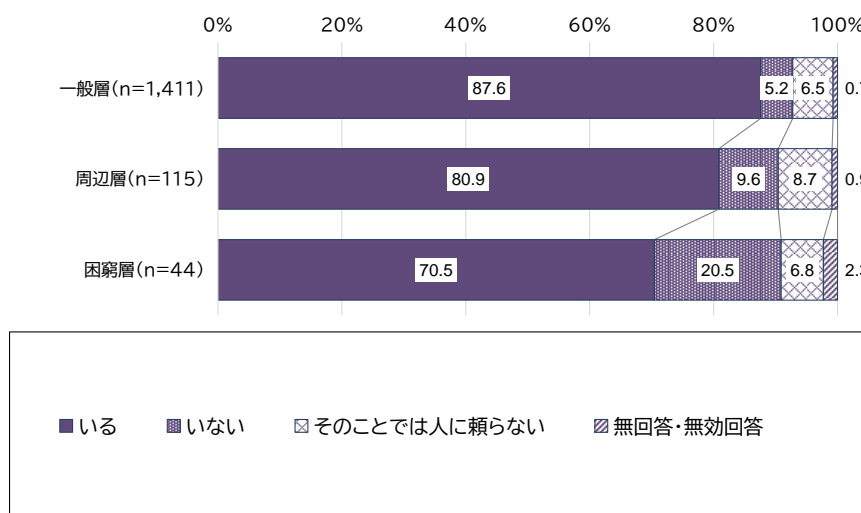
図表 3-116 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無 (単純集計)



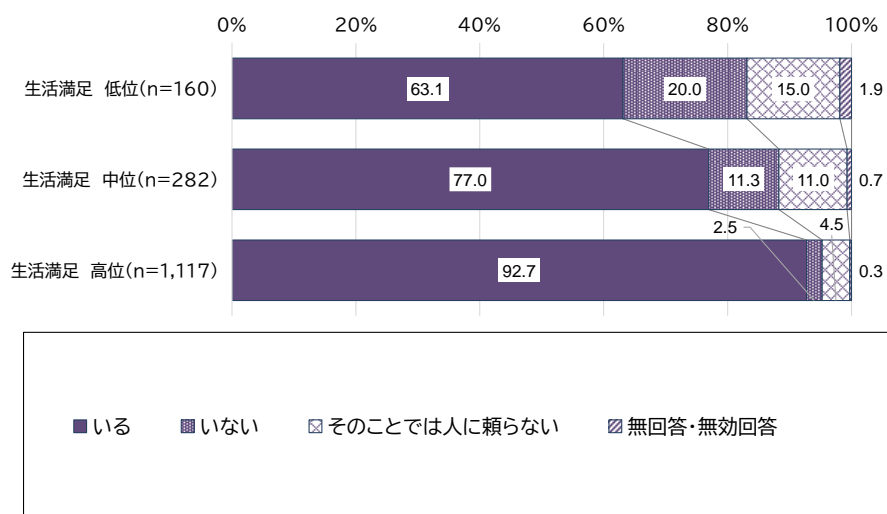
図表 3-117 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-118 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-119 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活満足度別クロス集計）

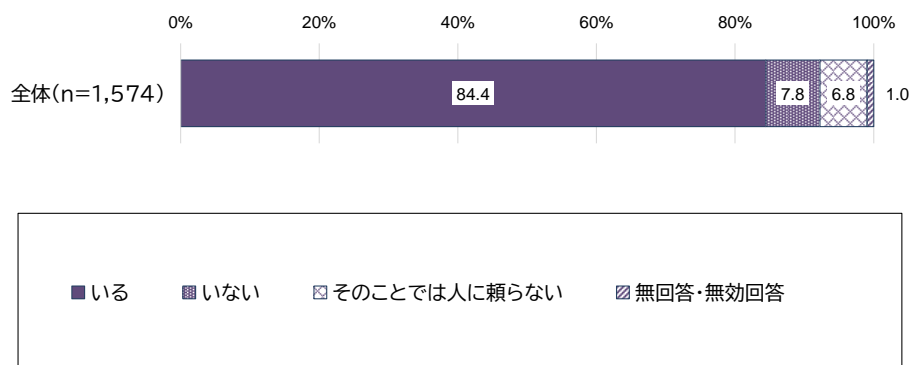


「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無は、「いない」が 7.8%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が 18.6%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が 22.5%であった。

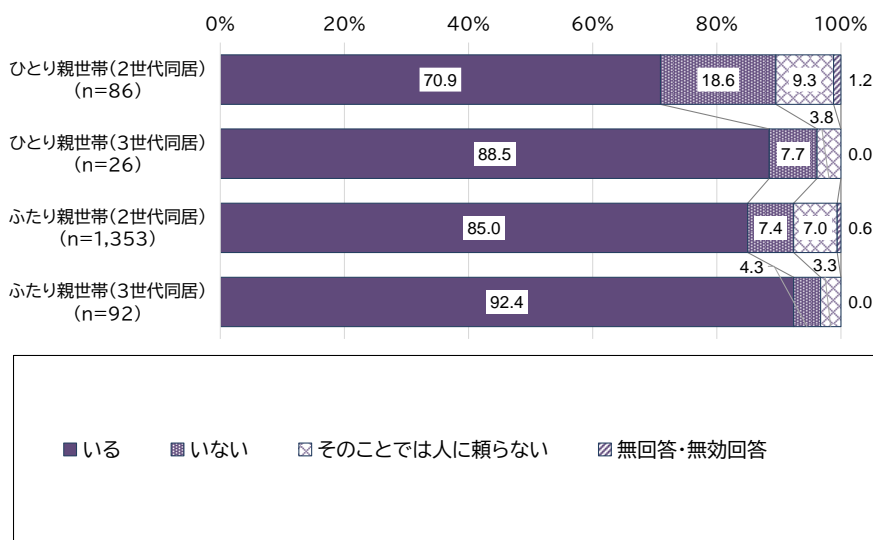
【小学5年生保護者問 17B】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

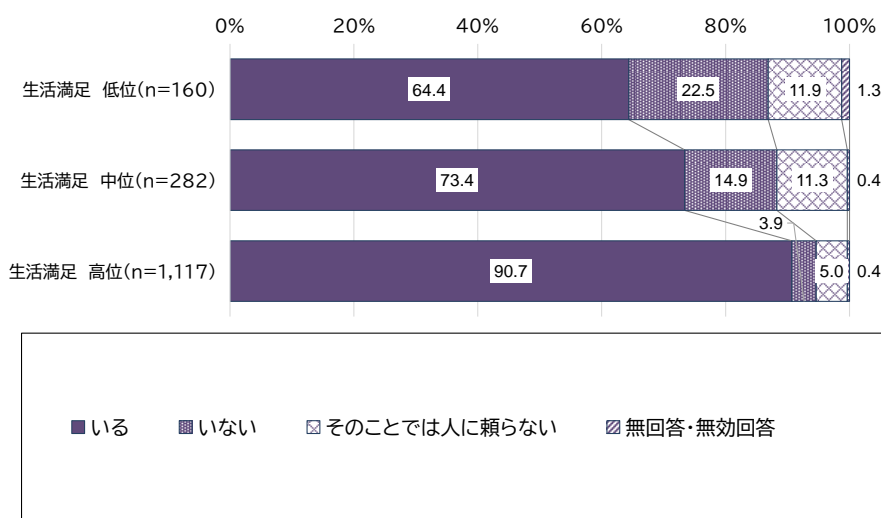
図表 3-120 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無（単純集計）



図表 3-121 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無
(世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-122 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無 (生活満足度別集計)

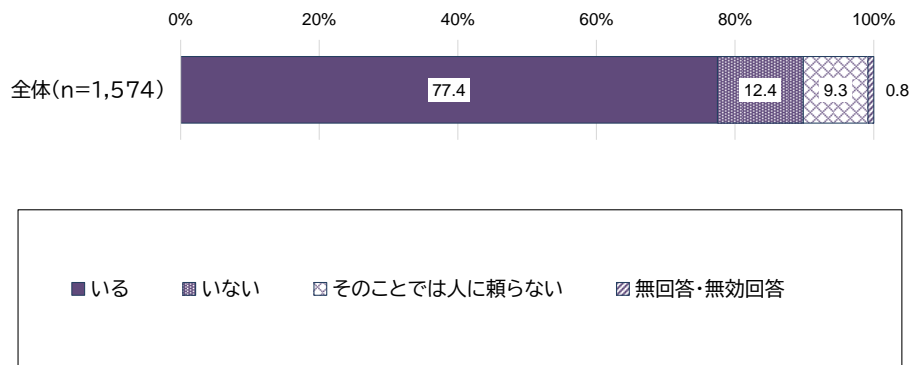


「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無は、「いない」が12.4%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が32.6%であった。
 困窮層(n=44)では、「いない」が34.1%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が30.6%であった。

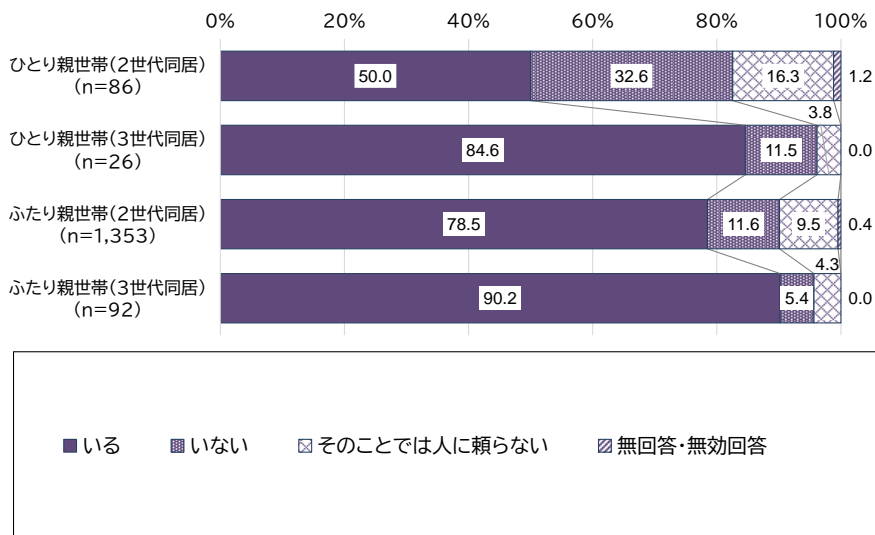
【小学5年生保護者問 17C】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

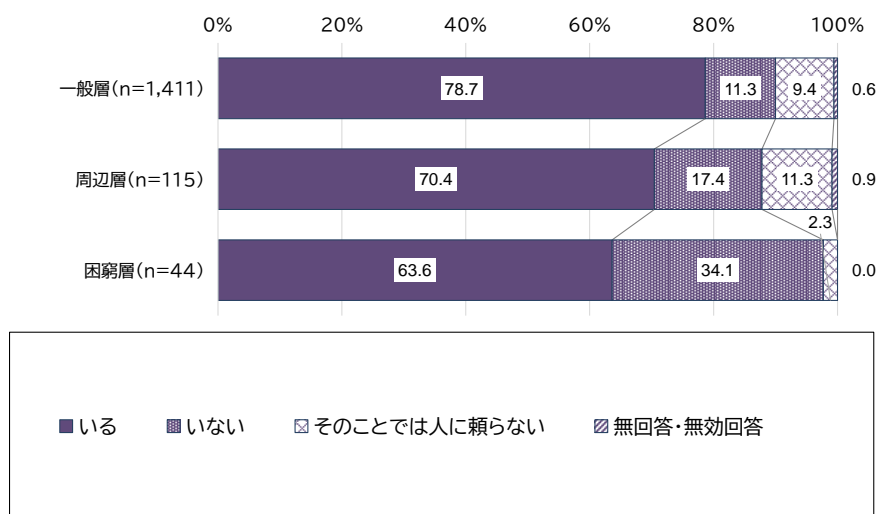
図表 3-123 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無 (単純集計)



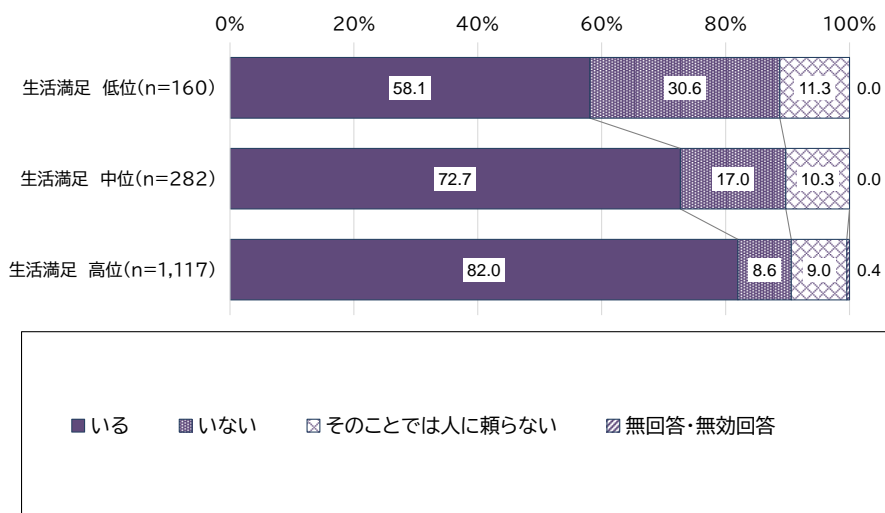
図表 3-124 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-125 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無
(生活困難層別クロス集計)



図表 3-126 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無
(生活満足度別クロス集計)

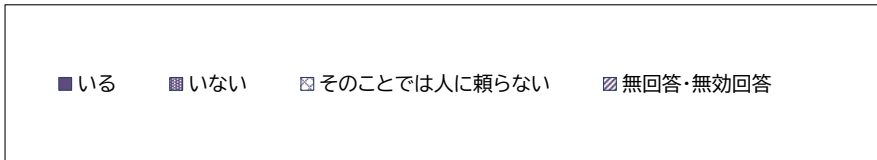
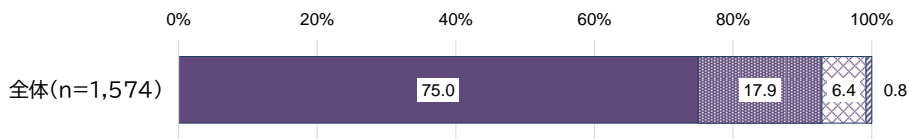


「留守を頼める人」の有無は、「いない」が17.9%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が33.7%であった。
 困窮層(n=44)では、「いない」が36.4%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が35.6%であった。

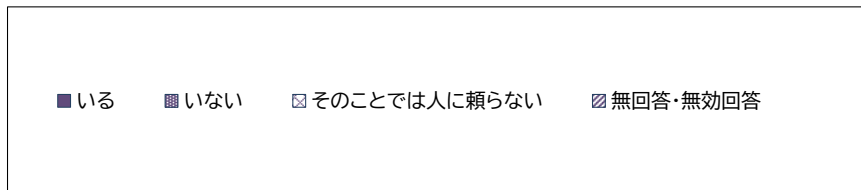
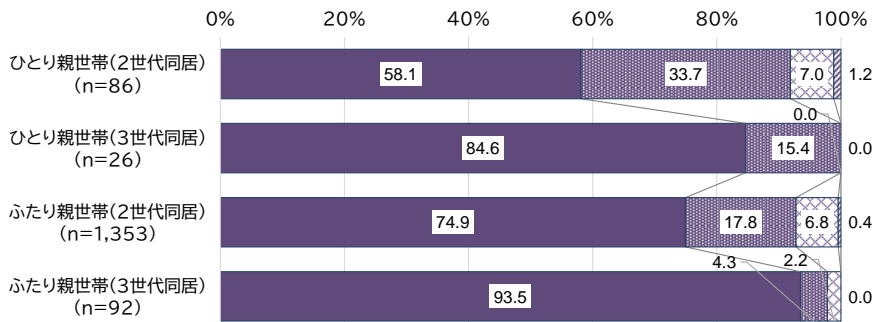
【小学5年生保護者問 17D】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

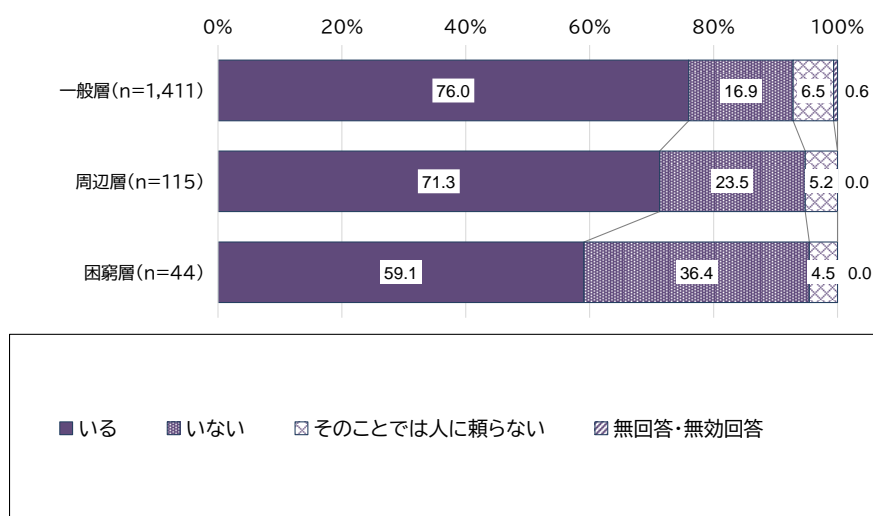
図表 3-127 留守を頼める人の有無 (単純集計)



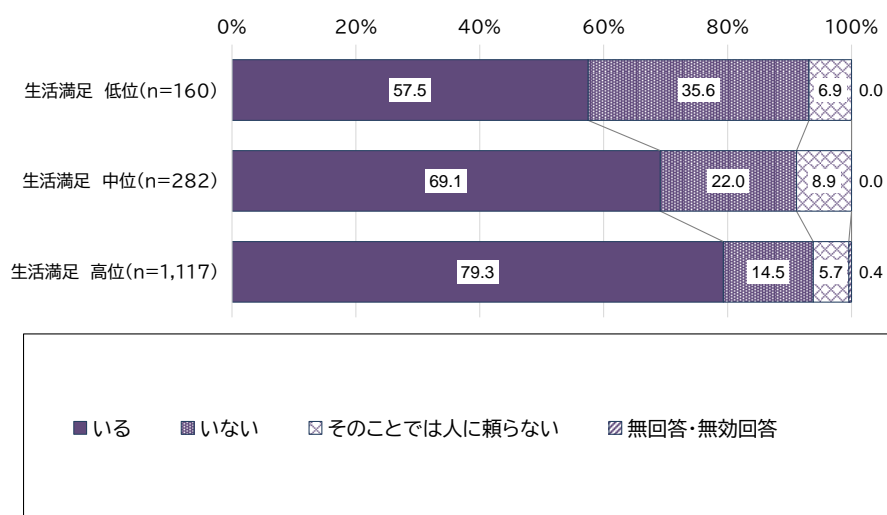
図表 3-128 留守を頼める人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-129 留守を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-130 留守を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）

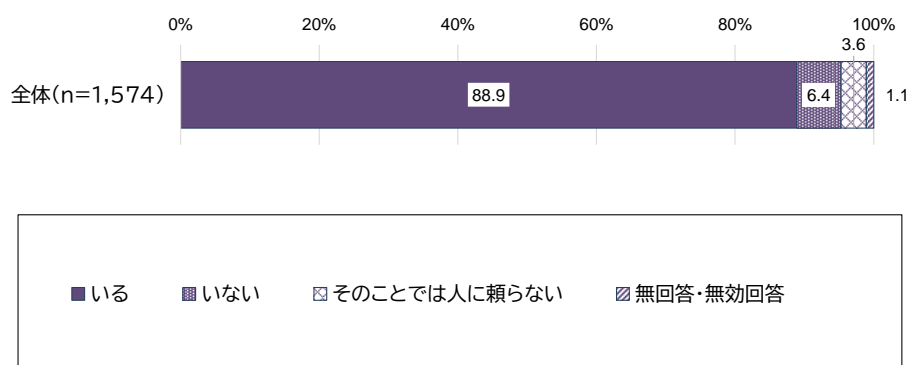


「重要な事柄の相談を出来る人」の有無は、「いない」が6.4%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が19.8%であった。
 困窮層(n=44)では、「いない」が25.0%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が20.0%であった。

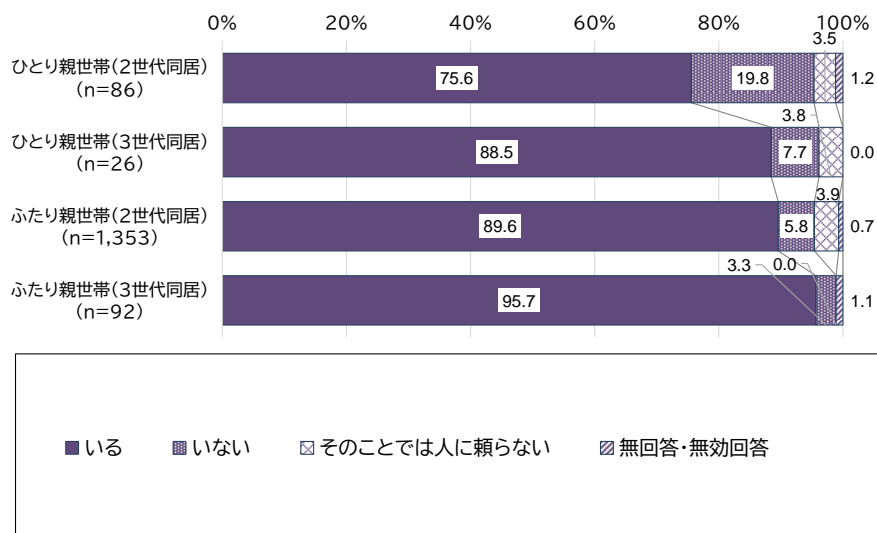
【小学5年生保護者問 17E】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

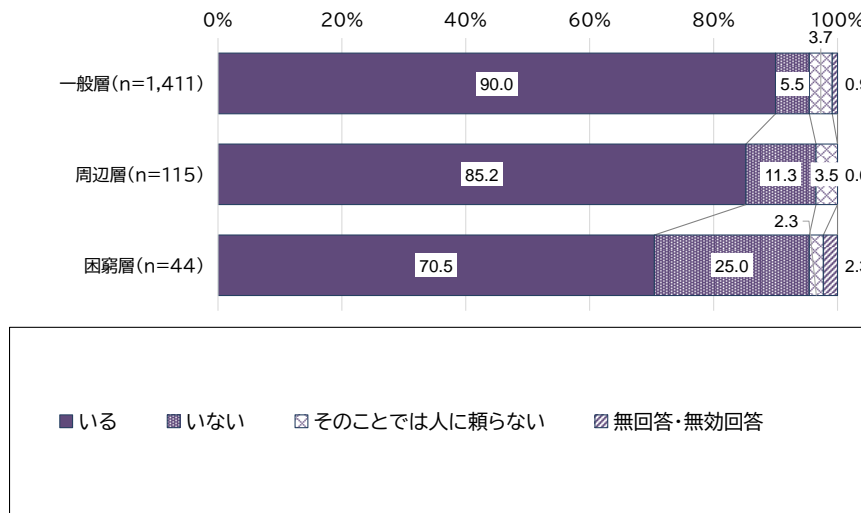
図表 3-131 重要な事柄の相談を出来る人の有無 (単純集計)



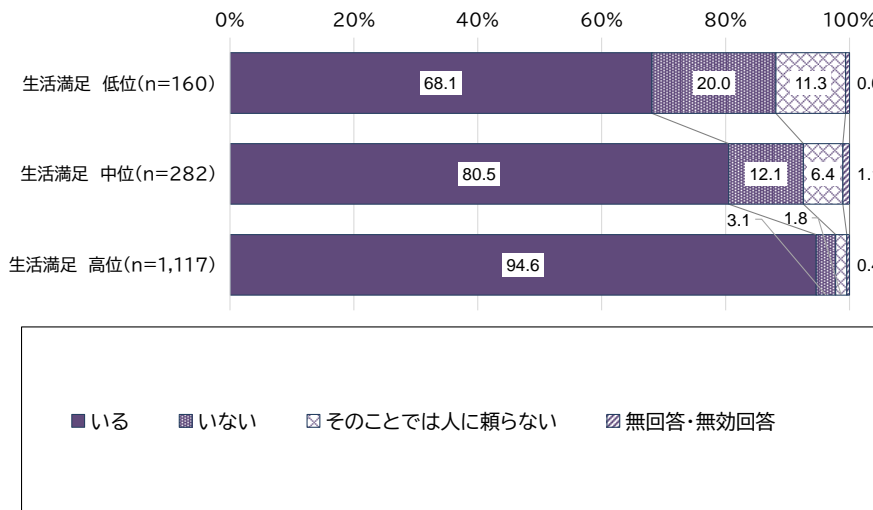
図表 3-132 重要な事柄の相談を出来る人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-133 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-134 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活満足度別クロス集計）

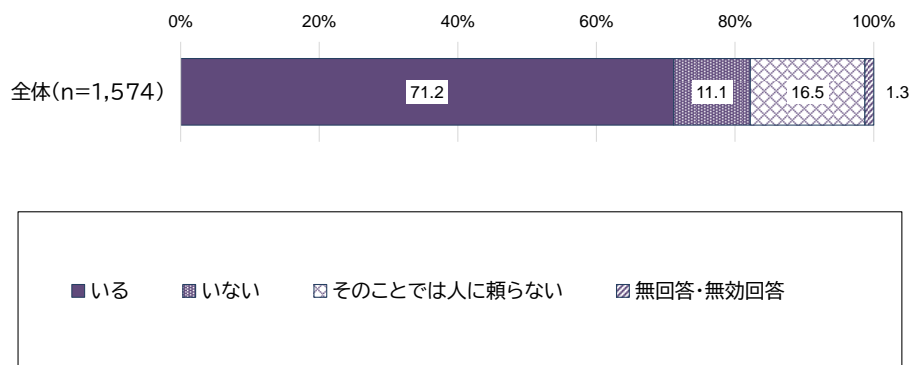


「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無は、「いない」が 11.1%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いない」が 24.4%であった。
 困窮層(n=44)では、「いない」が 38.6%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「いない」が 29.4%であった。

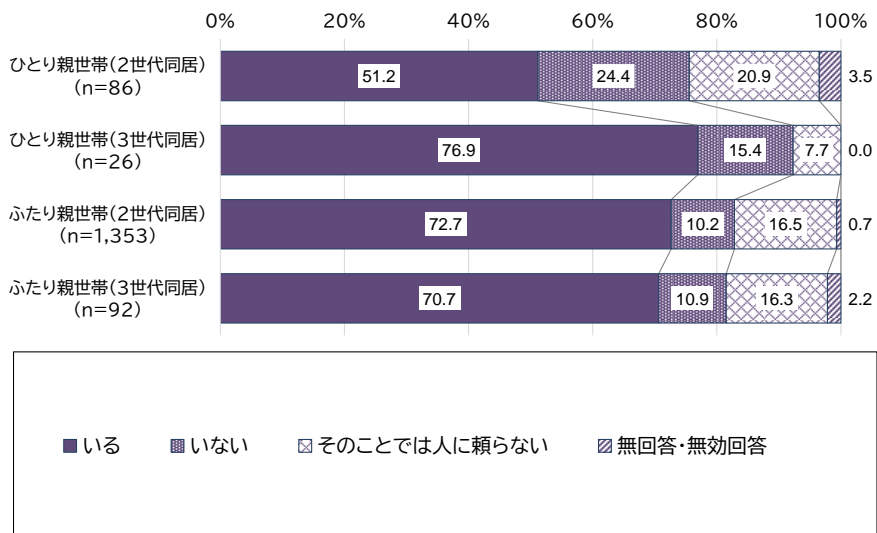
【小学5年生保護者問 17F】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

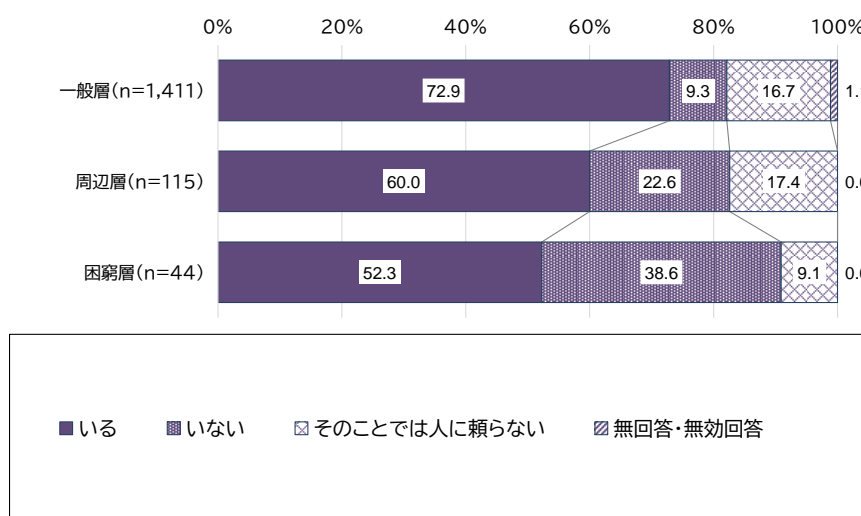
図表 3-135 いざという時のお金の援助を頼める人の有無 (単純集計)



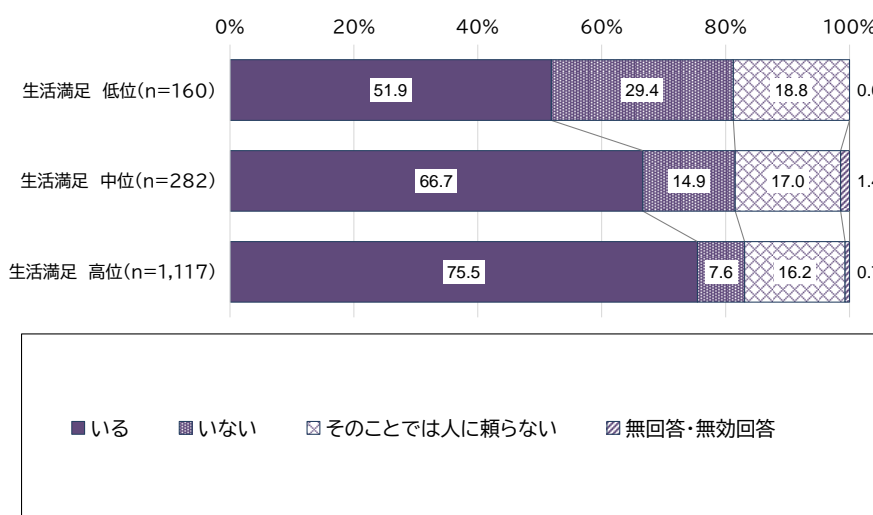
図表 3-136 いざという時のお金の援助を頼める人の有無 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-137 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 3-138 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）



キ 相談相手・相談先

相談相手や相談先について尋ねた結果、「配偶者・パートナー」が 80.8%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 67.3%、「友人・知人」が 57.6%であった。また、「相談できる相手がない」は 1.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「友人・知人」が 61.6%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 51.2%、「きょうだい・その他の親戚」が 45.3%であった。また、「相談できる相手がない」は 5.8%であった。

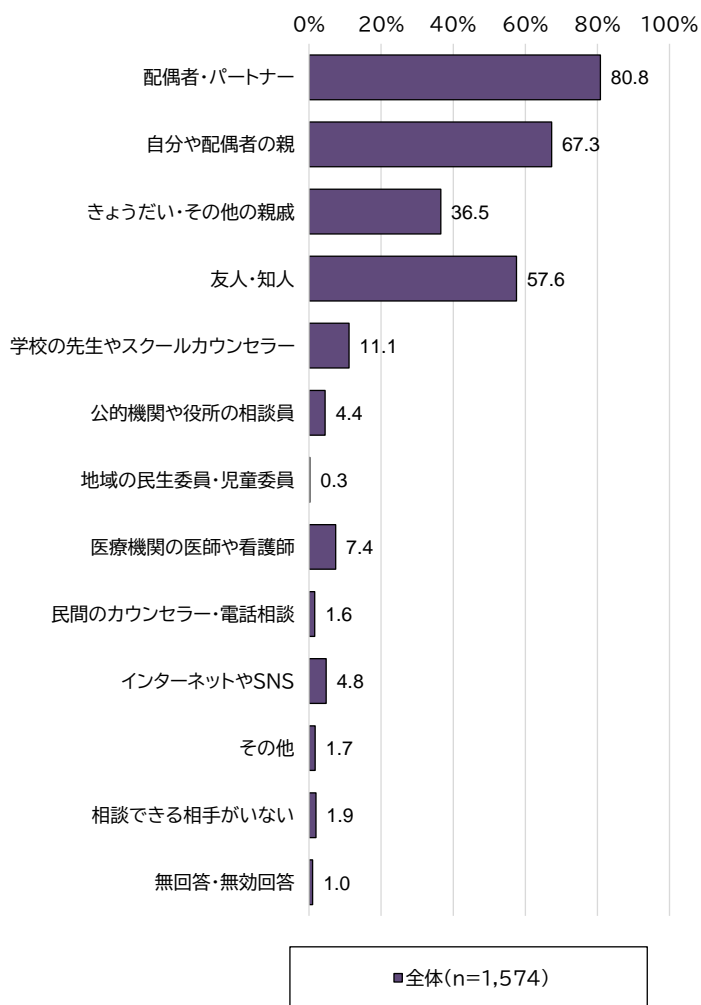
困窮層(n=44)では、「友人・知人」が 50.0%と最も多く、「配偶者・パートナー」が 43.2%、「自分や配偶者の親」が 40.9%であった。また、「相談できる相手がない」は 11.4%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「配偶者・パートナー」が 51.3%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 50.6%、「友人・知人」が 46.3%であった。また、「相談できる相手がない」は 10.0%であった。

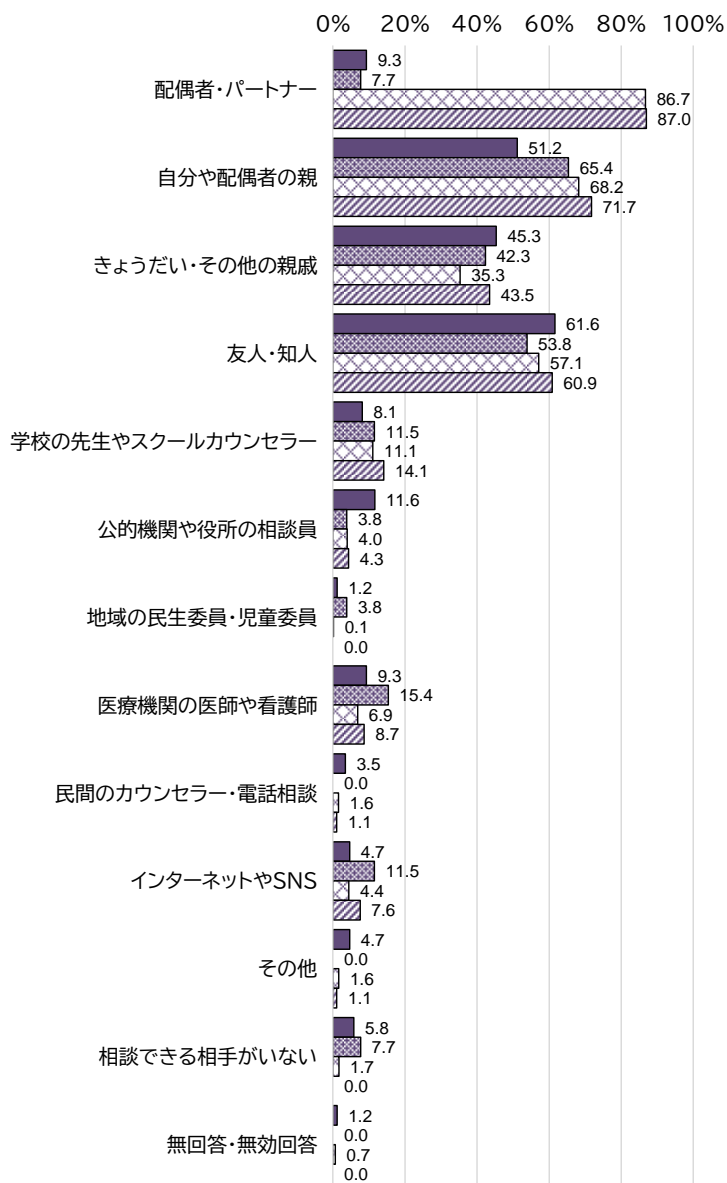
【小学5年生保護者問 18】

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(複数回答)

図表 3-139 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先 (単純集計)

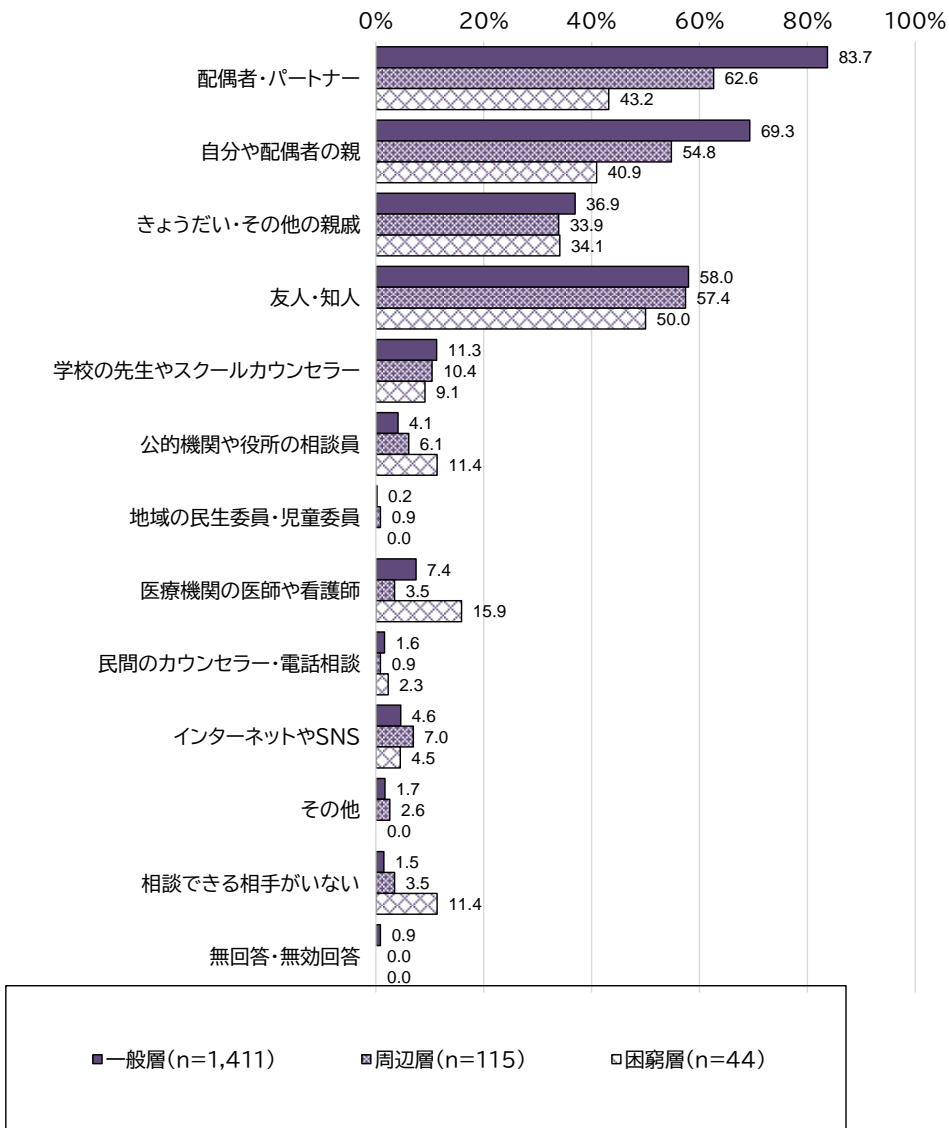


図表 3-140 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（世帯タイプ別クロス集計）

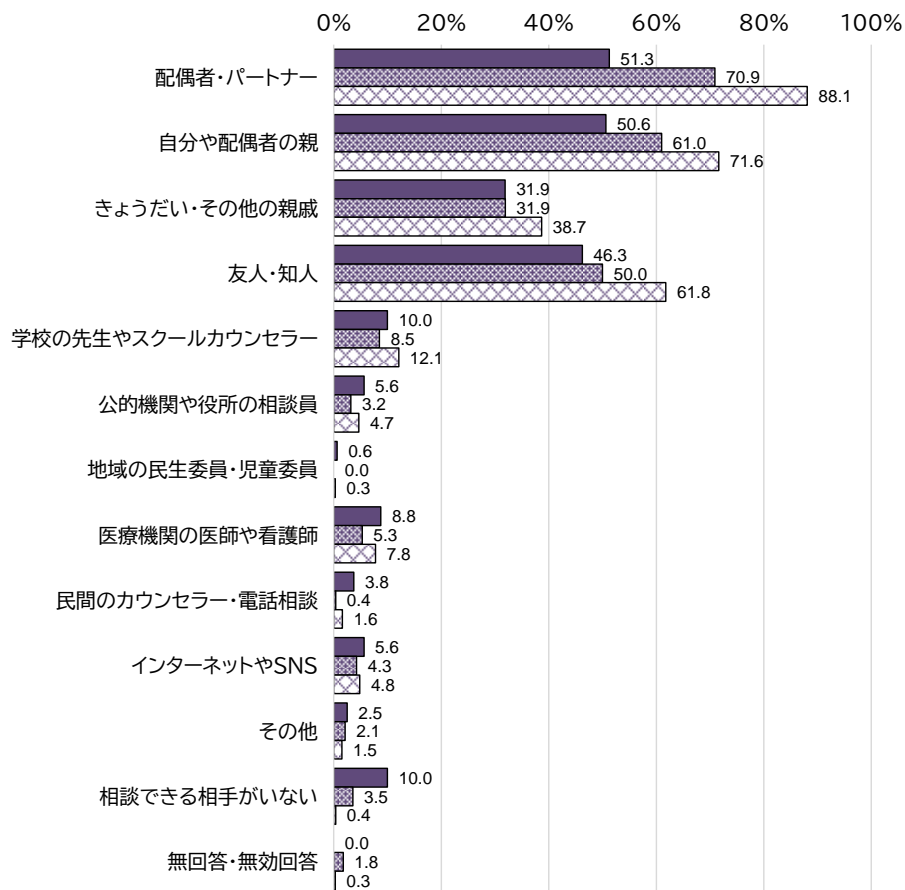


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,353) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 3-141 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活困難層別クロス集計）



図表 3-142 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=160) ■生活満足 中位(n=282) □生活満足 高位(n=1,117)

ク 生活満足度

最近の生活への満足度については、「0～4」と回答した割合の合計は 10.1%、「5～6」と回答した割合の合計は 18.0%、「7～10」と回答した割合の合計は 70.9%であった。

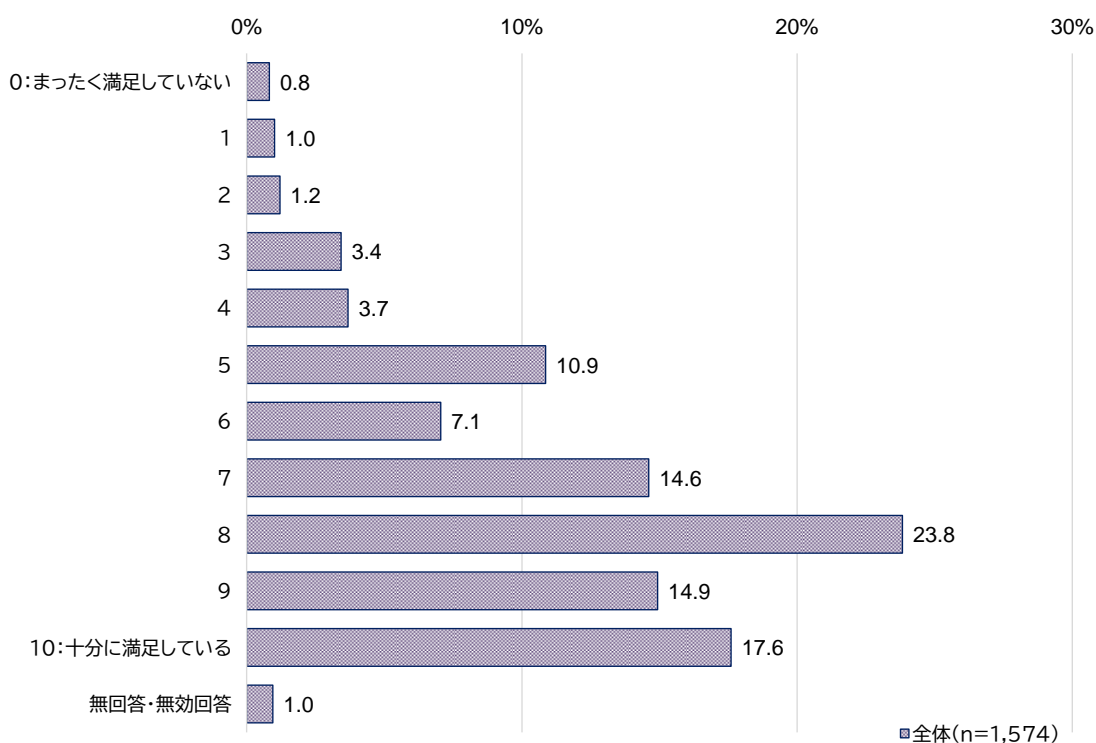
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「0～4」と回答した割合の合計は 24.5%、「5～6」と回答した割合の合計は 20.9%、「7～10」と回答した割合の合計は 53.4%であった。

困窮層(n=44)では、「0～4」と回答した割合の合計は 61.4%、「5～6」と回答した割合の合計は 13.7%、「7～10」と回答した割合の合計は 22.8%であった。

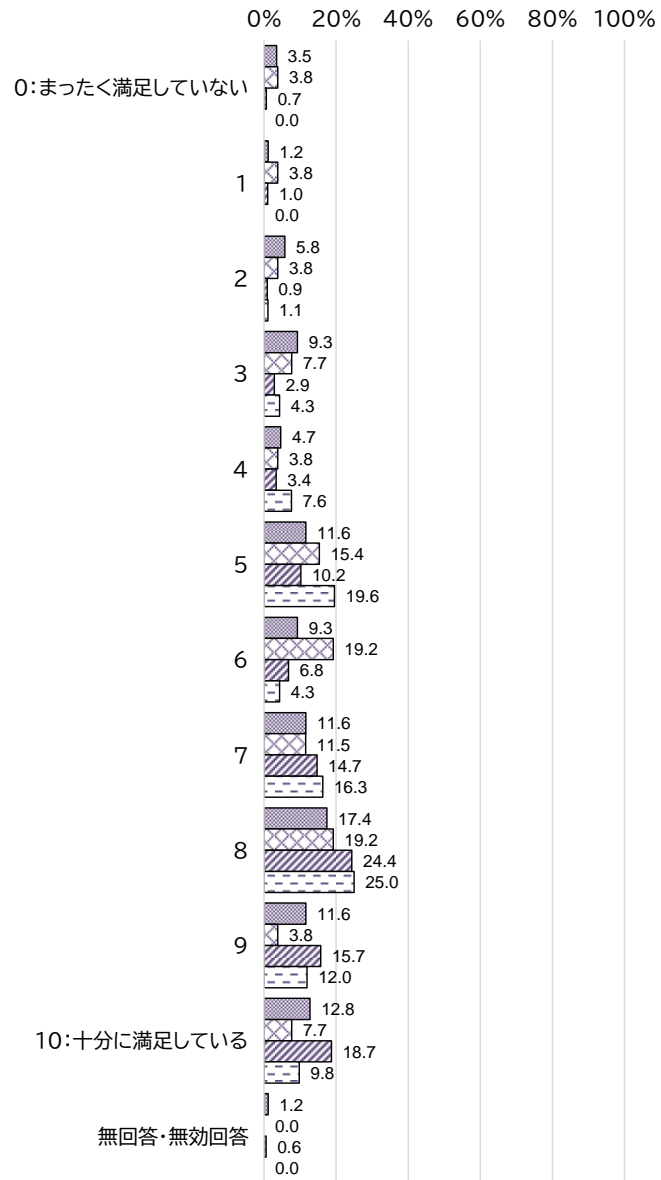
【小学5年生保護者問 19】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(単一回答)

図表 3-143 生活満足度 (単純集計)

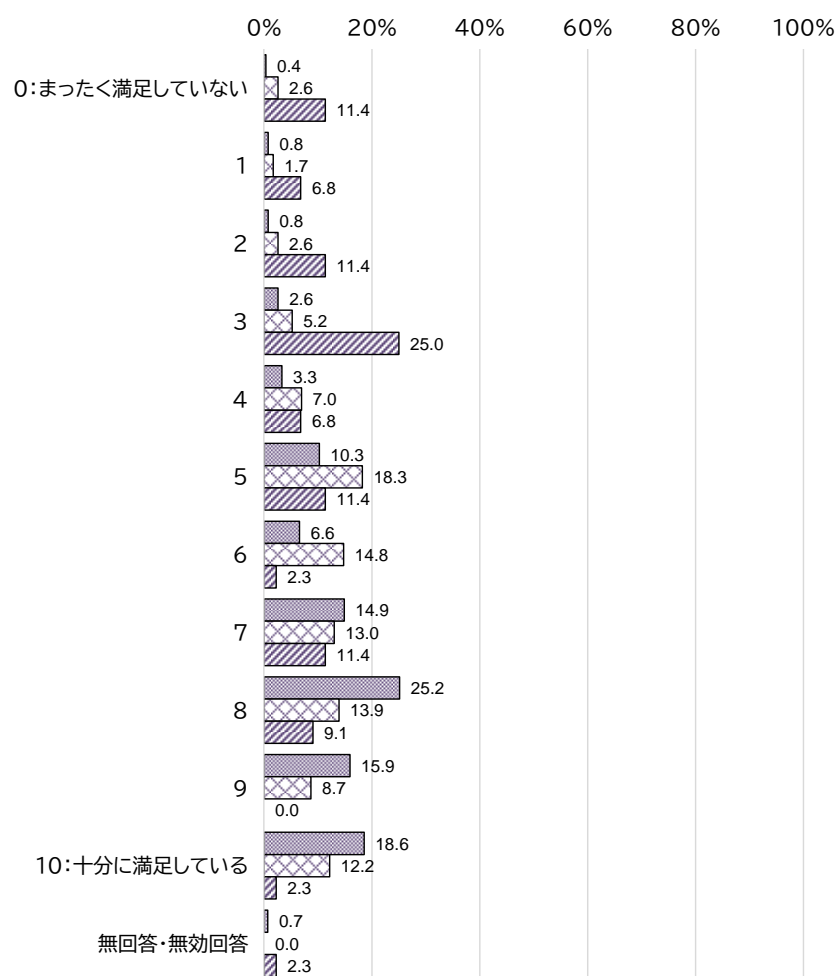


図表 3-144 生活満足度（世帯タイプ別クロス集計）



<ul style="list-style-type: none"> ■ひとり親世帯(2世代同居) (n=86) ▨ふたり親世帯(2世代同居) (n=1,353) 	<ul style="list-style-type: none"> □ひとり親世帯(3世代同居) (n=26) □ふたり親世帯(3世代同居) (n=92)
---	--

図表 3-145 生活満足度（生活困難層別クロス集計）



□一般層(n=1,411)

□周辺層(n=115)

□困窮層(n=44)

(5) あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

ア 暮らしの状況

現在の暮らしの状況の認識については、「普通」が 51.0%と最も多く、「ややゆとりがある」が 20.8%、「やや苦しい」が 17.9%であった。また、「大変苦しい」は 5.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「普通」が 45.3%と最も多く、「やや苦しい」が 26.7%、「大変苦しい」が 20.9%であった。

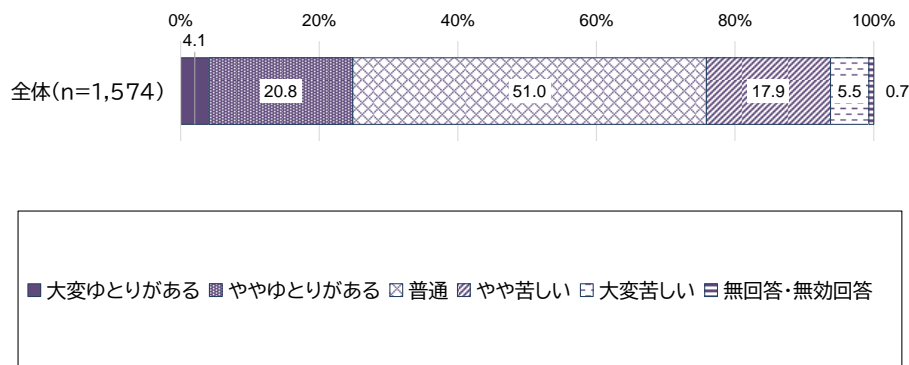
困窮層(n=44)では、「大変苦しい」が 65.9%と最も多く、「やや苦しい」が 29.5%、「普通」が 4.5%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「やや苦しい」が 36.9%と最も多く、「大変苦しい」が 31.9%、「普通」が 23.8%であった。

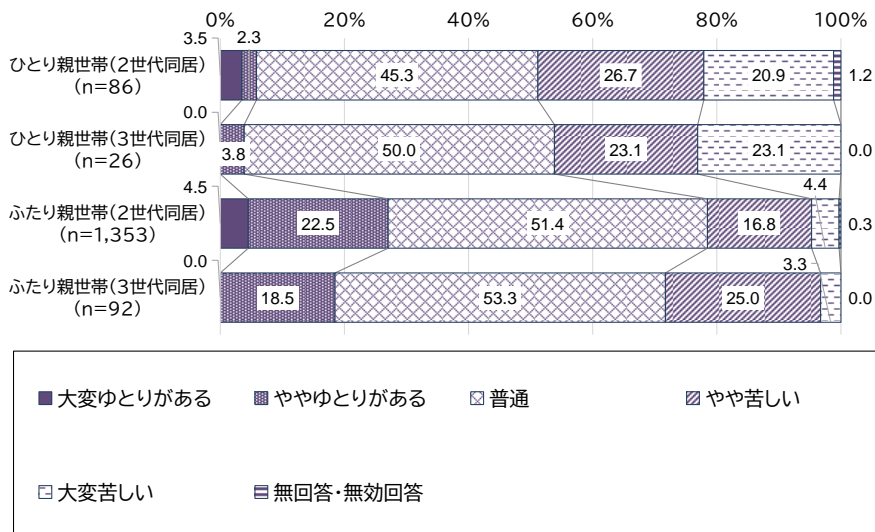
【小学5年生保護者問 20】

現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単一回答)

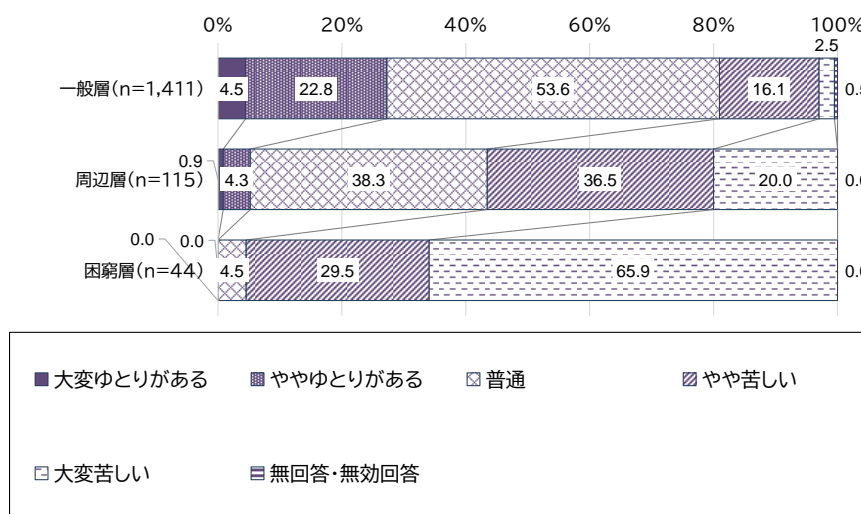
図表 3-146 暮らしの状況 (単純集計)



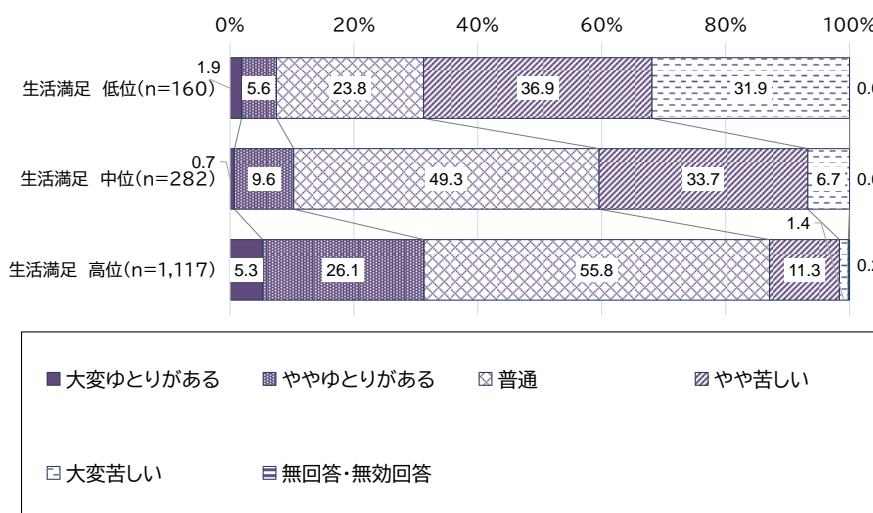
図表 3-147 暮らしの状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-148 暮らしの状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-149 暮らしの状況（生活満足度別クロス集計）



イ 家計の状況

家計の状況については、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 44.6%と最も多く、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 30.8%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」が 11.5%であった。

前回調査と比較すると、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」と回答した割合は、今回調査は 44.6%、前回調査は 38.6%で、6.0 ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 33.7%と最も多く、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 23.3%、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 20.9%であった。

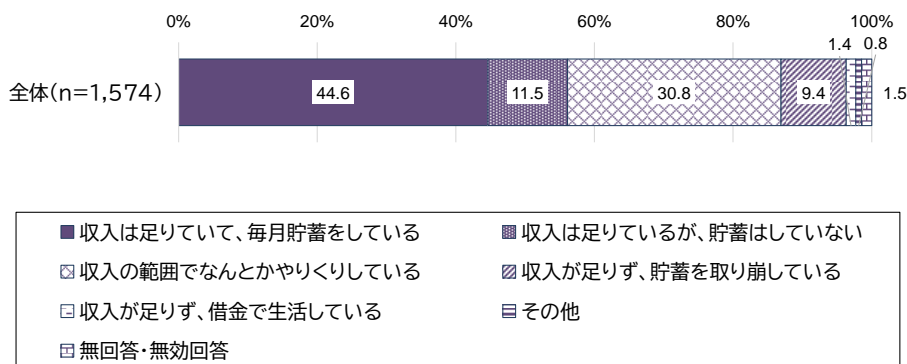
困窮層(n=44)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 38.6%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 31.8%、「収入が足りず、借金で生活している」が 20.5%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 32.5%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 30.6%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 18.1%であった。

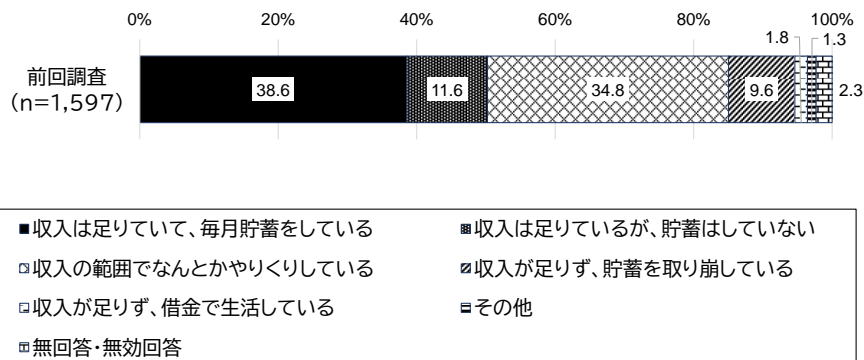
【小学5年生保護者問 21】

ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(単一回答)

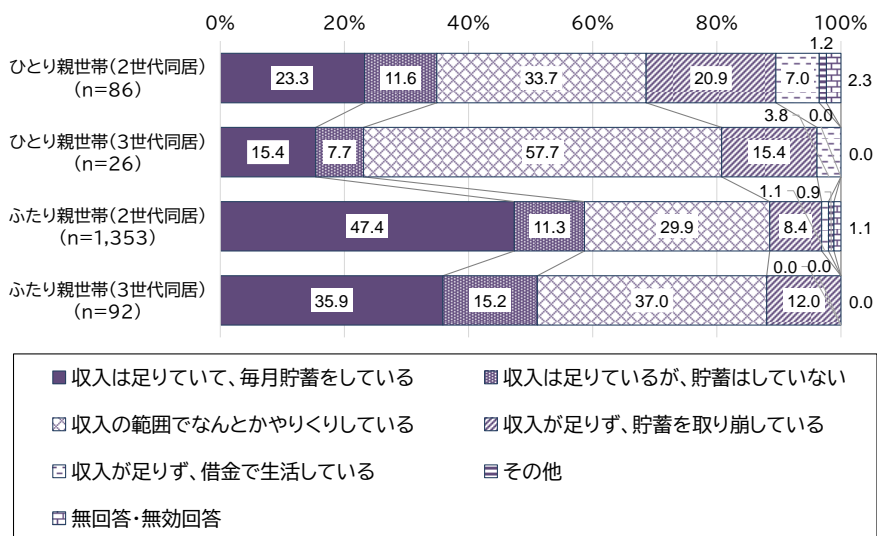
図表 3-150 家計の状況 (単純集計)



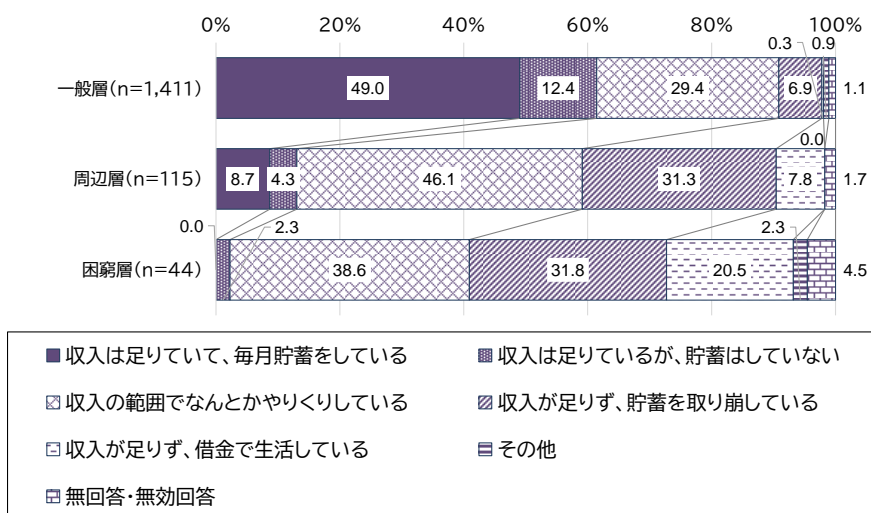
図表 3-151 家計の状況 (前回調査 単純集計)



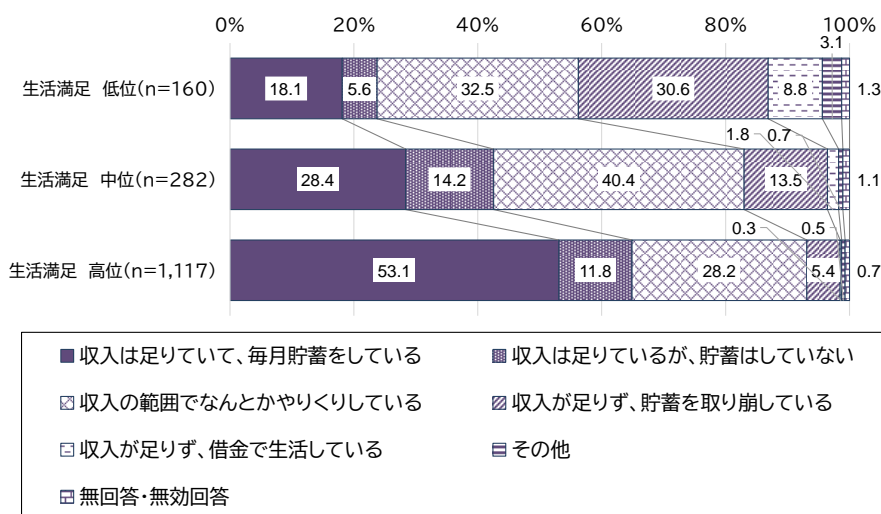
図表 3-152 家計の状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-153 家計の状況（生活困難層別クロス集計）



図表 3-154 家計の状況（生活満足度別クロス集計）



ウ 食料が買えない経験

お金が足りなくて食料が買えなかった経験についてみると、「まったくなかった」が 92.7%と最も多く、「まれにあった」が 3.9%、「ときどきあった」が 2.2%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「まったくなかった」が 75.6%と最も多く、「まれにあった」が 11.6%、「ときどきあった」が 9.3%であった。

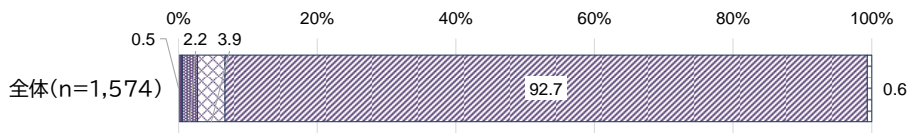
困窮層(n=44)では、「ときどきあった」が 40.9%と最も多く、「まったくなかった」が 29.5%、「まれにあった」が 15.9%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「まったくなかった」が 73.8%と最も多く、「まれにあった」が 12.5%、「ときどきあった」が 10.6%であった。

【小学5年生保護者問 22】

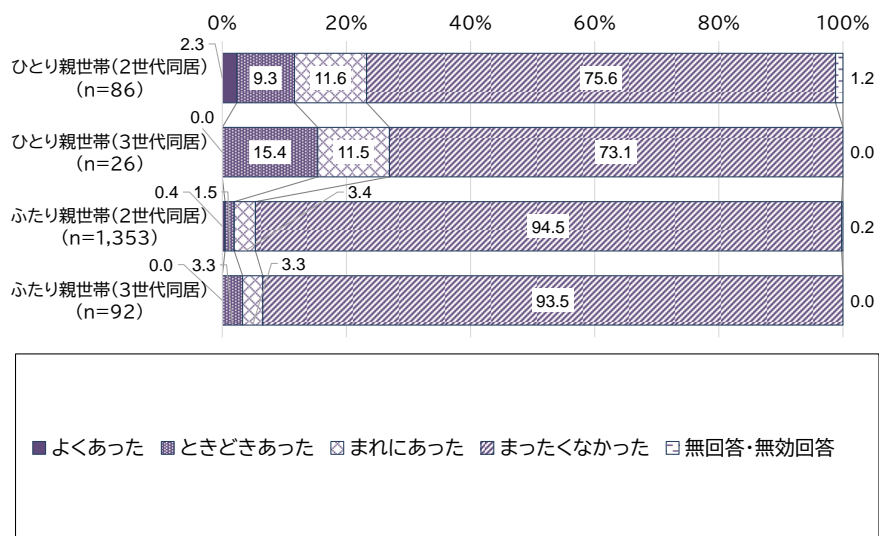
あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-155 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（単純集計）

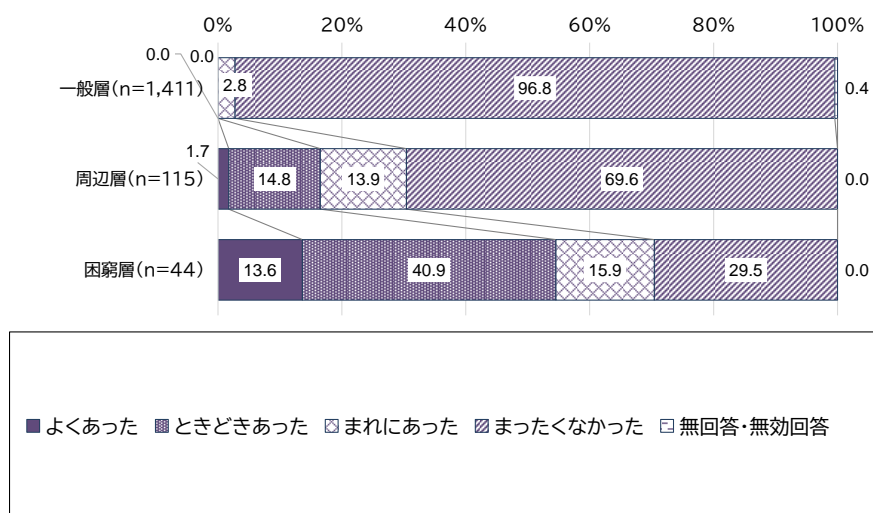


■ よくあった ■ ときどきあった ■ まれにあった ■ まったくなかった ■ 無回答・無効回答

図表 3-156 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）

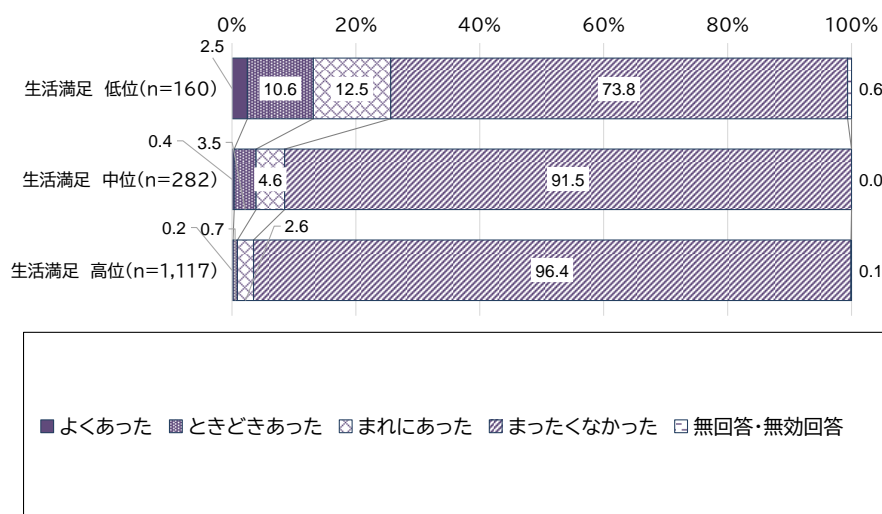


図表 3-157 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）²⁸



²⁸ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-158 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



工 衣類が買えない経験

お金が足りなくて衣類が買えなかった経験についてみると、「まったくなかった」が 91.1%と最も多く、「まれにあった」が 5.0%、「ときどきあった」が 2.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「まったくなかった」が 73.3%と最も多く、「まれにあった」が 10.5%、「ときどきあった」が 9.3%であった。

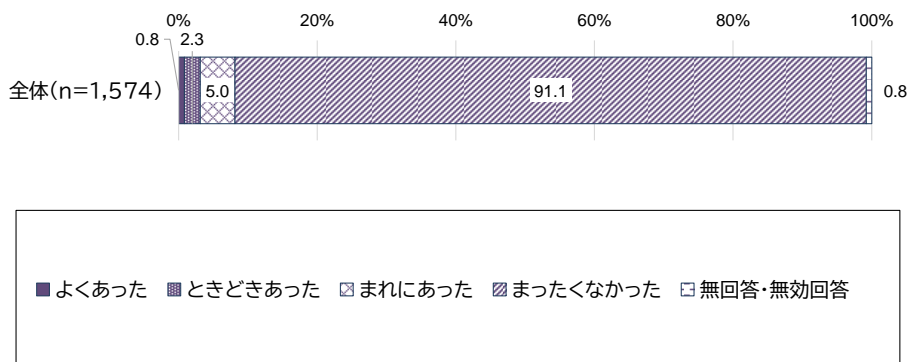
困窮層(n=44)では、「ときどきあった」が 40.9%と最も多く、「よくあった」が 22.7%、「まれにあった」「まったくなかった」が 18.2%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「まったくなかった」が 66.9%と最も多く、「まれにあった」が 19.4%、「ときどきあった」が 8.8%であった。

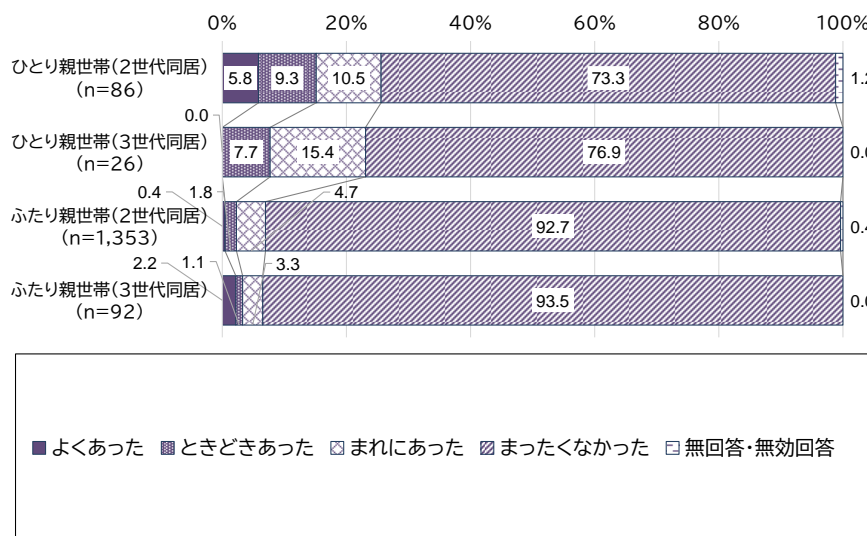
【小学5年生保護者問 23】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(単一回答)

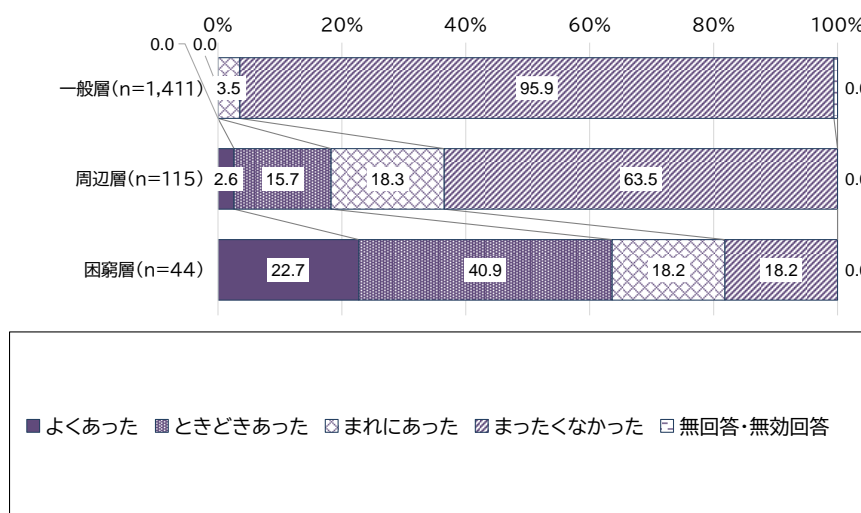
図表 3-159 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（単純集計）



図表 3-160 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）

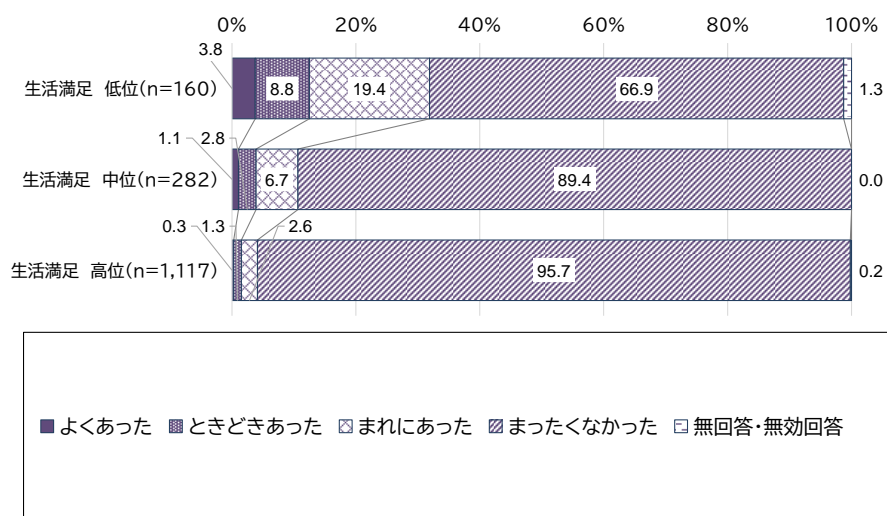


図表 3-161 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）²⁹



²⁹ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 3-162 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



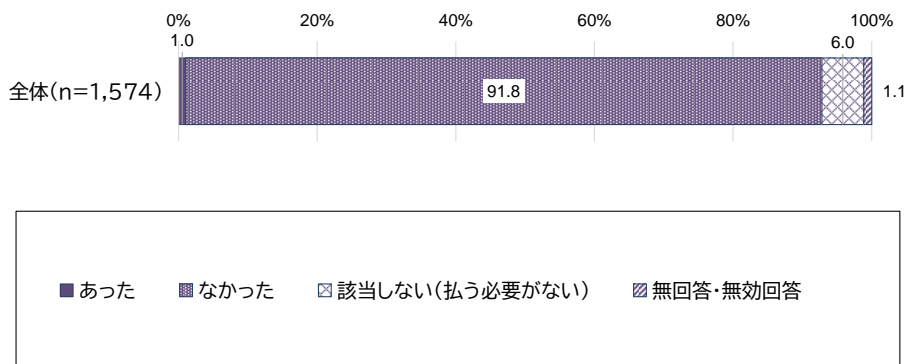
オ 公共料金等の不払いの有無

「電話料金」については、「あった」が1.0%であった。

【小学5年生保護者問 24A】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-163 電話料金が支払えなかった経験（単純集計）

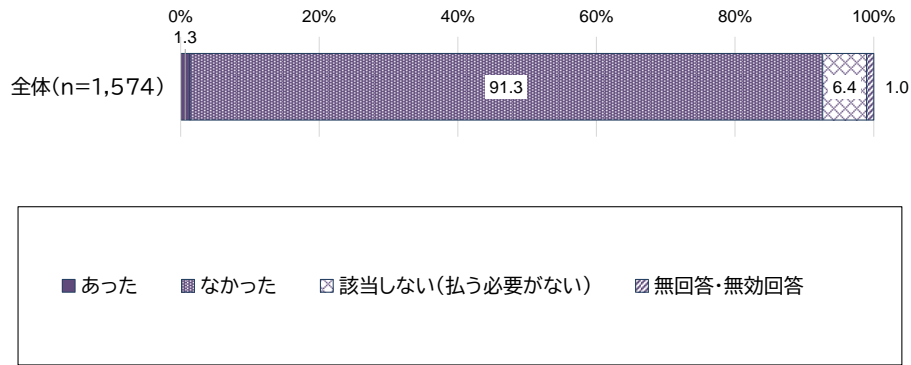


「電気料金」については、「あった」が1.3%であった。

【小学5年生保護者問 24B】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-164 電気料金が支払えなかった経験 (単純集計)

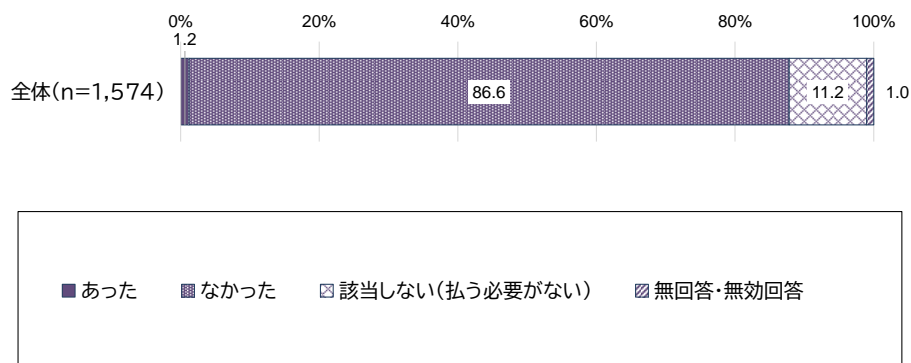


「ガス料金」については、「あった」が1.2%であった。

【小学5年生保護者問 24C】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-165 ガス料金が支払えなかった経験 (単純集計)

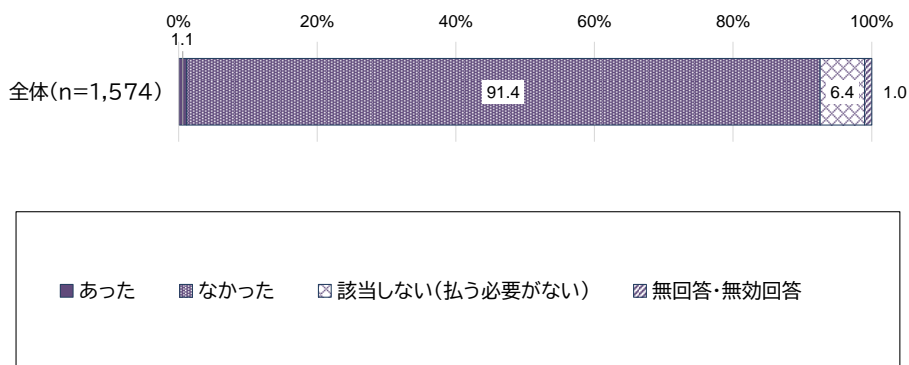


「水道料金」については、「あった」が1.1%であった。

【小学5年生保護者問 24D】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-166 水道料金が支払えなかった経験 (単純集計)



「家賃」については、「あった」が1.0%であった。

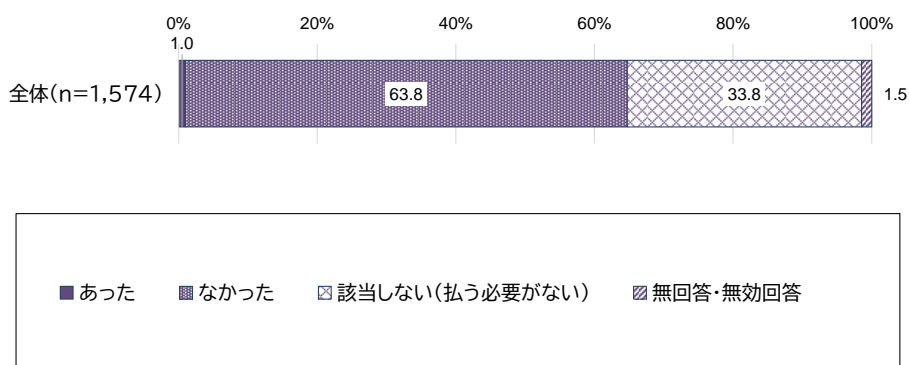
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「あった」が8.1%であった。

困窮層(n=44)では、「あった」が18.2%であった。

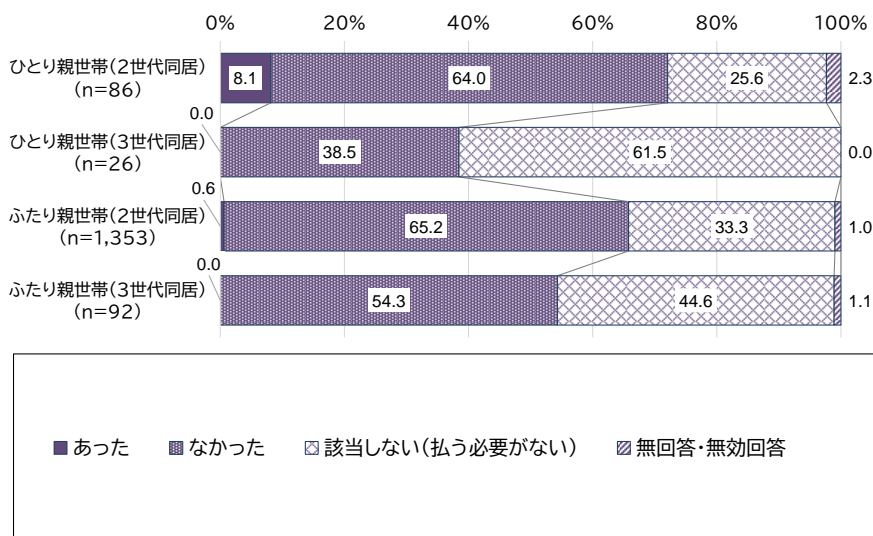
【小学5年生保護者問 24E】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

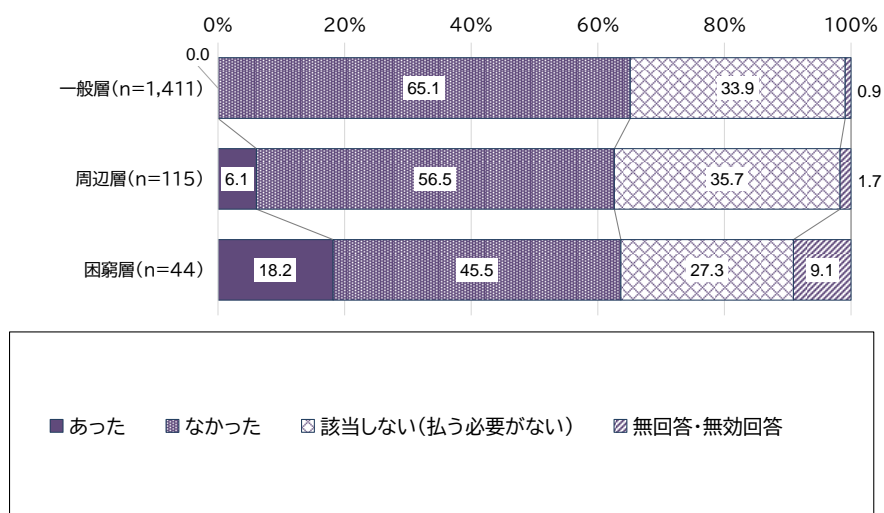
図表 3-167 家賃が支払えなかった経験 (単純集計)



図表 3-168 家賃が支払えなかった経験（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-169 家賃が支払えなかった経験（生活困難層別クロス集計）³⁰



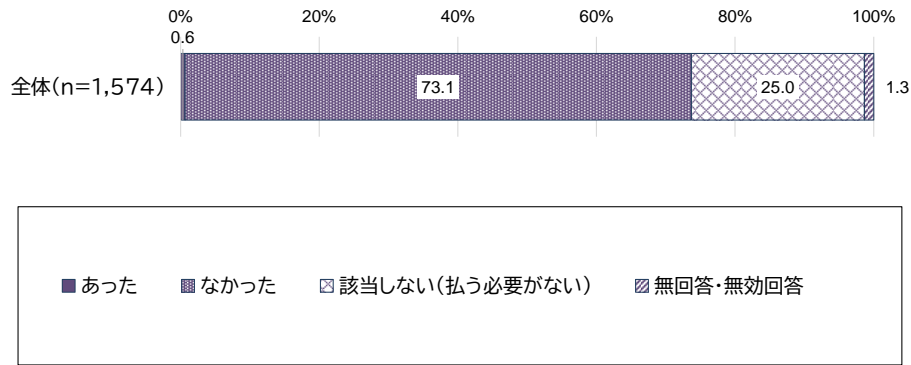
³⁰ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

「住宅ローン」については、「あった」が0.6%であった。

【小学5年生保護者問 24F】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-170 住宅ローンが支払えなかった経験 (単純集計)

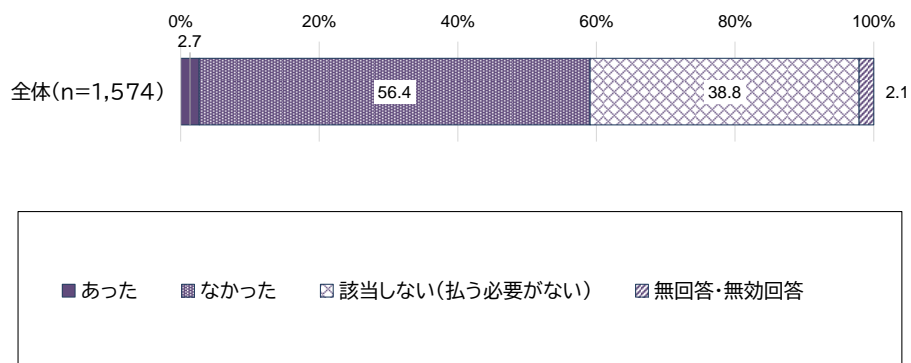


「その他の債務」については、「あった」が2.7%であった。

【小学5年生保護者問 24G】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 3-171 その他の債務が支払えなかった経験 (単純集計)



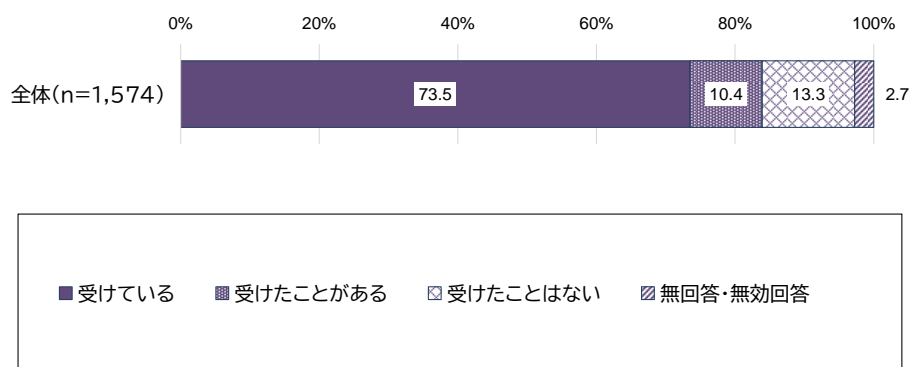
カ 手当・援助等の有無

「児童手当」については、「受けている」が73.5%であった。

【小学5年生保護者問 25A】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-172 児童手当 (単純集計)



「就学援助」については、「受けている」が7.8%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が54.7%であった。

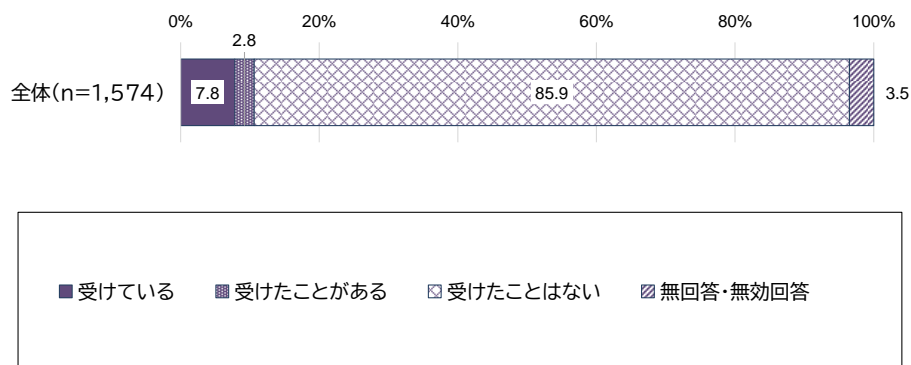
困窮層(n=44)では、「受けている」が68.2%であった。

生活満足 低位(n=160)では、「受けている」が21.9%であった。

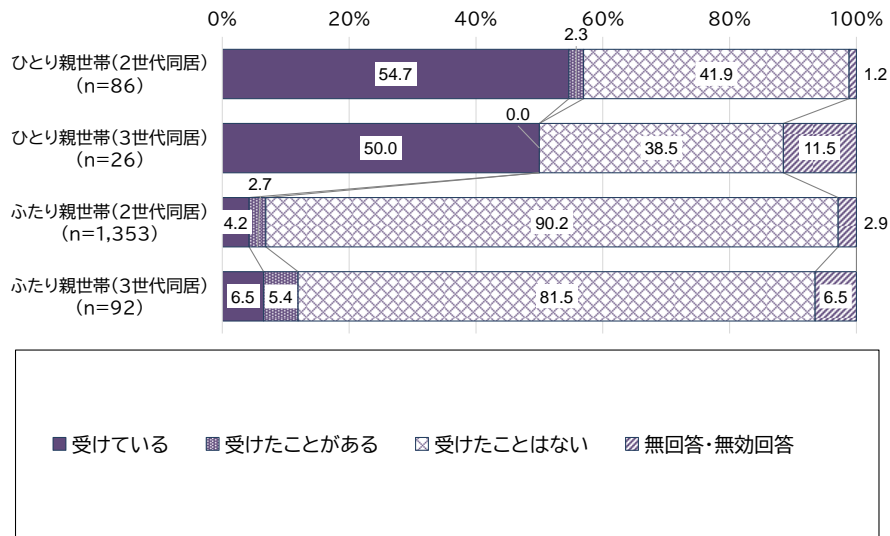
【小学5年生保護者問 25B】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

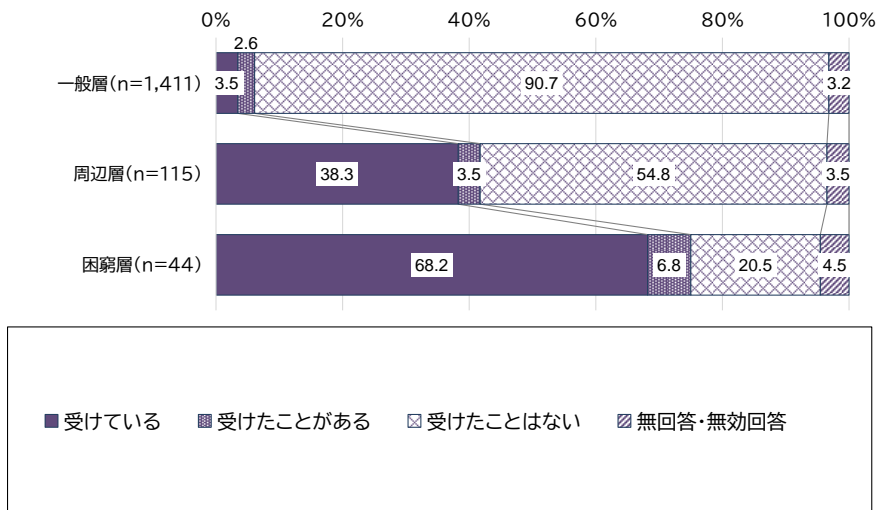
図表 3-173 就学援助 (単純集計)



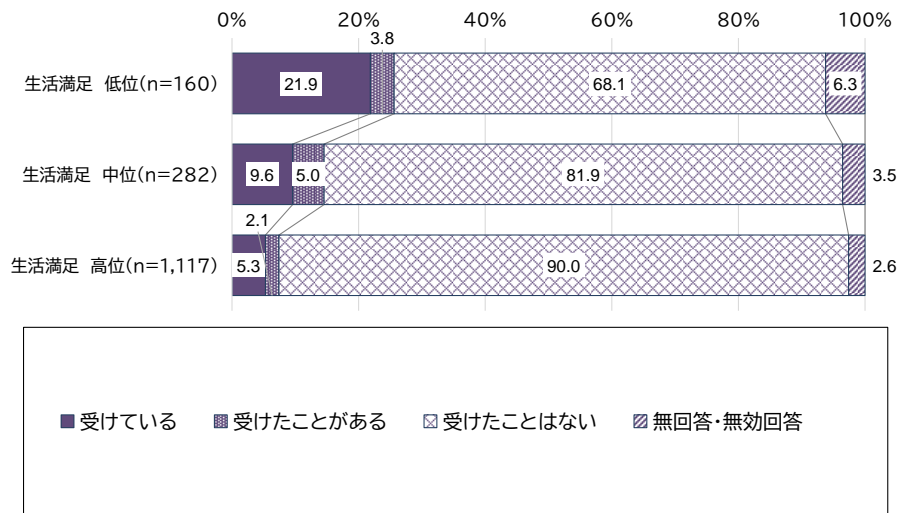
図表 3-174 就学援助（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-175 就学援助（生活困難層別クロス集計）



図表 3-176 就学援助（生活満足度別クロス集計）

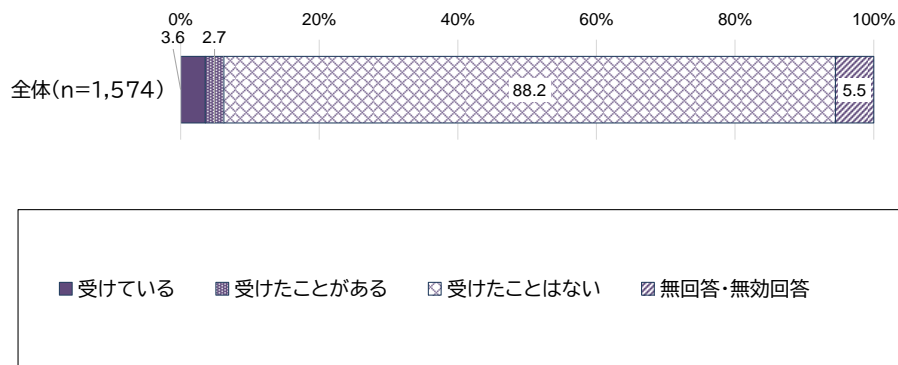


「児童扶養手当」については、「受けている」が 3.6%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が 48.8%であった。
 困窮層(n=44)では、「受けている」が 27.3%であった。
 生活満足 低位(n=160)では、「受けている」が 11.3%であった。

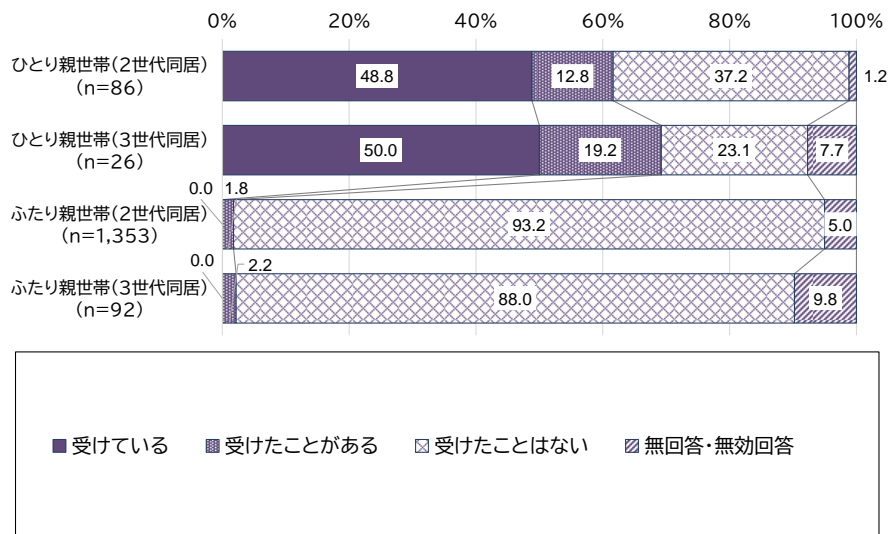
【小学5年生保護者問 25C】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

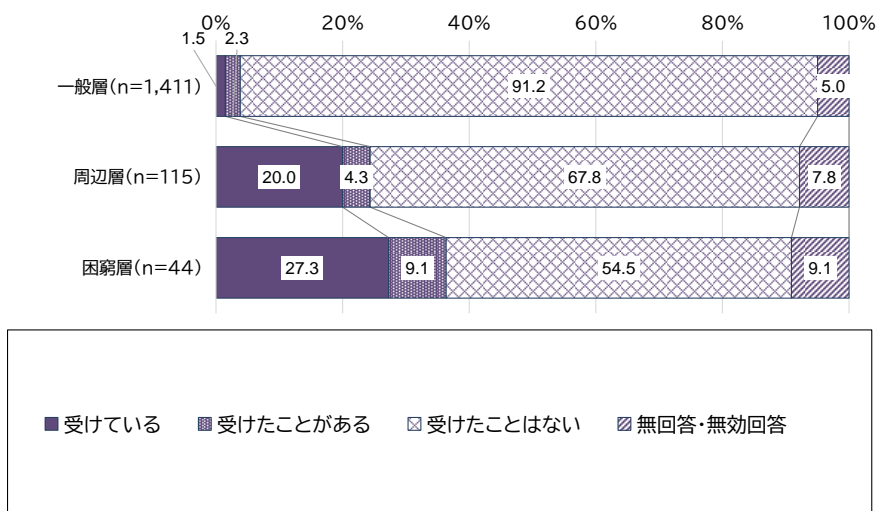
図表 3-177 児童扶養手当（単純集計）



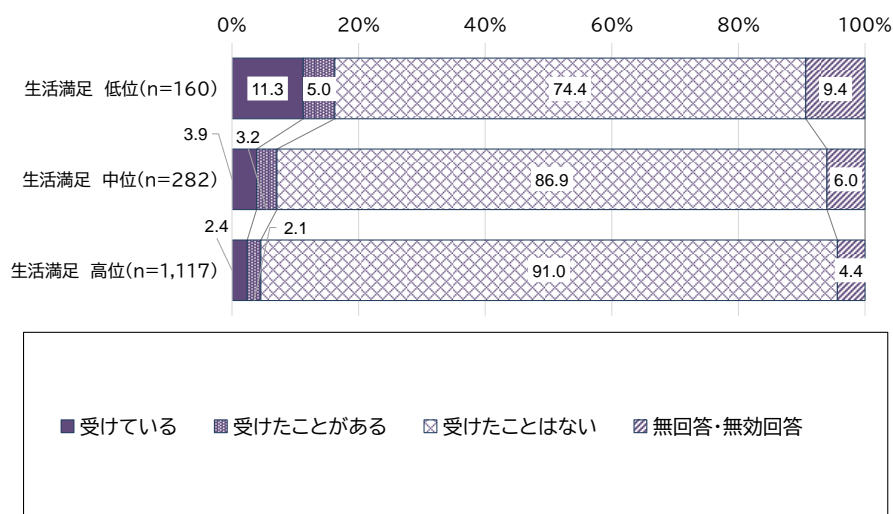
図表 3-178 児童扶養手当（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-179 児童扶養手当（生活困難層別クロス集計）



図表 3-180 児童扶養手当（生活満足度別クロス集計）

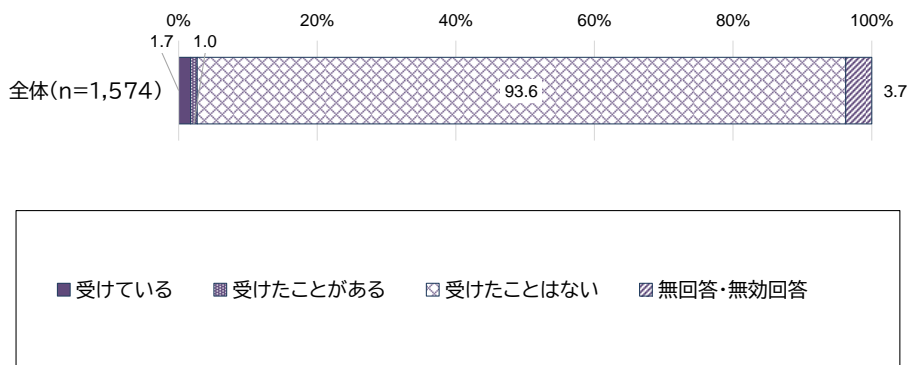


「障がいや難病の手当」については、「受けている」が1.7%であった。

【小学5年生保護者問 25D】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-181 障がいや難病の手当（単純集計）

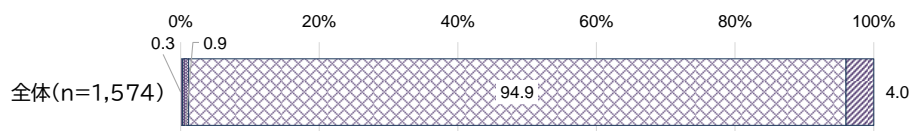


「生活保護」については、「受けている」は0.3%であった。
 困窮層(n=44)では、「受けている」が6.8%であった。

【小学5年生保護者問 25E】

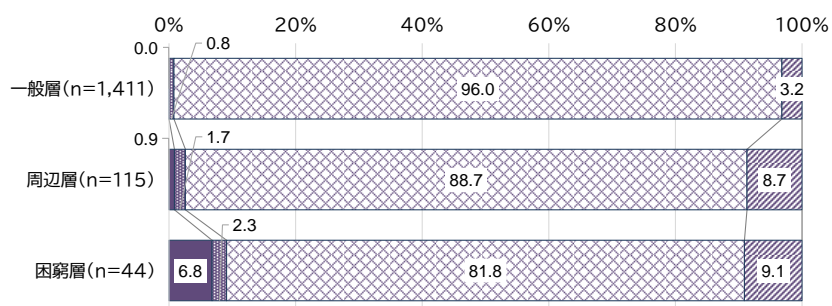
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-182 生活保護 (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 3-183 生活保護 (生活困難層別クロス集計)



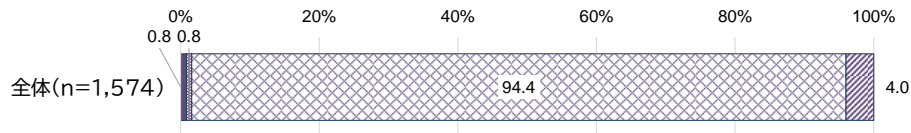
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「公的年金(老齢年金)」については、「受けている」が0.8%であった。

【小学5年生保護者問 25F】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-184 公的年金(老齢年金) (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

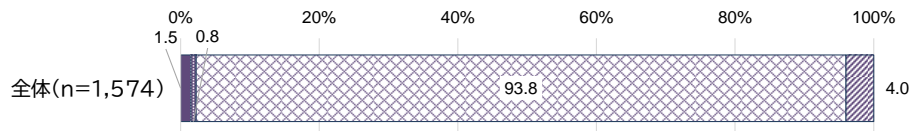
「公的年金(遺族年金、障害年金)」については、「受けている」が1.5%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が10.5%であった。

【小学5年生保護者問 25G】

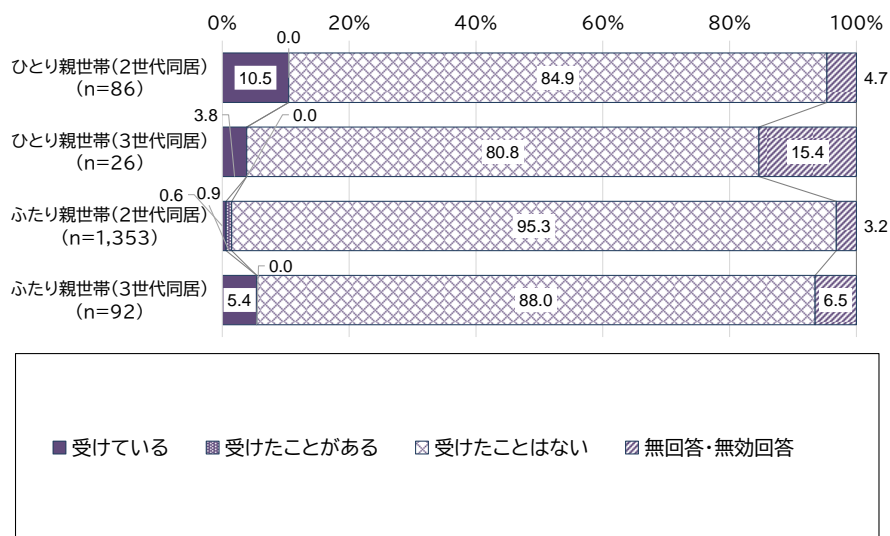
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-185 公的年金(遺族年金、障害年金) (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 3-186 公的年金(遺族年金、障害年金) (世帯タイプ別クロス集計)

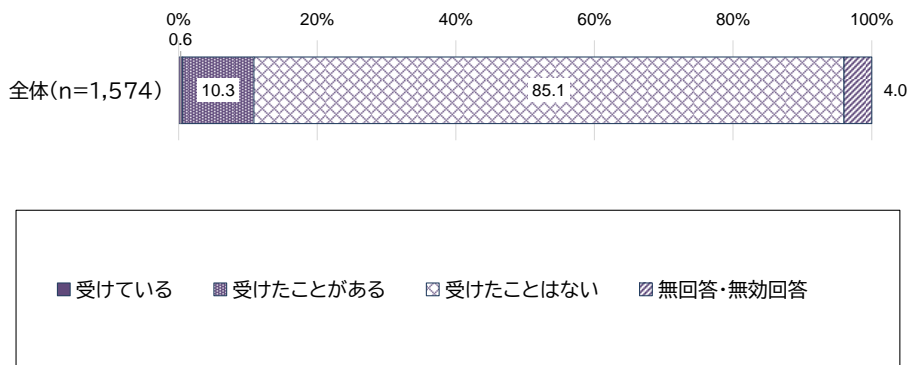


「雇用保険(失業保険)」については、「受けている」が0.6%であった。

【小学5年生保護者問 25H】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-187 雇用保険(失業保険) (単純集計)

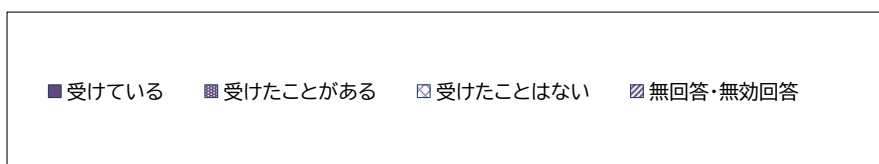
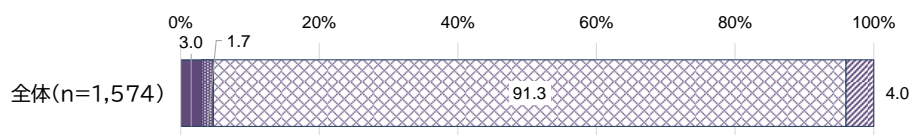


「養育費」については、「受けている」が 3.0%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「受けている」が 41.9%であった。
 困窮層(n=44)では、「受けている」が 13.6%であった。

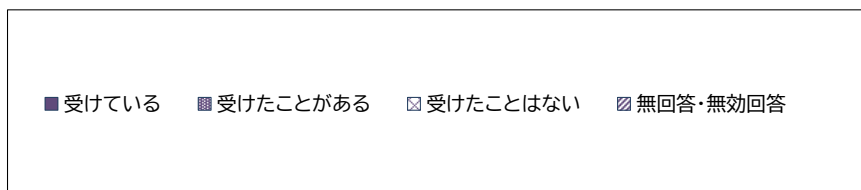
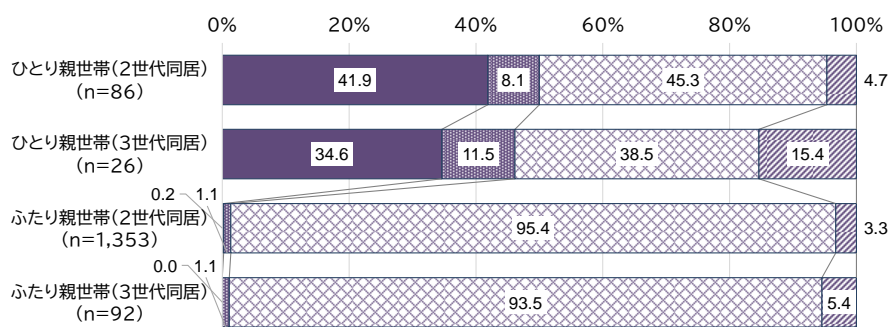
【小学5年生保護者問 25I】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

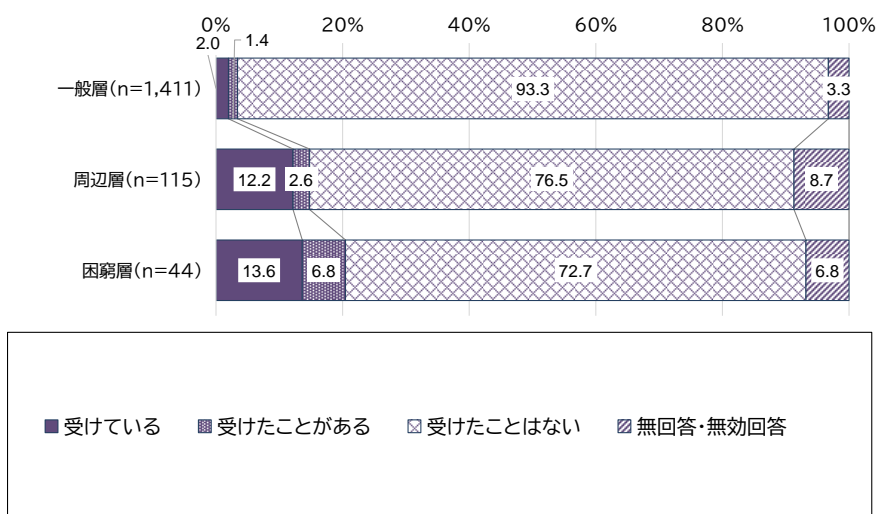
図表 3-188 養育費 (単純集計)



図表 3-189 養育費 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 3-190 養育費（生活困難層別クロス集計）

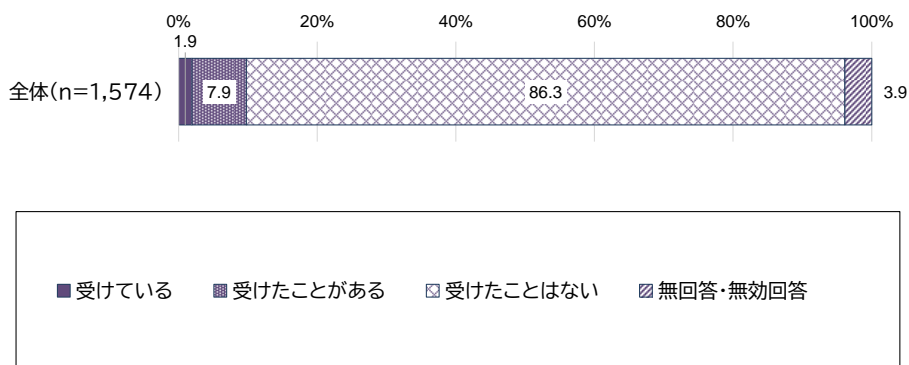


「親・親族からの仕送り」については、「受けている」が 1.9%であった。
 困窮層(n=44)では、「受けている」が 4.5%であった。

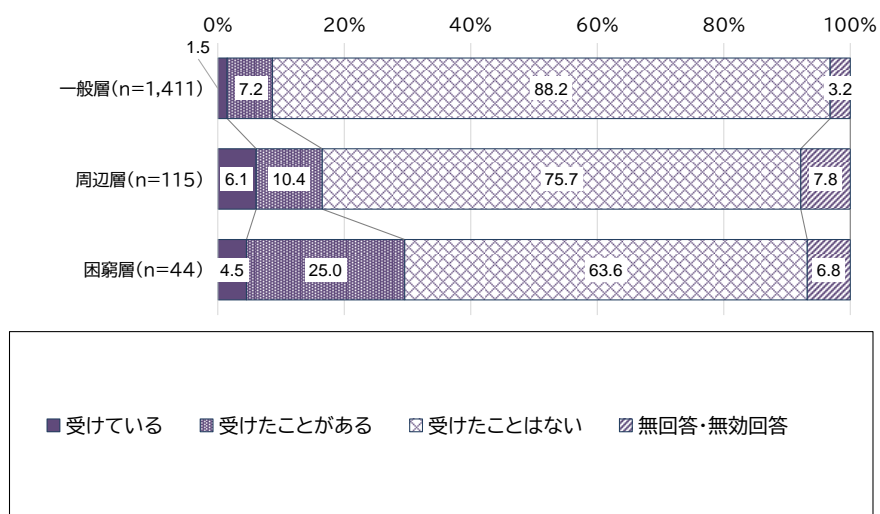
【小学5年生保護者問 25J】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-191 親・親族からの仕送り（単純集計）



図表 3-192 親・親族からの仕送り（生活困難層別クロス集計）

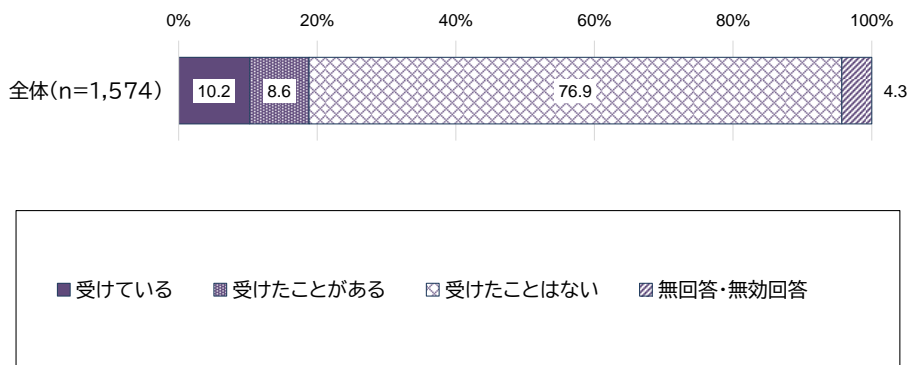


「その他、株式配当などの副収入」については、「受けている」が10.2%であった。

【小学5年生保護者問 25K】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 3-193 その他、株式配当などの副収入（単純集計）



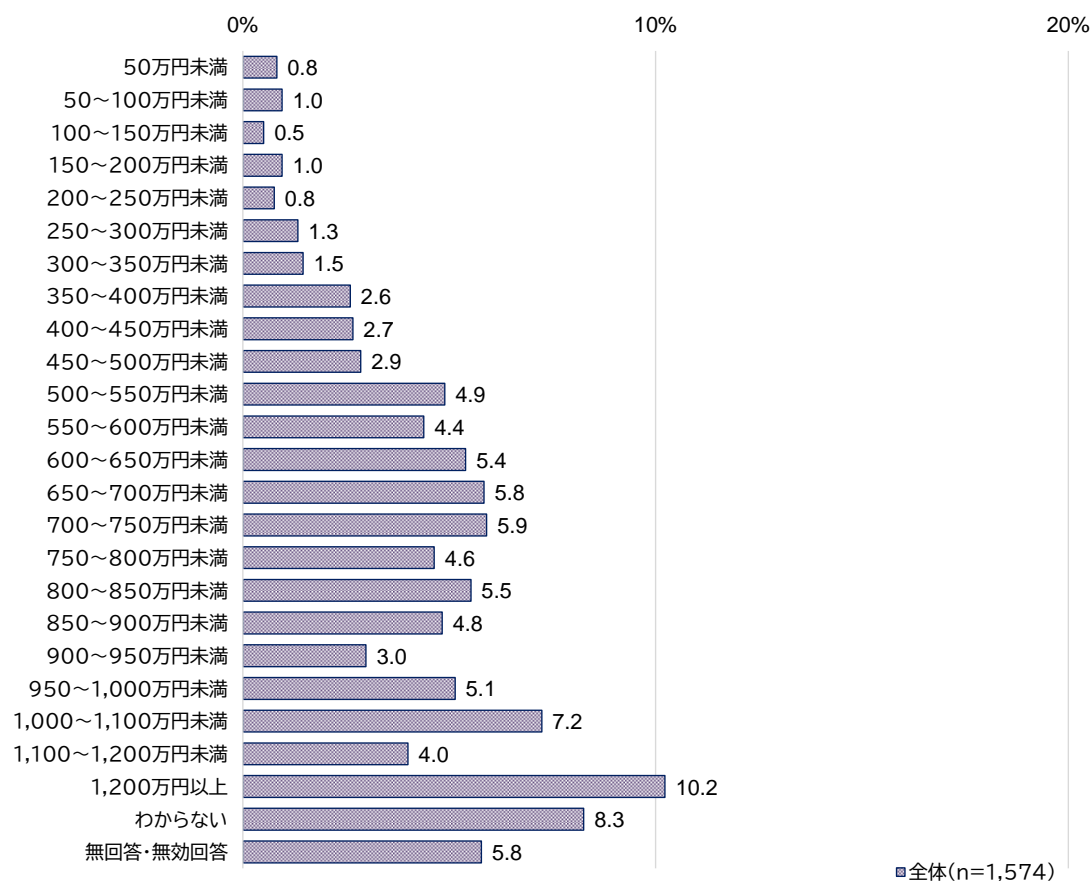
キ 世帯の年間収入

前年(2022年)の回答者の世帯の収入の合計額は、「1,200万円以上」が10.2%と最も多く、「1,000～1,100万円未満」が7.2%、「700～750万円未満」が5.9%であった。

【小学5年生保護者問 26】

前年(2022年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(単一回答)

図表 3-194 世帯収入 (単純集計)



(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます

ア 母親の最終学歴(最後に通った学校)

回答者が母親かひとり親ではない父親の場合に、宛名の子どもの母親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が41.0%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が39.0%、「高等学校」が13.6%であった。

前回調査と比較すると、「大学」と回答した割合が今回調査は41.0%、前回調査は33.2%で、7.8ポイント増加、「高専、短大、専門学校等」と回答した割合は今回調査は39.0%、前回調査は46.6%で、7.6ポイント減少した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「高専、短大、専門学校等」が45.1%と最も多く、「大学」が29.6%、「高等学校」が18.3%であった。

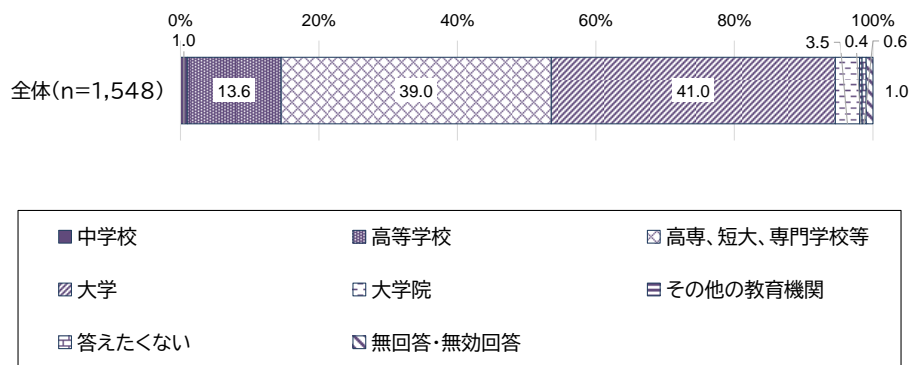
困窮層(n=41)では、「高等学校」が36.6%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が29.3%、「大学」が26.8%であった。

生活満足 低位(n=155)では、「高専、短大、専門学校等」が41.3%と最も多く、「高等学校」「大学」が25.8%であった。

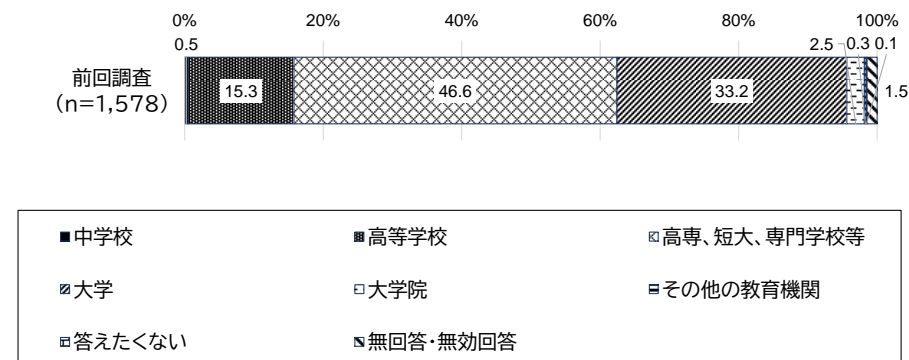
【小学5年生保護者問 27】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)お子さんのお母さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問 28 にお進みください。(単一回答)

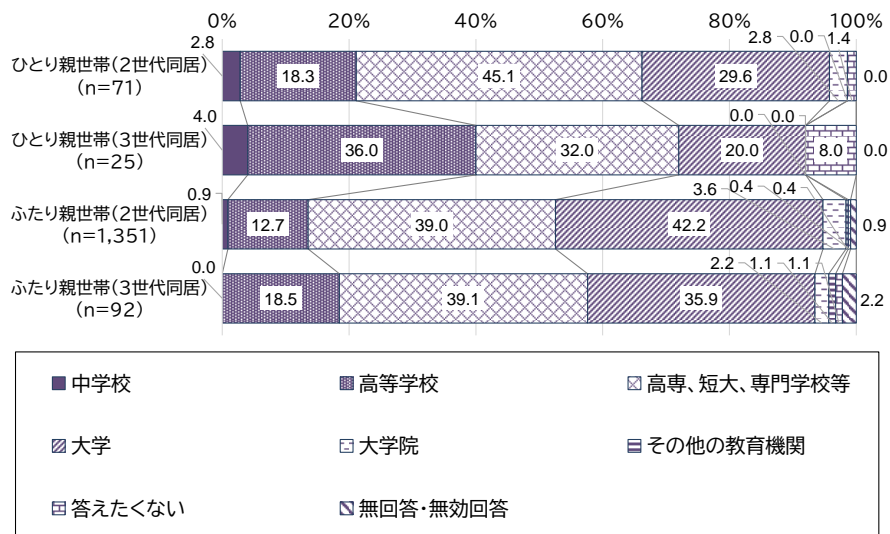
図表 3-195 母親の最後に通った学校 (単純集計)



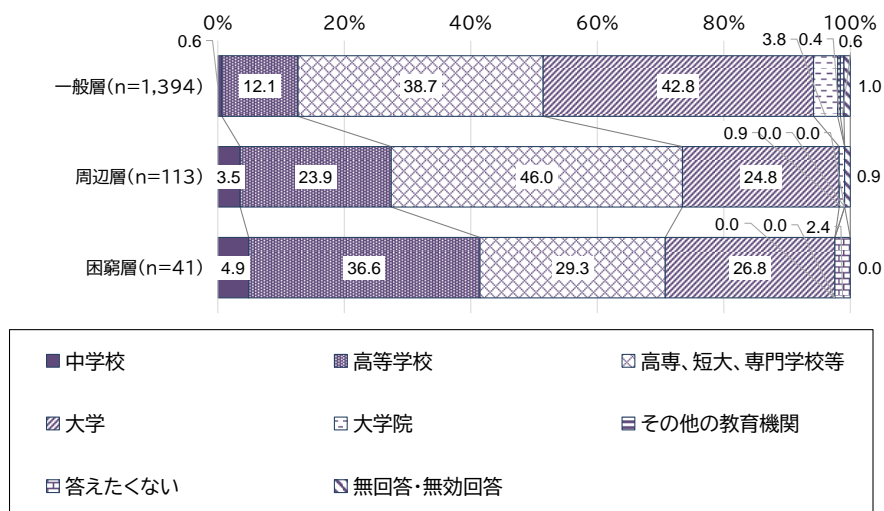
図表 3-196 母親の最後に通った学校 (前回調査 単純集計)



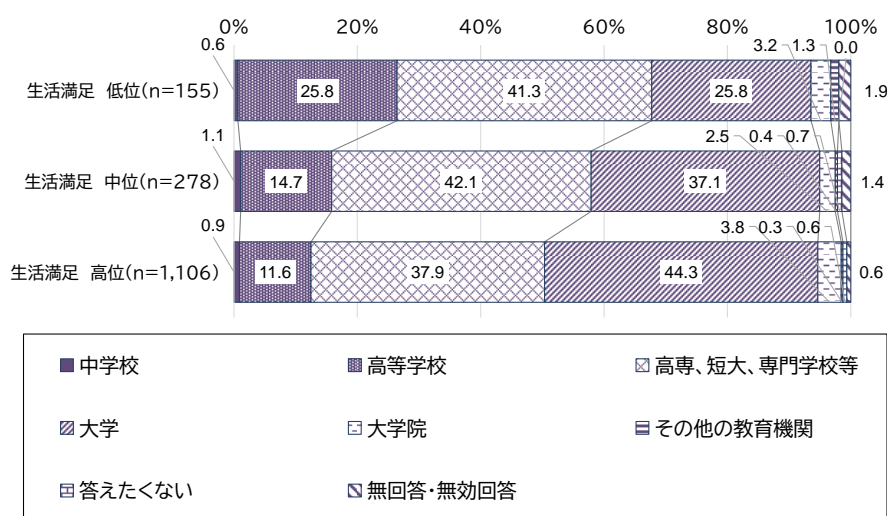
図表 3-197 母親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）



図表 3-198 母親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 3-199 母親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



イ 父親の最終学歴(最後に通った学校)

回答者が父親かひとり親ではない母親の場合に、宛名の子ども父親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が51.9%と最も多く、「大学院」が15.5%、「高等学校」が14.5%であった。

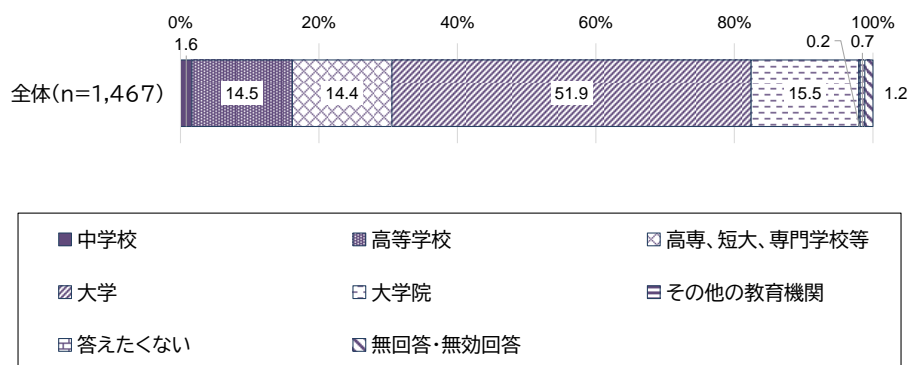
困窮層(n=27)では、「大学」が40.7%、「高等学校」が25.9%、「高専、短大、専門学校等」18.5%であった。

生活満足 低位(n=136)では、「大学」が41.9%と最も多く、「高等学校」が26.5%、「高専、短大、専門学校等」が16.2%であった。

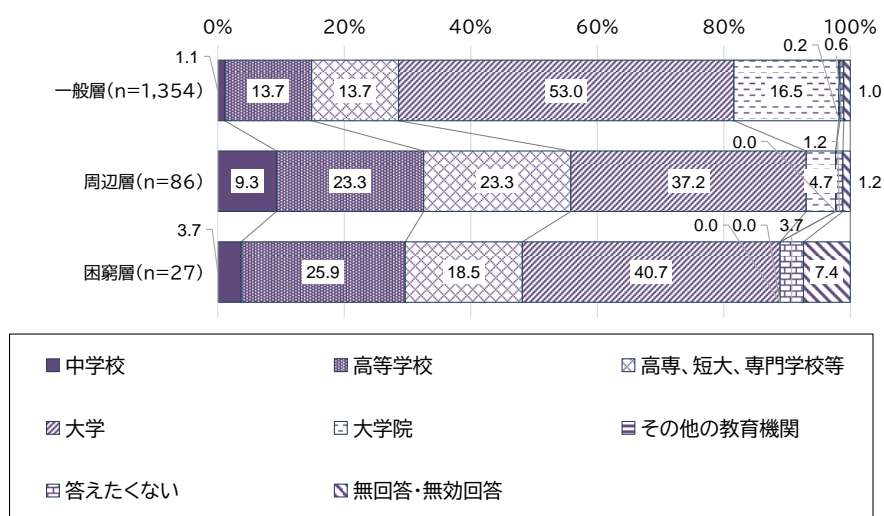
【小学5年生保護者問 28】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)お子さんのお父さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 29 にお進みください。(単一回答)

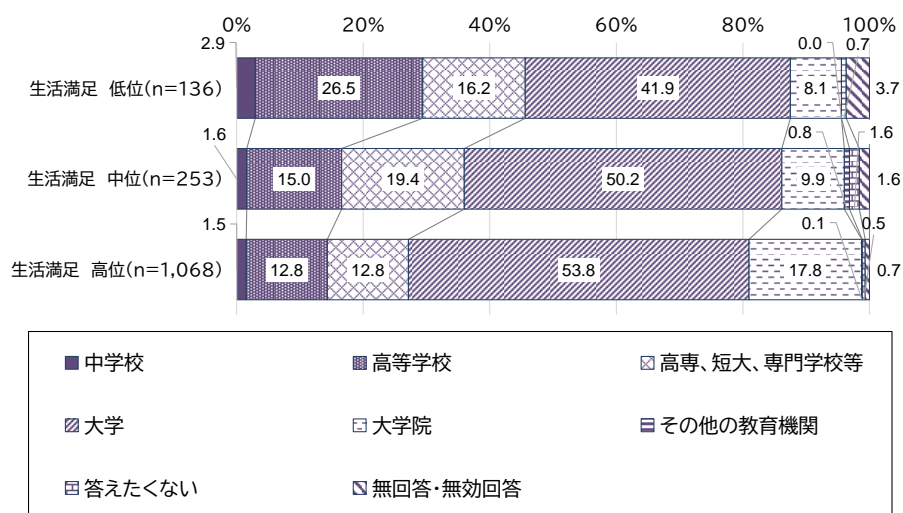
図表 3-200 父親の最後に通った学校（単純集計）



図表 3-201 父親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 3-202 父親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



ウ 子どもが生まれてからの経験

回答者が母親か父親の場合に、子どもが生まれてから回答者が経験したことを尋ねた結果、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 69.8%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 12.9%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 11.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 51.2%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 24.4%と最も多く、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」と回答した割合が 22.1%であった。

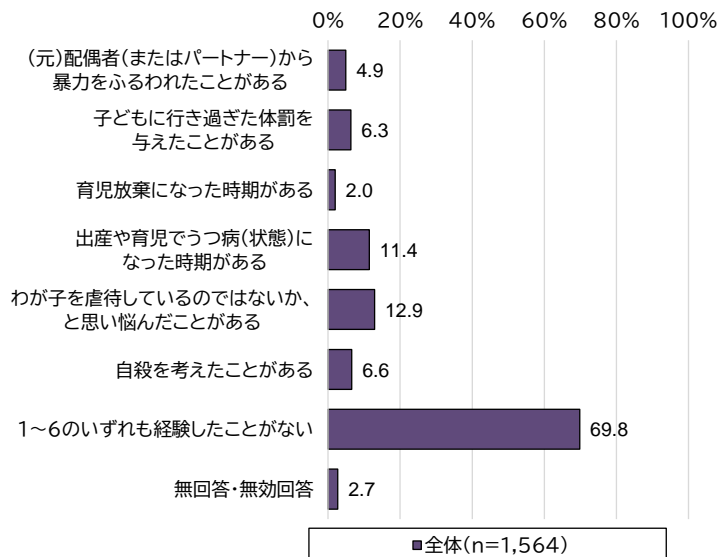
困窮層(n=44)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 45.5%であった。経験した項目については、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」「自殺を考えたことがある」と回答した割合が 22.7%と最も多かった。

生活満足 低位(n=159)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 40.3%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」と回答した割合が 26.4%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」と回答した割合が 22.6%であった。

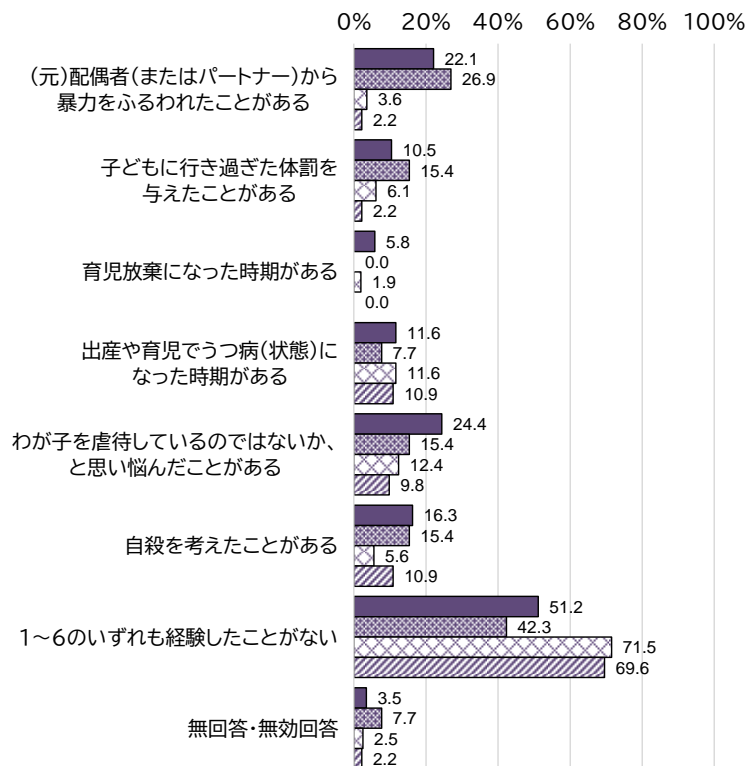
【小学5年生保護者問 29】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)あなたはお子さんが生まれてから、次のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

図表 3-203 子どもが生まれてからの経験 (単純集計)

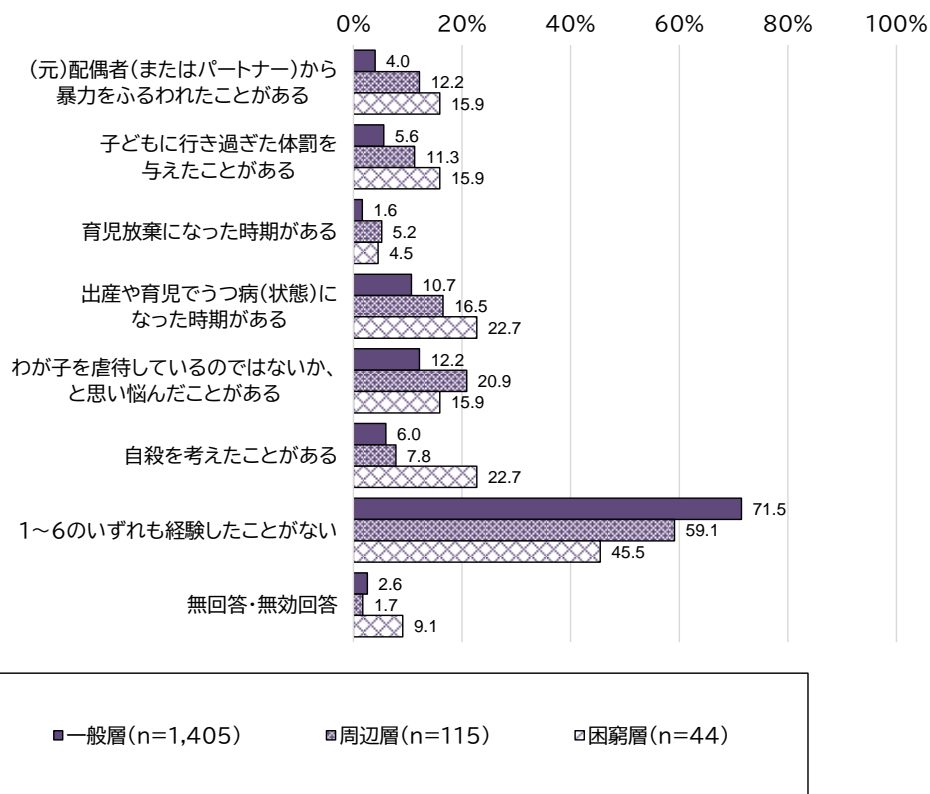


図表 3-204 子どもが生まれてからの経験（世帯タイプ別クロス集計）

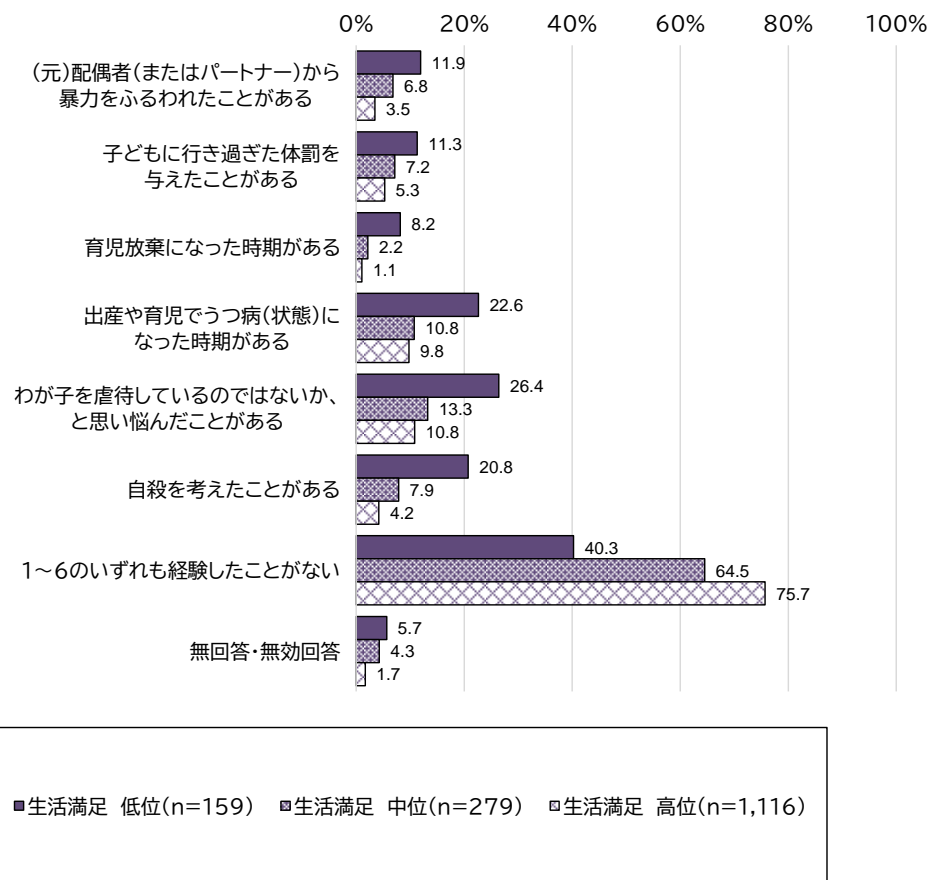


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)	■ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,351)	□ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 3-205 子どもが生まれてからの経験（生活困難層別クロス集計）



図表 3-206 子どもが生まれてからの経験（生活満足度別クロス集計）



(7) 子育てへの支援についてうかがいます

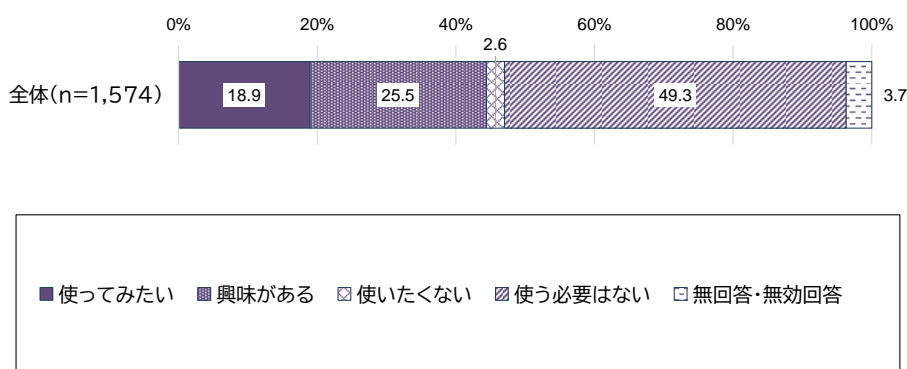
ア 支援制度等への興味

「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 49.3%と最も多く、「興味がある」が 25.5%、「使ってみたい」が 18.9%であった。

【小学5年生保護者問 30A】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-207 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味
(単純集計)

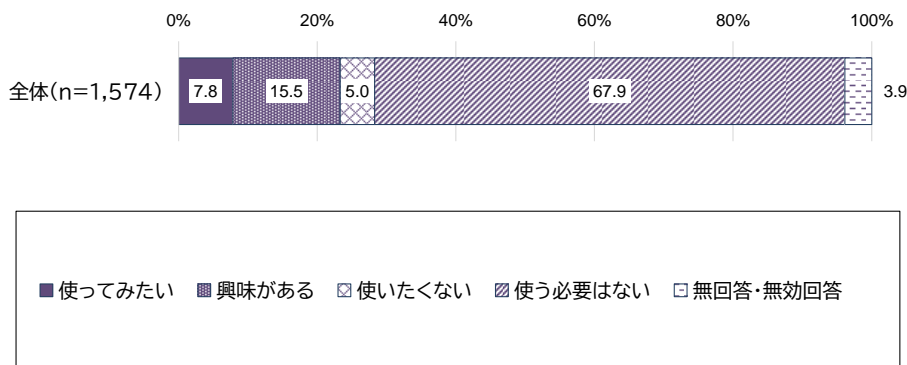


「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 67.9%と最も多く、「興味がある」が 15.5%、「使ってみたい」が 7.8%であった。

【小学5年生保護者問 30B】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-208 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にいることができる場所」への興味
(単純集計)

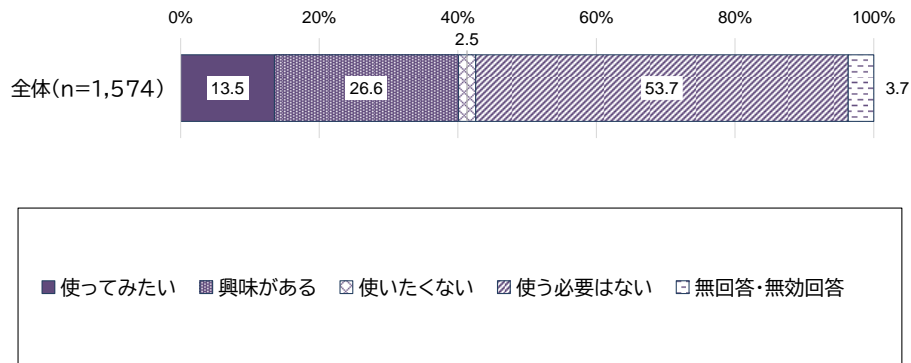


「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 53.7%と最も多く、「興味がある」が 26.6%、「使ってみたい」が 13.5%であった。

【小学5年生保護者問 30C】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-209 「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味 (単純集計)

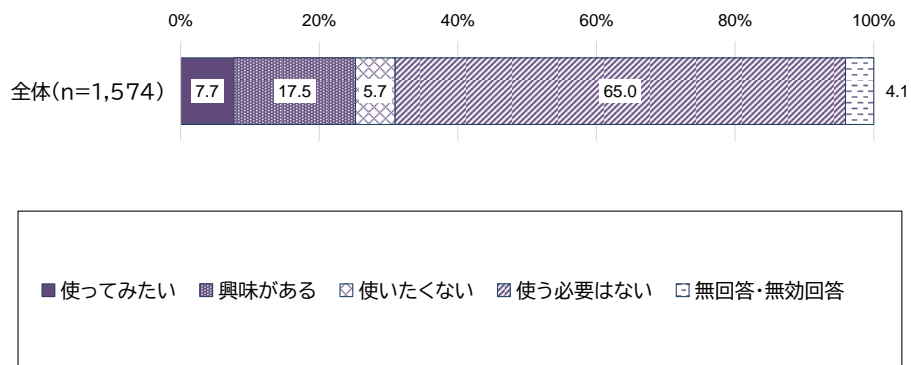


「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 65.0%と最も多く、「興味がある」が 17.5%、「使ってみたい」が 7.7%であった。

【小学5年生保護者問 30D】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-210 「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味 (単純集計)

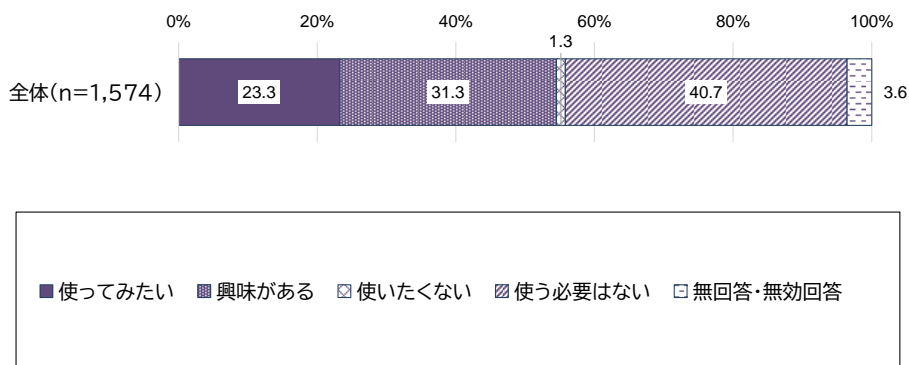


「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味は、「使う必要はない」が40.7%と最も多く、「興味がある」が31.3%、「使ってみたい」が23.3%であった。

【小学5年生保護者問 30E】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-211 「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味 (単純集計)

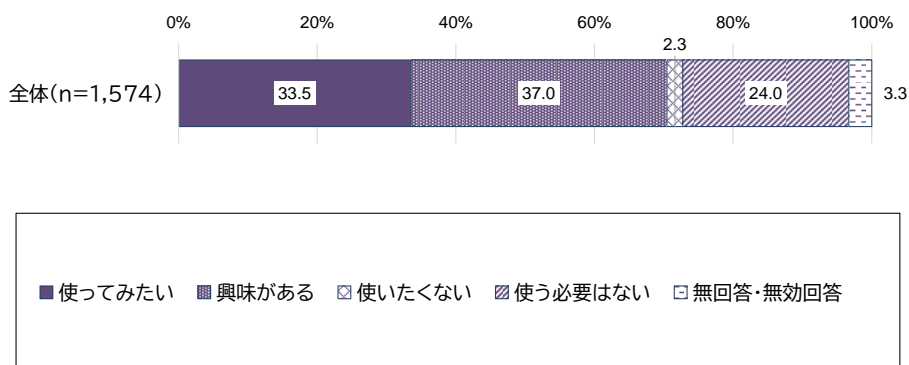


「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味は、「興味がある」が37.0%と最も多く、「使ってみたい」が33.5%、「使う必要はない」が24.0%であった。

【小学5年生保護者問 30F】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-212 「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味 (単純集計)

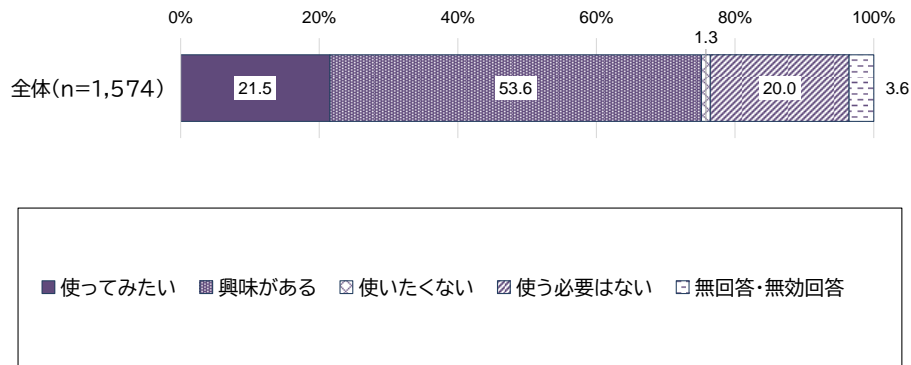


「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味は、「興味がある」が 53.6%と最も多く、「使ってみたい」が 21.5%、「使う必要はない」が 20.0%であった。

【小学5年生保護者問 30G】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-213 「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味 (単純集計)

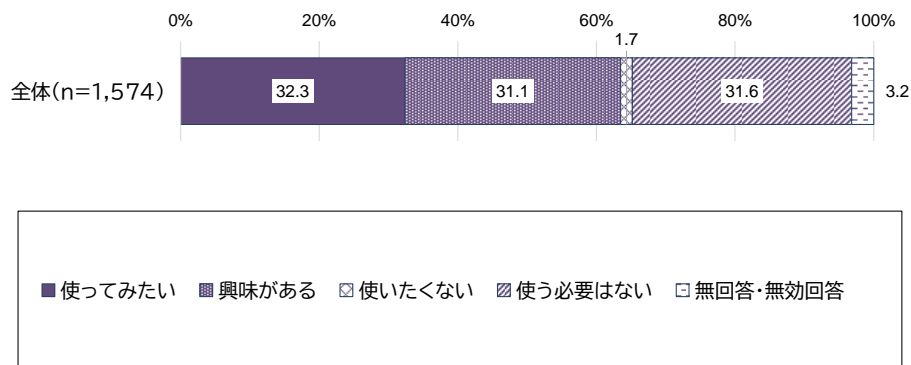


「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味は、「使ってみたい」が 32.3%と最も多く、「使う必要はない」が 31.6%、「興味がある」が 31.1%であった。

【小学5年生保護者問 30H】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 3-214 「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味 (単純集計)



イ 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述)

小学5年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、459件の自由記述が寄せられた。自由記述の内容を分類すると、「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」「給食・給食費、昼食サービス」などの子育てに関連する経済的な悩みや要望、「長期休暇・休日の子どもの居場所」「子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)」「学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等、子どもの居場所に関する意見が多く挙げられた。

【小学5年生保護者問 31】

最後に、子育て(教育を含む)をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。(自由記述)

図表 3-215 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述意見の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
1	子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援	71	15.5%
2	子育て世帯への経済的支援、家計の悩み	55	12.0%
3	長期休暇・休日の子どもの居場所	53	11.5%
4	子育てに関する相談・講座・仲間作り	40	8.7%
5	子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)	37	8.1%
6	学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放	35	7.6%
6	給食・給食費、昼食サービス	35	7.6%
8	学童・放課後児童クラブに関する要望	32	7.0%
9	学校教育の充実(相談・SC 含む)	31	6.8%
10	教育制度、学校のルール(制服・指定用品、学区、PTA など含む)	30	6.5%
11	保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援	27	5.9%
12	いじめ・登校しぶり・不登校に関する悩み・支援	25	5.4%
12	公園・スポーツ施設・遊び場	25	5.4%
14	障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育	23	5.0%
14	ゲーム、スマートフォン、インターネットの使用等に関する悩み	23	5.0%
16	学習支援・補習・学習できる場	22	4.8%
17	一時預かり・送迎支援(病児保育・ファミサポ含む)	21	4.6%
18	医療・医療費助成・健診	13	2.8%
19	教職員に関すること(教員、人員配置、授業内容など含む)	12	2.6%
19	防犯・交通安全・通学路・登下校の安全確保等	12	2.6%
21	DV、虐待、家族関係等の悩み、近隣の気になる家庭	10	2.2%
22	ひとり親世帯への支援(児童扶養手当、養育費等)	9	2.0%
その他			
-	その他、市の教育・子育て支援	33	7.2%
-	その他の子育てに関する悩み	29	6.3%
-	アンケート調査に関すること	10	2.2%
-	その他、特になし	18	3.9%
合計(意見提出をした人数 459 件)		731	—

子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートに関する上位 10 項目の代表的な意見

1 位 子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援

- 小学校も中学校も勉強が難しくなっていて学校だけでついていけず、上の子達も塾にいつている。学校も塾に行っているありきで対応してくる。できれば塾に行かずに学校でついていけない子達のサポートをして頂けると助かる。兄妹がいると何人も塾に行かせて、部活や習い事をさせるのはとても大変。子ども 1 人に対して、今お金がすごくかかるので、もう少し勉強面をフォローして頂けるとありがたい。
- 高校の学費支援や子ども手当など、所得制限で受けられないが、実際生活費が足りず、貯金を取り崩している。収入がそれほど変わらないのに、助成を受けられる人と受けられない人で差が大きすぎると感じる。
- ひとり親で 2 人の教育費はとても苦しい。いつもそのことばかり考えてしまい、今にお金を使うことに躊躇して、それを口に出してしまうことがある(お金がないからできない…というような事)。それにより、本当は塾に行きたい、希望する大学に行きたいということを諦めさせてしまうようで、子どもに申し訳なくなってしまう。児童手当の 18 歳まで引き上げはとてもありがたいが、その先大学無償化はなかなか無償化と呼べる補助額ではなく(年収 300~400 のラインで、恩恵を受けられない微妙な年収)、2 人を大学に行かせてあげられないかと思うと不安。
- 経済的理由で大学へ進学させられるか不安。現在、扶養範囲内で共働きしているが、今のままだと奨学金を利用しないと進学させられない。借金になるので、別の進路を打診する可能性がある。扶養をはずれて仕事をするととなると、夫と同等に働かなければならず、家庭がまわらない。まわったとしても疲れる。
- 多子家庭に対する金銭的な援助をしてほしい。働いても働いても子どもの教育費がかかりすぎる。年収が中途半端で、私学高校の援助が、多子家庭で家計が苦しいのに受けられない。

2 位 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み

- 育ち盛りの食生活で、栄養面にも気をつかいながら、食べるものは不自由なくしたいと思っているが、習い事や塾などの月謝も高額であったり、食費も物価上昇などの影響で、少しでも食費を削らないと家計の負担が大きいと感じる。
- 藤沢市は物価高に対しての対策などは何もないのでしょうか？他の自治体では給食費が無償化になったなどのニュースを見る。水道代なども安くなった自治体もあると聞く。
- 子育てをしている事には変わらないのに、年収によって児童手当が受給できない事に不満を感じている。楽をして働いて収入を得ているのではないし、税金も納めているのだから、児童手当は一律に支払われるべきだと思う。
- 共働きだが、なかなか貯蓄できずにいる。子ども達の将来に向けて頑張っているが(残業もしている)、それができない。物価も高くなっているし、出費の方が上回っている。

- 税金が高すぎる事。とにかく減税をしてもらいたい。共働きで苦勞しても、何も学費等の免税もないので困っている。減税が最もサポートになる。

3位 長期休暇・休日の子どもの居場所

- 夏休みや正月、GW と長期の学校休日の間、半日でも子どもを預かってくれる施設が学区内にあると母親も働きに出る事(日数)が増える(普段学童を利用していない家庭)。学校に行っている間、パート、アルバイトをしているが、夏休み等は子どもが家にいるため、パート、アルバイトを休まなければならない、その間の収入が減ってしまい困っている。
- 夏休み中、両親が仕事に出ると日中子どもがひとりになる時間が多く、テレビやゲームといったことで時間を使ってしまう。夏は暑さもあり、公園も遊具が熱く使えない。小学生が、夏休みなど長期休み中に有料でも良いので安心して子ども同士で過ごせる場所が、午前中や午後だけでもよいので、あって欲しい。
- 長期の休みは一人で家にいさせることが多く、習いごと等に通わせたいと考えたが、送迎や金銭的に難しく断念した(学童保育は疲れると言って嫌がりやめてしまった)夏休みや冬休みに気軽に通い、勉強等を見てもらえる場所があると良いと思う。
- 長期休み時(夏休み、冬休み等)、突然の休校時など、子どもの居場所を作って頂きたい。今年の市のサマースクールの企画は素晴らしかった。もう少し参加できる枠を広げて下さると嬉しい。
- 学年があがると、学童に入れたくてもいっぱい入れない。通常時は留守番できるが、長期休暇(夏休みなど)は厳しい。長期休暇だけ利用できる居場所がほしい。市のサマースクールは、場所が遠く、長後地区から通うのは難しい。利用料は少し高くてもあれば利用したい人はいるはず。
- 夏休みの居場所支援。学童以外にも体験できるようなプログラム。善行スポーツセンターの夏休みの居場所はとてもよい。同様の取り組みが増えると嬉しい。

4位 子育てに関する相談・講座・仲間作り

- 赤ちゃんの時は保健師さんや子育てスペースで相談できたが、小学生以降はどこに相談してよいか分からない。もっと相談できる場所がほしい。
- 親も子どもも気持ちを共有できるネットワークが欲しい。座談会等があるのは知っているが、一番悩んで苦しかった時期に(子どもが小学校低学年で母子分離不安あり、留守番を頼める人がいない)利用できなかったのも、とても悲しかった。
- コロナ禍で独り子育てに苦しむ母親(父親)が増えていると思います。SNS ばかりではなく、地域における顔の見えるコミュニティーの大切さが再度フォーカスされることを期待しています。子育ても介護も1人で頑張るものではないのだから。
- 藤沢に引っ越してきたが、コロナ禍だったので、同学年のお母さんと知り合う機会もないまま、今日に至る。学校のこと、友人関係など気軽に話せる知り合いが欲しかったので、そういう機会(転入ママの集いなど)を設けてほしかったし、コロナ禍で出会いの場が減少していると思うので、コロナで知り合いができなかった人向けのイベントがあればうれしいと思った。

5 位 子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)

- 学童に通っていない世帯の児童を、放課後預かって下さる場所が必要。幼稚園には「延長保育」があり、17:30 まで安心して預けられますが、小学生になった途端にどこにも預け先がない。不定期、申込制、有料、都度払い等で対応する等、早急に検討してほしい。通院、親の介護、仕事等に支障が出ている声をよく聞く。特にお留守番のできない学年の(子が)いる時は辛い。
- 小学生高学年が利用できるような公園が欲しい。放課後の子どもの居場所が藤沢市は学童一択のみなのが困っている(学童は高いし、1ヶ月の半分くらいだけの利用には向いていないため)。
- 共働きの方などが多く、子どもの友人達も習い事等を平日・休日共にたくさんしており、子どもが友達同士で約束して遊んだりすることが大変難しいと感じる。遊ぶ場所も、屋外は暑すぎたりして、居場所がないと感じている。
- 一時保育のように、一時学童保育のような場所があると助かると思う。親の介護や自分の病気などで単発的に子どもの居場所を確保したい事もあり得るので。

6 位 学校の敷地内での子どもの居場所・学校の解放

- 前に住んでいた地域では、学校が終わったあと、17:00 まで学校の体育館で子ども達を見てくれるサービスがあった。働いてなくても預かってもらえて低額だった。OB の先生などもいて、みんなで宿題をやったり、校庭で遊んだりしていた。こういうサービスを作ってほしい。
- 学校で(朝 7:30~8:15)早朝保育をして欲しい(お金を払ってもよい)。子どもが最後に家を出る。1人で鍵をかけるのは不安。
- 昨年まで他市に住んでいたが、藤沢市での待遇の差に驚いた。他市では、小学校内(以前は空き教室)で無料で遊びの場を利用できた。今は、学校から帰宅したら外で遊ぶことが減多にないので、そういった場所がないことが残念。以前は、そこで毎日のように外遊びをしていたので、藤沢市でもできれば良いとすごく思う。
- 専業主婦だが、年数回は子の学校行事(懇談会やPTA活動)で子どもの下校時に在宅できないことがある。低学年の頃は普段しなれない鍵の管理も含めて留守番への不安があった。横浜市では「放課後キッズクラブ」を運営していると聞き、希望する子どもが放課後を過ごす場があることがうらやましく思っている。難しいことも多いかとは思いますが、親の状況(仕事の有無やその長さ)に関わらず希望する子どもが安心して過ごせる場がいつかできることを願っている。

6 位 給食・給食費、昼食サービス

- 夏休みの子どもの居場所や昼食があると助かるし、安心できる。共働きが増える中、長期休み(夏、冬、春休み)の給食が働く親には負担が大きい。
- 中学も小学校と同じような温かくて栄養バランスの取れた給食(デリバリー方式ではない)にすることを強く期待する。また無償化も期待している。

- 春・夏・冬休みの昼ごはんは悩むので安価で提供してほしい。皆で作るイベントがあってもおもしろそう(昼食を)。

8位 学童・放課後児童クラブに関する要望

- 学童の定員数、設置数の増加と料金(一律16,500円)を安くする事が可能となってほしい。もっと気軽に利用できるサポートがほしい。
- 保育園の増加の割合に比べ、学童の数、受け入れの数が少なすぎる。保育時間と学校の開始時間の差、夏休み、冬休み等の学童開所時間の差もあり、低学年の子が朝一人になる心配があり、安心して働くことが困難に感じる人もいるのではないかと感じる。保育課と連携していただき、受け入れの改善を希望する。
- 保育園、児童クラブを利用しているが、毎回入所できるかどうか気を揉むことになる。希望すれば100%入所できる状態が望ましい。

9位 学校教育の充実(相談・SC含む)

- スクールカウンセラーについて、各学校にいるのかもしれないが、いついるかわからない、どんな人なのかかわからない等、せつかくいい制度なのに、あまり機能していないように思う。何かを相談したくなるには、やはり「この先生なら話してみようかなと思わせること」が必要だと思うので、もっと工夫してほしい。接点を増やすことは大切だと思うので、カウンセラーさんの授業をつくるとかもあっていいのでは。お友達とのつきあい方など、子どもなりに大なり、小なり悩みがあるものだと思うので、話を聞いてくれる方がいるって大切なことだと思う。
- 小学生、中学生、高校生ともに多くの学生は先生1人に対して、複数人で授業を受ける形となっている。しかし、それでは1人1人の学習能力をあげることはできない。そのためにも1人1人に対応できるような環境づくりをすることが必要になると思う。具体的に、先生は大学生、社会人などをアルバイトで雇うなど。
- 藤沢市立の中学校に行く予定だが、公立と私立で学びの環境に大きな差があるように感じる(学校の設備や教育体制が公立校は不安がある)ので、公立校でも設備やカリキュラムが充実してほしいと思う。

10位 教育制度、学校のルール(制服・指定用品、学区、PTAなど含む)

- 学校はまだ専業主婦世帯を前提として運営されているように感じる(予定がギリギリまでわからない、勤務時間との調整が難しい時間の仕事等が多い、PTAはやりたい人がやるのが良い)。
- 小学校のPTA、役員決めで毎日胃の痛い思いをする。PTAは共働き家庭推奨の現状の状況に全く適さないと思う。思い切ってなくして、必要の可否を検討して欲しい。入金時も同調圧力があり、家庭の事情が考慮されていなかった。

第4章 アンケート調査結果(小学生5年生子ども)

(1)あなたのことについてうかがいます

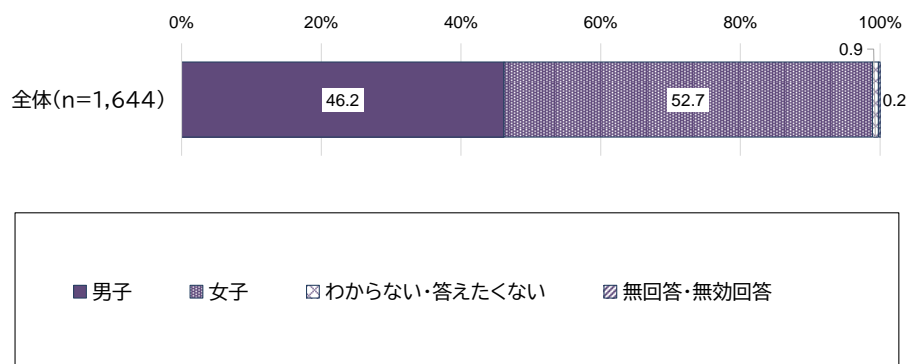
ア 性別

性別は、「女子」が52.7%、「男子」が46.2%となっていた。

【小学5年生子ども問1】

あなたの性別を教えてください。(単一回答)

図表 4-1 性別 (単純集計)



(2) あなたのいつもの生活についてうかがいます

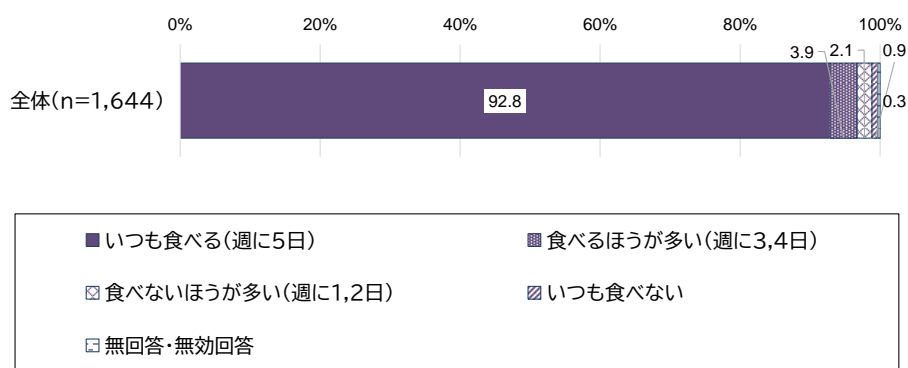
ア 平日の朝食

平日の朝食については、「いつも食べる(週に5日)」が92.8%と最も多くなっていた。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「いつも食べる(週に5日)」が81.4%と最も多く、以下、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が8.1%、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が7.0%と続いていた。

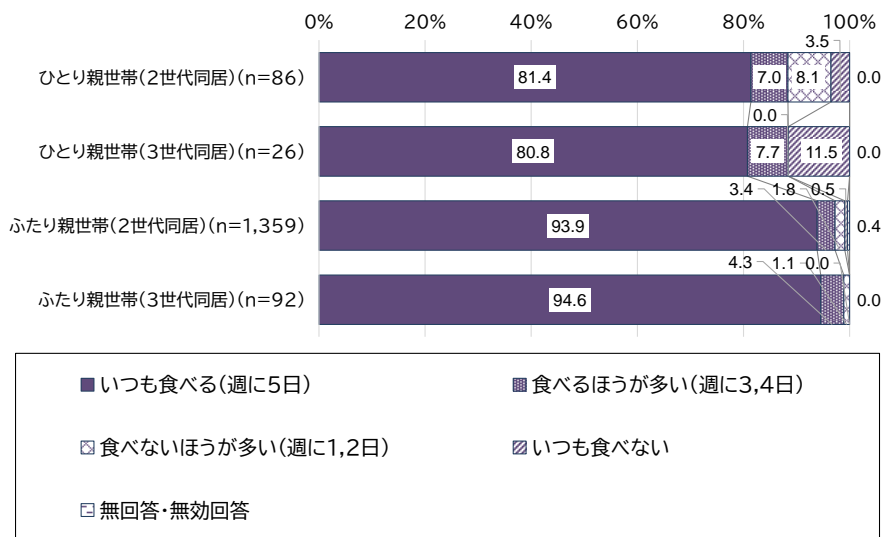
【小学5年生子ども問2】

あなたは、平日(学校に行く日)に朝ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 4-2 平日の朝食 (単純集計)



図表 4-3 平日の朝食 (世帯タイプ別クロス集計)



イ 平日の朝食の相手

平日の朝食の相手については、「うちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が65.0%と最も多く、以下、「きょうだい」が61.6%、「ひとりで食べる」が18.4%と続いていた。

前回調査と比較すると、「うちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」と回答した割合は今回調査は65.0%、前回調査は70.5%で、5.5ポイント減少した。

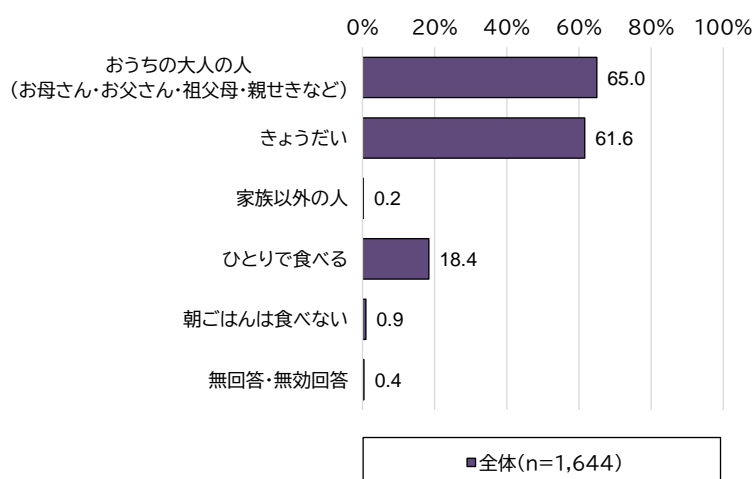
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「うちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が55.8%と最も多く、以下、「きょうだい」が48.8%、「ひとりで食べる」が22.1%と続いていた。

生活満足 低位(n=85)では、「きょうだい」が62.4%と最も多く、以下、「うちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が54.1%、「ひとりで食べる」が30.6%と続いていた。

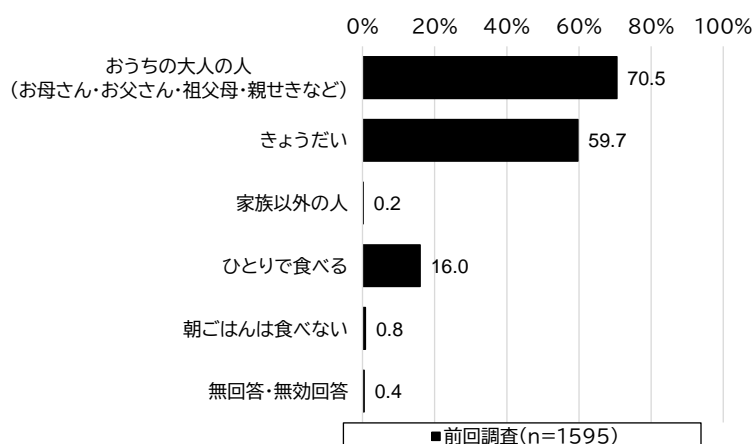
【小学5年生子ども問3】

あなたは、平日(学校に行く日)に朝ごはんをだれと食べますか。(複数回答)

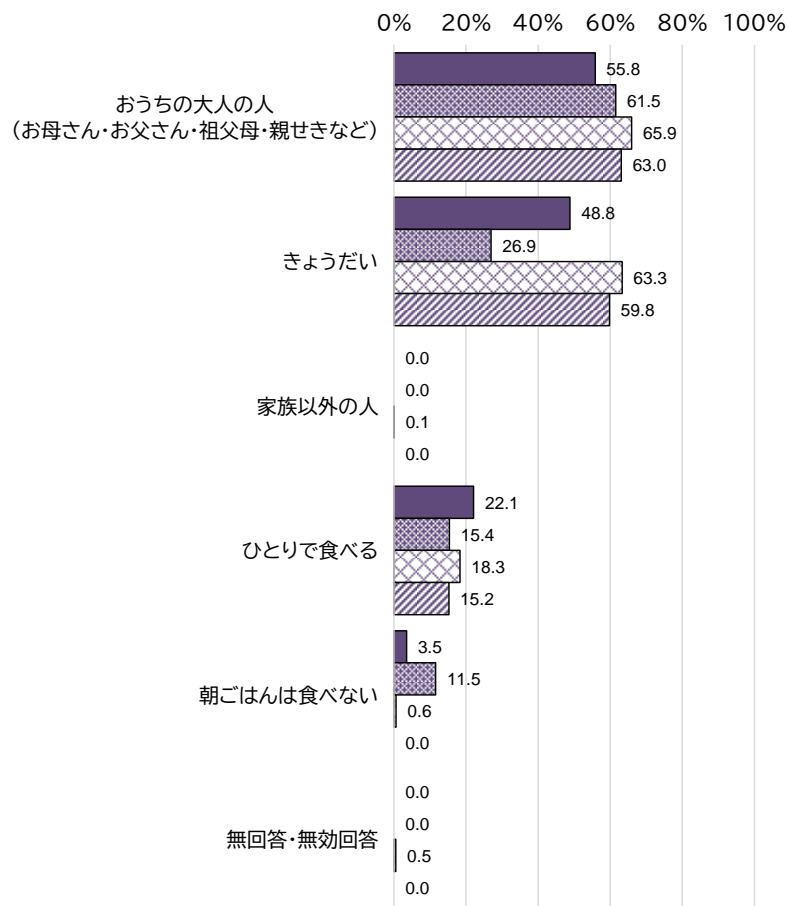
図表 4-4 平日の朝食の相手 (単純集計)



図表 4-5 平日の朝食の相手 (前回調査 単純集計)

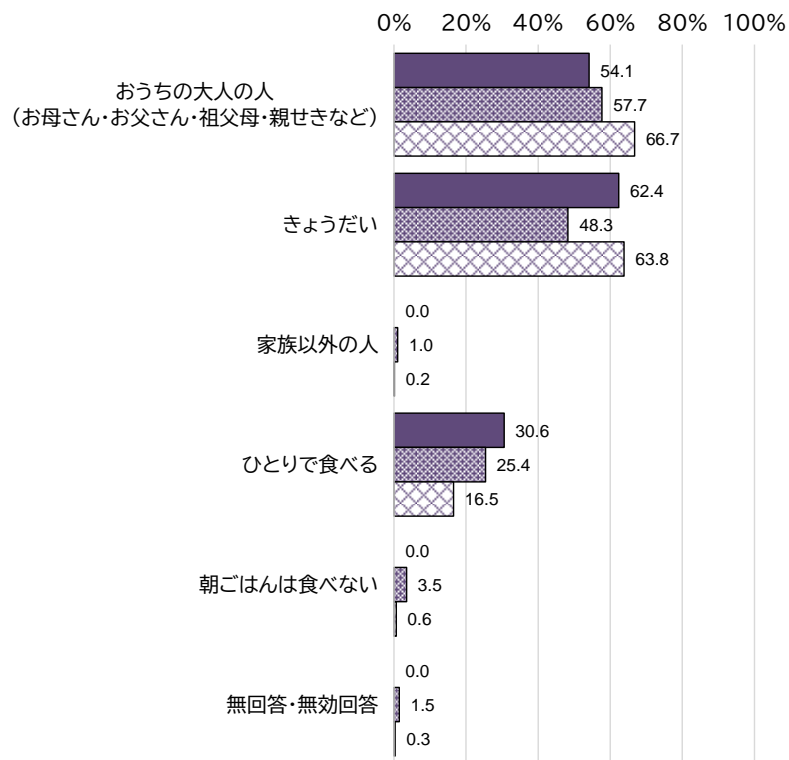


図表 4-6 平日の朝食の相手（世帯タイプ別クロス集計）



ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)
 ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
 ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,359)
 ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 4-7 平日の朝食の相手（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=85) ■生活満足 中位(n=201) □生活満足 高位(n=1,332)

ウ 放課後を過ごす相手

放課後を過ごす相手については、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が38.6%と最も多く、以下、「友だち」が22.8%、「おうちの人以外の大人(塾・習い事の先生や、児童クラブの指導員、近所の大人など)」が12.4%と続いていた。また、「ひとりである」は、7.0%であった。

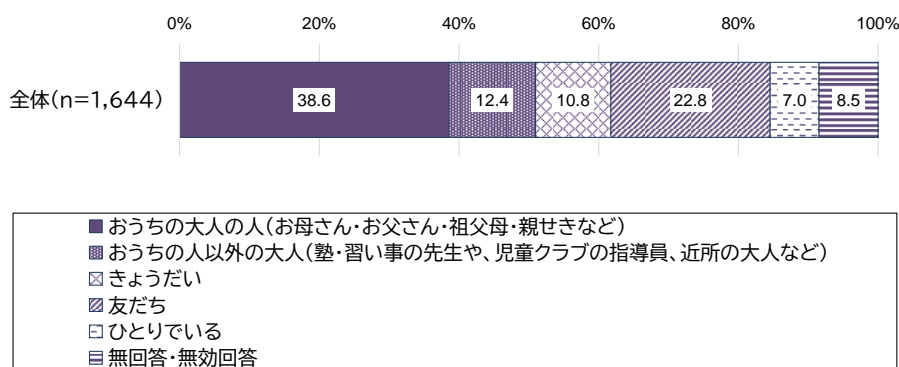
前回調査と比較すると、「友だち」と回答した割合は、今回調査は22.8%、前回調査は28.0%で、5.2ポイント減少した。

困窮層(n=44)では、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が27.3%と最も多く、以下、「友だち」が22.7%、「きょうだい」が20.5%と続いていた。また、「ひとりである」は、2.3%であった。

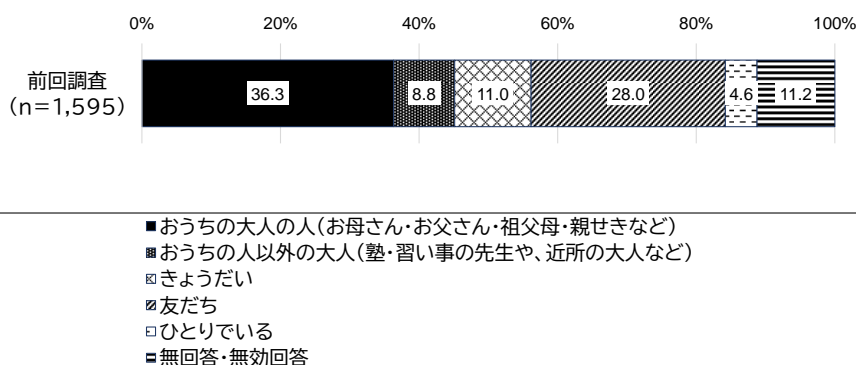
【小学5年生子ども問4】

あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)はだれと過ごしますか。(単一回答)

図表 4-8 放課後過ごす相手 (単純集計)

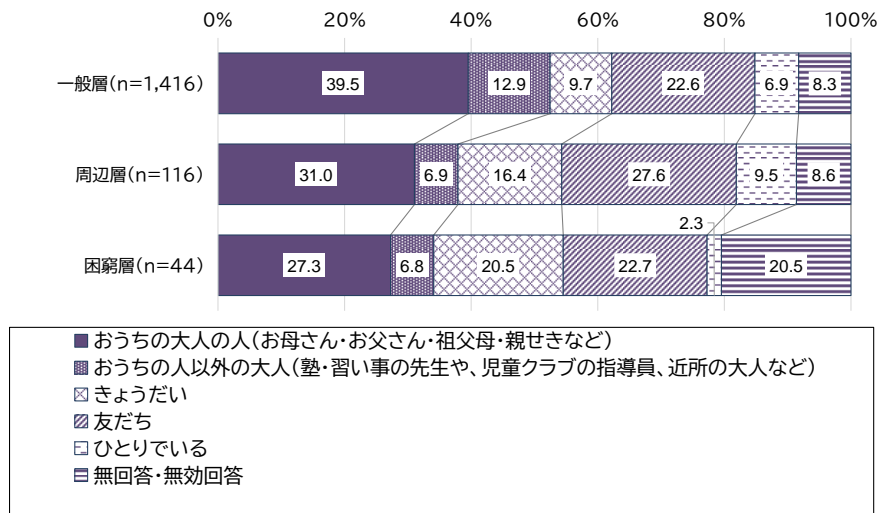


図表 4-9 放課後過ごす相手 (前回調査 単純集計)³¹



³¹ 前回調査では「おうちの人以外の大人(塾・習い事の先生や、近所の大人など)」の選択肢の文言が異なる点に留意が必要。

図表 4-10 放課後過ごす相手（生活困難層別クロス集計）



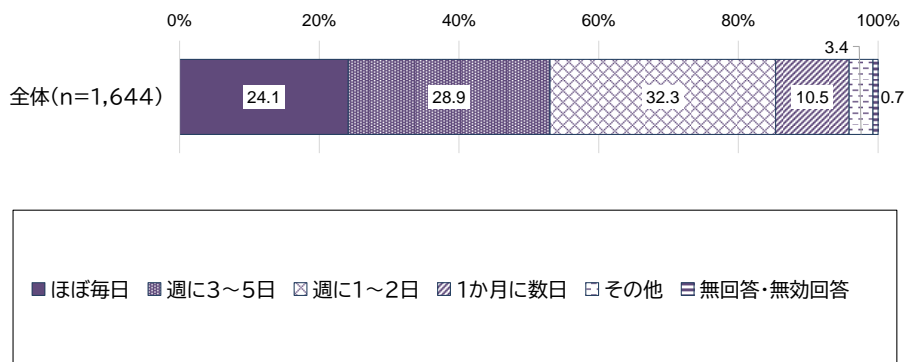
工 一週間の中での屋外活動

一週間の中での屋外活動については、「週に1～2日」が 32.3%と最も多く、以下、「週に3～5日」が 28.9%、「ほぼ毎日」が 24.1%と続いていた。

【小学5年生子ども問 5】

あなたはふだん、学校の授業や休み時間以外で、一週間にどのくらい屋外で体を動かすことがありますか。
(単一回答)

図表 4-11 一週間の中での屋外活動（単純集計）



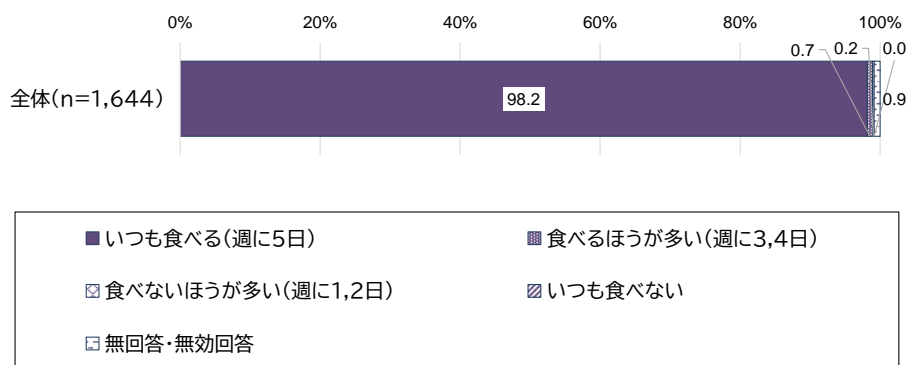
オ 平日の夕食

平日の夕食については、「いつも食べる(週に5日)」が98.2%と最も多くなっていた。

【小学5年生子ども問 6】

あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 4-12 平日の夕食 (単純集計)



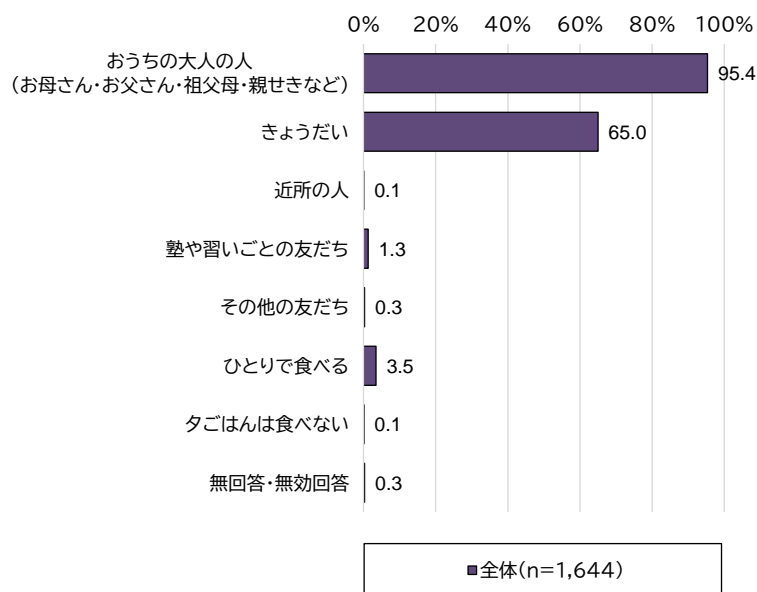
カ 平日の夕食の相手

平日の夕食の相手については、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が95.4%と最も多く、以下、「きょうだい」が65.0%、「ひとりで食べる」が3.5%と続いていた。

【小学5年生子ども問 7】

あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんをだれと食べますか。(複数回答)

図表 4-13 平日の夕食の相手 (単純集計)



キ 就寝時間

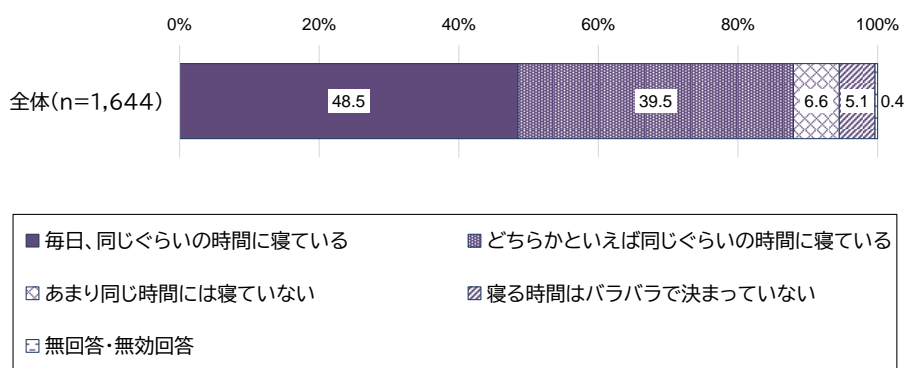
就寝時間については、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」が48.5%と最も多く、以下、「どちらかといえば同じぐらいの時間に寝ている」が39.5%、「あまり同じ時間には寝ていない」が6.6%と続いていた。

生活満足 低位(n=85)では、「どちらかといえば同じぐらいの時間に寝ている」が40.0%と最も多く、以下、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」が34.1%、「寝る時間はバラバラで決まっていない」が16.5%と続いていた。

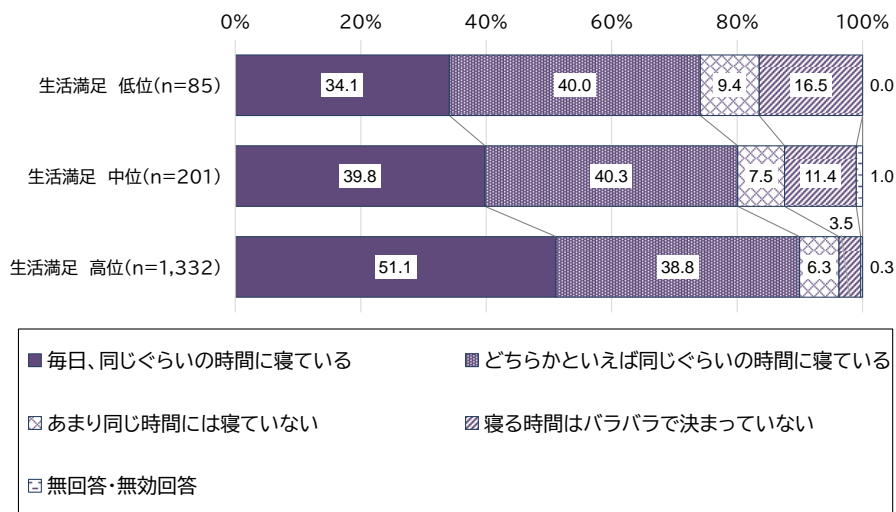
【小学5年生子ども問 8】

あなたは、毎日同じぐらいの時間に寝ていますか。(単一回答)

図表 4-14 就寝時間 (単純集計)



図表 4-15 就寝時間 (生活満足度別クロス集計)



ク 夏休みの昼食

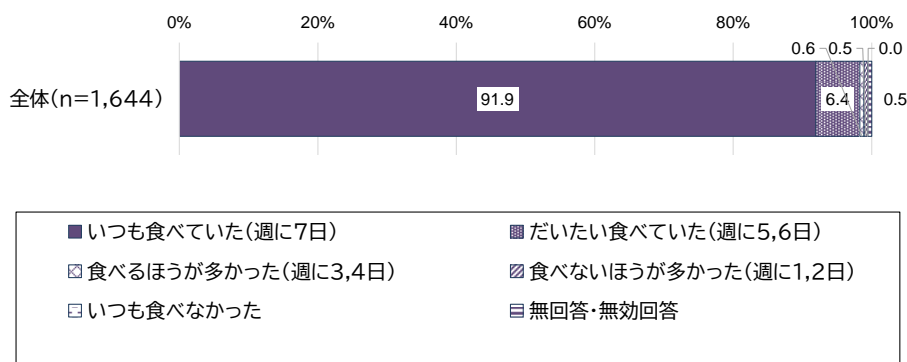
夏休みの昼食については、「いつも食べていた(週に7日)」が 91.9%と最も多く、「だいたい食べていた(週に5,6日)」が 6.4%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「いつも食べていた(週に7日)」が 78.8%と最も多く、次いで、「だいたい食べていた(週に5,6日)」が 16.5%となっていた。

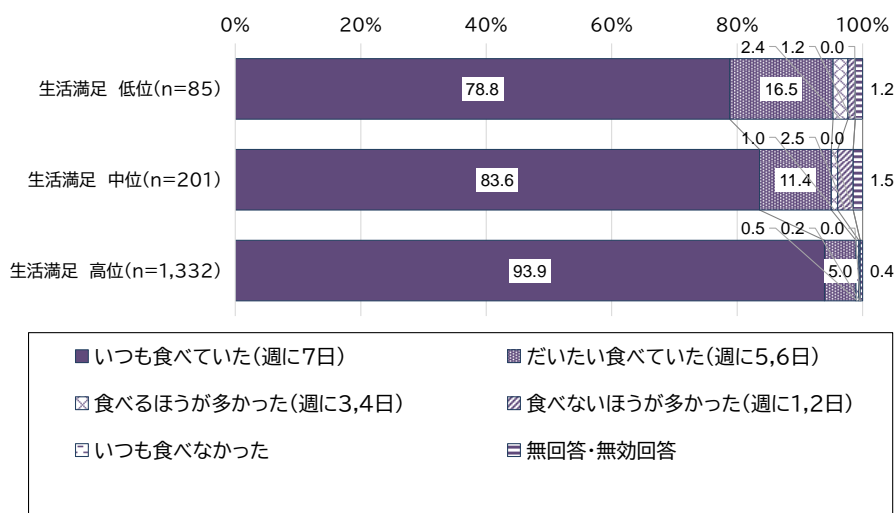
【小学5年生子ども問 9】

あなたは、今年の夏休みの間、昼ごはんを食べていましたか。(単一回答)

図表 4-16 夏休みの昼食 (単純集計)



図表 4-17 夏休みの昼食 (生活満足度別クロス集計)



ケ 健康状態

自身の健康状態については、「よい」が 51.5%と最も多く、以下、「まあよい」が 24.3%、「ふつう」が 20.4%と続いていた。

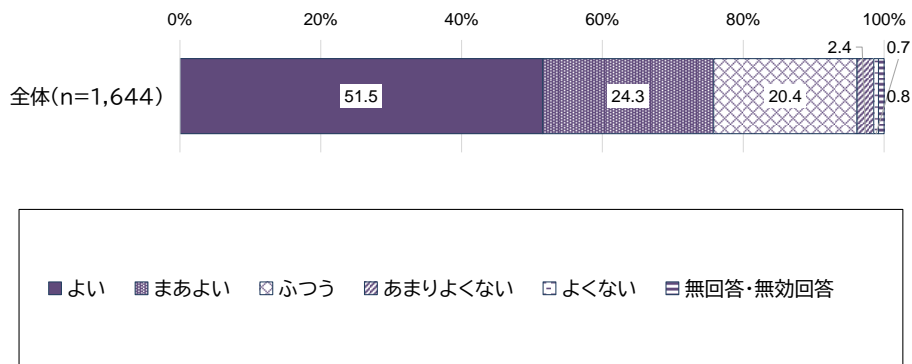
困窮層(n=44)では、「よい」が 38.6%と最も多く、以下、「ふつう」が 25.0%、「まあよい」が 22.7%と続いていた。

生活満足 低位(n=85)では、「ふつう」が 34.1%と最も多く、「よい」が 29.4%、「まあよい」が 17.6%で続いていた。

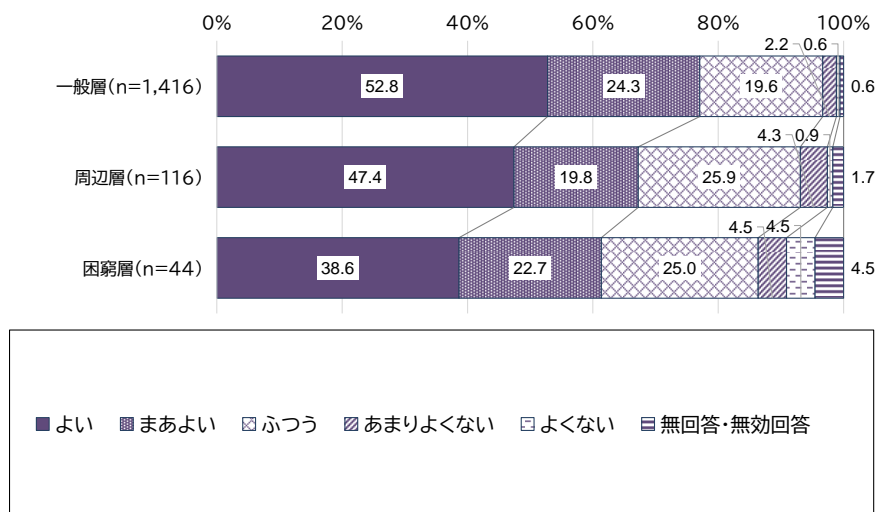
【小学5年生子ども問 10】

あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(単一回答)

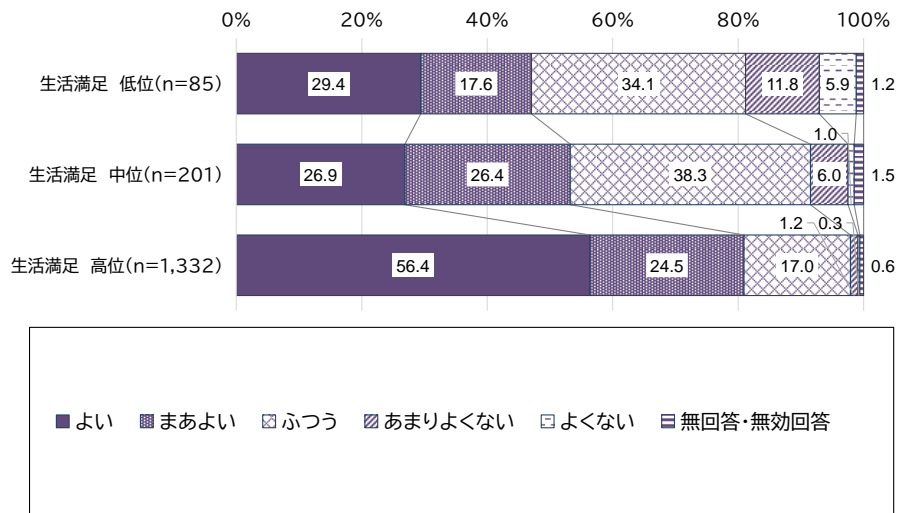
図表 4-18 健康状態 (単純集計)



図表 4-19 健康状態 (生活困難層別クロス集計)



図表 4-20 健康状態（生活満足度別クロス集計）



コ 虫歯

虫歯の状態については、「虫歯があった(全部治した)」が 46.6%と最も多く、以下、「虫歯になったことがない」が 42.0%、「わからない」が 5.7%と続いていた。

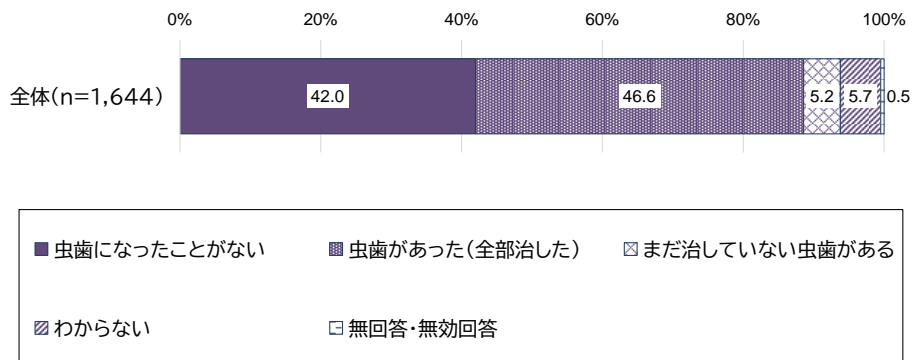
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「虫歯があった(全部治した)」が 45.3%と最も多く、以下、「虫歯になったことがない」が 31.4%、「まだ治していない虫歯がある」「わからない」がそれぞれ 10.5%で続いていた。

困窮層(n=44)では、「虫歯があった(全部治した)」が 40.9%と最も多く、以下、「虫歯になったことがない」が 31.8%、「わからない」が 15.9%と続く結果となっていた。

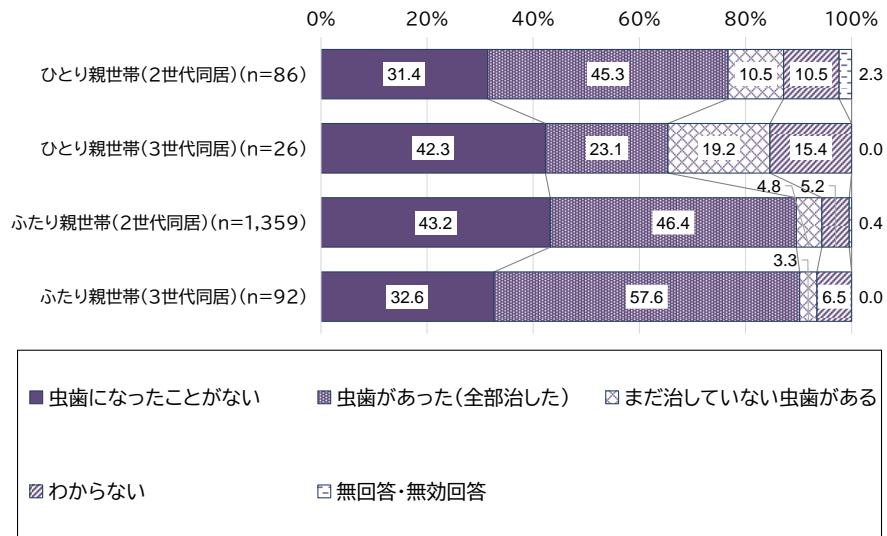
【小学5年生子ども問 11】

あなたの虫歯の状態について教えてください。(単一回答)

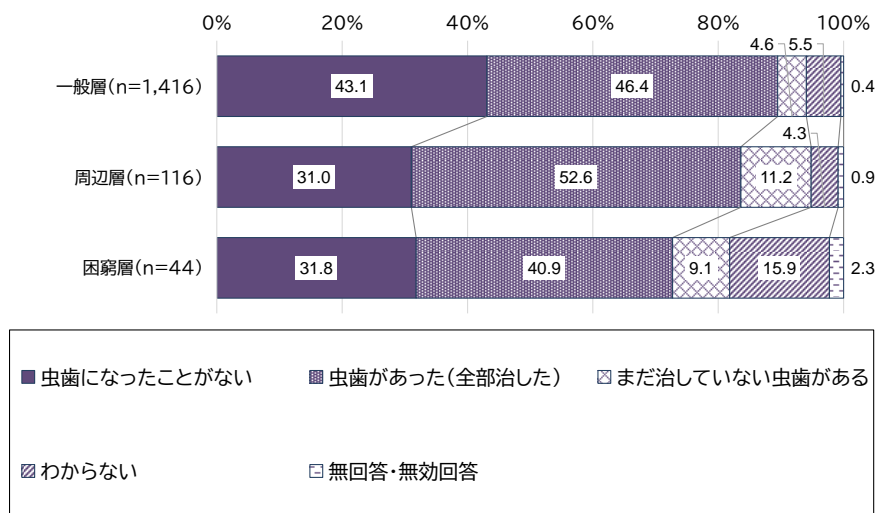
図表 4-21 虫歯（単純集計）



図表 4-22 虫歯（世帯タイプ別クロス集計）



図表 4-23 虫歯（生活困難層別クロス集計）



サ 安心できる居場所

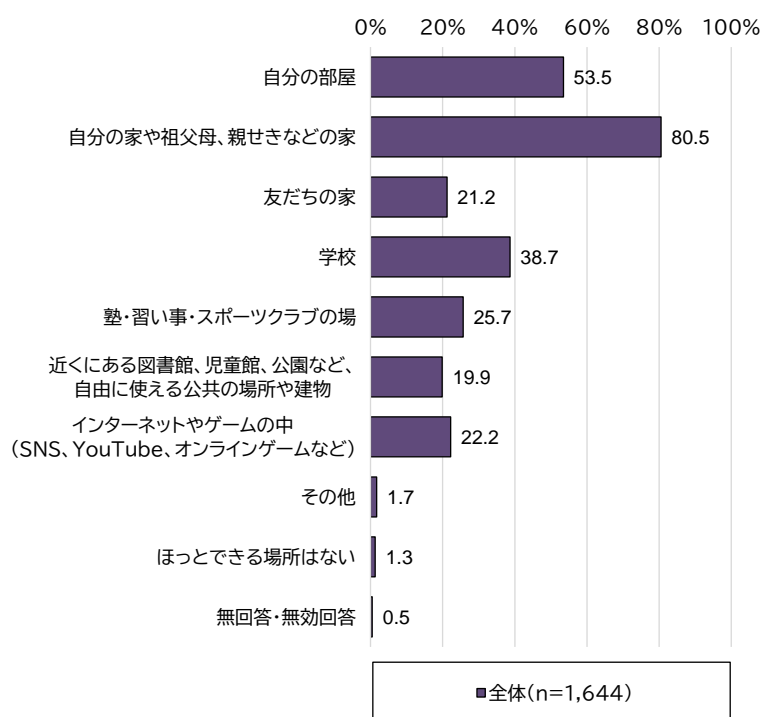
安心できる居場所については、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が 80.5%と最も多く、以下、「自分の部屋」が 53.5%、「学校」が 38.7%と続いていた。また、「ほっとできる居場所はない」は、1.3%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が 57.6%と最も多く、以下、「自分の部屋」が54.1%、「インターネットやゲームの中(SNS、YouTube、オンラインゲームなど)」が32.9%と続いていた。また、「ほっとできる居場所はない」は 10.6%であった。

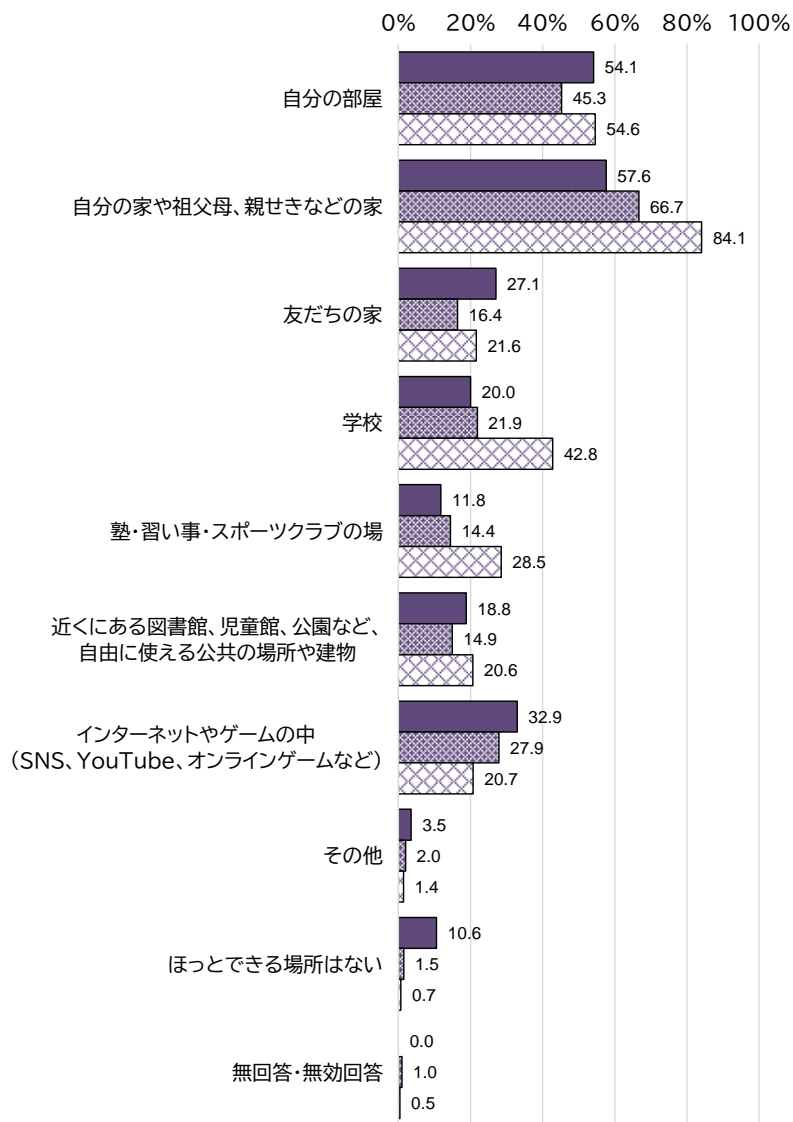
【小学5年生子ども問 12】

次の場所はあなたにとって、居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)になっていますか。(複数回答)

図表 4-24 居場所 (単純集計)



図表 4-25 居場所（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=85) ■生活満足 中位(n=201) □生活満足 高位(n=1,332)

シ 家事や家族の世話

大人が行うような家事や家族の世話については、「していない」が68.2%、「している」が30.0%となっていた。

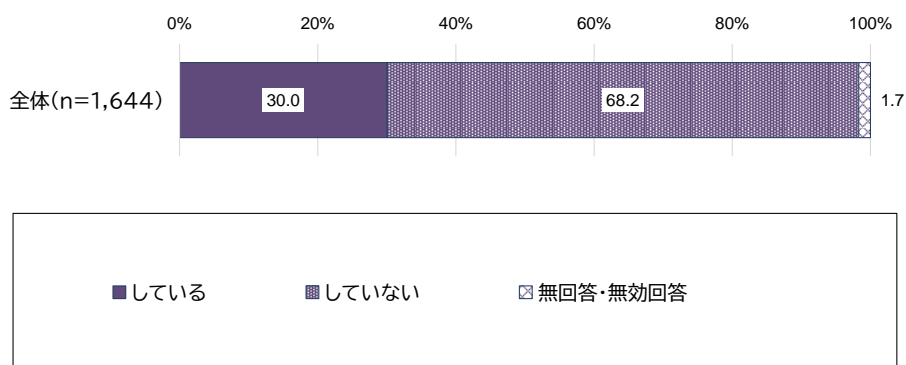
困窮層(n=44)では、「していない」が61.4%、「している」が38.6%となっていた。

生活満足 低位(n=85)では、「していない」が54.1%、「している」が44.7%であった。

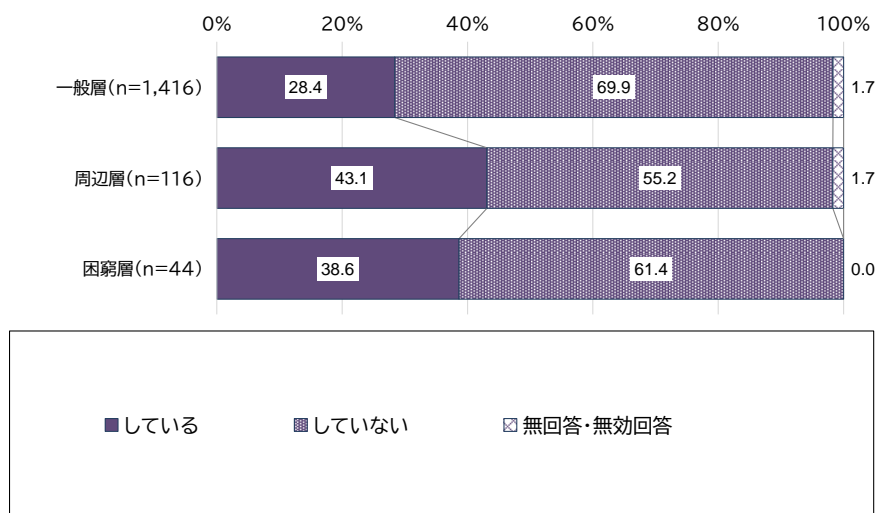
【小学5年生子ども問13】

あなたは、大人が行うような家事や家族のお世話を、日常的にしていますか。(単一回答)

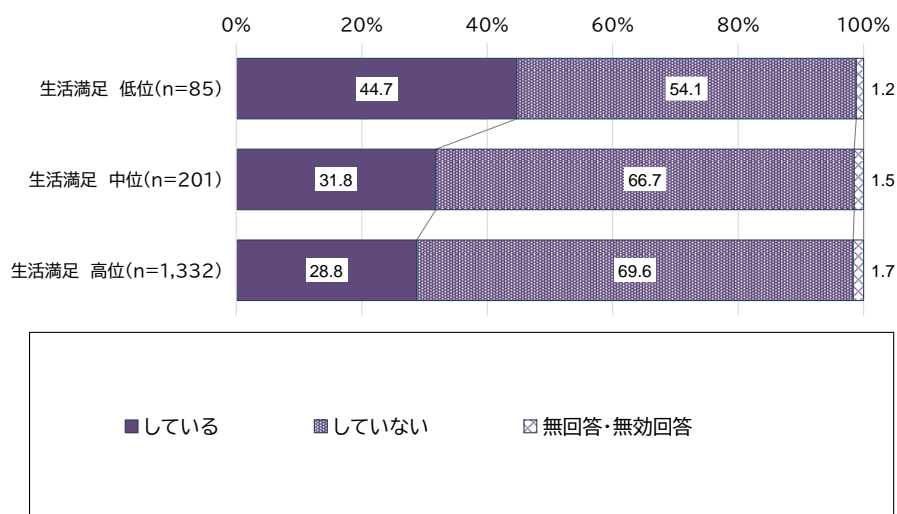
図表 4-26 家事や家族の世話 (単純集計)



図表 4-27 家事や家族の世話 (生活困難層別クロス集計)



図表 4-28 家事や家族の世話（生活満足度別クロス集計）



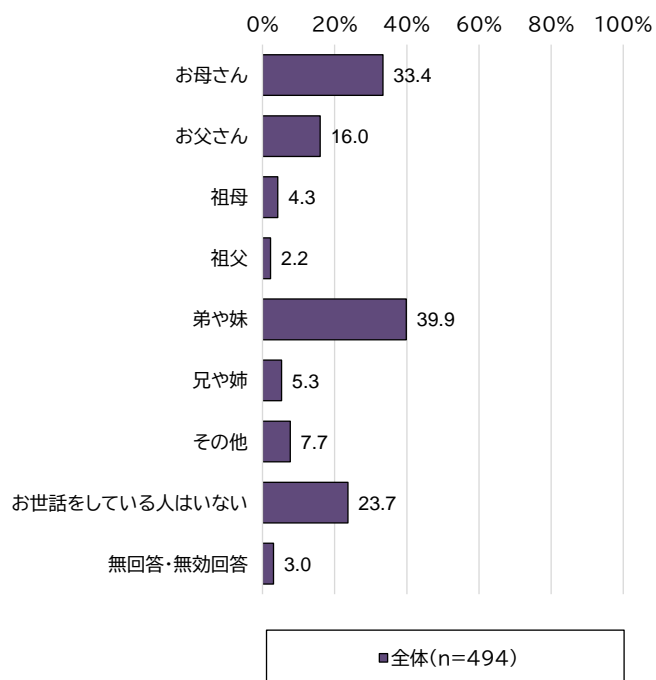
ス 世話をする相手

問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を1(している)と回答した方について、世話をする相手は、「弟や妹」が 39.9%と最も多く、「お母さん」が 33.4%、「お父さん」が 16.0%であった。

【小学5年生子ども問 13-1】

問 13 で「1.している」と答えた人におきぎします。あなたは誰のお世話をしていますか。(複数回答)

図表 4-29 世話する相手（単純集計）



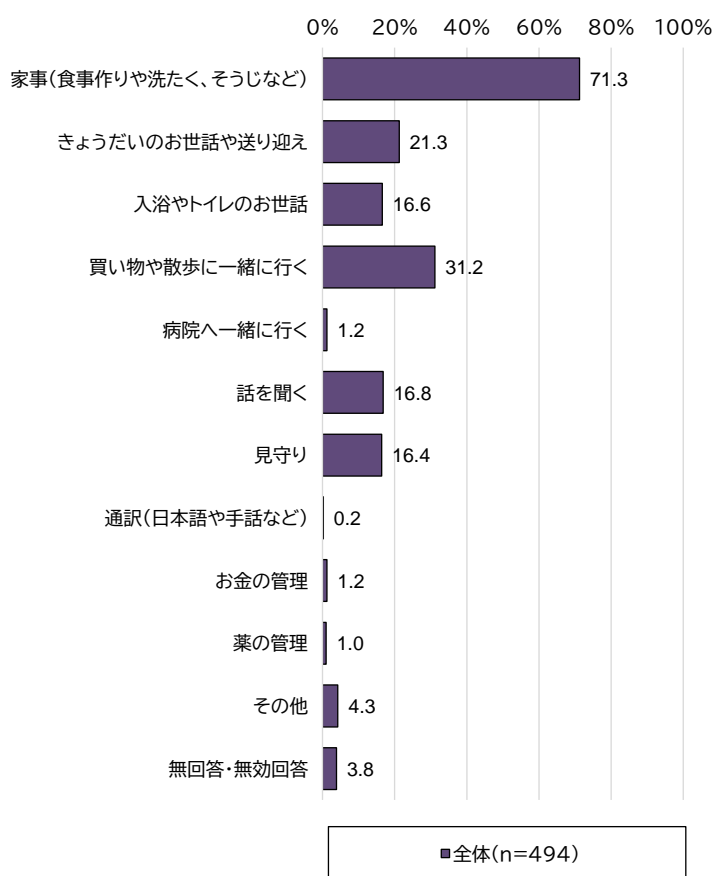
セ 家事や家族の世話内容

問13で大人が行うような家事や家族の世話を1(している)と回答した方について、実施している家事や家族の世話の内容としては、「家事(食事作りや洗たく、そうじなど)」が71.3%と最も多く、以下、「買い物や散歩と一緒にいく」が31.2%、「きょうだいのお世話や送り迎え」が21.3%と続いていた。

【小学5年生子ども問13-2】

問13で「1.している」と答えた人におききします。あなたはどのような家事や家族のお世話をしていますか。
(複数回答)

図表 4-30 家事や世話の内容 (単純集計)



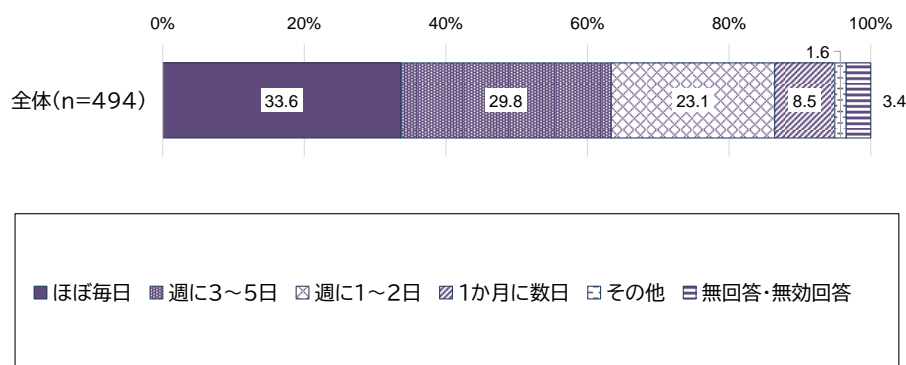
ソ 1週間の中での家事や家族の世話

問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を1(している)と回答した方について、1 週間の中での家事や家族の世話の実施状況としては、「ほぼ毎日」が33.6%と最も多く、以下、「週に3～5日」が29.8%、「週に1～2日」が23.1%と続いていた。

【小学5年生子ども問 13-3】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。あなたは、1週間にどのくらい、家事や家族のお世話をしていますか。(単一回答)

図表 4-31 1週間の中での家事や家族の世話（単純集計）



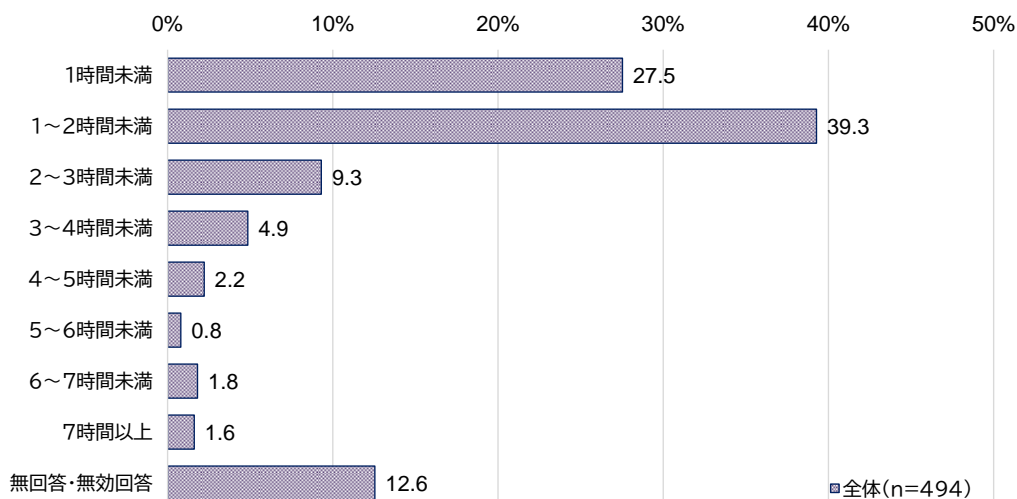
タ 平日における家事や家族の世話をする時間

問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を1(している)と回答した方について、平日における家事や家族の世話をする時間は、「1～2時間未満」が39.3%と最も多く、次いで「1時間未満」が27.5%となっていた。

【小学5年生子ども問 13-4】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。あなたは、学校のある日(平日)に何時間くらい、家事や家族のお世話をしていますか。(数値回答)

図表 4-32 平日における家事や家族の世話をする時間（単純集計）



子 家事や家族の世話をしている中での経験

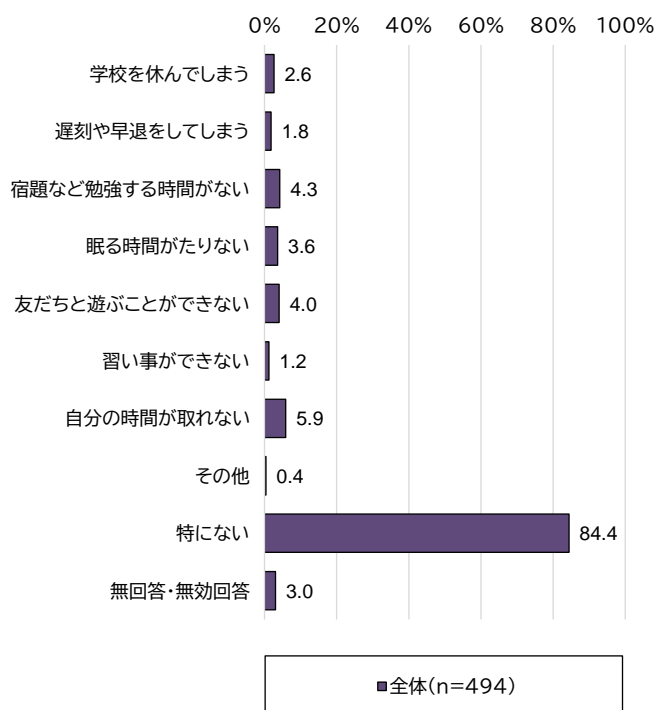
問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を1(している)と回答した方について、家事や家族の世話をしている中での経験は、「特にない」が 84.4%と最も多い一方、「自分の時間が取れない」が 5.9%、「宿題など勉強する時間がない」が 4.3%となっていた。

生活満足 低位(n=38)では、「特にない」が 57.9%と最も多いものの、「自分の時間が取れない」が 26.3%、「宿題など勉強する時間がない」が 15.8%となっていた。

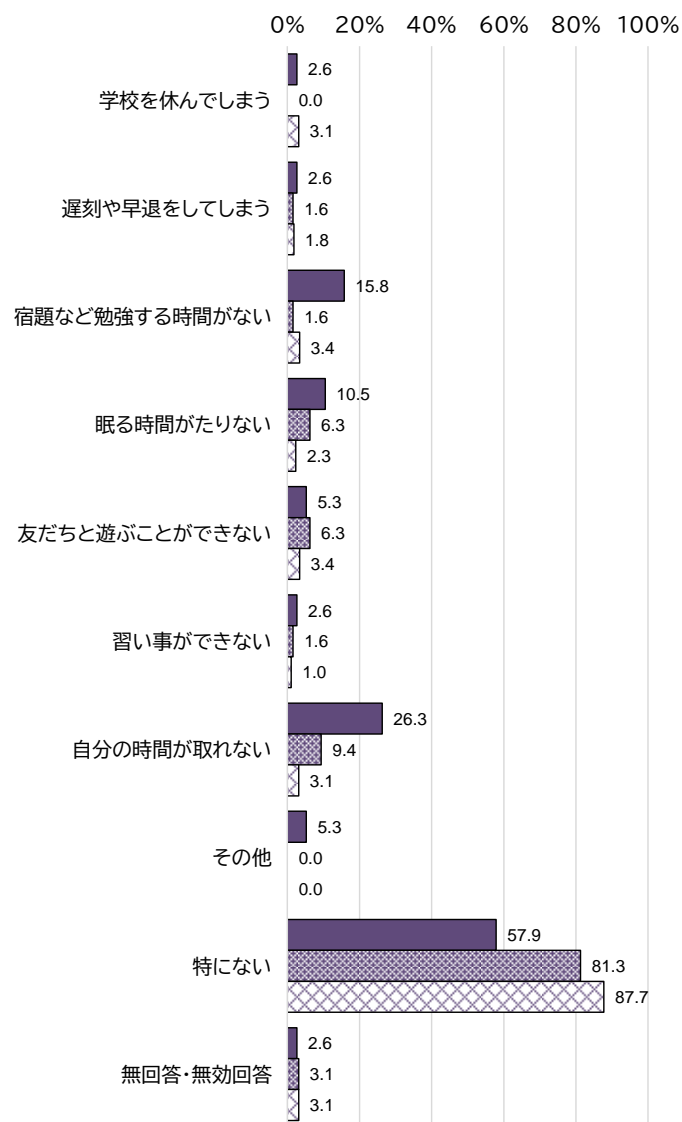
【小学5年生子ども問 13-5】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。家事や家族のお世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(複数回答)

図表 4-33 家事や家族の世話をしている中での経験 (単純集計)



図表 4-34 家事や家族の世話する中での経験（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=38) ■生活満足 中位(n=64) □生活満足 高位(n=383)

ツ 物理的な剥奪

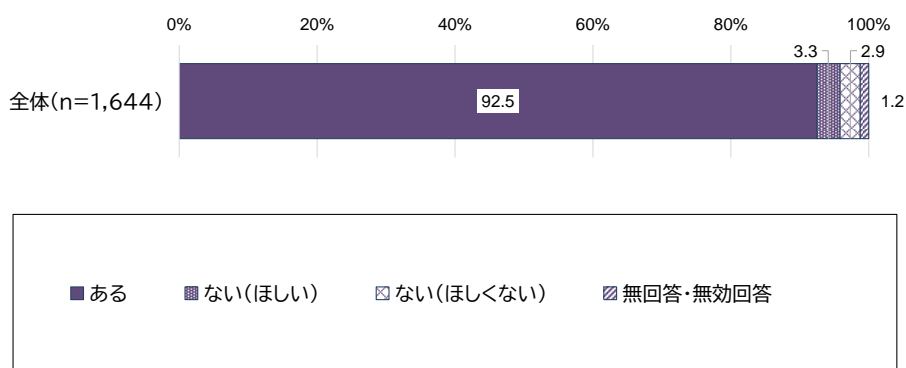
「自分の家で学習をすることができる場所」については、「ある」が92.5%、「ない(ほしい)」が3.3%、であった。

困窮層(n=44)では、「ある」が70.5%、「ない(ほしい)」が11.4%であった。

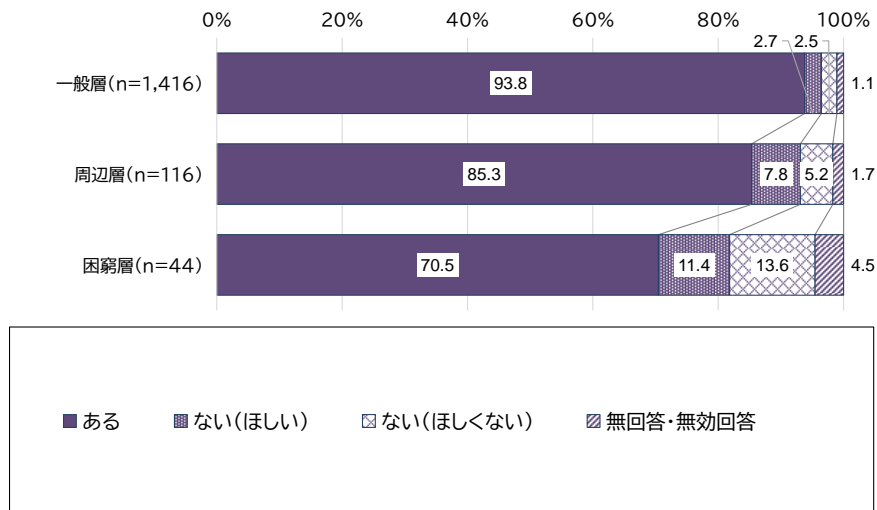
【小学5年生子ども問 14A】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 4-35 「自分の家で学習をすることができる場所」の回答状況 (単純集計)



図表 4-36 「自分の家で学習をすることができる場所」の回答状況 (生活困難層別クロス集計)

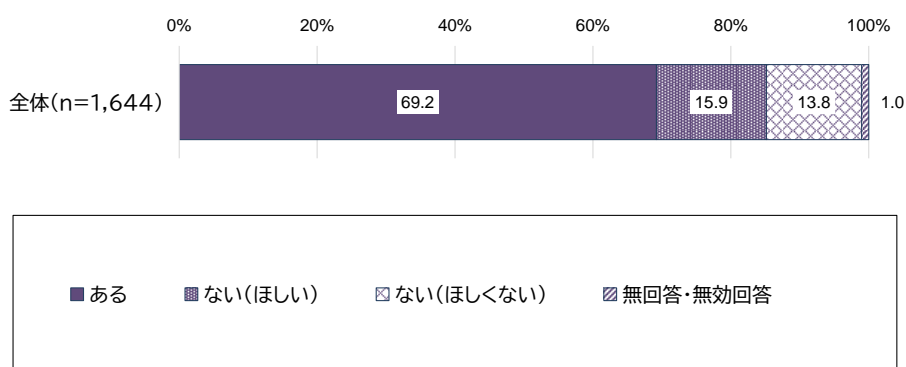


「自分専用の勉強机」については、「ある」が69.2%、「ない(ほしい)」が15.9%であった。
 困窮層(n=44)では、「ある」が50.0%、「ない(ほしい)」が34.1%であった。
 生活満足 低位(n=85)では、「ある」が62.4%、「ない(ほしい)」が27.1%であった。

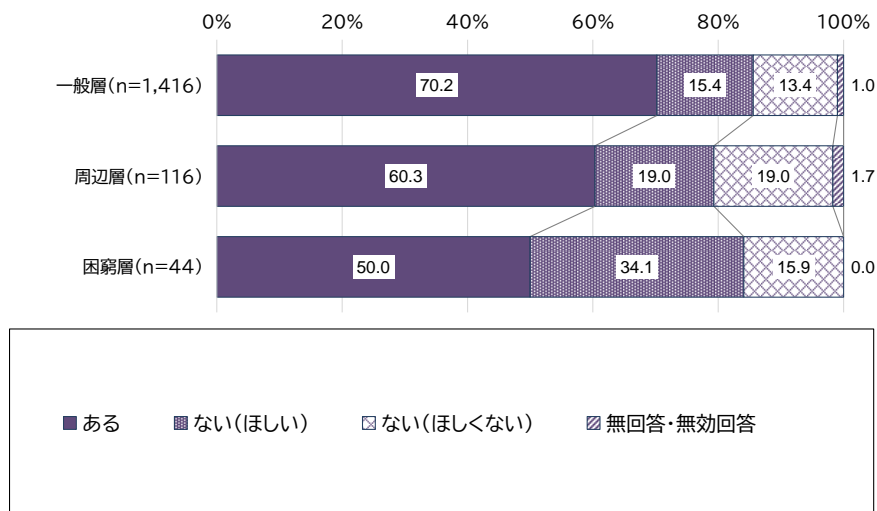
【小学5年生子ども問 14B】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

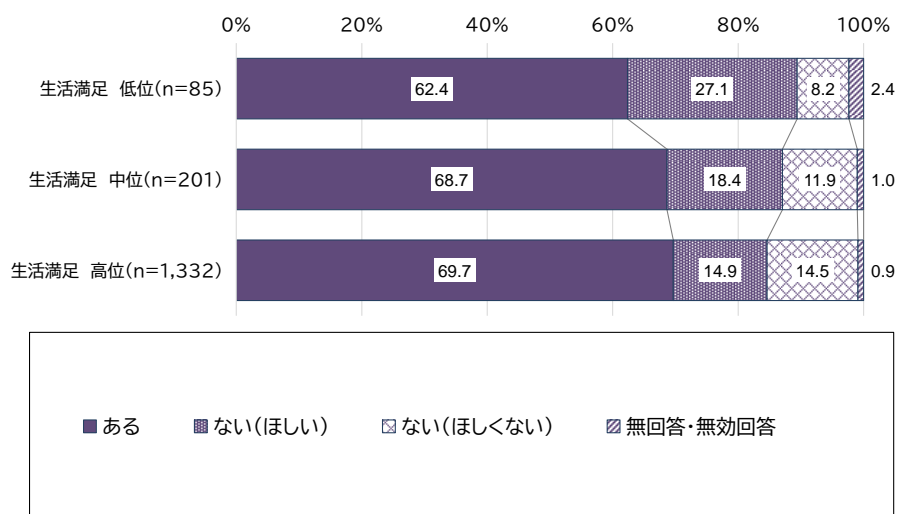
図表 4-37 「自分専用の勉強机」の回答状況 (単純集計)



図表 4-38 「自分専用の勉強机」の回答状況 (生活困難層別クロス集計)



図表 4-39 「自分専用の勉強机」の回答状況（生活満足度別クロス集計）

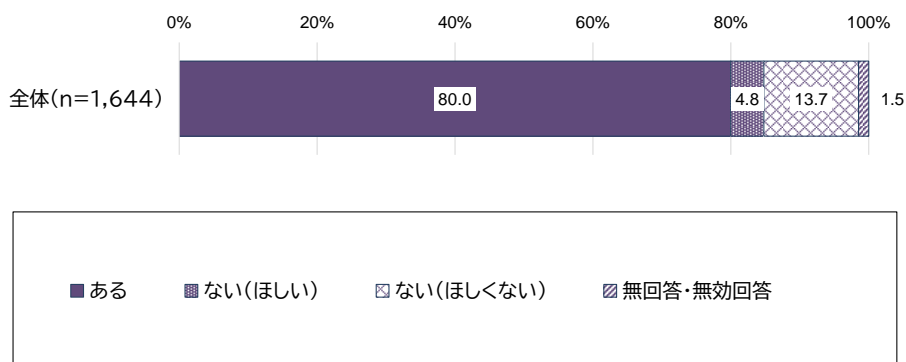


「スポーツ用品(ボール・ラケットなど)」については、「ある」が 80.0%、「ない(ほしい)」が 4.8%であった。

【小学5年生子ども問 14C】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 4-40 「スポーツ用品(ボール・ラケットなど)」の回答状況（単純集計）

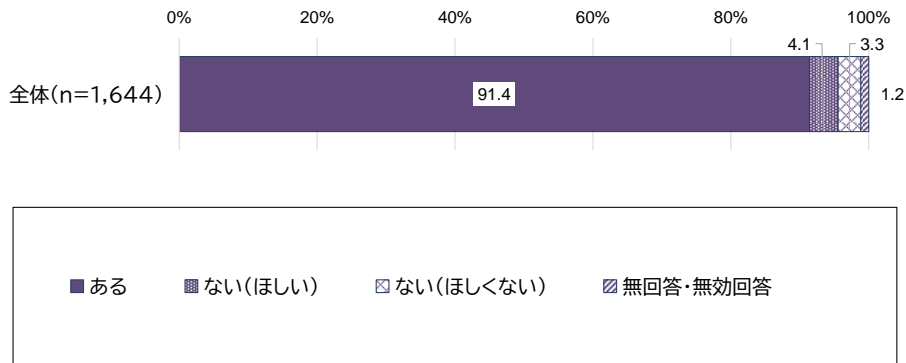


「自転車」については、「ある」が 91.4%、「ない(ほしい)」が 4.1%であった。

【小学5年生子ども問 14D】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 4-41 「自転車」に回答状況 (単純集計)



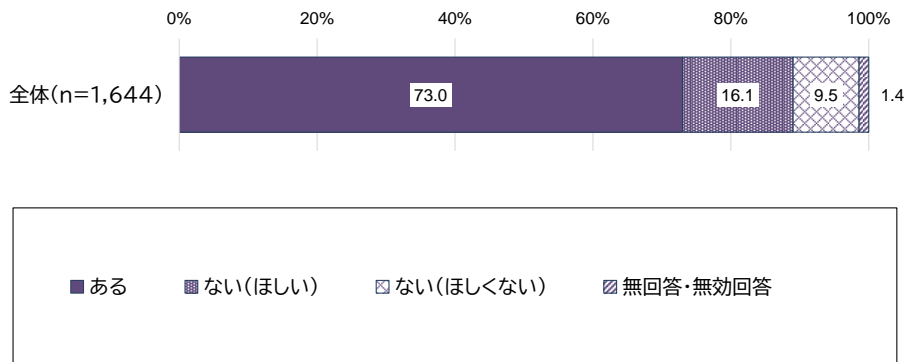
「おこづかい」については、「ある」が 73.0%、「ない(ほしい)」が 16.1%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「ある」が 64.7%、「ない(ほしい)」が 28.2%であった。

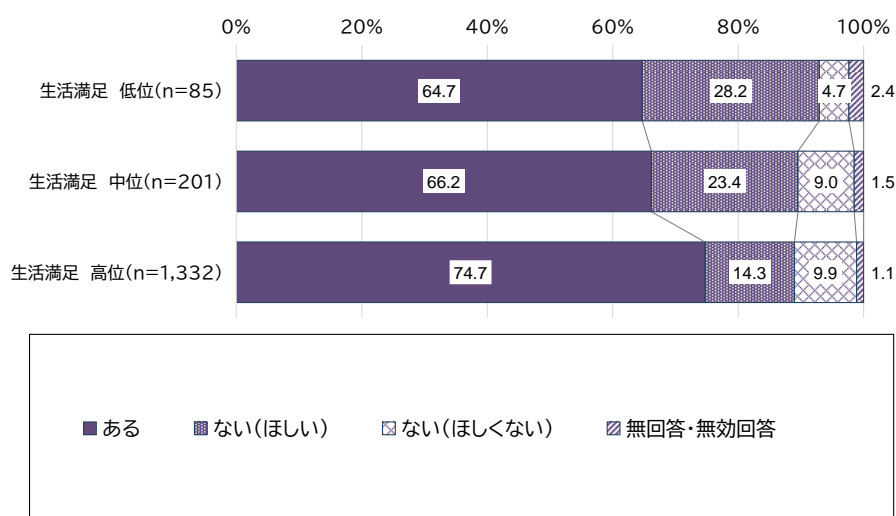
【小学5年生子ども問 14E】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 4-42 「おこづかい」の回答状況 (単純集計)



図表 4-43 「おこづかい」の回答状況（生活満足度別クロス集計）

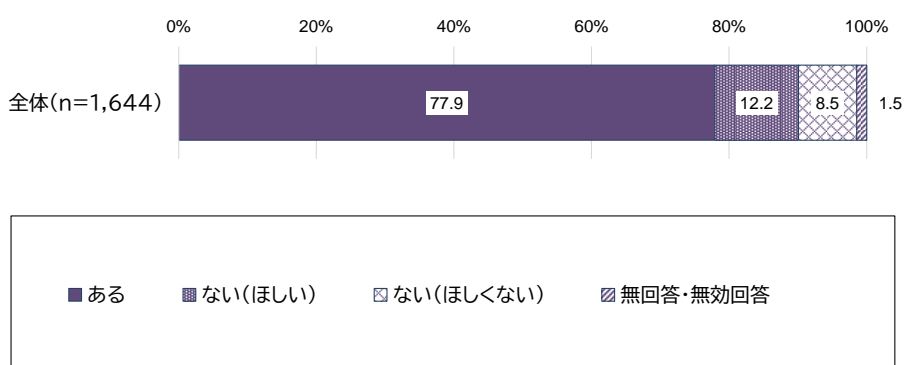


「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」については、「ある」が 77.9%、「ない(ほしい)」が 12.2%であった。
 困窮層(n=44)では、「ある」が 61.4%、「ない(ほしい)」が 29.5%であった。
 生活満足 低位(n=85)では、「ある」が 63.5%、「ない(ほしい)」が 24.7%であった。

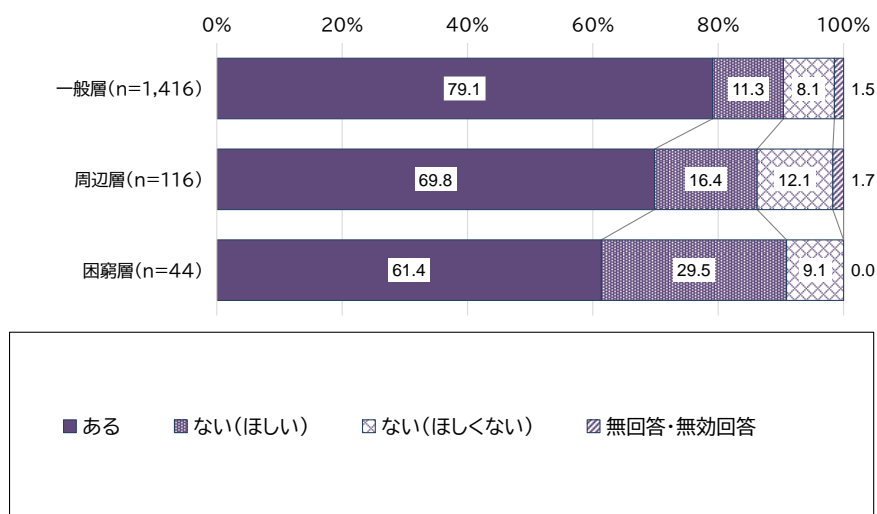
【小学5年生子ども問 14F】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

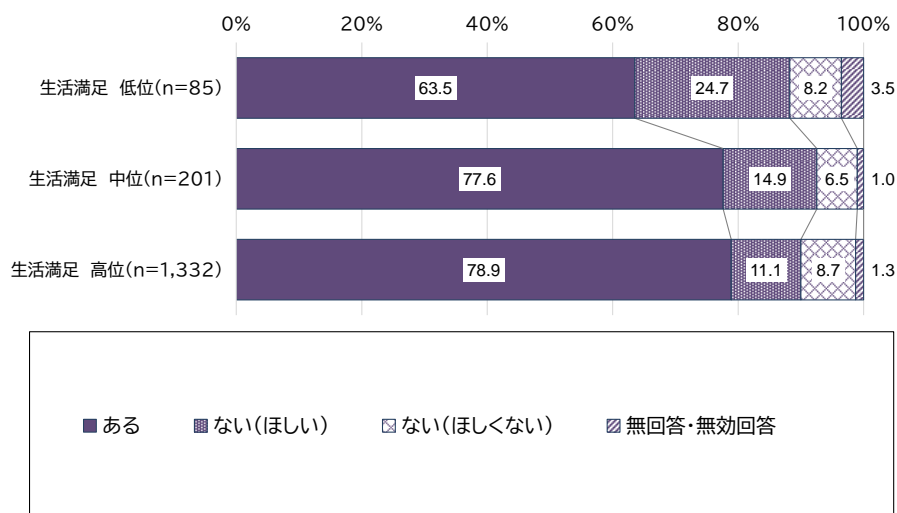
図表 4-44 「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」の回答状況（単純集計）



図表 4-45 「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」の回答状況
(生活困難層別クロス集計)



図表 4-46 「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」の回答状況
(生活満足度別クロス集計)

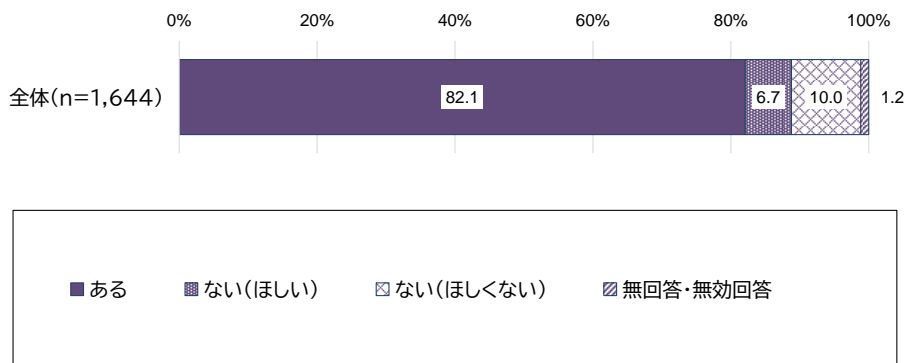


「多くの友だちが持っているゲーム機」については、「ある」が 82.1%、「ない(ほしい)」が 6.7%であった。

【小学5年生子ども問 14G】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 4-47 「多くの友だちが持っているゲーム機」の回答状況 (単純集計)

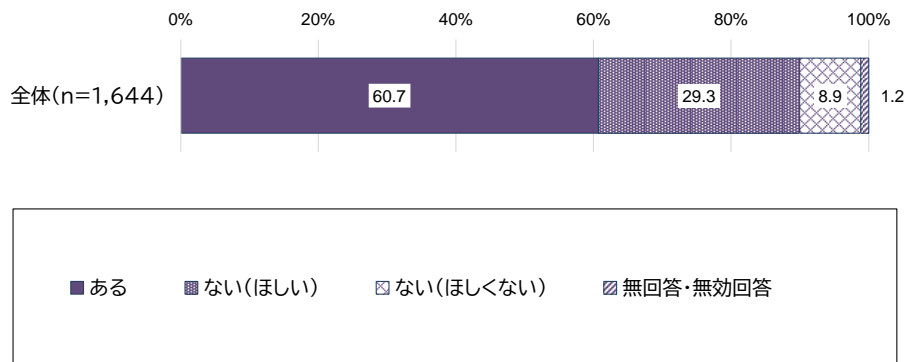


「けいたい電話・スマートフォン」については、「ある」が 60.7%、「ない(ほしい)」が 29.3%であった。前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は、今回調査は 60.7%、前回調査は 50.3%で、10.4ポイント増加した。

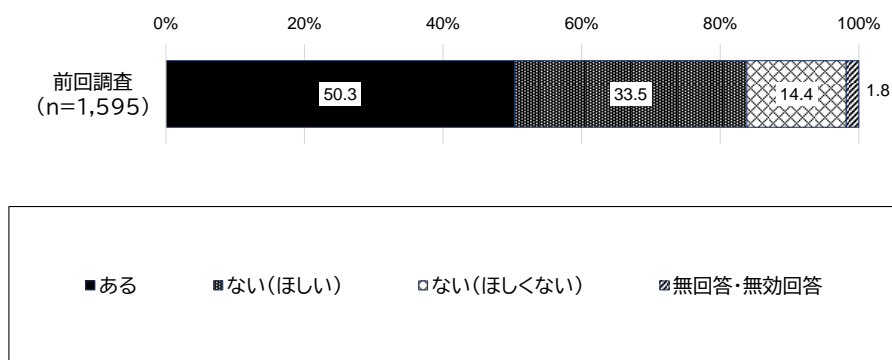
【小学5年生子ども問 14H】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 4-48 「けいたい電話・スマートフォン」の回答状況 (単純集計)



図表 4-49 「けいたい電話・スマートフォン」の回答状況（前回調査 単純集計）



テ 平日のスマートフォンの利用時間

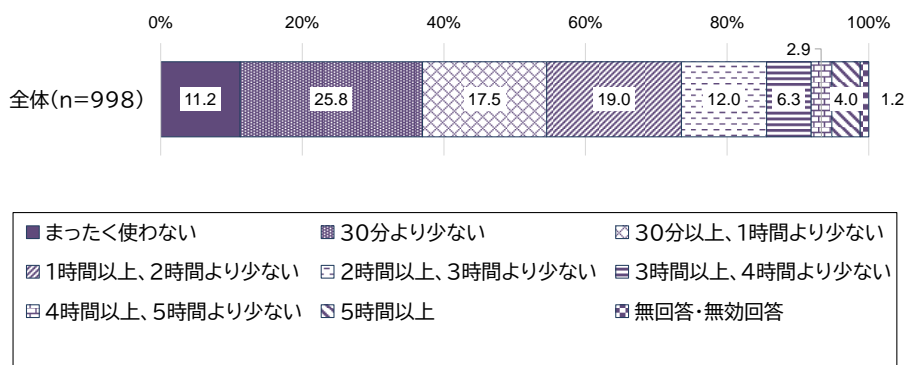
問 14H でけいたい電話・スマートフォンが1(ある)と回答した方について、平日のスマートフォンの利用時間(平均)は、「30分より少ない」が 25.8%と最も多く、以下、「1時間以上、2時間より少ない」が 19.0%、「30分以上、1時間より少ない」が 17.5%と続いていた。

生活満足 低位(n=52)では、「30分以上、1時間より少ない」が 21.2%と最も多く、以下、「30分より少ない」が 19.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が 15.4%と続いていた。

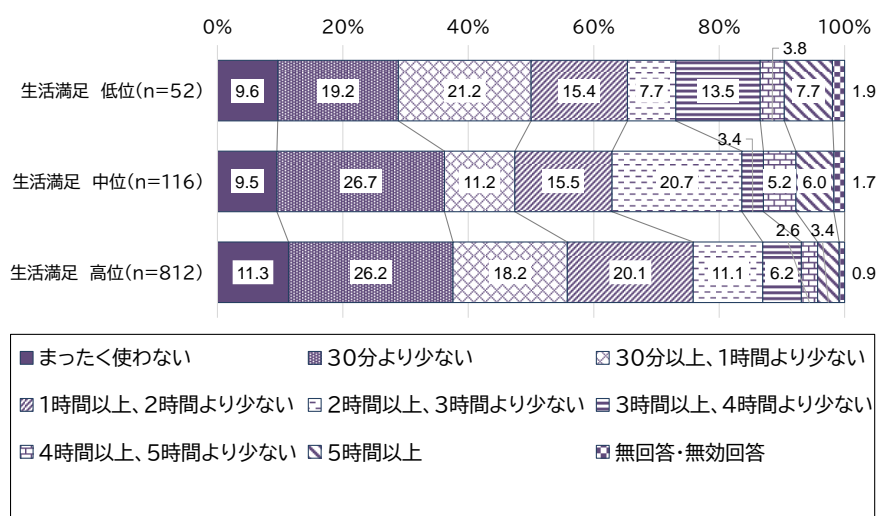
【小学5年生子ども問 15】

問 14 でけいたい電話・スマートフォンが「ある」と答えた人におききます。あなたは、平日(学校に行く日)に平均して、だいたい、どれくらいの時間、スマートフォンを使いますか。(単一回答)

図表 4-50 平日のスマートフォンの利用時間（単純集計）



図表 4-51 平日のスマートフォンの利用時間（生活満足度別クロス集計）



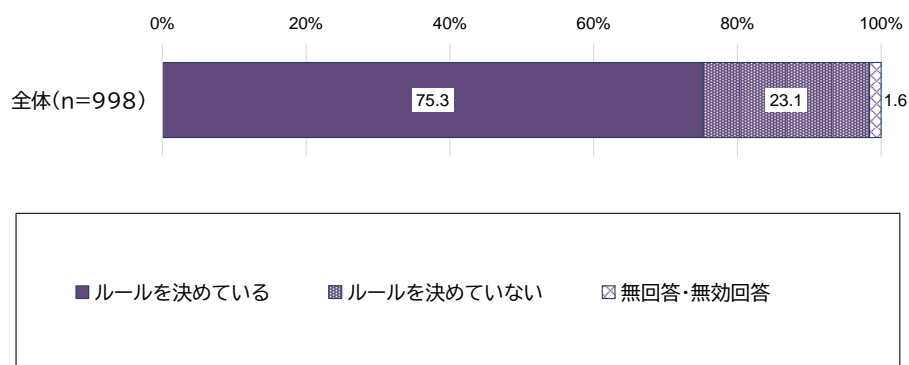
ト 家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用ルール

問 14H で「けいたい電話・スマートフォン」が1(ある)と回答した方について、家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用ルールとして、「ルールを決めている」が 75.3%、「ルールを決めていない」が 23.1%となっていた。

【小学5年生子ども問 15-1】

問 14 でけいたい電話・スマートフォンが「ある」と答えた人におききます。あなたは、けいたい電話・スマートフォンを使う時間など、使い方のルールを家の人と決めていますか。(単一回答)

図表 4-52 家庭内でのけいたい電話・スマートフォンの利用ルール（単純集計）



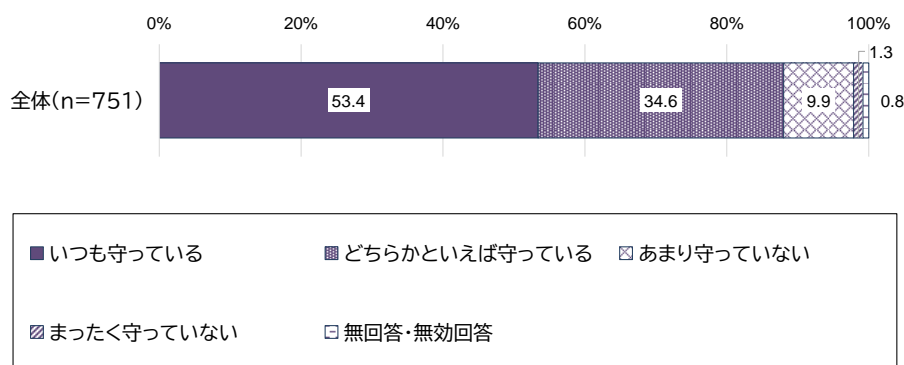
ナ 家庭内での携帯電話等の利用に関する約束の遵守

問 15-1 で1(ルールを決めている)と回答した方について、家庭内での携帯電話等に関する約束の遵守状況は、「いつも守っている」が 53.4%と最も多く、以下、「どちらかといえば守っている」が 34.6%、「あまり守っていない」が 9.9%となっていた。

【小学5年生子ども問 15-2】

問 15-1 で「1.ルールを決めている」と答えた人におききます。あなたは、けいたい電話・スマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。(単一回答)

図表 4-53 家庭内でのけいたい電話等の利用に関する約束の遵守 (単純集計)



二 平日のゲームの時間

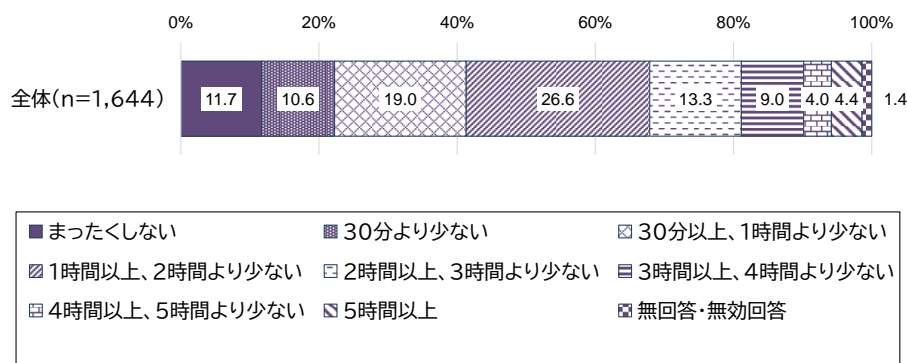
平日のゲーム時間(平均)については、「1時間以上、2時間より少ない」が 26.6%と最も多く、以下、「30分以上、1時間より少ない」が 19.0%、「2時間以上、3時間より少ない」が 13.3%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「1時間以上、2時間より少ない」が 22.1%と最も多く、以下、「2時間以上、3時間より少ない」が 18.6%、「まったくしない」が 15.1%と続いていた。

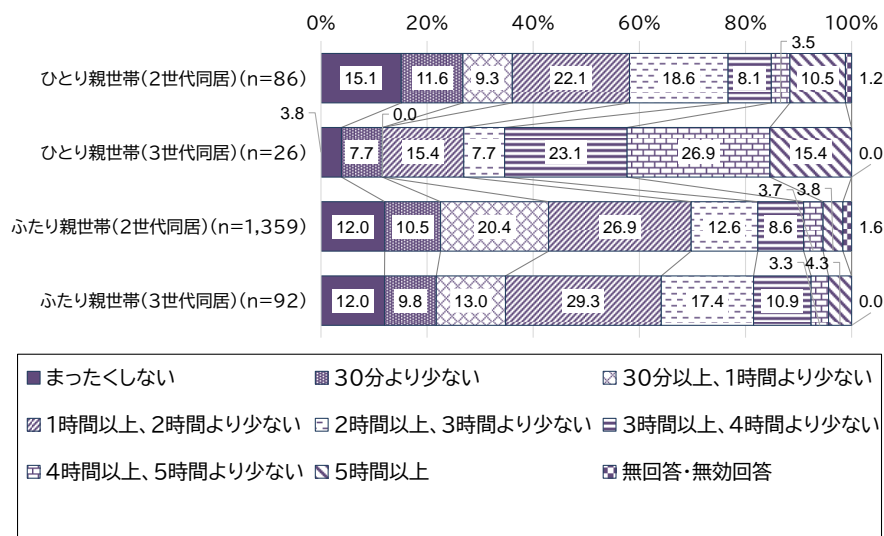
【小学5年生子ども問 16】

あなたは、平日(学校に行く日)に平均して、だいたい、どれくらいの時間、ゲームをしますか。(単一回答)

図表 4-54 平日のゲーム時間 (単純集計)



図表 4-55 平日のゲーム時間（世帯タイプ別クロス集計）



又 家庭内でのゲームで遊ぶ際のルール

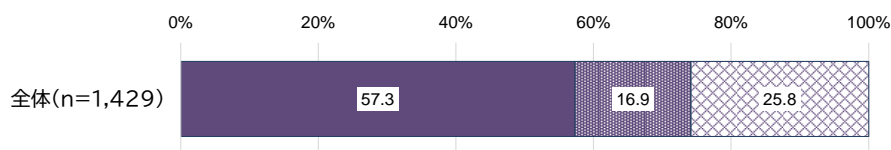
問 16 で 2～8(一定時間以上ゲームをしている)と回答した方について、家庭内でのゲームで遊ぶ際のルールとしては、「ルールを決めている」が 57.3%、「ルールを決めていない」が 16.9%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)では、「ルールを決めている」が 45.8%、「ルールを決めていない」が 27.8%となっていた。

【小学5年生子ども問 16-1】

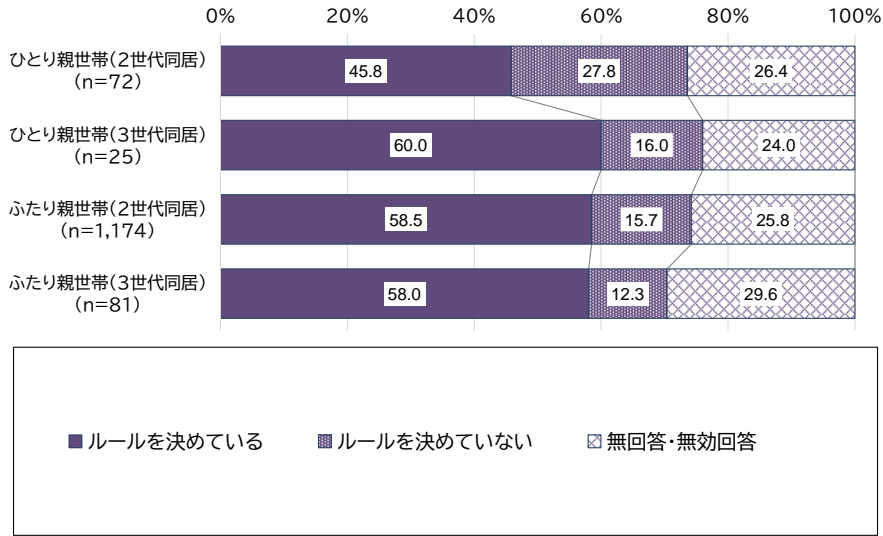
問 16 で「2. 30 分より少ない」～「8. 5 時間以上」と答えた人におきします。あなたは、ゲームをする時間などのルールを家の人と決めていきますか。(単一回答)

図表 4-56 家庭内でゲームで遊ぶ際のルール（単純集計）



■ ルールを決めている ■ ルールを決めていない □ 無回答・無効回答

図表 4-57 家庭内でゲームで遊ぶ際のルール（世帯タイプ別クロス集計）



ネ 家庭内でのゲームをする際の約束の遵守

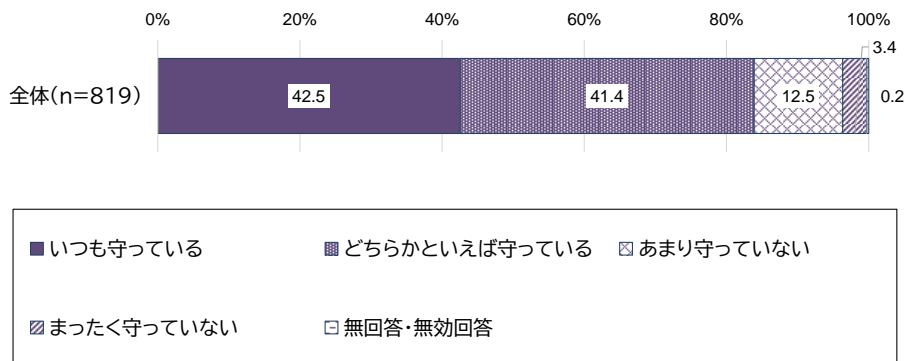
問 16-1 で 1(ルールを決めている)と回答している方について、家庭内でのゲームをする際の約束の遵守状況は、「いつも守っている」が 42.5%と最も多く、以下、「どちらかといえば守っている」が 41.4%、「あまり守っていない」が 12.5%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=33)では、「いつも守っている」が48.5%と最も多く、以下、「どちらかといえば守っている」が 27.3%、「あまり守っていない」が 15.2%と続いていた。

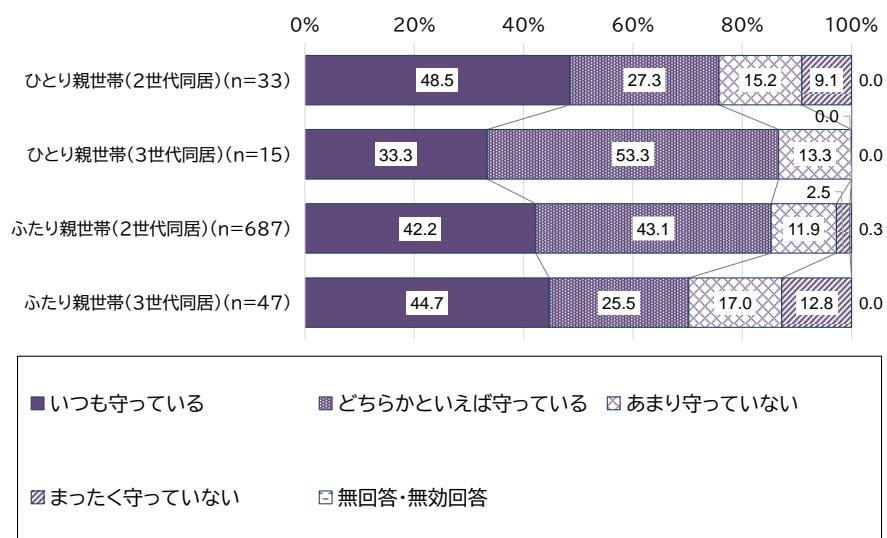
【小学5年生子ども問 16-2】

問 16-1 で「1.ルールを決めている」と答えた人におききます。あなたは、ゲームをする時間など家の人と約束したルールを守っていますか。(単一回答)

図表 4-58 家庭内でのゲームをする際の約束事の遵守（単純集計）



図表 4-59 家庭内でのゲームをする際の約束事の遵守（世帯タイプ別クロス集計）



(3) 学校のことや勉強のことについてうかがいます

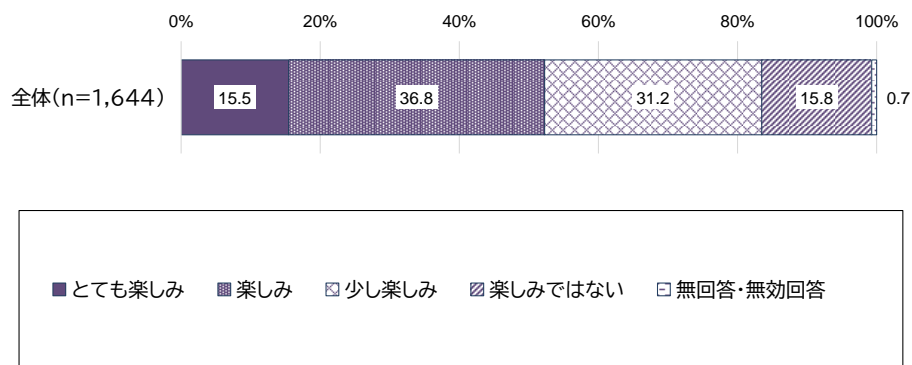
ア 学校生活での楽しみ

「授業」については、「とても楽しみ」が15.5%、「楽しみ」が36.8%であった。
 生活満足 低位(n=85)では、「とても楽しみ」が7.1%、「楽しみ」が14.1%であった。

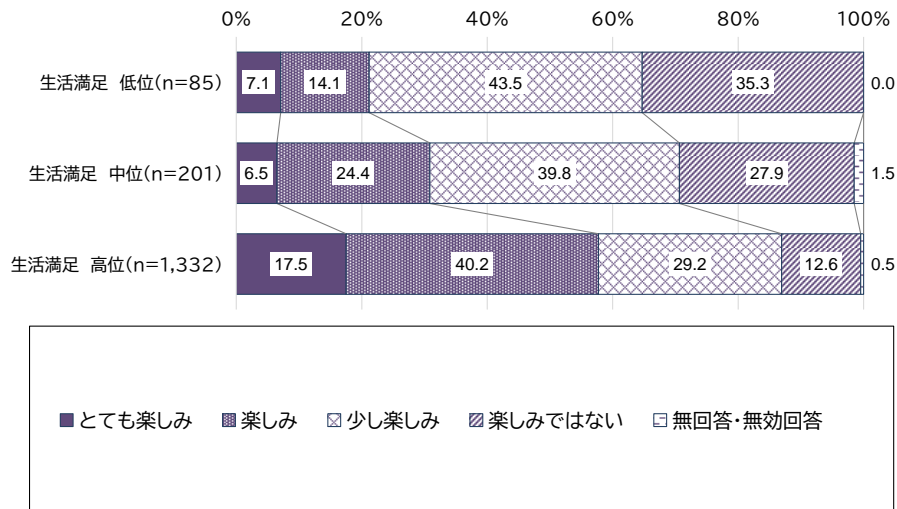
【小学5年生子ども問 17A】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-60 「授業」(単純集計)



図表 4-61 「授業」(生活満足度別クロス集計)

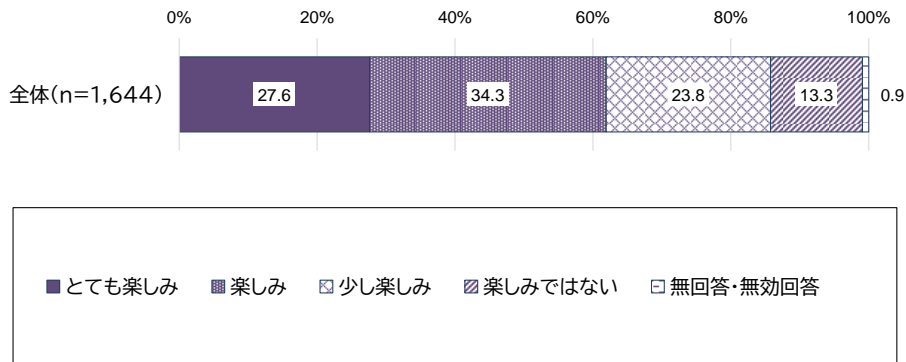


「先生に会うこと」については、「とても楽しみ」が 27.6%、「楽しみ」が 34.3%であった。
生活満足 低位(n=85)では、「とても楽しみ」が 22.4%、「楽しみ」が 21.2%であった。

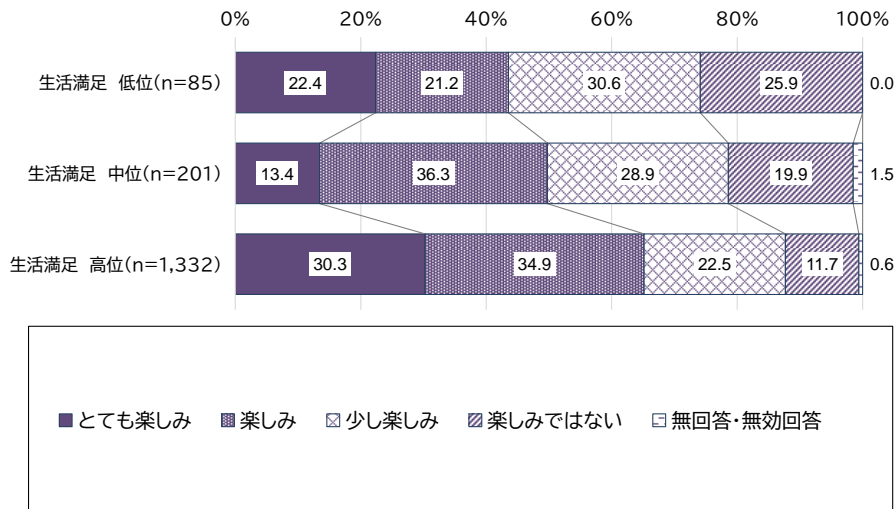
【小学5年生子ども問 17B】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」の
もっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-62 「先生に会うこと」(単純集計)



図表 4-63 「先生に会うこと」(生活満足度別クロス集計)



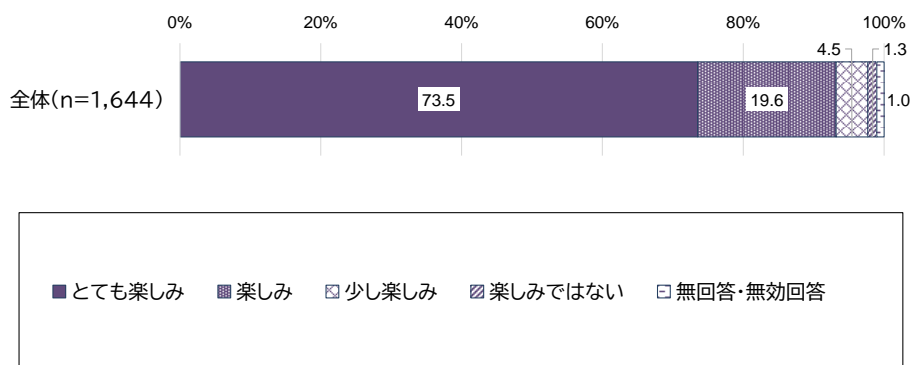
「友だちに会うこと」は、「とても楽しみ」が 73.5%、「楽しみ」が 19.6%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「とても楽しみ」が 56.5%、「楽しみ」が 21.2%であった。

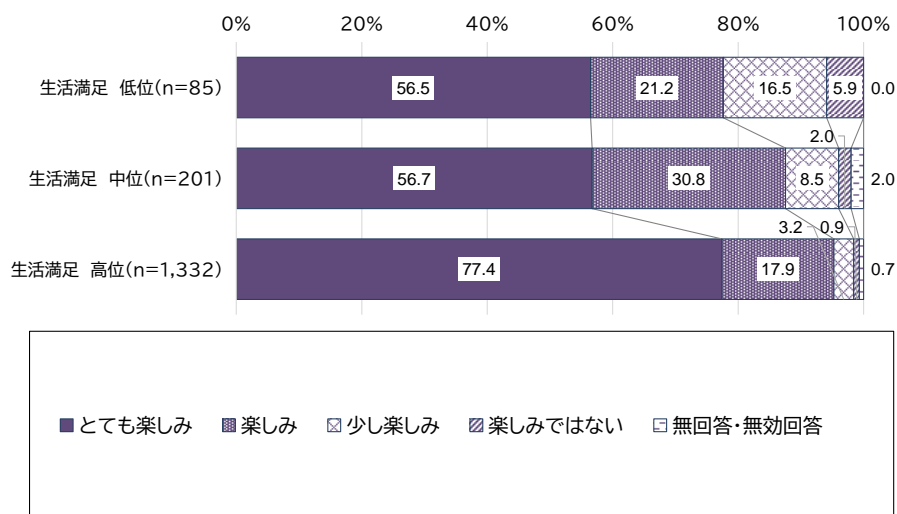
【小学5年生子ども問 17C】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-64 「友だちに会うこと」(単純集計)



図表 4-65 「友だちに会うこと」(生活満足度別クロス集計)



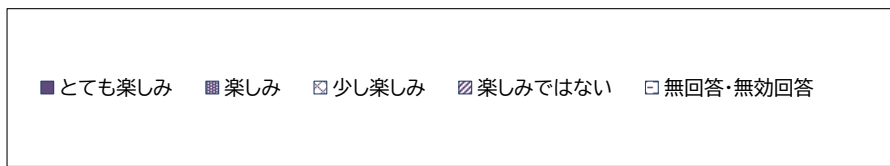
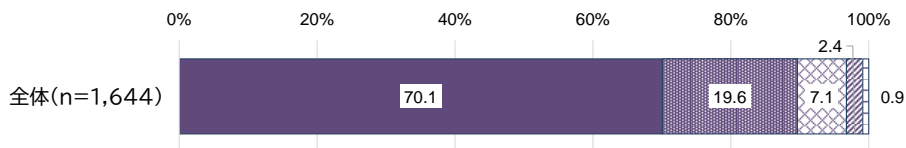
「休み時間」は、「とても楽しみ」が70.1%、「楽しみ」が19.6%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「とても楽しみ」が48.2%、「楽しみ」が21.2%であった。

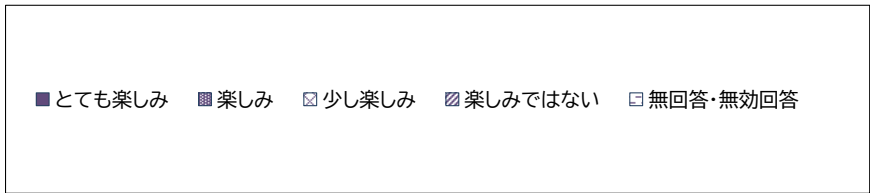
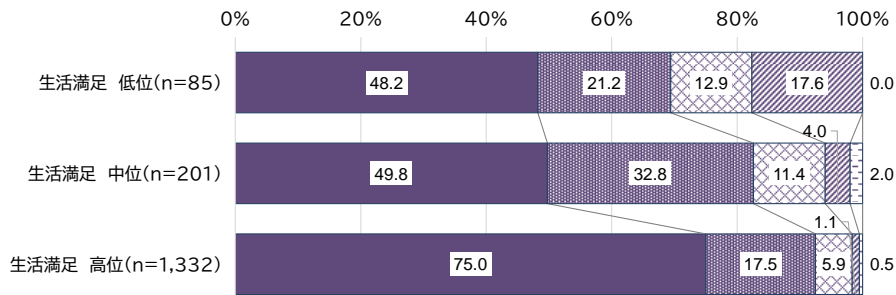
【小学5年生子ども問 17D】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-66 「休み時間」(単純集計)



図表 4-67 「休み時間」(生活満足度別クロス集計)

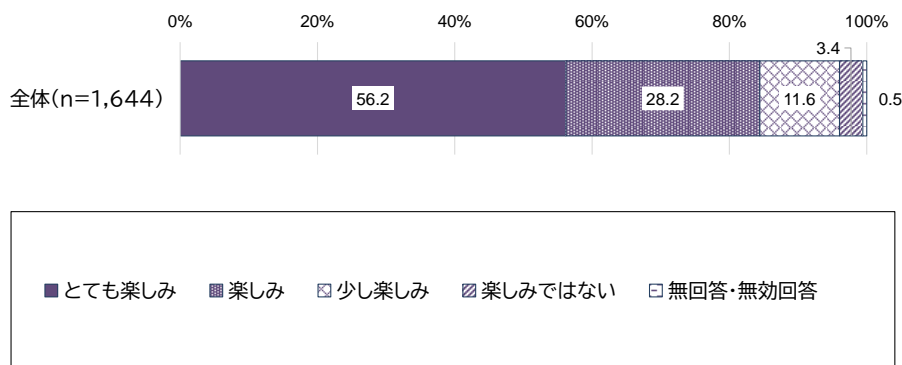


「給食」については、「とても楽しみ」が56.2%、「楽しみ」が28.2%であった。

【小学5年生子ども問 17E】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-68 「給食」(単純集計)



イ 授業の理解度

授業の理解度については、「だいたいわかる」が57.3%と最も多く、以下、「いつもわかる」が28.7%、「あまりわからない」が7.7%と続いていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「だいたいわかる」が53.5%と最も多く、以下、「いつもわかる」が20.9%、「あまりわからない」が16.3%と続いていた。

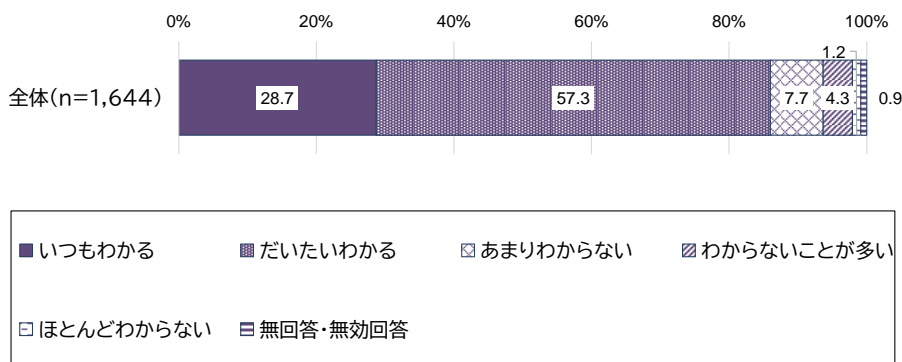
困窮層(n=44)では、「だいたいわかる」が47.7%と最も多く、以下、「あまりわからない」が22.7%、「いつもわかる」が13.6%と続いていた。

生活満足 低位(n=85)では、「だいたいわかる」が52.9%と最も多く、以下、「いつもわかる」が16.5%、「わからないことが多い」が14.1%と続いていた。

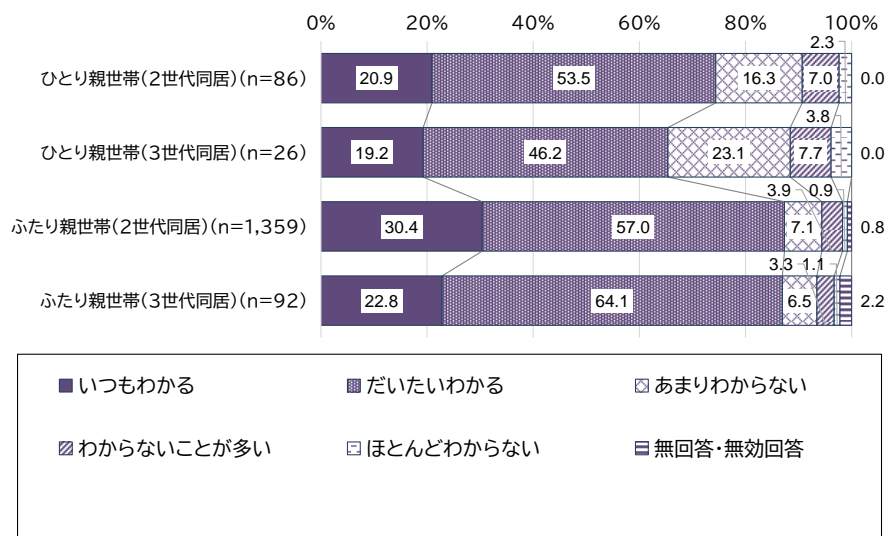
【小学5年生子ども問 18】

あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単一回答)

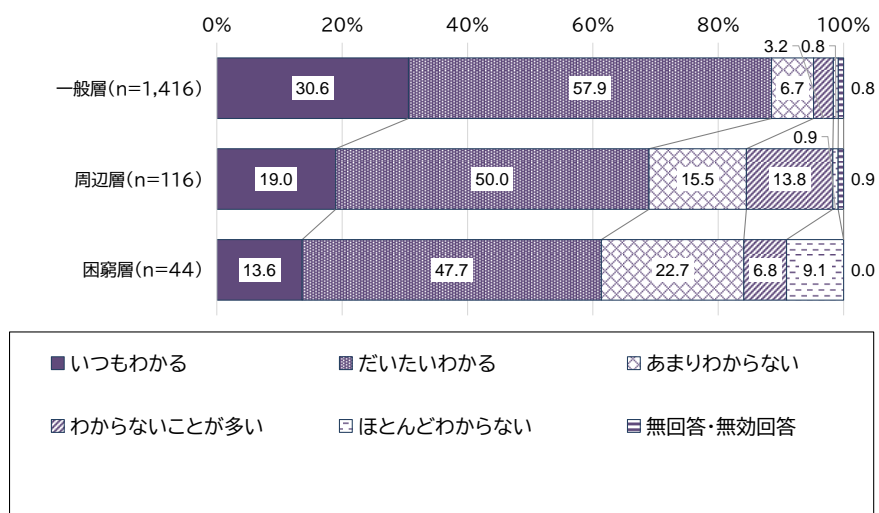
図表 4-69 授業の理解度 (単純集計)



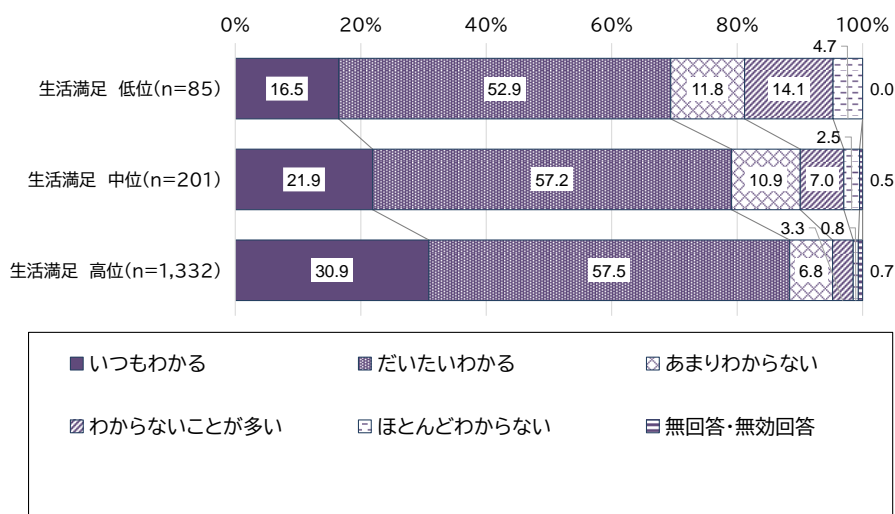
図表 4-70 授業の理解度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 4-71 授業の理解度（生活困難層別クロス集計）



図表 4-72 授業の理解度（生活満足度別クロス集計）



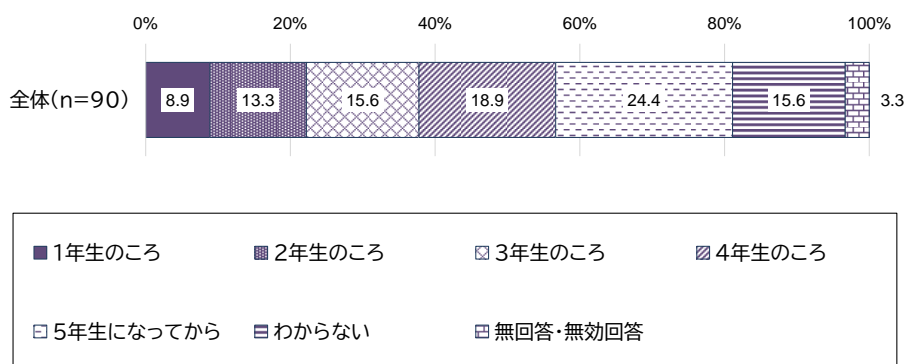
ウ 授業がわからなくなった時期

問 18 で 4 または 5(わからないことが多い・ほとんどわからない)を回答した方について、学校の授業がわからなくなった時期は、「5年生になってから」が 24.4%と最も多く、以下、「4年生のころ」が 18.9%、「3年生のころ」「わからない」がそれぞれ 15.6%となっていた。

【小学5年生子ども問 18-1】

問 18 で「4.わからないことが多い」または「5.ほとんどわからない」と答えた人におききします。いつごろから、授業がわからなくなりましたか。(単一回答)

図表 4-73 授業がわからなくなった時期（単純集計）



工 家庭での学習状況

「学校の宿題をしている」については、「している」が 84.1%、「どちらかといえばしている」が 10.3%であった。

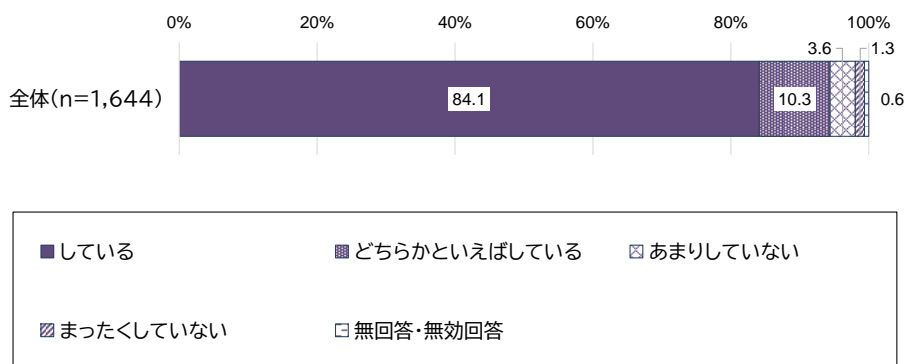
困窮層(n=44)では、「している」が 70.5%、「どちらかといえばしている」が 18.2%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「している」が 69.4%、「どちらかといえばしている」が 14.1%であった。

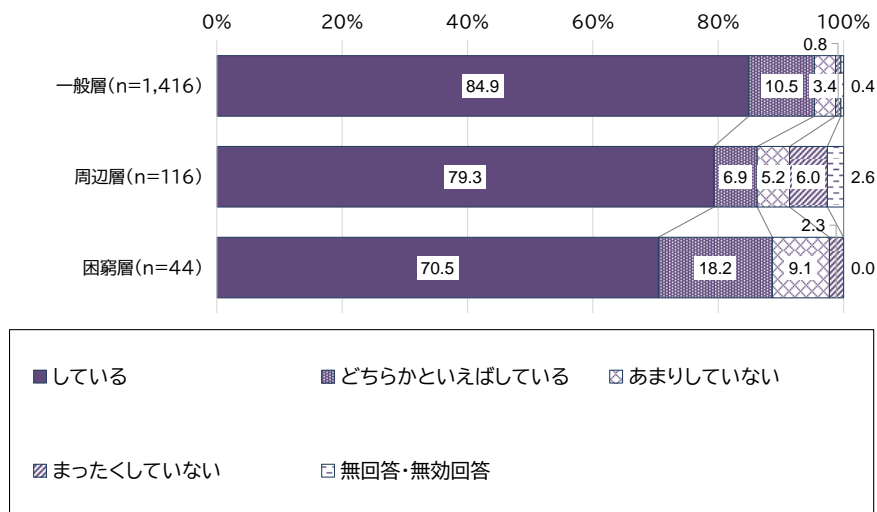
【小学5年生子ども問 19A】

あなたは、家で次のようなことをしていますか。(単一回答)

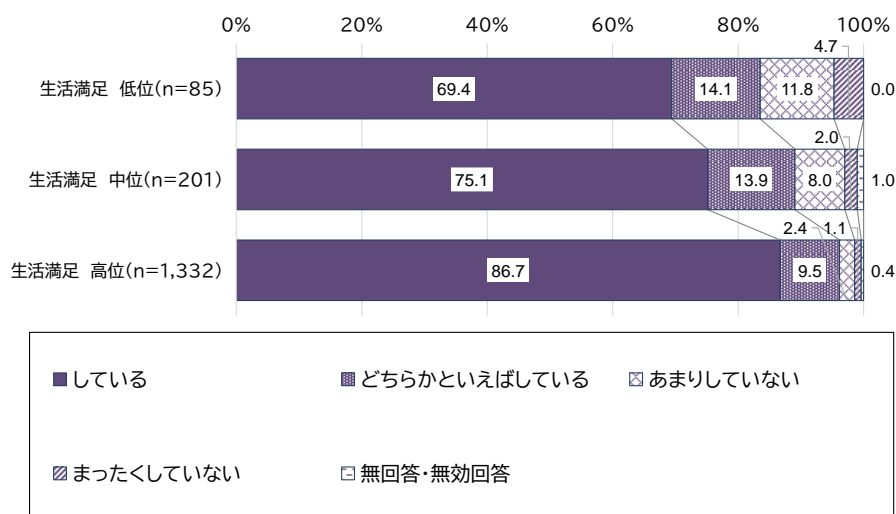
図表 4-74 「学校の宿題をしている」の回答割合 (単純集計)



図表 4-75 「学校の宿題をしている」の回答割合 (生活困難層別クロス集計)



図表 4-76 「学校の宿題をしている」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

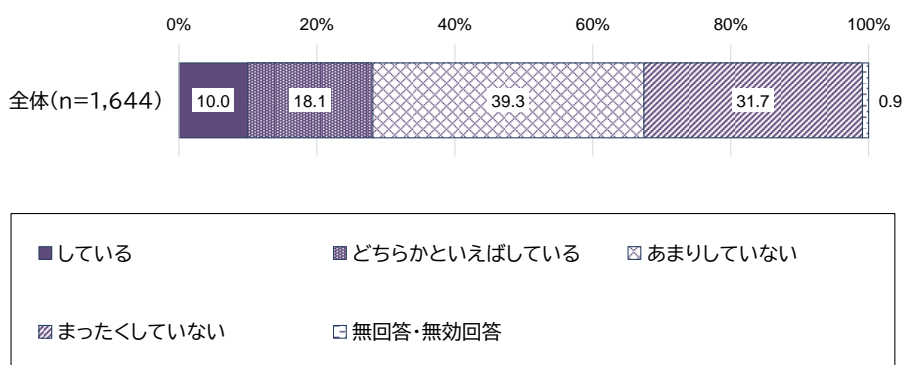


「学校の授業の復習をしている」については、「している」が 10.0%、「どちらかといえばしている」が 18.1%であった。
 前回調査と比較すると、「まったくしていない」と回答した割合は、今回調査は 31.7%、前回調査は 25.0%で、6.7 ポイント増加した。

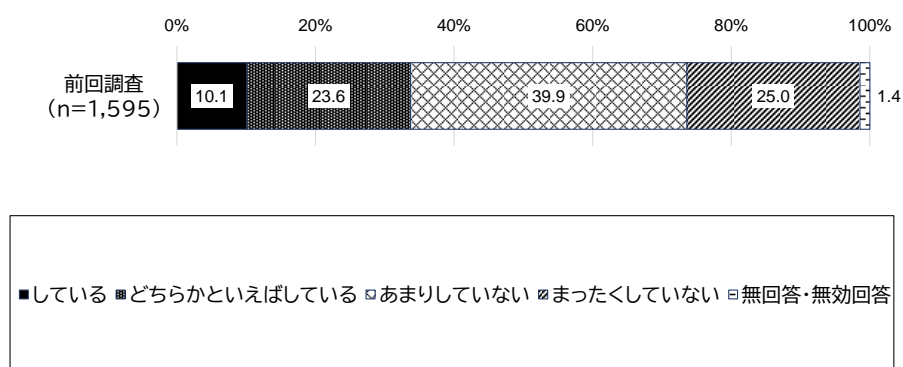
【小学5年生子ども問 19B】

あなたは、家で次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 4-77 「学校の授業の復習をしている」の回答割合（単純集計）



図表 4-78 「学校の授業の復習をしている」の回答割合（前回調査 単純集計）

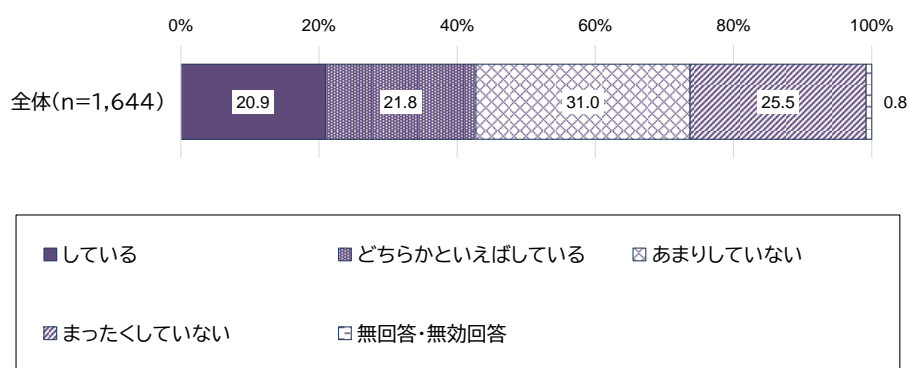


「自分で計画を立てて勉強をしている」については、「している」が 20.9%、「どちらかといえばしている」が 21.8%であった。

【小学5年生子ども問 19C】

あなたは、家で次のようなことをしていますか。（単一回答）

図表 4-79 「自分で計画を立てて勉強をしている」の回答割合（単純集計）



オ 平日の学校以外での勉強時間

平日の学校以外での勉強時間(1日あたり)については、「30分以上、1時間より少ない」が28.5%と最も多く、以下、「30分より少ない」が26.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が19.5%と続いていた。

前回調査と比較すると、「まったくしない」が「30分より少ない」と回答した割合は、今回調査は33.9%、前回調査は26.1%で、7.8ポイント増加した。

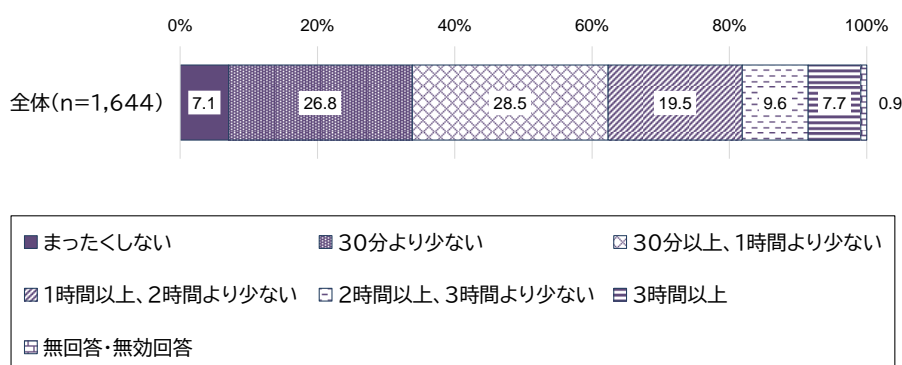
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「30分より少ない」が33.7%と最も多く、以下、「30分以上、1時間より少ない」が23.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が17.4%と続いていた。

困窮層(n=44)では、「30分より少ない」が36.4%と最も多く、以下、「30分以上、1時間より少ない」が27.3%、「まったくしない」が20.5%と続いていた。

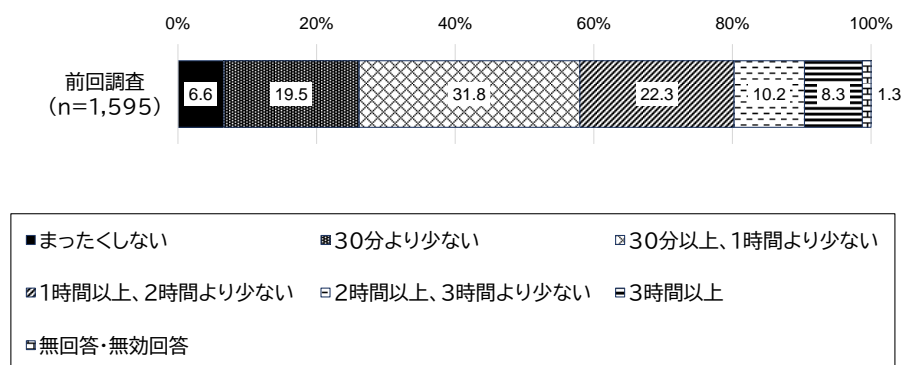
【小学5年生子ども問 20】

あなたは、平日(学校に行く日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。(単一回答)

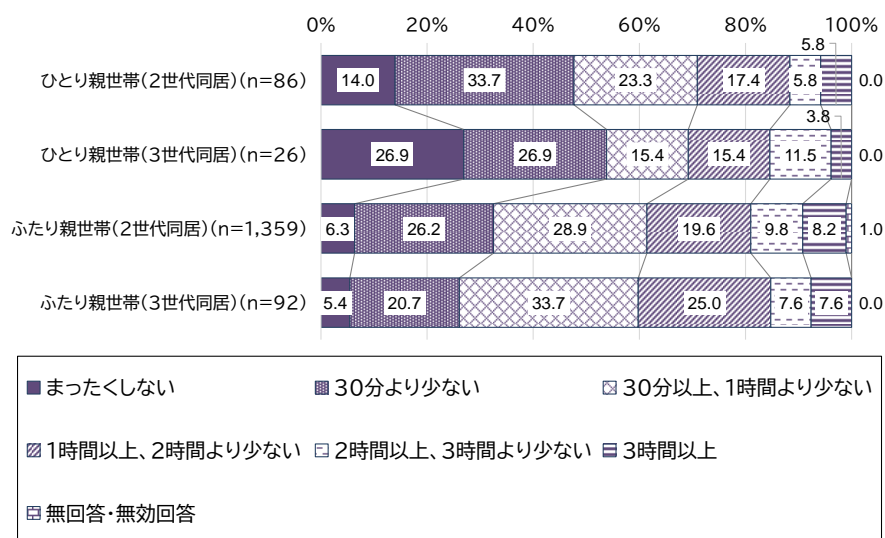
図表 4-80 平日の学校以外での勉強時間 (単純集計)



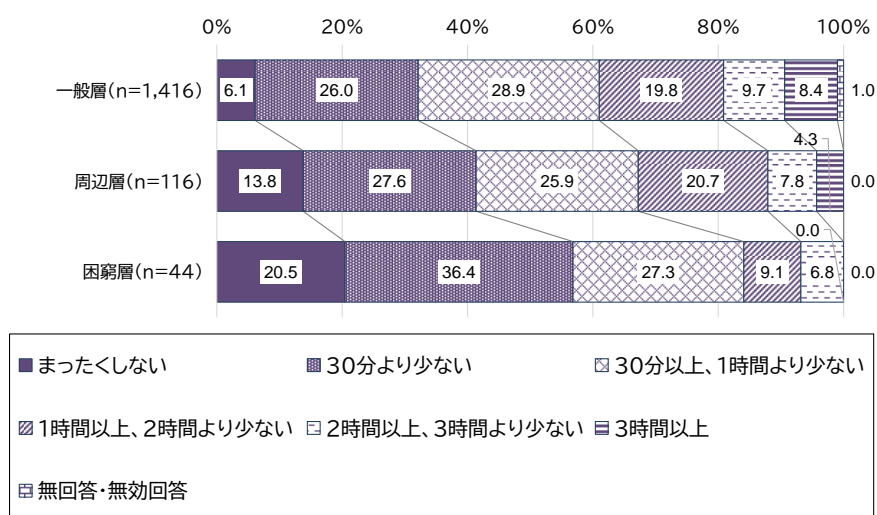
図表 4-81 平日の学校以外での勉強時間 (前回調査 単純集計)



図表 4-82 平日の学校以外での勉強時間（世帯タイプ別クロス集計）



図表 4-83 平日の学校以外での勉強時間（生活困難層別クロス集計）



カ 学校への遅刻の頻度

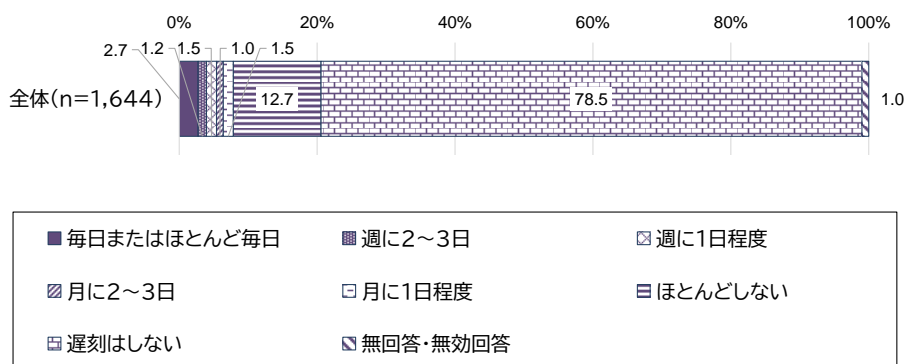
学校への遅刻の頻度について、「遅刻はしない」が 78.5%と最も多く、以下、「ほとんどしない」が 12.7%、「毎日またはほとんど毎日」が 2.7%と続いていた。

生活満足 低位(n=85)では、「遅刻はしない」が 56.5%と最も多く、以下、「ほとんどしない」が 18.8%、「毎日またはほとんど毎日」「月に1日程度」が 5.9%と続いていた。

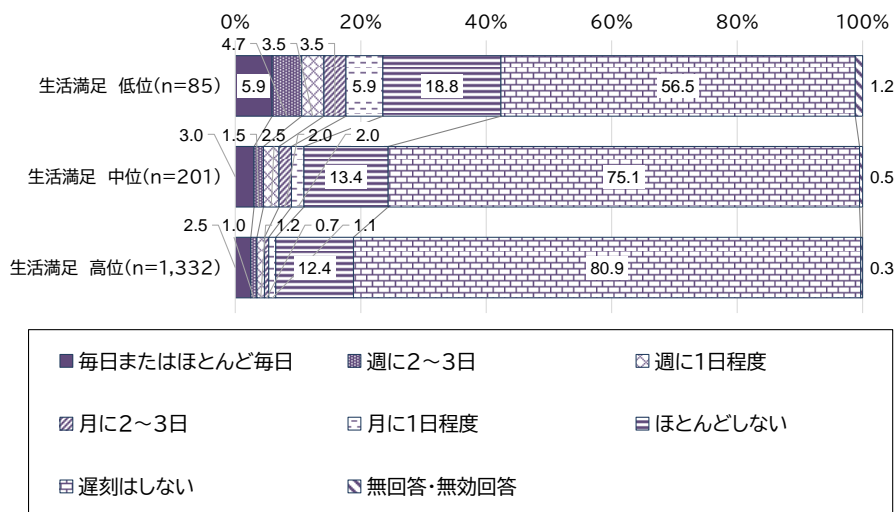
【小学5年生子ども問 21】

あなたは、学校に遅刻することがありますか。(単一回答)

図表 4-84 学校への遅刻 (単純集計)



図表 4-85 学校への遅刻 (生活満足度別クロス集計)



(4) あなたがふだん考えていることについてうかがいます

ア 将来の夢

将来の夢については、「ある」が68.9%、「ない」が30.3%となっていた。

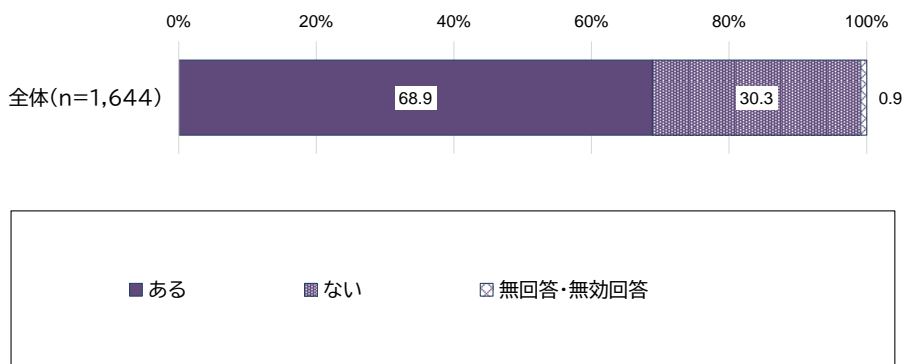
前回調査と比較すると、「ない」と回答した割合は、今回調査は68.9%、前回調査は72.0%で、5.3ポイント増加した。

生活満足 低位(n=85)では、「ある」が57.6%と最も多く、「ない」が42.4%となっていた。

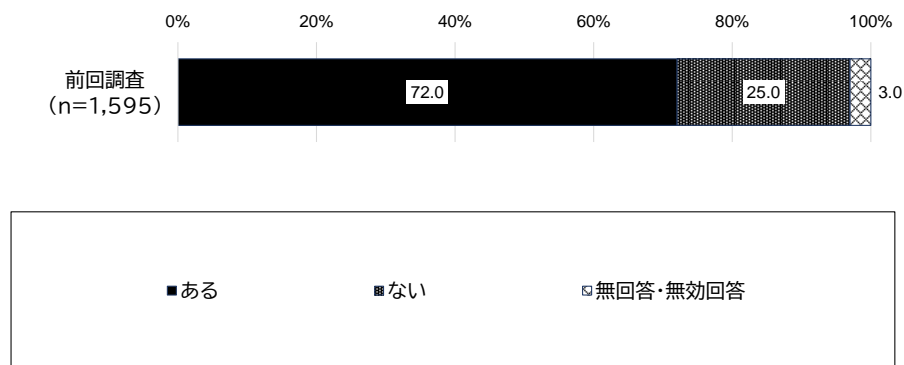
【小学5年生子ども問 22】

あなたは、将来の夢がありますか。(単一回答)

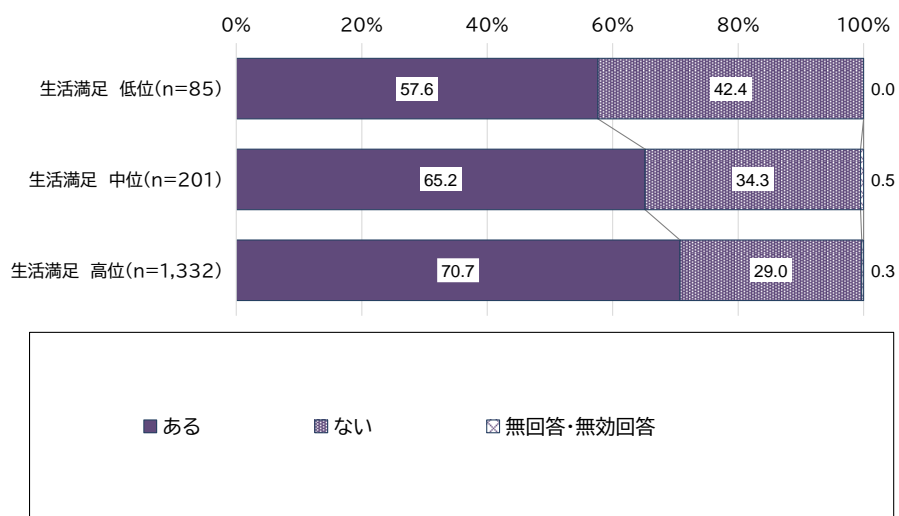
図表 4-86 将来の夢 (単純集計)



図表 4-87 将来の夢 (前回調査 単純集計)



図表 4-88 将来の夢（生活満足度別クロス集計）



イ 将来の夢の内容(自由記述)

問 22 で将来の夢が1(ある)と回答した方に、夢の内容を尋ねたところ合計 1098 件の回答が寄せられた。

特に多かった職業は、「サッカー選手」「YouTuber」「野球選手」「イラストレーター」「保育士」「医者」「美容師」「看護師」「学校の先生」「バスケットボール選手」「警察官」となっていた。

自由記述内に多く使われた単語ほど、大きな文字で表示するワードクラウド³²の手法により、将来の夢の記述内容を視覚化した結果を掲載した。

【小学5年生子ども問 22-1】

問 22 で将来の夢が「1.ある」と答えた人におききします。その夢は何ですか。(自由記述)

図表 4-89 将来の夢の内容 (自由記述から作成したワードクラウド)



³² ワードクラウドとは、テキストデータの中の単語を出現頻度に合わせて大小をつけて視覚化する手法。自由記述に含まれる単語の出現頻度が多いほど文字サイズを大きく表示している。なお、各単語の文字の色の濃さが異なっているが、単語の出現頻度等とは無関係である。

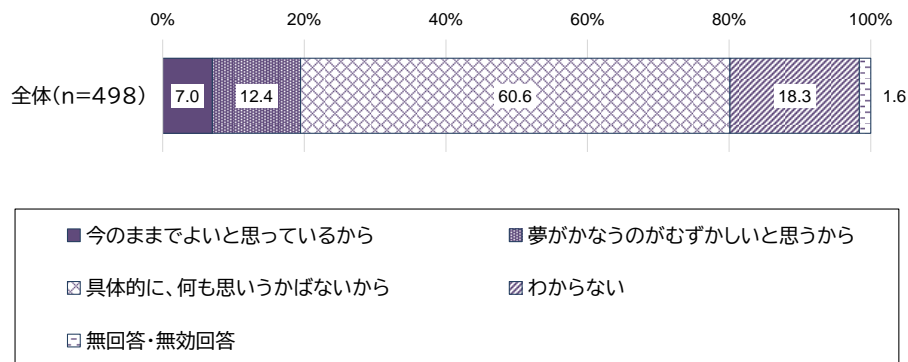
ウ 夢がない理由

問 22 で 2(ない)と回答した方について、夢がない理由としては、「具体的に、何も思いうかばないから」が 60.6%と最も多く、以下、「わからない」が 18.3%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」が 12.4%と続いていた。

【小学5年生子ども問 22-2】

問 22 で将来の夢が「2.ない」と答えた人におききします。夢がない理由は何ですか。(単一回答)

図表 4-90 夢がない理由 (単純集計)



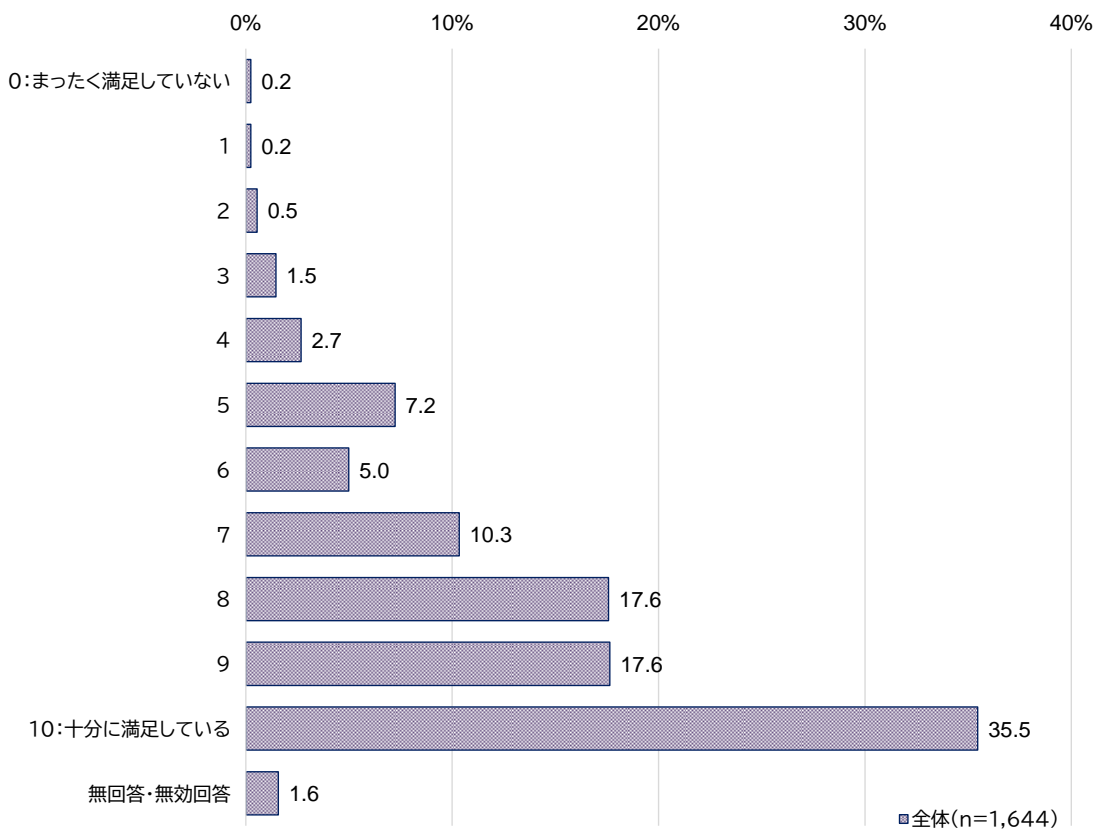
工 生活満足度

生活満足度については、「0～4」と回答した割合の合計は 5.1%、「5～6」と回答した割合の合計は 12.2%、「7～10」と回答した割合の合計は 81.0%であった。

【小学5年生子ども問 23】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(単一回答)

図表 4-91 生活満足度 (単純集計)



オ 自分の思いや気持ちについて

「自分のことが好きだ」については、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は64.7%であった。

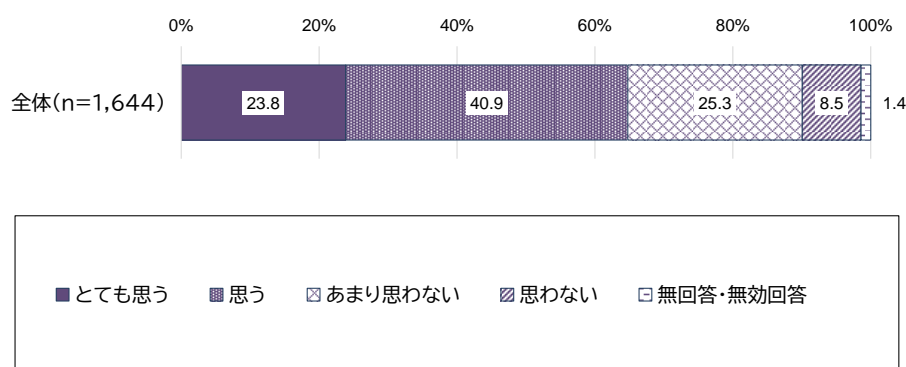
前回調査と比較すると、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は、前回調査は58.7%で、6.0ポイント増加した。

生活満足 低位(n=85)では、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は30.6%であった。

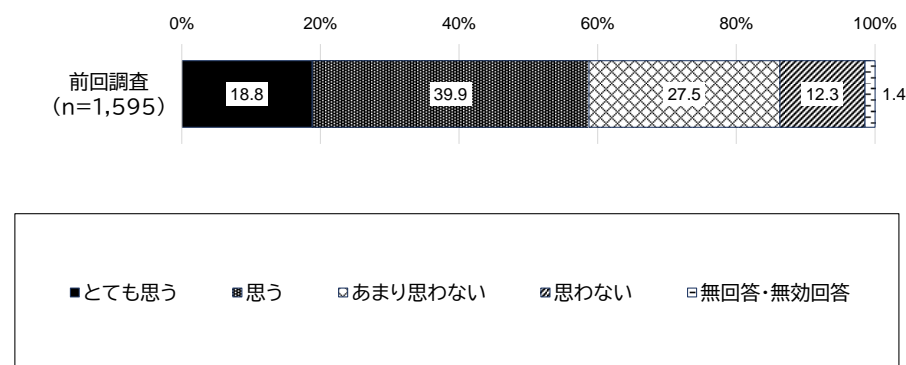
【小学5年生子ども問 24A】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

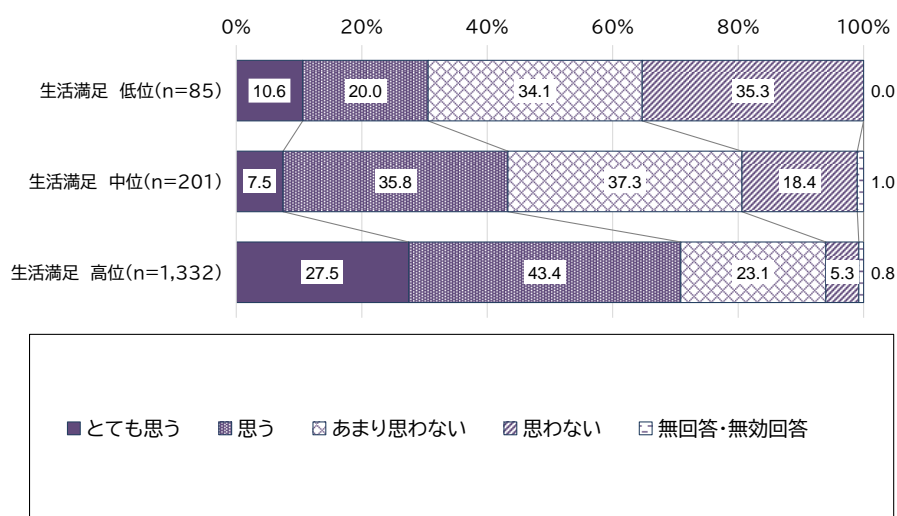
図表 4-92 「自分のことが好きだ」の回答割合 (単純集計)



図表 4-93 「自分のことが好きだ」の回答割合 (前回調査 単純集計)



図表 4-94 「自分のことが好きだ」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

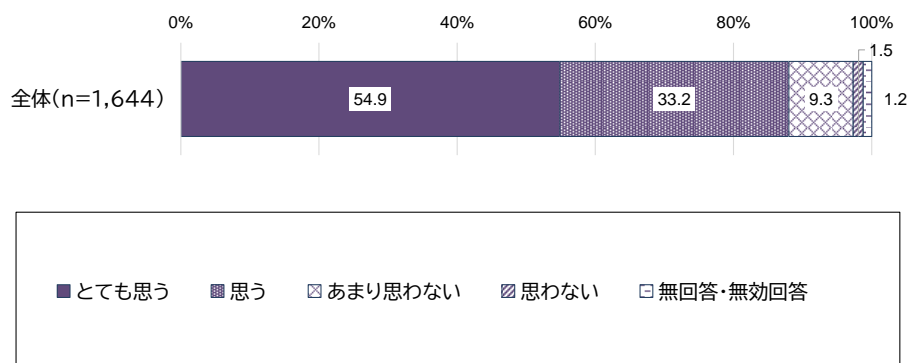


「楽しみにしていることがたくさんある」については、楽しみにしていることがたくさんある（「とても思う」、「思う」の合計）と回答した割合は 88.1%であった。

【小学5年生子ども問 24B】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-95 「楽しみにしていることがたくさんある」の回答割合（単純集計）



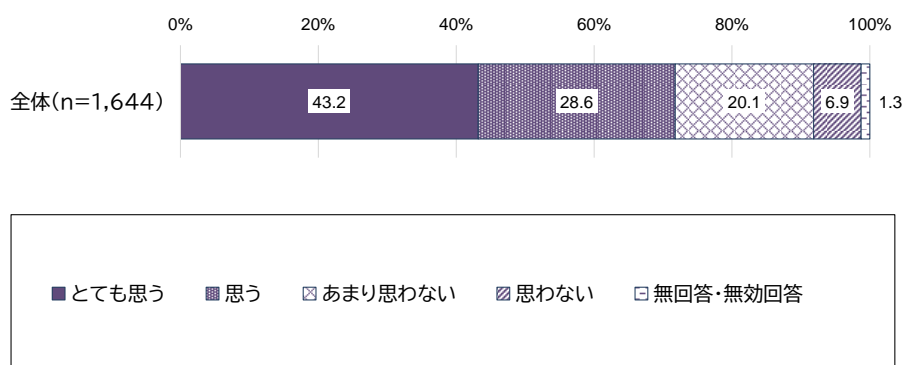
「自分の将来が楽しみだ」については、自分の将来が楽しみだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 71.8%であった。

生活満足 低位(n=85)では、自分の将来が楽しみだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 51.8%であった。

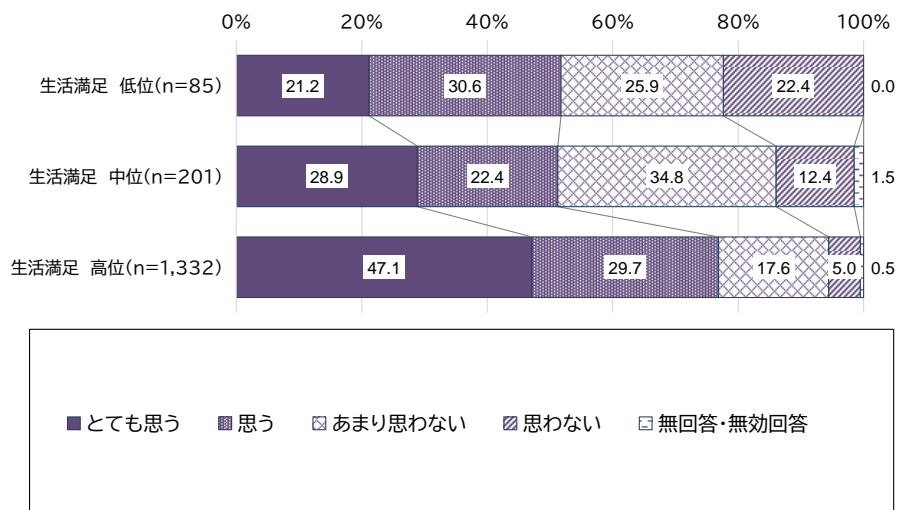
【小学5年生子ども問 24C】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-96 「自分の将来が楽しみだ」の回答割合 (単純集計)



図表 4-97 「自分の将来が楽しみだ」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)

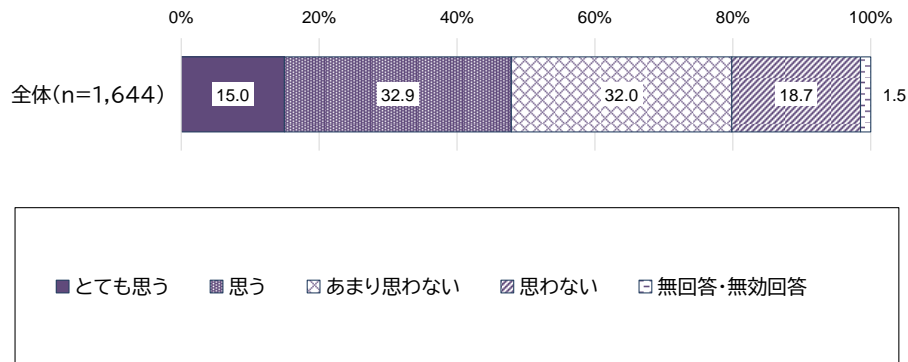


「不安に感じることもある」については、不安に感じることもある(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は47.9%であった。

【小学5年生子ども問 24D】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-98 「不安に感じることもある」の回答割合 (単純集計)

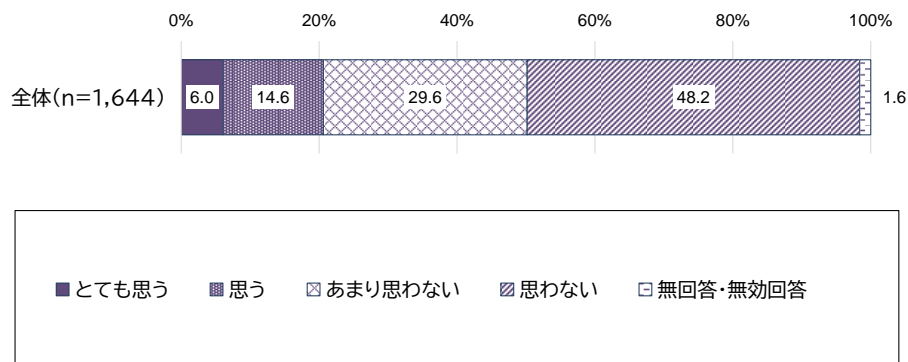


「ひとりぼっちだと感じることもある」については、ひとりぼっちだと感じることもある(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は20.6%であった。
 生活満足 低位(n=85)では、ひとりぼっちだと感じることもある(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は50.6%であった。

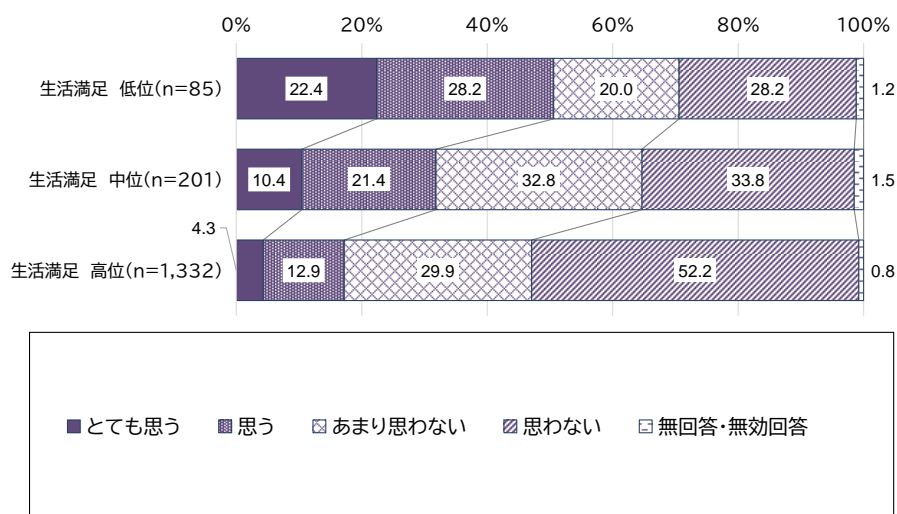
【小学5年生子ども問 24E】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-99 「ひとりぼっちだと感じることもある」の回答割合 (単純集計)



図表 4-100 「ひとりぼっちだと感じることもある」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

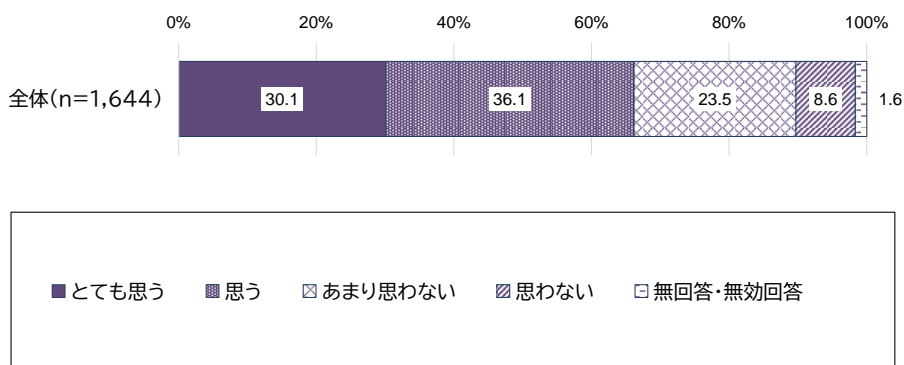


「落ち込んでいてもすぐに元気になれる」については、落ち込んでいてもすぐに元気になれる（「とても思う」、「思う」の合計）と回答した割合は 66.2%であった。

【小学5年生子ども問 24F】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-101 「落ち込んでいてもすぐに元気になれる」の回答割合（単純集計）



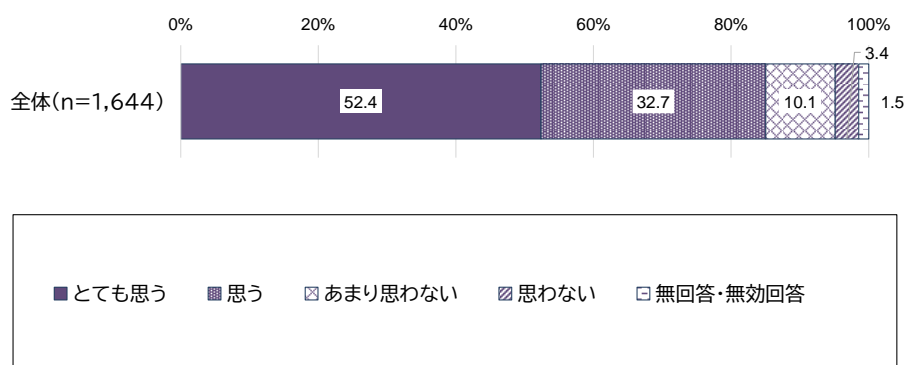
「がんばれば、よい結果が出ると思う」については、がんばれば、よい結果が出ると思う(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 85.1%であった。

困窮層(n=44)では、がんばれば、よい結果が出ると思う(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 75.0%であった。

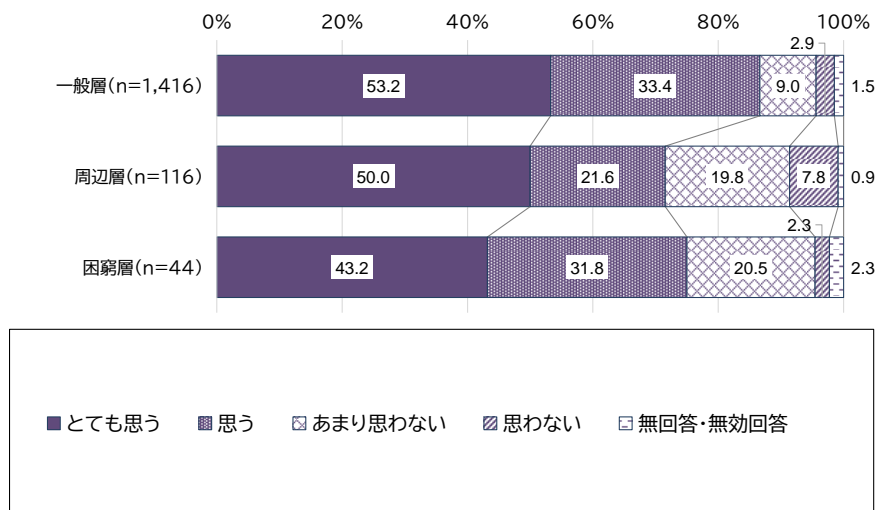
【小学5年生子ども問 24G】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-102 「がんばれば、よい結果が出ると思う」の回答割合 (単純集計)



図表 4-103 「がんばれば、よい結果が出ると思う」の回答割合 (生活困難層別クロス集計)



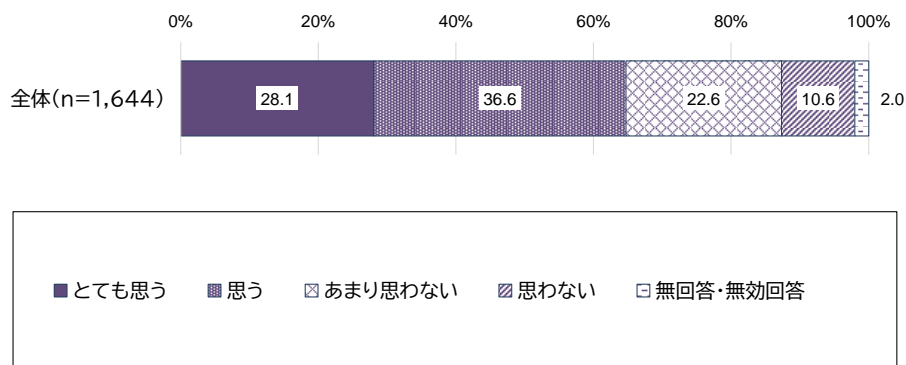
「自分は価値のある人間だと思う」については、自分は価値のある人間だと思う(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 64.7%であった。

生活満足 低位(n=85)では、自分は価値のある人間だと思う(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 24.7%であった。

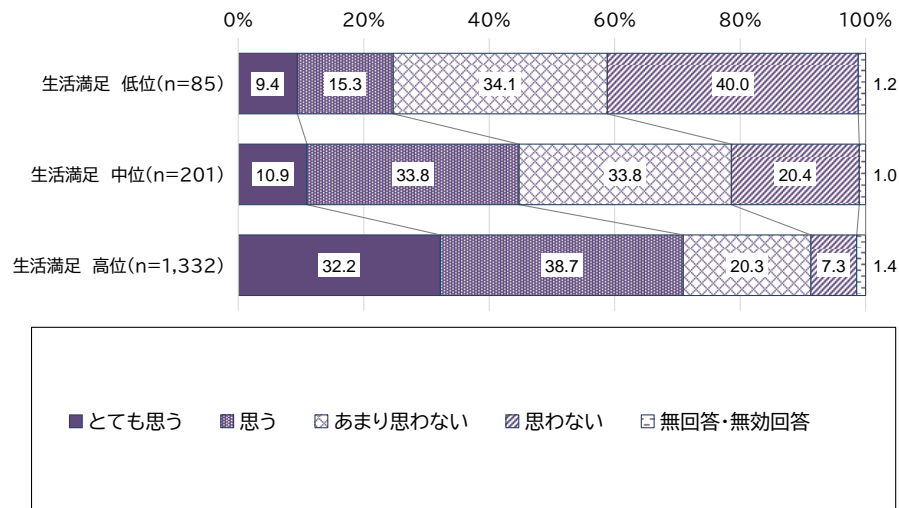
【小学5年生子ども問 24H】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 4-104 「自分は価値のある人間だと思う」の回答割合 (単純集計)



図表 4-105 「自分は価値のある人間だと思う」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)



カ 悩み等の相談相手

悩み等の相談相手については、「だれにも相談したくない・できない」が 8.3%であった。相談相手としては、「お母さん・お父さん」が 75.2%、「学校の友だち」が 47.0%、「担任の先生」が 21.5%であった。

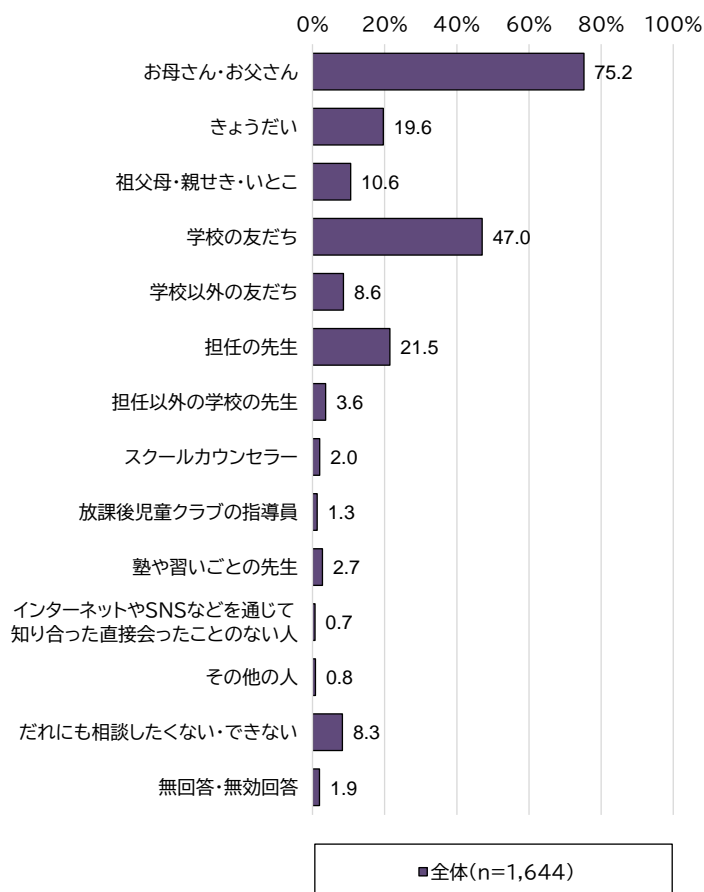
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「だれにも相談したくない・できない」が 10.5%であった。相談相手としては、「お母さん・お父さん」が 70.9%、「学校の友だち」が 43.0%、「祖父母・親せき・いとこ」が 22.1%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「だれにも相談したくない・できない」が 29.4%であった。相談相手としては、「お母さん・お父さん」が 50.6%、「学校の友だち」が 30.6%、「担任の先生」が 8.2%であった。

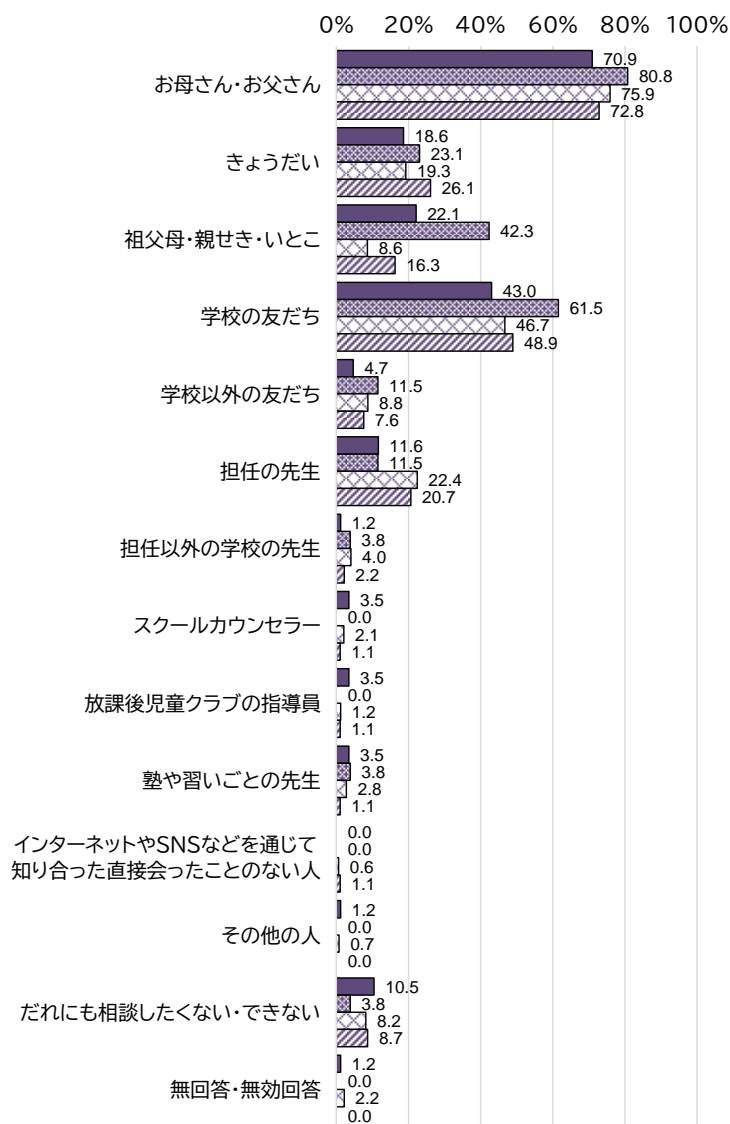
【小学5年生子ども問 25】

あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか(だれに話しますか)。(複数回答)

図表 4-106 悩みの相談相手 (単純集計)

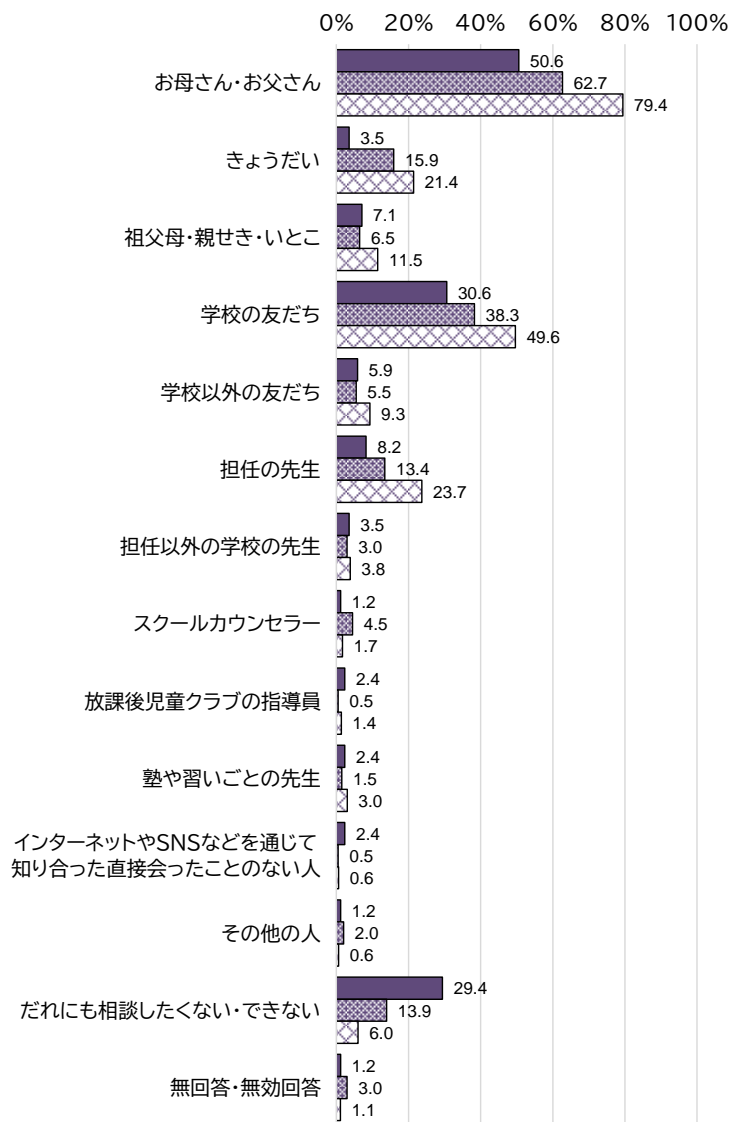


図表 4-107 悩みの相談相手（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)	■ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,359)	□ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 4-108 悩みの相談相手（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=85) ■生活満足 中位(n=201) □生活満足 高位(n=1,332)

キ 支援ニーズ

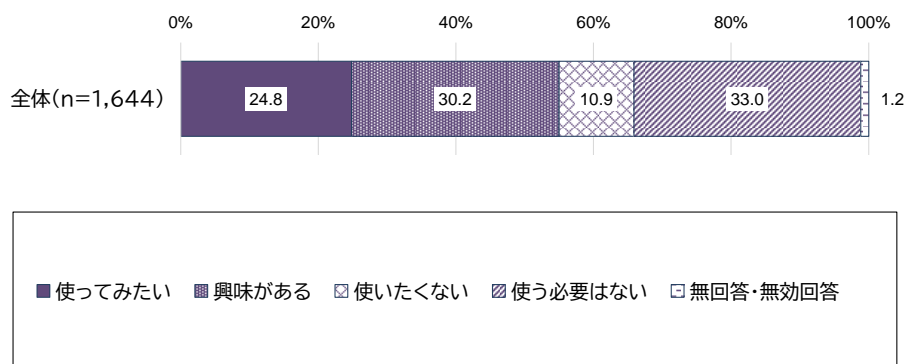
「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」については、「使ってみたい」が 24.8%、「興味がある」が 30.2%であった。

前回調査と比較すると、「使ってみたい」が「興味がある」と回答した割合の合計は、今回調査は 55.0%、前回調査は 43.5%で、11.5 ポイント増加した。

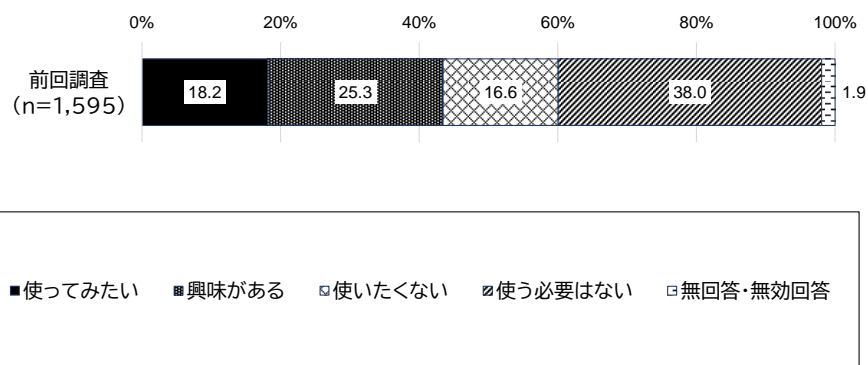
【小学5年生子ども問 26A】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 4-109 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」の回答割合 (単純集計)



図表 4-110 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」の回答割合 (前回調査 単純集計)



「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時より遅い時間にいることができる場所」については、「使ってみたい」が 12.0%、「興味がある」が 17.6%であった。

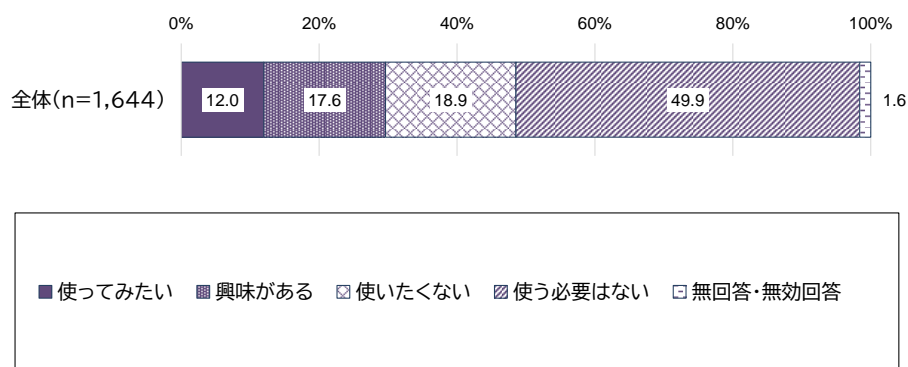
前回調査と比較すると、「使ってみたい」か「興味がある」と回答した割合の合計は、今回調査は 29.6%、前回調査は 21.6%で、8.0 ポイント増加した。

生活満足 低位(n=85)では、「使ってみたい」が 22.4%、「興味がある」が 14.1%であった。

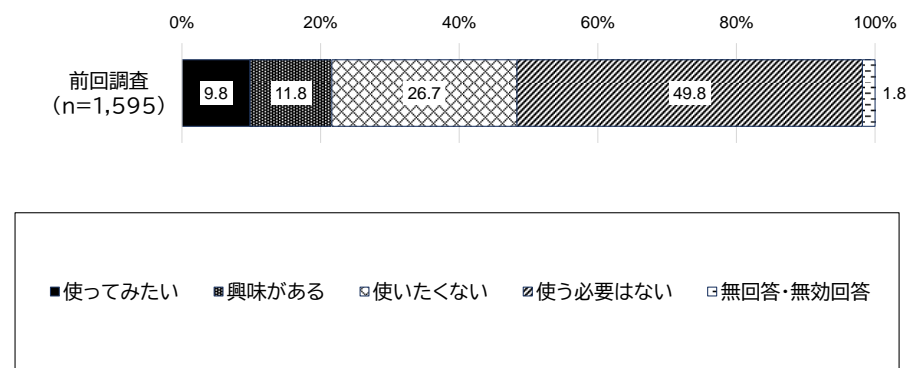
【小学5年生子ども問 26B】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

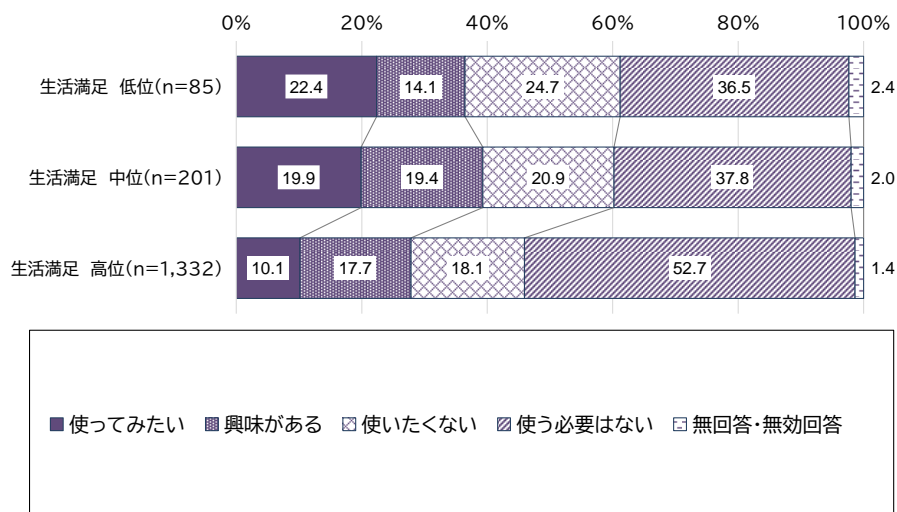
図表 4-111 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時より遅い時間にいることができる場所」の回答割合
(単純集計)



図表 4-112 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時より遅い時間にいることができる場所」の回答割合
(前回調査 単純集計)



図表 4-113 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時より遅い時間にいることができる場所」の回答割合
(単純集計)

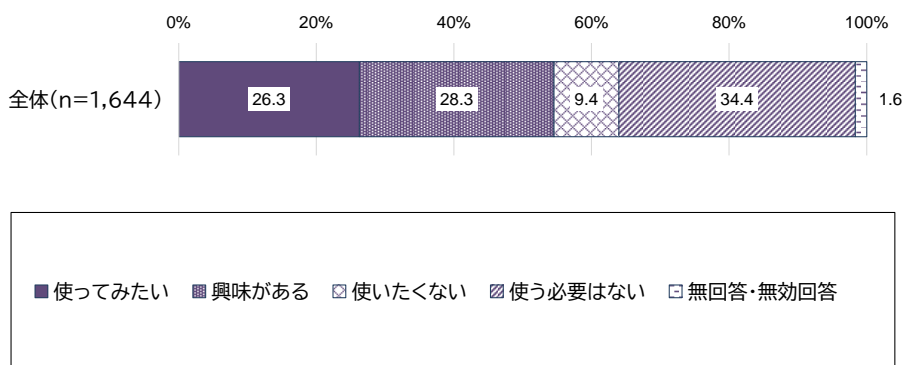


「家以外で休日にいることができる場所」については、「興味がある」が 28.3%、「使ってみたい」が 26.3%であった。
 前回調査と比較すると、「使ってみたい」か「興味がある」と回答した割合の合計は、今回調査は 54.6%、
 前回調査は 42.5%で、12.1ポイント増加した。
 生活満足 低位(n=85)では、「使ってみたい」が 38.8%、「興味がある」が 24.7%であった。

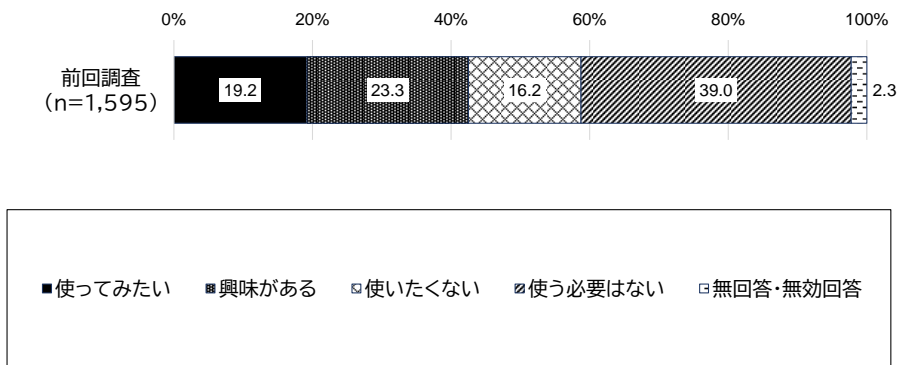
【小学5年生子ども問 26C】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

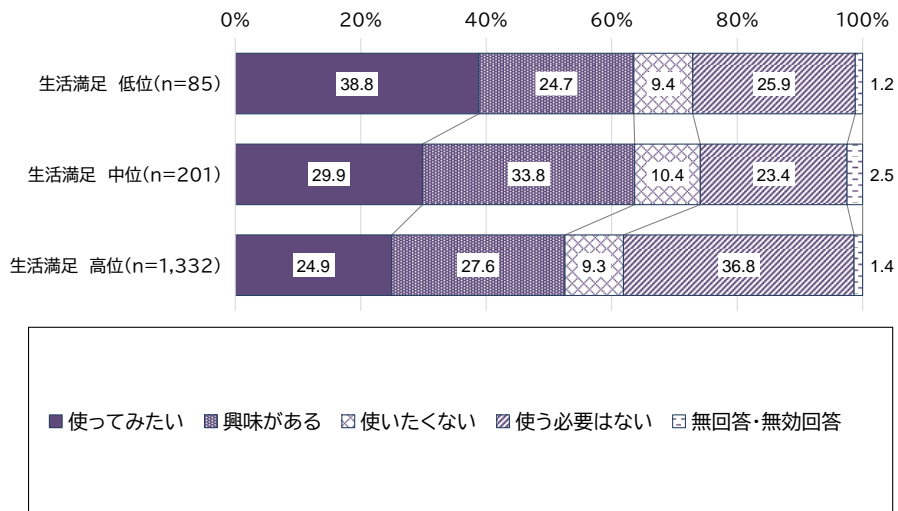
図表 4-114 「家以外で休日にいることができる場所」の回答割合 (単純集計)



図表 4-115 「家以外で休日にいることができる場所」の回答割合（前回調査 単純集計）



図表 4-116 「家以外で休日にいることができる場所」の回答割合（生活満足度別クロス集計）



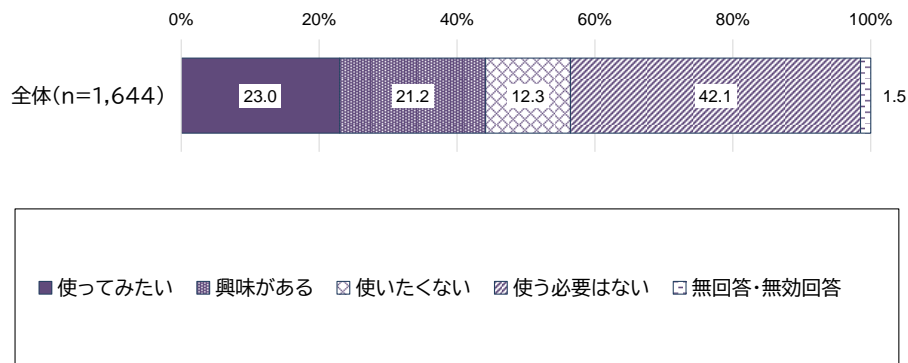
「おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」については、「使ってみたい」が23.0%、「興味がある」が21.2%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「使ってみたい」が29.4%、「興味がある」が25.9%であった。

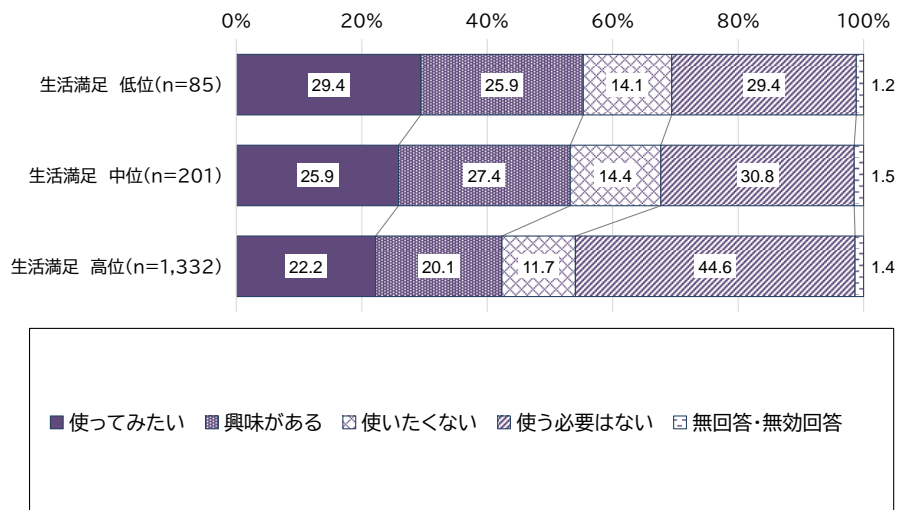
【小学5年生子ども問 26D】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 4-117 「おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」の回答割合
(単純集計)



図表 4-118 「おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」の回答割合
(生活満足度別クロス集計)

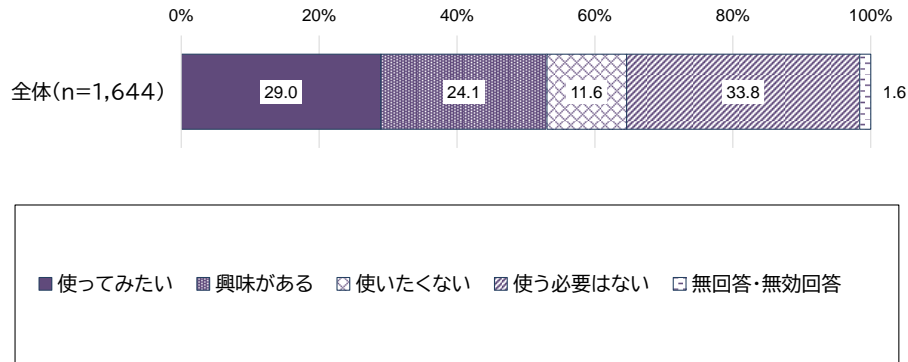


「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」については、「使ってみたい」が 29.0%、「興味がある」が 24.1%であった。

【小学5年生子ども問 26E】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 4-119 「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」の回答割合 (単純集計)

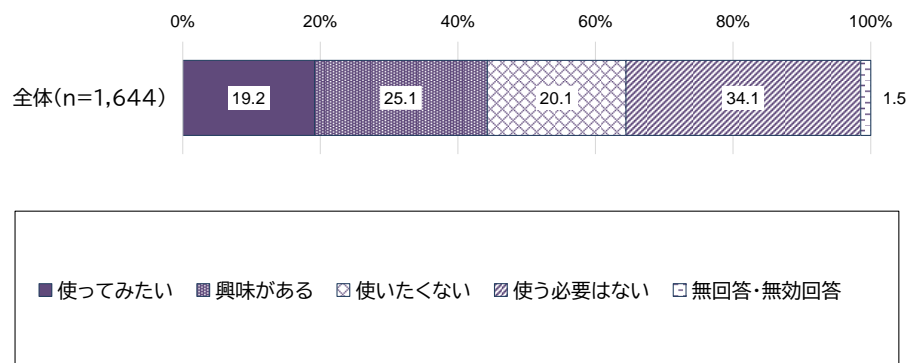


「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」については、「使ってみたい」が 19.2%、「興味がある」が 25.1%であった。

【小学5年生子ども問 26F】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 4-120 「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」の回答割合 (単純集計)



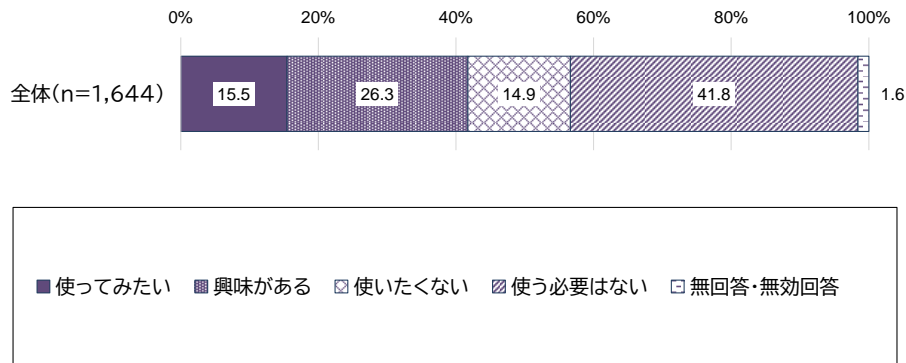
「学校以外で、なんでも相談できる場所」については、「使ってみたい」が 15.5%、「興味がある」が 26.3%、であった。

生活満足 低位(n=85)では、「使ってみたい」が 29.4%、「興味がある」が 16.5%であった。

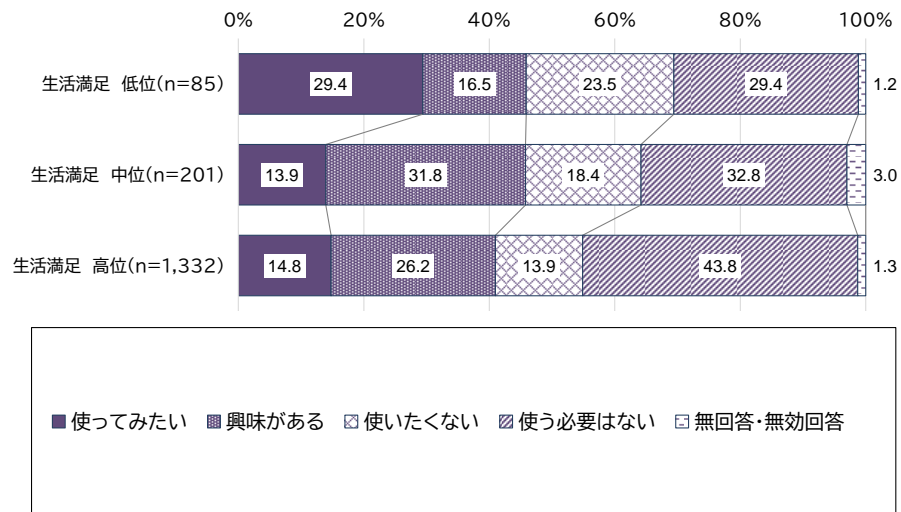
【小学5年生子ども問 26G】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 4-121 「学校以外で、なんでも相談できる場所」の回答割合 (単純集計)



図表 4-122 「学校以外で、なんでも相談できる場所」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)



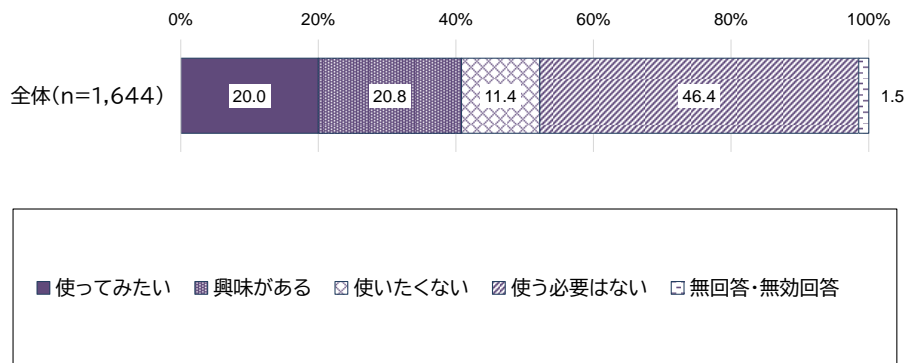
「夏休みの間、昼ごはんを出してくれる場所」については、「使ってみたい」が 20.0%、「興味がある」が 20.8%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「使ってみたい」が 22.4%、「興味がある」が 27.1%であった。

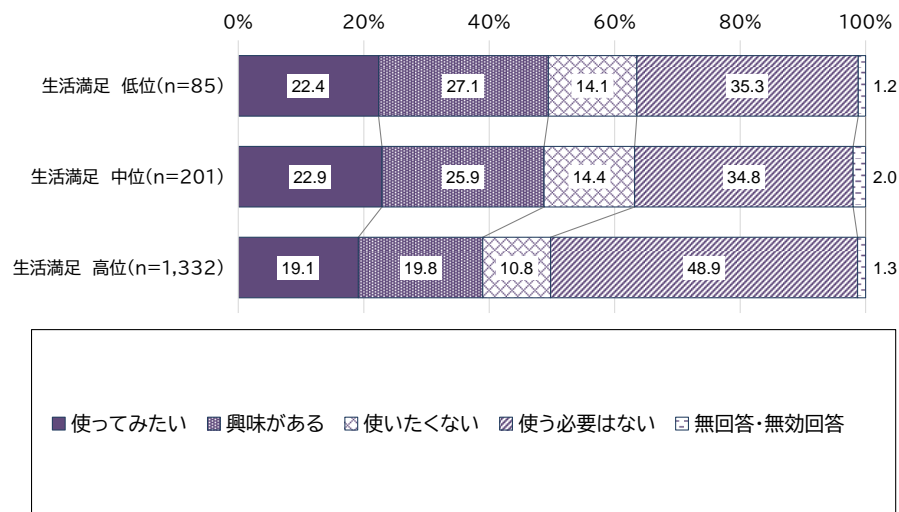
【小学5年生子ども問 26H】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 4-123 「夏休みの間、昼ごはんを出してくれる場所」の回答割合（単純集計）



図表 4-124 「夏休みの間、昼ごはんを出してくれる場所」の回答割合（生活満足度別クロス集計）



ク 不登校傾向、いじめ等の経験

「学校に行きたくないと思った」ことについては、「よくあった」が 13.9%、「時々あった」が 31.5%であった。

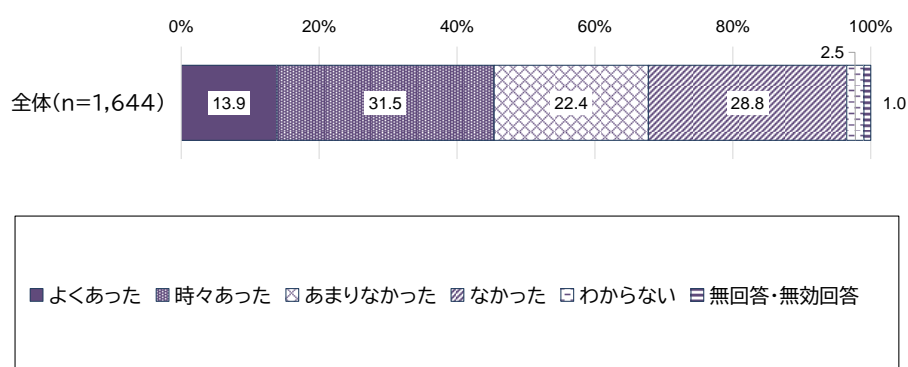
前回調査と比較すると、「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は、今回調査は 45.4%、前回調査は 31.1%で、14.3ポイント増加した。

生活満足 低位(n=85)では、「よくあった」「時々あった」がそれぞれ 38.8%であった。

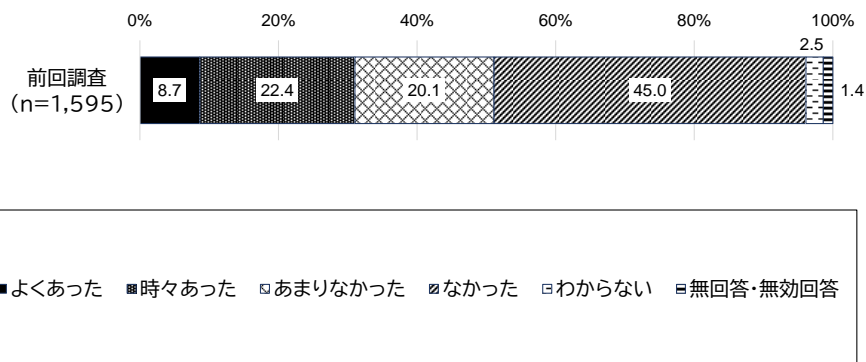
【小学5年生子ども問 27A】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

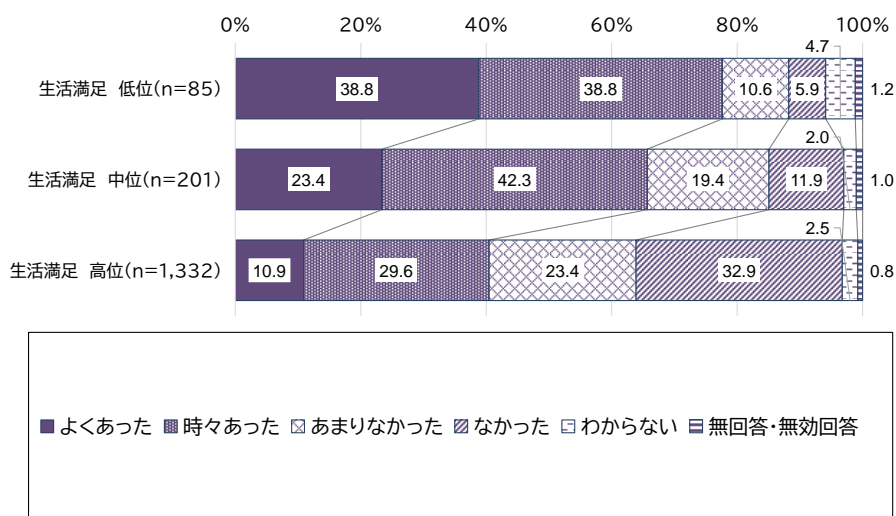
図表 4-125 「学校に行きたくないと思った」の回答割合 (単純集計)



図表 4-126 「学校に行きたくないと思った」の回答割合 (前回調査 単純集計)



図表 4-127 「学校に行きたくないと思った」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

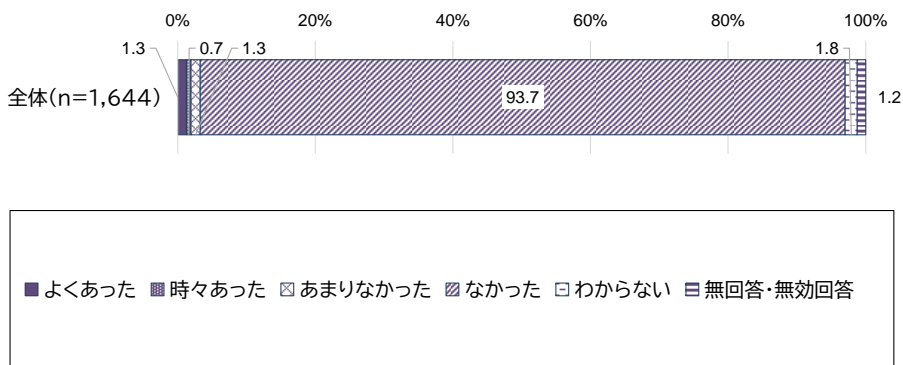


「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」ことについては、「よくあった」が 1.3%、「時々あった」が 0.7%であった。
 生活満足 低位(n=85)では、「よくあった」が 4.7%、「時々あった」が 3.5%となっていた。

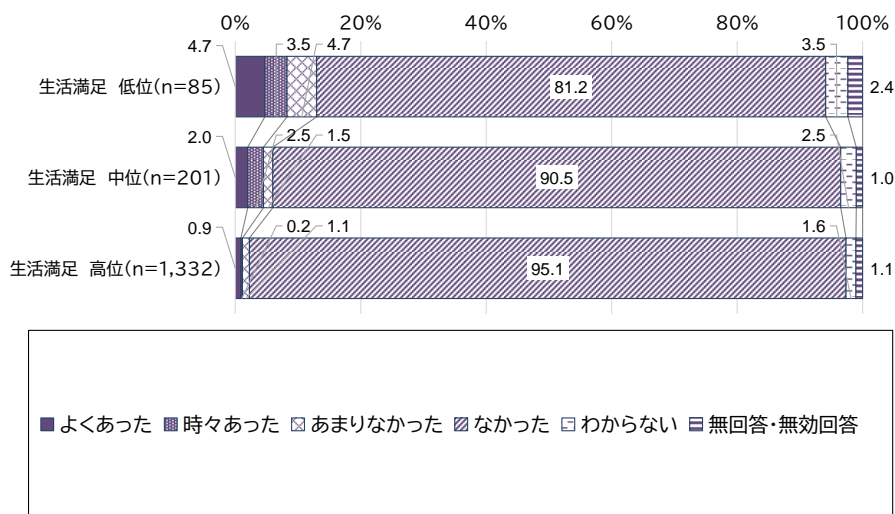
【小学5年生子ども問 27B】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

図表 4-128 「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」の回答割合（単純集計）



図表 4-129 「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)

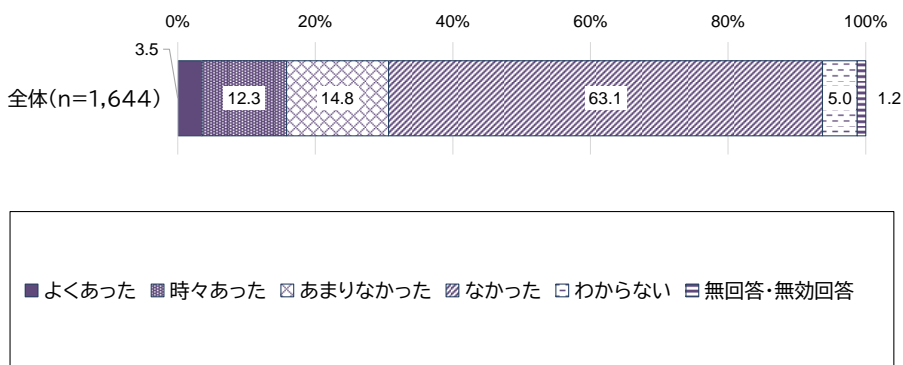


「いじめられた」ことについては、「よくあった」が 3.5%、「時々あった」が 12.3%であった。
 前回調査と比較すると、「なかった」と回答した割合は、今回調査は 63.1%、前回調査は 70.6%で、7.5
 ポイント減少した。
 生活満足 低位(n=85)では、「よくあった」が 10.6%、「時々あった」が 22.4%であった。

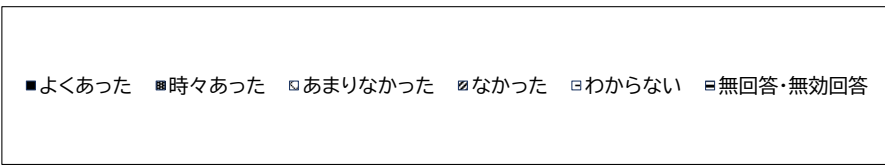
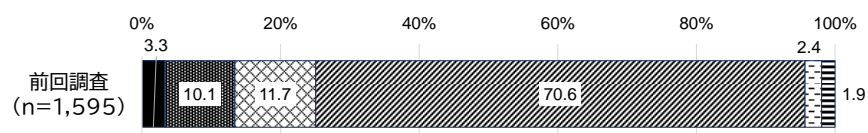
【小学5年生子ども問 27C】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

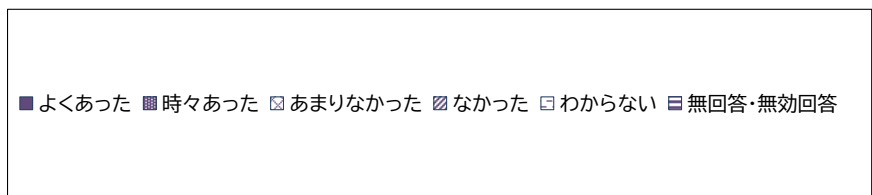
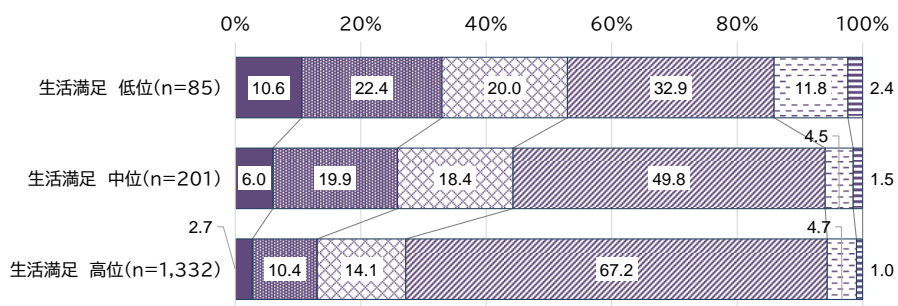
図表 4-130 「いじめられた」の回答割合 (単純集計)



図表 4-131 「いじめられた」の回答割合（前回調査 単純集計）



図表 4-132 「いじめられた」の回答割合（生活満足度別クロス集計）



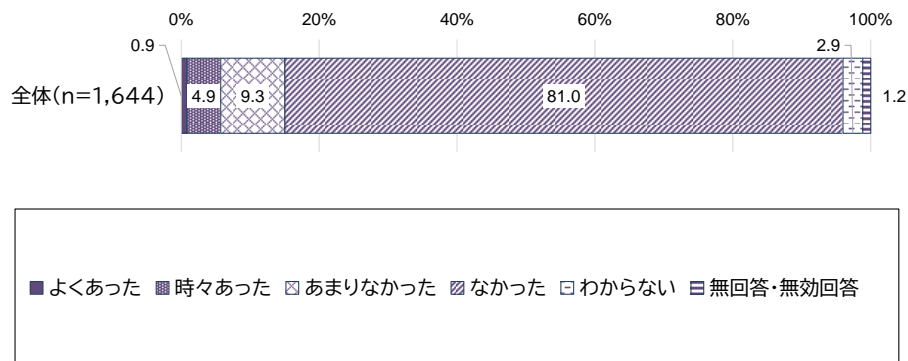
「夜遅くまで子どもだけで過ごした」ことについては、「よくあった」が0.9%、「時々あった」が4.9%であった。

生活満足 低位(n=85)では、「よくあった」が、2.4%、「時々あった」が4.7%であった。

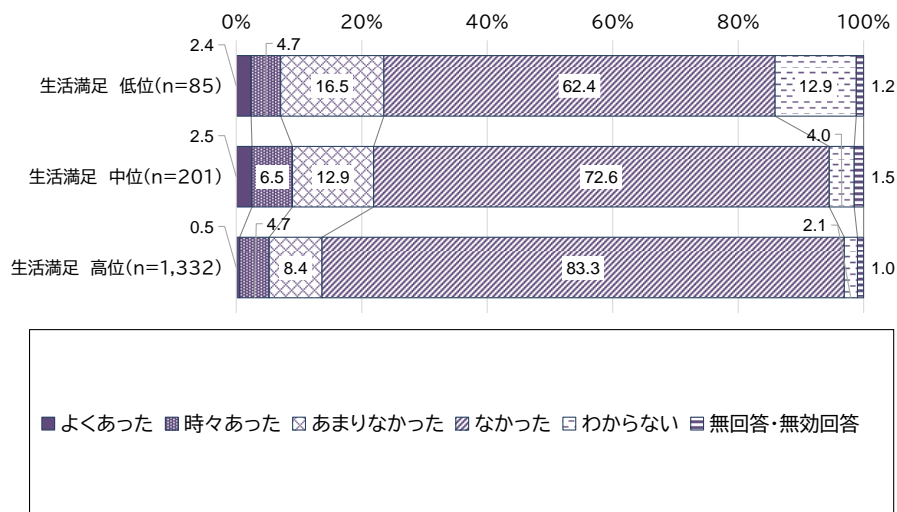
【小学5年生子ども問 27D】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

図表 4-133 「夜遅くまで子どもだけで過ごした」の回答割合 (単純集計)



図表 4-134 「夜遅くまで子どもだけで過ごした」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)



ケ 自分や家族についての心配ごとや悩みごと

自分や家族についての心配ごとや悩みごとについては、「特に困っていることはない」が 75.7%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家の中が散らかっている」が 11.6%、「きょうだいの世話やめんどろをみるのが大変」が 5.5%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「特に困っていることはない」が 70.9%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家にお金がない(少ない)」が 15.1%、「家の中が散らかっている」が 14.0%と続いていた。

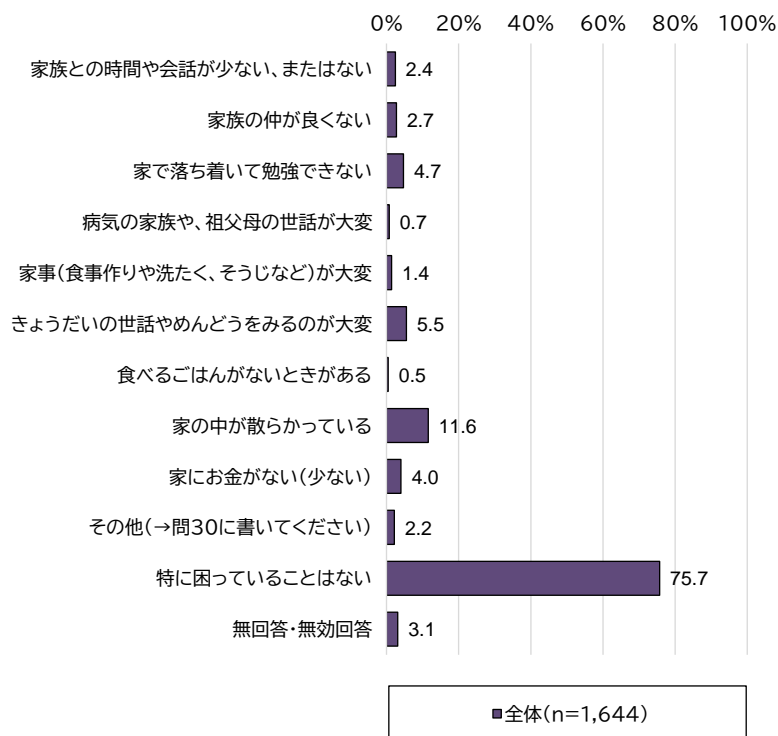
困窮層(n=44)では、「特に困っていることはない」が 54.5%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家の中が散らかっている」が 22.7%、「家にお金がない(少ない)」が 20.5%と続いていた。

生活満足 低位(n=85)では、「特に困っていることはない」が 48.2%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家の中が散らかっている」が 21.2%、「家で落ち着いて勉強できない」が 17.6%と続いていた。

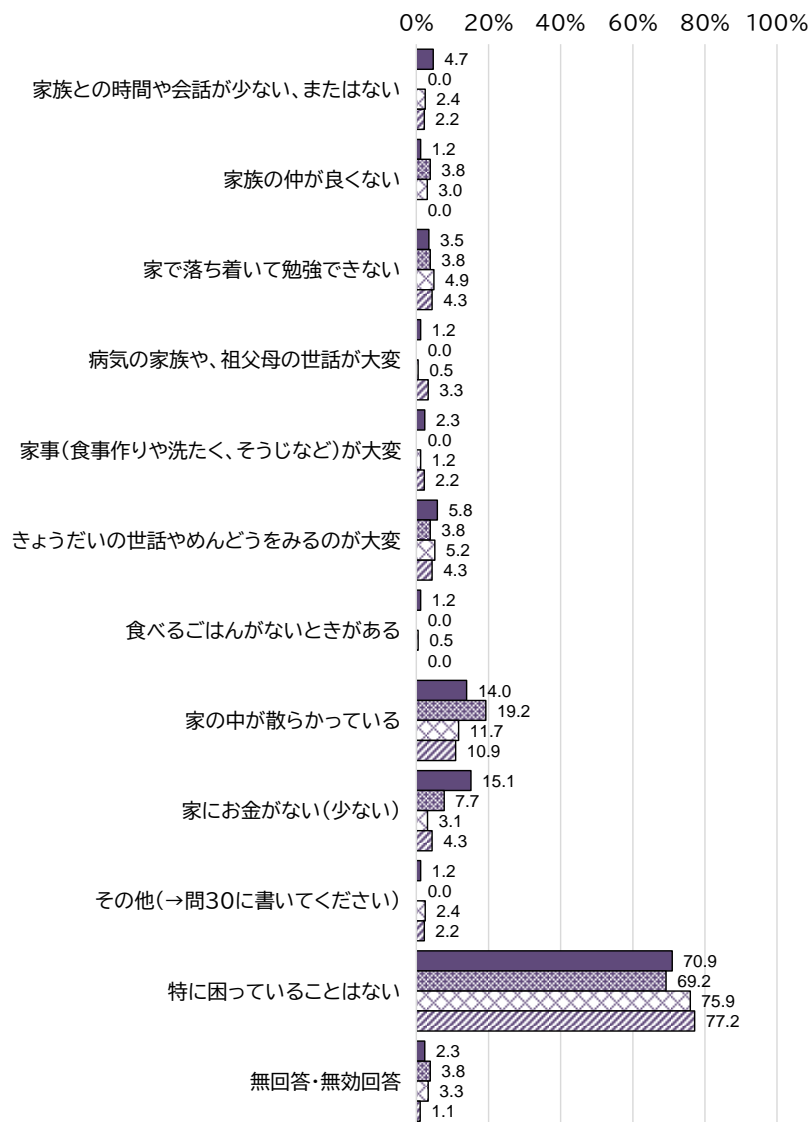
【小学5年生子ども問 28】

あなたは、自分や家族のことなどで、心配なことや困っていることはありますか。(複数回答)

図表 4-135 自分や家族についての心配ごとや悩みごと (単純集計)

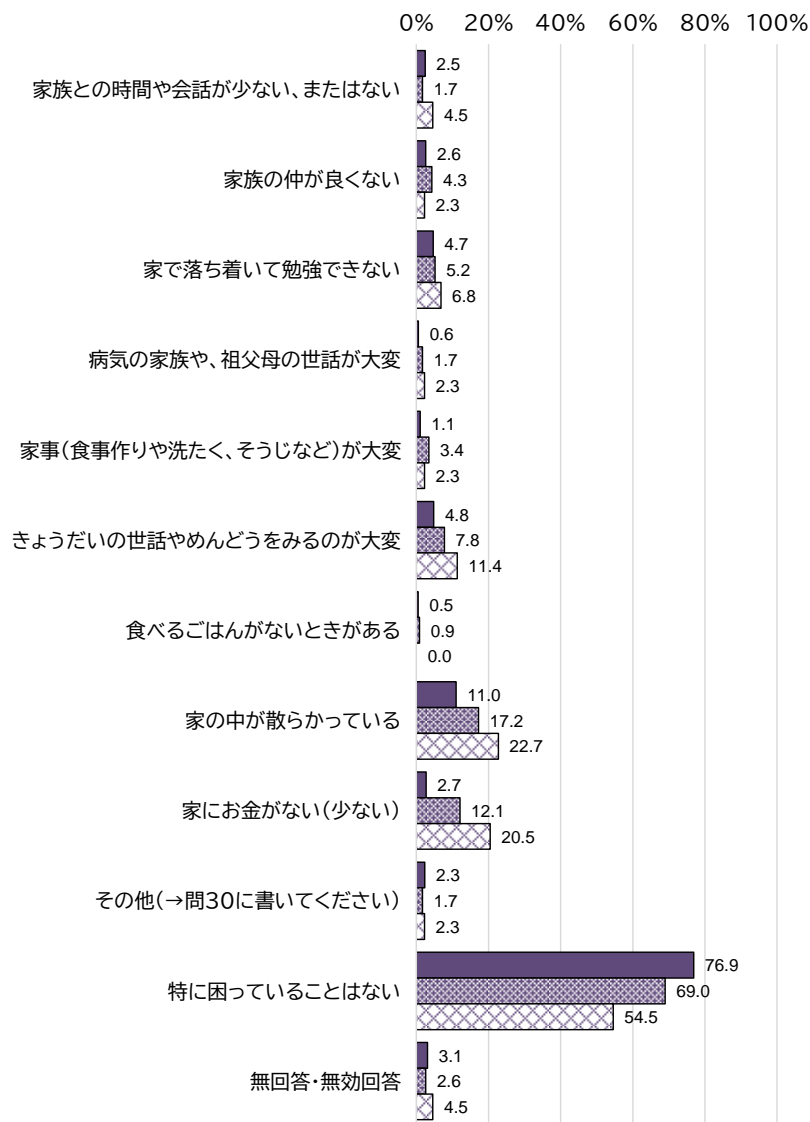


図表 4-136 自分や家族についての心配ごとや悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）



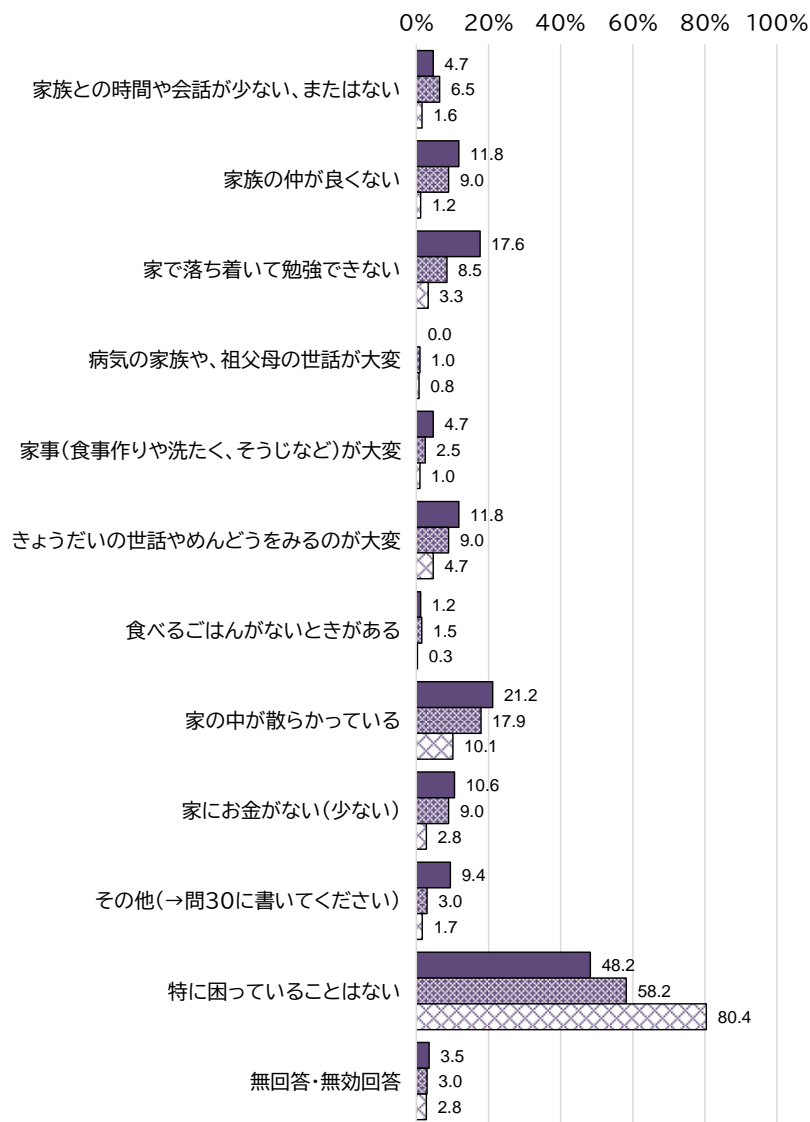
■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)	■ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,359)	□ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 4-137 自分や家族についての心配ごとや悩みごと（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,416) ▨周辺層(n=116) ▩困窮層(n=44)

図表 4-138 自分や家族についての心配ごとや悩みごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=85) ■生活満足 中位(n=201) □生活満足 高位(n=1,332)

コ 学校での困りごと

学校での困りごとについては、「特に困っていることはない」が67.3%と最も多かった。学校での困りごととしては、「将来(進路)のことが不安」が11.5%、「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」が9.3%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「特に困っていることはない」が60.5%と最も多かった。学校での困りごととしては、「将来(進路)のことが不安」「勉強がよくわからない」がそれぞれ15.1%となっていた。

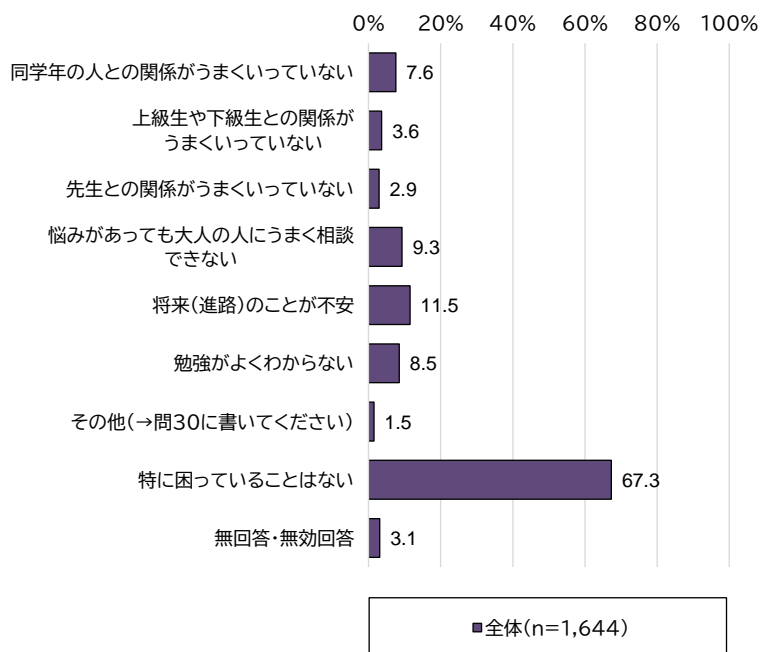
困窮層(n=44)では、「特に困っていることはない」が56.8%と最も多かった。学校での困りごととしては、「勉強がよくわからない」が25.0%、「同学年の人との関係がうまくいっていない」「将来(進路)のことが不安」がそれぞれ13.6%と続いていた。

生活満足 低位(n=85)では、「特に困っていることはない」が31.8%と最も多かった。学校での困りごととしては、「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」が28.2%、「将来(進路)のことが不安」が25.9%と続いていた。

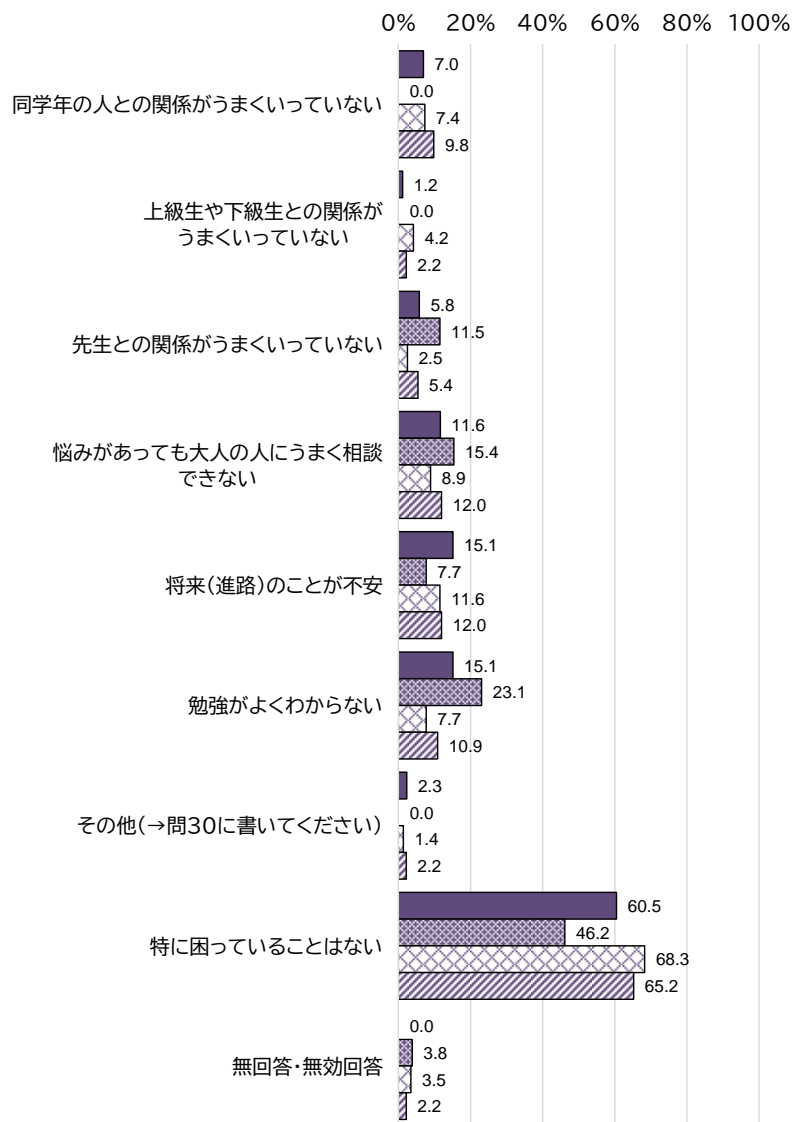
【小学5年生子ども問 29】

あなたは、学校のことで困っていることはありますか。(複数回答)

図表 4-139 学校での困りごと (単純集計)

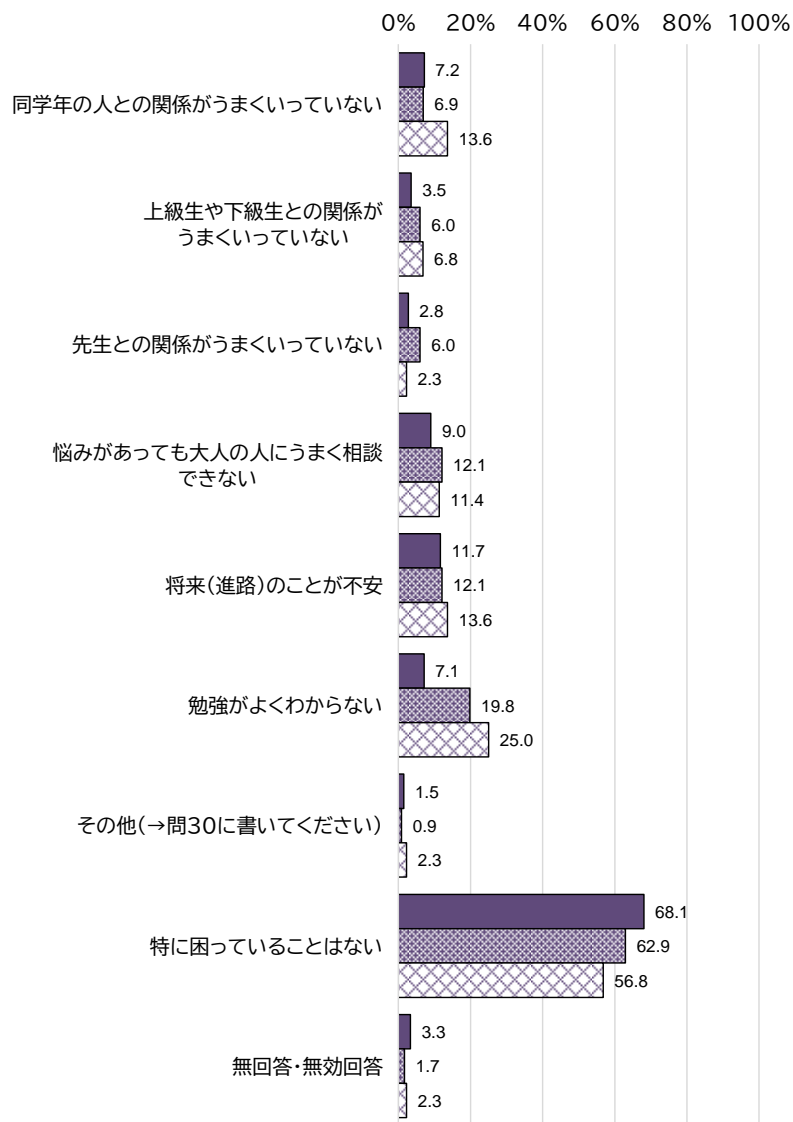


図表 4-140 学校での困りごと（世帯タイプ別クロス集計）



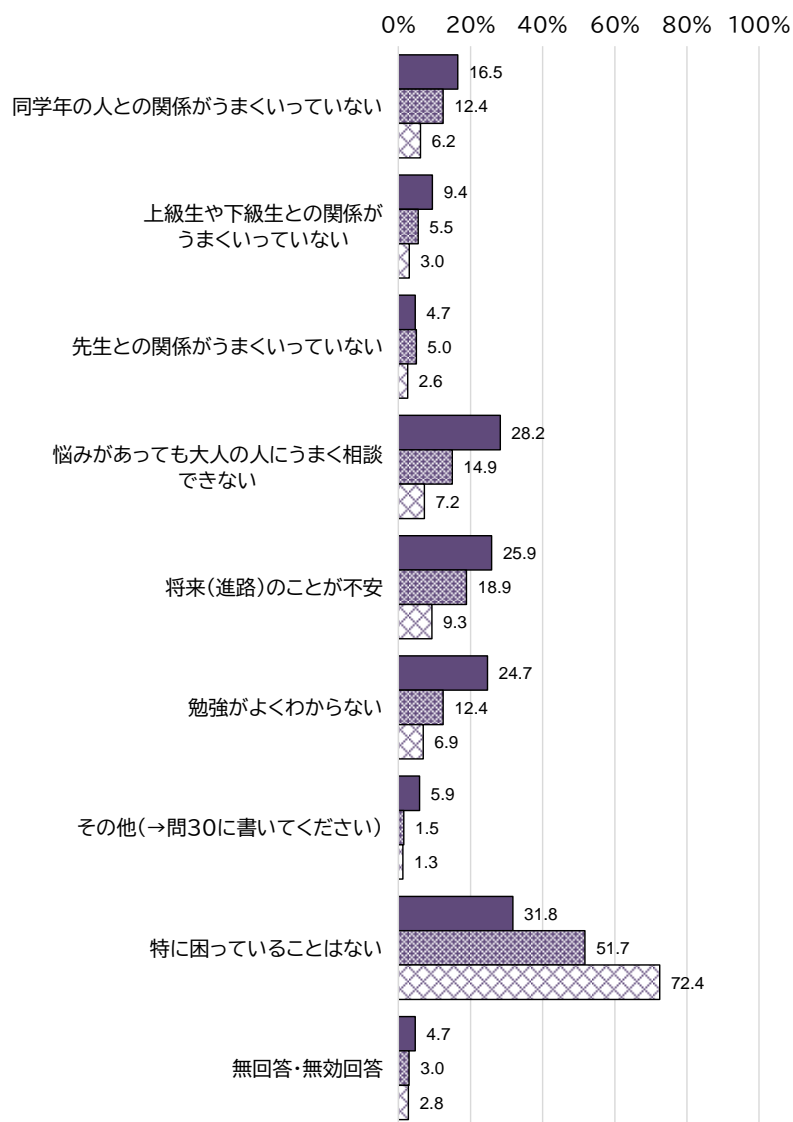
■ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=26)
 ▨ふたり親世帯(2世代同居)(n=1,359) ▩ふたり親世帯(3世代同居)(n=92)

図表 4-141 学校での困りごと（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=1,416) ▨周辺層(n=116) ▩困窮層(n=44)

図表 4-142 学校での困りごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=85) ■生活満足 中位(n=201) □生活満足 高位(n=1,332)

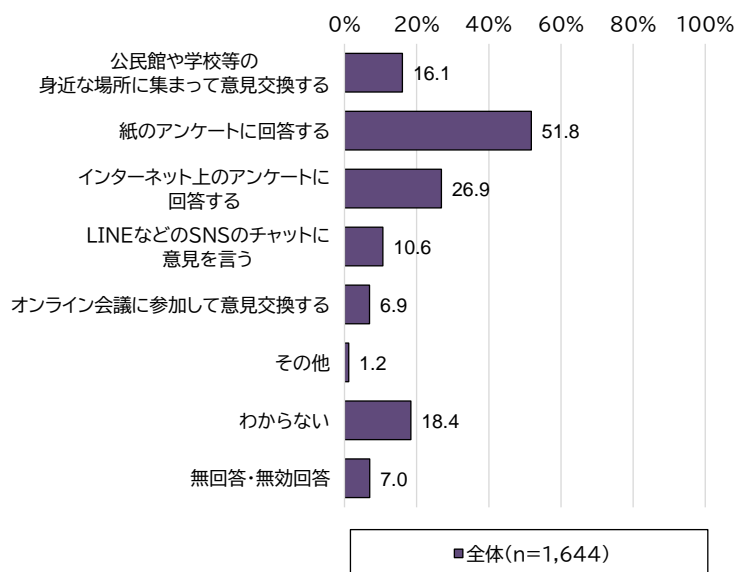
サ 市へ意見を伝えやすい方法

市へ意見を伝えやすい方法については、「紙のアンケートに回答する」が 51.8%と最も多く、以下、「インターネット上のアンケートに回答する」が 26.9%、「わからない」が 18.4%と続いていた。

【小学5年生子ども問 31】

藤沢市では、子どもや若者のみなさんの意見を聞いて、これからのまちづくりや制度づくりを考えたいと思っています。みなさんが意見を伝えやすい方法として、どのような方法がよいと思いますか。(複数回答)

図表 4-143 市へ意見を伝えやすい方法 (単純集計)



シ 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること(自由記述)

小学5年生の子どもに対し、つらい気持ちでいたり悩んでいたりする子どものために必要だと思うことや、あなたが困っていること(問 28 や問 29 のその他の回答)について尋ねたところ、331 件の自由記述が寄せられた。

「悩んでいる子どものために必要なこと」に関する意見では、「気軽に悩み相談できる場所・工夫」「学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策」「居場所・安らげる場」「子ども同士の相談・友達が話を聞く」ことに関する意見が多くなっていた。

「あなたが困っていること」に関する記述内容は、「友達との関係・いじめ・人間関係の悩み」「勉強・授業・宿題・学校生活全般の悩み」「家族・家に関する悩み」についての意見が多くなっていた。

【小学5年生子ども問 30】

あなたや、あなたの周りの友だちを含め、つらい気持ちでいたり悩んでいたりする子どものために必要だと思うことや、学校や周りの大人にお願いしたいことがあったら、なんでも自由に書いてください。また、問 28、問 29 の、あなたが困っていることについても、書きたいことを自由に書いてください。(自由記述)

図表 4-144 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること(自由記述の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
悩んでいる子どものために必要なこと			
1	気軽に悩み相談できる場所・工夫	50	15.1%
2	学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策	45	13.6%
3	居場所・安らげる場	26	7.9%
4	子ども同士の相談・友達が話を聞く	21	6.3%
5	周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける	19	5.7%
6	家族・身近な大人への相談	15	4.5%
あなたが困っていること			
1	友達との関係・いじめ・人間関係の悩み	49	14.8%
2	勉強・授業・宿題・学校生活全般の悩み	30	9.1%
3	家族・家に関する悩み	29	8.8%
4	学校の先生のこと	16	4.8%
5	学校のルール・制度・施設・設備のこと	14	4.2%
6	公園・遊び場のこと	10	3.0%
6	自分の健康・体調・心の悩み	10	3.0%
8	将来・進路の悩み	9	2.7%
9	自分の持ち物(お小遣い)のこと	6	1.8%
その他			
—	アンケート調査に関すること	5	1.5%
—	その他	34	10.3%
合 計(意見提出をした人数 331 件)		388	—

図表 4-145 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること(再掲 上位 10 項目)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
悩んでいる子どものために必要なこと			
1	気軽に悩み相談できる場所・工夫	50	15.1%
2	学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策	45	13.6%
3	居場所・安らげる場	26	7.9%
4	子ども同士の相談・友達が話を聞く	21	6.3%
5	周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける	19	5.7%
6	家族・身近な大人への相談	15	4.5%
あなたが困っていること			
1	友達との関係・いじめ・人間関係の悩み	49	14.8%
2	勉強・授業・宿題・学校生活全般の悩み	30	9.1%
3	家族・家に関する悩み	29	8.8%
4	学校の先生のこと	16	4.8%

① 悩んでいる子どものために必要なことに関する自由記述意見 (代表的意見)

1 位 気軽に悩み相談できる場所・工夫

- 自分の困っていることなど、気持ちを言葉にして人に言うのはとても難しいので、紙に名前と伝えたいことを書いて、学校、市民センターなどの公共の場に回収ボックスを置いてみたら、言葉にできなくても伝えられるかなと思う。
- 「子ども相談窓口」の電話番号が書かれたプリントを配られるが、電話ではなくお店みたいな形にしたらいいと思う。それを学校の近くにつくり、みんながわかる場所にしたらいいと思う。
- 相談しづらい子も相談できる場所。相談する人の性別を選べる。家にいたくなくなった時に、いつでもいける所。
- 私はいまのところ悩んだり、困ったりしていることはないけれど、そういう人のために開かれた場所や建物があると良いと思う。
- 悩んでいる子のためには、1対1で話せる、リラックスできる場所。

2 位 学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策

- つらい子には保健室での相談や、気持ちを落ち着かせるボックスを置いて、そのボックスに〇年〇組・名前〇〇〇、いじめられていることを紙に書いて、ボックスに入れたらいいと思う。ボックスは保健室の前に置くのはやめたほうがいい。ボックスに入れたとき、誰かが入れた瞬間を見たら、なんかあの子いじめられているらしいと言われて、噂がたってしまうのはかわいそうだから。保健室の中に置くのが良いと思う。
- いじめを受けている子って、先生に話したがらない子もいる。だからスクールカウンセラーの人を、男の人と女の人にしてほしい。

- 自分が困っていることを発信できる人(子ども)はあまりいないと思う。定期的に子ども全てがカウンセリング(対話)できる仕組みがあるとよい。学校内でリモート(個室でクラスの授業に参加)できる工夫があるとよい。
- 学校などに、いつでも相談できる「お悩み相談委員会」があったらいいと思う。低学年でも高学年でも関係なく、小さなことでも気軽に相談できる委員会があればなと思う。それがあったら子ども達もストレスが軽くなって、気持ちよく日常を過ごせると思う。
- いじめられている子とかに無料で受けられる相談所、オンライン学校とか、そういうことが必要だと思う。
- 学校で不安に感じる事がとても多いので、相談できる(1対1で)場所がほしい。

3位 居場所・安らげる場

- 困っている人が相談できる場所があったらいいと思うけど、学校とか市でやっている室内の遊び場など、子どもが行ける場所にあったらいいと思う。
- だれでも、いつでも、心が安らぐ公民館のような所を作り、みんなが意見を交換できる時間を作る。
- 家族や友だちから完全にかくれて一人で好きなこと、やりたいことができるような、自由を制限されない場所。
- みんなでゲームができるところ。Wi-Fiが無料。電気代無料。

4位 子ども同士の相談・友達が話を聞く

- 友だちなどに相談して、少しでも気持ちが軽くなればいいと思う。でも、大人に相談できる人は少ないと思うから、友だちとかに言えるような環境にするのが大事だと思う。
- まわりの子が辛い・悩みなどがあったら、できるだけ気づいてあげたい。でもたまにみんなに話したくないこともあるから、そういうときは気づいてあげるだけでいいと思う。
- 子ども同士(知らない子)で、悩みを相談できる場があると、大人に言いにくいとも言える気がする。

5位 周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける

- 相談にのってあげたり、気にかけてあげることが大切だと思う。
- そういう子はだいたい顔に出るから、そこで悩みを一番に聞いてあげる。

6位 家族・身近な大人への相談

- しっかりと悩み寄り添ってくれる友だちや、信頼できる大人の人が必要だと思う。
- 辛いことがあったら、お母さん、お父さん、友だちなど、近くの人に聞いたほうがいいと思う。

② あなたが困っていることに関する自由記述意見（代表的意見）

1位 友達との関係・いじめ・人間関係の悩み

- 同学年の子が人の悪口しか言わなくて、同情してあげないとケンカになってしまうのが嫌だ。その子が自分の悪口を言っているのではないかと不安になる。
- 多分相手は自分のことを嫌な思いにさせようとは思っていないと思うんだけど、勝手に物をうばったり、冗談で暴力をふるってきたりする。でも自分は関係をつぶしたくないから、何も言えない。いつも嫌なことを嫌って言えない自分が嫌だ。
- サッカーが好きだけど「女の子なのに？」とか言われて、男女差別される。

2位 勉強・授業・宿題・学校生活全般の悩み

- 習い事が忙しくてつらい。勉強がよくわからないので、今後どうなるか心配。
- 私は勉強を無料でサポートしてくれたり、同じような人と一緒に勉強できる場がほしい。家だとしても集中できなかつたり、勉強の方法があっているのか困ったり、辛くなってしまうりするるので、そういう場が家の近くにあるだけで、とても安心できる。
- 先生によって授業で使うパソコンの使い方に差があり、担任がなかなかパソコンを使わず、長い文もエンピツで書いている。

3位 家族・家に関する悩み

- 家のお金が全部なくなったらってすごく不安。
- 親の機嫌が悪いと周りにあたるのがいやだ。

4位 学校の先生のこと

- 先生が児童の意見を聞かずに、他の児童の心臓にも悪いほど大きい声で怒るので、児童の意見も聞くべき。
- 嫌なことを言われているのを先生に言ったら、嫌なことを言った子の味方になった。このことで先生のことが嫌いになった。

第5章 アンケート調査結果(中学生2年生保護者)

(1) あなたの世帯のことについてうかがいます

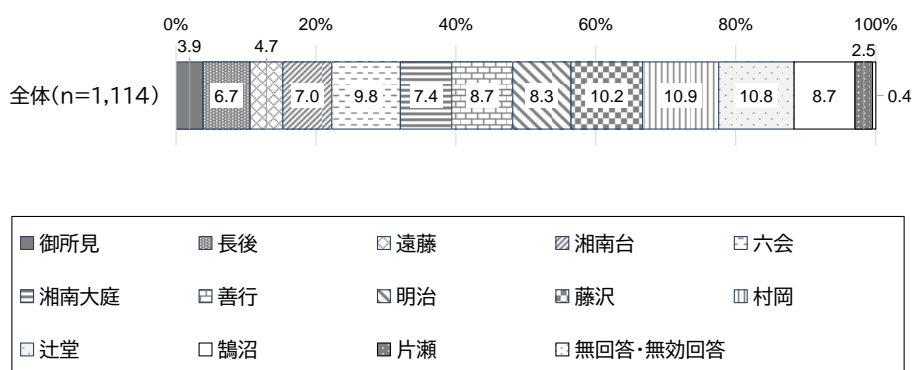
ア 居住地区

居住地区については、「村岡」が10.9%と最も多く、「辻堂」が10.8%、「藤沢」が10.2%であった。

【中学2年生保護者問1】

お住まいの地区としてあてはまるものをお選びください。(単一回答)

図表 5-1 居住地区 (単純集計)



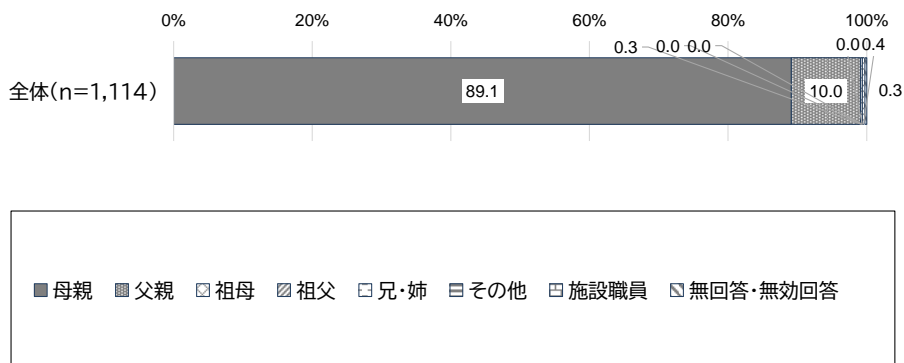
イ 回答者と子どもとの続柄

回答者と子どもとの続柄は、「母親」が89.1%、「父親」が10.0%、「施設職員」が0.4%であった。

【中学2年生保護者問2】

お子さんとあなた(回答者)との関係は、次のどれになりますか。(単一回答)

図表 5-2 回答者と子どもとの続柄 (単純集計)



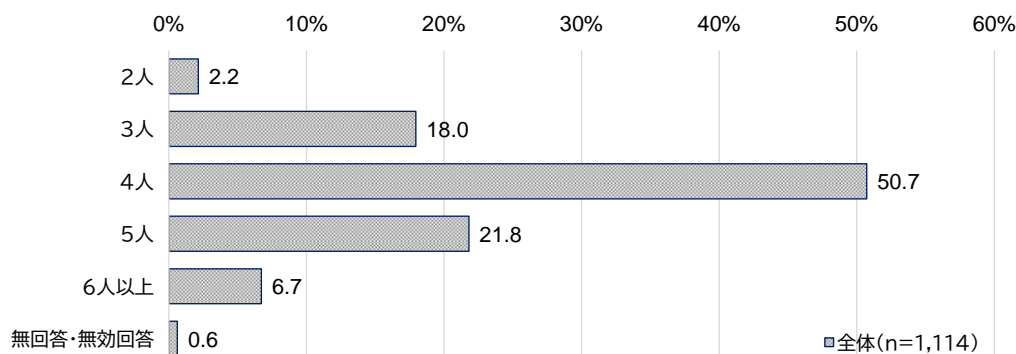
ウ 同居人数

調査票の宛名の子どもと同居している人数は、「4人」が 50.7%、「5人」が 21.8%、「3人」が 18.0%であった。

【中学2年生保護者問 3-1】

あなたと、この調査票を受け取ったお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。(数値回答)

図表 5-3 世帯人数 (単純集計)



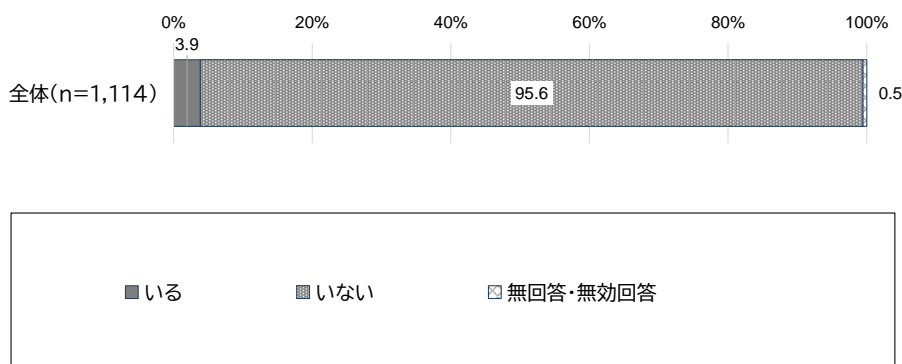
エ 介護・介助が必要な方の有無

介護または介助の必要な方がいるか尋ねたところ、「いない」が 95.6%、「いる」が 3.9%であった。

【中学2年生保護者問 3-2】

お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか。(単一回答)

図表 5-4 介護・介助が必要な方の有無 (単純集計)



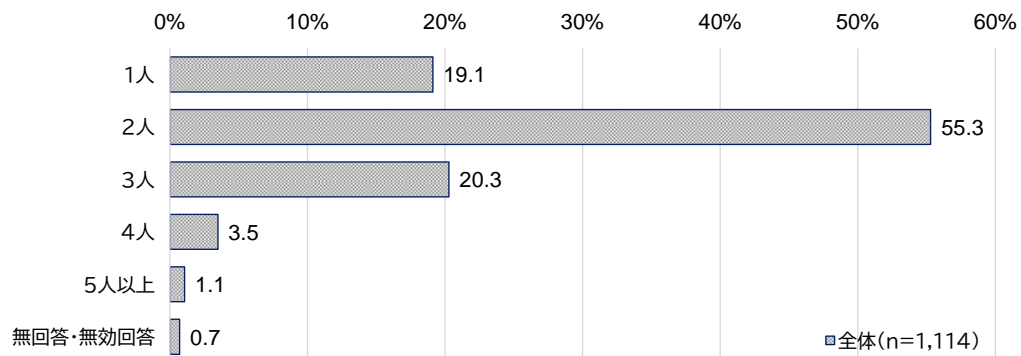
オ 子どもの人数

宛名の子どもを含めた同居している家族の子どもの人数についてみると、「2人」が 55.3%、「3人」が 20.3%、「1人」が 19.1%であった。

【中学2年生保護者問 3-3】

お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。この調査票を受け取ったお子さんを含めた人数をお答えください。(数値回答)

図表 5-5 同居している家族の子どもの人数 (単純集計)



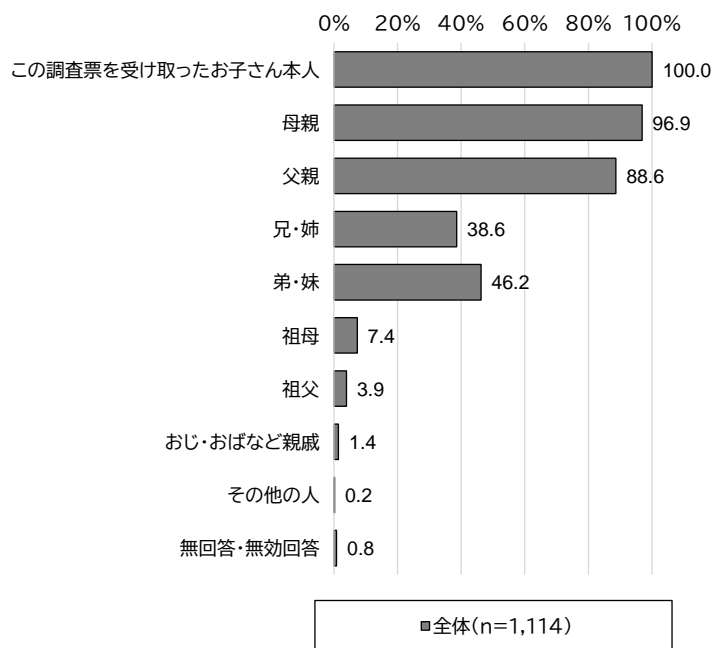
カ 同居家族の子どもからみた続柄

子どもと同居している家族について、子どもからみた続柄を尋ねたところ、「母親」と同居している方が96.9%、「父親」と同居している方が88.6%、「弟・妹」と同居している方が46.2%であった。

【中学2年生保護者問 3-4】

お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

図表 5-6 同居している家族のうち、子どもからみた続柄 (単純集計)



(2) お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

ア 母親の就業状況

父子家庭ではない世帯の場合に、母親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 46.4%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が 23.9%、「専業主婦」が 17.4%であった。

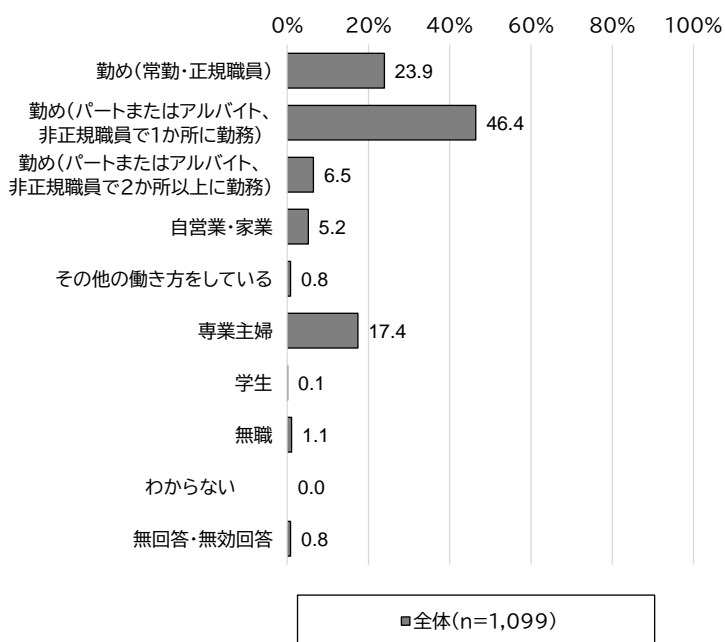
前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は、今回調査は 23.9%、前回調査は 18.2%で、5.7ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「勤め(常勤・正規職員)」が 47.8%と最も多く、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 26.9%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)」が 16.4%であった。

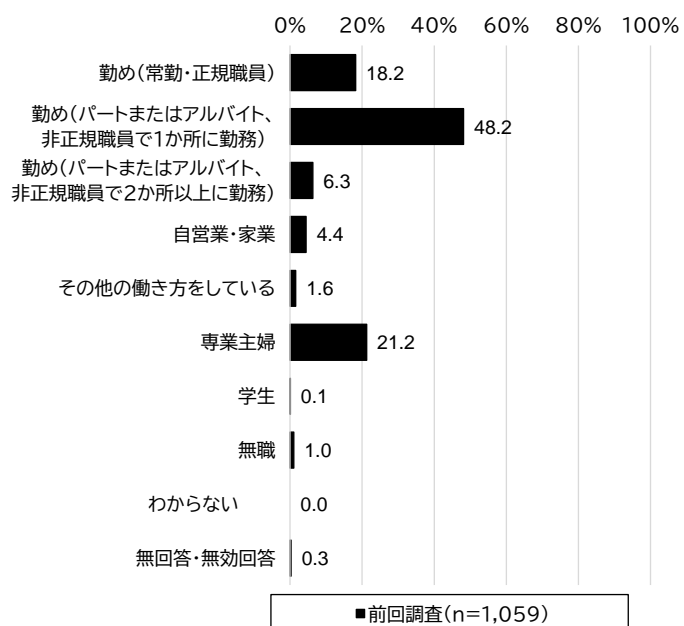
【中学2年生保護者問 4】

お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答)

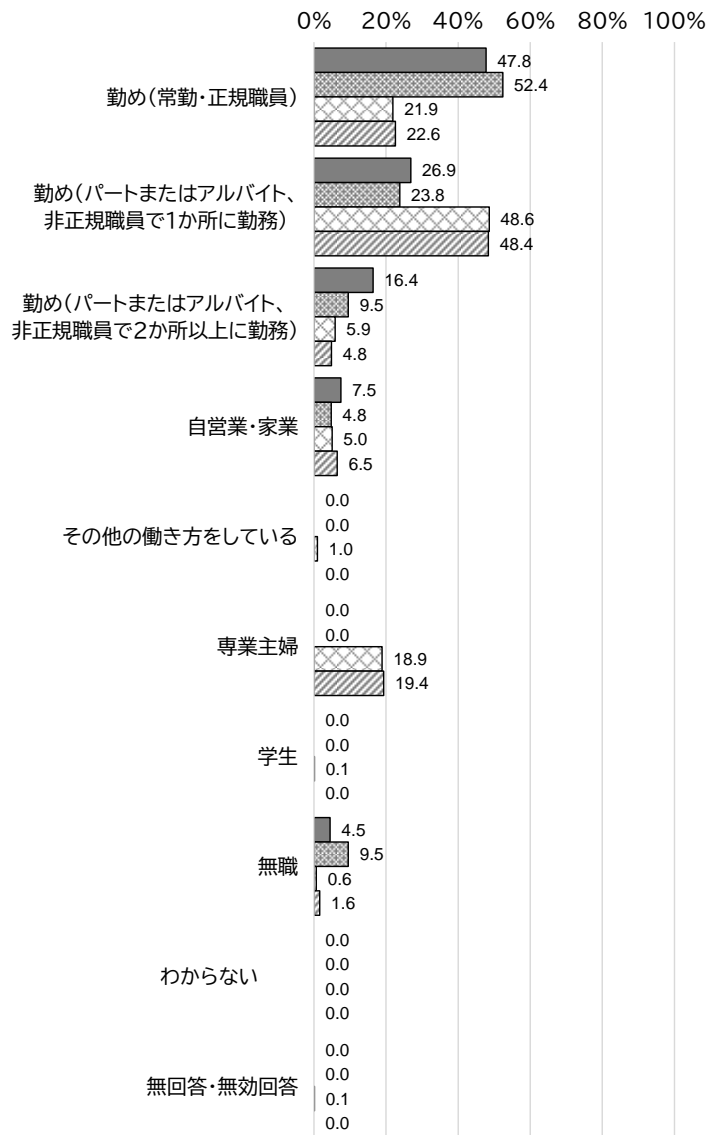
図表 5-7 母親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 5-8 母親の現在の就業状況（前回調査 単純集計）



図表 5-9 母親の現在の就業状況（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=67) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=21)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=936) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

イ 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

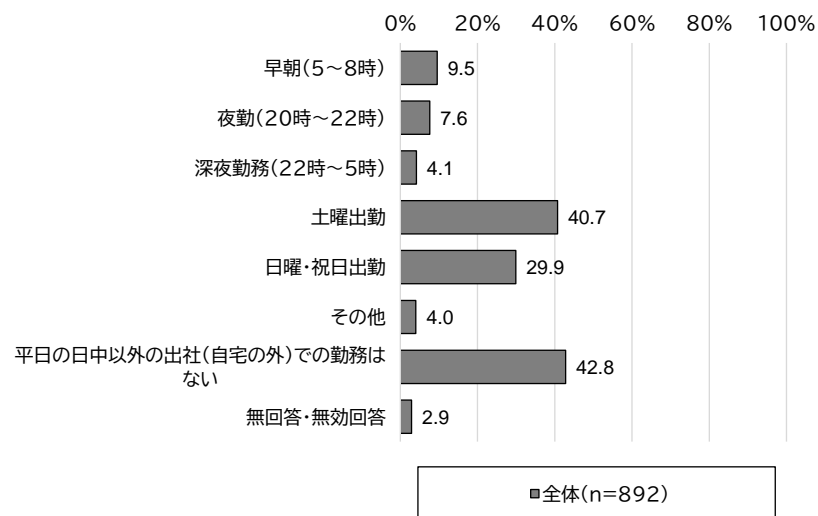
父子家庭ではない世帯かつ問4で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 42.8%と最も多く、「土曜出勤」がある方が 40.7%、「日曜・祝日出勤」がある方が 29.9%であった。

困窮層(n=42)では、「土曜出勤」がある方が 50.0%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方が 40.5%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」がある方が 26.2%であった。

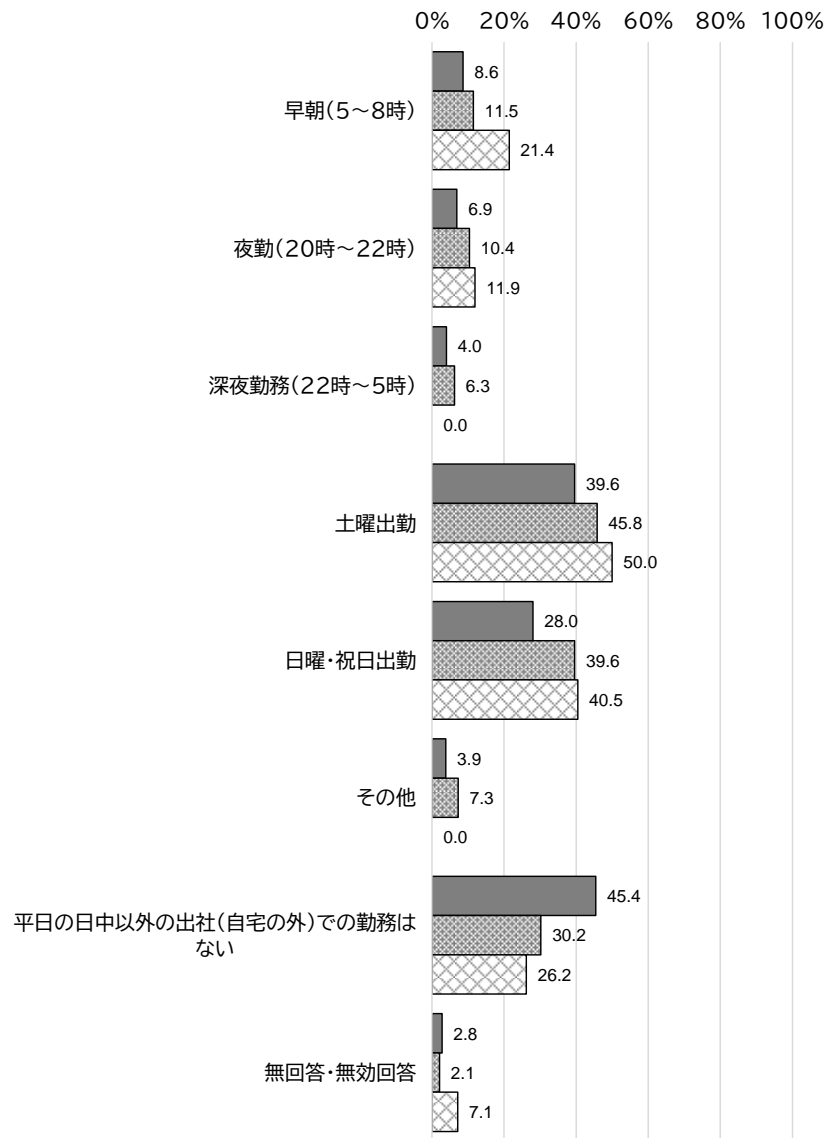
【中学2年生保護者問 4-1】

お母さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 5-10 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)



図表 5-11 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=753)

▨周辺層(n=96)

□困窮層(n=42)

ウ 父親の就業状況

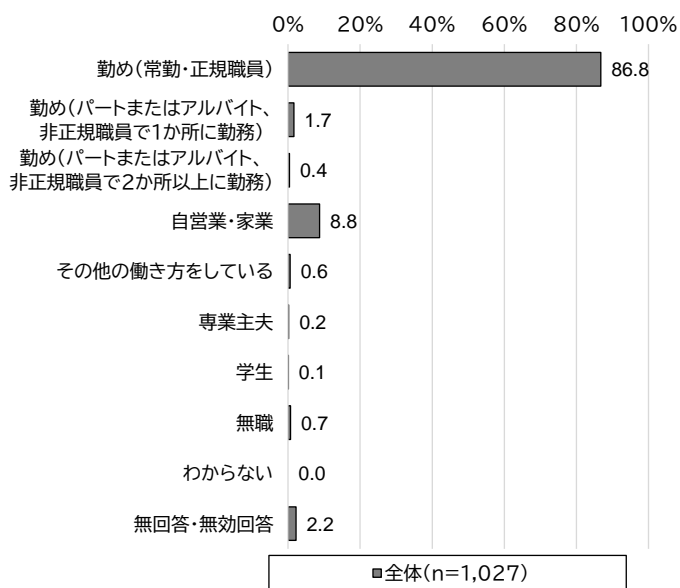
母子家庭ではない世帯の場合に、父親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が86.8%と最も多く、「自営業・家業」が8.8%であった。

困窮層(n=37)では、「勤め(常勤・正規職員)」が56.8%と最も多く、「自営業・家業」が21.6%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が8.1%であった。

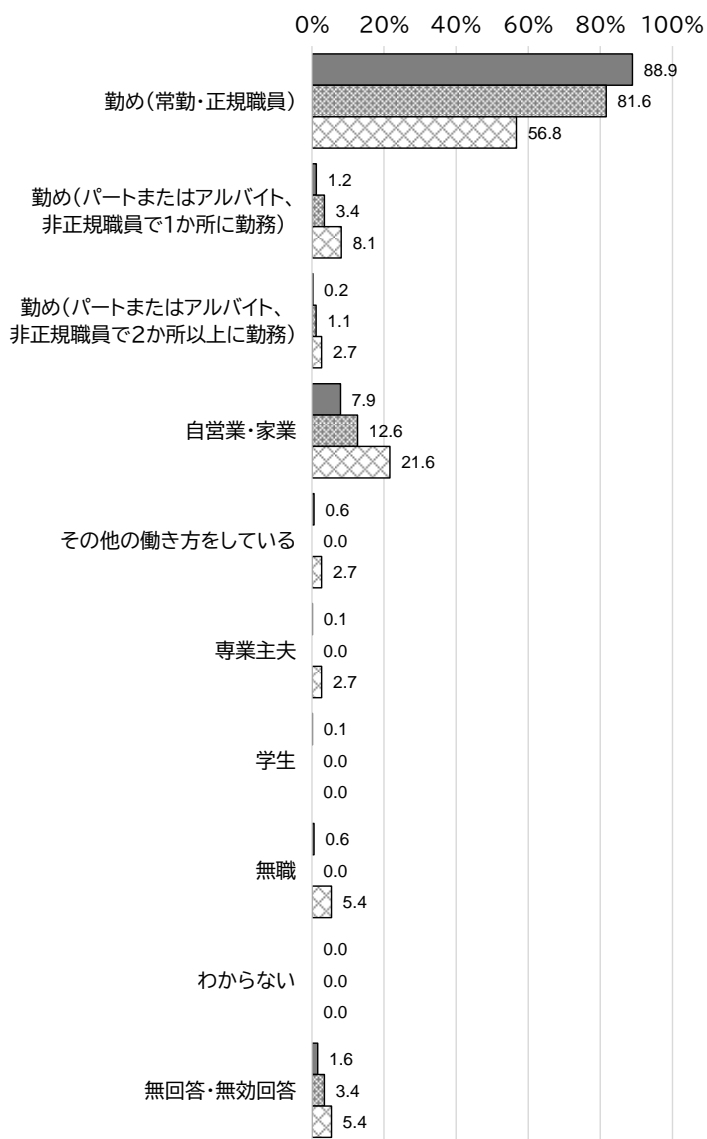
【中学2年生保護者問5】

お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。(複数回答)

図表 5-12 父親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 5-13 父親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=899)

▨周辺層(n=87)

□困窮層(n=37)

エ 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

母子家庭ではない世帯かつ問5で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、問5で1～5(働いている)を選んだ方の平日の日中以外の出社勤務の有無についてみると、「土曜出勤」がある方が43.3%と最も多く、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」がある方が39.2%、「日曜・祝日出勤」がある方が38.1%であった。

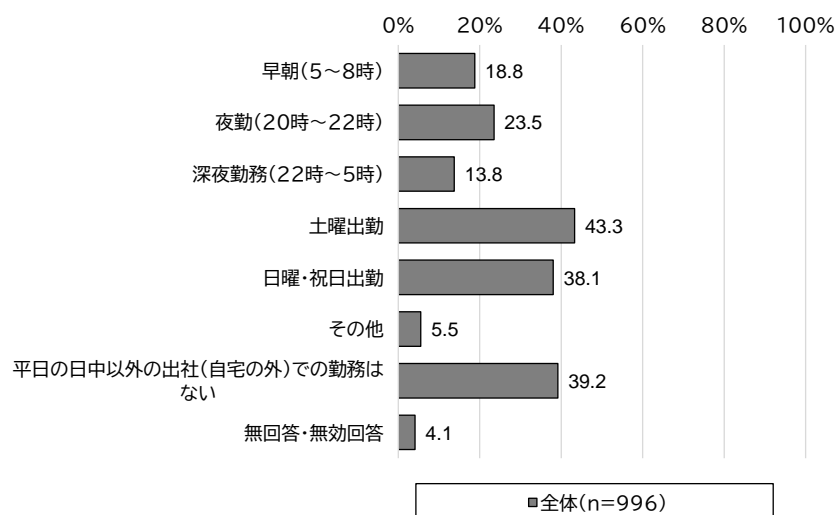
困窮層(n=33)では、「土曜出勤」がある方、「日曜・祝日出勤」がある方が57.6%と最も多く、「早朝(5～8時)」の勤務がある方が39.4%であった。

生活満足 低位(n=106)では、「土曜出勤」がある方が52.8%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方が50.9%、「夜勤(20時～22時)」がある方が34.9%であった。

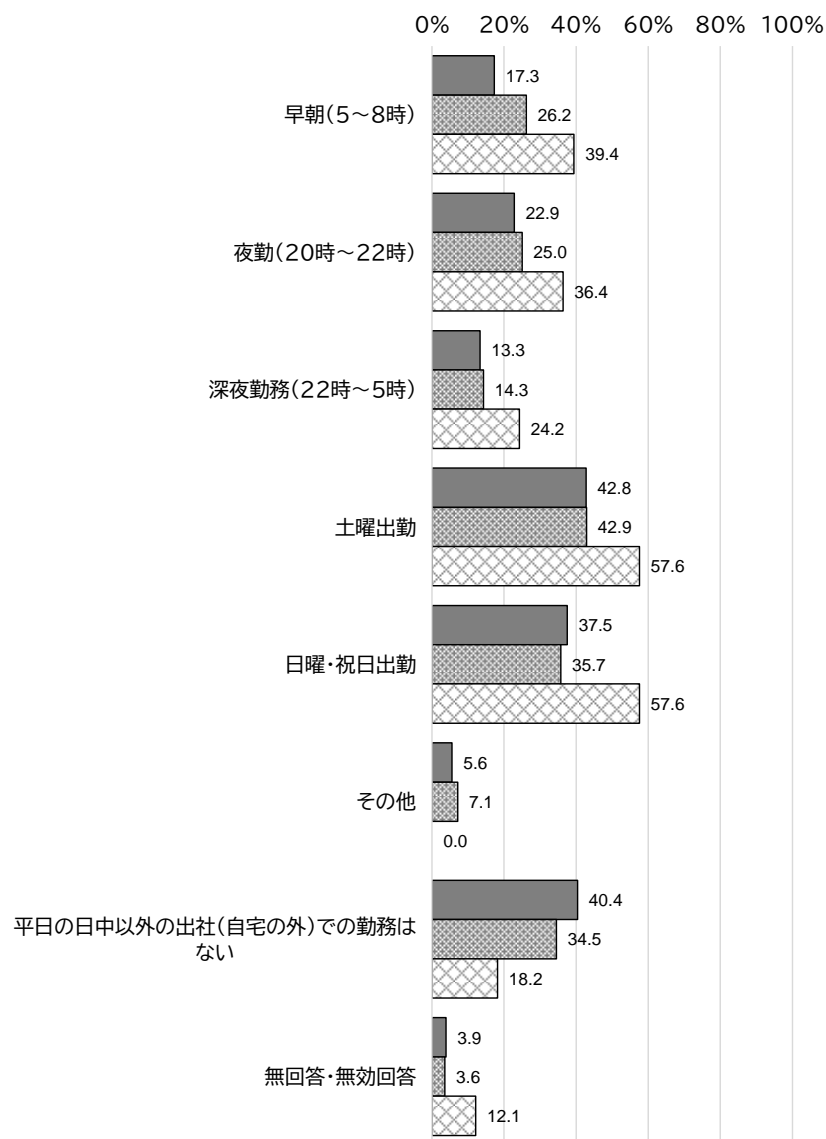
【中学2年生保護者問5-1】

問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お父さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 5-14 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)

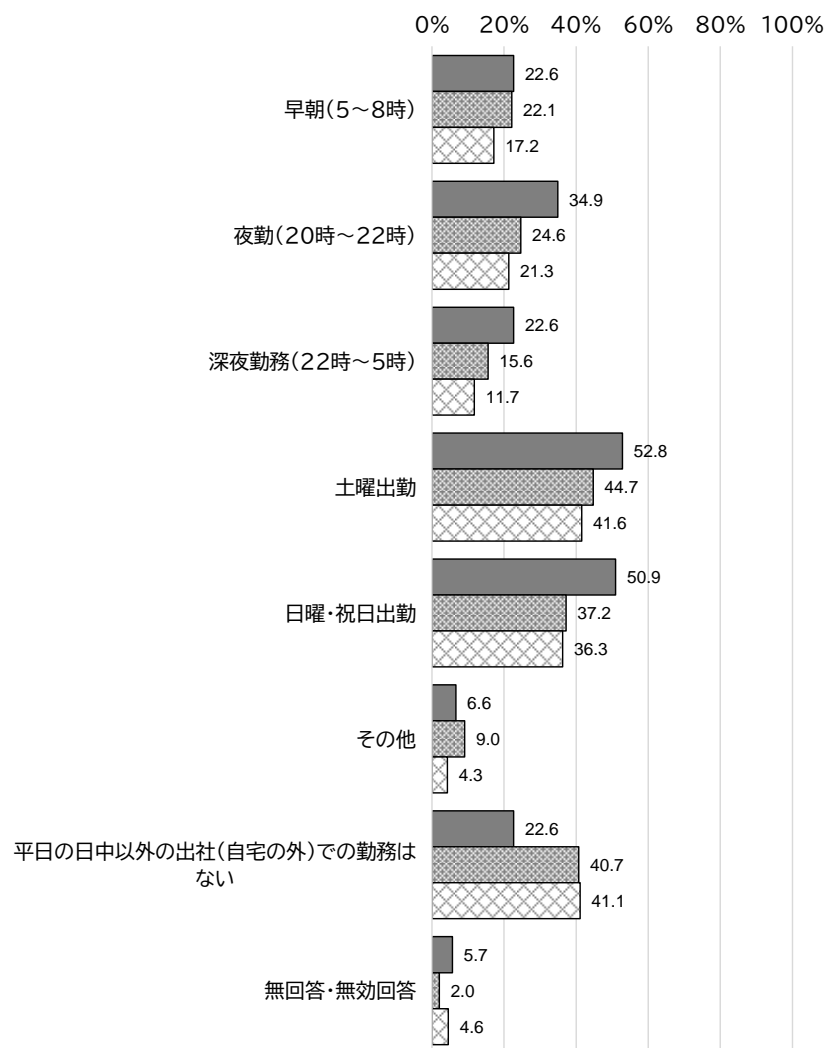


図表 5-15 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=879) □周辺層(n=84) □困窮層(n=33)

図表 5-16 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=106) □生活満足 中位(n=199) ▨生活満足 高位(n=681)

(3) お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

ア 子育ての中でしていること

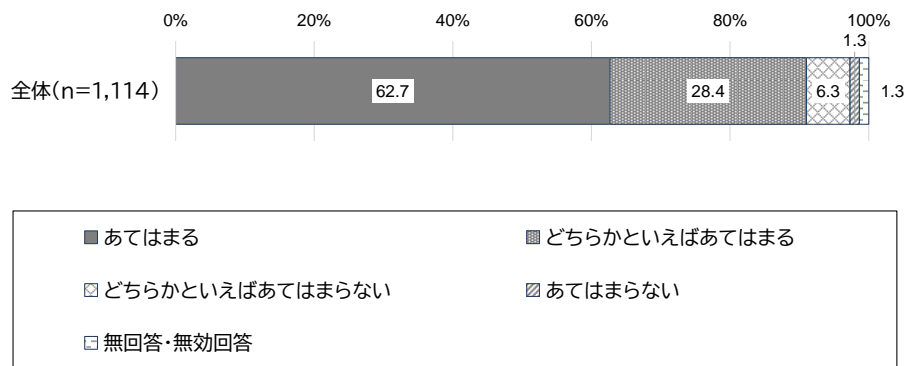
「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」は、「あてはまる」が 62.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 28.4%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「あてはまる」が 49.3%、「どちらかといえばあてはまる」が 32.4%であった。

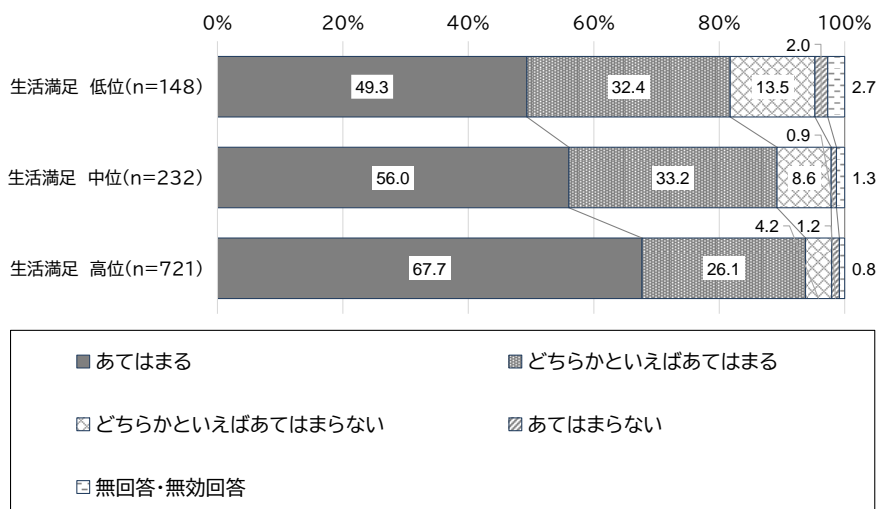
【中学2年生保護者問 6A】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 5-17 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (単純集計)



図表 5-18 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



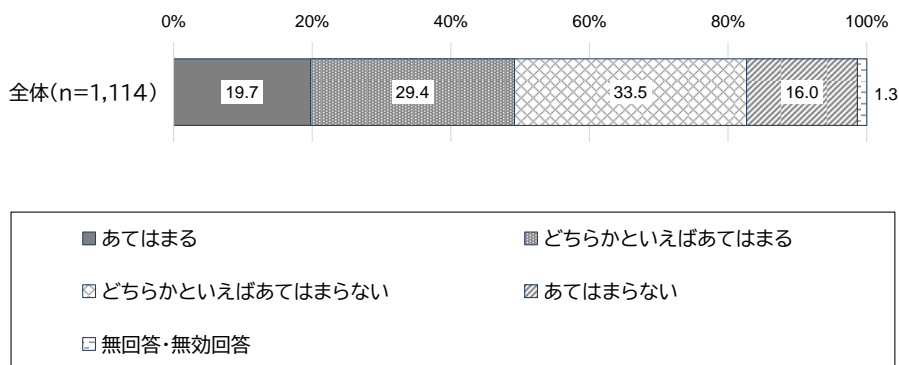
「お子さんの勉強をみる」は、「あてはまる」が 19.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 29.4%であった。

前回調査と比較すると、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の合計は、今回調査は 49.1%、前回調査は 60.5%で、11.4 ポイント減少した。

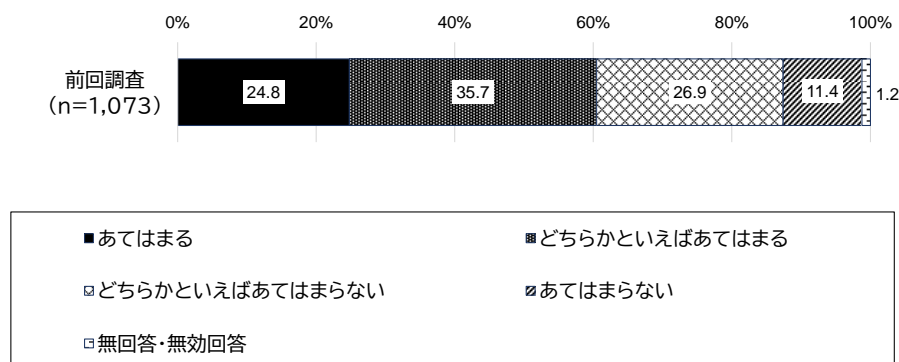
【中学2年生保護者問 6B】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 5-19 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (単純集計)



図表 5-20 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (前回調査 単純集計)



「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」は、「あてはまる」が 37.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 41.6%であった。

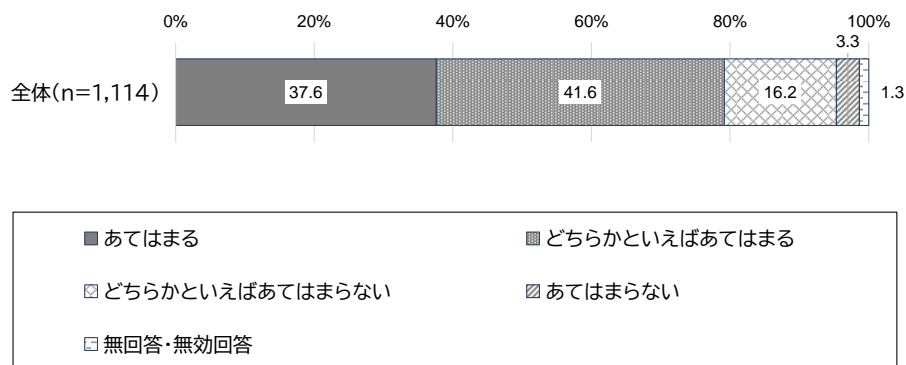
前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は、今回調査は 37.6%、前回調査は 32.0%で、5.6 ポイント増加した。

生活満足 低位(n=148)では、「あてはまる」が 29.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 42.6%であった。

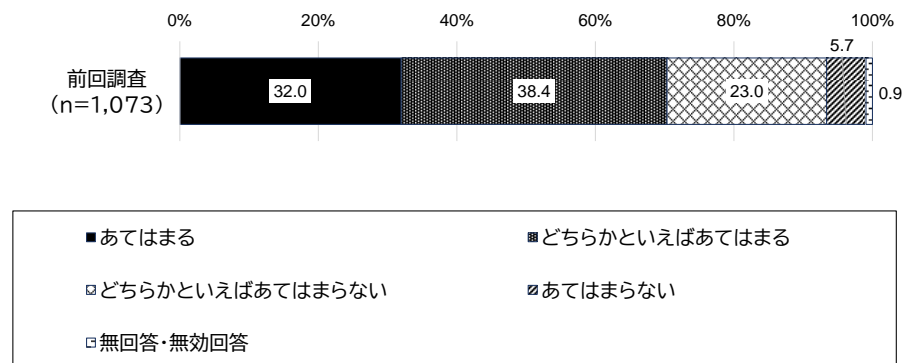
【中学2年生保護者問 6C】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

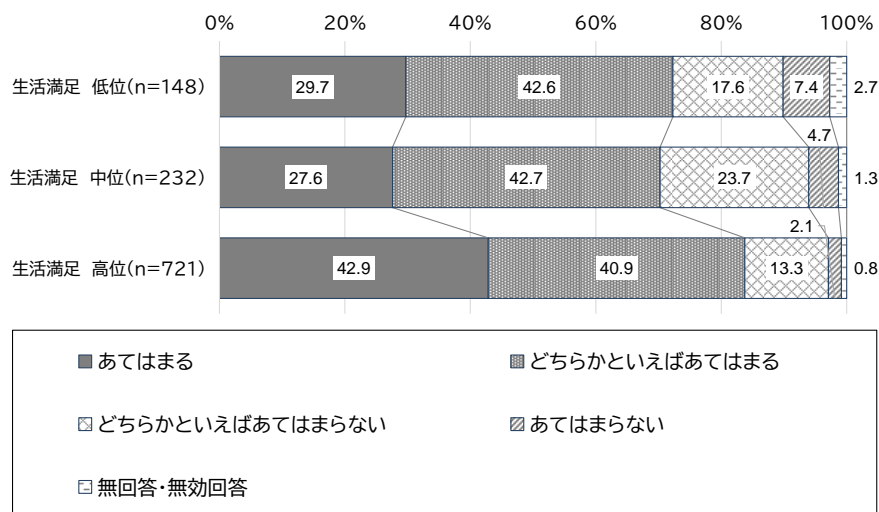
図表 5-21 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (単純集計)



図表 5-22 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (前回調査 単純集計)



図表 5-23 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

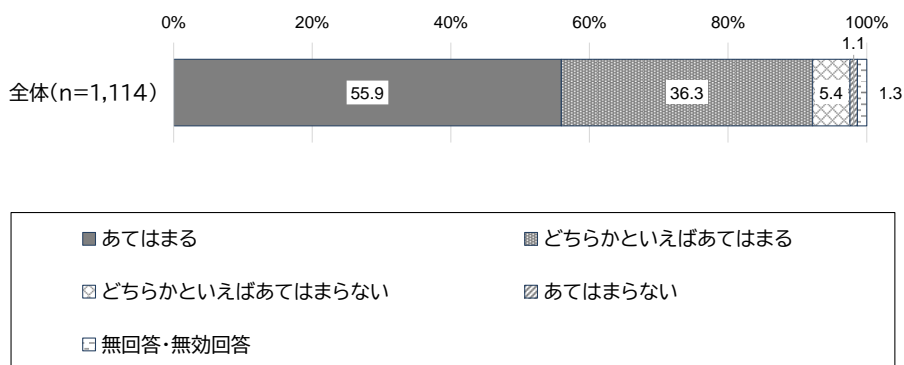


「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」は、「あてはまる」が 55.9%、「どちらかといえばあてはまる」が 36.3%であった。
 困窮層(n=56)では、「あてはまる」が 44.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 35.7%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「あてはまる」が 43.9%、「どちらかといえばあてはまる」が 45.3%であった。

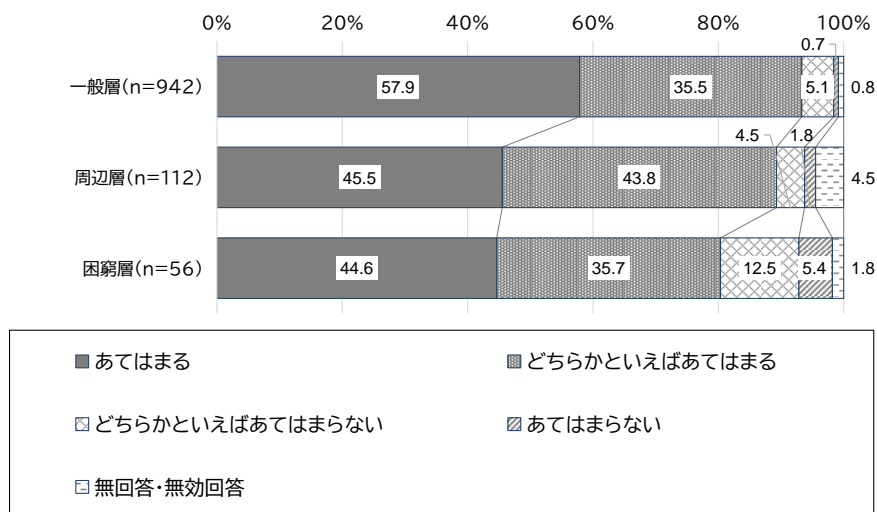
【中学2年生保護者問 6D】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

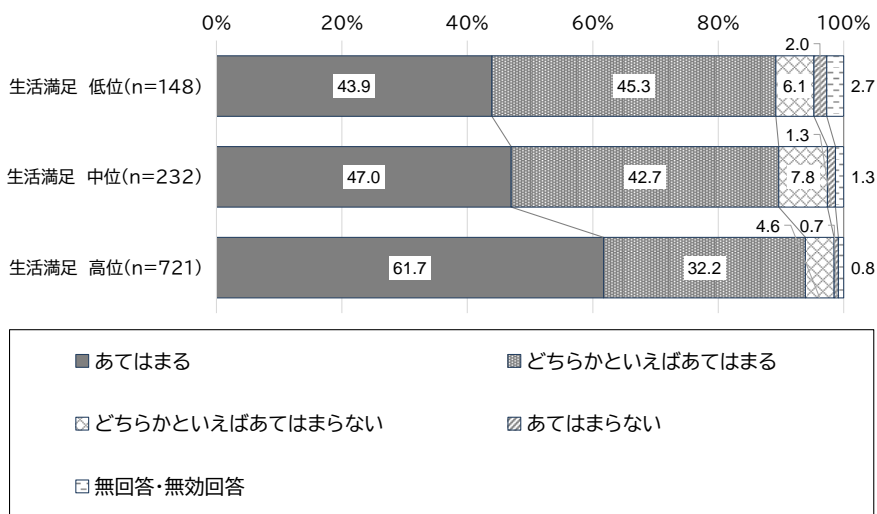
図表 5-24 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況（単純集計）



図表 5-25 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況
(生活困難層別クロス集計)



図表 5-26 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況
(生活満足度別クロス集計)



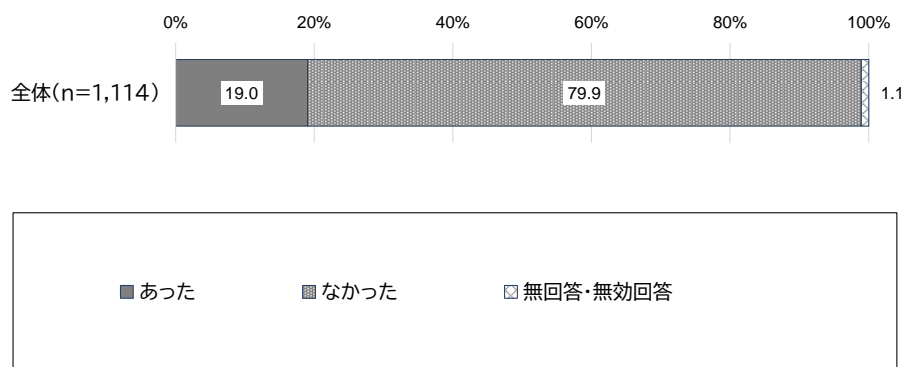
イ 過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

過去1年間に、子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった経験については、「なかった」が79.9%、「あった」が19.0%であった。

【中学2年生保護者問7】

過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか。(単一回答)

図表 5-27 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (単純集計)



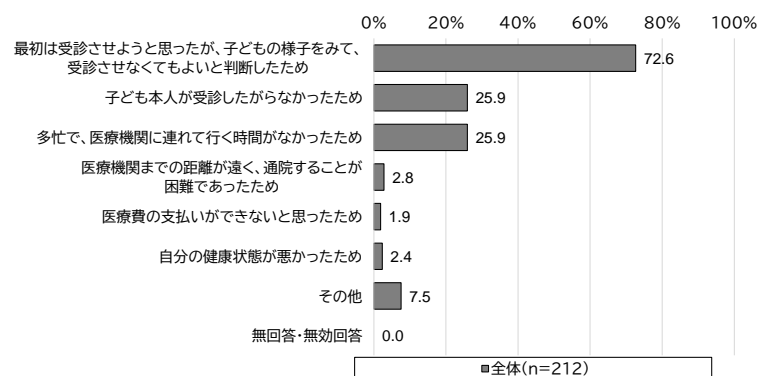
ウ 医療機関を受診させなかった理由

問7で、過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「あった」と回答した方に、その理由について尋ねたところ、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が72.6%と最も多く、「子ども本人が受診しなかったため」「子ども本人が受診しなかったため」「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」がいずれも25.9%であった。

【中学2年生保護者問7-1】

問7で「1. あった」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

図表 5-28 子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった理由 (単純集計)



工 発達に関する医師の診断

子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがあるかどうかについては、「受けたことはない」が90.3%、「受けたことがある」が8.4%であった。

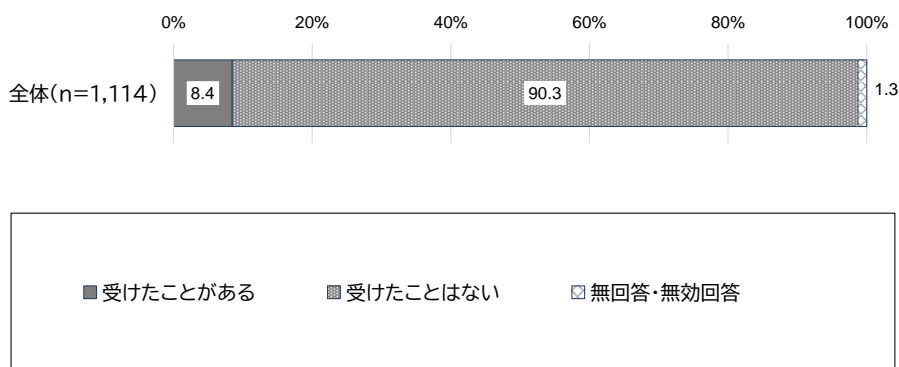
困窮層(n=56)では、「受けたことはない」が71.4%と最も多く、「受けたことがある」が26.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「受けたことはない」が79.7%と最も多く、「受けたことがある」が18.2%であった。

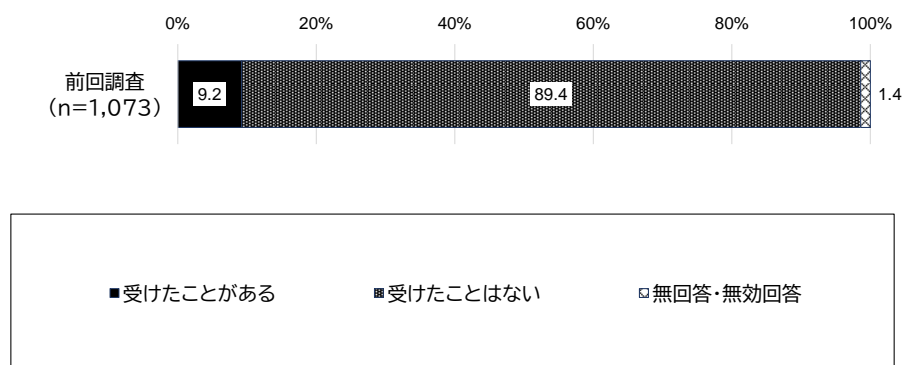
【中学2年生保護者問 8】

お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか。(単一回答)

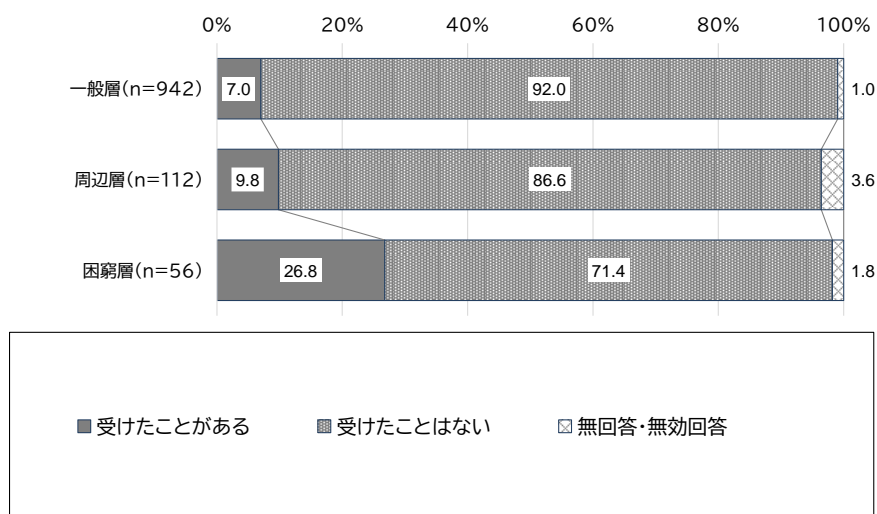
図表 5-29 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (単純集計)



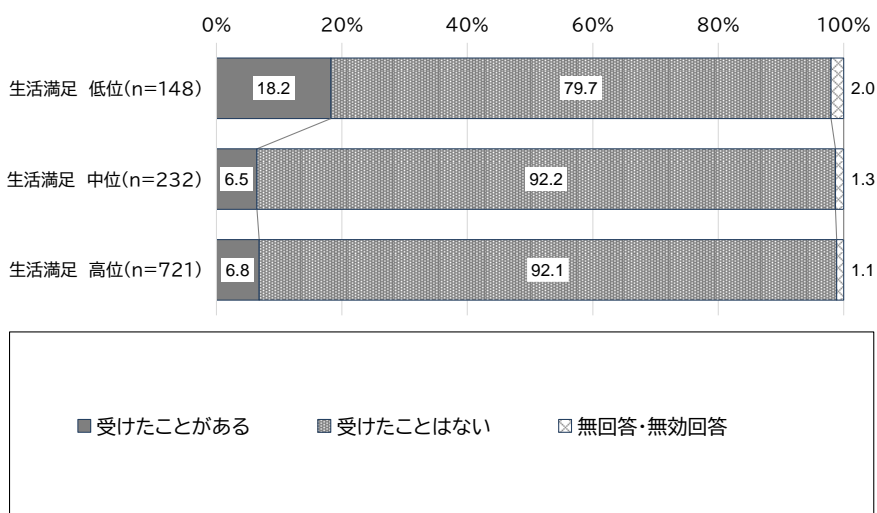
図表 5-30 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (前回調査 単純集計)



図表 5-31 回答者の子どもの発達に関する医師の診断（生活困窮層別クロス集計）



図表 5-32 回答者の子どもの発達に関する医師の診断（生活満足度別クロス集計）



オ 医師の診断結果

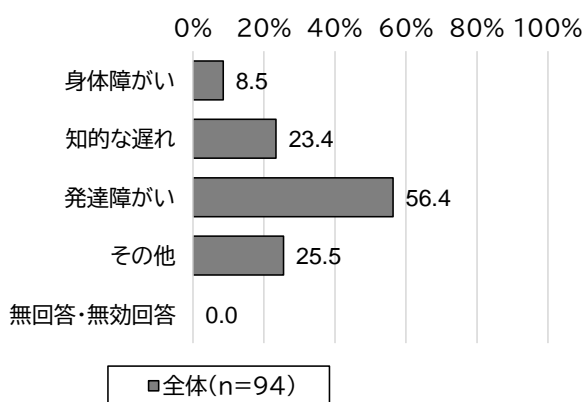
問 8 で子どもの発達に関して何らかの医師の診断を「受けたことがある」と回答した方に対して、医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が 56.4%と最も多く、「知的な遅れ」が 23.4%、「身体障がい」が 8.5%であった。

前回調査と比較すると、「発達障がい」と回答した割合は、今回調査は 56.4%、前回調査は 28.3%で、28.1 ポイント増加、「知的な遅れ」と回答した割合は、今回調査は 23.4%、前回調査は 7.1%で、16.3 ポイント増加した。

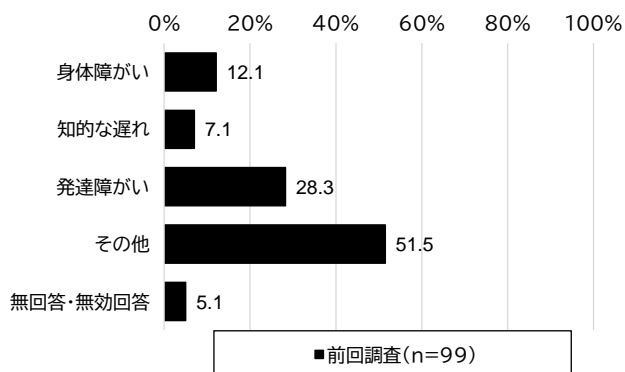
【中学2年生保護者問 8-1】

問8で「1. 受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それはどのような診断ですか。(複数回答)

図表 5-33 発達に関する診断結果（単純集計）



図表 5-34 発達に関する診断結果（前回調査 単純集計）



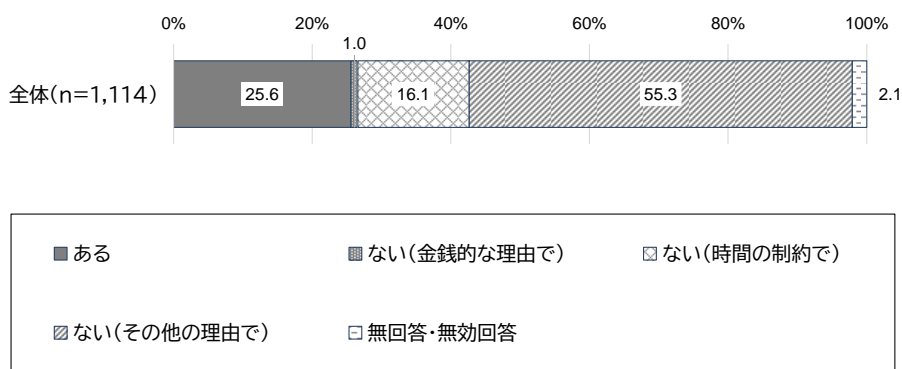
カ 体験の剥奪

「海水浴に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」は 1.0%であった。

【中学2年生保護者問 9A】

過去 1 年間に於いて、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-35 「海水浴に行く」の実施状況 (単純集計)



「博物館・美術館・水族館などに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、3.1%であった。

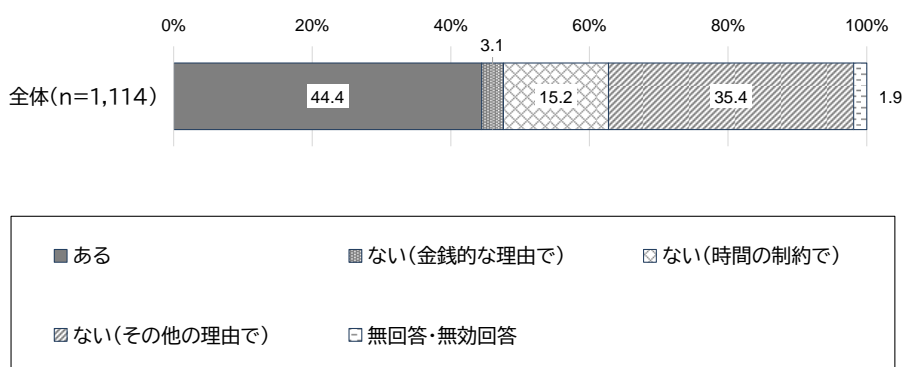
困窮層(n=56)では、「ない(金銭的な理由で)」が 26.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「ない(金銭的な理由で)」が、12.8%であった。

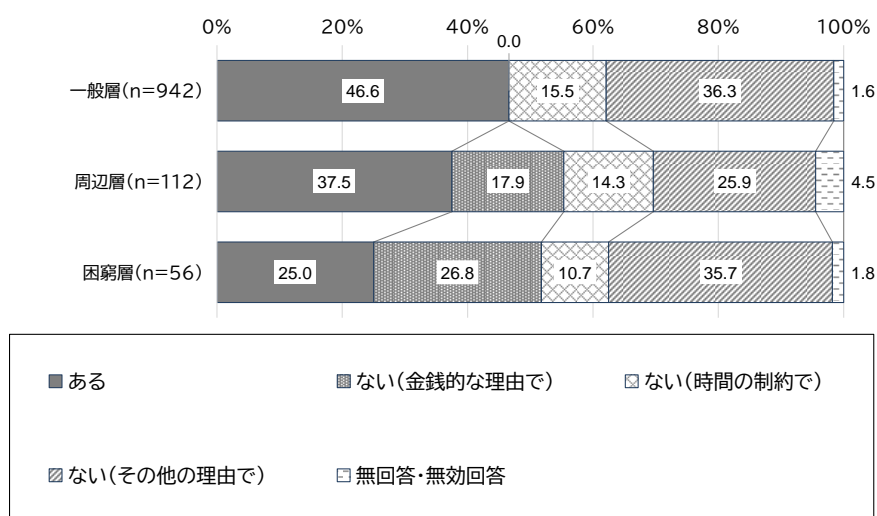
【中学2年生保護者問 9B】

過去 1 年間に於いて、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

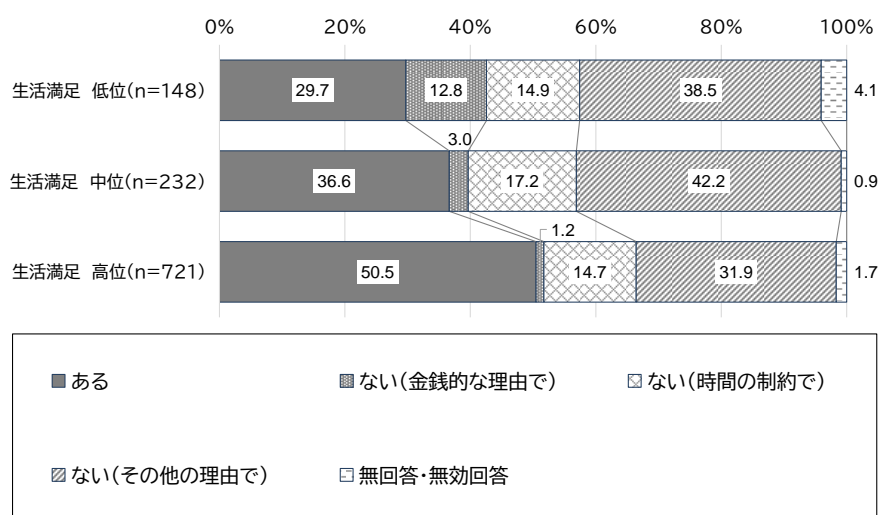
図表 5-36 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況 (単純集計)



図表 5-37 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）³³



図表 5-38 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



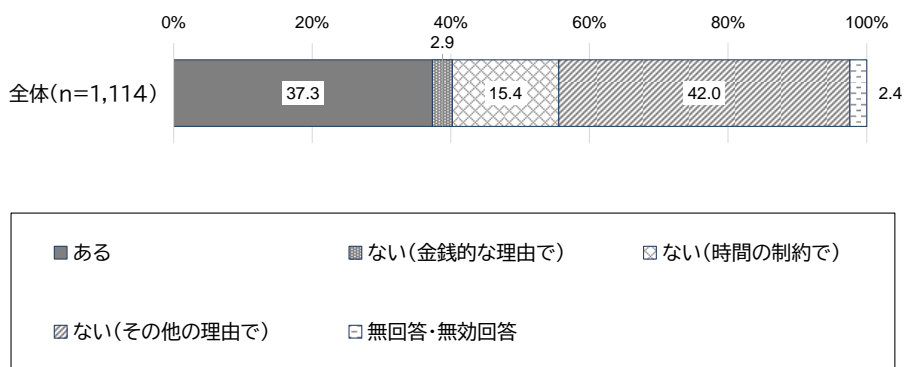
³³ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「キャンプやバーベキューに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、2.9%であった。
 困窮層(n=56)では、「ない(金銭的な理由で)」が 25.0%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「ない(金銭的な理由で)」が 13.5%であった。

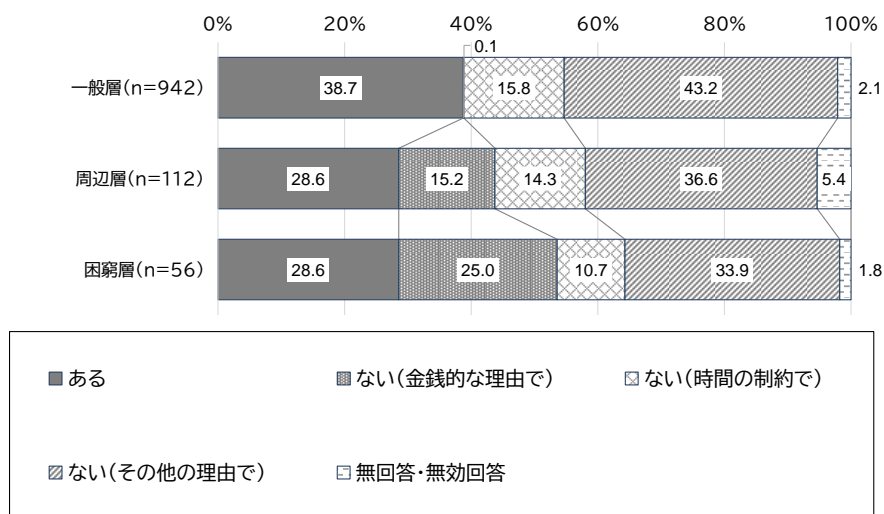
【中学2年生保護者問 9C】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-39 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況 (単純集計)

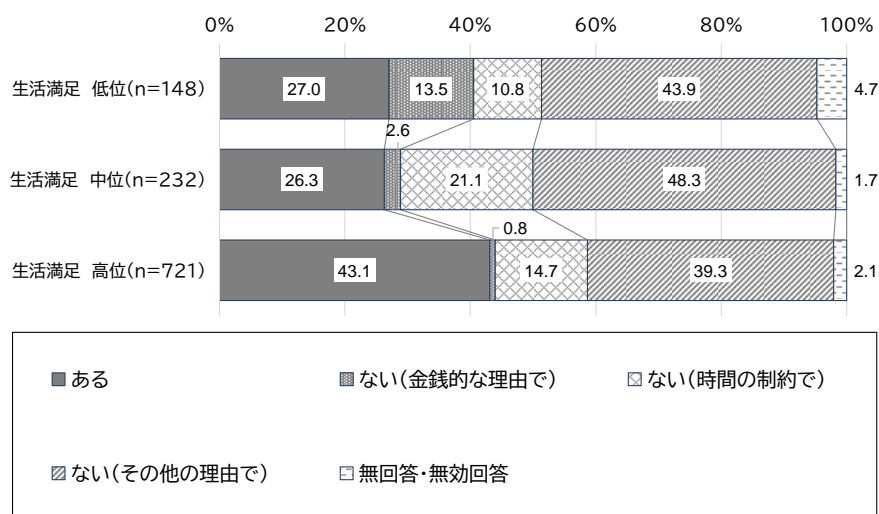


図表 5-40 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)³⁴



³⁴ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 5-41 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

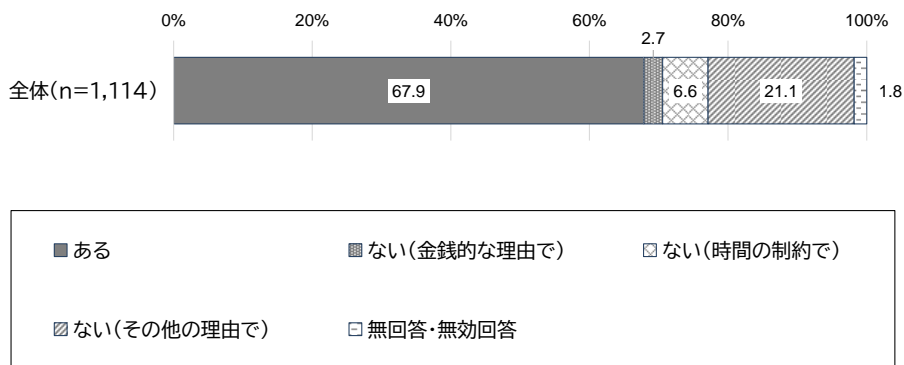


「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、2.7%であった。

【中学2年生保護者問 9D】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-42 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（単純集計）

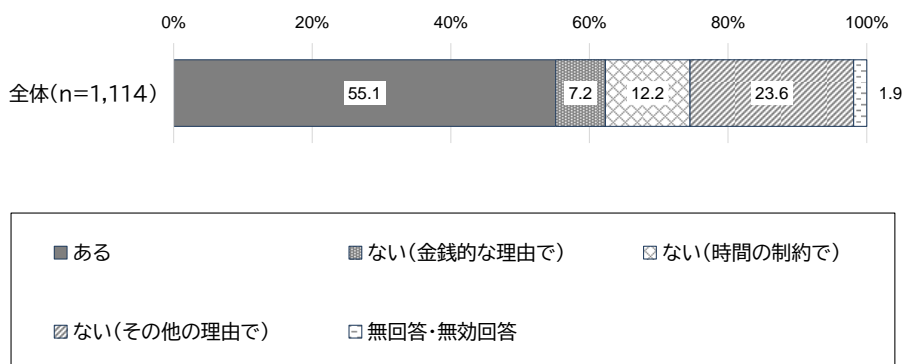


「遊園地やテーマパークに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、7.2%であった。

【中学2年生保護者問 9E】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-43 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況 (単純集計)



キ 家庭での経験の剥奪

「毎月おこづかいを渡す」は、「経済的にできない」が 3.3%であった。

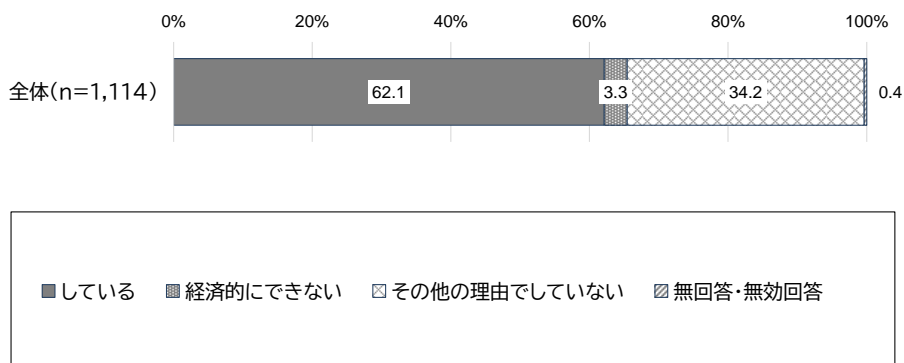
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 10.1%であった。

困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 30.4%であった。

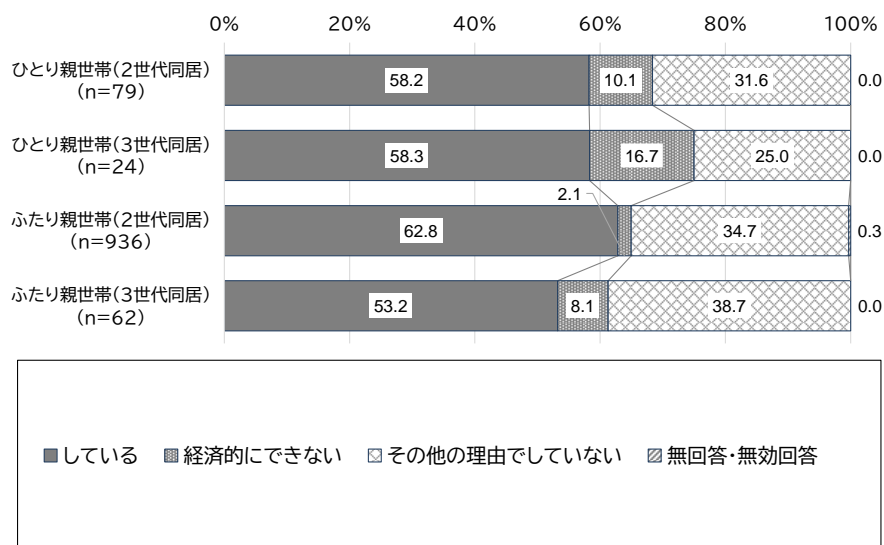
【中学2年生保護者問 10A】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

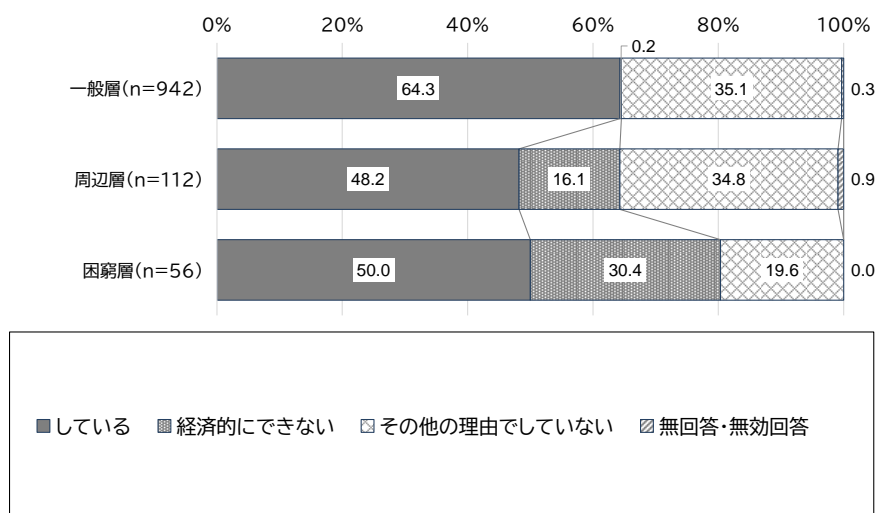
図表 5-44 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況 (単純集計)



図表 5-45 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-46 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（生活困難層別クロス集計）³⁵



³⁵ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

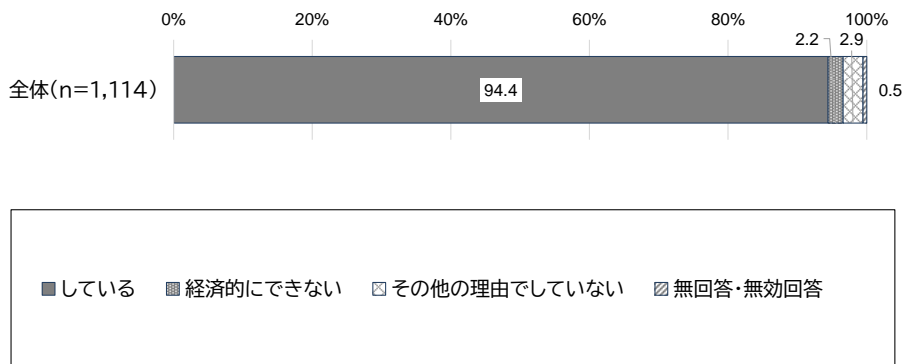
「毎年新しい洋服・靴を買う」は、「経済的にできない」が 2.2%であった。

困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 23.2%であった。

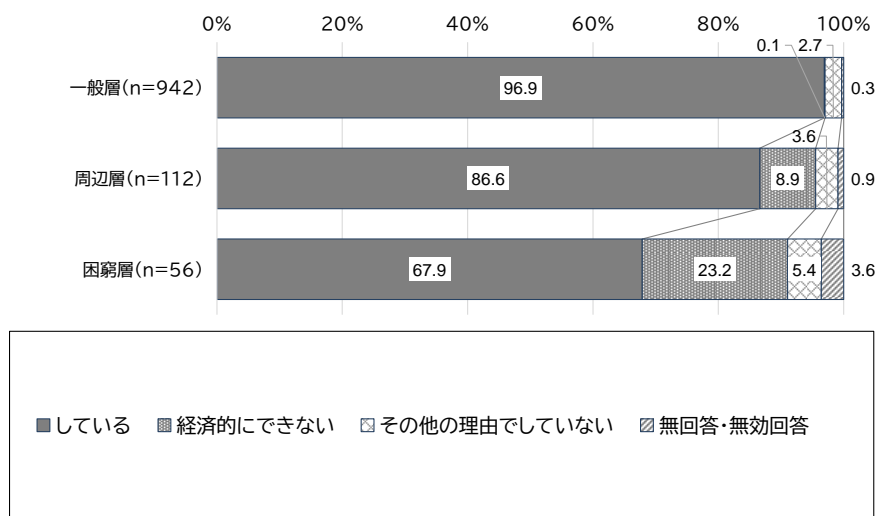
【中学2年生保護者問 10B】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 5-47 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況 (単純集計)



図表 5-48 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)³⁶



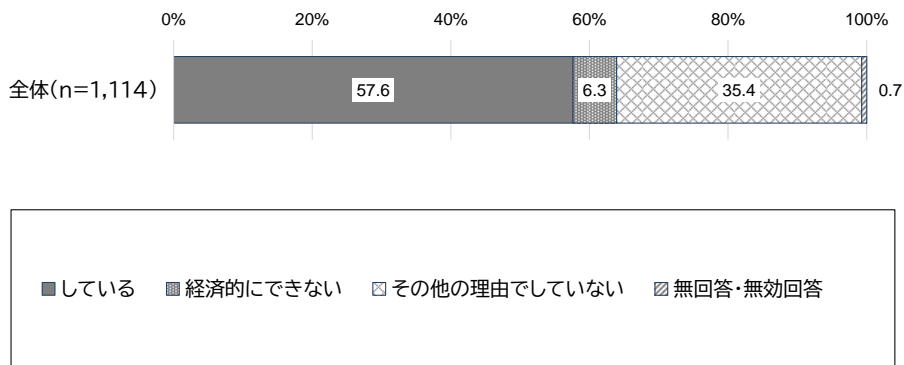
³⁶ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」は、「経済的にできない」が 6.3%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 16.5%であった。
 困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 48.2%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が 20.3%であった。

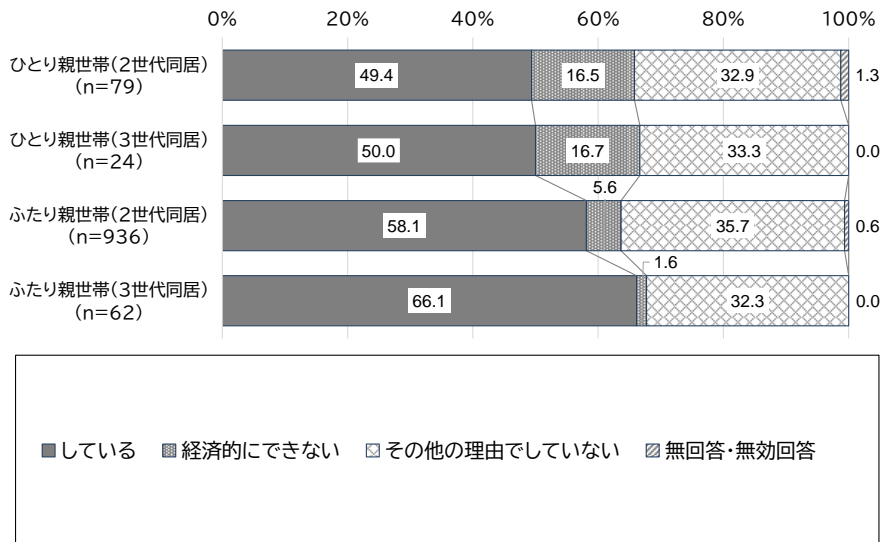
【中学2年生保護者問 10C】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

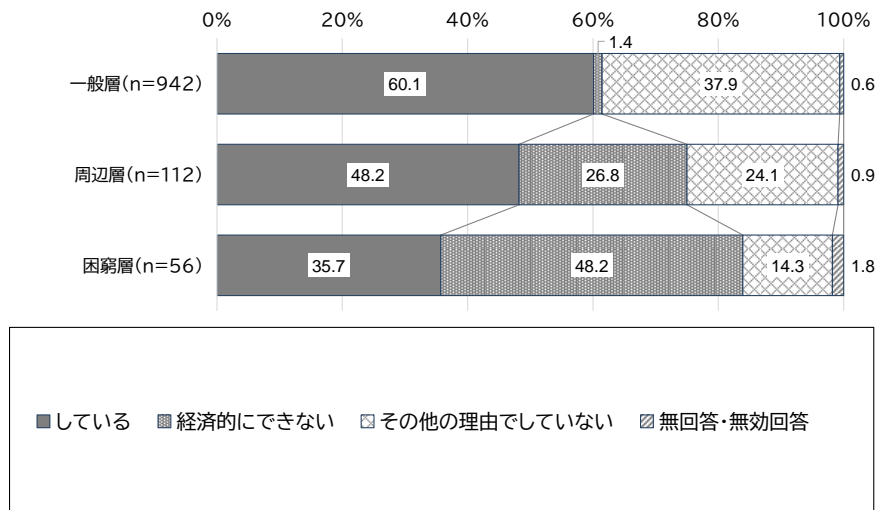
図表 5-49 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (単純集計)



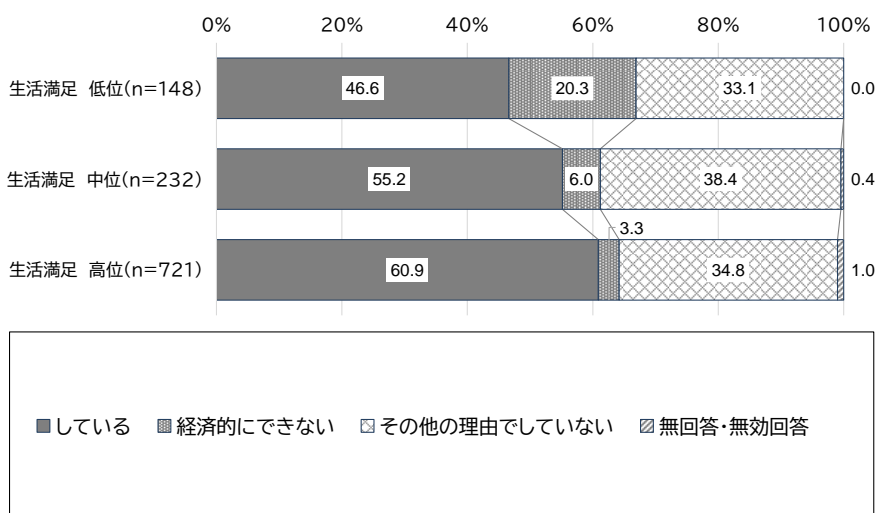
図表 5-50 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-51 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)³⁷



図表 5-52 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



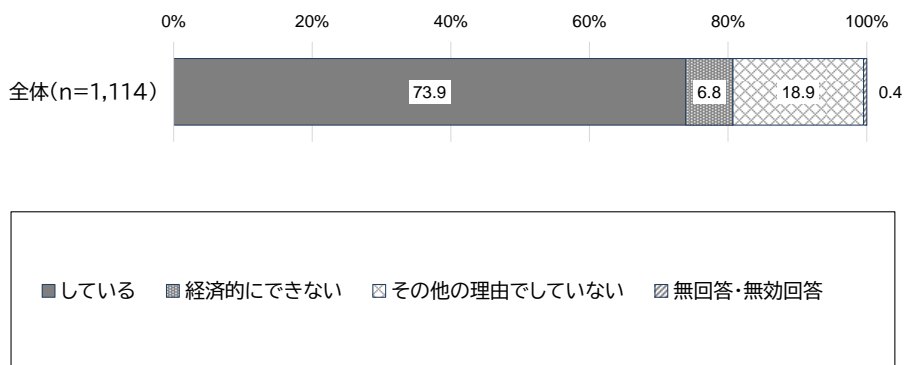
³⁷ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」は、「経済的にできない」が 6.8%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 19.0%であった。
 困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 55.4%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が 21.6%であった。

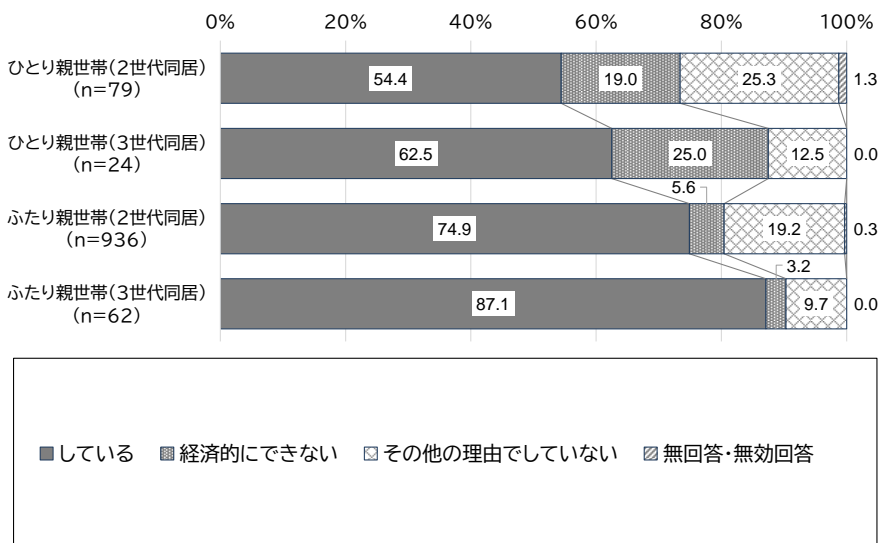
【中学2年生保護者問 10D】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

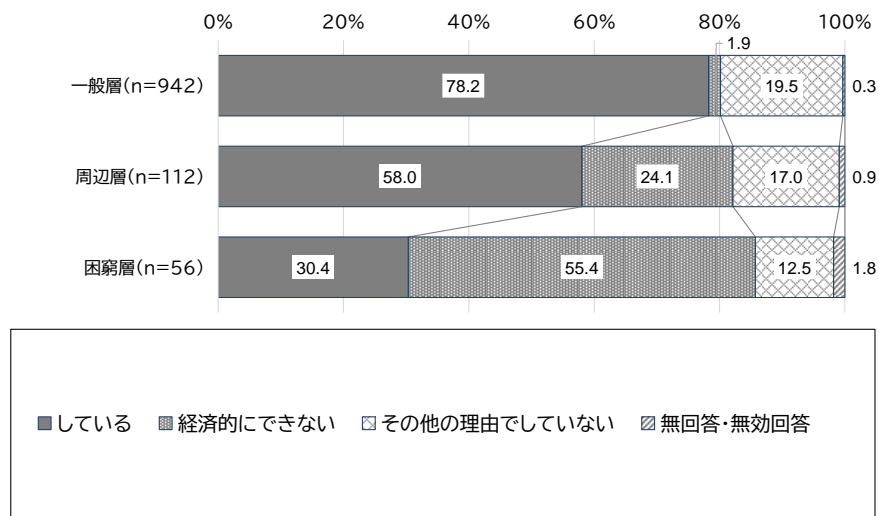
図表 5-53 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (単純集計)



図表 5-54 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)

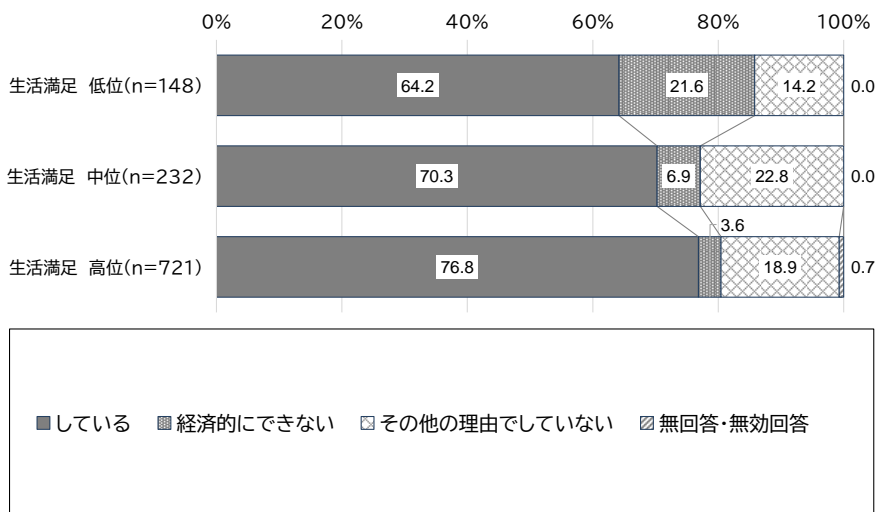


図表 5-55 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)



38

図表 5-56 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



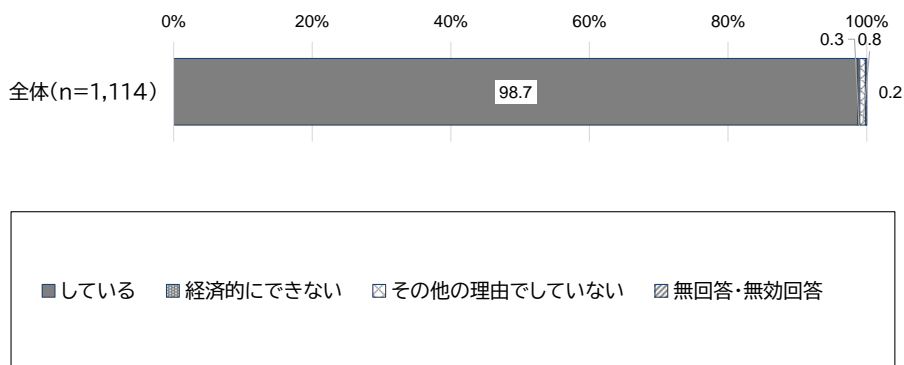
38 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「お誕生日のお祝いをする」は、「経済的にできない」が 0.3%であった。

【中学2年生保護者問 10E】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 5-57 「お誕生日のお祝いをする」の実施状況 (単純集計)



「1年に1回くらい家族旅行に行く」は、「経済的にできない」が 10.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 25.3%であった。

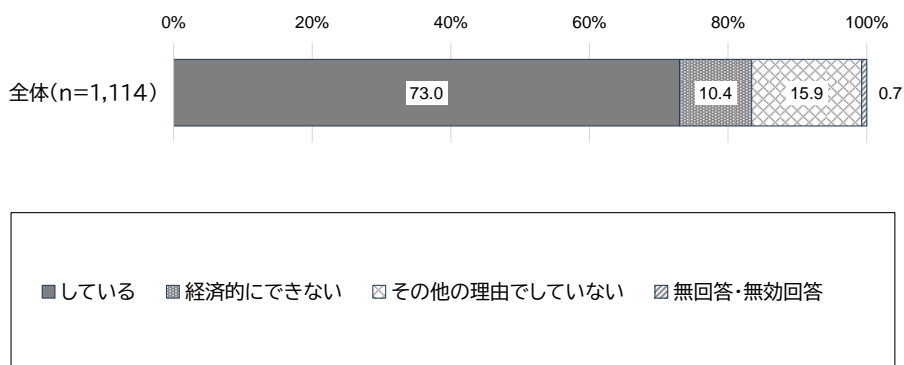
困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 71.4%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が 32.4%であった。

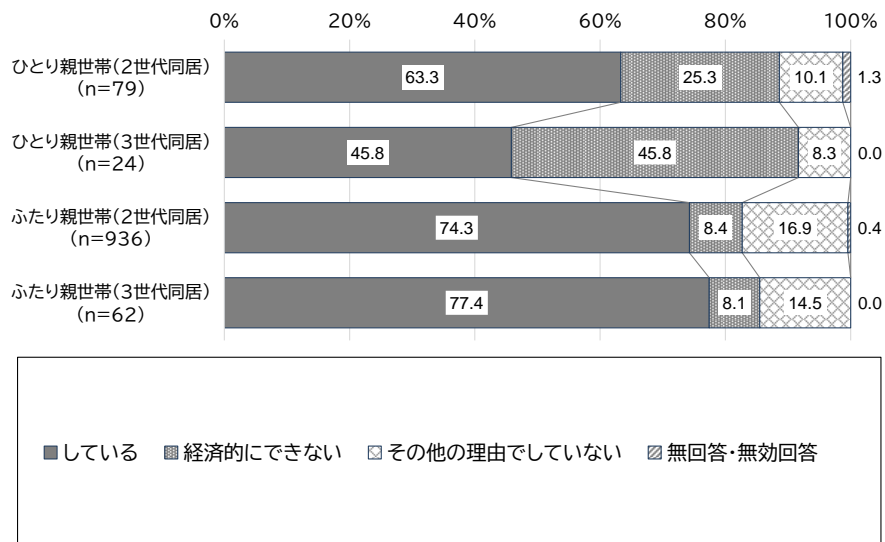
【中学2年生保護者問 10F】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

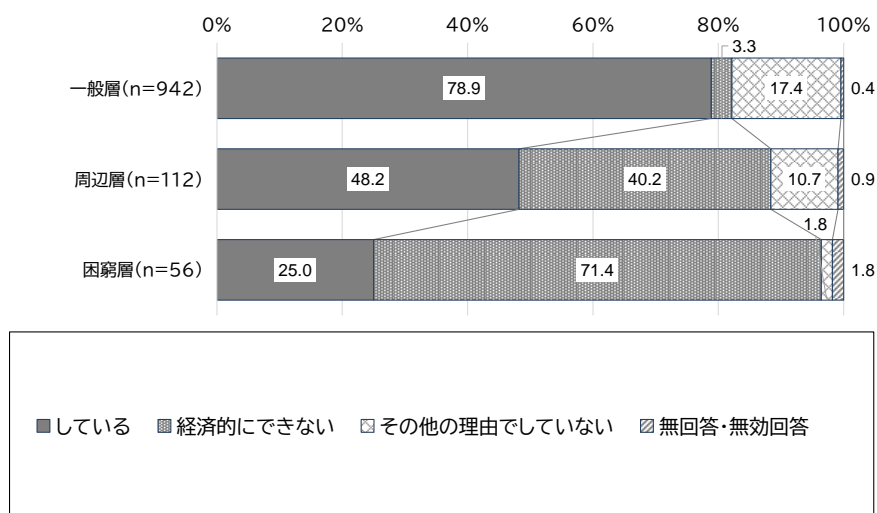
図表 5-58 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況 (単純集計)



図表 5-59 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

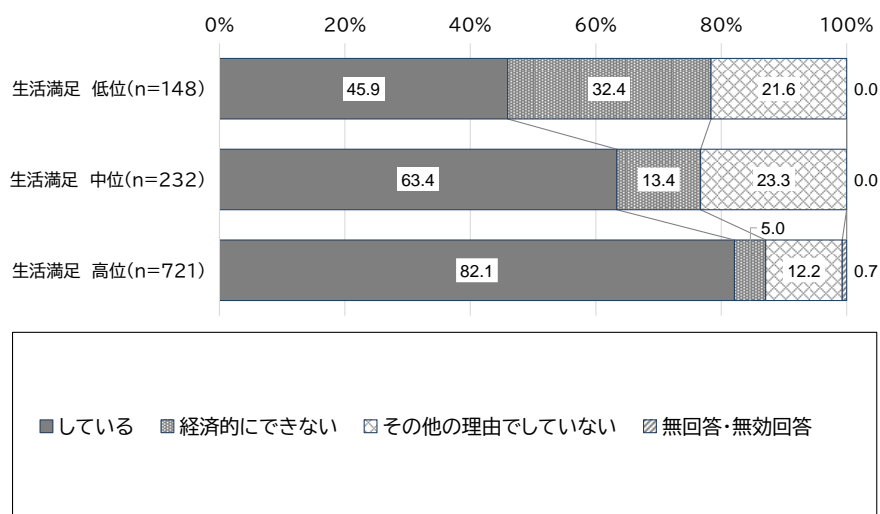


図表 5-60 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）³⁹



³⁹ 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 5-61 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

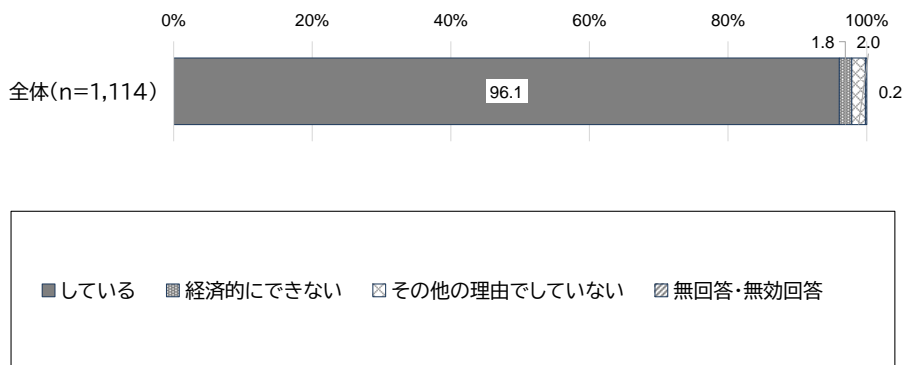


「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」は、「経済的にできない」が 1.8%であった。

【中学2年生保護者問 10G】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（単一回答）

図表 5-62 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」の実施状況（単純集計）

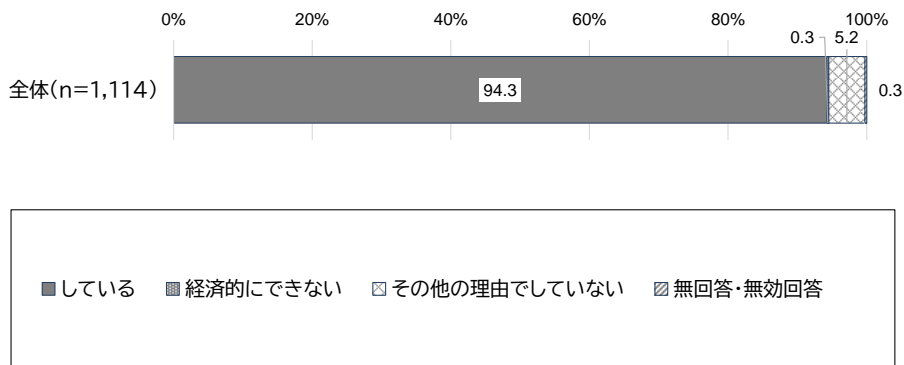


「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」は、「経済的にできない」が 0.3%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 2.5%であった。
 困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 3.6%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が 0.7%であった。

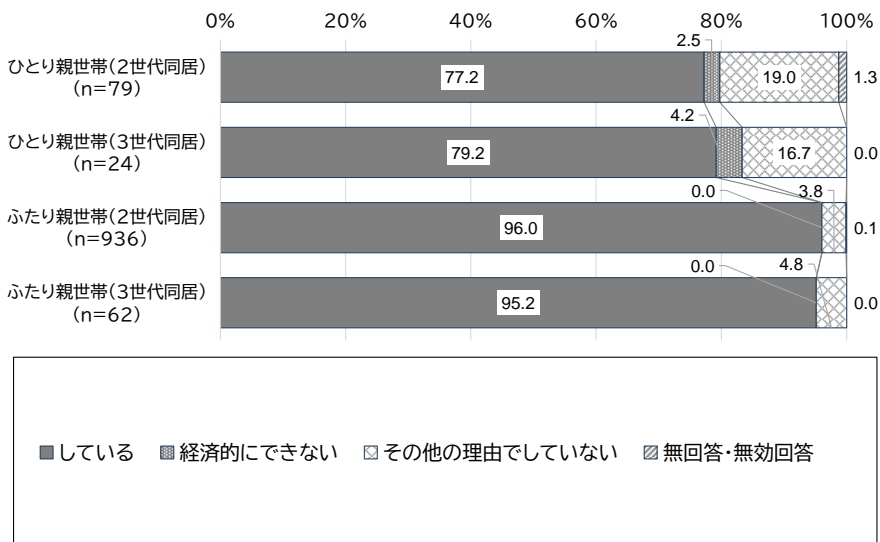
【中学2年生保護者問 10H】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

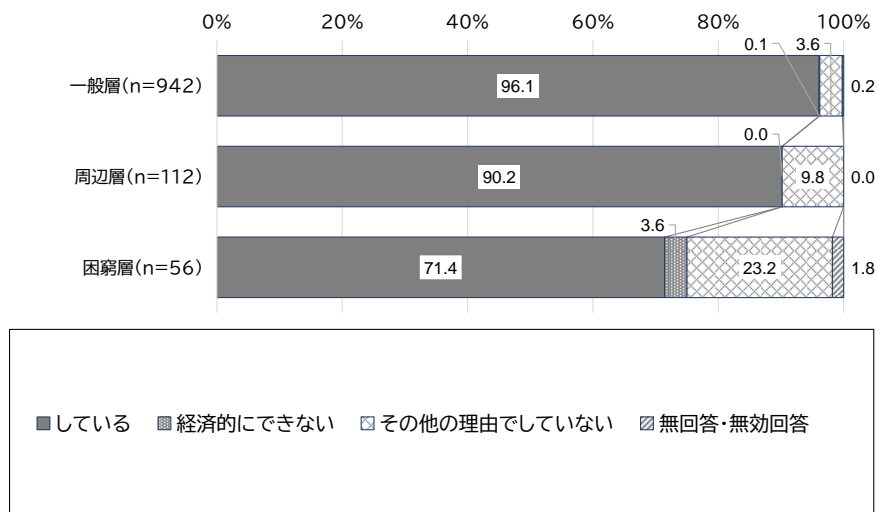
図表 5-63 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（単純集計）



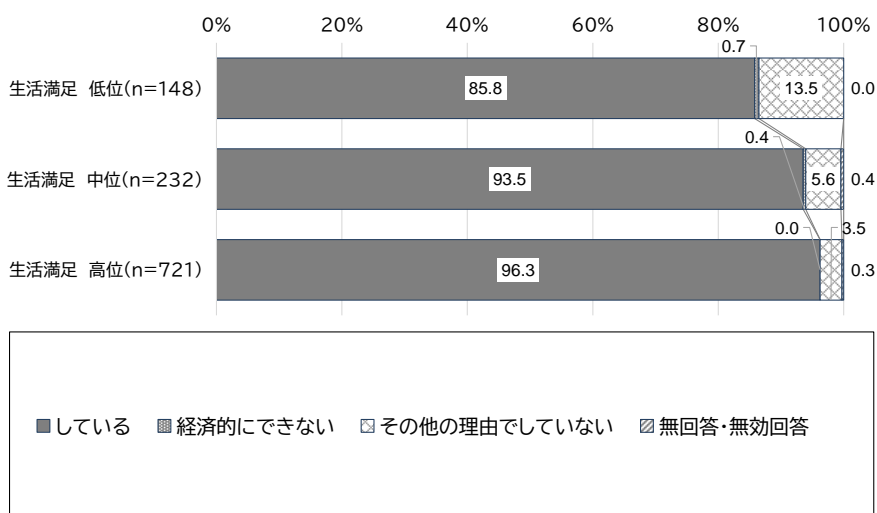
図表 5-64 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-65 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-66 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



ク 経済的理由で世帯にないもの

経済的理由のために世帯にないものを尋ねたところ、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 75.5%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 6.7%、「自家用車」が 5.1%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 2.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 49.4%であった。世帯にないものに関する回答では、「自家用車」が 27.8%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 15.2%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 11.4%であった。

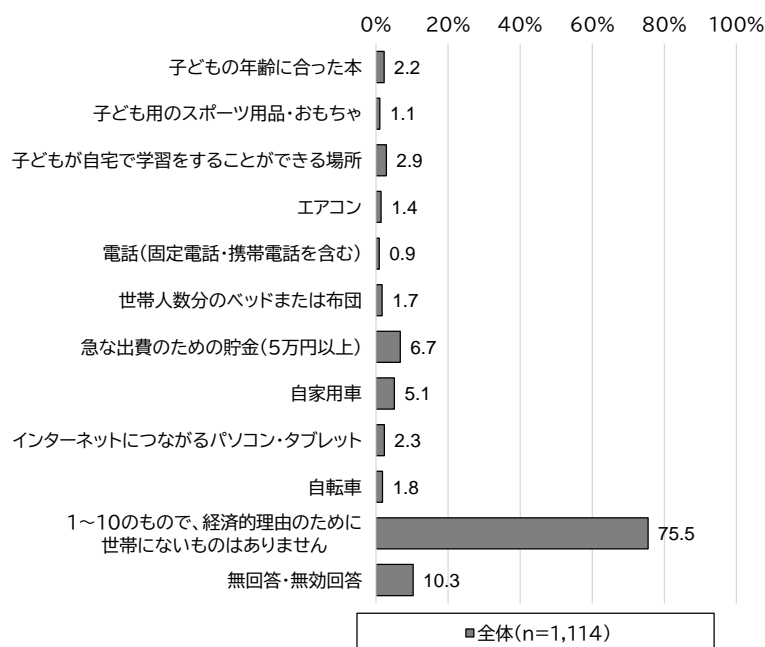
困窮層(n=56)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 10.7%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 62.5%、「子どもの年齢に合った本」が 30.4%、「自家用車」が 25.0%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 60.1%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 20.9%、「自家用車」が 9.5%、「子どもの年齢にあった本」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 7.4%であった。

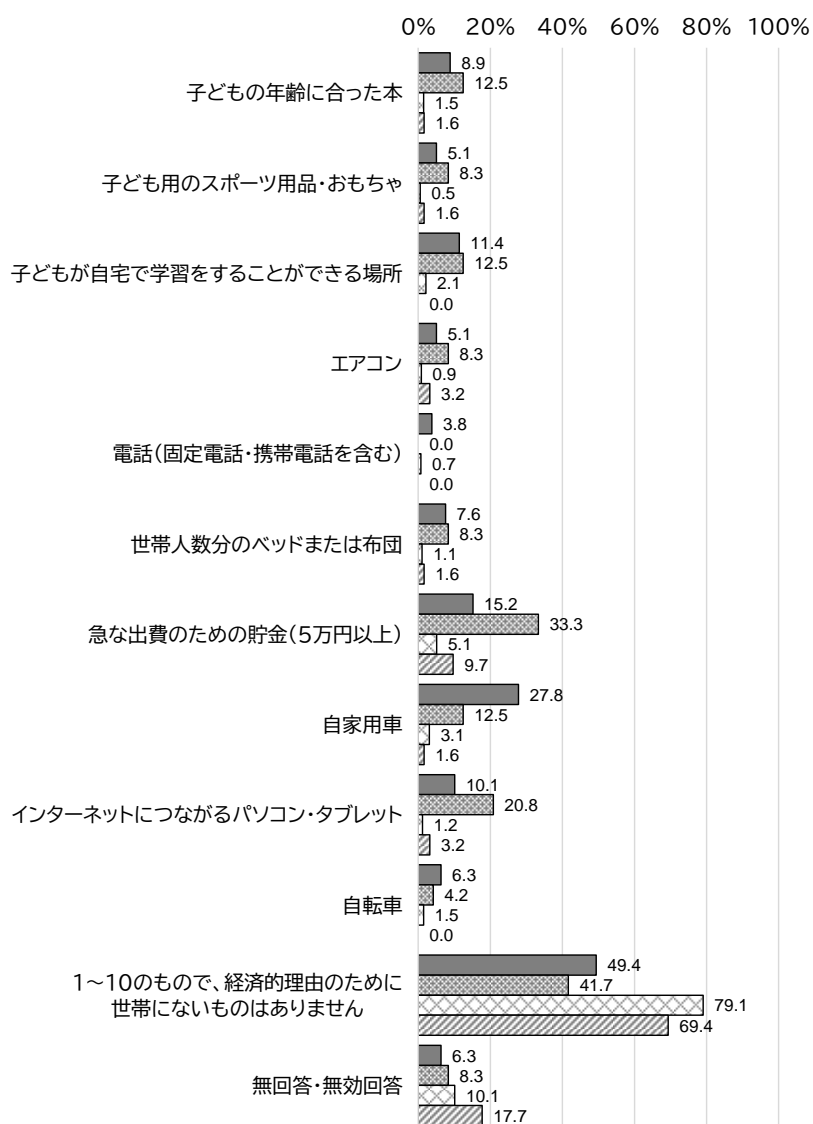
【中学2年生保護者問 11】

次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。(複数回答)

図表 5-67 経済的理由で世帯にないもの (単純集計)

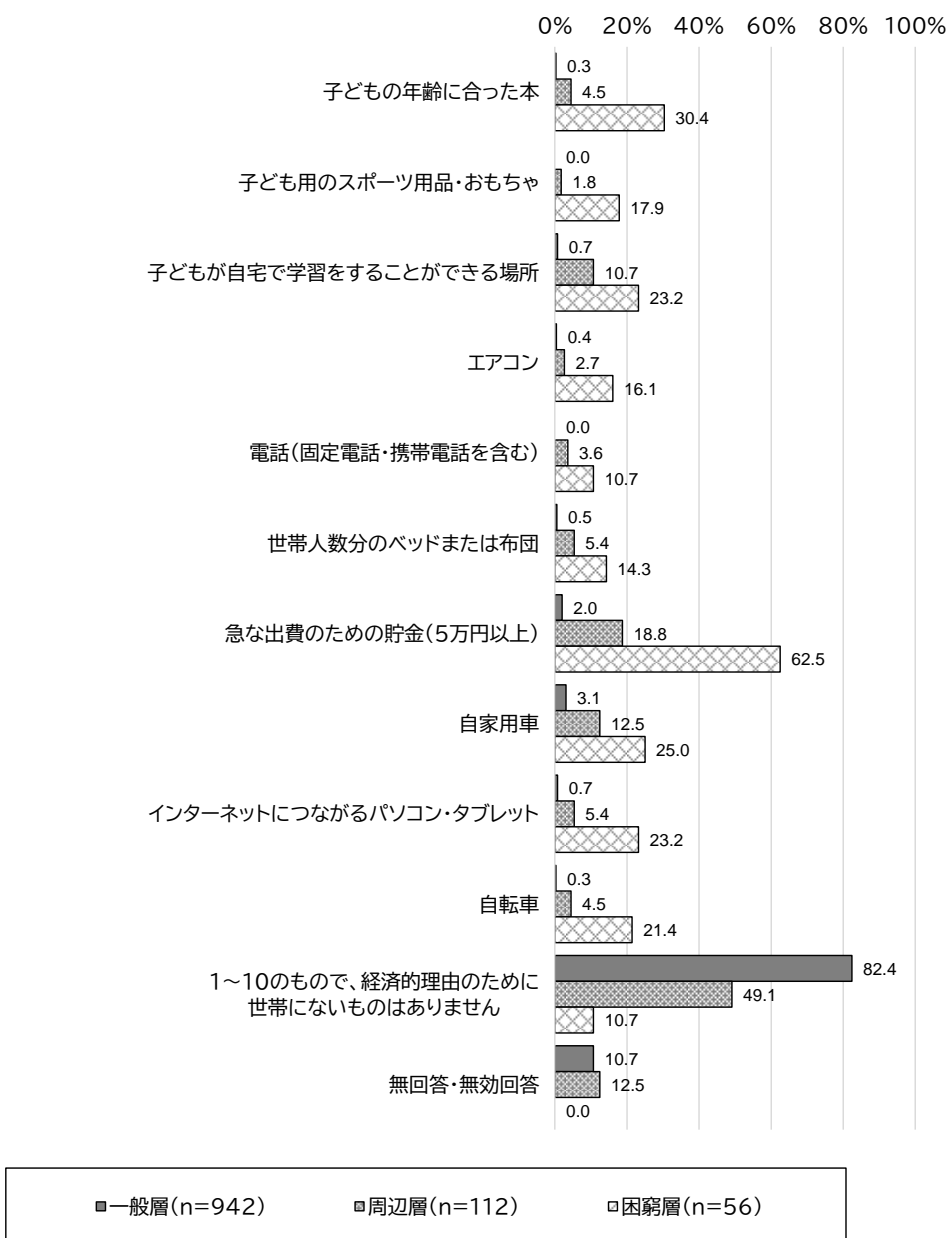


図表 5-68 経済的理由で世帯にないもの（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=936) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 5-69 経済的理由で世帯にないもの（生活困難層別クロス集計）⁴⁰



⁴⁰ 「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 5-70 経済的理由で世帯にないもの（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=148) ■生活満足 中位(n=232) □生活満足 高位(n=721)

ケ 進学への希望

子どもにどの段階までの教育を受けさせたいと希望しているか尋ねたところ、「大学またはそれ以上」が74.9%と最も多く、「まだわからない」が11.2%、「高専・短大・専門学校等まで」が8.9%であった。

前回調査と比較すると、お子さんに、「大学またはそれ以上」の教育を受けさせたいと回答した割合は、今回調査は74.9%、前回調査は68.1%で、6.8ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「大学またはそれ以上」が59.5%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」が16.5%、「まだわからない」が12.7%であった。

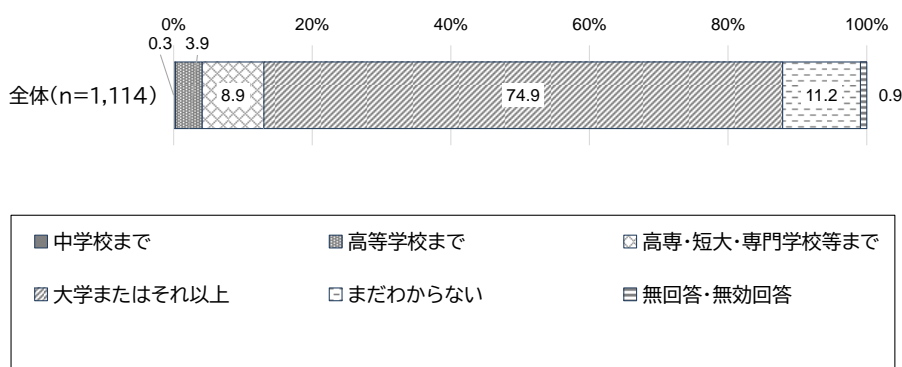
困窮層(n=56)では、「大学またはそれ以上」が44.6%と最も多く、「まだわからない」が21.4%、「高等学校まで」が19.6%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「大学またはそれ以上」が63.5%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」が14.2%、「まだわからない」が12.8%であった。

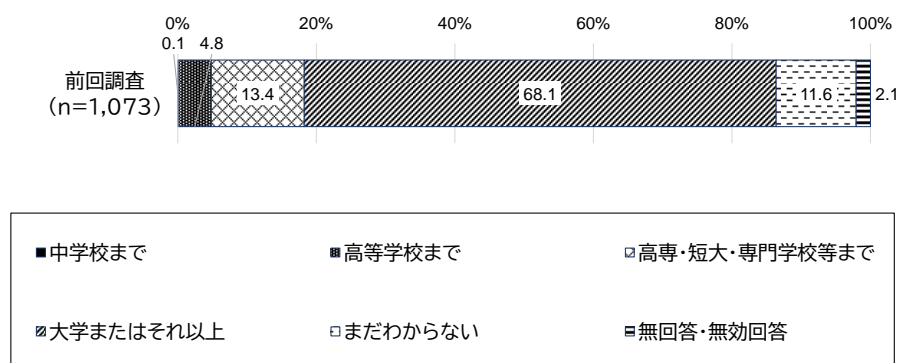
【中学2年生保護者問 12】

お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(単一回答)

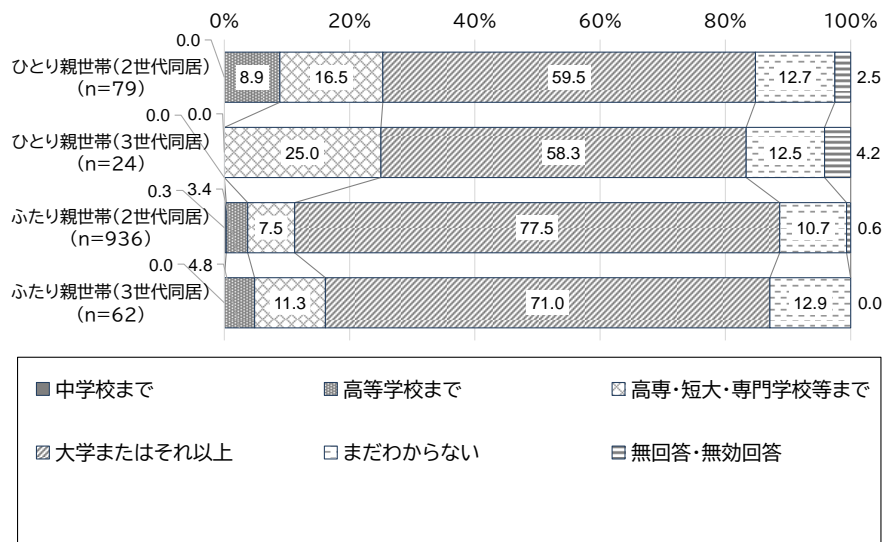
図表 5-71 子どもの進学への希望 (単純集計)



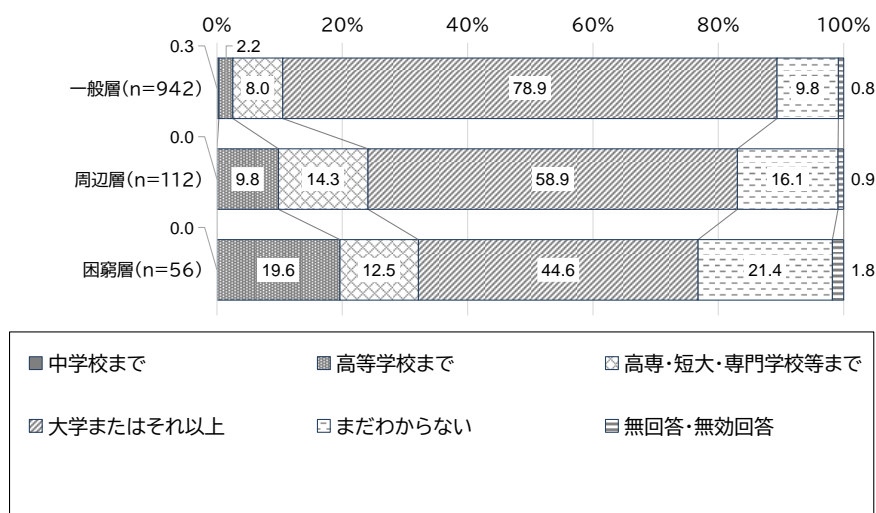
図表 5-72 子どもの進学への希望 (前回調査 単純集計)



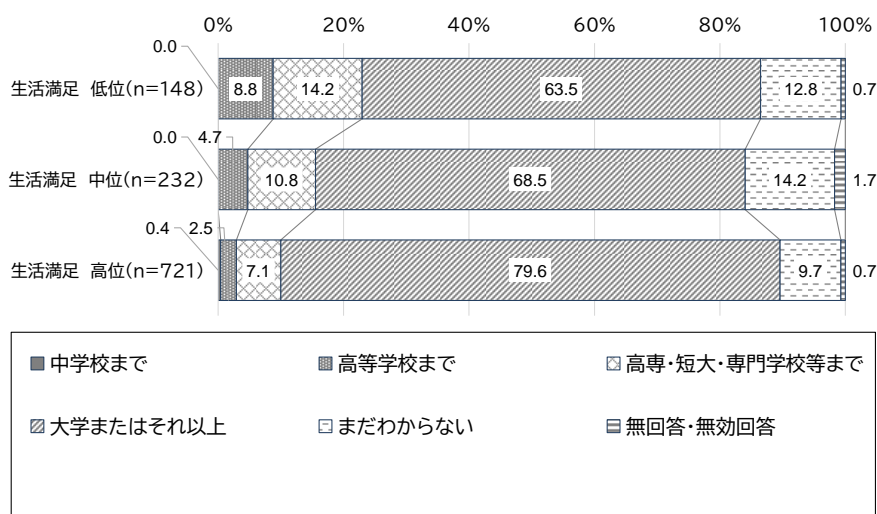
図表 5-73 子どもの進学への希望（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-74 子どもの進学への希望（生活困難層別クロス集計）



図表 5-75 子どもの進学への希望（生活満足度別クロス集計）



コ 希望どおり進学すると思うか

問 12 で 5(まだわからない)以外の回答をした方に、子どもが希望どおりの学校まで進むことになると思うかどうか尋ねたところ、「思う」が 53.2%、「わからない」が 42.5%、「思わない」が 4.0%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「わからない」が 49.3%と最も多く、「思う」が 43.3%、「思わない」が 7.5%であった。

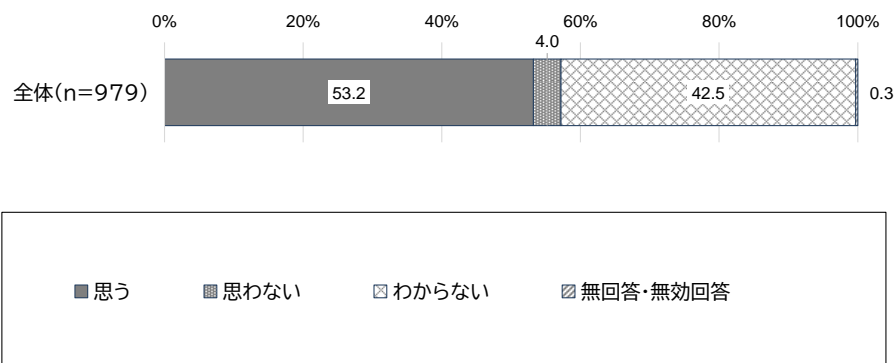
困窮層(n=43)では、「わからない」が 37.2%と最も多く、「思う」が 34.9%、「思わない」が 25.6%。

生活満足 低位(n=128)では、「わからない」が 53.1%と最も多く、「思う」が 33.6%、「思わない」が 11.7%であった。

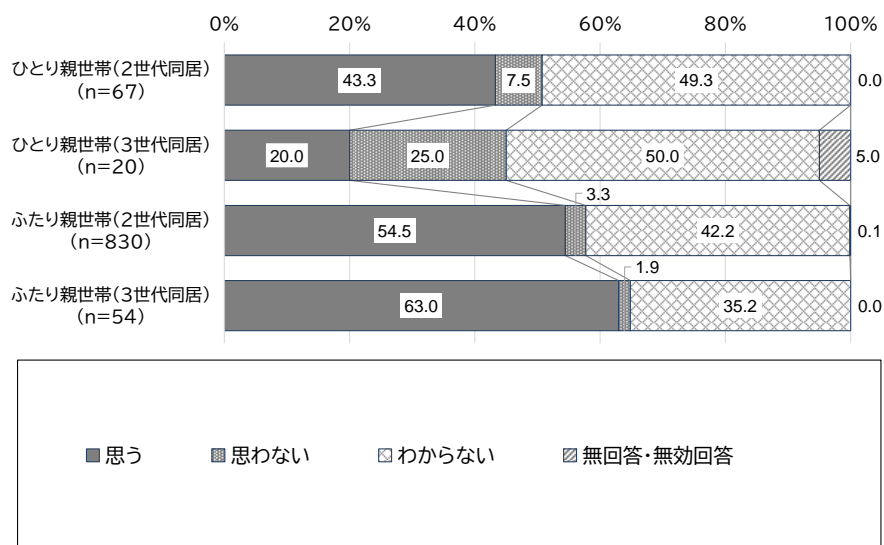
【中学2年生保護者問 12-1】

問 12 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。あなたは、お子さんが問 12 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(単一回答)

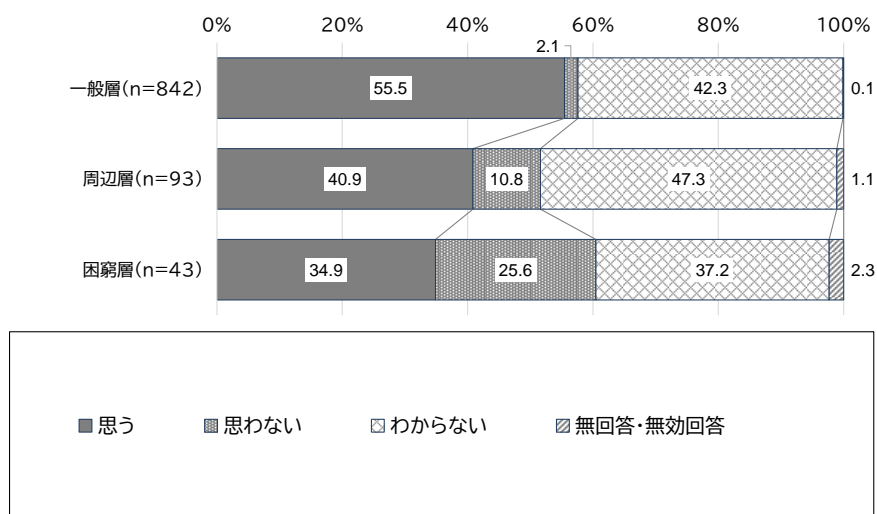
図表 5-76 希望どおり進学すると思うか（単純集計）



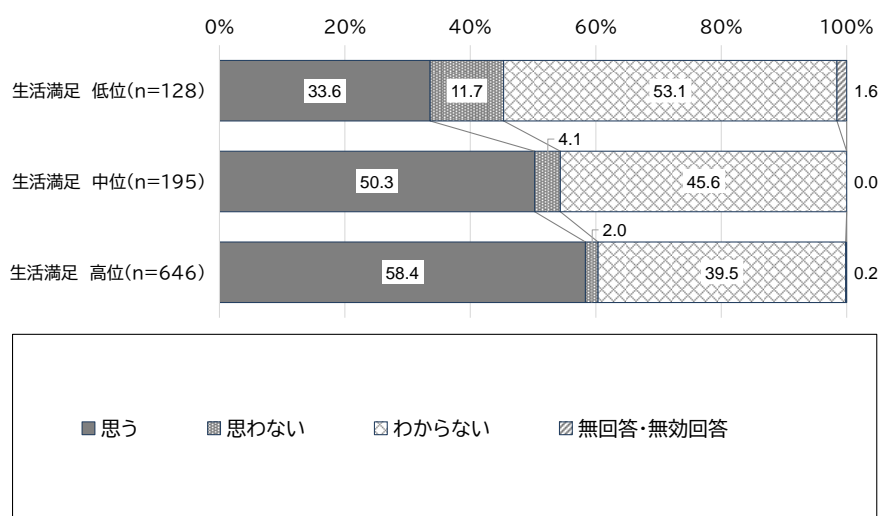
図表 5-77 希望どおり進学すると思うか（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-78 希望どおり進学すると思うか（生活困難層別クロス集計）



図表 5-79 希望どおり進学すると思うか（生活満足度別クロス集計）



サ 希望どおりの学校に進まないと思う理由

問 12-1で2(思わない)を選んだ方に、その理由について尋ねたところ、「お子さんの学力から考えて」が 59.0%と最も多く、「経済的な余裕がないから」が 51.3%、「お子さんの希望と異なるから」が 23.1%であった。

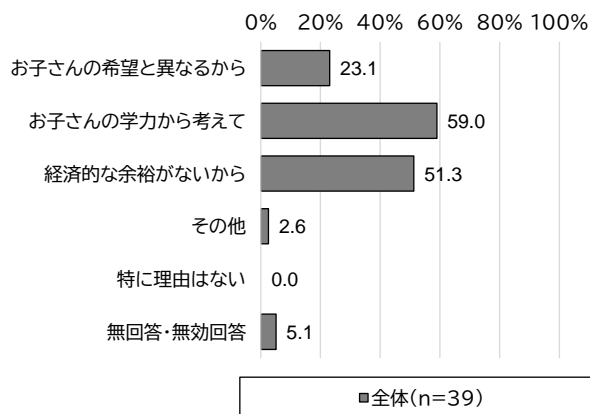
困窮層 (n=11)では、「お子さんの学力から考えて」「経済的な余裕がないから」が 72.7%と最も多く、「お子さんの希望と異なるから」が 27.3%であった。

生活満足 低位 (n=15)では、「経済的な余裕がないから」が 86.7%と最も多く、「お子さんの学力から考えて」が 60.0%、「お子さんの希望と異なるから」が 20.0%であった。

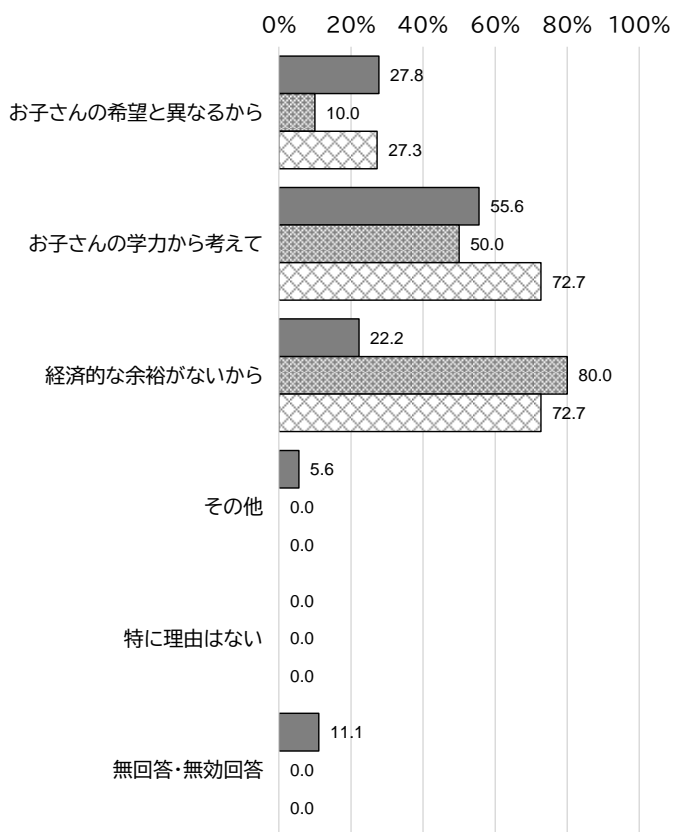
【中学2年生保護者問 12-2】

問 12-1で「2. 思わない」を選んだ方にうかがいます。その理由について教えてください。(複数回答)

図表 5-80 希望どおりの学校に進まないと思う理由（単純集計）

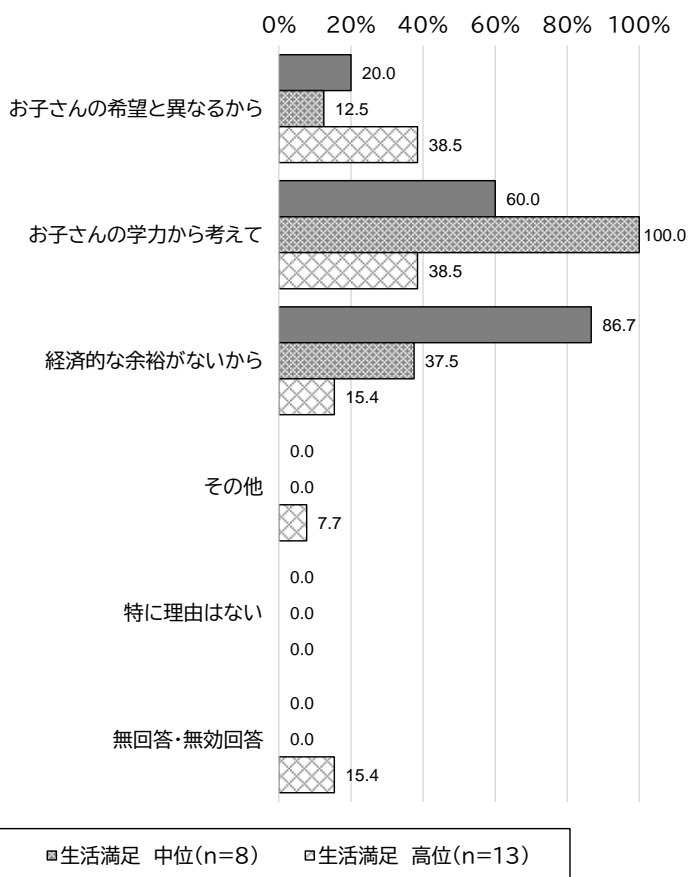


図表 5-81 希望どおりの学校に進まないと思う理由（生活困難層別クロス集計）



■ 一般層(n=18) ▨ 周辺層(n=10) ▩ 困窮層(n=11)

図表 5-82 希望どおりの学校に進まないと思う理由（生活満足度別クロス集計）



シ 子育てに関する悩みごと

子育てに関する悩みごとについて尋ねたところ、「子どもの進学や受験が心配」が 47.3%と最も多く、「子どもの教育費」が 32.0%、「上記のような心配や悩みはない」が 27.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「子どもの進学や受験が心配」「子どもの教育費」が 54.4%と最も多く、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が身につけていない」が 24.1%であった。

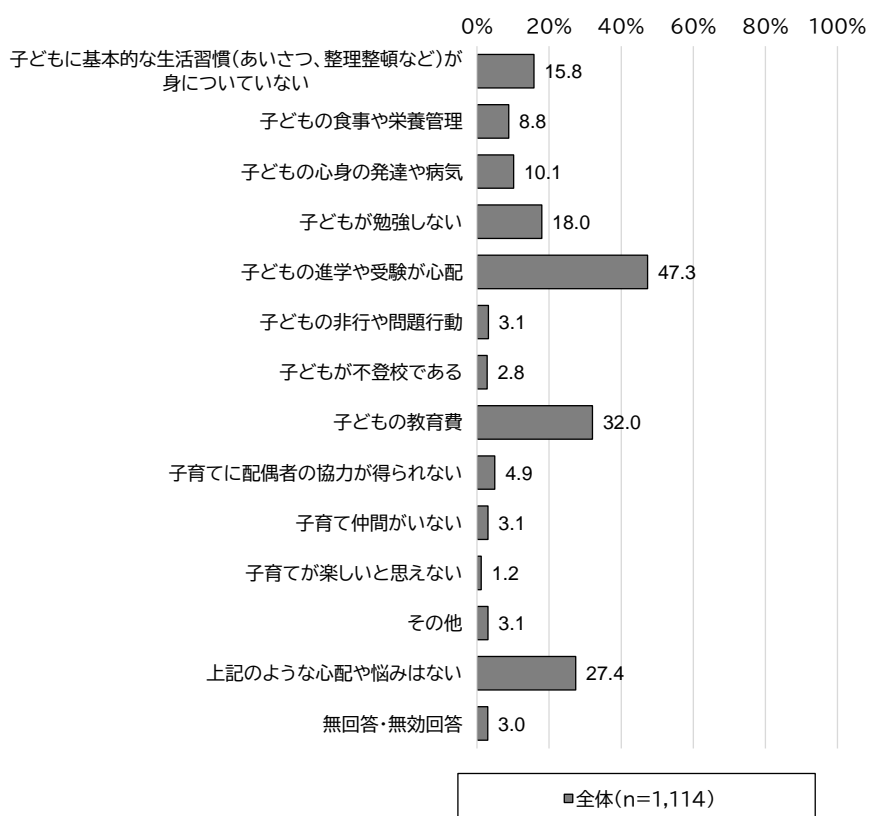
困窮層(n=56)では、「子どもの教育費」が 71.4%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が 69.6%、「子どもが勉強しない」が 35.7%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「子どもの進学や受験が心配」が 67.6%と最も多く、「子どもの教育費」が 59.5%、「子どもが勉強しない」が 33.1%であった。

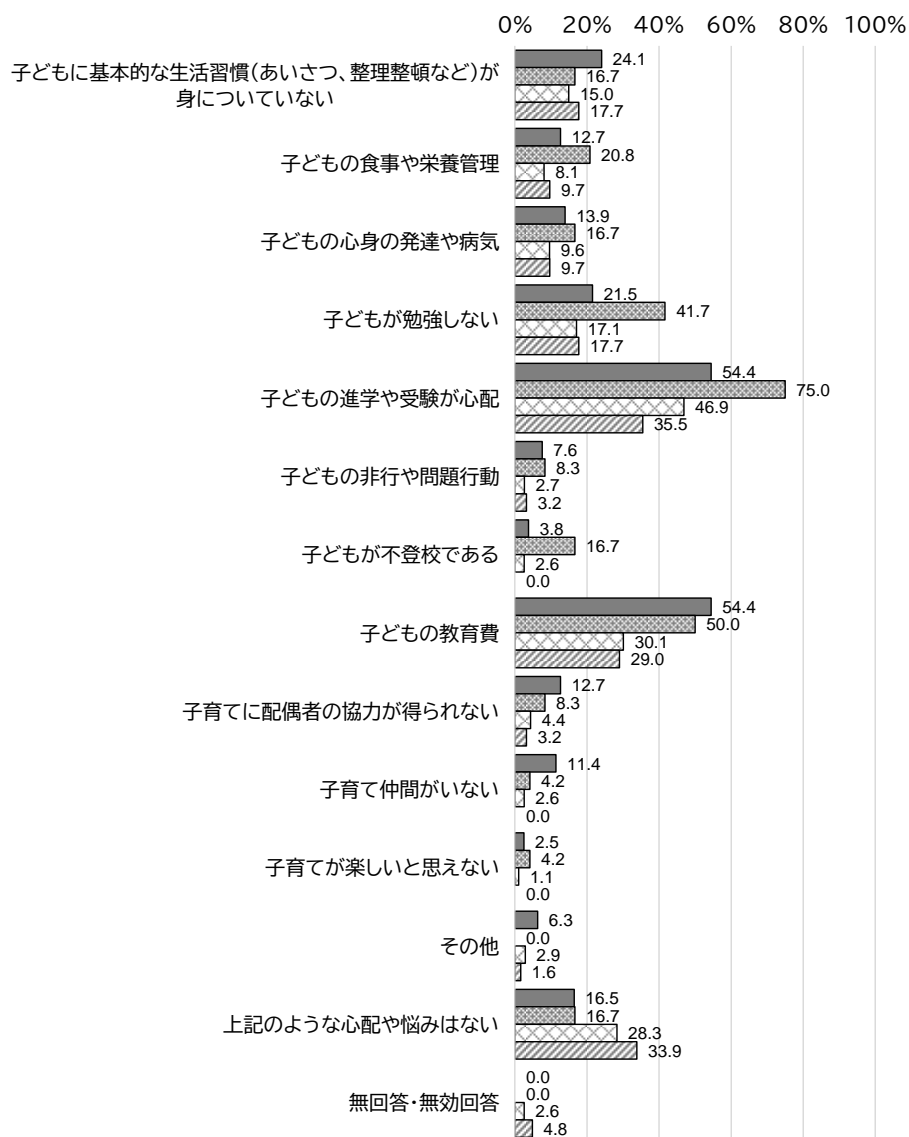
【中学2年生保護者問 13】

この調査票を受け取ったお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(複数回答)

図表 5-83 子育てに関する悩みごと (単純集計)

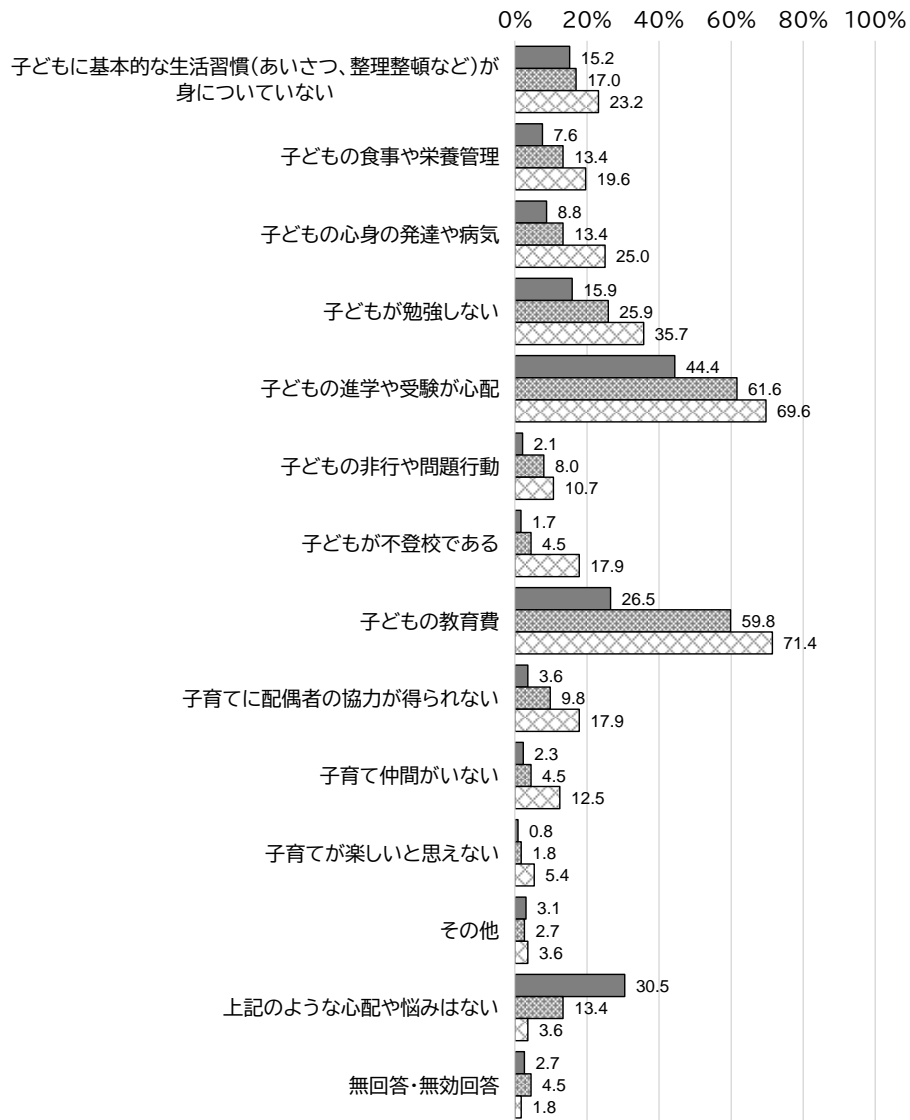


図表 5-84 子育てに関する悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=936) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 5-85 子育てに関する悩みごと（生活困難層別クロス集計）

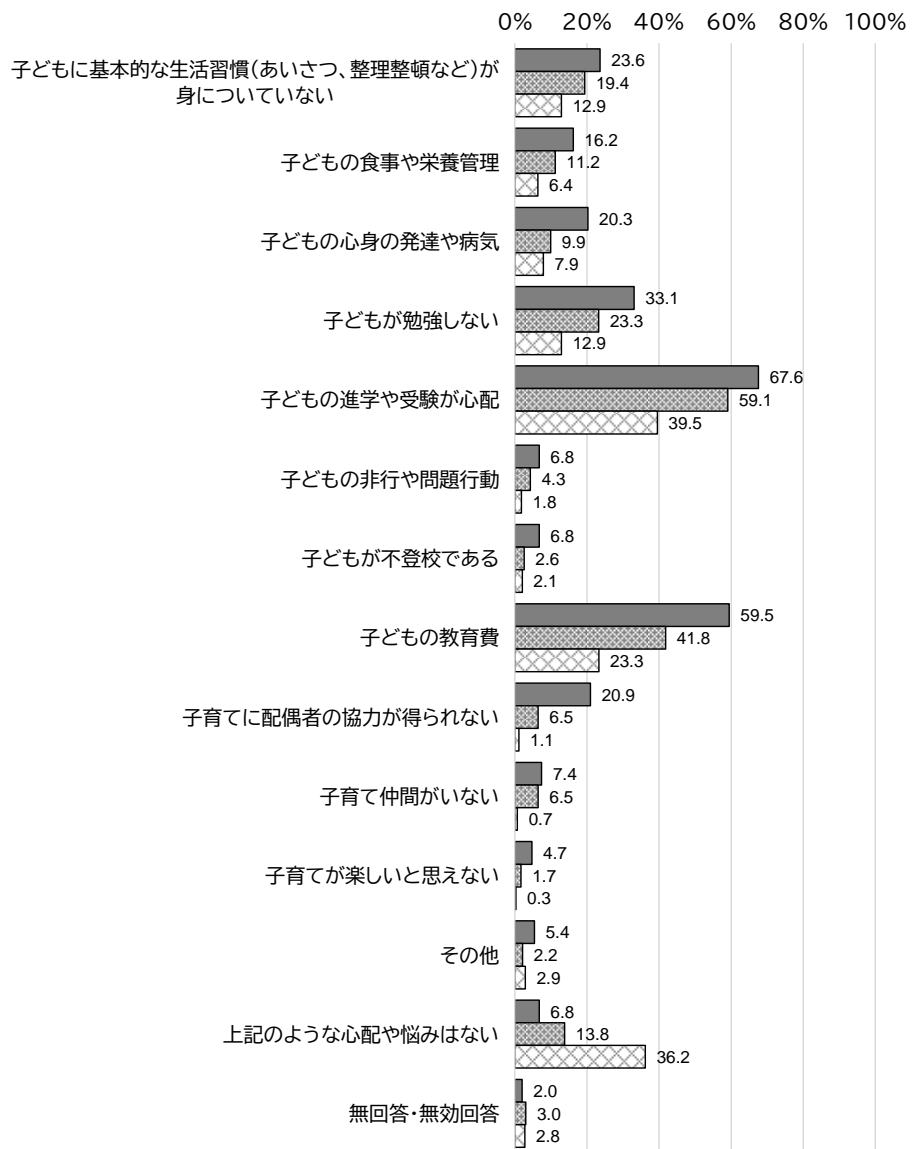


■一般層 (n=942)

▨周辺層 (n=112)

▩困窮層 (n=56)

図表 5-86 子育てに関する悩みごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=148) ■生活満足 中位(n=232) □生活満足 高位(n=721)

(4) あなたのことについてうかがいます

ア 婚姻状況

回答者本人の婚姻状況について、「結婚している(事実婚を含む)」が 90.2%、「離婚(別居中を含む)」が 8.2%、「死別」が 0.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「離婚(別居中を含む)」が 86.1%と最も多く、「死別」が 11.4%、「未婚・非婚」が 2.5%であった。

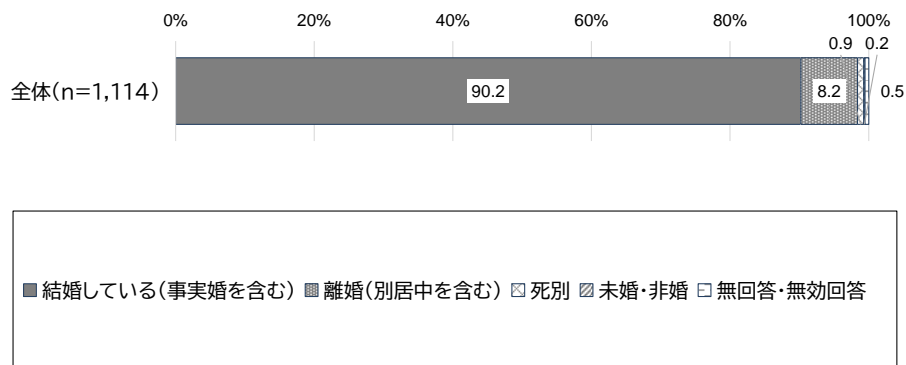
困窮層(n=56)では、「結婚している(事実婚を含む)」が 57.1%と最も多く、「離婚(別居中を含む)」が 39.3%、「死別」「未婚・非婚」が 1.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「結婚している(事実婚を含む)」が 75.7%と最も多く、「離婚(別居中を含む)」が 21.6%、「死別」が 1.4%であった。

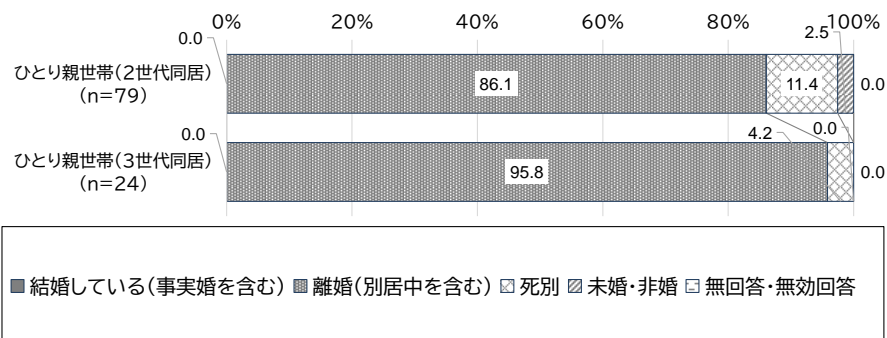
【中学2年生保護者問 14】

現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(単一回答)

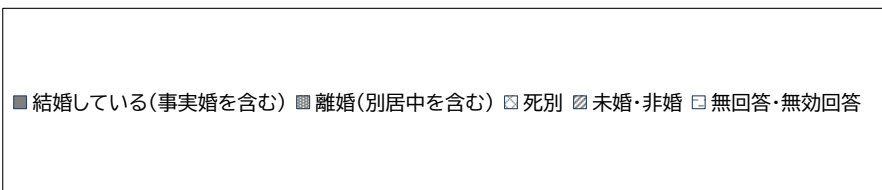
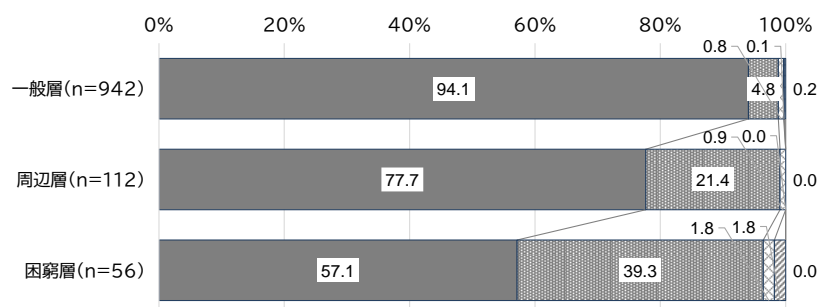
図表 5-87 回答者の婚姻状況 (単純集計)



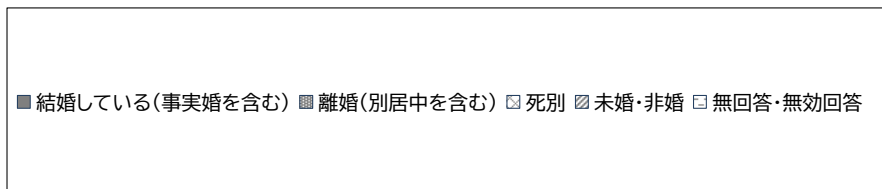
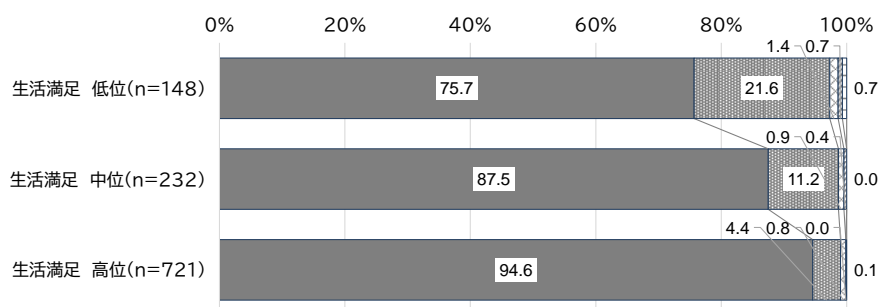
図表 5-88 回答者の婚姻状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-89 回答者の婚姻状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-90 回答者の婚姻状況（生活満足度別クロス集計）



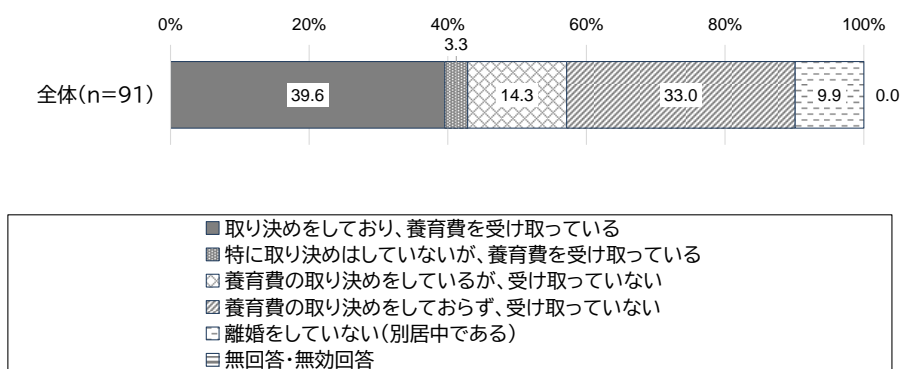
イ 養育費の取り決め

問 14 で2(「離婚(別居中を含む)」)と回答した方に、離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしているかどうかについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が 39.6%と最も多く、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 33.0%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が 14.3%であった。

【中学2年生保護者問 14-1】

問 14 で、「2. 離婚(別居中を含む)」を選んだ方にうかがいます。離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。(単一回答)

図表 5-91 離婚した相手との、子どもの養育費の取り決めの有無 (単純集計)



ウ 健康状態に関する認識

回答者の健康状態について、「よい」が 37.9%と最も多く、「まあよい」が 26.8%、「ふつう」が 25.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「よい」が 38.0%と最も多く、「ふつう」が 30.4%、「まあよい」が 19.0%であった。

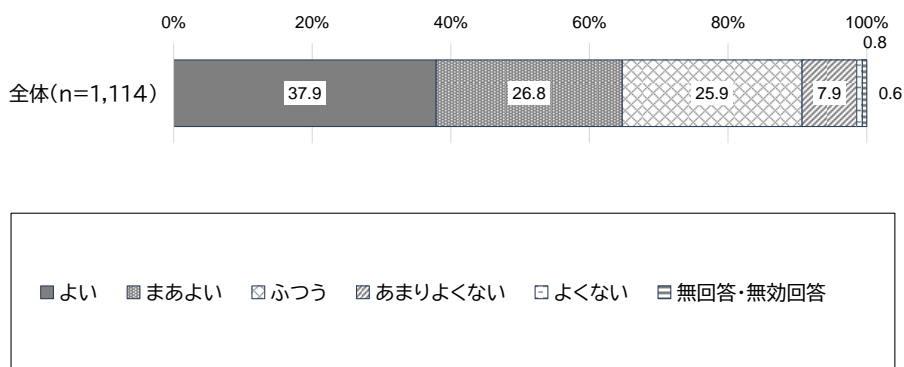
困窮層(n=56)では、「ふつう」が 41.1%と最も多く、「まあよい」が 21.4%、「よい」が 19.6%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「ふつう」が 37.2%と最も多く、「まあよい」「あまりよくない」が 23.0%であった。

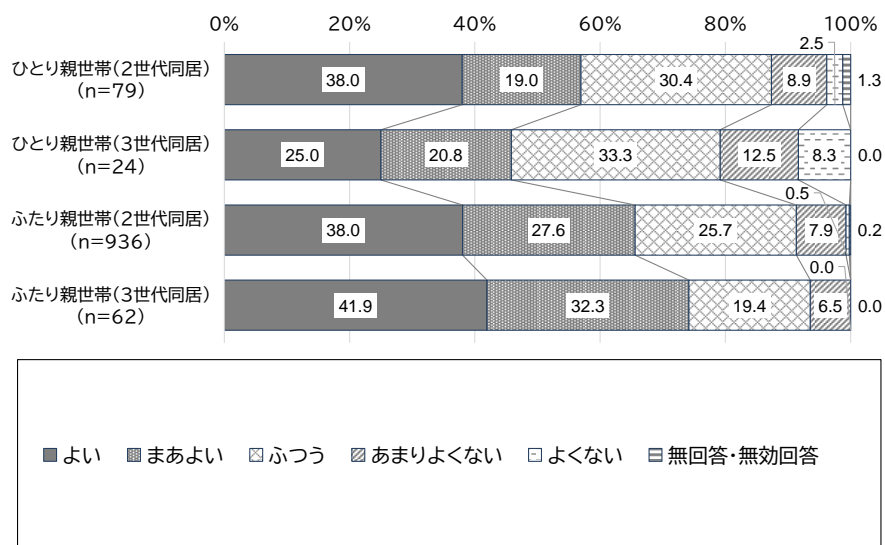
【中学2年生保護者問 15】

あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。(単一回答)

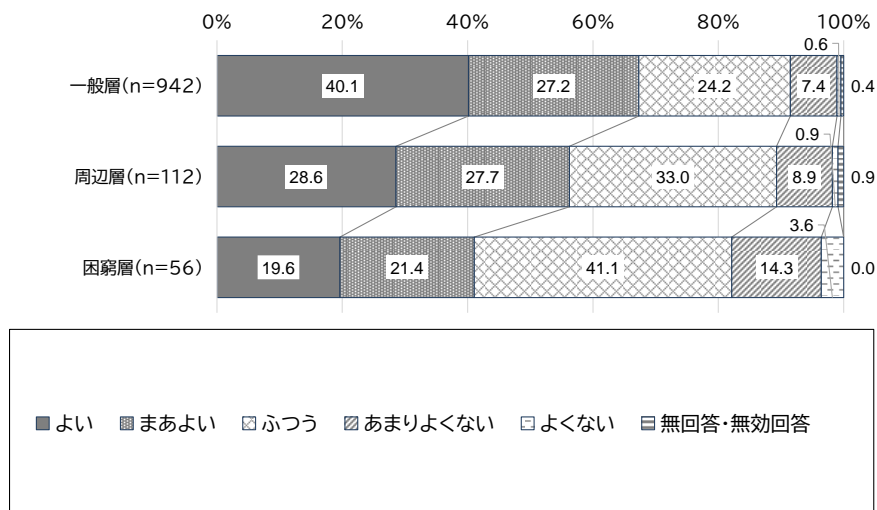
図表 5-92 回答者の健康状態に関する認識 (単純集計)



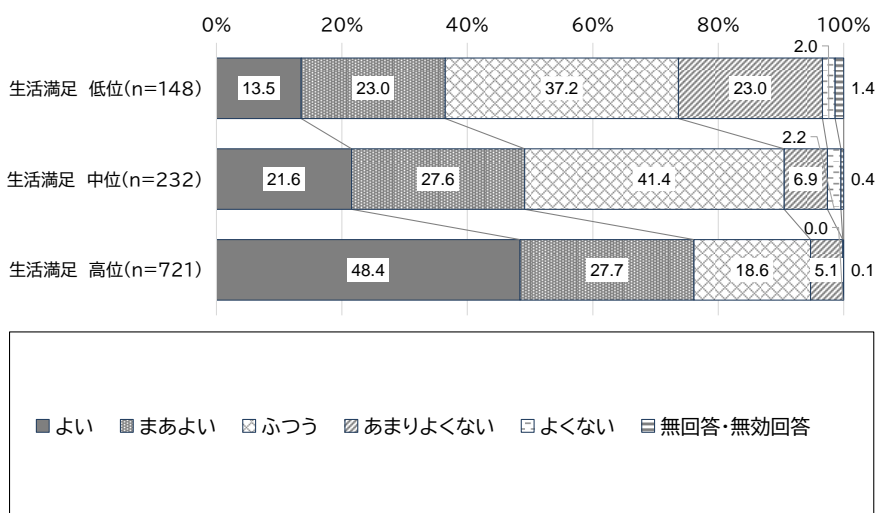
図表 5-93 回答者の健康状態に関する認識 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-94 回答者の健康状態に関する認識（生活困難層別クロス集計）



図表 5-95 回答者の健康状態に関する認識（生活満足度別クロス集計）



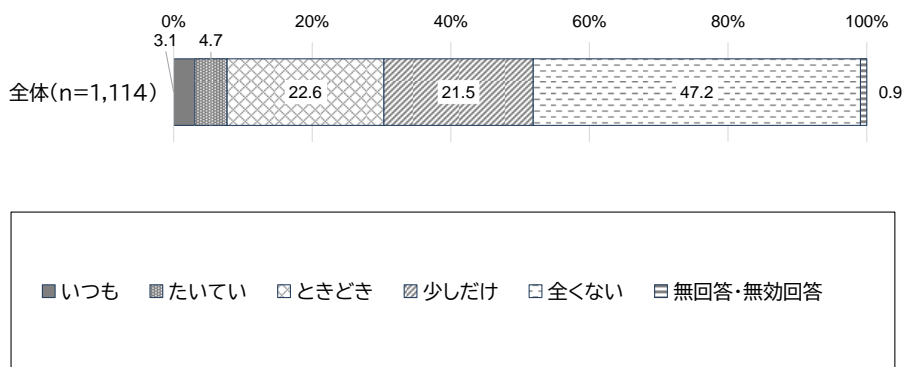
エ 過去1か月間のこころの状態

「神経過敏に感じましたか」は、「全くない」が47.2%であった。

【中学2年生保護者問 16A】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-96 「神経過敏に感じましたか」の頻度 (単純集計)

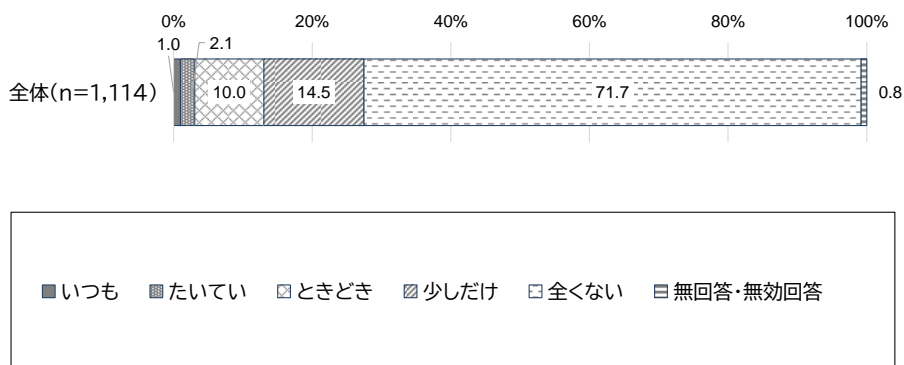


「絶望的だと感じましたか」は、「全くない」が71.7%であった。

【中学2年生保護者問 16B】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-97 「絶望的だと感じましたか」の頻度 (単純集計)

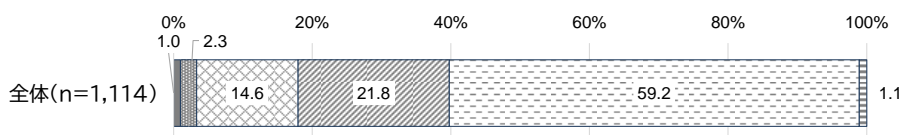


「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」は、「全くない」が 59.2%であった。

【中学2年生保護者問 16C】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-98 「そろそろ、落ち着きがなくなりましたか」の頻度 (単純集計)



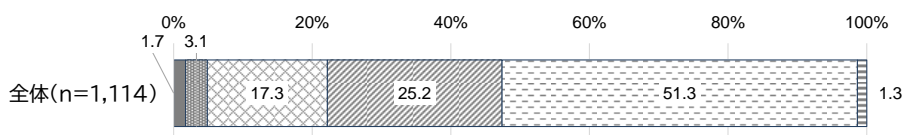
■ いつも ■ たいてい □ ときどき ▨ 少しだけ □ 全くない □ 無回答・無効回答

「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」は、「全くない」が 51.3%であった。

【中学2年生保護者問 16D】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-99 「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」の頻度 (単純集計)



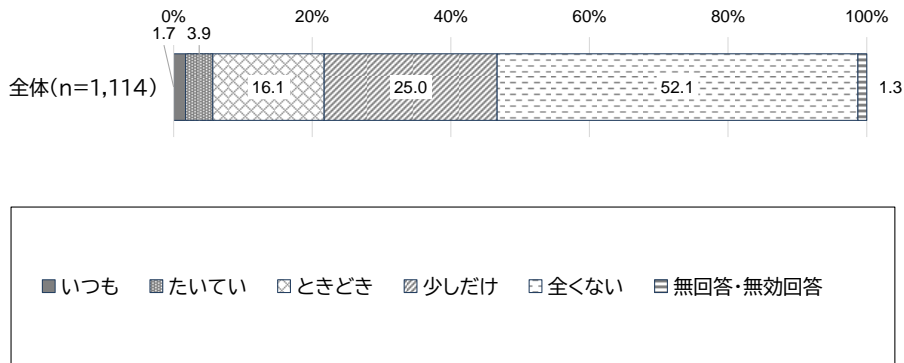
■ いつも ■ たいてい □ ときどき ▨ 少しだけ □ 全くない □ 無回答・無効回答

「何をするのも骨折りだと感じましたか」は、「全くない」が 52.1%であった。

【中学2年生保護者問 16E】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-100 「何をするのも骨折りだと感じましたか」の頻度 (単純集計)



「自分は価値のない人間だと感じましたか」は、「全くない」が 70.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「全くない」が 50.6%であった。

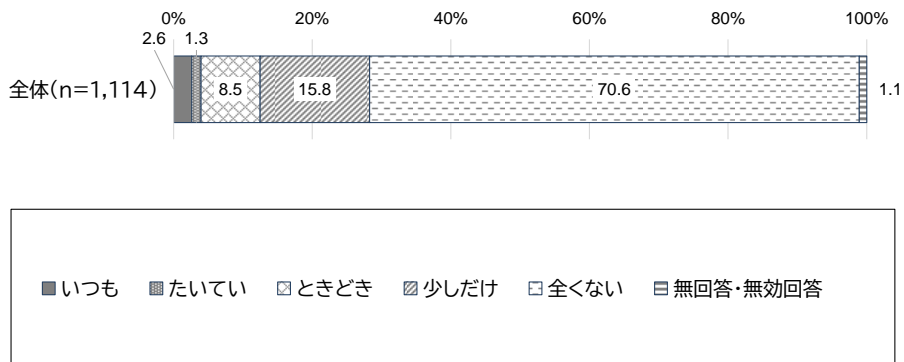
困窮層(n=56)では、「全くない」が 37.5%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「全くない」が 35.1%であった。

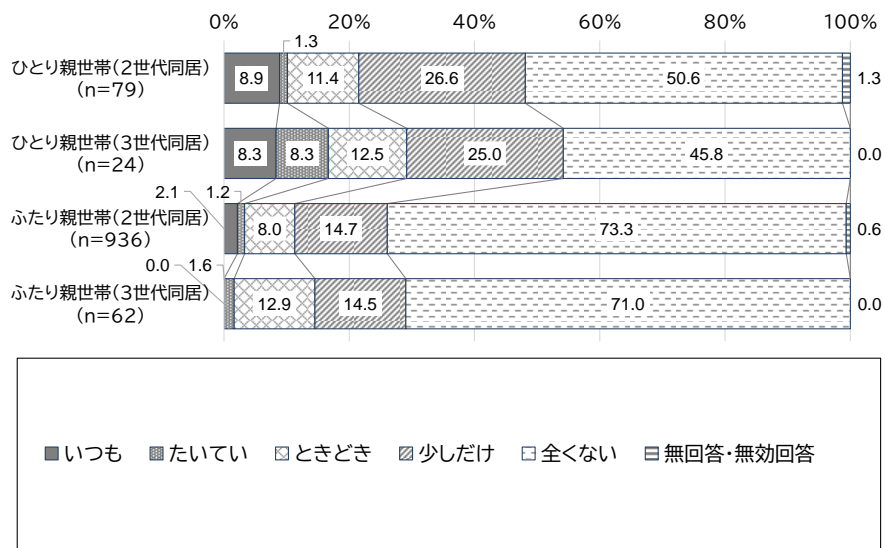
【中学2年生保護者問 16F】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

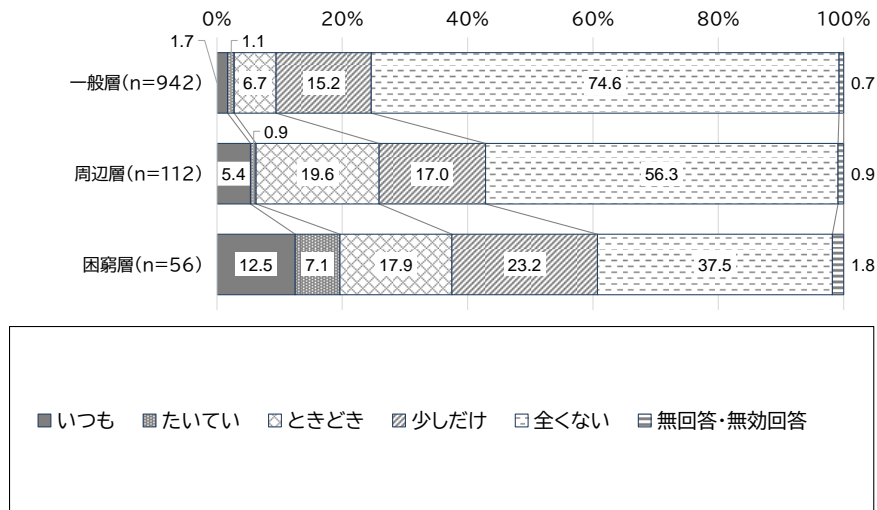
図表 5-101 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度 (単純集計)



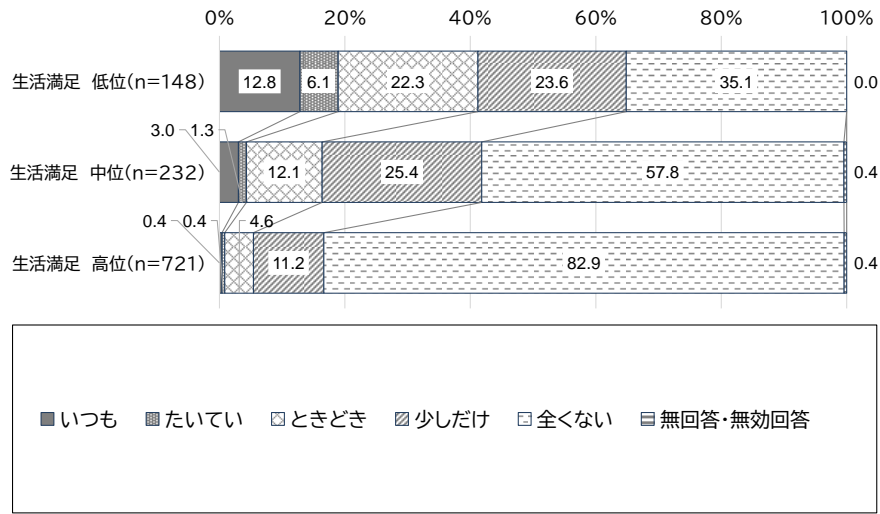
図表 5-102 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-103 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活困難層別クロス集計）



図表 5-104 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活満足度別クロス集計）



オ 過去1か月間のこころの状態(K6)⁴¹

過去1か月間のこころの状態(K6)は、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合が、13.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、29.2%であった。

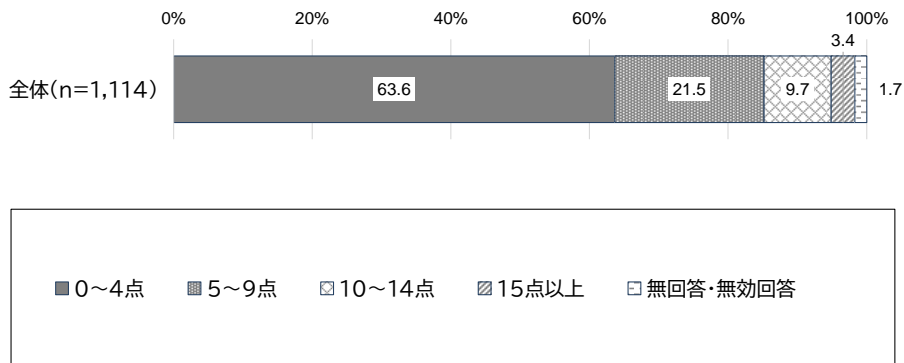
困窮層(n=56)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、42.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、47.3%であった。

【中学2年生保護者 K6 得点】

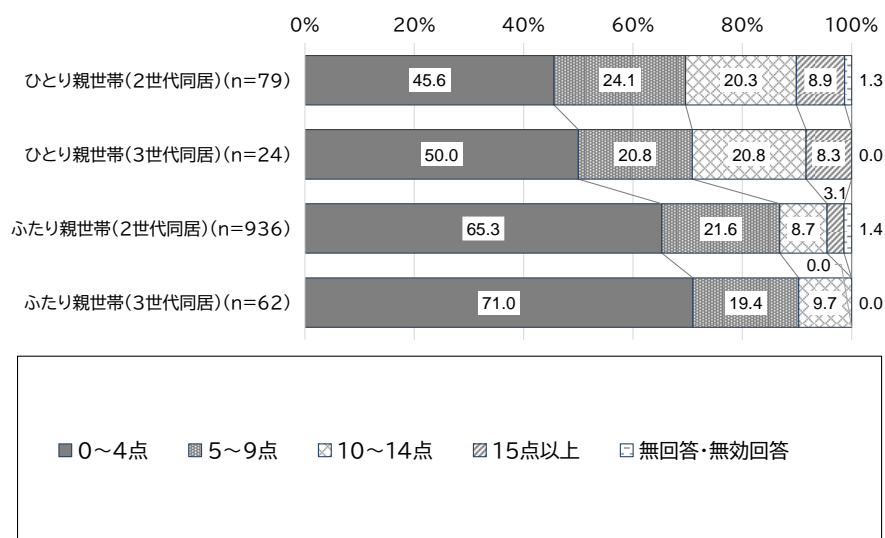
過去1か月間のこころの状態(K6)

図表 5-105 過去1か月間のこころの状態(K6)（単純集計）

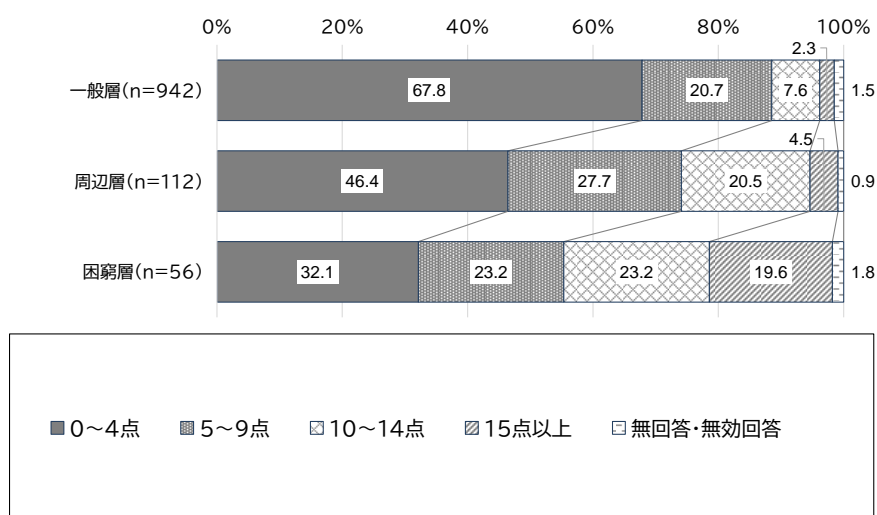


⁴¹ 第1章3節2項アンケート調査結果の見方参照

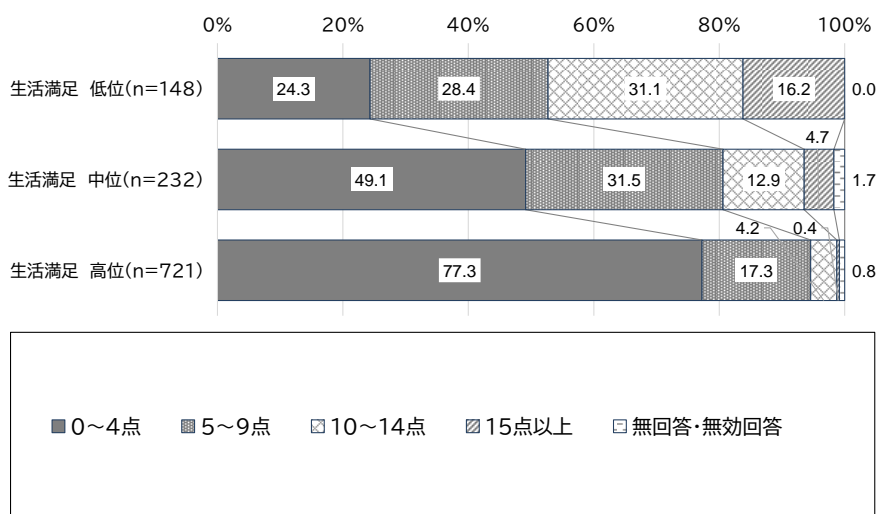
図表 5-106 過去1か月間のこころの状態(K6) (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-107 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活困難層別クロス集計)



図表 5-108 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活満足度別クロス集計)



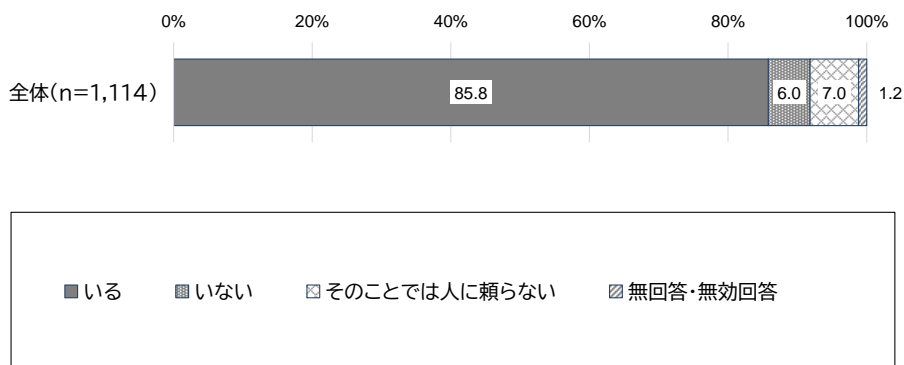
カ 支えてくれる人・手伝ってくれる人

「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無については、「いない」が6.0%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が19.0%であった。
 困窮層(n=56)では、「いない」が23.2%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が18.9%であった。

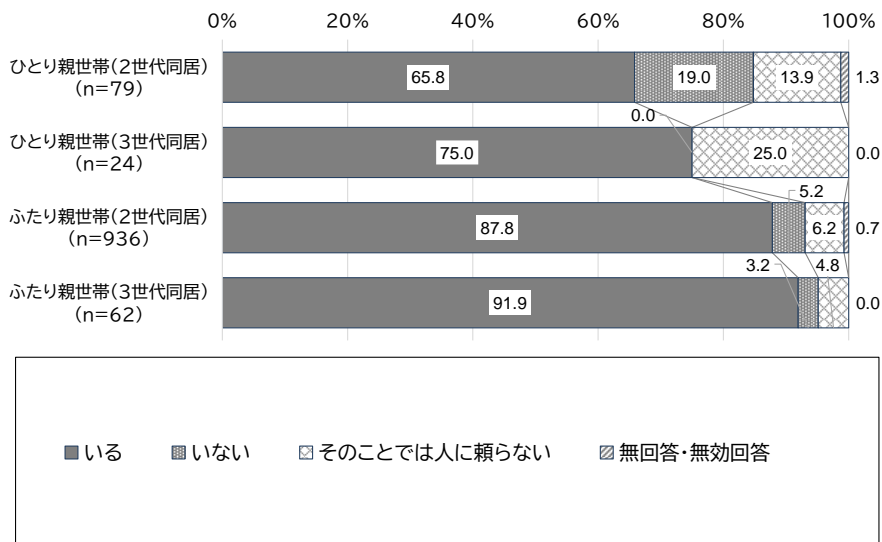
【中学2年生保護者問 17A】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

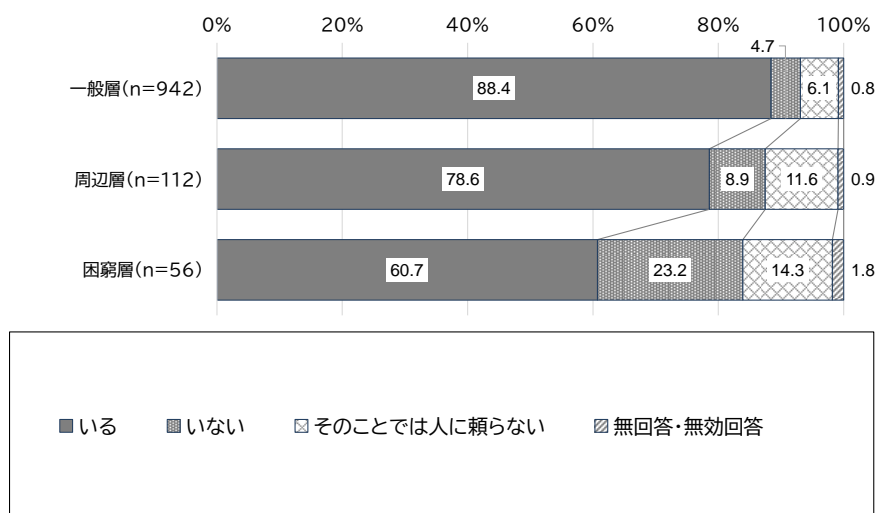
図表 5-109 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無 (単純集計)



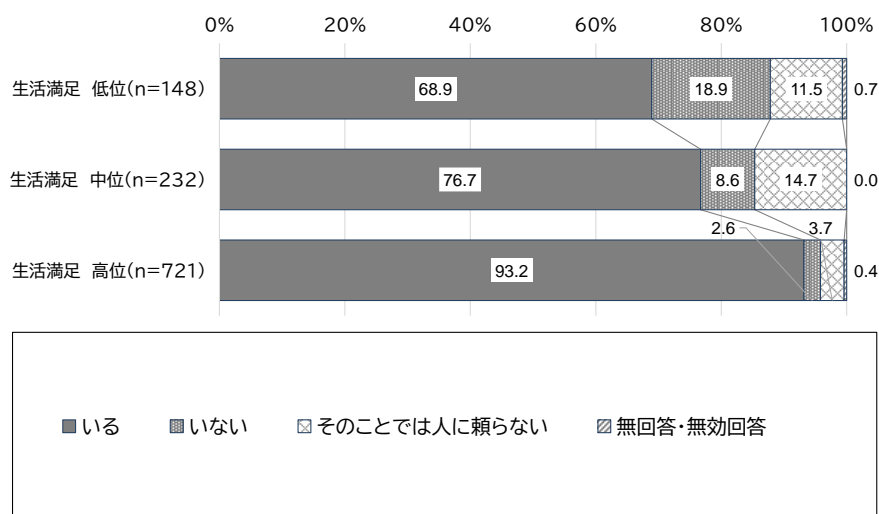
図表 5-110 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-111 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-112 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活満足度別クロス集計）

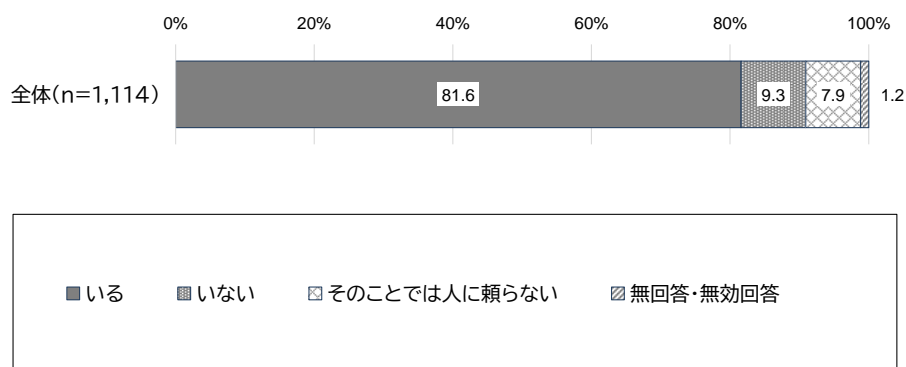


「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無は、「いない」が 9.3%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が 24.1%であった。
 困窮層(n=56)では、「いない」が 26.8%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が 27.0%であった。

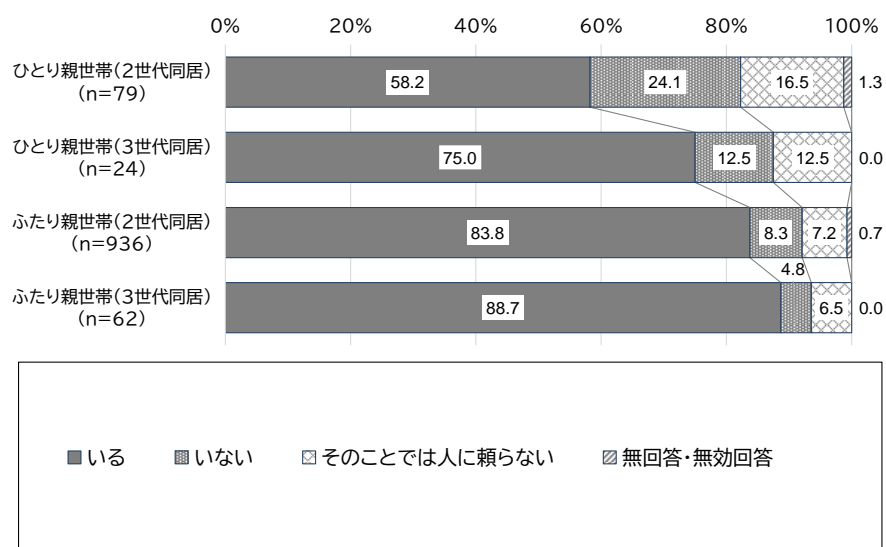
【中学2年生保護者問 17B】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

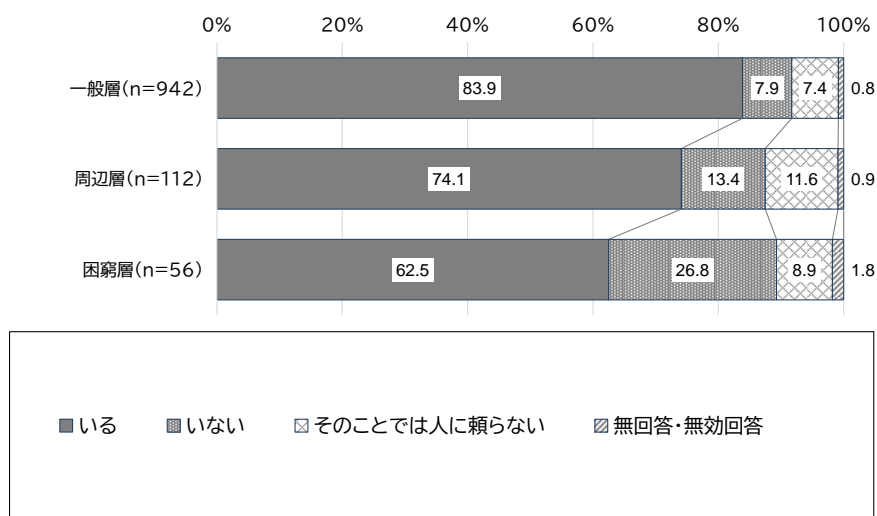
図表 5-113 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無（単純集計）



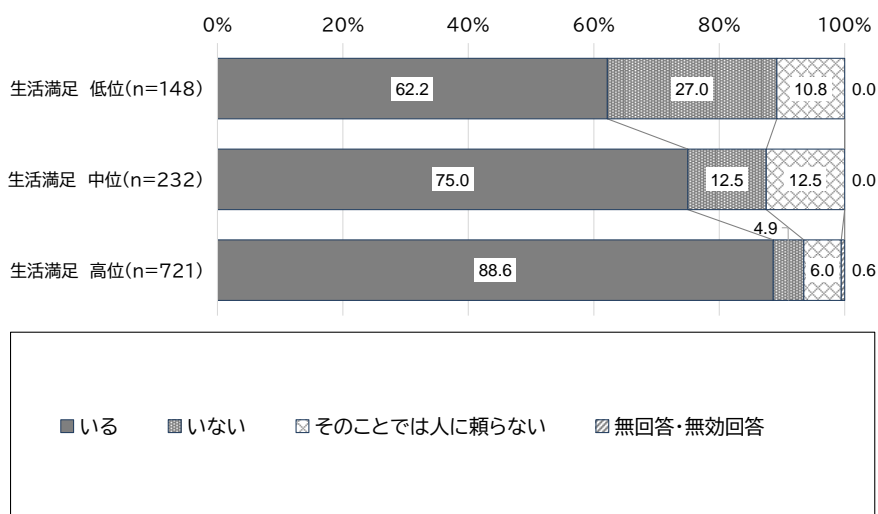
図表 5-114 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無
(世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-115 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無
(生活困難層別クロス集計)



図表 5-116 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無
(生活満足度別クロス集計)

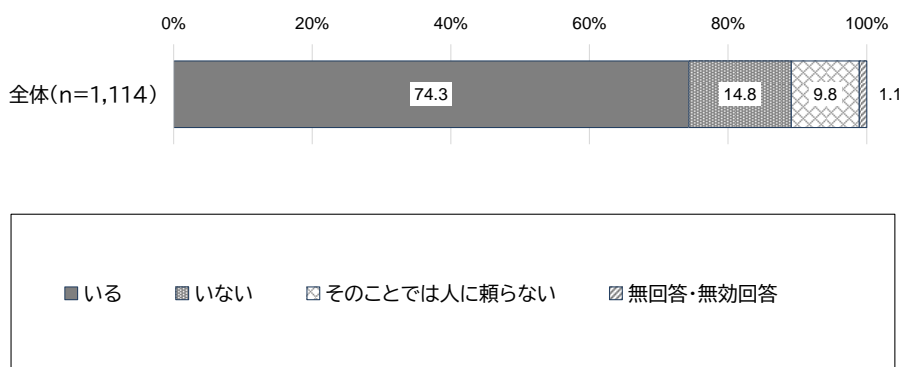


「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無は、「いない」が14.8%であった。
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が48.1%であった。
困窮層(n=56)では、「いない」が39.3%であった。
生活満足 低位(n=148)では、「いない」が37.8%であった。

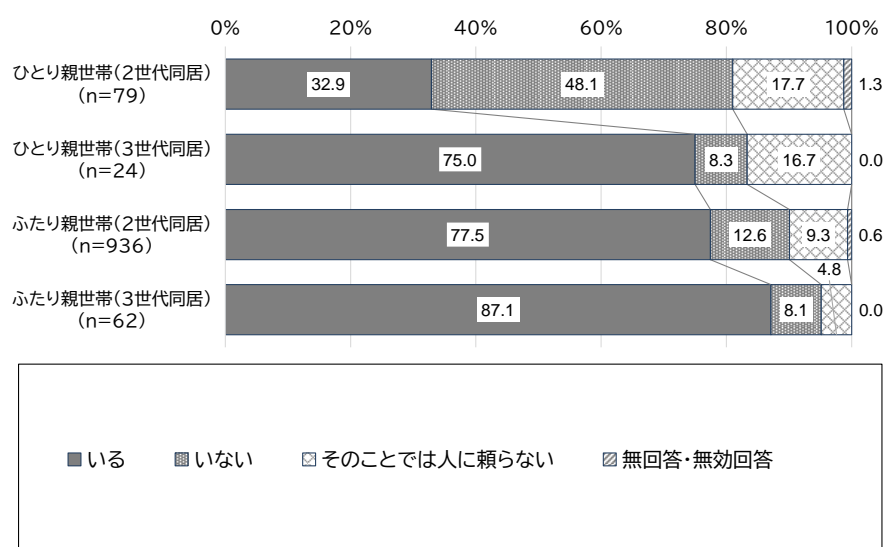
【中学2年生保護者問 17C】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

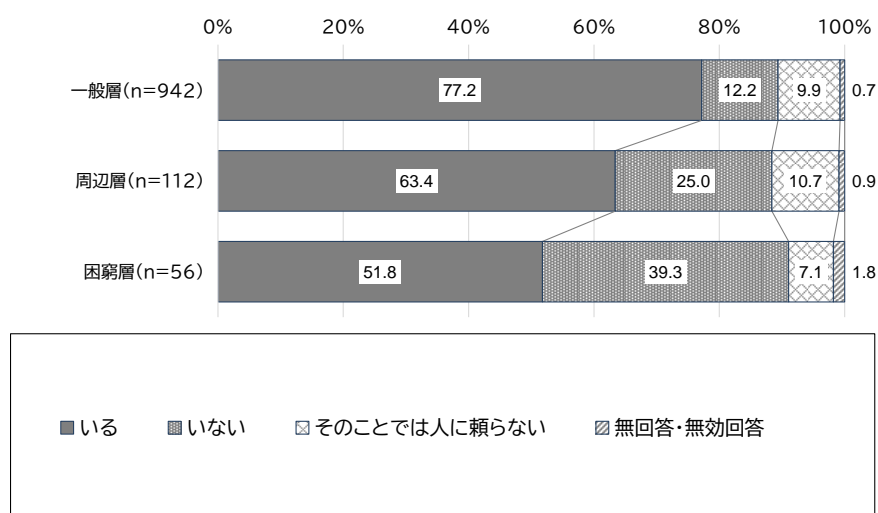
図表 5-117 子ども体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無 (単純集計)



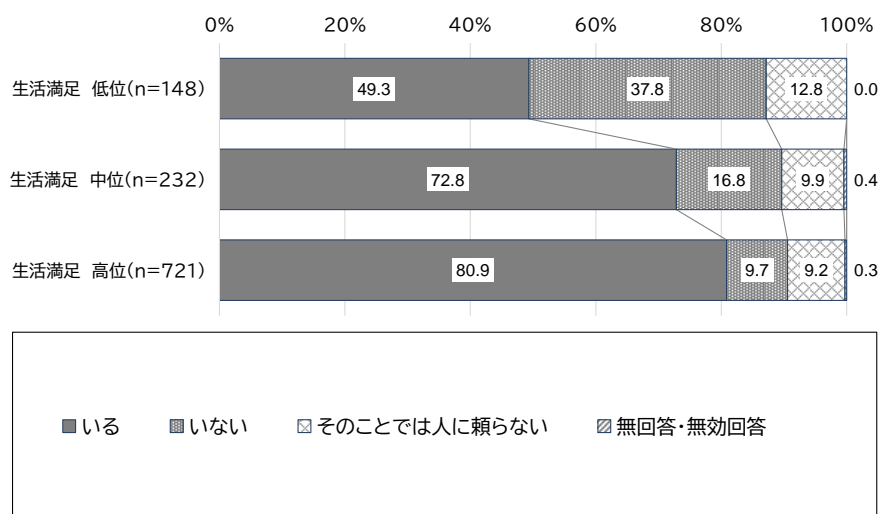
図表 5-118 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無
(世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-119 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無
(生活困難層別クロス集計)



図表 5-120 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無
(生活満足度別クロス集計)

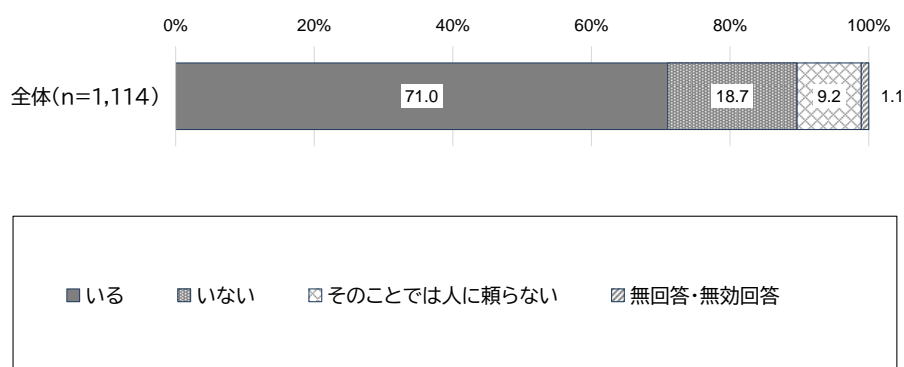


「留守を頼める人」の有無は、「いない」が 18.7%であった。
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が 48.1%であった。
困窮層(n=56)では、「いない」が 32.1%であった。
生活満足 低位(n=148)では、「いない」が 40.5%であった。

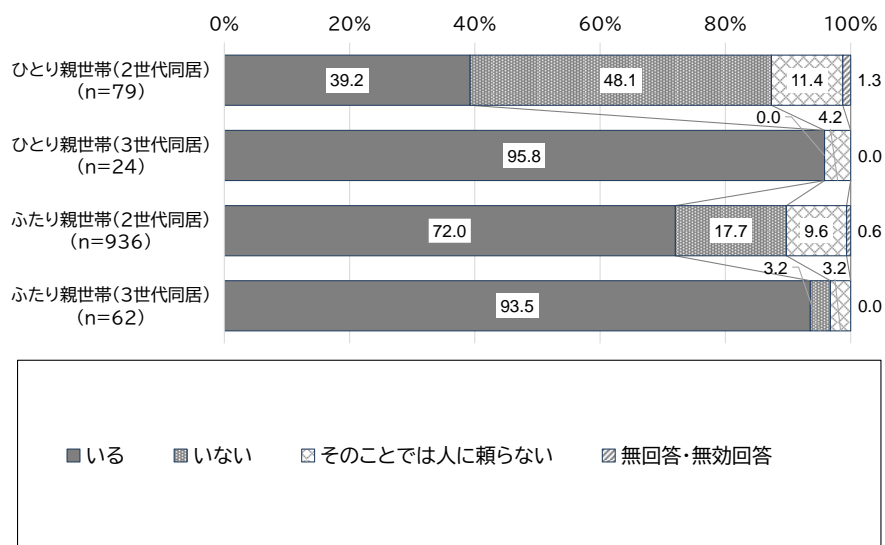
【中学2年生保護者問 17D】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

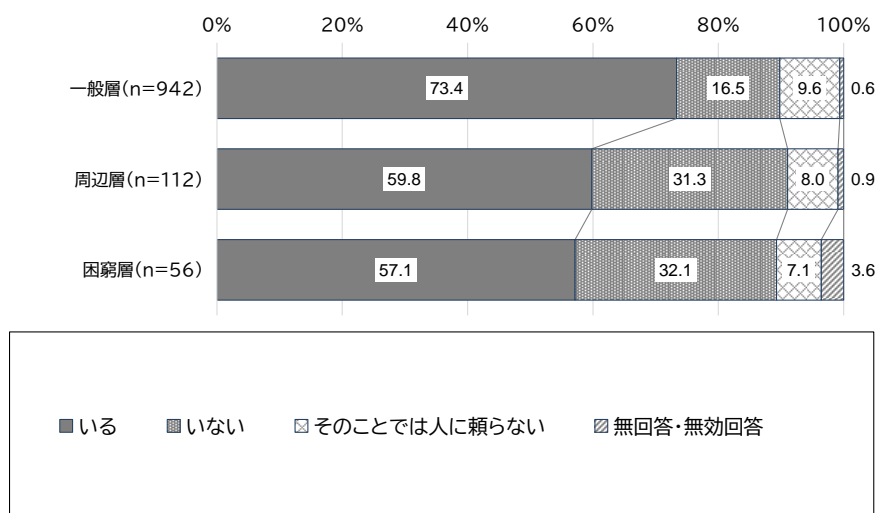
図表 5-121 留守を頼める人の有無 (単純集計)



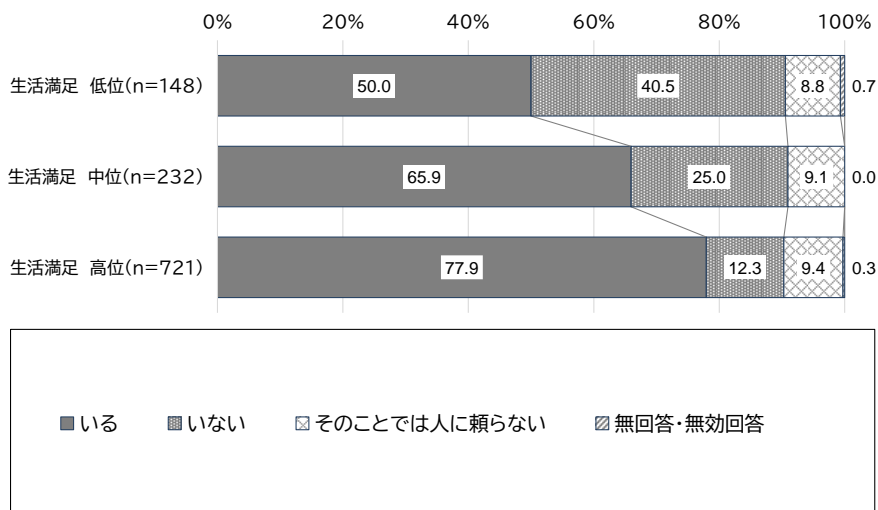
図表 5-122 留守を頼める人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-123 留守を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-124 留守を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）

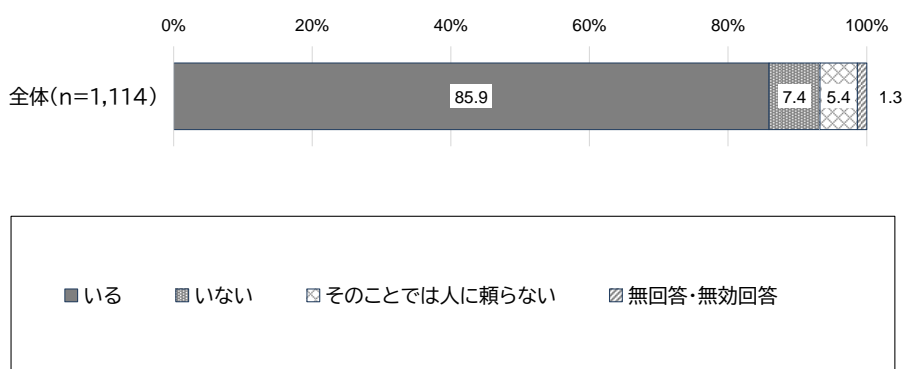


「重要な事柄の相談を出来る人」の有無は、「いない」が7.4%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が22.8%であった。
 困窮層(n=56)では、「いない」が35.7%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が27.7%であった。

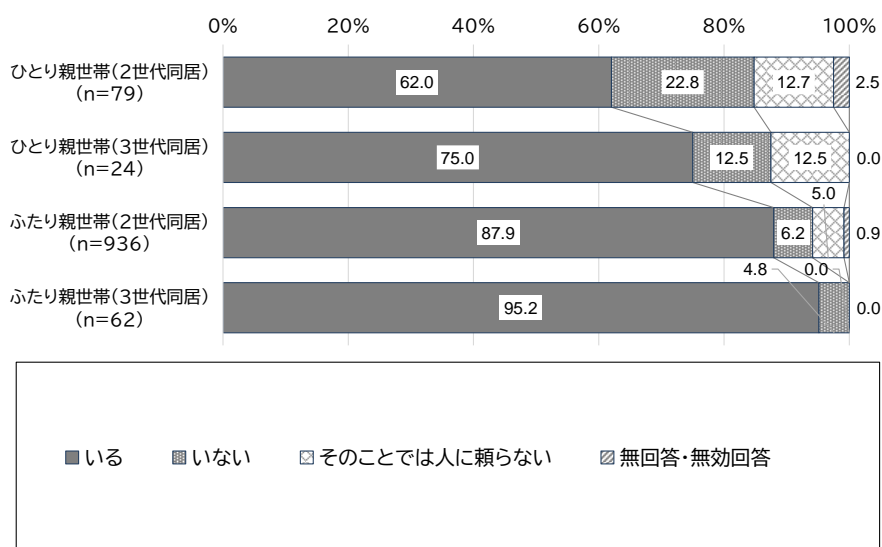
【中学2年生保護者問 17E】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

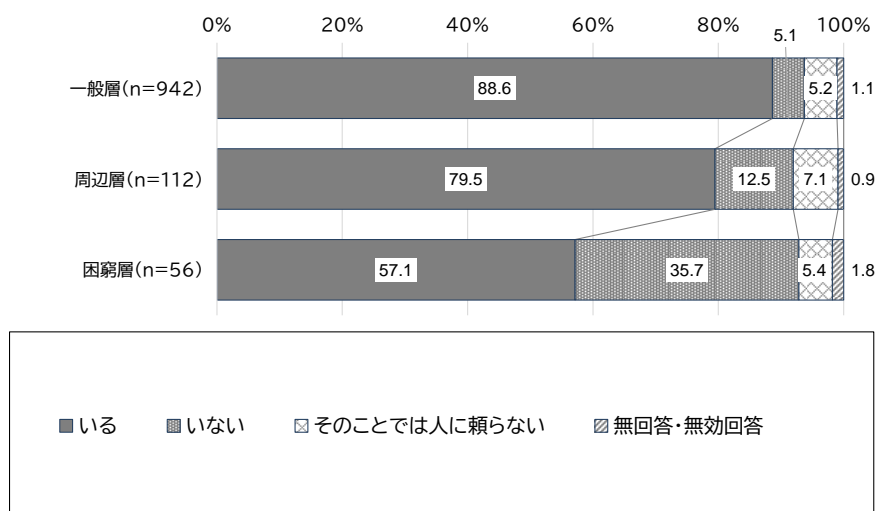
図表 5-125 重要な事柄の相談を出来る人の有無（単純集計）



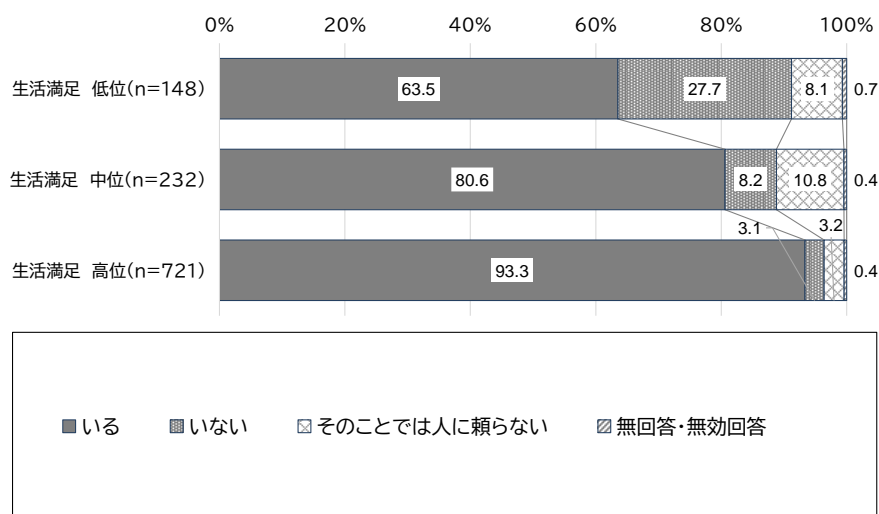
図表 5-126 重要な事柄の相談を出来る人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-127 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-128 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活満足度別クロス集計）

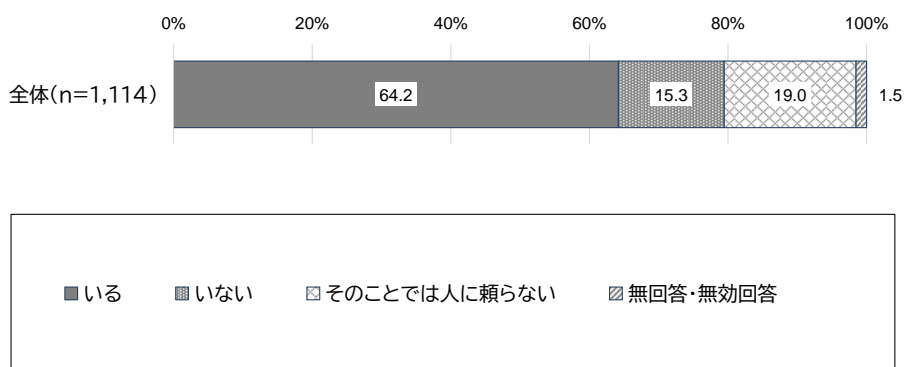


「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無は、「いない」が 15.3%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が 35.4%であった。
 困窮層(n=56)では、「いない」が 60.7%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が 43.2%であった。

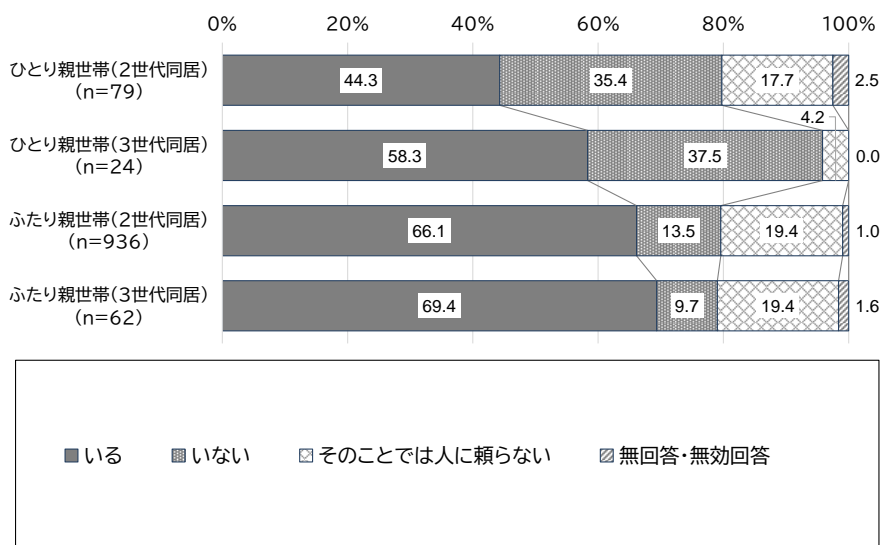
【中学2年生保護者問 17F】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

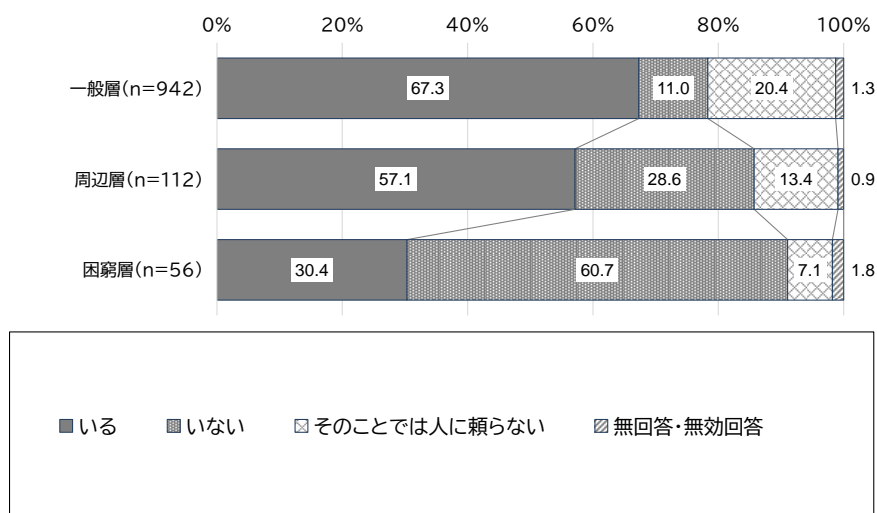
図表 5-129 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（単純集計）



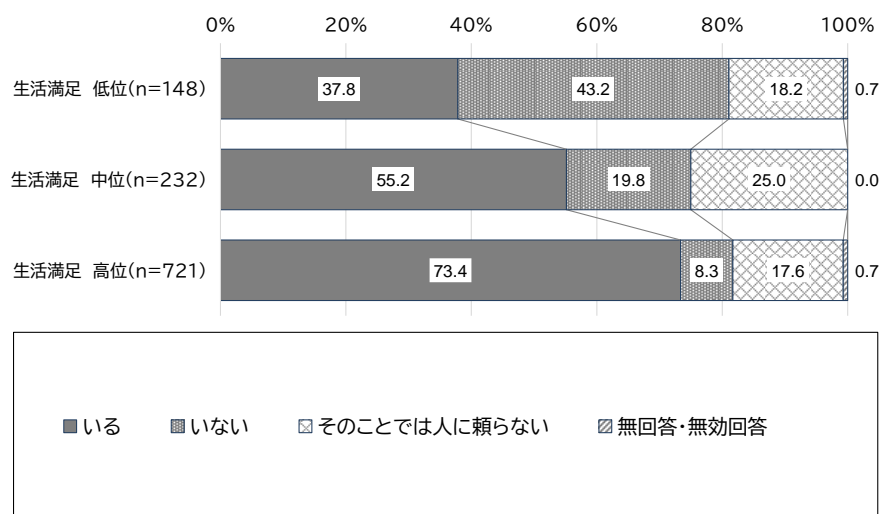
図表 5-130 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-131 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-132 いざという時の金の援助を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）



キ 相談相手・相談先

相談相手や相談先について尋ねた結果、「配偶者・パートナー」が 77.9%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 62.7%、「友人・知人」が 57.7%であった。「相談できる相手がない」は 1.8%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「友人・知人」が 53.2%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 40.5%、「きょうだい・その他の親戚」が 39.2%であった。「相談できる相手がない」は 10.1%であった。

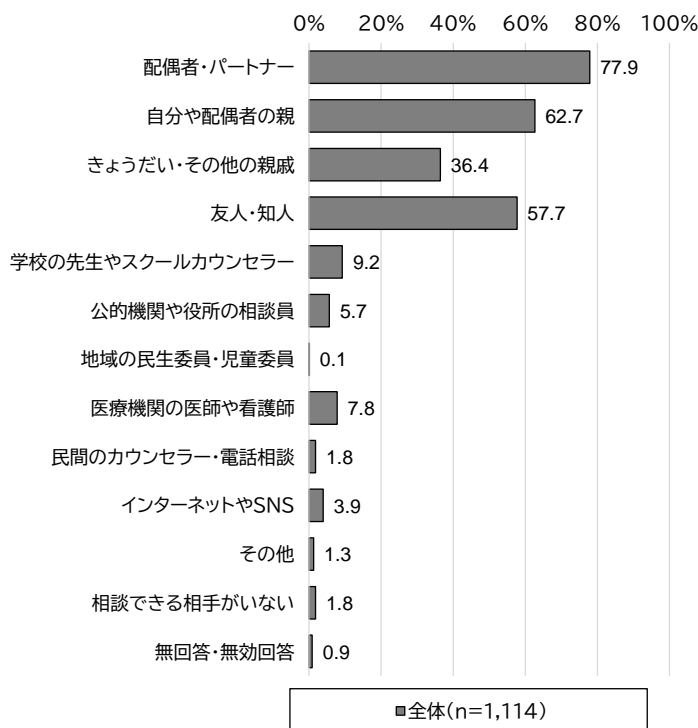
困窮層(n=56)では、「自分や配偶者の親」が 44.6%と最も多く、「友人・知人」が 42.9%、「配偶者・パートナー」が 41.1%であった。「相談できる相手がない」は 10.7%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「自分や配偶者の親」が 49.3%と最も多く、「配偶者・パートナー」が 48.6%、「友人・知人」が 45.3%であった。「相談できる相手がない」は 7.4%であった。

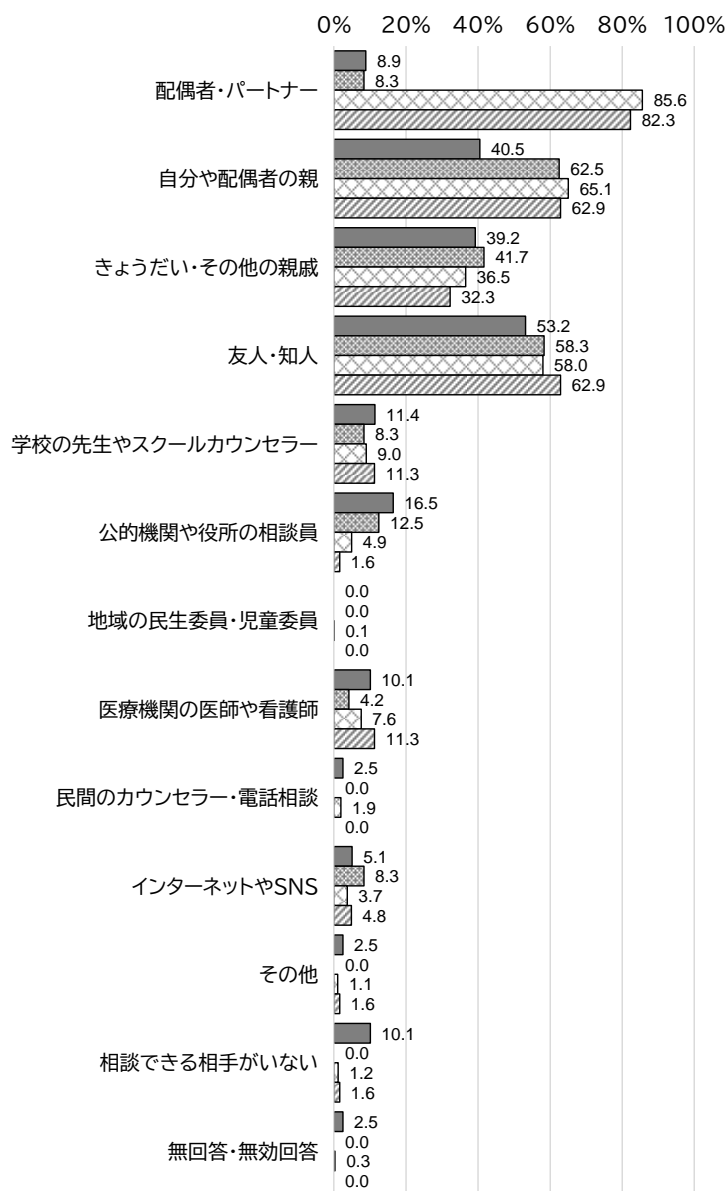
【中学2年生保護者問 18】

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(複数回答)

図表 5-133 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先 (単純集計)

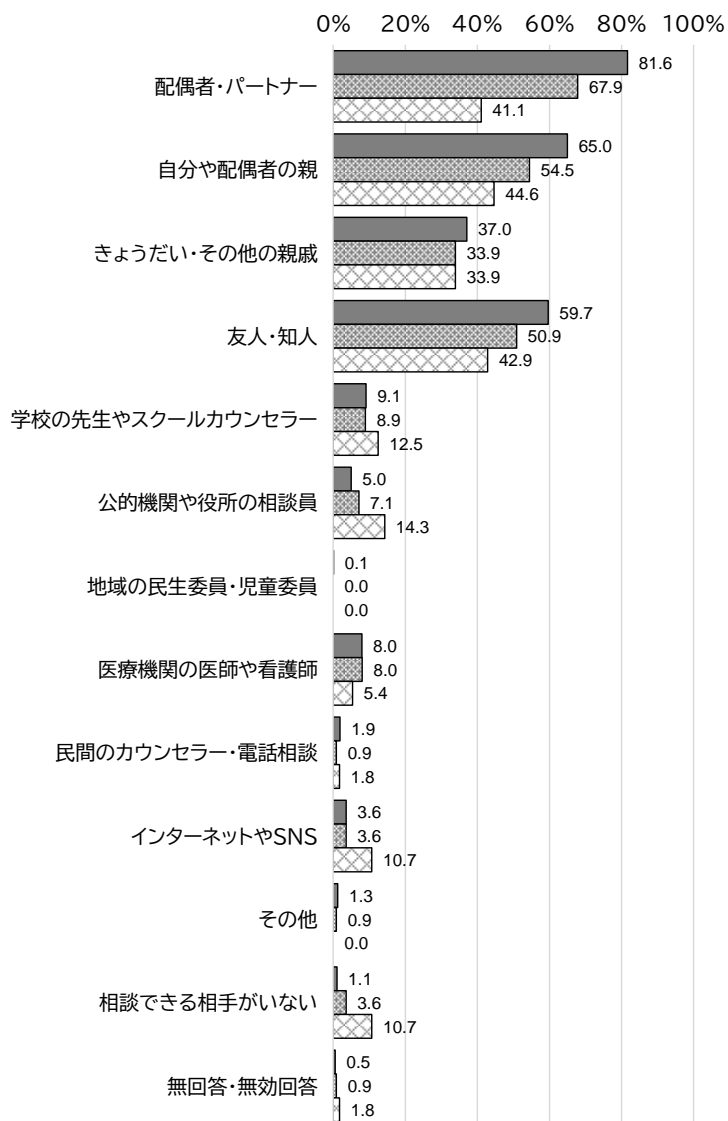


図表 5-134 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（世帯タイプ別クロス集計）



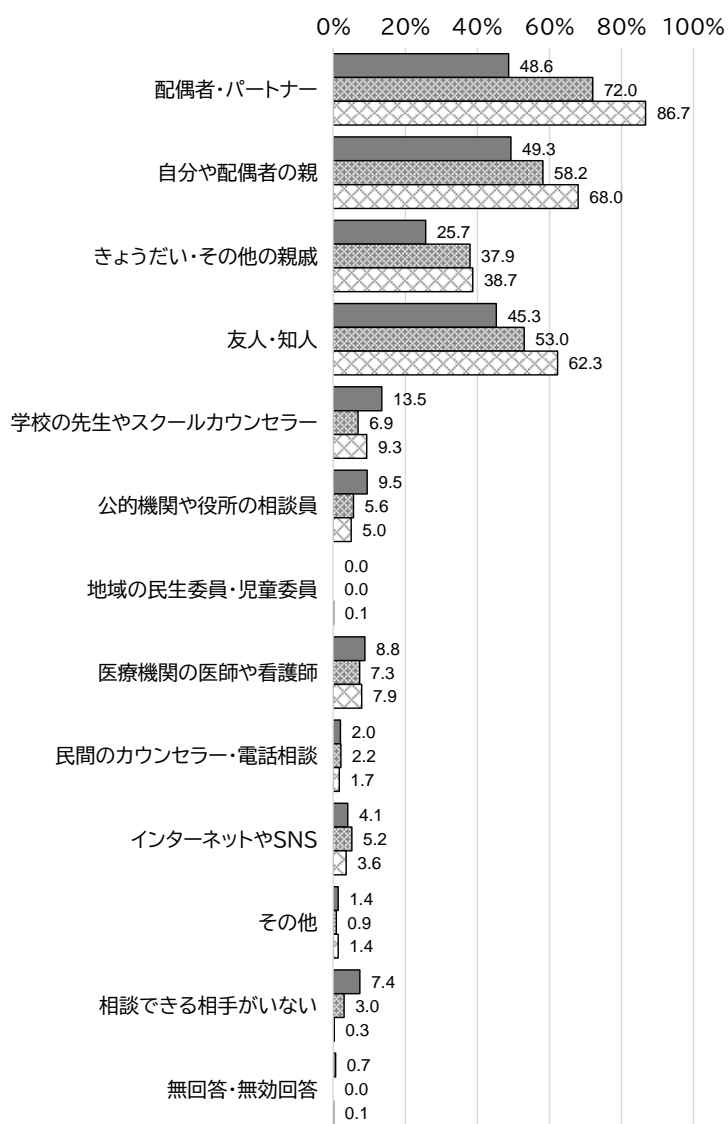
■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)	□ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=936)	□ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 5-135 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=942) ▨周辺層(n=112) ▩困窮層(n=56)

図表 5-136 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活満足別クロス集計）



■生活満足 低位(n=148) ■生活満足 中位(n=232) □生活満足 高位(n=721)

ク 生活満足度

最近の生活への満足度については、「0～4」と回答した割合の合計は 13.3%、「5～6」と回答した割合の合計は 20.8%、「7～10」と回答した割合の合計は 64.7%であった。

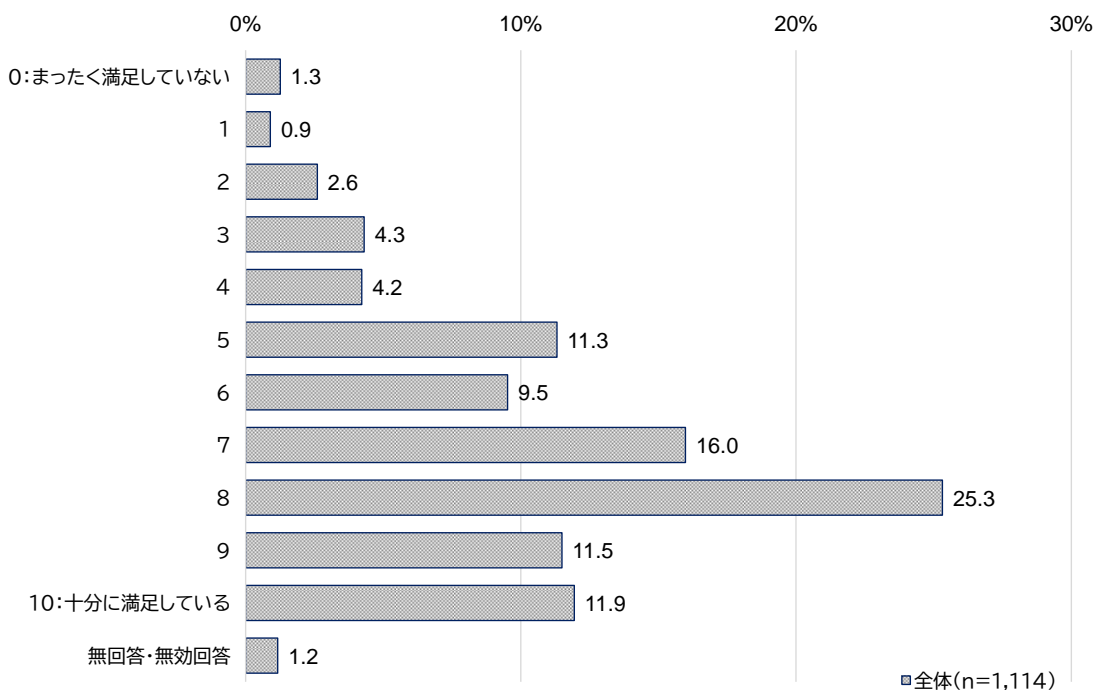
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「0～4」と回答した割合の合計は 31.6%、「5～6」と回答した割合の合計は 25.4%、「7～10」と回答した割合の合計は 41.8%であった。

困窮層(n=56)では、「0～4」と回答した割合の合計は 53.6%、「5～6」と回答した割合の合計は 21.4%、「7～10」と回答した割合の合計は 23.3%であった。

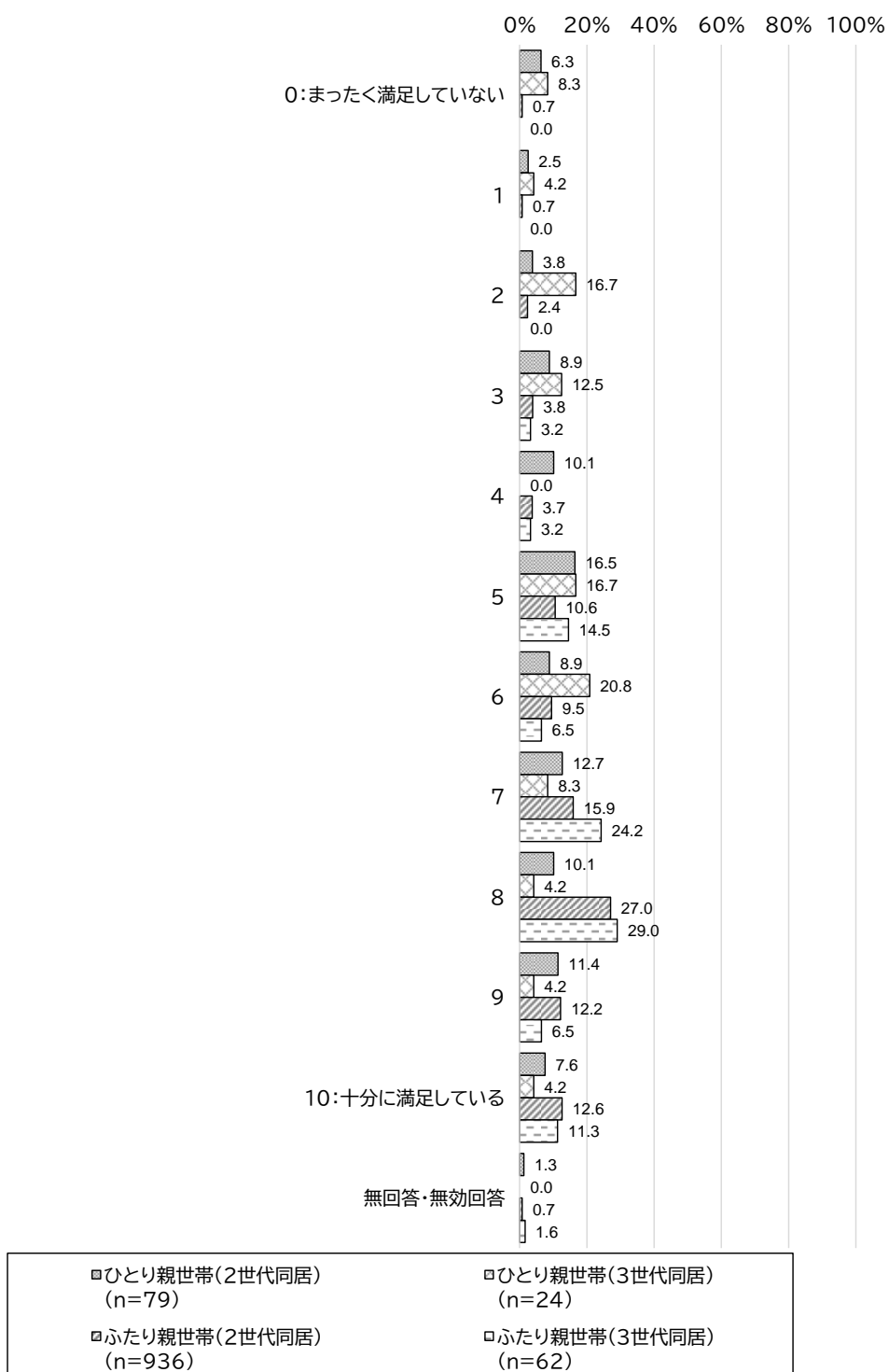
【中学2年生保護者問 19】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(単一回答)

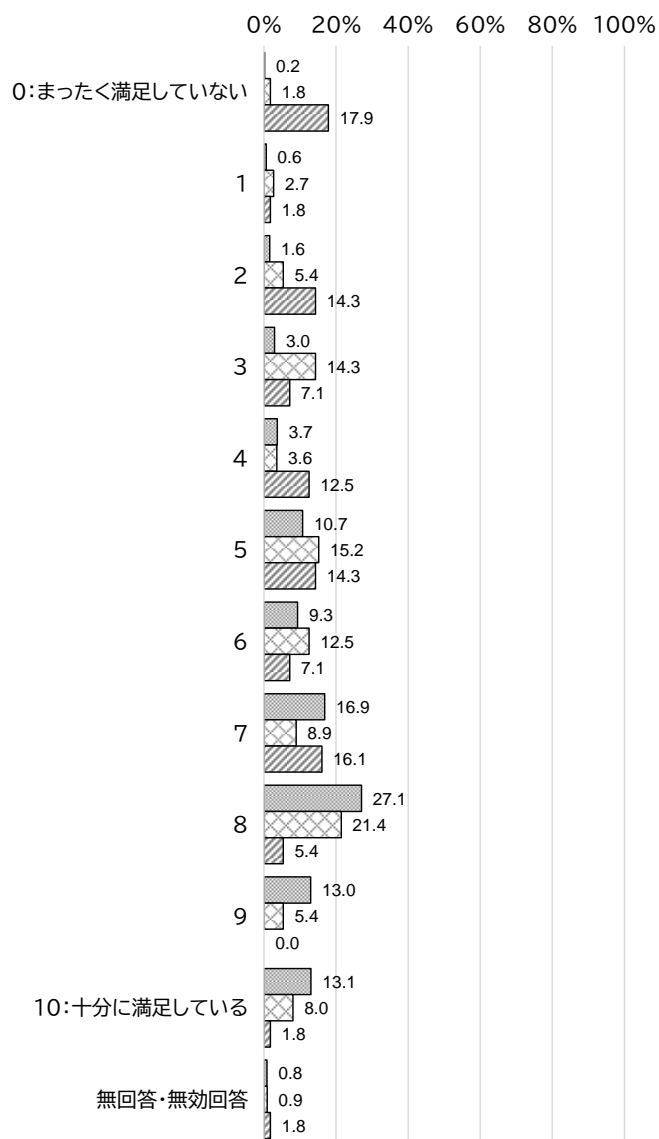
図表 5-137 生活満足度 (単純集計)



図表 5-138 生活満足度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-139 生活満足度（生活困難層別クロス集計）



一般層 (n=942)
 周辺層 (n=112)
 困窮層 (n=56)

(5) あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

ア 暮らしの状況

現在の暮らしの状況の認識については、「普通」が47.1%と最も多く、「やや苦しい」が21.5%、「ややゆとりがある」が17.8%であった。また、「大変苦しい」は8.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「やや苦しい」が34.2%と最も多く、「普通」が31.6%、「大変苦しい」が24.1%であった。

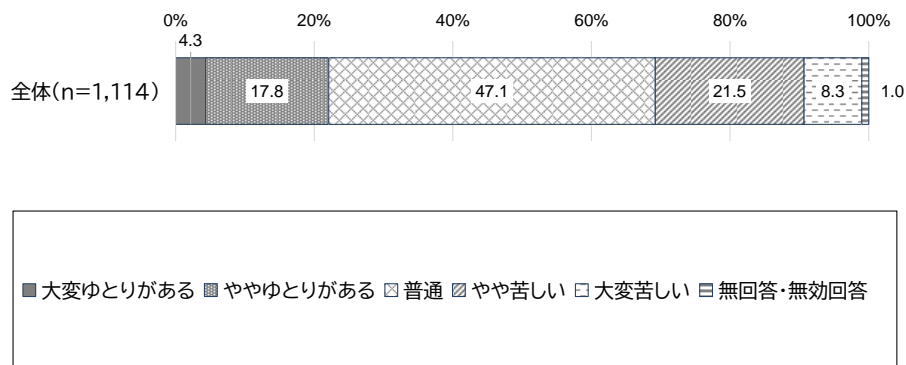
困窮層(n=56)では、「大変苦しい」が64.3%と最も多く、「やや苦しい」が26.8%、「ややゆとりがある」「普通」が3.6%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「やや苦しい」が43.9%と最も多く、「大変苦しい」が32.4%、「普通」が16.2%であった。

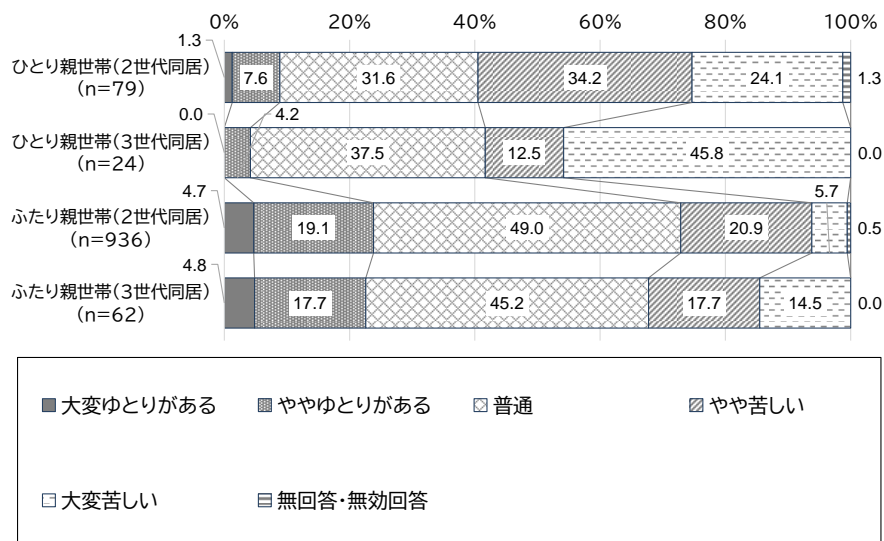
【中学2年生保護者問 20】

現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単一回答)

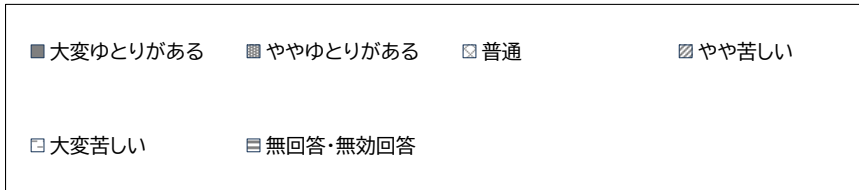
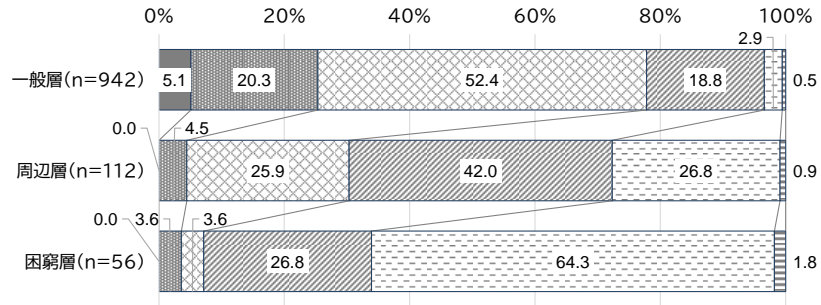
図表 5-140 暮らしの状況 (単純集計)



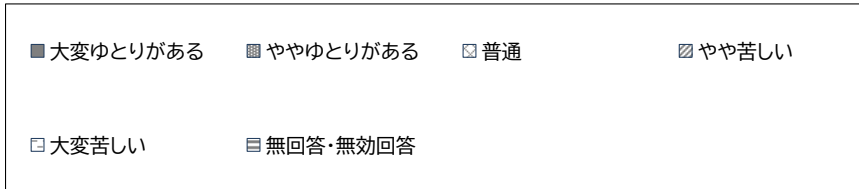
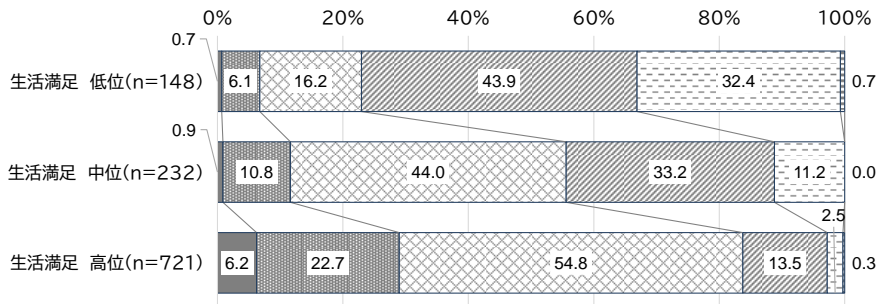
図表 5-141 暮らしの状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-142 暮らしの状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-143 暮らしの状況（生活満足度別クロス集計）



イ 家計の状況

家計の状況については、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 39.1%と最も多く、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 31.4%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」が 12.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 39.2%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 27.8%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 15.2%であった。

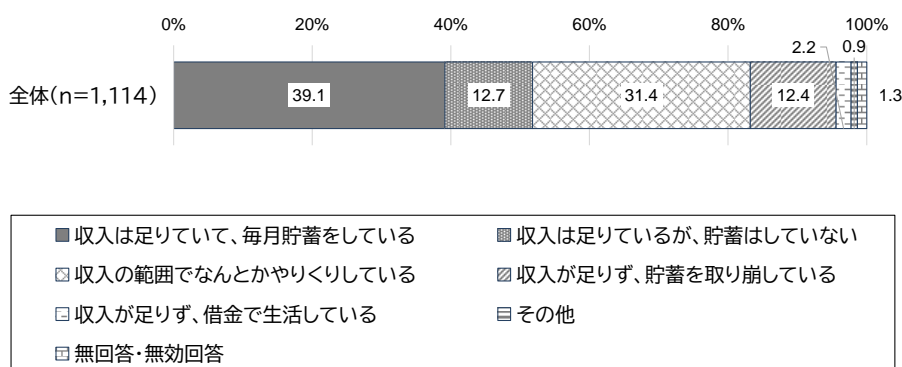
困窮層(n=56)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 42.9%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 33.9%、「収入が足りず、借金で生活している」が 16.1%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 34.5%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 33.8%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 10.8%であった。

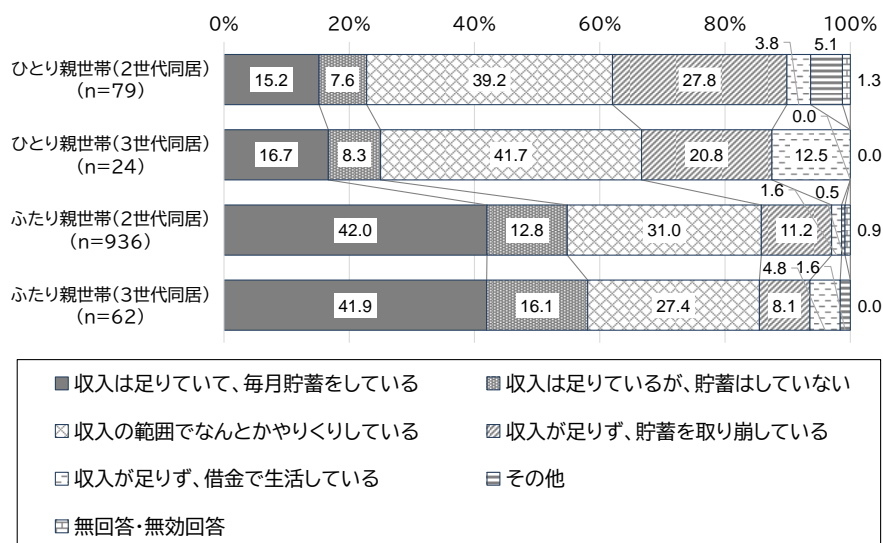
【中学2年生保護者問 21】

ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(単一回答)

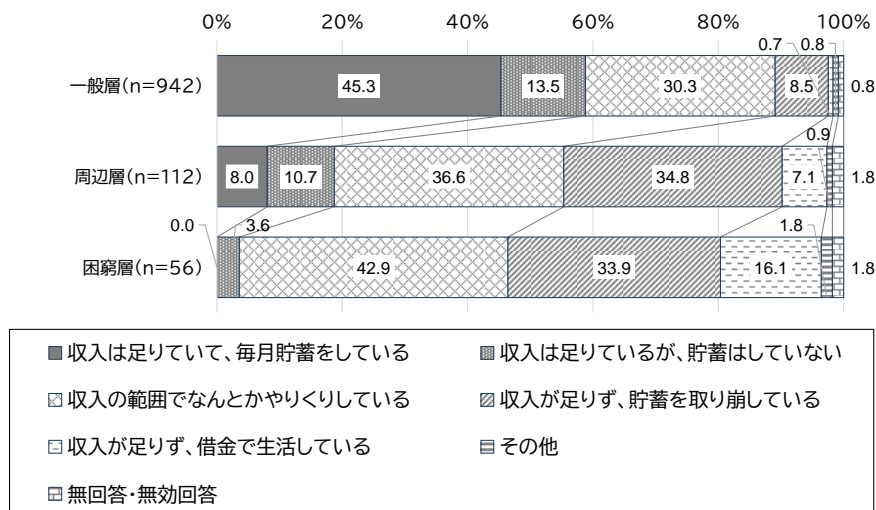
図表 5-144 家計の状況 (単純集計)



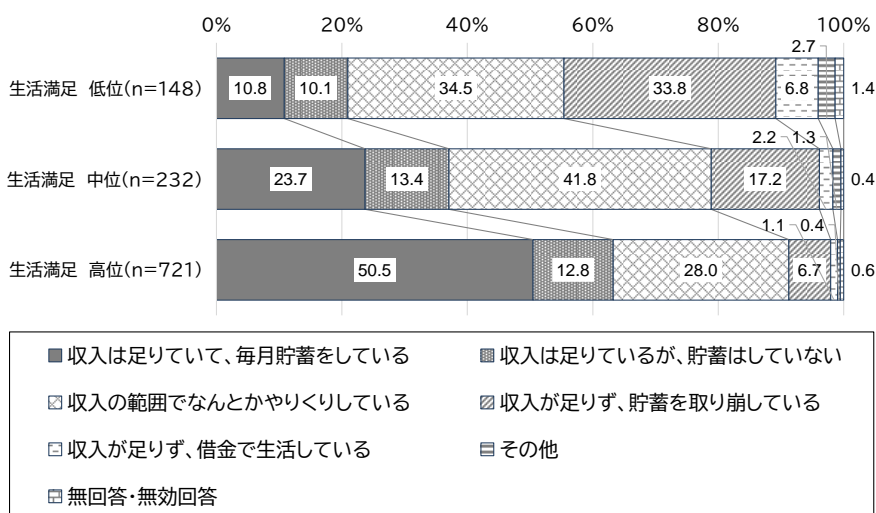
図表 5-145 家計の状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-146 家計の状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-147 家計の状況（生活満足度別クロス集計）



ウ 食料が買えない経験

過去1年の間のお金が足りなくて食料が買えない経験の有無は、「まったくなかった」が 89.4%と最も多く、「まれにあった」が 5.2%、「ときどきあった」が 3.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「まったくなかった」が 75.9%と最も多く、「まれにあった」が 10.1%、「ときどきあった」が 7.6%であった。

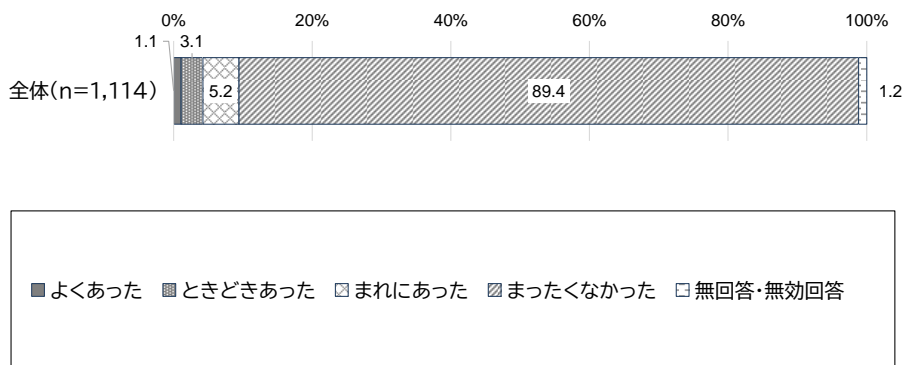
困窮層(n=56)では、「ときどきあった」が 41.1%と最も多く、「まれにあった」が 21.4%、「よくあった」が 17.9%であった。また、「まったくなかった」は 16.1%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「まったくなかった」が 66.9%と最も多く、「まれにあった」が 12.8%、「ときどきあった」が 12.2%であった。

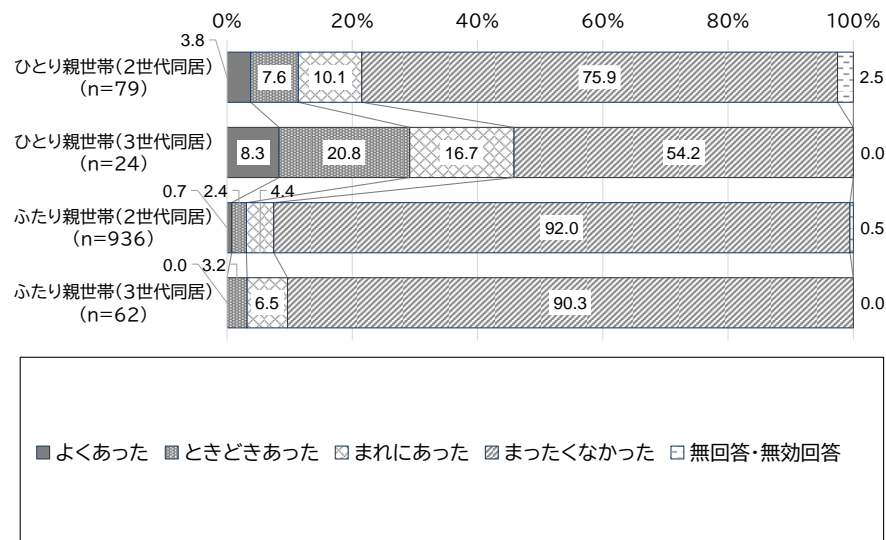
【中学2年生保護者問 22】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(単一回答)

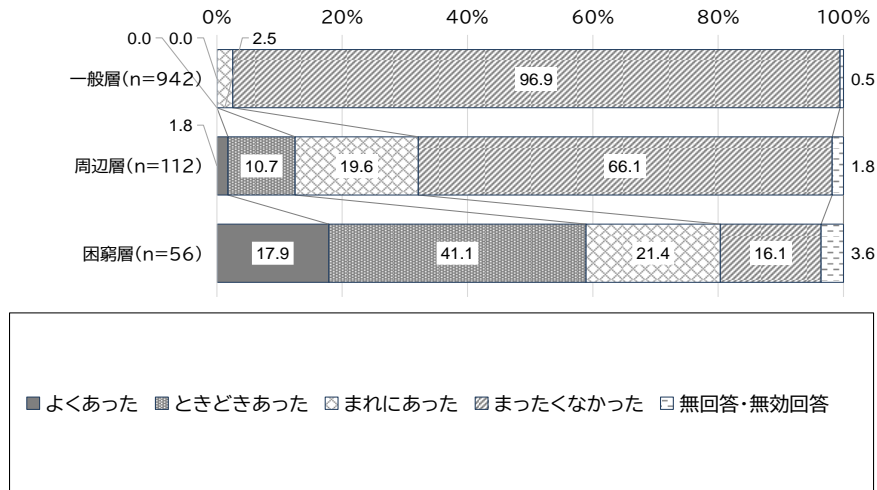
図表 5-148 お金が足りなくて食料が買えなかった経験 (単純集計)



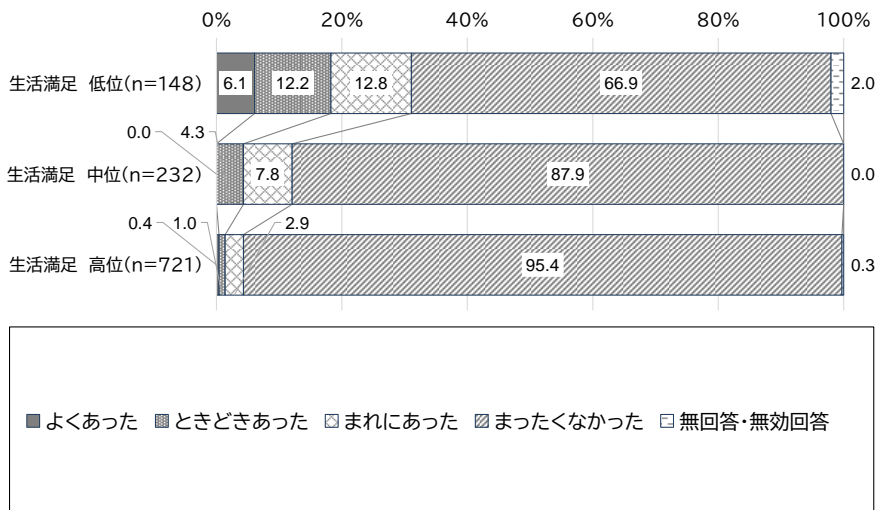
図表 5-149 お金が足りなくて食料が買えなかった経験 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-150 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）⁴²



図表 5-151 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



⁴² 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

工 衣類が買えない経験

お金が足りなくて衣類が買えなかった経験についてみると、「まったくなかった」が 84.7%と最も多く、「まれにあった」が 8.8%、「ときどきあった」が 4.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「まったくなかった」が 63.3%と最も多く、「まれにあった」が 20.3%、「ときどきあった」が 12.7%であった。

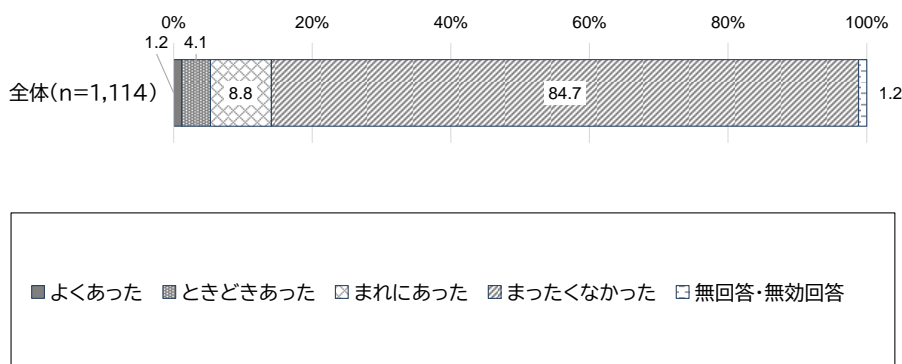
困窮層(n=56)では、「ときどきあった」が 44.6%と最も多く、「まれにあった」が 23.2%、「よくあった」が 17.9%であった。また、「まったくなかった」は 12.5%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「まったくなかった」が 59.5%と最も多く、「まれにあった」が 21.6%、「ときどきあった」が 12.2%であった。

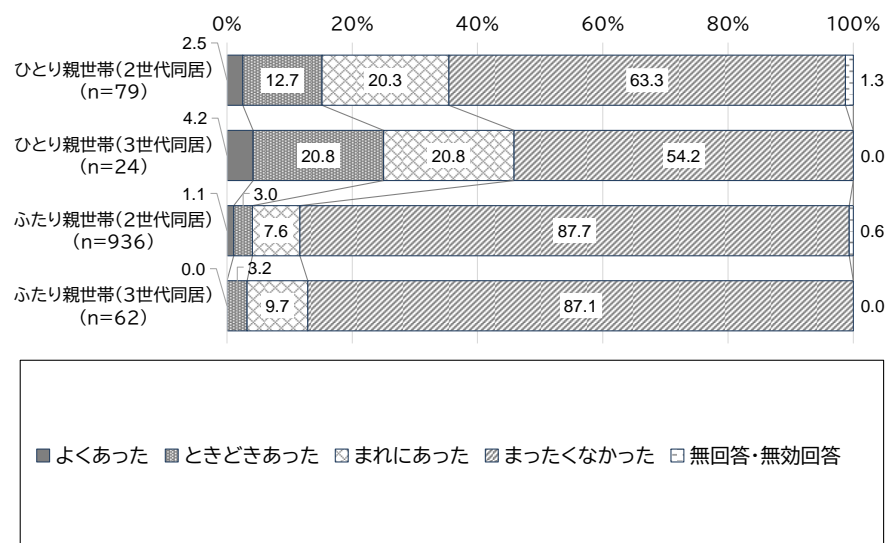
【中学2年生保護者問 23】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(単一回答)

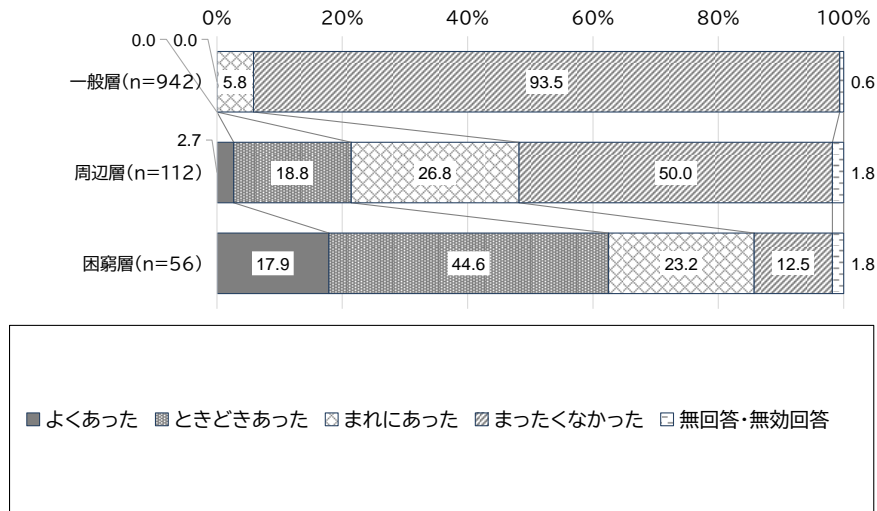
図表 5-152 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験 (単純集計)



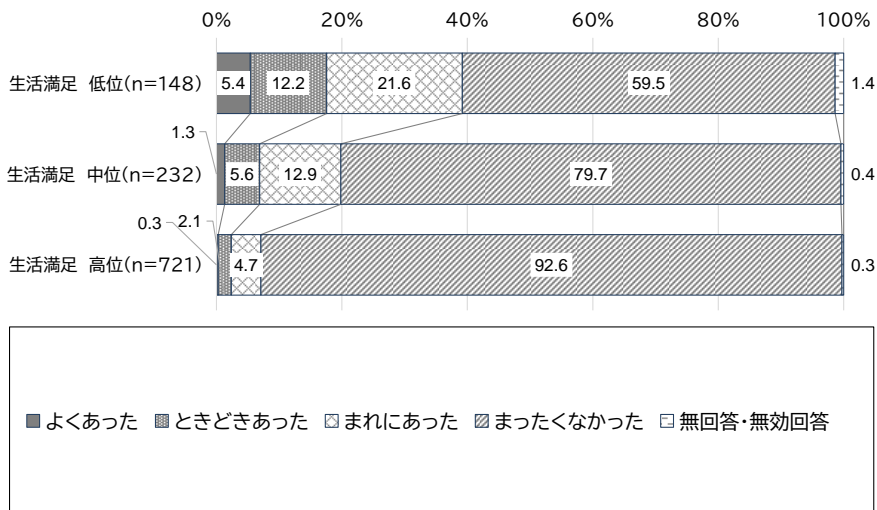
図表 5-153 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-154 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）⁴³



図表 5-155 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



⁴³ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

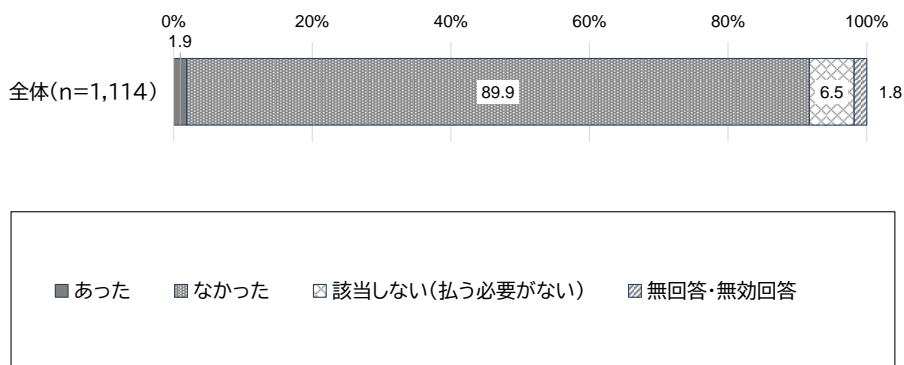
オ 公共料金等の不払いの有無

「電話料金」については、「あった」が1.9%であった。

【中学2年生保護者問 24A】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-156 電話料金が支払えなかった経験 (単純集計)

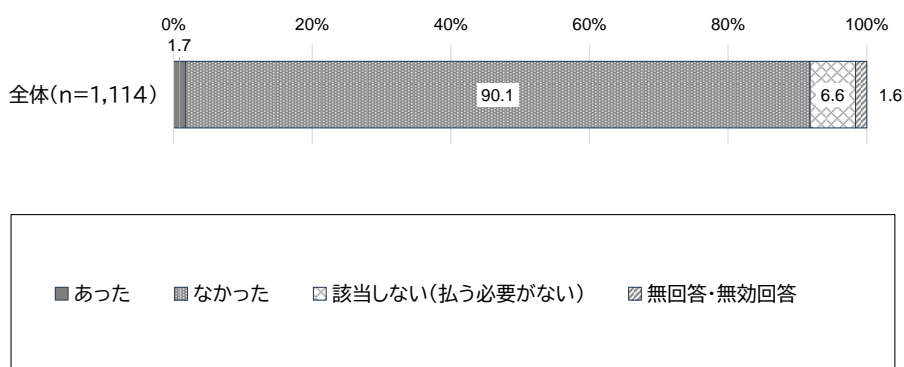


「電気料金」については、「あった」が1.7%であった。

【中学2年生保護者問 24B】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-157 電気料金が支払えなかった経験 (単純集計)

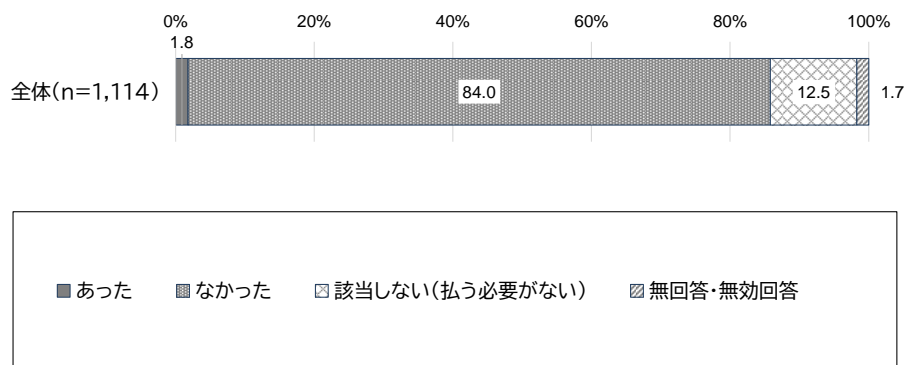


「ガス料金」については、「あった」が1.8%であった。

【中学2年生保護者問 24C】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-158 ガス料金が支払えなかった経験 (単純集計)

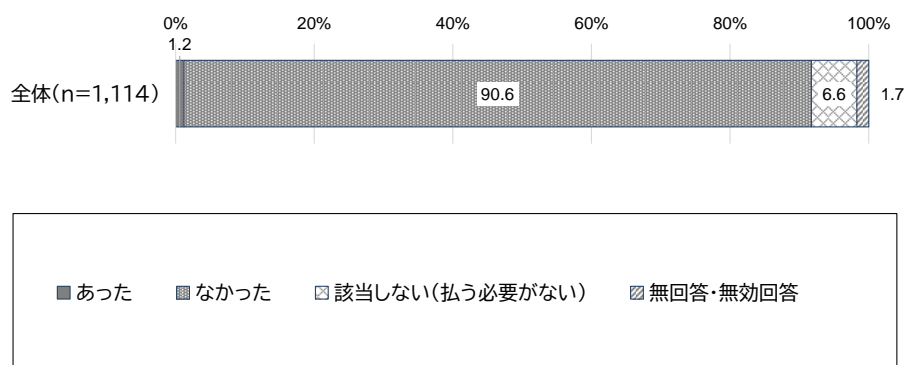


「水道料金」については、「あった」が1.2%であった。

【中学2年生保護者問 24D】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-159 水道料金が支払えなかった経験 (単純集計)

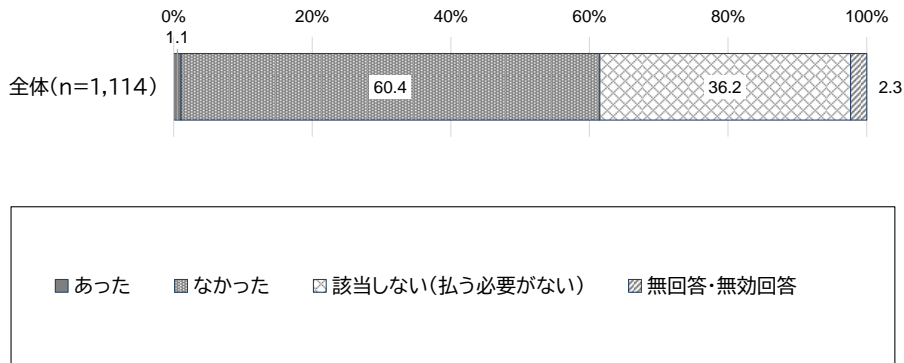


「家賃」については、「あった」が1.1%であった。
 困窮層(n=56)では、「あった」が12.5%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「あった」が4.7%であった。

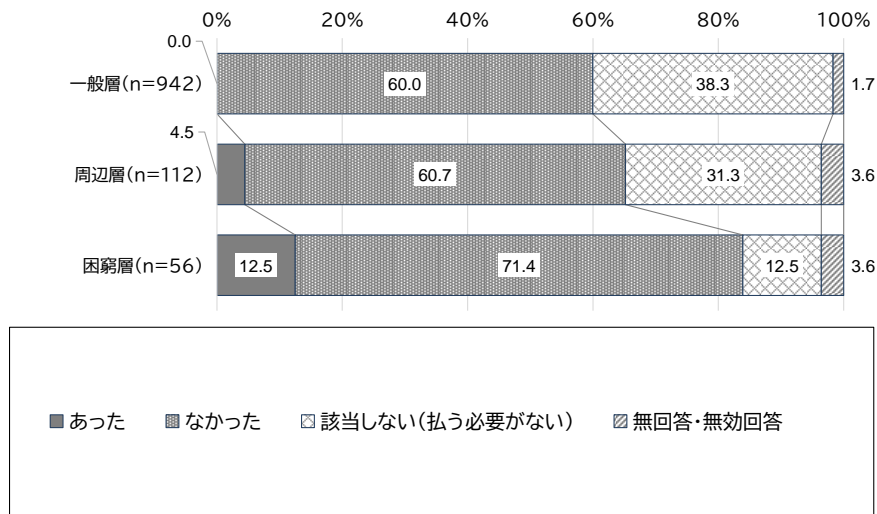
【中学2年生保護者問 24E】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-160 家賃が支払えなかった経験（単純集計）

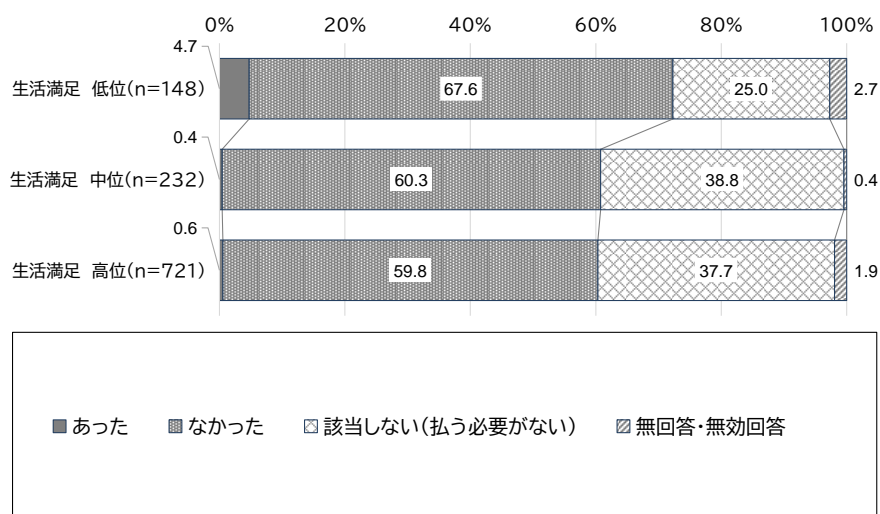


図表 5-161 家賃が支払えなかった経験（生活困難層別クロス集計）⁴⁴



⁴⁴ 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 5-162 家賃が支払えなかった経験（生活満足度別クロス集計）

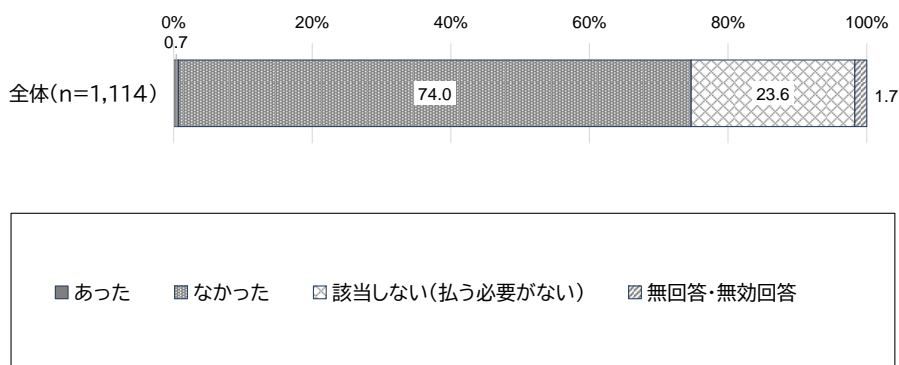


「住宅ローン」については、「あった」が0.7%であった。

【中学2年生保護者問 24F】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-163 住宅ローンが支払えなかった経験（単純集計）

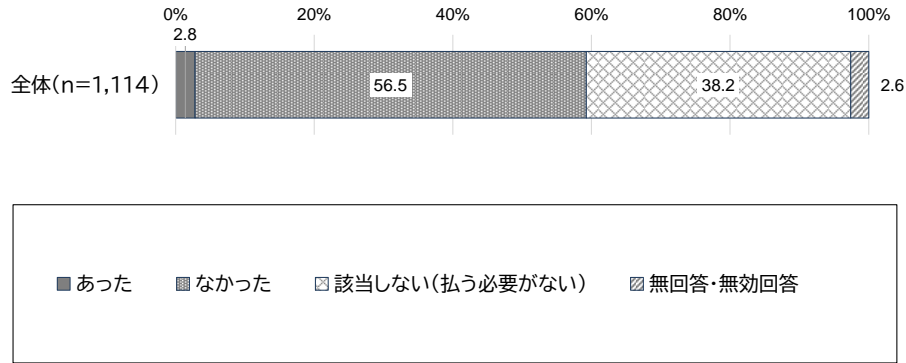


「その他の債務」については、「あった」が 2.8%であった。

【中学2年生保護者問 24G】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-164 その他の債務が支払えなかった経験 (単純集計)



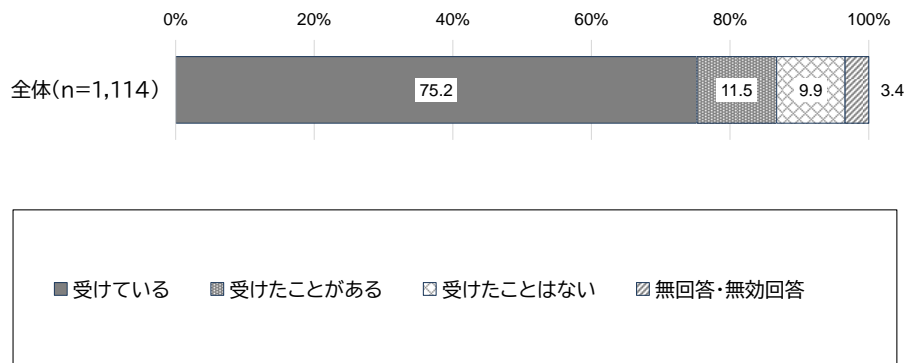
カ 手当・援助等の有無

「児童手当」については、「受けている」が 75.2%であった。

【中学2年生保護者問 25A】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-165 児童手当 (単純集計)



「就学援助」については、「受けている」が 9.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が 55.7%であった。

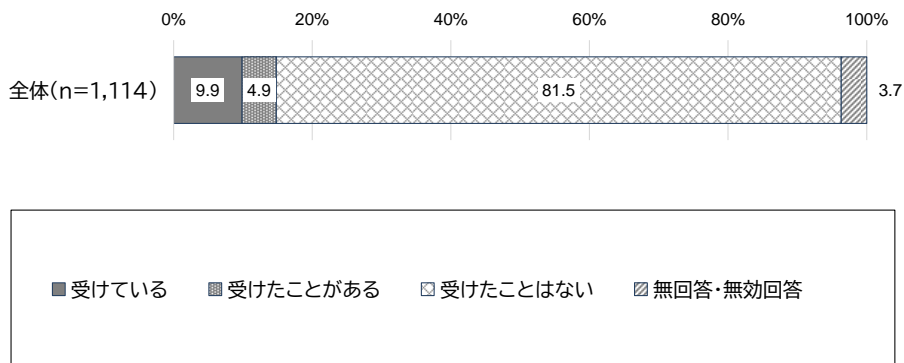
困窮層(n=56)では、「受けている」が 58.9%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「受けている」が 27.7%であった。

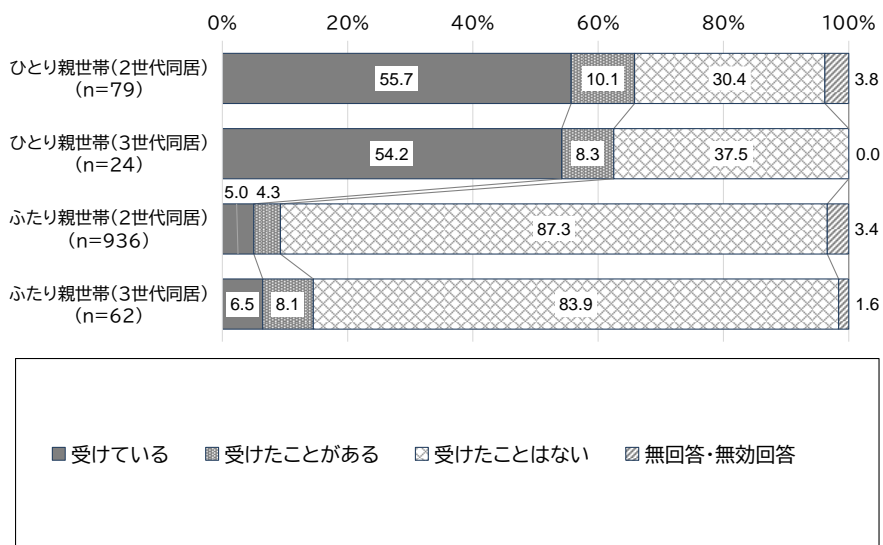
【中学2年生保護者問 25B】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

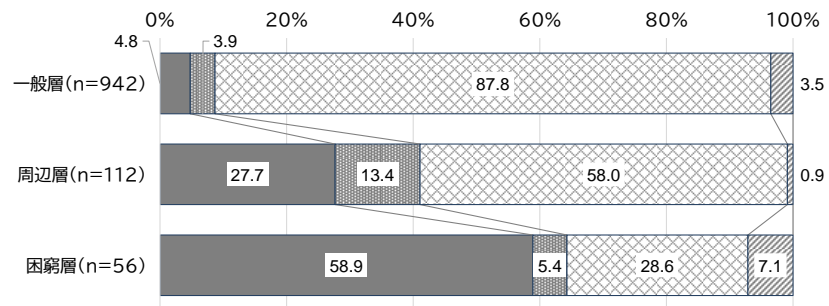
図表 5-166 就学援助 (単純集計)



図表 5-167 就学援助 (世帯タイプ別クロス集計)

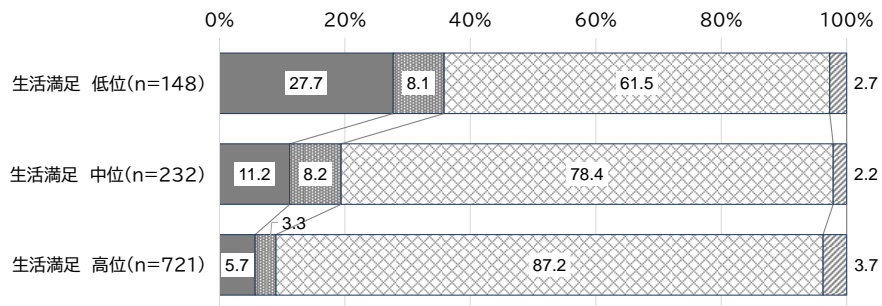


図表 5-168 就学援助（生活困難層別クロス集計）



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 5-169 就学援助（生活満足度別クロス集計）



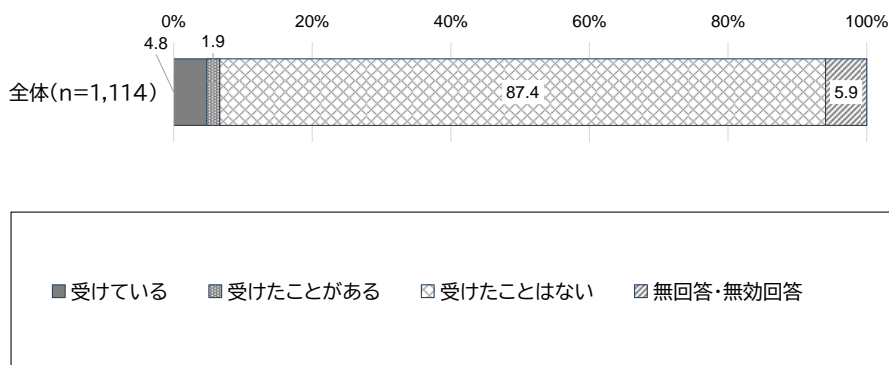
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「児童扶養手当」については、「受けている」が4.8%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が51.9%であった。
 困窮層(n=56)では、「受けている」が26.8%であった。
 生活満足 低位(n=148)では、「受けている」が14.9%であった。

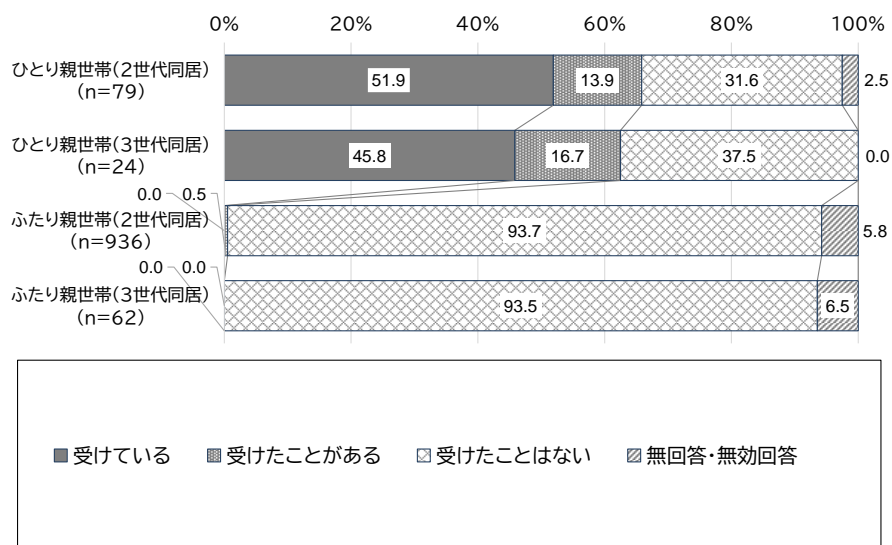
【中学2年生保護者問 25C】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

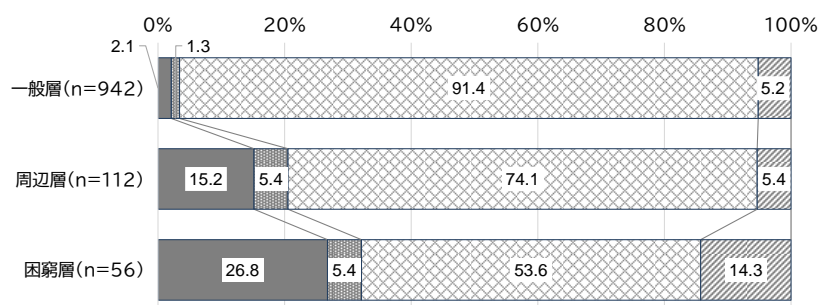
図表 5-170 児童扶養手当 (単純集計)



図表 5-171 児童扶養手当 (世帯タイプ別クロス集計)

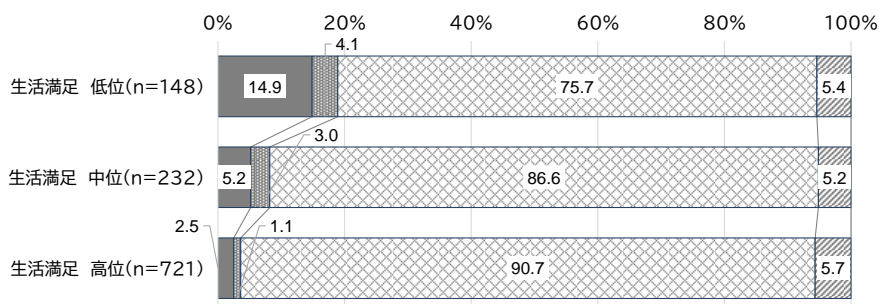


図表 5-172 児童扶養手当（生活困難層別クロス集計）



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 5-173 児童扶養手当（生活満足度別クロス集計）



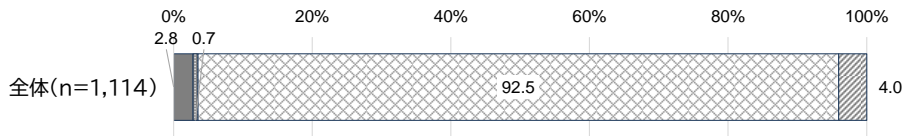
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「障がいや難病の手当」については、「受けている」が2.8%であった。

【中学2年生保護者問 25D】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-174 障がいや難病の手当 (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

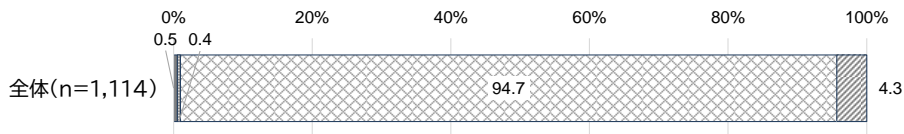
「生活保護」については、「受けている」が0.5%であった。

困窮層(n=56)では、「受けている」が7.1%であった。

【中学2年生保護者問 25E】

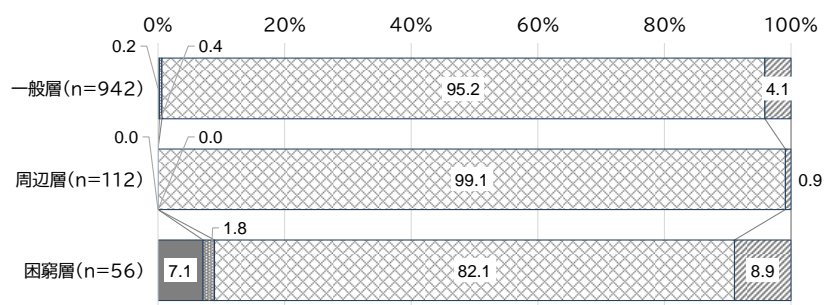
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-175 生活保護 (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 5-176 生活保護（生活困難層別クロス集計）



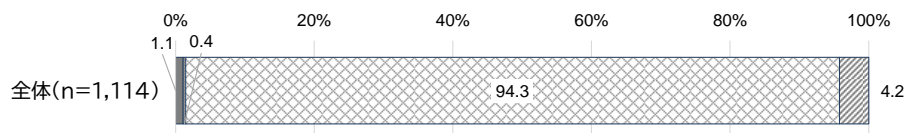
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「公的年金(老齢年金)」については、「受けている」が1.1%であった。

【中学2年生保護者問 25F】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-177 公的年金(老齢年金) (単純集計)



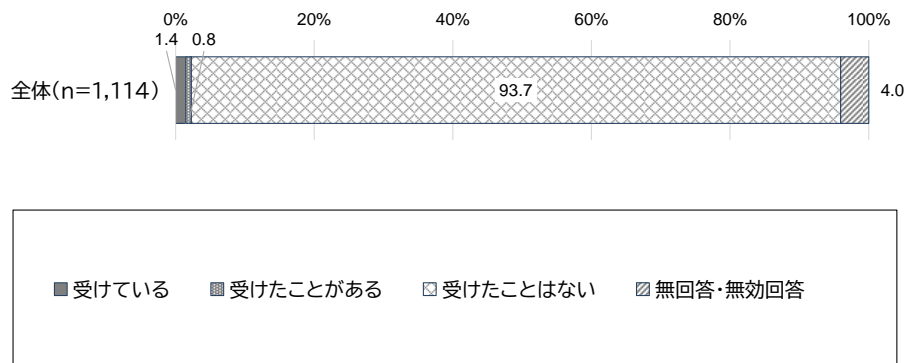
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「公的年金(遺族年金、障害年金)」については、「受けている」が1.4%であった。
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が11.4%であった。

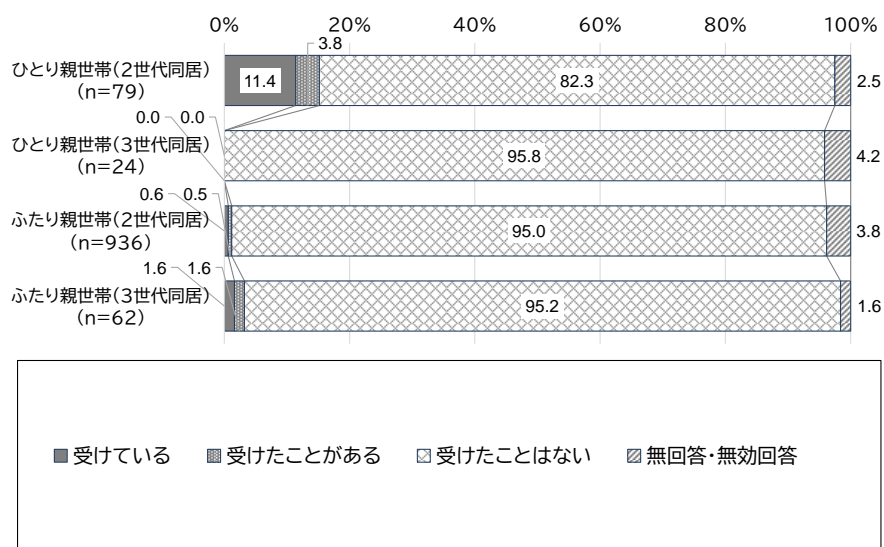
【中学2年生保護者問 25G】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-178 公的年金(遺族年金、障害年金) (単純集計)



図表 5-179 公的年金(遺族年金、障害年金) (世帯タイプ別クロス集計)

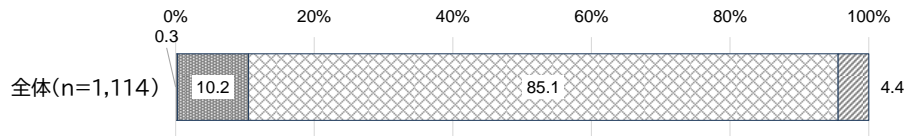


「雇用保険(失業保険)」については、「受けている」が0.3%であった。

【中学2年生保護者問 25H】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-180 雇用保険(失業保険) (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「養育費」については、「受けている」が3.5%であった。

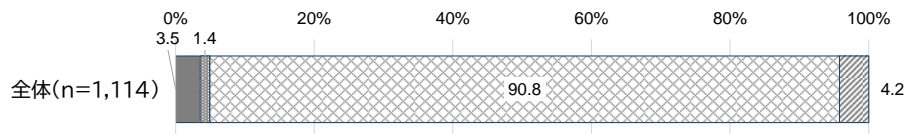
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が34.2%であった。

困窮層(n=56)では、「受けている」が7.1%であった。

【中学2年生保護者問 25I】

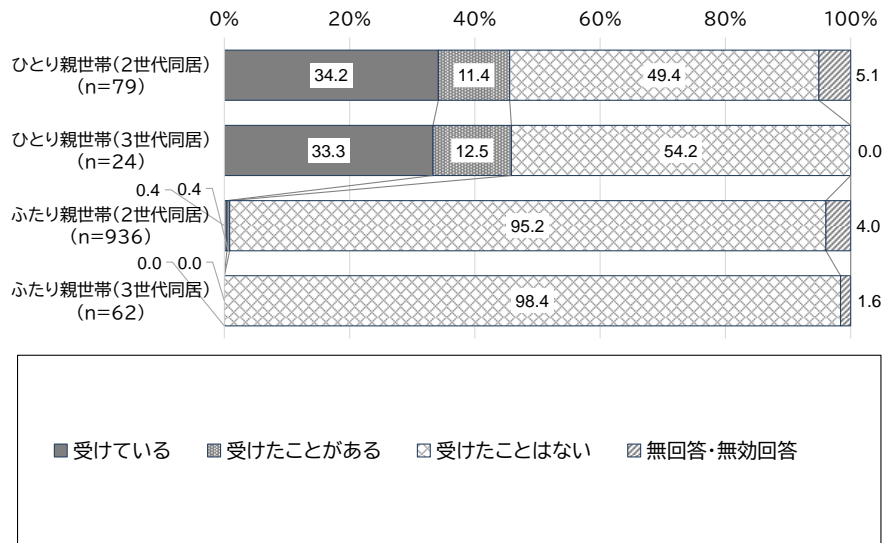
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-181 養育費 (単純集計)

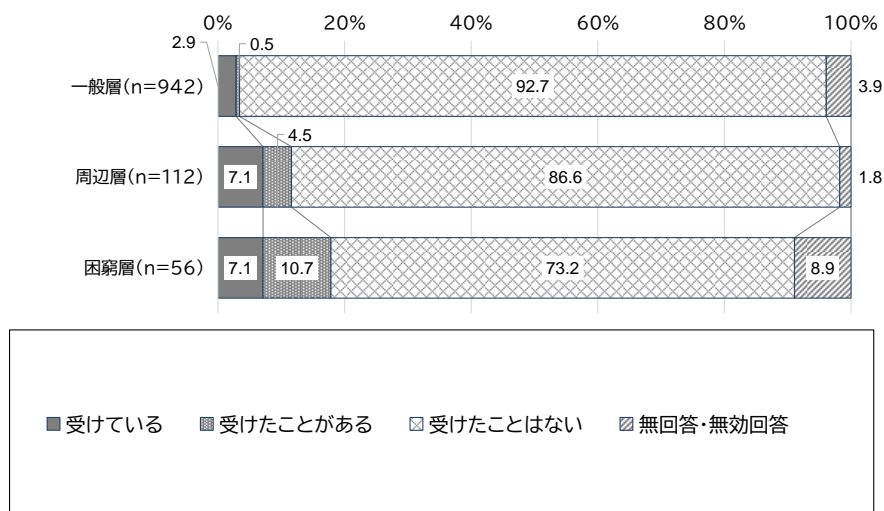


■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 5-182 養育費（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-183 養育費（生活困難層別クロス集計）

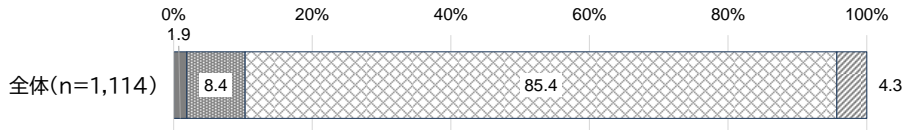


「親・親族からの仕送り」については、「受けている」が1.9%であった。
 困窮層(n=56)では、「受けている」が1.8%であった。

【中学2年生保護者問 25J】

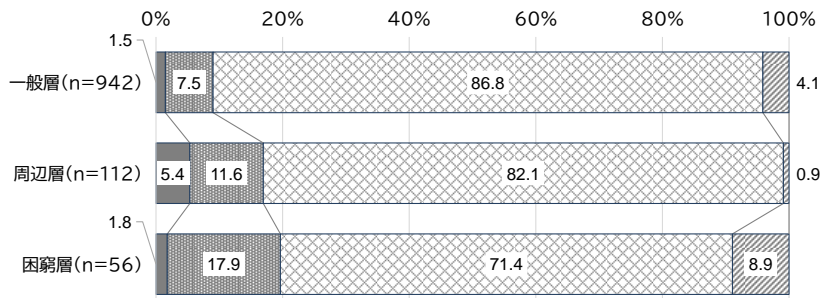
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-184 親・親族からの仕送り (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

図表 5-185 親・親族からの仕送り (生活困難層別クロス集計)



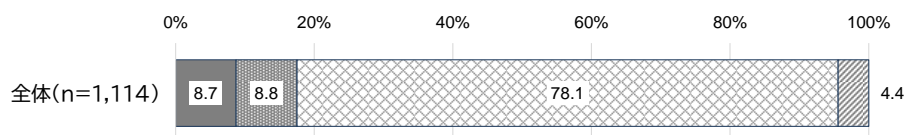
■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

「その他、株式配当などの副収入」については、「受けている」が8.7%であった。

【中学2年生保護者問 25K】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-186 その他、株式配当などの副収入 (単純集計)



■ 受けている ■ 受けたことがある □ 受けたことはない ▨ 無回答・無効回答

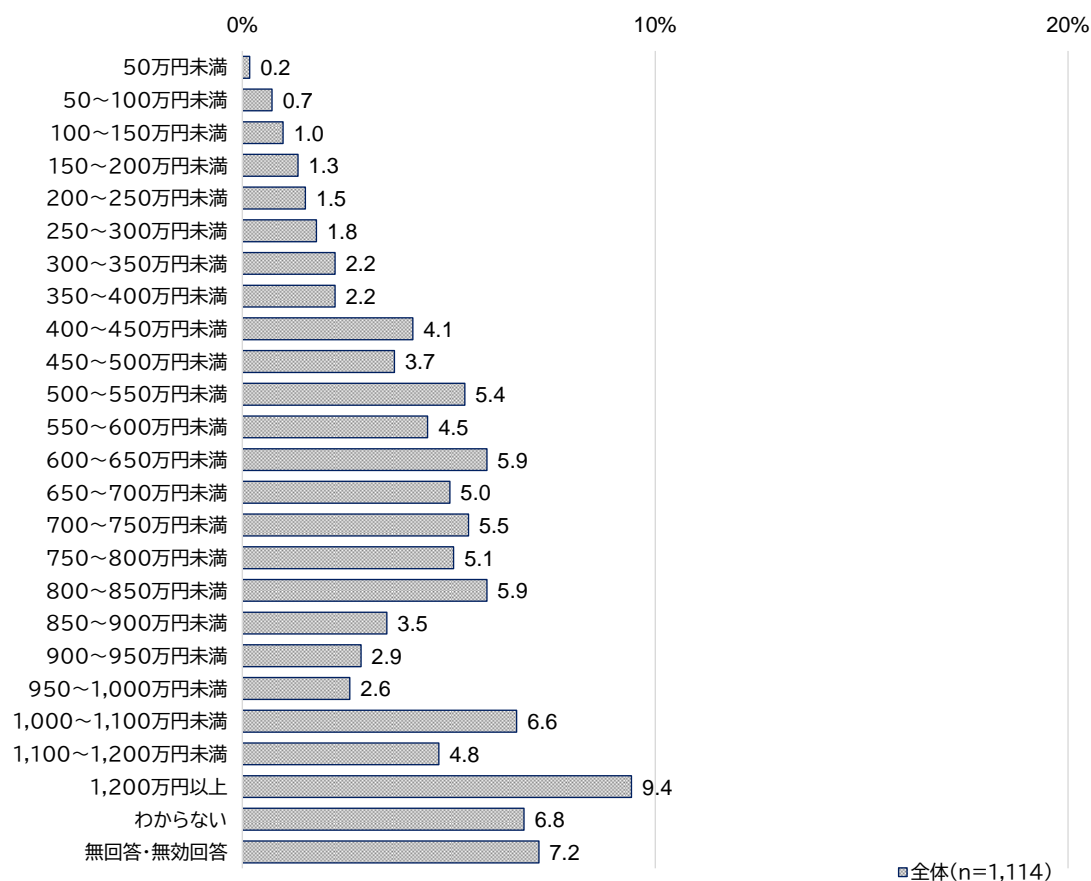
キ 世帯の年間収入

前年(2022年)の回答者の世帯の収入の合計額は、「1,200万円以上」が9.4%と最も多く、「1,000～1,100万円未満」が6.6%、「600～650万円未満」「800から850万円未満」が5.9%であった。

【中学2年生保護者問 26】

前年(2022年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(単一回答)

図表 5-187 世帯収入 (単純集計)



(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます

ア 母親の最終学歴(最後に通った学校)

回答者が母親かひとり親ではない父親の場合に、宛名の子ども母親の最終学歴を尋ねた結果、「高専、短大、専門学校等」が40.4%と最も多く、「大学」が36.9%、「高等学校」が16.7%であった。

前回調査と比較すると、「大学」と回答した割合が、今回調査は36.9%、前回調査は27.7%で、9.2ポイント増加、「高専、短大、専門学校等」と回答した割合は、今回調査は40.4%、前回調査は48.5%で、8.1ポイント減少した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「高専、短大、専門学校等」が38.8%と最も多く、「高等学校」が28.4%、「大学」が26.9%、であった。

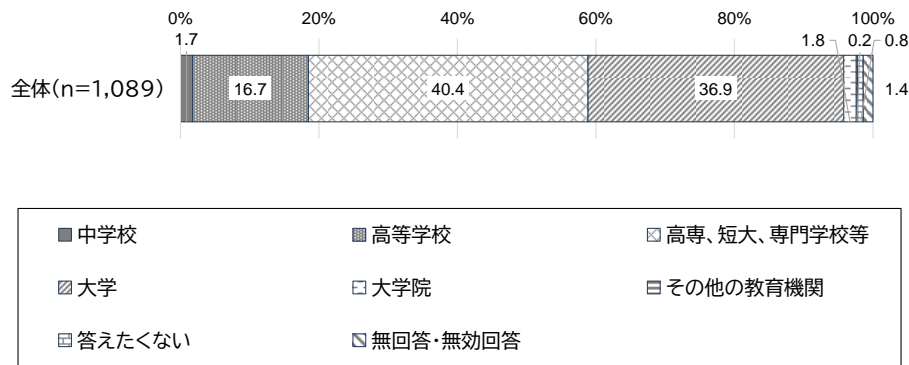
困窮層(n=51)では、「高等学校」が41.2%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が33.3%、「中学校」が11.8%であった。

生活満足 低位(n=143)では、「高専、短大、専門学校等」が42.7%と最も多く、「大学」が25.9%、「高等学校」が22.4%であった。

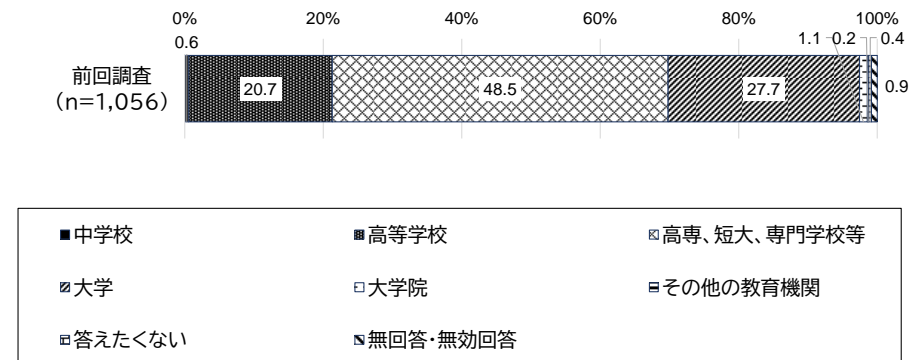
【中学2年生保護者問 27】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)お子さんのお母さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問 28 にお進みください。(単一回答)

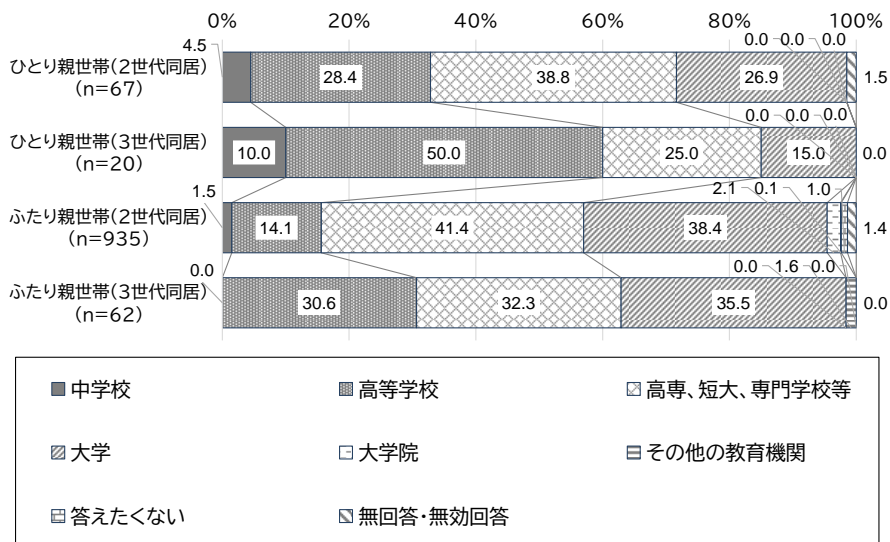
図表 5-188 母親の最後に通った学校 (単純集計)



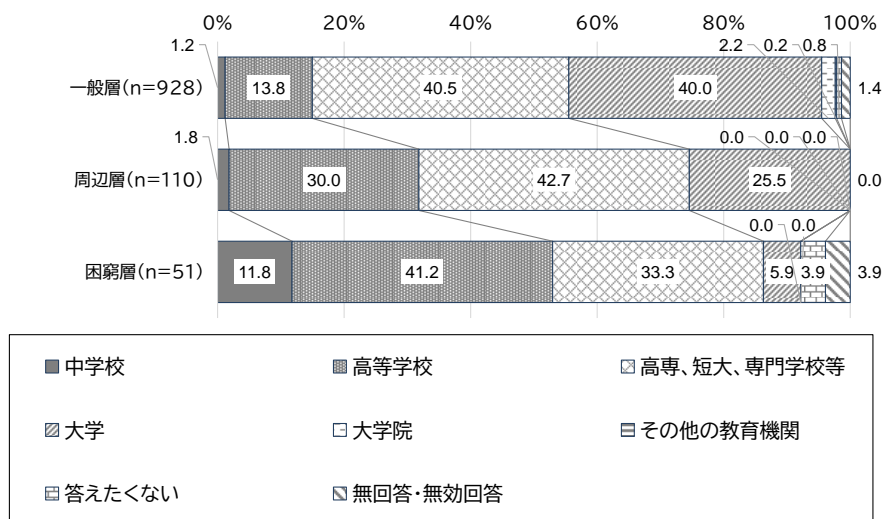
図表 5-189 母親の最後に通った学校 (前回調査 単純集計)



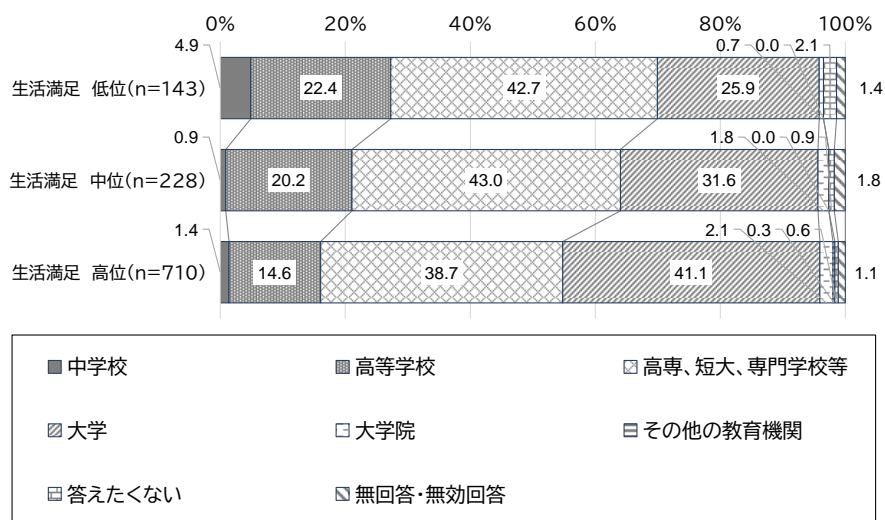
図表 5-190 母親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-191 母親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 5-192 母親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



イ 父親の最終学歴（最後に通った学校）

回答者が父親かひとり親ではない母親の場合に、宛名の子どもの父親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が50.3%と最も多く、「高等学校」が17.1%、「高専、短大、専門学校等」が16.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=12)では、「大学」が33.3%、「大学院」が25.0%、「高等学校」「高専、短大、専門学校等」が16.7%であった。

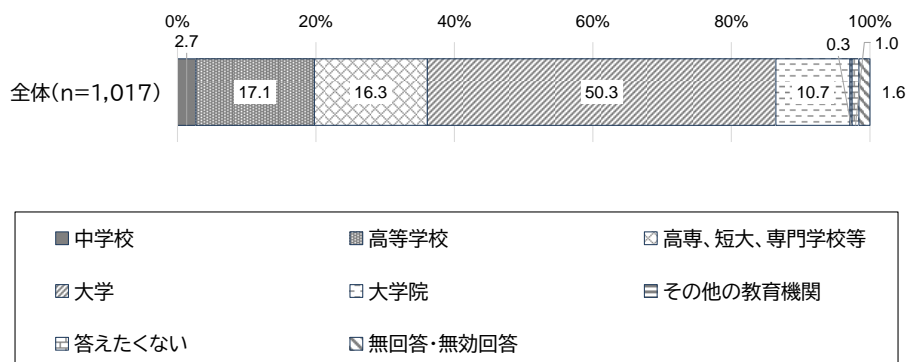
困窮層(n=36)では、「高等学校」「高専、短大、専門学校等」が27.8%、「大学」が22.2%であった。

生活満足 低位(n=116)では、「大学」が39.7%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が24.1%、「高等学校」が22.4%であった。

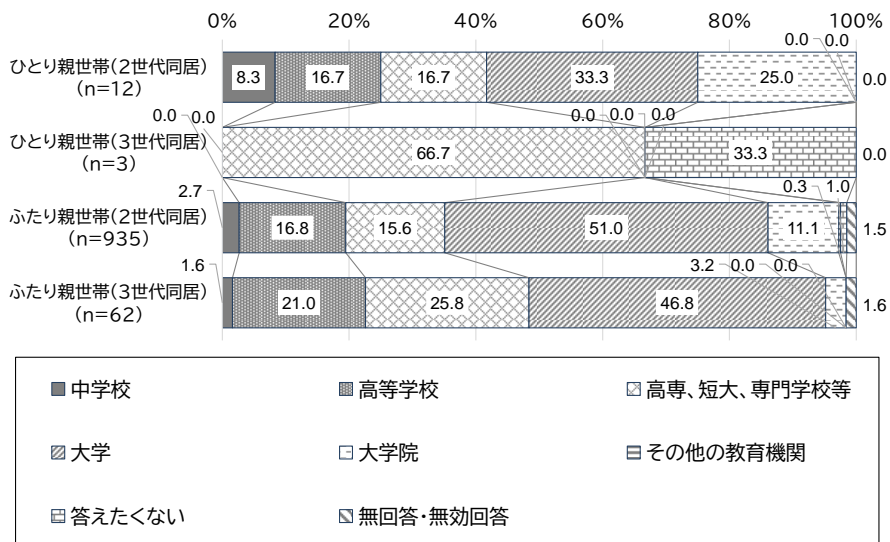
【中学2年生保護者問 28】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)お子さんのお父さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 29 にお進みください。(単一回答)

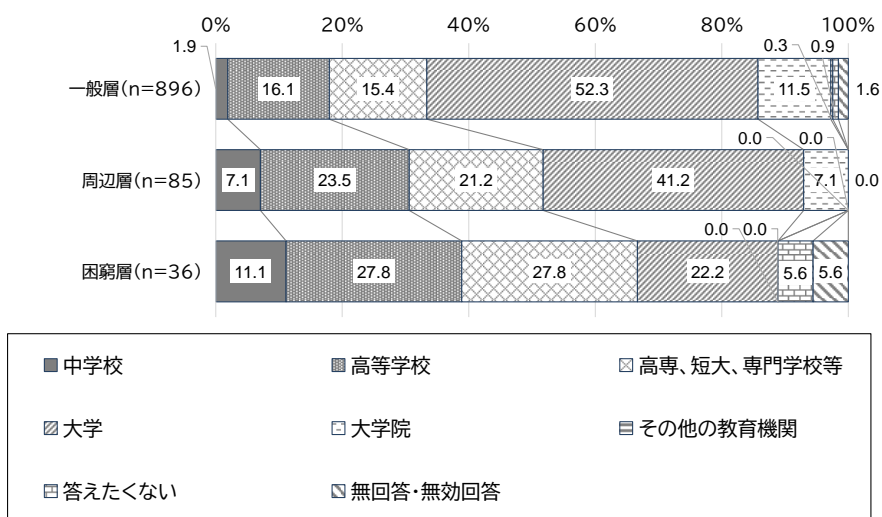
図表 5-193 父親の最後に通った学校（単純集計）



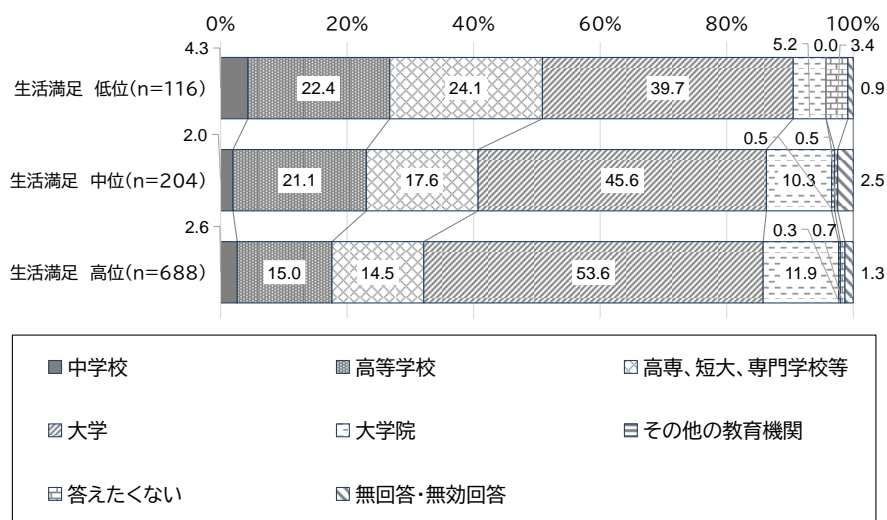
図表 5-194 父親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-195 父親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 5-196 父親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



ウ 子どもが生まれてからの経験

回答者が母親か父親の場合に、子どもが生まれてから回答者が経験したことを尋ねた結果、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は67.7%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が13.7%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」という回答が12.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は48.1%であった。経験した項目については、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」という回答が24.1%と最も多く、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が20.3%であった。

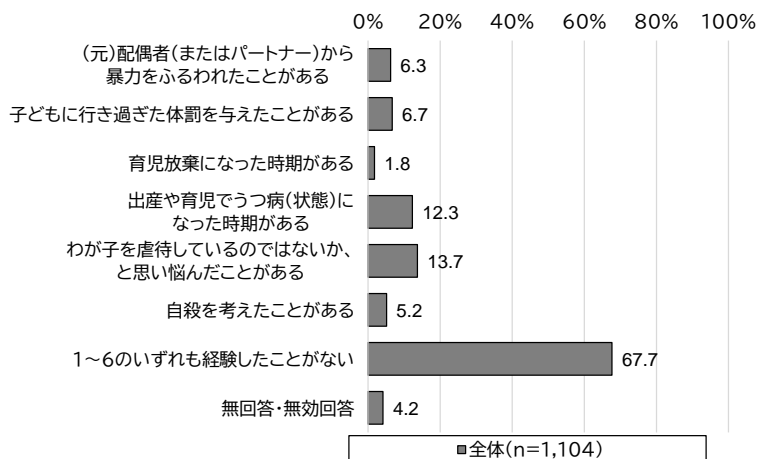
困窮層(n=55)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は36.4%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が36.4%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」という回答が29.1%であった。

生活満足 低位(n=147)では、「1～6のいずれも経験したことがない」という回答は43.5%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が25.9%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」という回答が25.2%であった。

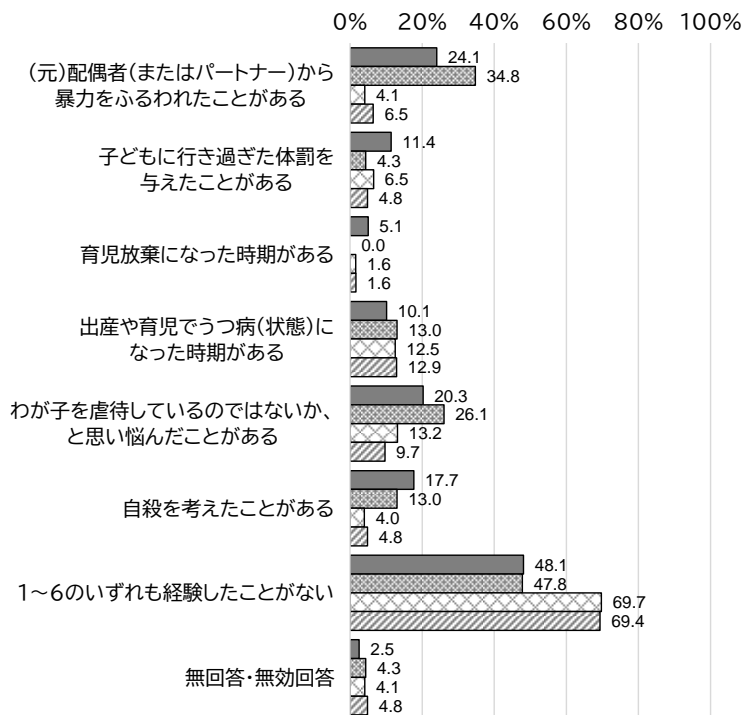
【中学2年生保護者問 29】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)あなたはお子さんが生まれてから、次のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

図表 5-197 子どもが生まれてからの経験 (単純集計)

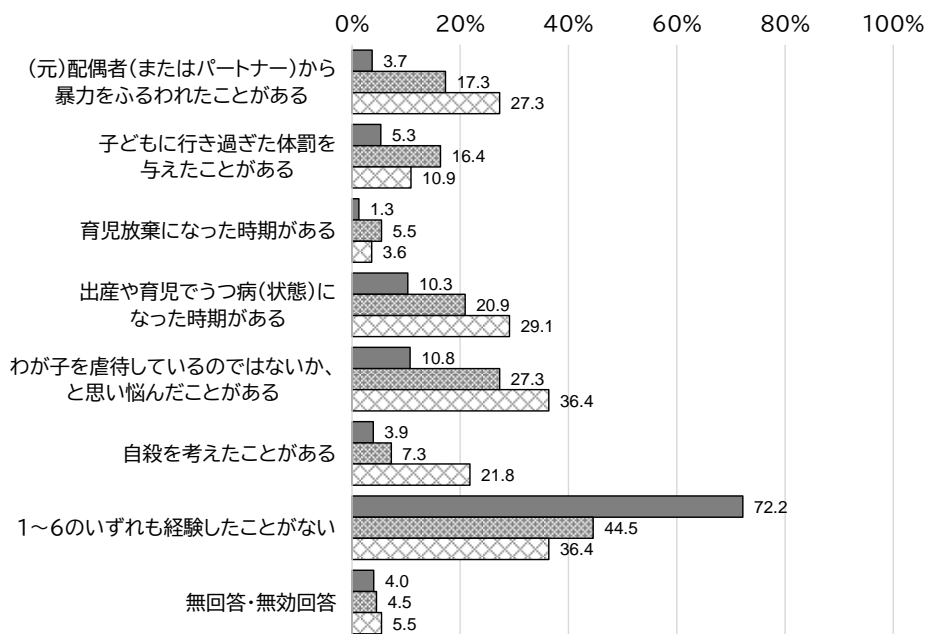


図表 5-198 子どもが生まれてからの経験（世帯タイプ別クロス集計）



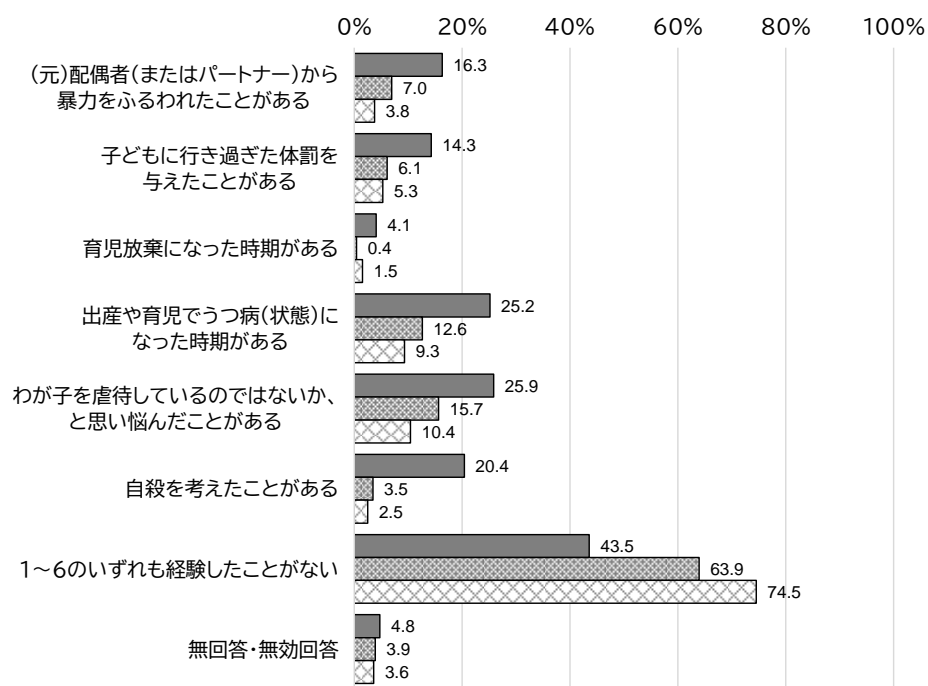
■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)	□ひとり親世帯(3世代同居)(n=23)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=935)	□ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 5-199 子どもが生まれてからの経験（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=939)	□周辺層(n=110)	□困窮層(n=55)
-------------	-------------	------------

図表 5-200 子どもが生まれてからの経験（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=147) ■生活満足 中位(n=230) □生活満足 高位(n=718)

(7) 子育てへの支援についてうかがいます

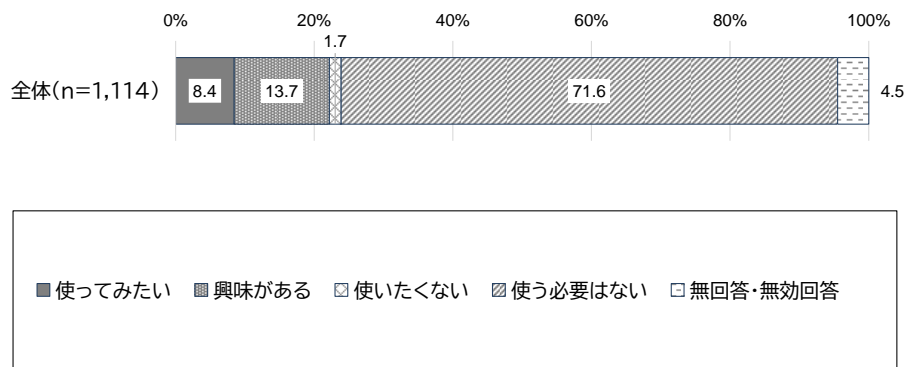
ア 支援制度等への興味

支援制度等の利用の興味を尋ねた結果、「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 71.6%と最も多く、「興味がある」が 13.7%、「使ってみたい」が 8.4%であった。

【中学2年生保護者問 30A】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-201 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味
(単純集計)

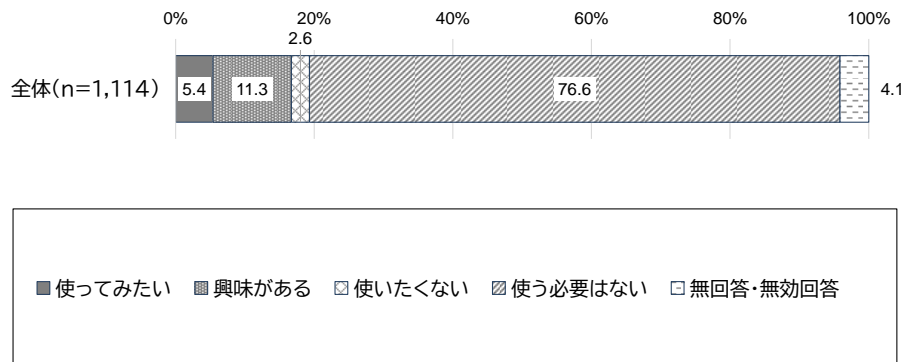


「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にすることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 76.6%と最も多く、「興味がある」が 11.3%、「使ってみたい」が 5.4%であった。

【中学2年生保護者問 30B】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-202 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にすることができる場所」への興味
(単純集計)

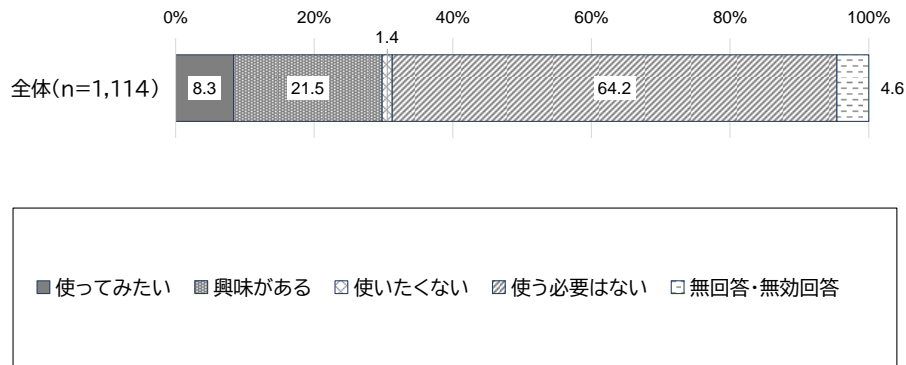


「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 64.2%と最も多く、「興味がある」が 21.5%、「使ってみたい」が 8.3%であった。

【中学2年生保護者問 30C】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-203 「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味 (単純集計)

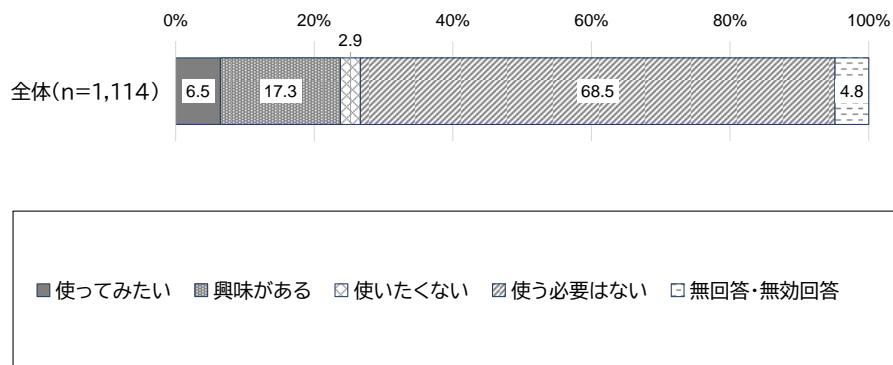


「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 68.5%と最も多く、「興味がある」が 17.3%、「使ってみたい」が 6.5%であった。

【中学2年生保護者問 30D】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-204 「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味 (単純集計)

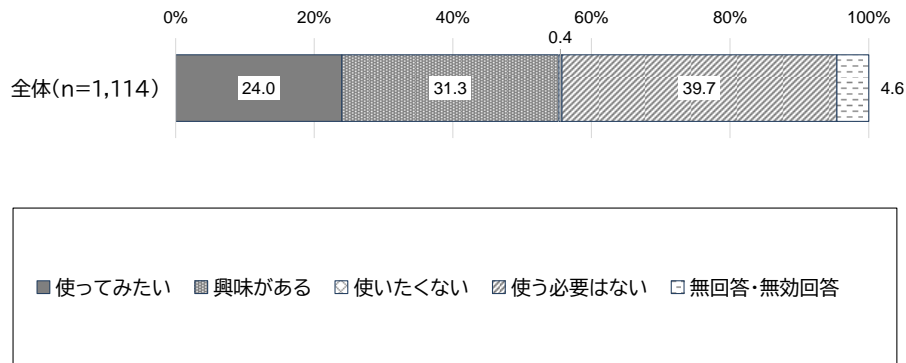


「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味は、「使う必要はない」が39.7%と最も多く、「興味がある」が31.3%、「使ってみたい」が24.0%であった。

【中学2年生保護者問 30E】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-205 「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味 (単純集計)

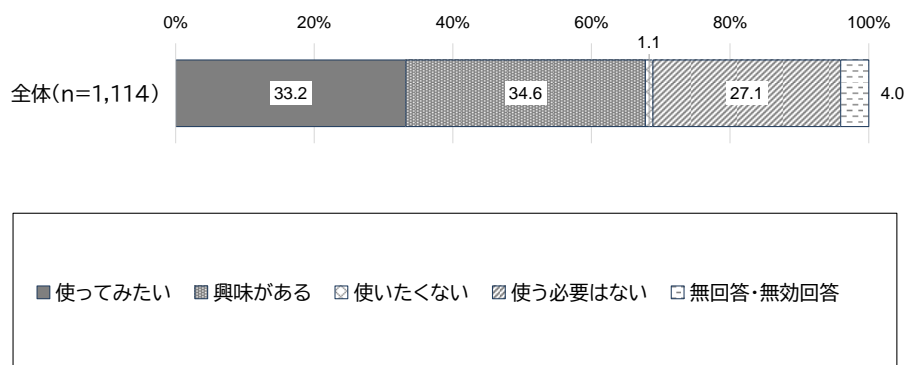


「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味は、「興味がある」が34.6%と最も多く、「使ってみたい」が33.2%、「使う必要はない」が27.1%であった。

【中学2年生保護者問 30F】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-206 「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味 (単純集計)

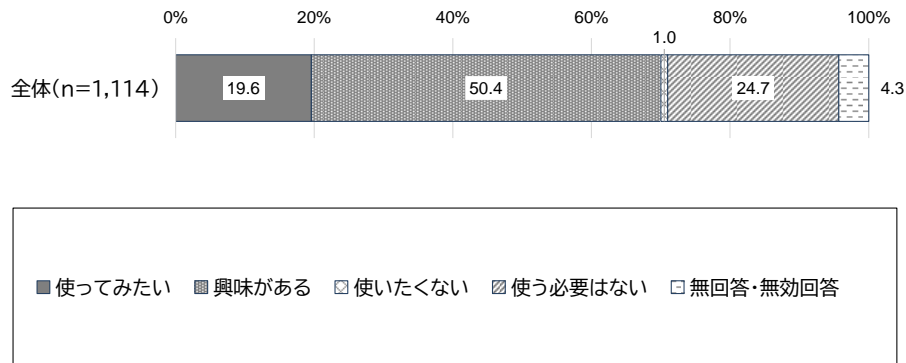


「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味は、「興味がある」が 50.4%と最も多く、「使う必要はない」が 24.7%、「使ってみたい」が 19.6%であった。

【中学2年生保護者問 30G】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-207 「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味 (単純集計)

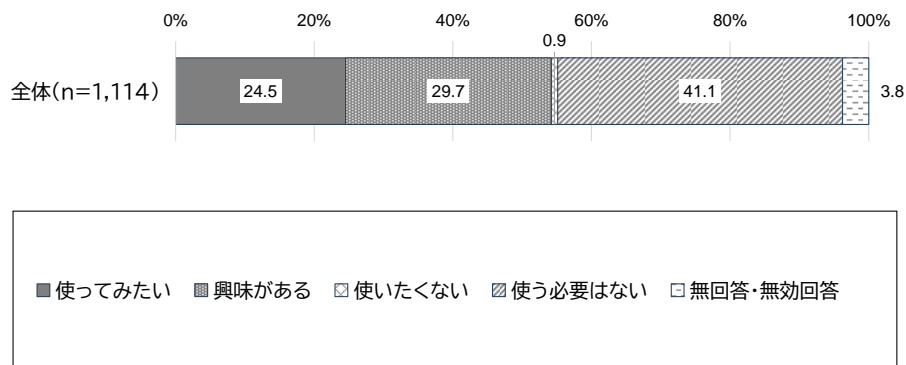


「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味は、「使う必要はない」が 41.1%と最も多く、「興味がある」が 29.7%、「使ってみたい」が 24.5%であった。

【中学2年生保護者問 30H】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-208 「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味 (単純集計)



イ 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述)

中学2年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、323 件の自由記述が寄せられた。自由記述の内容を分類すると、「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」「給食・給食費、昼食サービス」などの子育てに関連する経済的な悩みや要望、「学校教育の充実(相談・SC 含む)」「いじめ・登校しぶり・不登校」「教育制度、学校のルール(PTA、指定用品など含む)」等、学校や教育に関する意見が多く挙げられた。

【中学2年生保護者問 31】

最後に、子育て(教育を含む)をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。(自由記述)

図表 5-209 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述意見の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
1	子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援	111	34.4%
2	子育て世帯への経済的支援、家計の悩み	38	11.8%
3	子育てに関する相談・講座・仲間作り	32	9.9%
4	学校教育の充実(相談・SC 含む)	31	9.6%
5	子どもの居場所(児童クラブ、公民館、図書館、体育館など含む)	25	7.7%
6	いじめ・登校しぶり・不登校	24	7.4%
7	給食・給食費、昼食サービス	22	6.8%
7	医療・医療費助成・健診	22	6.8%
9	教育制度、学校のルール(PTA、指定用品など含む)	19	5.9%
9	障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育	19	5.9%
11	学習支援・補習・学習できる場	16	5.0%
12	部活動に関する悩み・要望	12	3.7%
13	教員に関する要望(教員、人員配置、授業内容など含む)	11	3.4%
13	一時預かり・送迎支援(病児保育・ファミサポ含む)	11	3.4%
13	ゲーム、スマートフォン、インターネットの使用等に関する悩み	11	3.4%
16	保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援	10	3.1%
17	ひとり親世帯への支援(児童扶養手当、養育費等)	8	2.5%
17	防犯・交通安全・不審者対策等	8	2.5%
その他			
-	その他の子育てに関する悩み	16	5.0%
-	その他、市の教育・子育て支援	12	3.7%
-	アンケート調査に関すること	7	2.2%
-	その他、特になし	9	2.8%
合計(意見提出をした人数 323 件)		474	—

子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートに関する上位 10 項目の代表的な意見

1 位 子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援

- 学校の授業だけでは、皆、学習面がまかなえず、ほとんどの子が塾に通わなければ、高校受験など将来が選べなくなってしまう状況。物価もどんどん値上がりし、自分の収入はすべて塾の代金に消えてしまっている。税金をしっかりと払っているのに、何のサポートも受けていないと感じる。
- 高校、大学の学費について、国公立と私立の差があまりにありすぎて驚いている。また受験があることによって通塾を余儀なくされ、その費用が親にはかなりの負担。受験制度や義務教育について考え直さないと、ますます子を持つことが金銭的に不安になり、少子化が進むと思う。15 歳までの児童手当よりもむしろ 15 歳以降の手当のほうが必要かと感じている。
- 塾に行っていない子はなかなか高校受験の情報が手に入りやすく、学校の先生では経験によって限界があるようだ。「塾並に」とまではいかななくても、色々相談や情報が得られるような場(サイト etc)があったらいいなあと思う。
- 高校(大学)の授業料で悩んでいます。高校の無償化にギリギリ対象ではないので、何とか公立へ行ってもらいたい。しかし、それではやりたい事ができる、行きたい学校ではないという申し訳なさ。3 人分私立全額は厳しすぎる。一生懸命 3 人育てているのに援助を受けられない。子どもには平等に援助して、機会を与えて欲しい。
- 私立高校の学費支援制度の補助の枠にあてはまらなそうなのですが、とても学費を払える余裕はない。公立が受からなかったらどうすればいいのか今から心配している。世帯収入で決めるのではなく、その家庭の内訳をしっかりと見てほしい。そもそも子どもが私立に行きたくても選択の 1 つとして考える事ができず、選択肢が狭まるのが残念でならない。
- (春から第 1 子が高校入学・私立)高校の学費が高く、補助金や教育ローンを使いどうにかやっているが、急に生活が苦しく感じ、体調をくずしたりした。貯金もできず、大きな買い物、家電など壊れるとカード払いになり、月々の出費が増える。小・中よりも高校以降の子どもにお金がかかることを考え、その世代のことも補助してもらえ時代になって欲しい。
- 勉強のやる気がおきるようにするにはどうしたらよいのか。大人はやる気がおきなくてもやらないといけない。やらないと終わらないということを理解して行動できるが、子どもにその説明をしても理解が得られない。やる気や楽しいと思えるようにしてあげたいが、できてないと思う。

2 位 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み

- 児童手当などについて、子どもにかかる費用は実感として幼少期(乳、幼、少)よりも、中学や高校、大学と成長するにつれ高額になっている。(学費や食費など)進路によって違うのかもしれないが、高校や大学の進路について、費用を理由にあきらめなければならない選択肢が出てくる。(例)スポーツなど、力を入れたいが、経済的理由でクラブチームに入れなかったり、強い私立学校に入れなかったりなど。乳幼児などの子育てサポートに力を入れるような印象だが、中高生もそれ以上のサポートが必要。

- 親の所得によって子どもの支援が受けられない不平等なことが起こることがおかしい。どの子どもにも平等な支援、手当が受けられる社会をのぞむ。
- 子どもを3人育てている。年が離れているため、3人目の子どもは、2人目として数えられ、児童手当は1年で減額された。1人目、2人目のときは、保育園等全てたくさんお金を払いやってきたのに、3人目を3人目として扱っていただけないことに不満もありますし、将来のための貯蓄ができるのか経済的に不安。同じ3人目なのに、受けられる手当に差が生じていることに疑問しかない。国がダメなら市で3人目の子育て支援をお願いします。
- いじめられないように普通の子と同じような生活をさせるため、食料をあまり買えない時もある。外から見える面で貧しさを感じられたくない。

3位 子育てに関する相談・講座・仲間作り

- 思春期を迎えた子どもとの接し方に試行錯誤している。心配事は尽きないが一定の距離を置いて見守る事を心がけている。漠然とした子育ての不安を話せる専門機関があるとありがたい。
- 中学を卒業すると、子どもの相談を継続して受けられない現状に不満がある。進学先や県の機関の相談場所は利用できるが、場所や相談する人が変わることで最初から相談をやり直す手間がある。行政単位で継続して相談できる場所があると良いと思う。
- 相談をしたいと思っても、相談窓口は平日昼間のみだったり、相談できない。相談しやすい時間や土日に窓口を開く等、今やっている事の間口を広げてほしい。
- 外国にルーツがある家庭で、お子さんは学校等でお友達ができるのですが、ご両親、特にお母さんがお友達を作る機会・サポートなどがあると良いのではと思う。子育ての事や学校の事などはお母さん方は友達同士で相談し合ったり解決できることもあるし、悩みを言える環境というのは心強いものだと思う。

4位 学校教育の充実(相談・SC含む)

- タブレットを持たされているものの、インフルエンザや新型コロナの隔離期間(熱等が治り、ある程度元気)に授業をリモートで受けられれば良いのにもと思う。1人1台持っていてもさほど有効に使われていないと感じる。
- キャリア教育について、子どもの特性や興味とマッチする職業をアドバイスするのに親も今の世間にある職業を知らないため、それらについての講演または紹介サイト等。
- 親の時代と子の教育カリキュラムが違うため、子と話がかみ合わないことがある。(現在は)どのような教育方針であるか、知る機会があればいいなと思う。
- 学校にいるスクールカウンセラーは、受け身の立場でただ来訪者を待っているのだと思うが、例えば教室をたずねたり、先生方との話し合い等は行われているのか疑問に思っている。悩んでいる子どもは自ら行動をおこすことも困難ではないかと思うし、大人からアプローチできるような仕組みがあるといいなと思う。

5 位 子どもの居場所(児童クラブ、公民館、図書館、体育館など含む)

- 夏休みに暑くて公園で遊べない時間帯が長くあるが、そういう時に、思いっきり友人と遊べる娯楽施設があればよいなあとと思う。藤沢市にいくつかある「子どもの家」は、小さい頃は子どもも好きで時々使っていましたが、小学校高学年～中学生になると、子どもが興味を持たなくなった。学童期の子どものための「子どもの家」のような場所があればよいと思います。
- 小学校低学年時は夏休みなどの長期休み時、パートをしている時間、親に頼んでいたのも、近くに親が住んでいなかったり気軽に預け合える友達がいらない場合、学童に行っていない子がいられる場所があるといいと思う。
- 放課後(特に小学生)に通っている小学校で居場所があると良い。どなたかに見守りをしていただき、校庭を開放してもらおうなど。ゲームをせず、せっかく公園に行ってもボール遊び(ドッチボールなど)をしていると、小さいお子さんを連れている方からは、注意を受ける事があるようです。
- 料理教室や家計の勉強など、子どもたちが大人になってから役に立ちそうな講座を公民館などでやってほしいです。色々な事を経験するチャンスをもっと子どもたちに与えてほしいです(勉強以外で)。

6 いじめ・登校しぶり・不登校

- 子どもが不登校になり、相談できる先がとても少なく、民間のカウンセリングは高額でとても利用できない。フリースクールも公的なものはなく、民間のものは高額で利用できない。公立の不登校生の受け入れ先をつくって欲しい。
- 不登校のサポートが他の地域より遅れていると感じる。中学校では1日2時間までしか別室登校できず、学習の遅れが広がる心配がある。市として、コーディネーター(サポーター)などを置き、個々の状況に応じて学校や他の機関と調整を図るなどしてくれる機能があるといいと感じる。
- 子どもが不登校になり、どのように関わって行けばよいか分からず悩んでいる。学校には、他にも不登校のお子さんがあると思うが、横のつながりがなく、孤立している。

7 位 給食・給食費、昼食サービス

- 給食がまずいと言って食べてくれない。小学校はおいしいのに中学になると弁当でとても負担。本人もおいしいなら弁当より給食(毎日)が良いと言っている。荷物も減るし、あたたかい物が食べられる。金額は上がってもかまわない。むしろ今の給食は安すぎる。
- 中学校のお弁当を毎日作っている。理由は「給食を頼むと、弁当を作ってくれない酷い親だと思われるのが嫌だ」と子どもがいうから。選択性ではなく全員給食にしてほしい。藤沢市はとても遅れている。貧困の家もあると思う。弁当を作る親が良い親という古臭い考えのままでは未来はない。
- 中学校の給食の時間が短すぎる。小学校のように、温かく安価で栄養バランスのとれた給食を希望する。

7位 医療・医療費助成・健診

- 小・中学生も診察している、メンタルクリニックが少なく限られるので、増えてほしい。
- 子どもが不登校ぎみで市民病院の小児科や、通っている中学校、中学校のスクールカウンセラーの先生にお世話になっている。それぞれの先生に状況やそれぞれの先生方に言われた事などを伝えなければいけない事に疲れを感じる事がある。一人の生徒の状態を関係のある先生方が情報を共有できると助かると思う。
- 中学生以上になるとケガをする事が少なからず増える(部活動でのケガ含む)。他の事でお金がかかる事が多く、医療費が中学生までではなく、高校卒業(18歳まで)伸びてもらえると子どもが複数いる家庭はとても助かるはず。

9位 教育制度、学校のルール(PTA、指定用品など含む)

- 中学校では、子ども達が常に“評価”に気をとられていて、本当の意味での知識を積み重ねる目的からそれていると感じる。学校の細かいルールも何の目的、動機からあるのか、不可解なところが沢山ある(ie 制服のルール、ダウンはダメ…通学用カバンが重たすぎる(10kg)のにキャリアがOKにならない、学校指定の銀行口座を作らされる等)。
- 学校で PTA 役員の負担が多く、なり手があまりいない。フルタイムで働いている方、ご家族のことで役員になれない方ばかりだが、子1人に対し、1年間は役員をするようにとある。年内数日しかない有給は子どもの大切な行事や体調不良の時にと思っている。役員の活動にと言われても限界がある。学校には申し訳ないと思うが、中途半端に引き受けることも気が引ける。PTA 活動はそんなに必要なものか? やや時代にあってないと思う。

9位 障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育

- 他の子どもが発達障害で通院、デイを利用したいと考えた時、年収制限で自立支援(1割)も利用できず、3割負担だと難しいため断念。世帯年収があっても子どもの数が増えると支出も増える。障害などへの支援は世帯年収に関わらず「その子」が受けられるべきである。
- 小学校までは、通級指導があったり、取り出しの授業があったが、中学生になった途端に放り出されてしまった。発達に課題のある子で学校の中での配慮だけでは間に合わず、本人は不登校になった。具体的には学習面。極めてグレーゾーンに近いというウイスク検査での結果が出ているが、今の中学校の制度上、横並びの学習しかなく、多様性には程遠いと感じている。学校の中で、特性のある生徒を見てくれる教員の配置を強く望む。

第6章 アンケート調査結果(中学生2年生子ども)

(1)あなたのことについてうかがいます

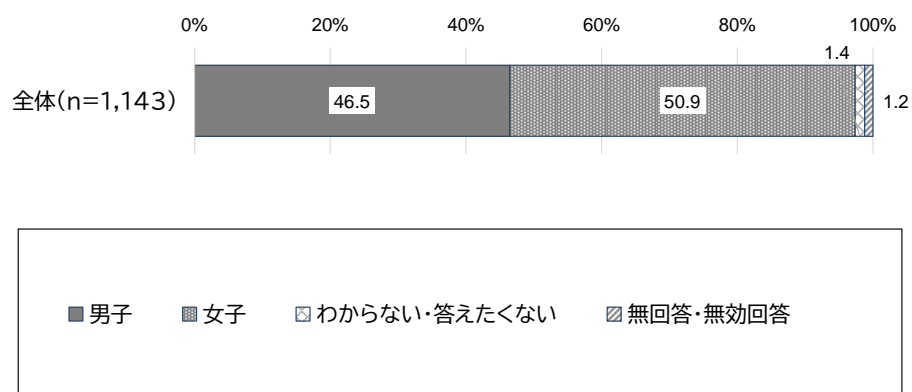
ア 性別

性別は、「女子」が50.9%、「男子」が46.5%、「わからない・答えたくない」が1.4%となっていた。

【中学2年生子ども問1】

あなたの性別を教えてください。(単一回答)

図表 6-1 性別 (単純集計)



(2) あなたのいつもの生活についてうかがいます

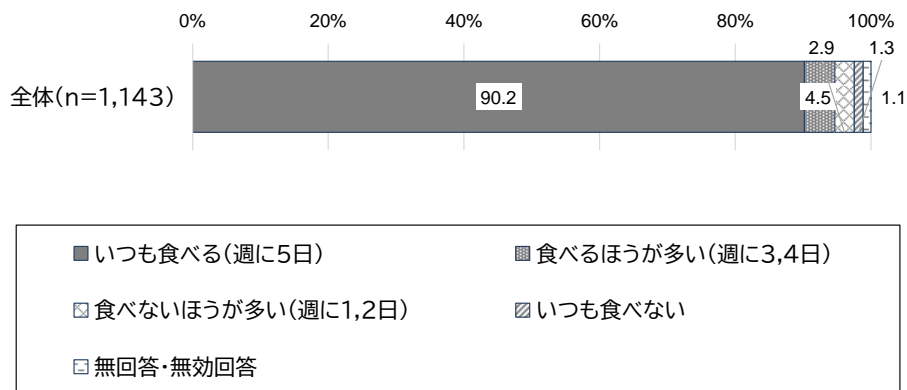
ア 平日の朝食

平日の朝食については、「いつも食べる(週に5日)」が90.2%と最も多くなっていました。
 困窮層(n=56)では、「いつも食べる(週に5日)」が76.8%と最も多く、以下、「食べるほうが多い(週に3,4日)」が12.5%、「食べないほうが多い(週に1,2日)」が10.7%と続いていた。

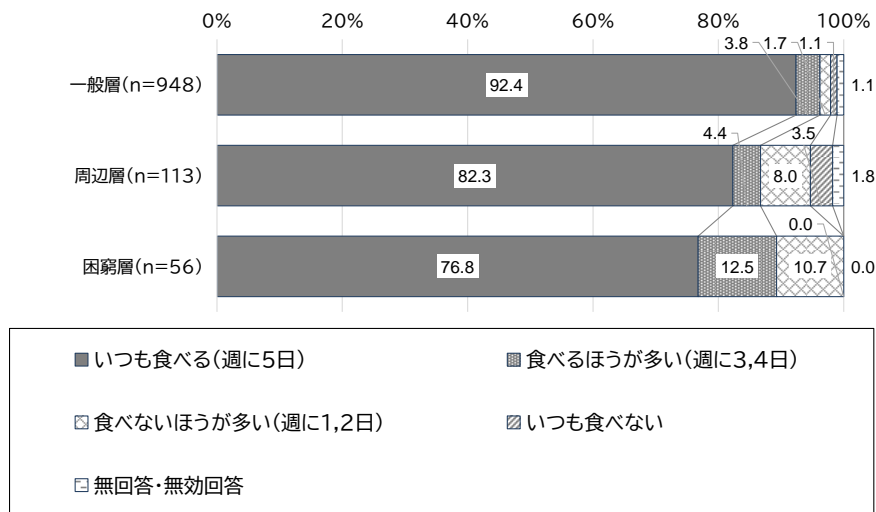
【中学2年生子ども問2】

あなたは、平日(学校に行く日)に朝ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 6-2 平日の朝食 (単純集計)



図表 6-3 平日の朝食 (生活困難層別クロス集計)



イ 平日の朝食の相手

平日の朝食の相手については、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が55.4%と最も多く、「きょうだい」が47.4%、「ひとりで食べる」が36.8%と続いていた。

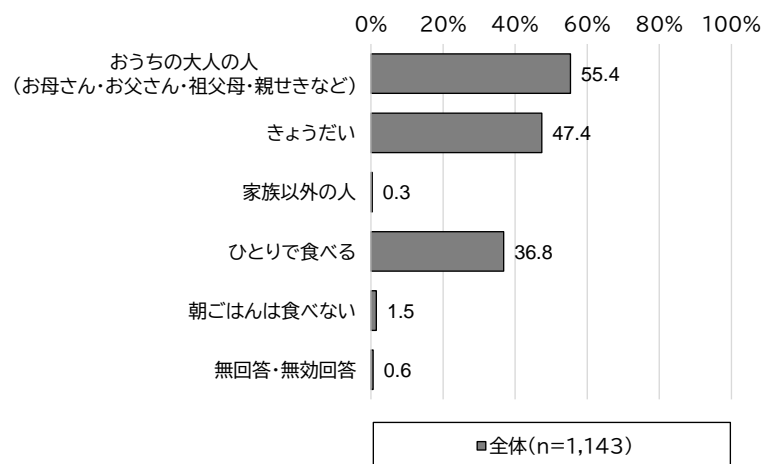
困窮層(n=56)では、「ひとりで食べる」が48.2%と最も多く、以下、「きょうだい」が42.9%、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が32.1%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「ひとりで食べる」が53.4%と最も多く、以下、「きょうだい」が41.4%、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が38.3%と続いていた。

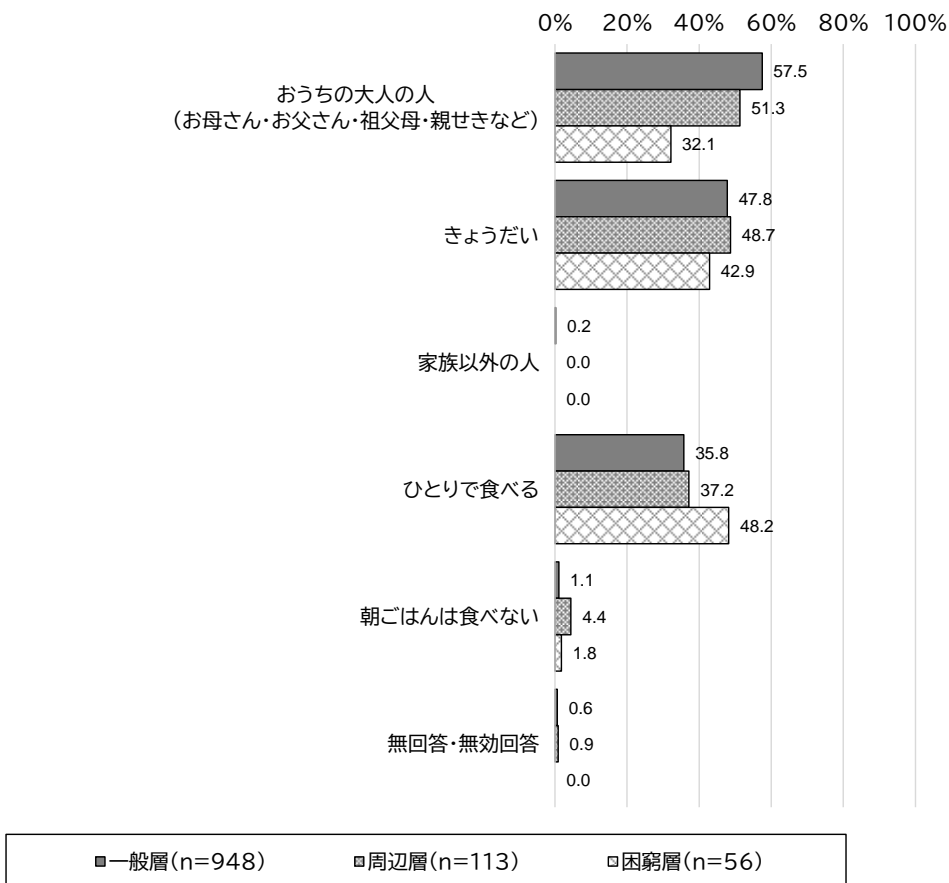
【中学2年生子ども問3】

あなたは、平日(学校に行く日)に朝ごはんをだれと食べますか。(複数回答)

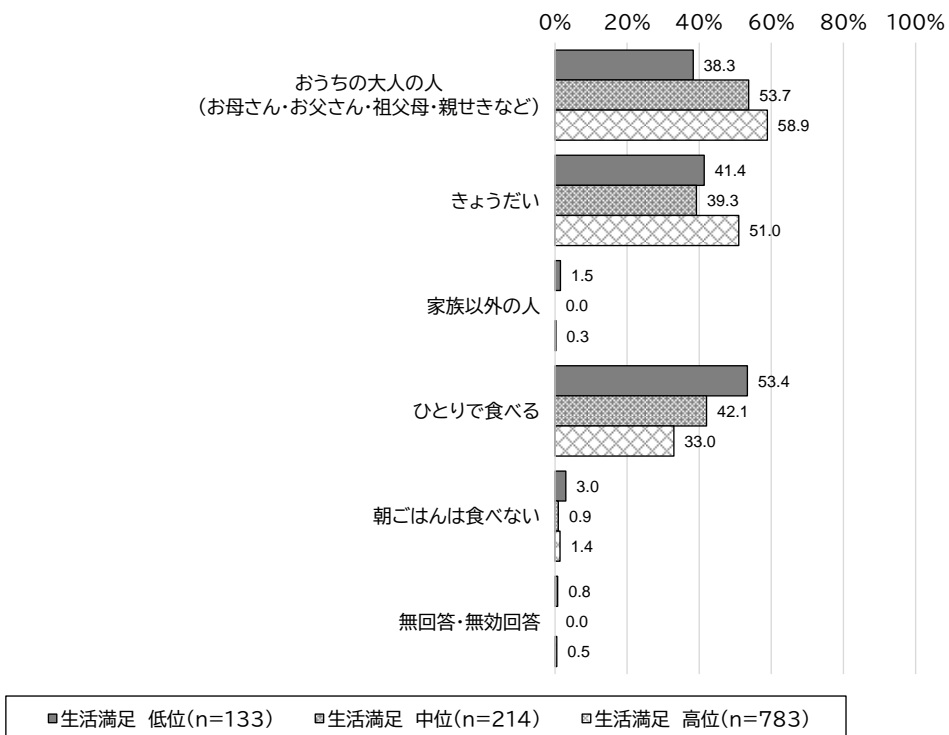
図表 6-4 平日の朝食の相手 (単純集計)



図表 6-5 平日の朝食の相手（生活困難層別クロス集計）



図表 6-6 平日の朝食の相手（生活満足度別クロス集計）



ウ 放課後を過ごす相手

放課後(夕方 6 時くらいまで)を過ごす相手については、「部活動の仲間」が 51.7%と最も多く、以下、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が 20.5%、「ひとりである」が 9.1%と続いていた。

前回調査と比較すると、「部活動の仲間」と回答した割合は今回調査は 51.7%、前回調査は 67.9%で、16.2 ポイント減少し、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」と回答した割合は、今回調査は 20.5%、前回調査は 14.2%で、6.3 ポイント増加した。

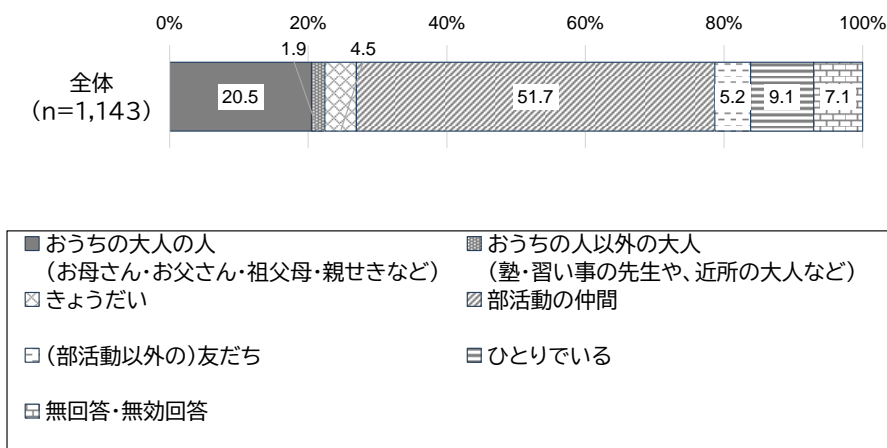
困窮層(n=56)では、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が 28.6%と最も多く、以下、「部活動の仲間」が 26.8%、「ひとりである」が 12.5%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「部活動の仲間」が 42.1%と最も多く、以下、「ひとりである」が 20.3%、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が 19.5%と続いていた。

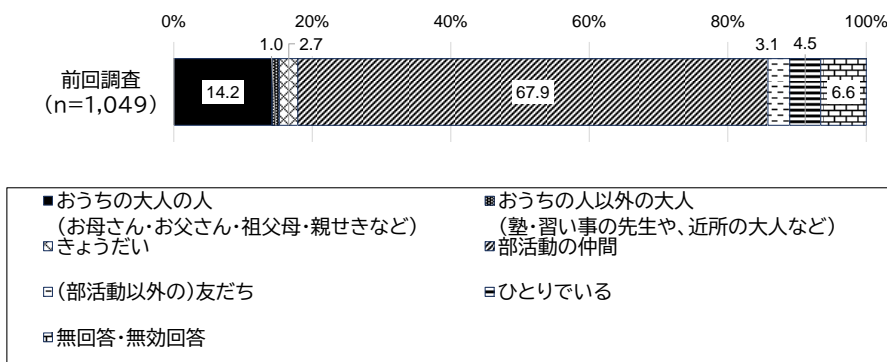
【中学2年生子ども問 4】

あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方 6 時くらいまで)はだれと過ごしますか。(単一回答)

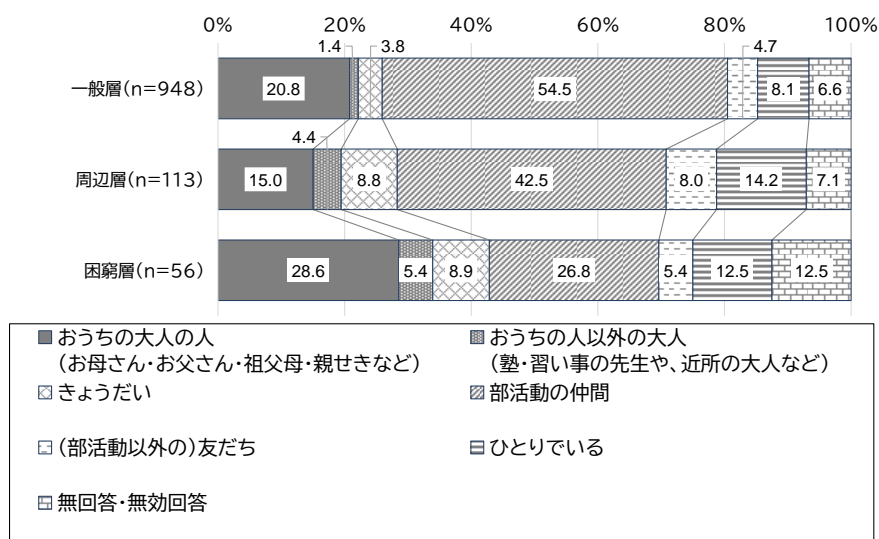
図表 6-7 放課後を過ごす相手 (単純集計)



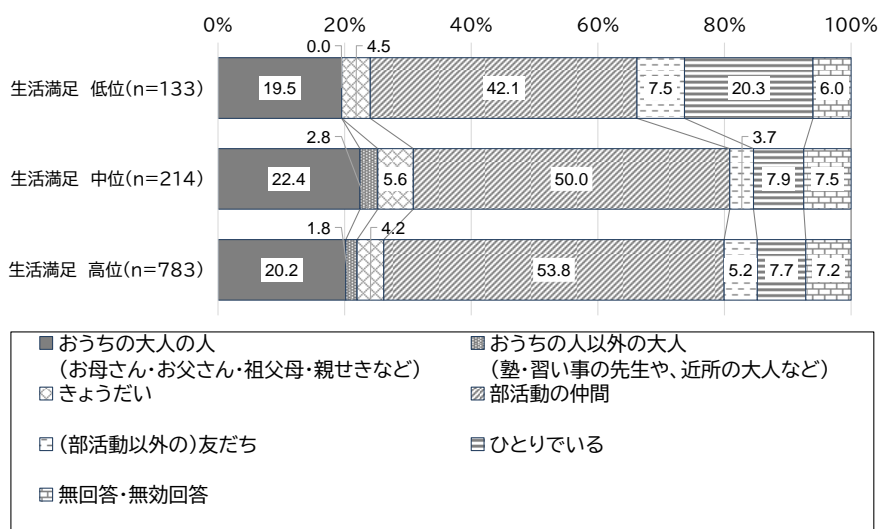
図表 6-8 放課後を過ごす相手 (前回調査 単純集計)



図表 6-9 放課後を過ごす相手（生活困難層別クロス集計）



図表 6-10 放課後を過ごす相手（生活満足度別クロス集計）



エ 一週間の中での屋外活動

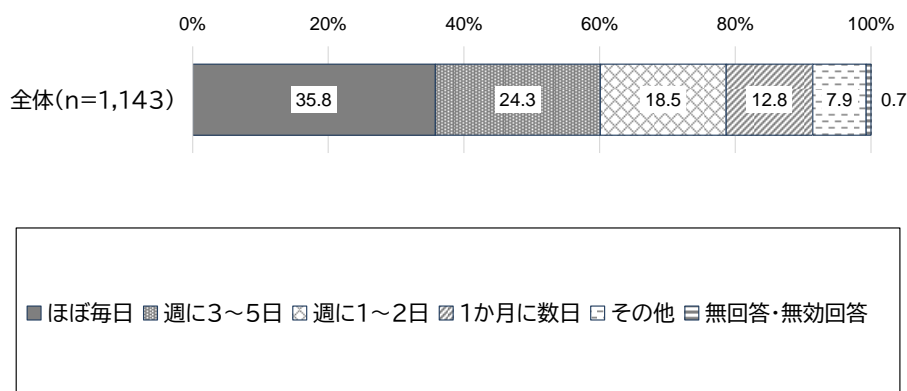
一週間の中での屋外活動の状況については、「ほぼ毎日」が 35.8%と最も多く、以下、「週に3～5日」が 24.3%、「週に1～2日」が 18.5%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「ほぼ毎日」が 32.3%と最も多く、以下、「1か月に数日」が 21.8%、「週に3～5日」「週に1～2日」がそれぞれ 18.0%と続いている。

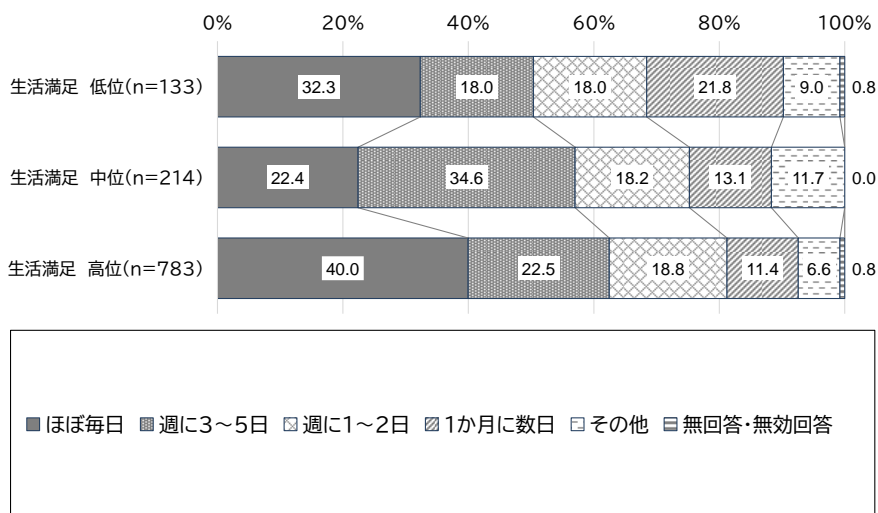
【中学2年生子ども問 5】

あなたはふだん、学校の授業や休み時間以外で、一週間にどのくらい屋外で体を動かすことがありますか。
(単一回答)

図表 6-11 一週間の中での屋外活動（単純集計）



図表 6-12 一週間の中での屋外活動（生活満足度別クロス集計）



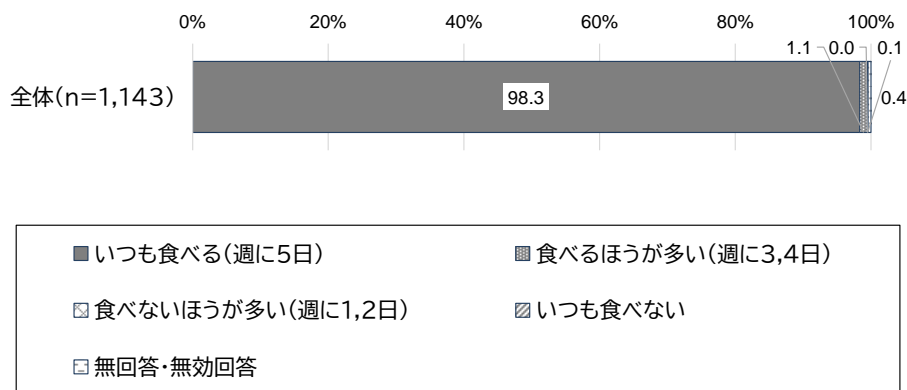
オ 平日の夕食

平日の夕食については、「いつも食べる(週に5日)」が98.3%と最も多くなっていた。

【中学2年生子ども問 6】

あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんを食べますか。(単一回答)

図表 6-13 平日の夕食 (単純集計)



カ 平日の夕食の相手

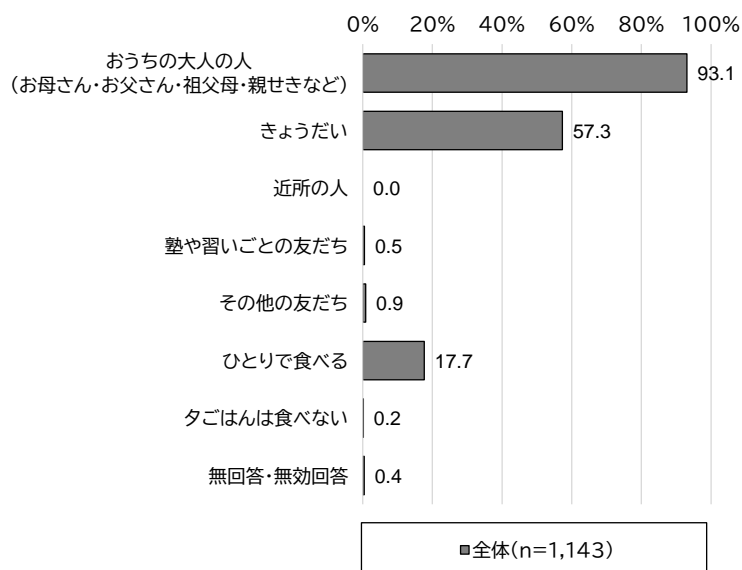
平日の夕食の相手については、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が93.1%と最も多く、以下、「きょうだい」が57.3%、「ひとりで食べる」が17.7%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が83.5%と最も多く、以下、「きょうだい」が57.1%、「ひとりで食べる」が19.5%と続いていた。

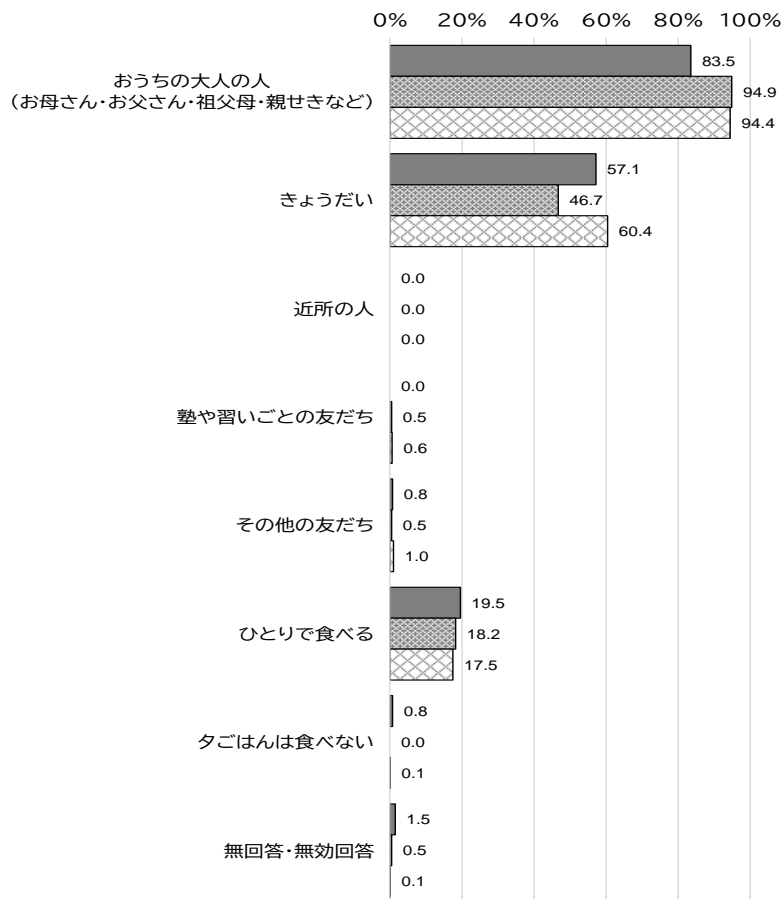
【中学2年生子ども問 7】

あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんをだれと食べますか。(複数回答)

図表 6-14 平日の夕食の相手 (単純集計)



図表 6-15 平日の夕食の相手（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=133) □生活満足 中位(n=214) ▨生活満足 高位(n=783)

キ 就寝時間

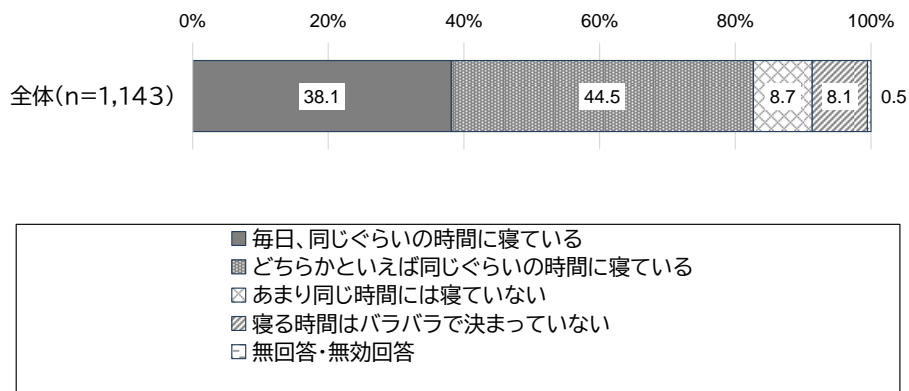
就寝時間については、「どちらかといえば同じぐらいの時間に寝ている」が 44.5%と最も多く、以下、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」が 38.1%、「あまり同じ時間には寝ていない」が 8.7%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「どちらかといえば同じぐらいの時間に寝ている」が 41.4%と最も多く、以下、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」が 25.6%、「寝る時間はバラバラで決まっていない」が 16.5%と続いていた。

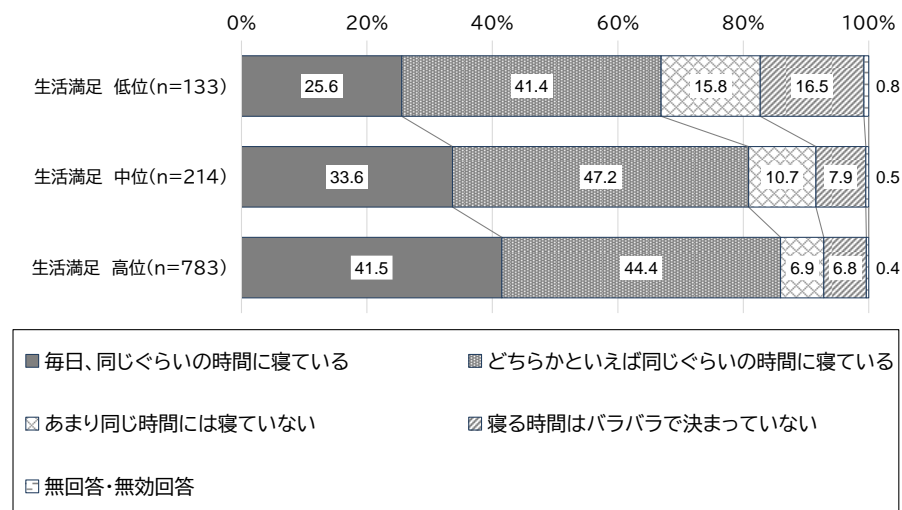
【中学2年生子ども問 8】

あなたは、毎日同じぐらいの時間に寝ていますか。(単一回答)

図表 6-16 就寝時間 (単純集計)



図表 6-17 就寝時間 (生活満足度別クロス集計)



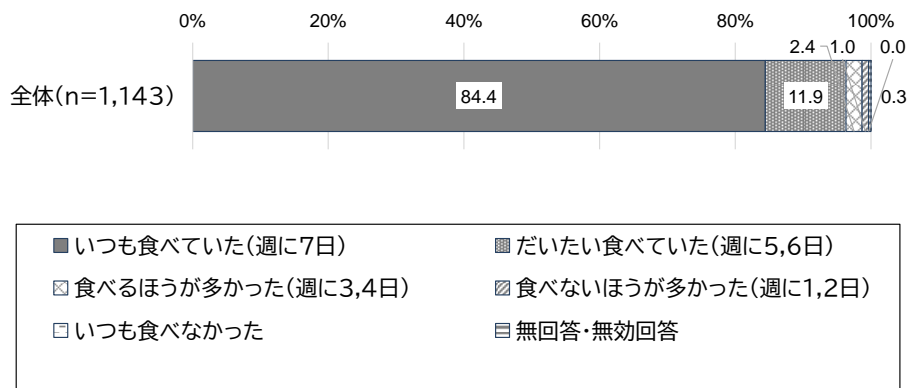
ク 夏休みの昼食

夏休みの昼食については、「いつも食べていた(週に7日)」が 84.4%と最も多く、「だいたい食べていた(週に5,6日)」が 11.9%となっていた。

【中学2年生子ども問 9】

あなたは、今年の夏休みの間、昼ごはんを食べていましたか。(単一回答)

図表 6-18 夏休みの昼食 (単純集計)



ケ 健康状態

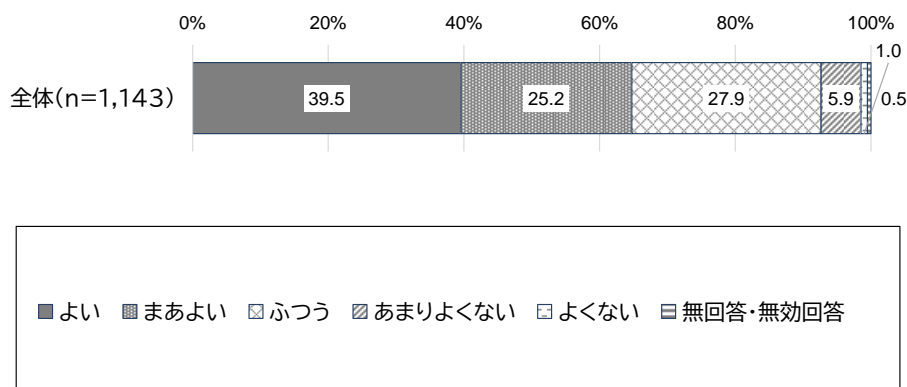
自身の健康状態については、「よい」が 39.5%と最も多く、以下、「ふつう」が 27.9%、「まあよい」が 25.2%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「ふつう」が 45.1%と最も多く、以下、「まあよい」が 18.0%、「あまりよくない」が 16.5%と続いていた。

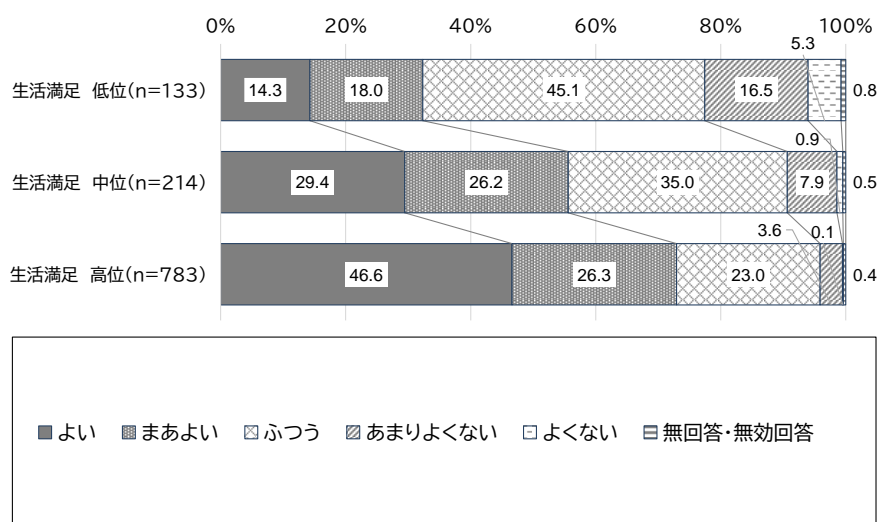
【中学2年生子ども問 10】

あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(単一回答)

図表 6-19 健康状態 (単純集計)



図表 6-20 健康状態（生活満足度別クロス集計）



コ 虫歯

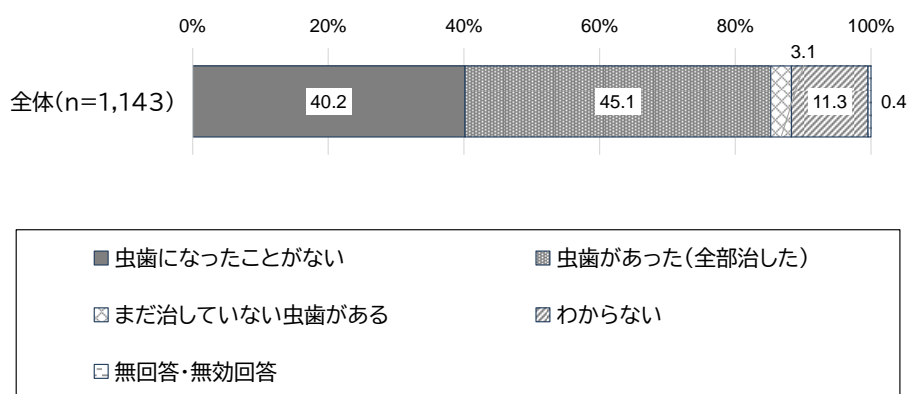
虫歯の状態については、「虫歯があった(全部治した)」が 45.1%と最も多く、「虫歯になったことがない」が 40.2%、「わからない」が 11.3%と続いていた。

困窮層(n=56)では、「虫歯があった(全部治した)」が 42.9%と最も多く、以下、「虫歯になったことがない」が 32.1%、「わからない」が 17.9%と続いていた。

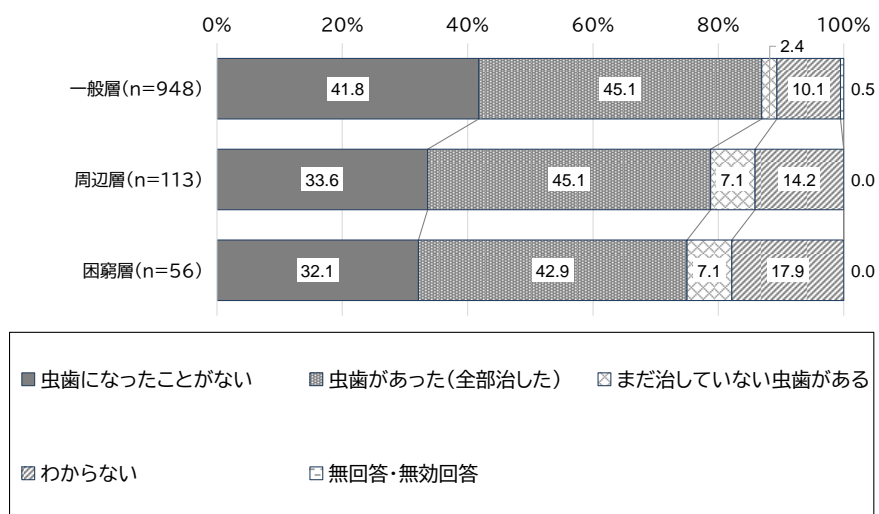
【中学2年生子ども問 11】

あなたの虫歯の状態について教えてください。(単一回答)

図表 6-21 虫歯（単純集計）



図表 6-22 虫歯（生活困難層別クロス集計）



サ 安心できる居場所

安心できる居場所については、「自分の部屋」が 77.4%と最も多く、以下、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が 65.7%、「学校(部活動など)」が 36.6%と続いていた。また、「ほっとできる居場所はない」は、1.2%であった。

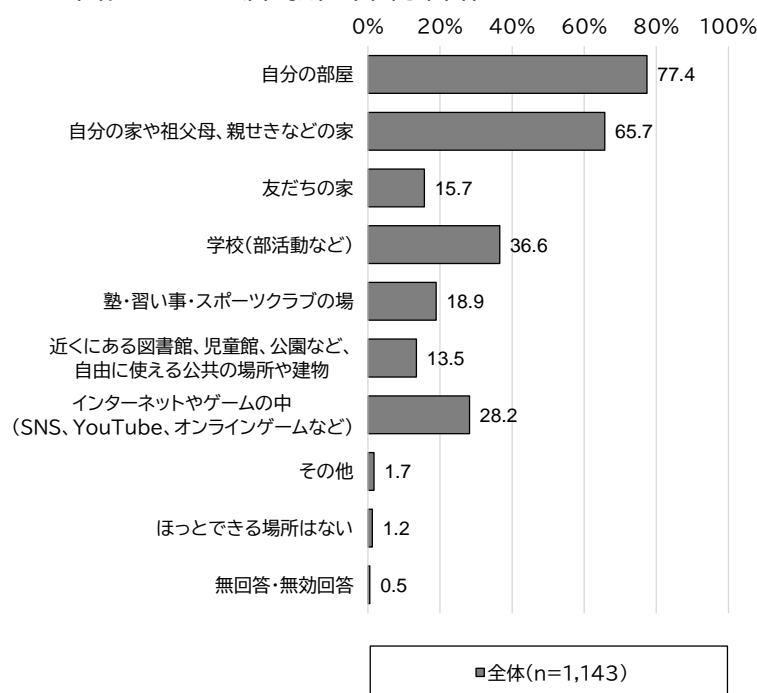
困窮層(n=56)では、「自分の部屋」が 69.6%と最も多く、以下、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が 58.9%、「インターネットやゲームの中(SNS、YouTube、オンラインゲームなど)」が 28.6%と続いていた。また、「ほっとできる居場所はない」は、3.6%であった。

生活満足 低位(n=133)では、「自分の部屋」が 71.4%と最も多く、以下、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が 39.8%、「インターネットやゲームの中(SNS、YouTube、オンラインゲームなど)」が 34.6%と続いていた。また、「ほっとできる居場所はない」は、6.8%であった。

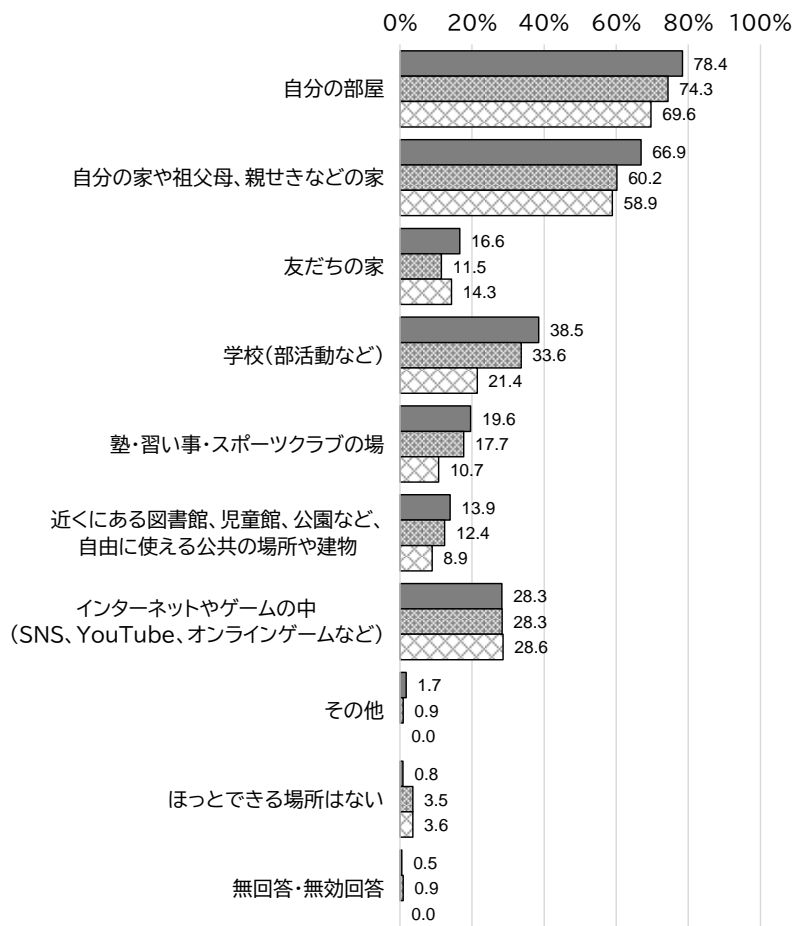
【中学2年生子ども問 12】

次の場所はあなたにとって、居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)になっていますか。(複数回答)

図表 6-23 居場所 (単純集計)

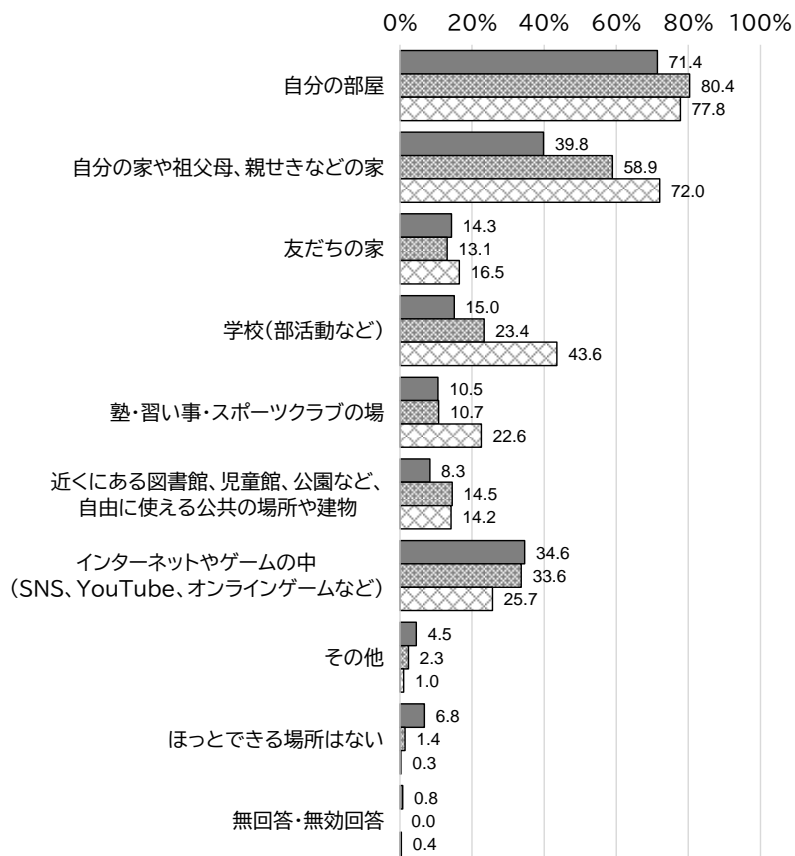


図表 6-24 居場所（生活困難層別クロス集計）



■一般層 (n=948) ▨周辺層 (n=113) ▩困窮層 (n=56)

図表 6-25 居場所（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=133) □生活満足 中位(n=214) ▨生活満足 高位(n=783)

シ 家事や家族の世話

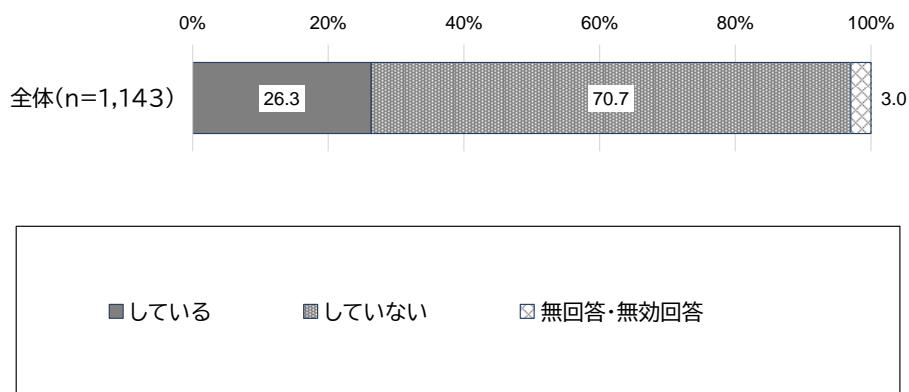
大人が行うような家事や家族の世話の実施状況については、「していない」が 70.7%、「している」が 26.3%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「していない」が 53.2%、「している」が 40.5%となっていた。

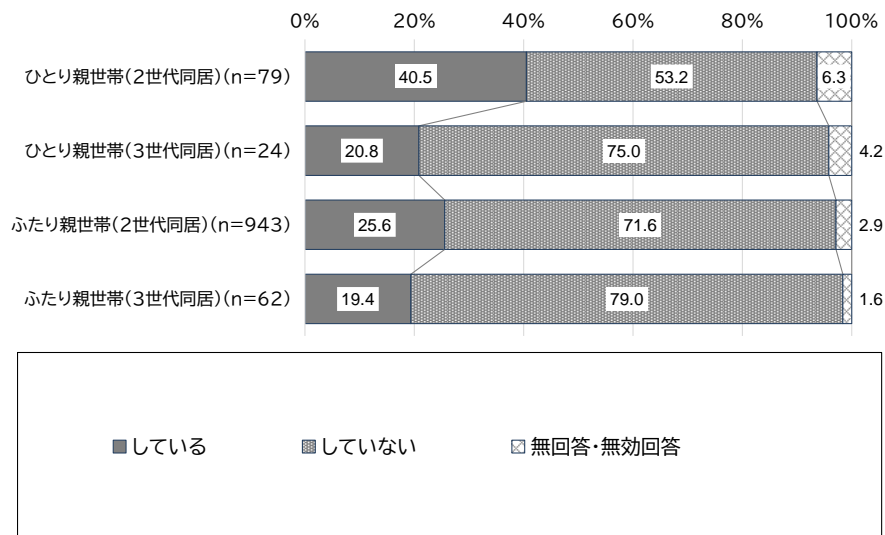
【中学2年生子ども問 13】

あなたは、大人が行うような家事や家族のお世話を、日常的にしていますか。(単一回答)

図表 6-26 家事や家族の世話 (単純集計)



図表 6-27 家事や家族の世話 (世帯タイプ別クロス集計)



ス 世話をする相手

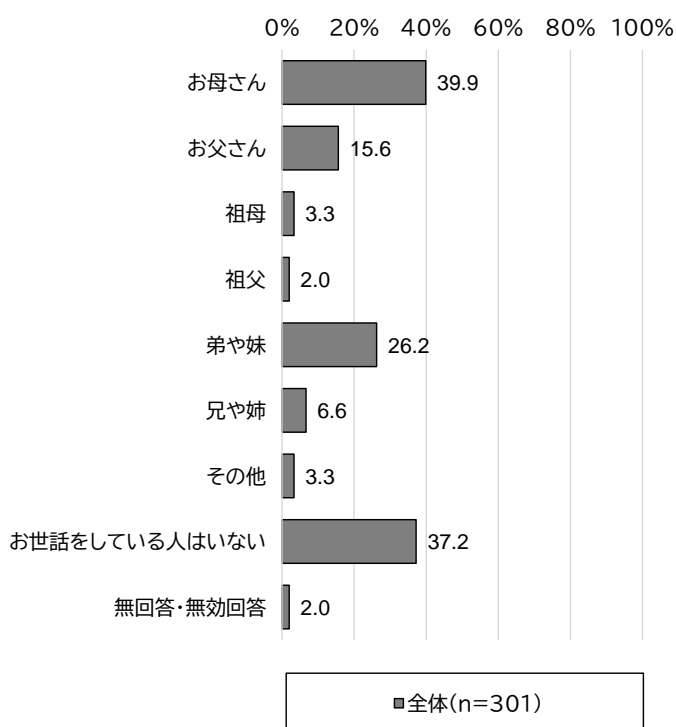
問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を 1(している)と回答した方について、世話をしている相手としては、「お母さん」が 39.9%と最も多く、「弟や妹」が 26.2%、「お父さん」が 15.6%であった。

困窮層(n=20)では、「弟や妹」が 60.0%と最も多く、以下、「お母さん」が 35.0%、「祖母」「兄や姉」が 10.0%となっていた。

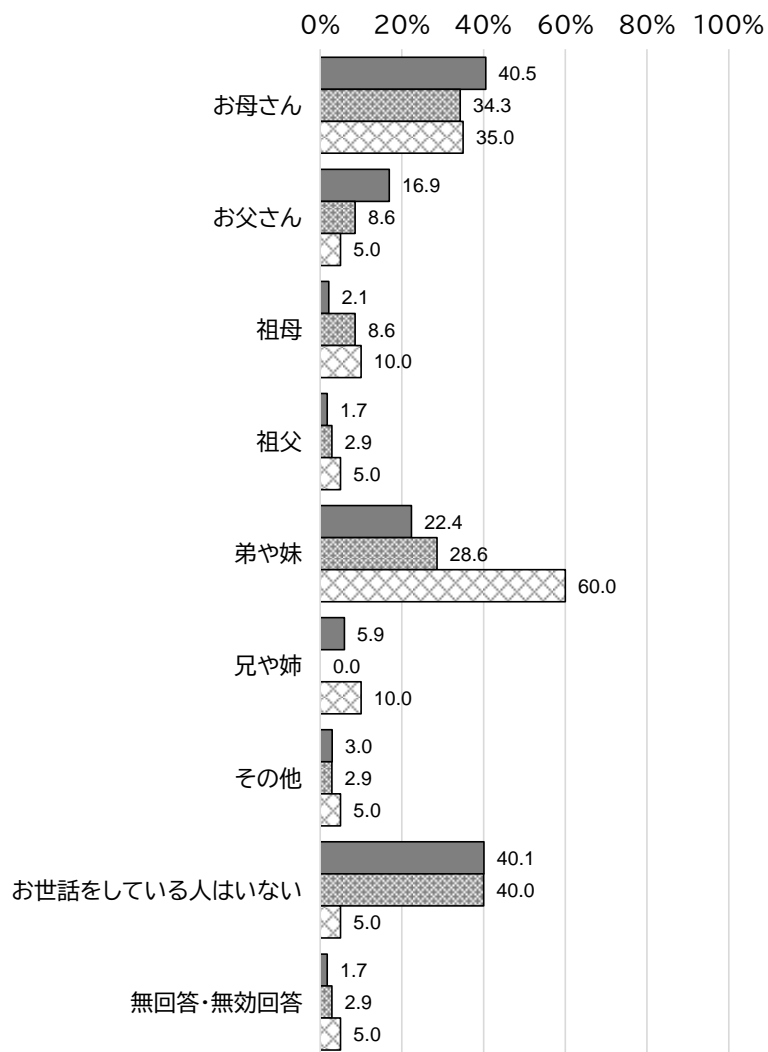
【中学2年生子ども問 13-1】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。あなたは誰のお世話をしていますか。(複数回答)

図表 6-28 世話をする相手 (単純集計)



図表 6-29 世話をする相手（生活困難層別クロス集計）



一般層 (n=237)
 周辺層 (n=35)
 困窮層 (n=20)

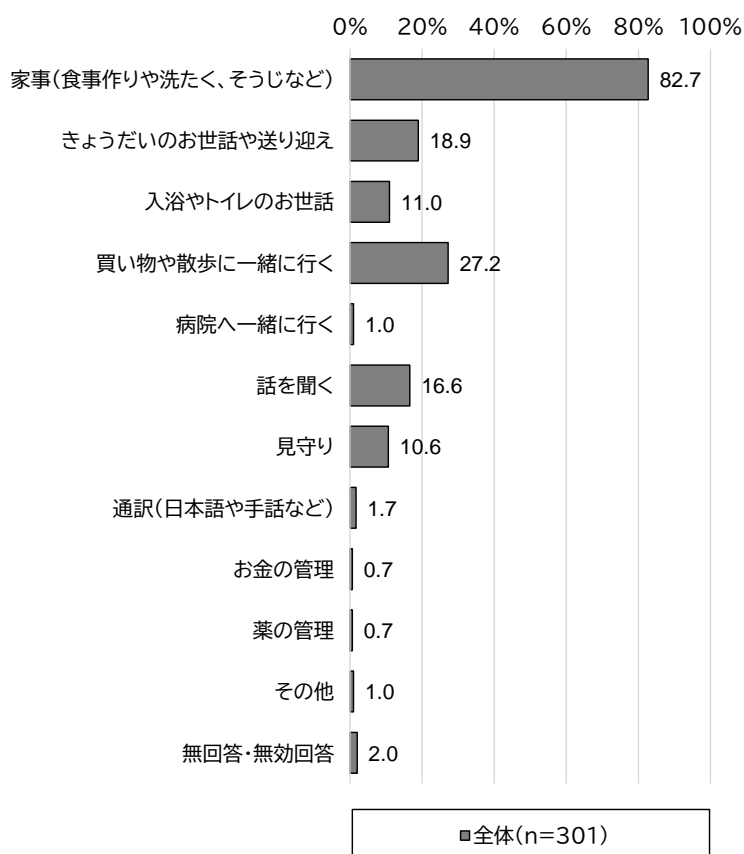
セ 家事や家族の世話の内容

問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を 1(している)と回答した方について、実施している家事や家族の世話の内容としては、「家事(食事作りや洗たく、そうじなど)」が 82.7%と最も多く、以下、「買い物や散歩と一緒にいく」が 27.2%、「きょうだいのお世話や送り迎え」が 18.9%と続いていた。

【中学2年生子ども問 13-2】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。あなたはどのような家事や家族のお世話をしていますか。
(複数回答)

図表 6-30 家事や世話の内容 (単純集計)



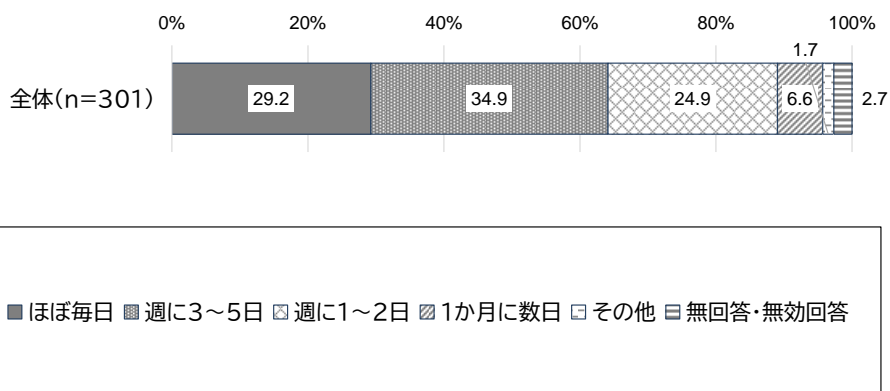
ソ 1週間の中での家事や家族の世話

問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を 1(している)と回答した方について、1 週間の中での家事や家族の世話の実施状況としては、「週に3～5日」が 34.9%と最も多く、以下、「ほぼ毎日」が 29.2%、「週に1～2日」が 24.9%と続いていた。

【中学2年生子ども問 13-3】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。あなたは、1週間にどのくらい、家事や家族のお世話をしていますか。(単一回答)

図表 6-31 1週間の中での家事や家族の世話 (単純集計)



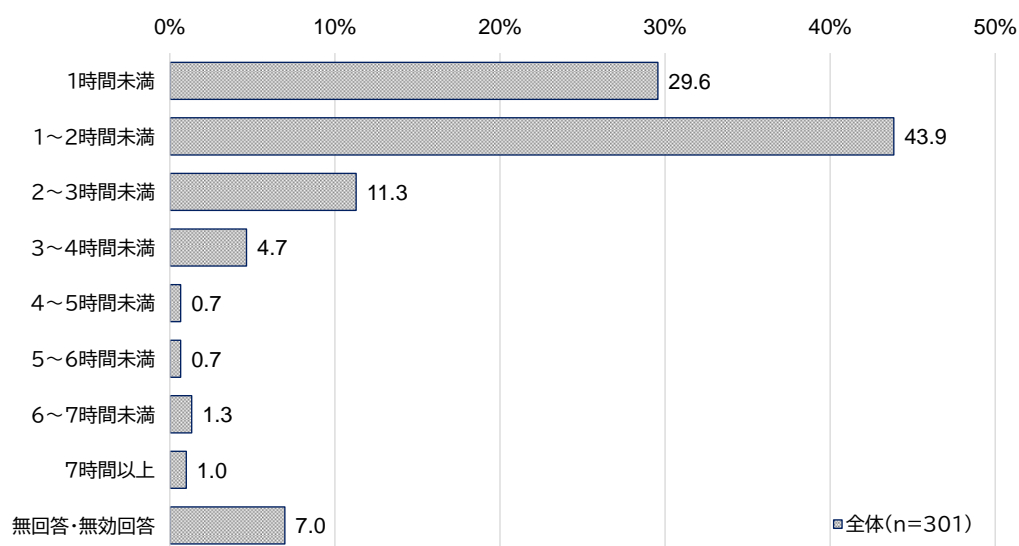
夕 平日における家事や家族の世話をする時間

問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を 1(している)と回答した方について、平日における家事や家族の世話をする時間は、「1～2 時間未満」が 43.9%と最も多く、以下、「1 時間未満」が 29.6%、「2～3 時間未満」が 11.3%と続いていた。

【中学2年生子ども問 13-4】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。あなたは、学校のある日(平日)に何時間くらい、家事や家族のお世話をしていますか。(数値回答)

図表 6-32 平日における家事や家族の世話をする時間 (単純集計)



子 家事や家族の世話をしている中での経験

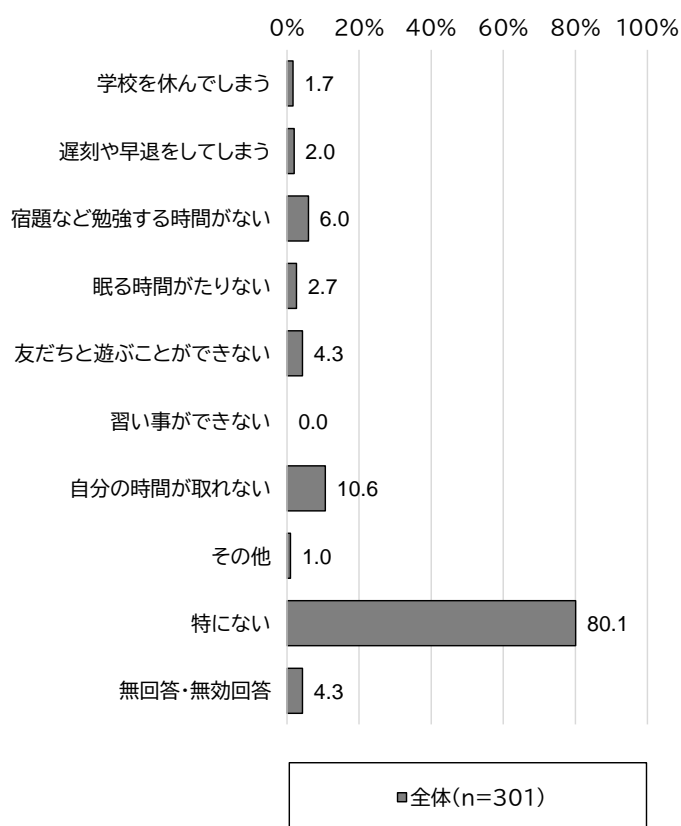
問 13 で大人が行うような家事や家族の世話を1(している)と回答した方について、家事や家族のお世話をしている中での経験は、「特にない」が 80.1%と最も多い一方、「自分の時間が取れない」が 10.6%、「宿題など勉強する時間がない」が 6.0%となっていた。

生活満足 低位(n=26)では、「特にない」が 53.8%と最も多いものの、「自分の時間が取れない」が 34.6%、「宿題など勉強する時間がない」が 23.1%となっていた。

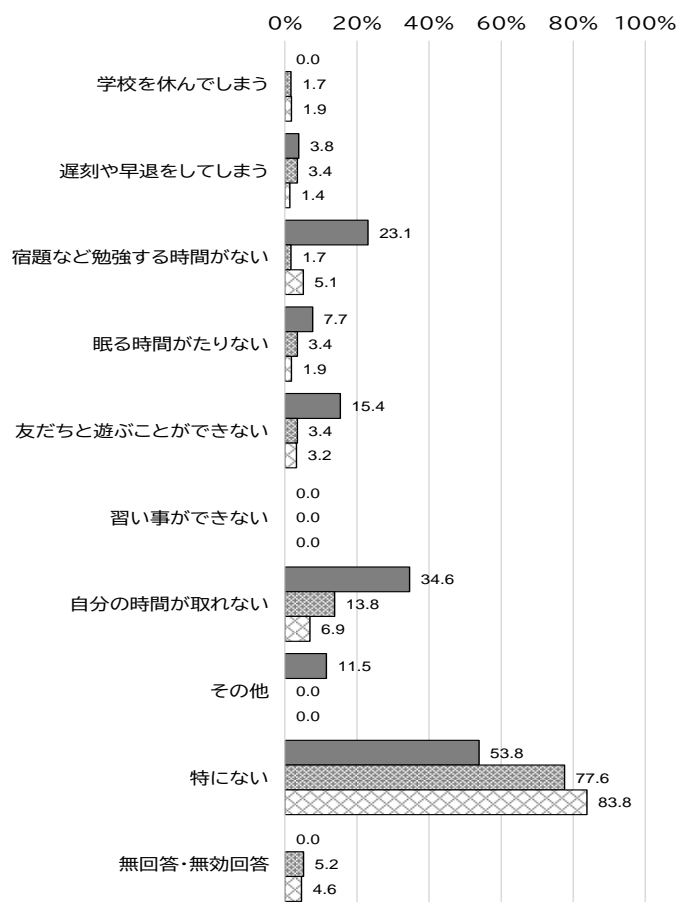
【中学2年生子ども問 13-5】

問 13 で「1.している」と答えた人におききします。家事や家族のお世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(複数回答)

図表 6-33 家事や家族の世話をしている中での経験 (単純集計)



図表 6-34 家事や家族の世話をする中での経験（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=26) ■生活満足 中位(n=58) □生活満足 高位(n=216)

ツ 物理的な剥奪

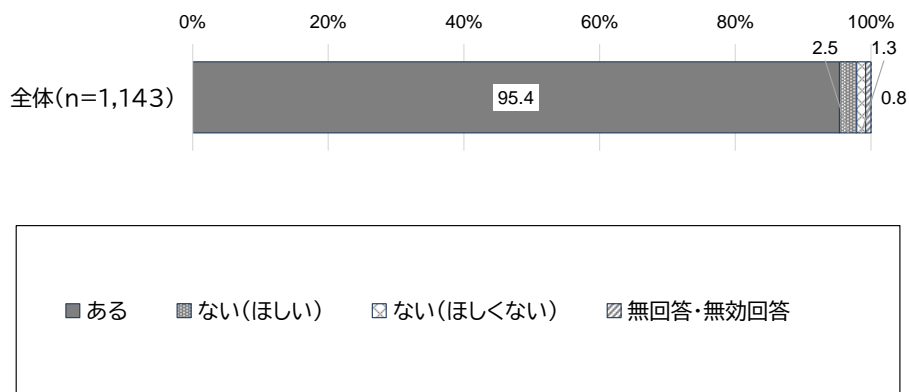
「自分の家で学習をすることができる場所」については、「ある」が95.4%、「ない(ほしい)」が2.5%、であった。

困窮層(n=56)では、「ある」が82.1%、「ない(ほしい)」が8.9%であった。

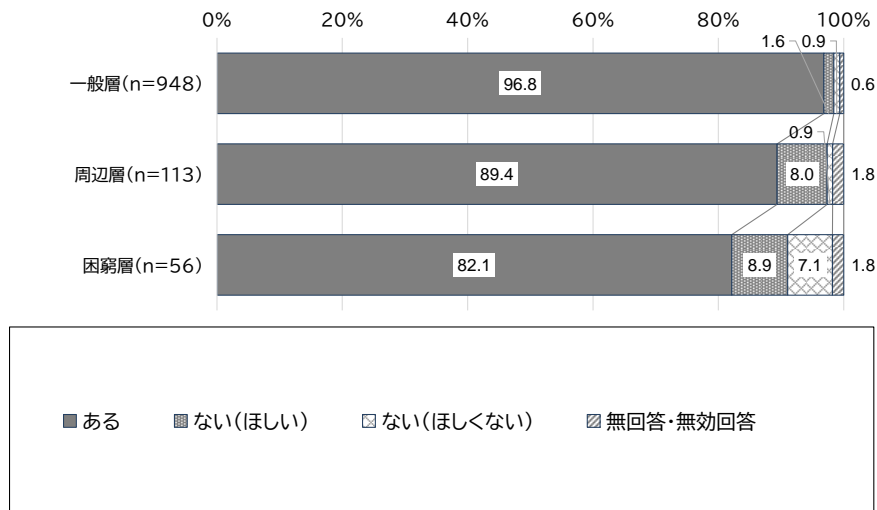
【中学2年生子ども問 14A】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 6-35 「自分の家で学習をすることができる場所」の回答状況 (単純集計)



図表 6-36 「自分の家で学習をすることができる場所」の回答状況 (生活困難層別クロス集計)

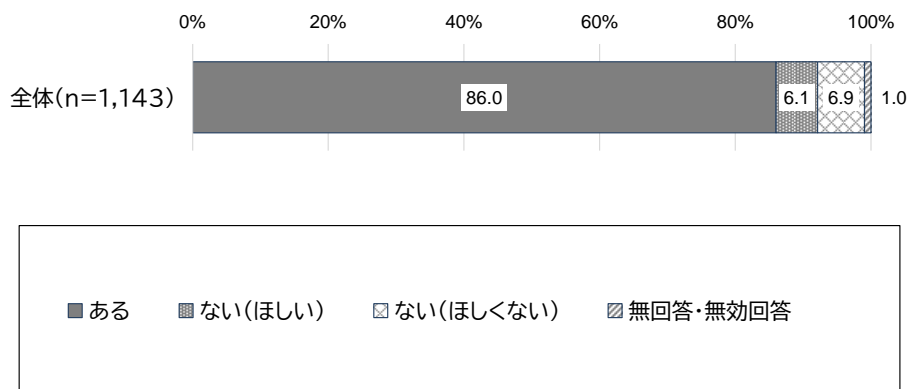


「自分専用の勉強机」については、「ある」が 86.0%と最も多く、「ない(ほしい)」が 6.1%であった。
 困窮層(n=56)では、「ある」が 69.6%、「ない(ほしい)」が 14.3%であった。

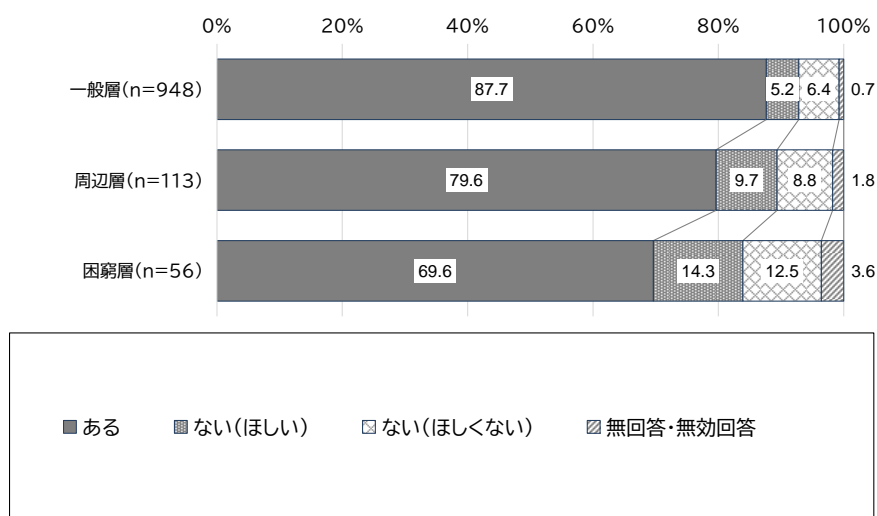
【中学2年生子ども問 14B】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 6-37 「自分専用の勉強机」の回答状況 (単純集計)



図表 6-38 「自分専用の勉強机」の回答状況 (生活困難層別クロス集計)

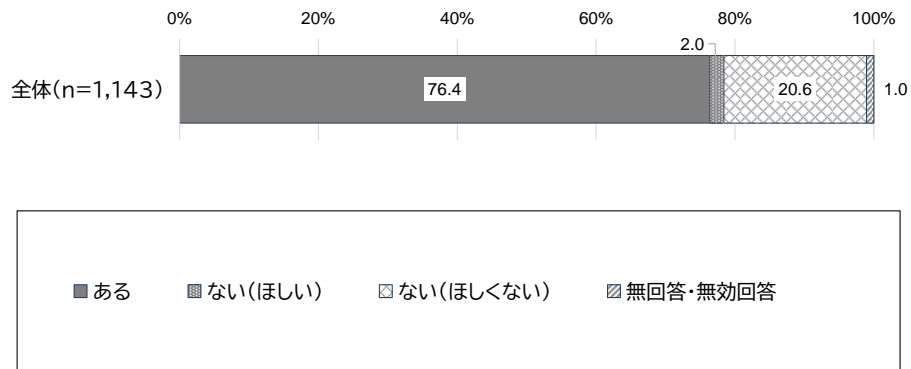


「スポーツ用品」については、「ある」が76.4%、「ない(ほしい)」が2.0%であった。

【中学2年生子ども問 14C】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 6-39 「スポーツ用品(ボール・ラケットなど)」の回答状況 (単純集計)



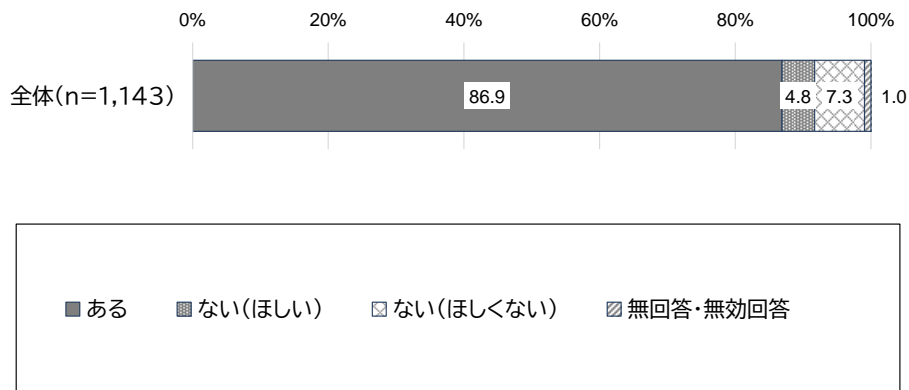
「自転車」については、「ある」が86.9%、「ない(ほしい)」が4.8%であった。

困窮層(n=56)では、「ある」が73.2%、「ない(ほしい)」が17.9%であった。

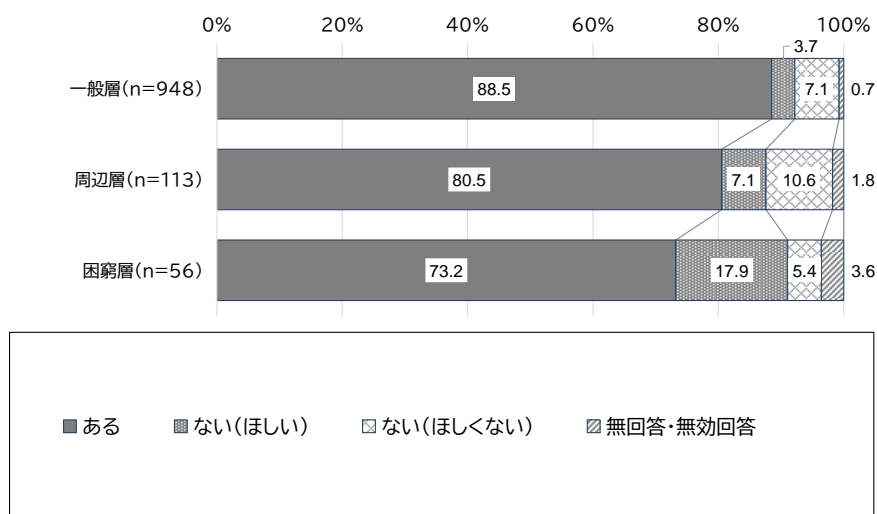
【中学2年生子ども問 14D】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 6-40 「自転車」の回答状況 (単純集計)



図表 6-41 「自転車」の回答状況（生活困難層別クロス集計）

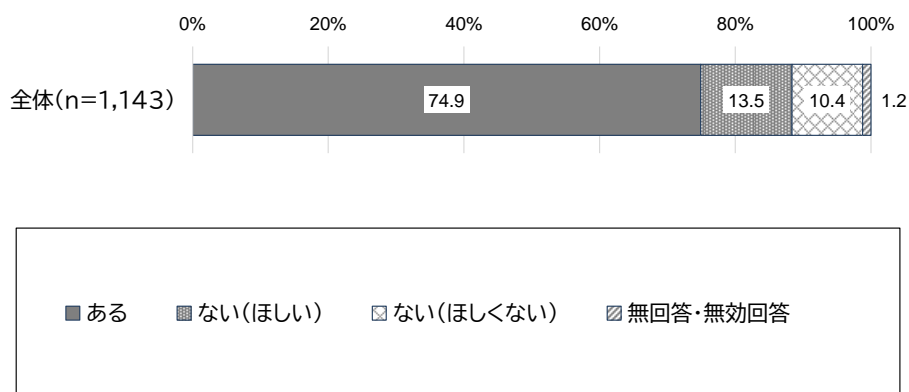


「おこづかい」については、「ある」が 74.9%、「ない(ほしい)」が 13.5%であった。
 困窮層(n=56)では、「ある」が 62.5%、「ない(ほしい)」が 28.6%であった。

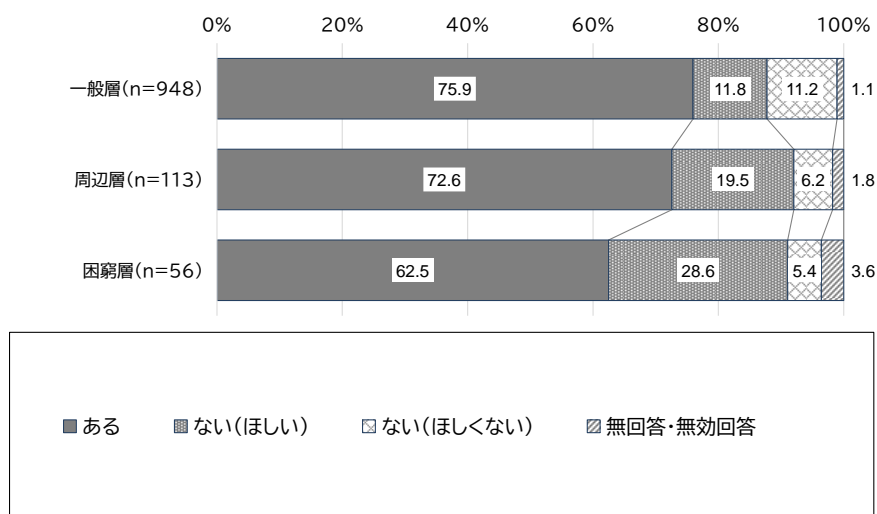
【中学2年生子ども問 14E】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 6-42 「おこづかい」の回答状況（単純集計）



図表 6-43 「おこづかい」の回答状況（生活困難層別クロス集計）

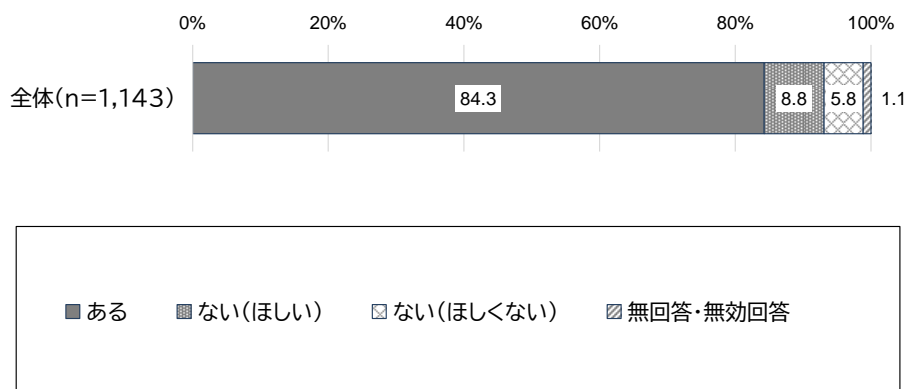


「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」については、「ある」が 84.3%、「ない(ほしい)」が 8.8%であった。
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「ある」が 68.4%、「ない(ほしい)」が 16.5%であった。
 困窮層(n=56)では、「ある」が 60.7%、「ない(ほしい)」が 25.0%であった。
 生活満足 低位(n=133)では、「ある」が 72.2%、「ない(ほしい)」が 16.5%であった。

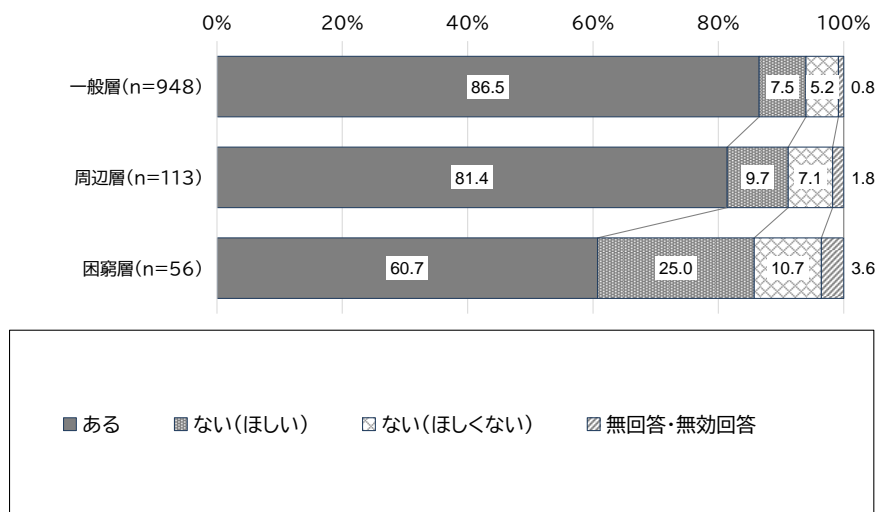
【中学2年生子ども問 14F】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

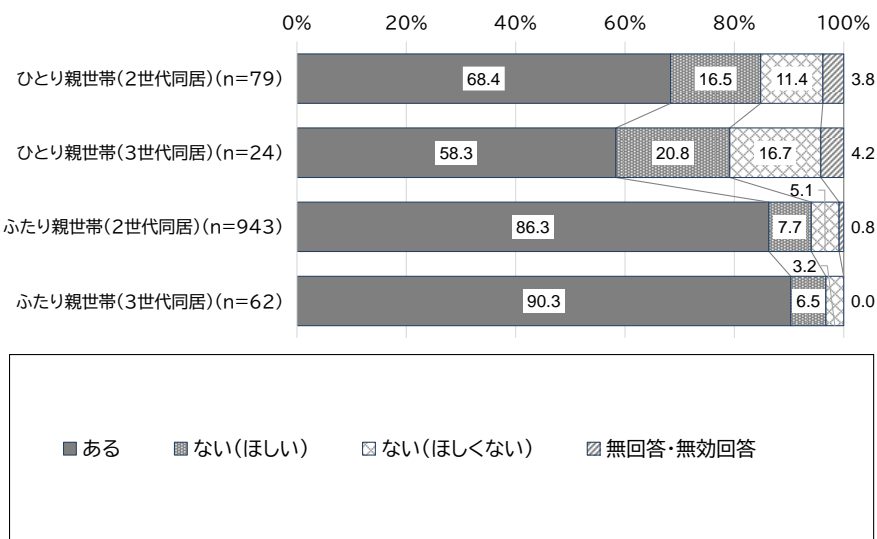
図表 6-44 「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」の回答状況（単純集計）



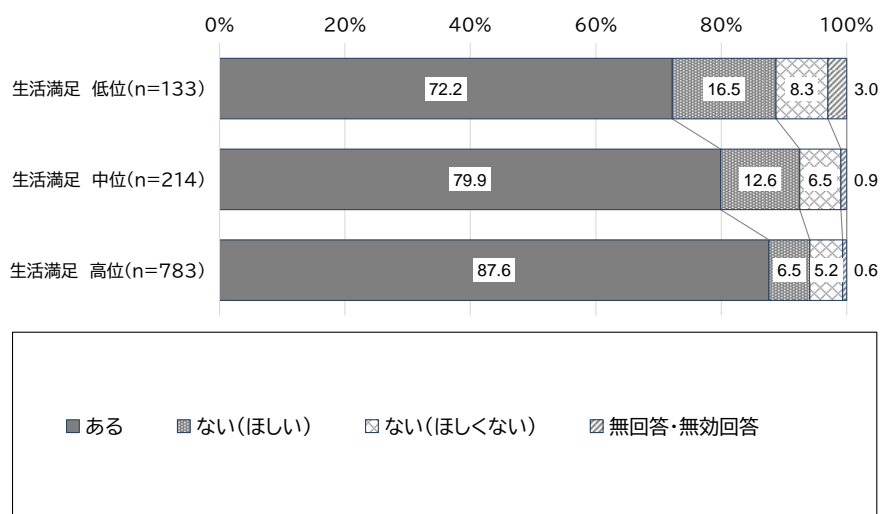
図表 6-45 「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」の回答状況
(生活困難層別クロス集計)



図表 6-46 「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」の回答状況
(世帯タイプ別クロス集計)



図表 6-47 「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」の回答状況
(生活満足度別クロス集計)

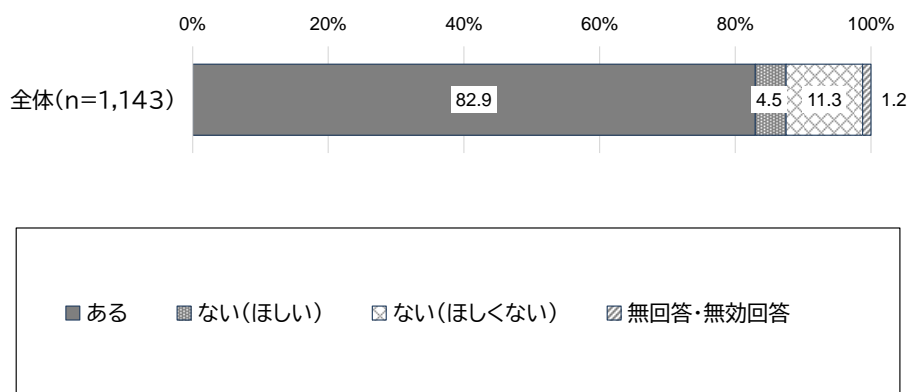


「多くの友だちが持っているゲーム機」について、「ある」が 82.9%、「ない(ほしい)」が 4.5%であった。
生活満足 低位(n=133)では、「ある」が 70.7%、「ない(ほしい)」が 9.0%であった。

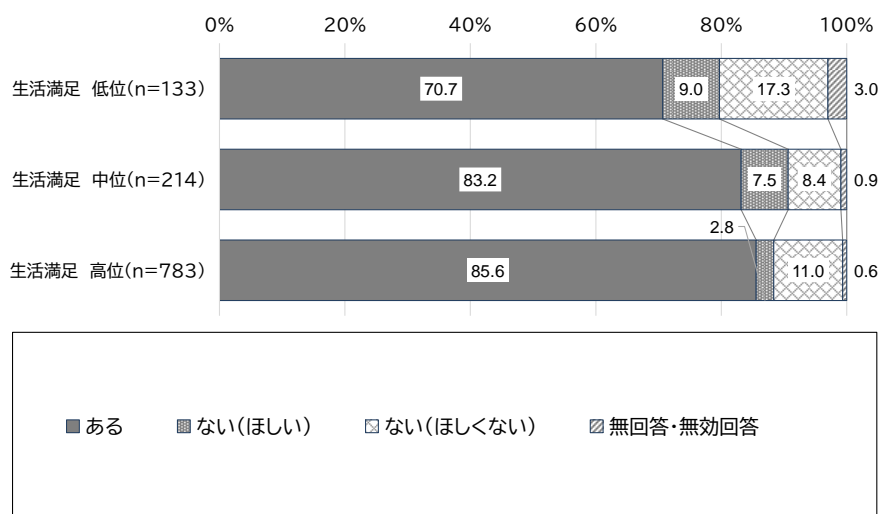
【中学2年生子ども問 14G】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらないと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 6-48 「多くの友だちが持っているゲーム機」の回答状況 (単純集計)



図表 6-49 「多くの友だちが持っているゲーム機」の回答状況（生活満足度別クロス集計）

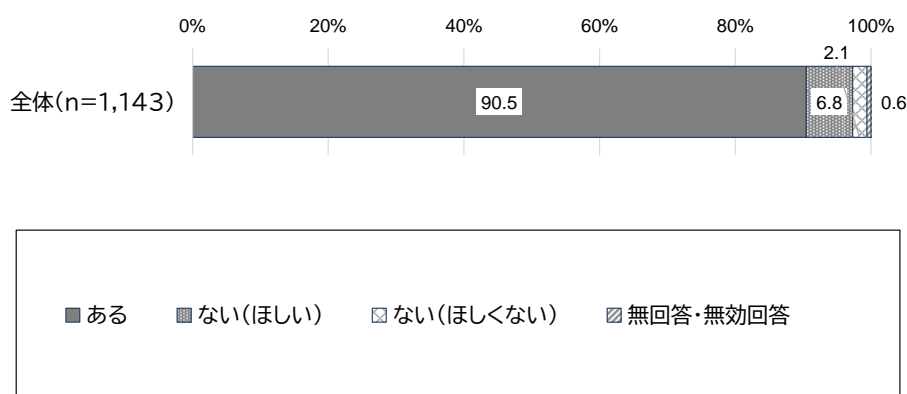


「けいたい電話・スマートフォン」については、「ある」が 90.5%、「ない(ほしい)」が 6.8%であった。前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は、今回調査は 90.5%、前回調査は 79.1%で、11.4ポイント増加、「ない(ほしい)」と回答した割合は、今回調査は 6.8%、前回調査は 14.1%で、7.3ポイント減少した。

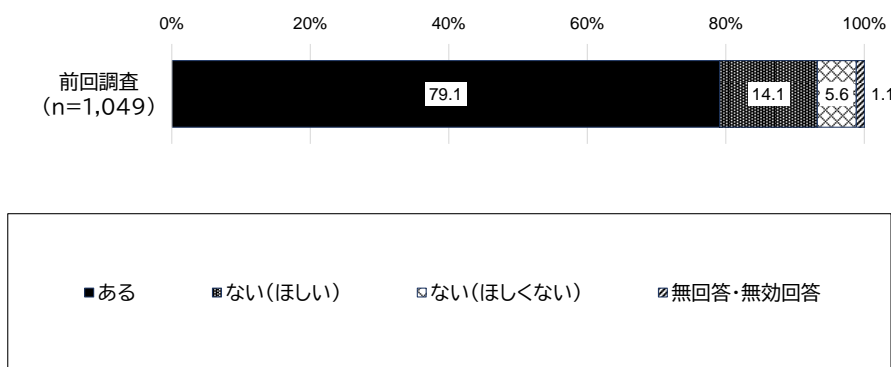
【中学2年生子ども問 14H】

あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1(ある)」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2(ほしい)」、いらなと思うものであれば「3(ほしくない)」に○をつけてください。(単一回答)

図表 6-50 「けいたい電話・スマートフォン」の回答状況（単純集計）



図表 6-51 「けいたい電話・スマートフォン」の回答状況（前回調査 単純集計）



テ 平日のスマートフォンの利用時間

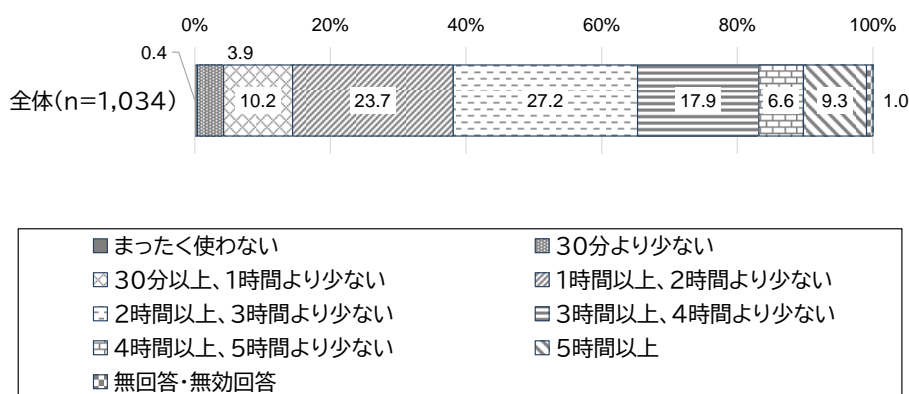
問 14H でけいたい電話やスマートフォンが1(ある)と回答した方について、平日のスマートフォンの利用時間(平均)は、「2時間以上、3時間より少ない」が 27.2%と最も多く、以下、「1時間以上、2時間より少ない」が 23.7%、「3時間以上、4時間より少ない」が 17.9%と続いていた。

困窮層(n=50)では、「5時間以上」が 30.0%と最も多く、以下、「3時間以上、4時間より少ない」が 22.0%、「2時間以上、3時間より少ない」が 20.0%と続いていた。

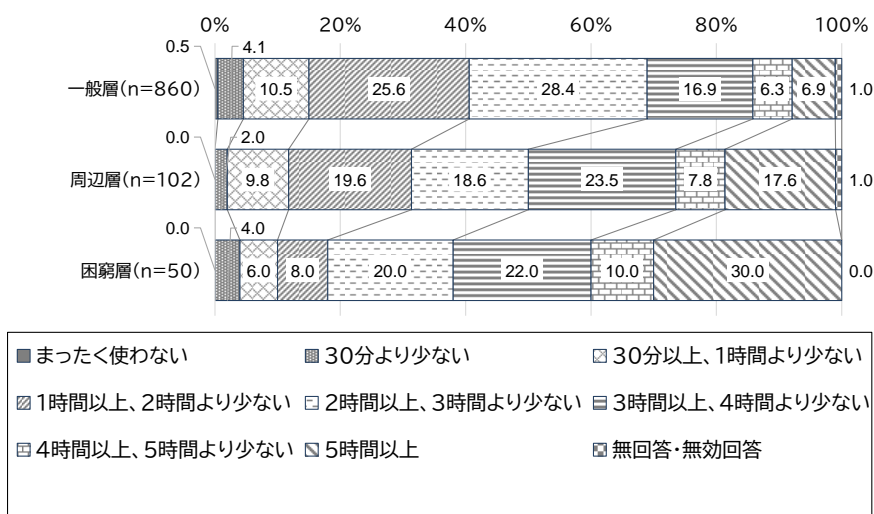
【中学2年生子ども問 15】

問 14 でけいたい電話・スマートフォンが「ある」と答えた人におききます。あなたは、平日(学校に行く日)に平均して、だいたい、どれくらいの時間、スマートフォンを使いますか。(単一回答)

図表 6-52 平日のスマートフォンの利用時間（単純集計）



図表 6-53 平日のスマートフォンの利用時間（生活困難層別クロス集計）



ト 家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用ルール

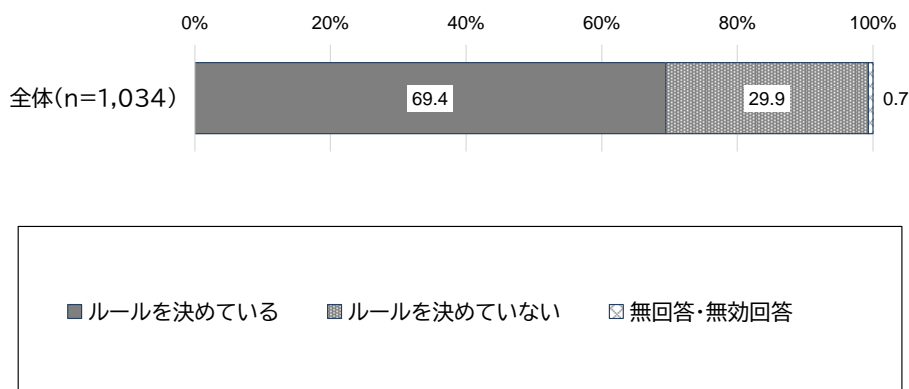
問 14H で「けいたい電話・スマートフォン」が1(ある)と回答した方について、家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用ルールは、「ルールを決めている」が 69.4%、「ルールを決めていない」は 29.9%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=68)では、「ルールを決めている」が 51.5%、「ルールを決めていない」が 47.1%となっていた。

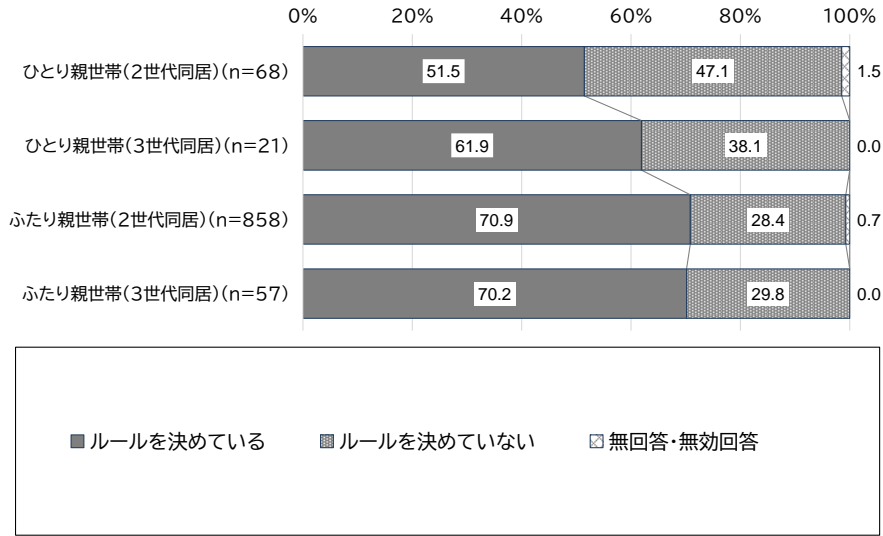
【中学2年生子ども問 15-1】

問 14 でけいたい電話・スマートフォンが「ある」と答えた人におききます。あなたは、けいたい電話・スマートフォンを使う時間など、使い方のルールを家の人と決めていますか。(単一回答)

図表 6-54 家庭内でのけいたい電話・スマートフォンの利用ルール（単純集計）



図表 6-55 家庭内でのけいたい電話・スマートフォンの利用ルール（世帯タイプ別クロス集計）



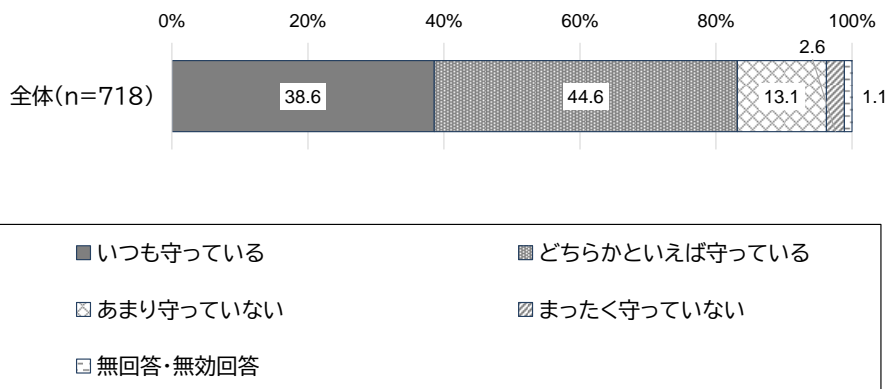
ナ 家庭内での携帯電話等の利用に関する約束の遵守

問 15-1 で 1(ルールを決めている)と回答した方について、家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用に関する約束の遵守状況は、「どちらかといえば守っている」が 44.6%と最も多く、以下、「いつも守っている」が 38.6%、「あまり守っていない」が 13.1%の順となっていた。

【中学2年生子ども問 15-2】

問 15-1 で「1.ルールを決めている」と答えた人におきします。あなたは、けいたい電話・スマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。(単一回答)

図表 6-56 家庭内でのけいたい電話等の利用に関する約束の遵守（単純集計）



二 平日のゲーム時間

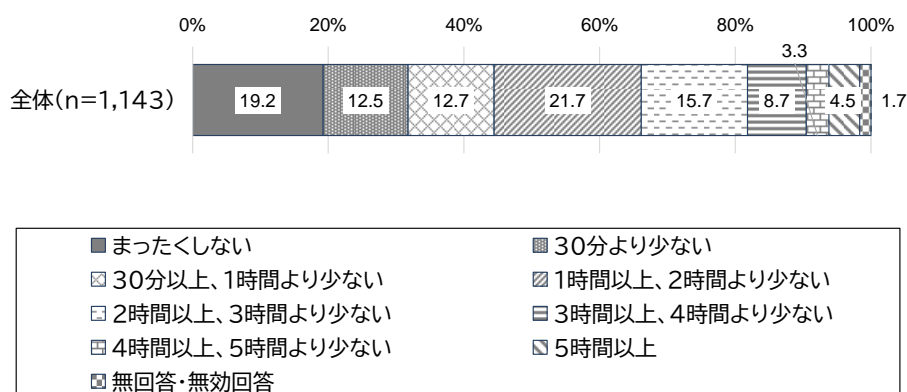
平日のゲーム時間(平均)については、「1時間以上、2時間より少ない」が 21.7%と最も多く、以下、「まったくしない」が 19.2%、「2時間以上、3時間より少ない」が 15.7%と続いていた。

困窮層(n=56)では、「2時間以上、3時間より少ない」が 21.4%と最も多く、以下、「まったくしない」「5時間以上」が 14.3%と続いていた。

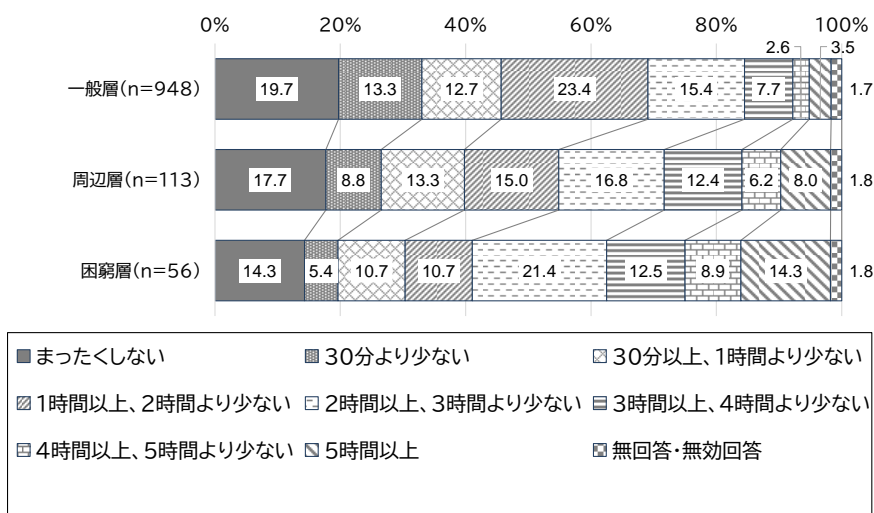
【中学2年生子ども問 16】

あなたは、平日(学校に行く日)に平均して、だいたい、どれくらいの時間、ゲームをしますか。(単一回答)

図表 6-57 平日のゲーム時間 (単純集計)



図表 6-58 平日のゲーム時間 (生活困難層別クロス集計)



又 家庭内でのゲームで遊ぶ際のルール

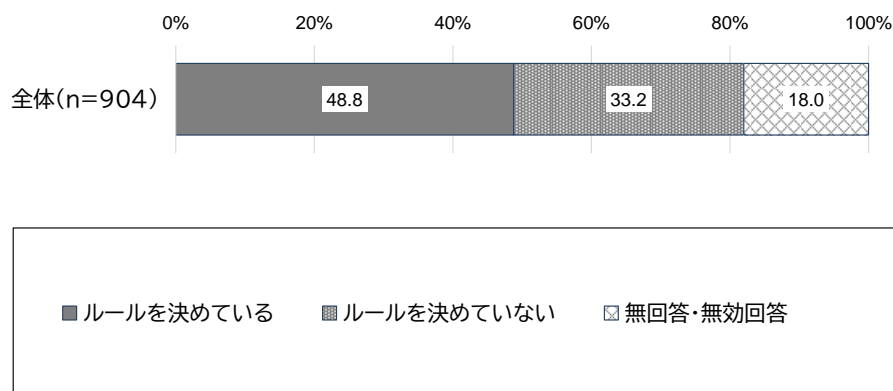
問16で2～8(一定時間ゲームをする)と回答した方について、家庭内でのゲームで遊ぶ際のルールは、「ルールを決めている」が48.8%、「ルールを決めていない」が33.2%となっていた。

困窮層(n=47)では、「ルールを決めていない」が48.9%、「ルールを決めている」が38.3%となっていた。

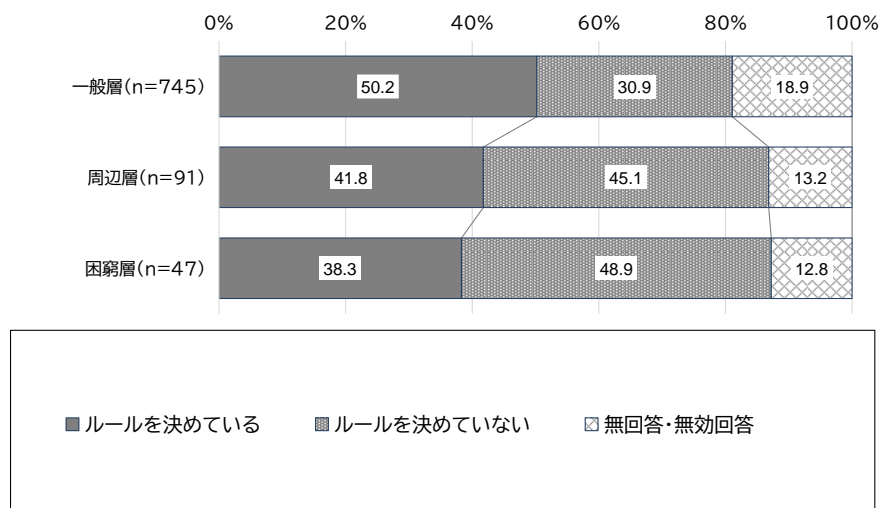
【中学2年生子ども問16-1】

問16で「2. 30分より少ない」～「8. 5時間以上」と答えた人におききます。あなたは、ゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。(単一回答)

図表 6-59 家庭内でのゲームで遊ぶ際のルール (単純集計)



図表 6-60 家庭内でのゲームで遊ぶ際のルール (生活困難層別クロス集計)



ネ 家庭内でのゲームをする際の約束の遵守

問 16-1 で1(ルールを決めている)と回答した方について、家庭内でのゲームをする際の約束の遵守状況は、「いつも守っている」が 42.9%と最も多く、以下、「どちらかといえば守っている」が 39.9%、「あまり守っていない」が 12.5%と続いていた。

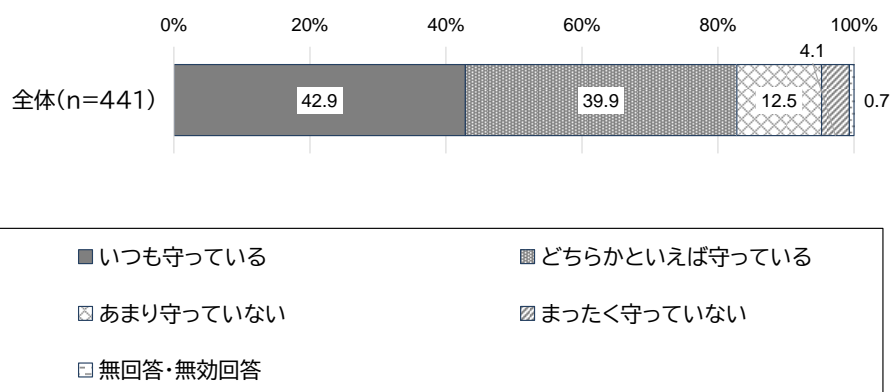
困窮層(n=18)では、「どちらかといえば守っている」が 38.9%と最も多く、「いつも守っている」「あまり守っていない」がそれぞれ 27.8%となっていた。

生活満足 低位(n=45)では、「いつも守っている」が 40.0%と最も多く、以下、「どちらかといえば守っている」が 31.1%、「あまり守っていない」が 15.6%と続いていた。

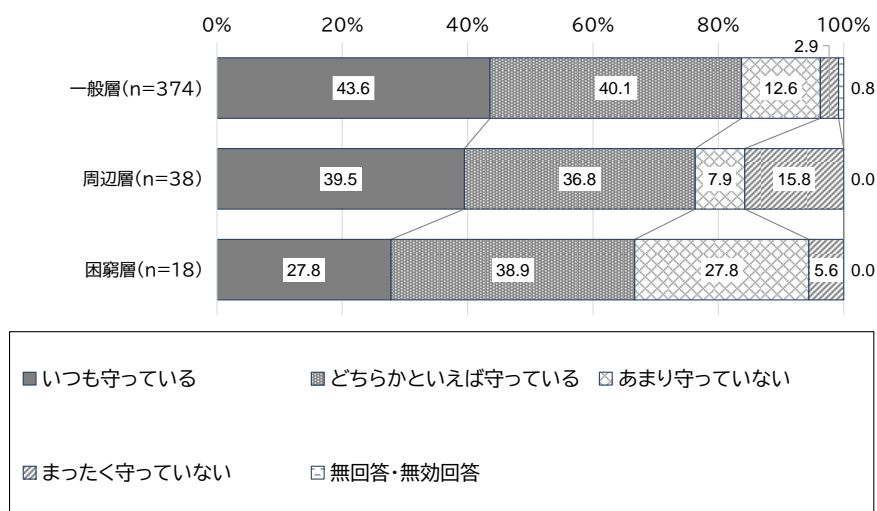
【中学2年生子ども問 16-2】

問 16-1 で「1.ルールを決めている」と答えた人におきぎします。あなたは、ゲームをする時間など、家の人と約束したルールを守っていますか。(単一回答)

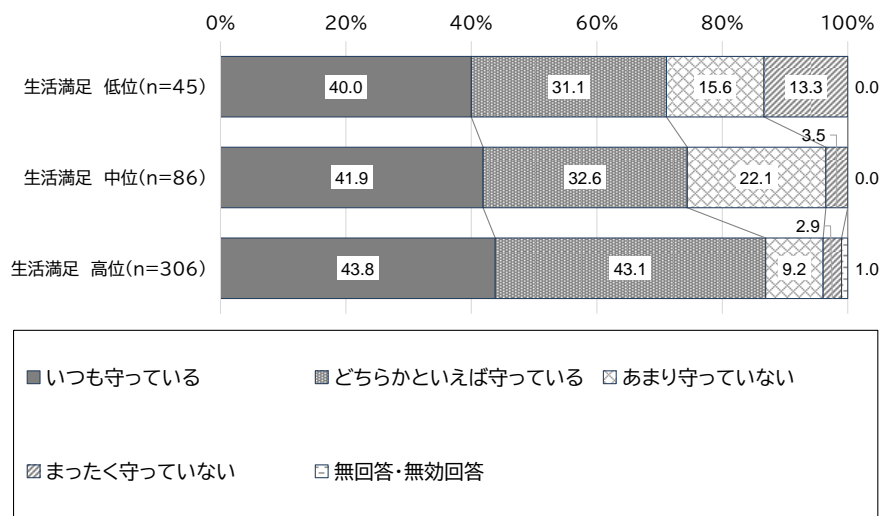
図表 6-61 家庭内でのゲームをする際の約束の遵守 (単純集計)



図表 6-62 家庭内でのゲームをする際の約束の遵守 (生活困難層別クロス集計)



図表 6-63 家庭内でのゲームをする際の約束の遵守（生活満足度別クロス集計）



(3) 学校のことや勉強のことについてうかがいます

ア 学校生活での楽しみ

「授業」については、「とても楽しみ」が 8.1%、「楽しみ」が 28.4%であった。

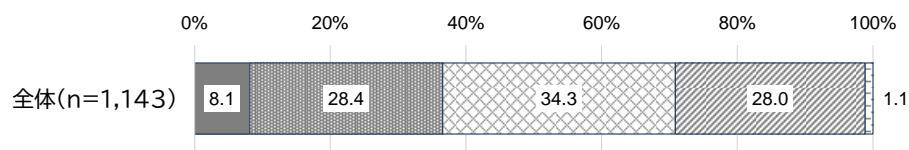
困窮層(n=56)では、「とても楽しみ」「楽しみ」が 10.7%であった。

生活満足 低位(n=133)では、「とても楽しみ」が 6.0%、「楽しみ」が 9.8%であった。

【中学2年生子ども問 17A】

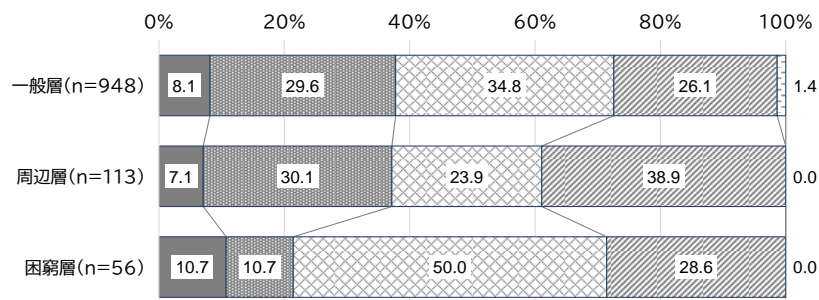
あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-64 「授業」の回答割合 (単純集計)



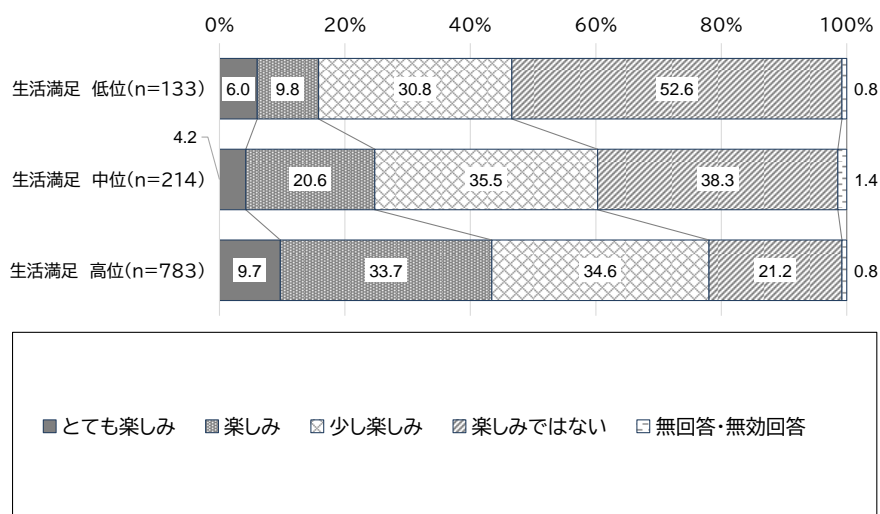
■ とても楽しみ ■ 楽しみ □ 少し楽しみ ▨ 楽しみではない □ 無回答・無効回答

図表 6-65 「授業」の回答割合 (生活困難層別クロス集計)



■ とても楽しみ ■ 楽しみ □ 少し楽しみ ▨ 楽しみではない □ 無回答・無効回答

図表 6-66 「授業」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

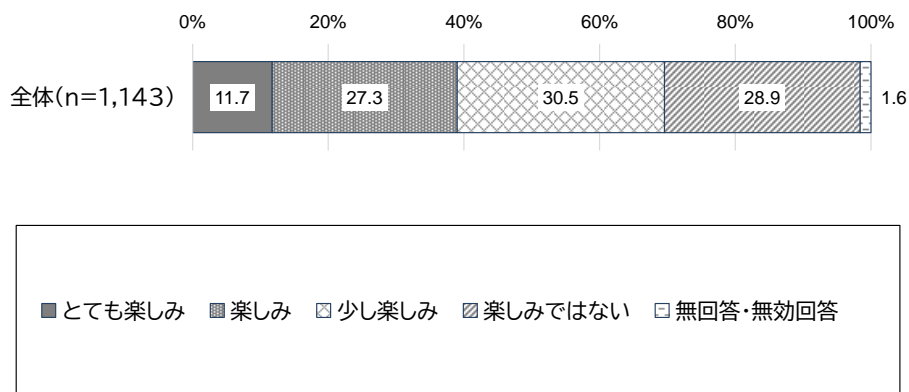


「先生に会うこと」については、「とても楽しみ」が 11.7%、「楽しみ」が 27.3%であった。
生活満足 低位(n=133)では、「とても楽しみ」が 2.3%、「楽しみ」が 18.0%であった。

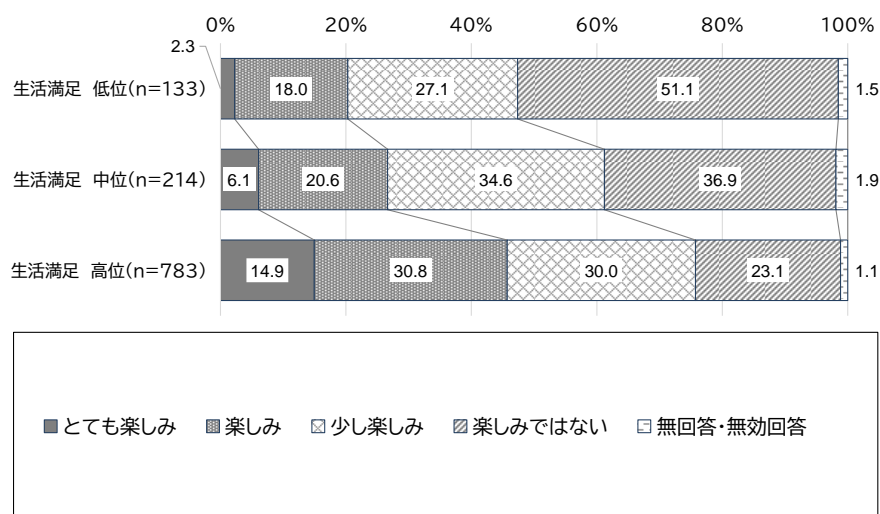
【中学2年生子ども問 17B】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-67 「先生に会うこと」の回答割合（単純集計）



図表 6-68 「先生に会うこと」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

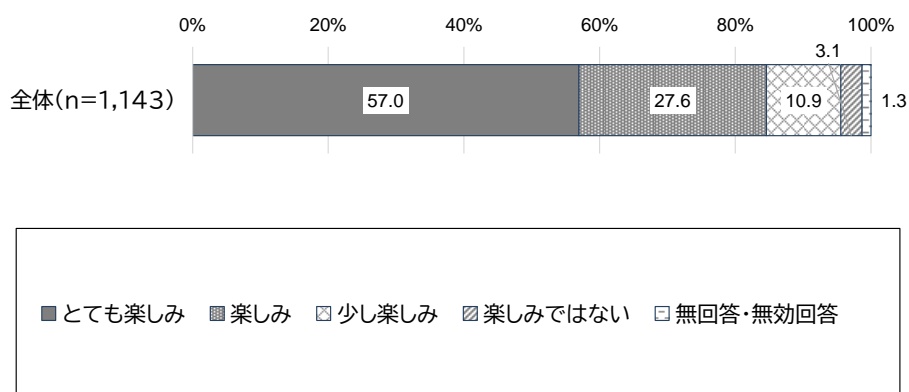


「友だちに会うこと」については、「とても楽しみ」が 57.0%、「楽しみ」が 27.6%であった。
 困窮層(n=56)では、「とても楽しみ」が 48.2%、「楽しみ」が 23.2%であった。
 生活満足 低位(n=133)では、「とても楽しみ」が 31.6%、「楽しみ」が 27.8%であった。

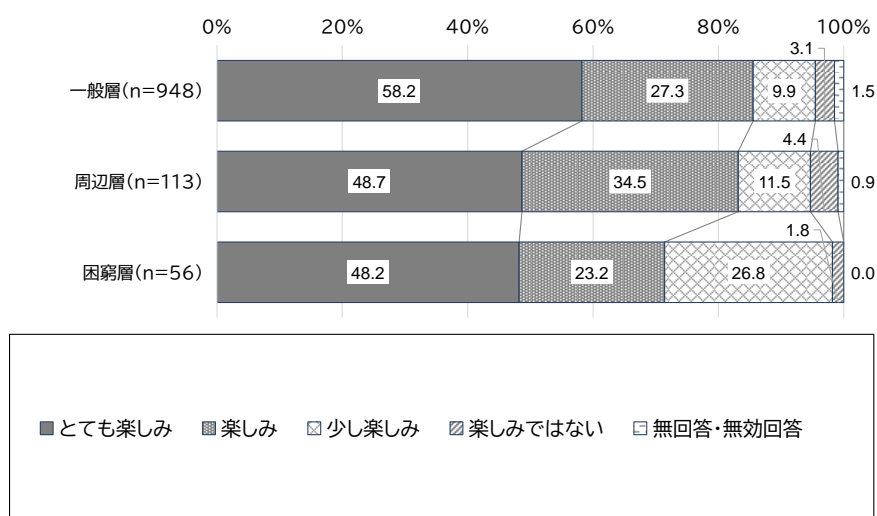
【中学2年生子ども問 17C】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

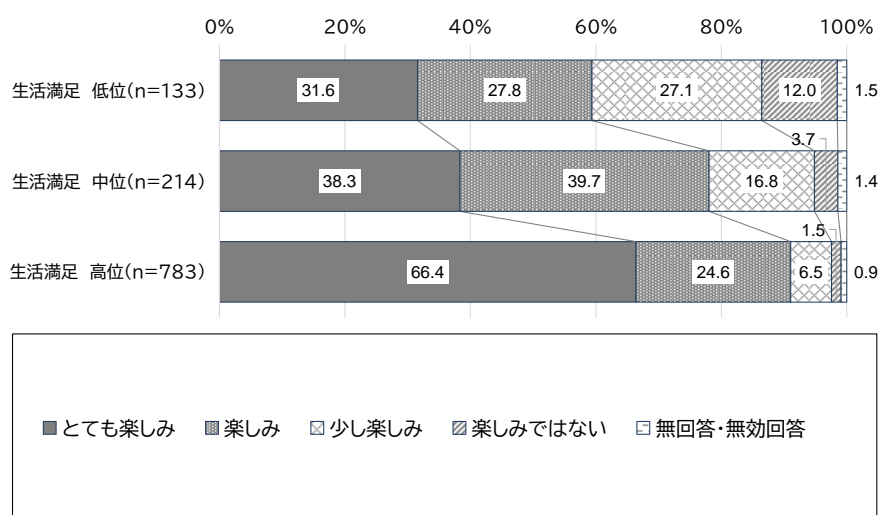
図表 6-69 「友だちに会うこと」の回答割合（単純集計）



図表 6-70 「友だちに会うこと」の回答割合（生活困難層別クロス集計）



図表 6-71 「友だちに会うこと」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

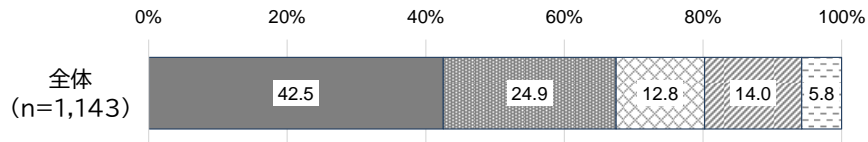


「部活動」については、「とても楽しみ」が42.5%、「楽しみ」が24.9%であった。
 困窮層(n=56)では、「とても楽しみ」が32.1%、「楽しみ」が17.9%であった。
 生活満足 低位(n=133)では、「とても楽しみ」が30.1%、「楽しみ」が18.0%であった。

【中学2年生子ども問 17D】

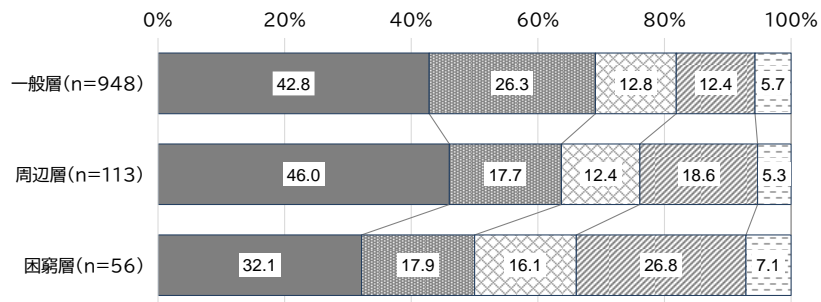
あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-72 「部活動」の回答割合 (単純集計)



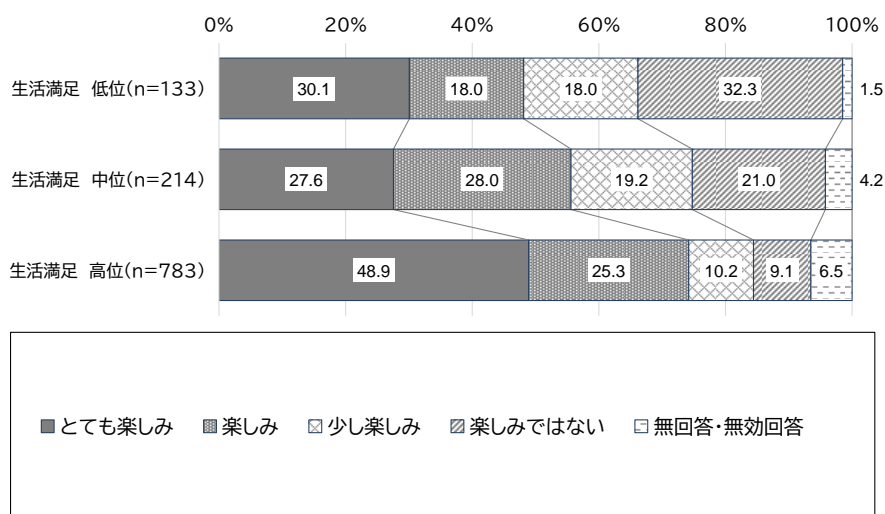
■ とても楽しみ ■ 楽しみ □ 少し楽しみ ▨ 楽しみではない □ 無回答・無効回答

図表 6-73 「部活動」の回答割合 (生活困難層別クロス集計)



■ とても楽しみ ■ 楽しみ □ 少し楽しみ ▨ 楽しみではない □ 無回答・無効回答

図表 6-74 「部活動」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

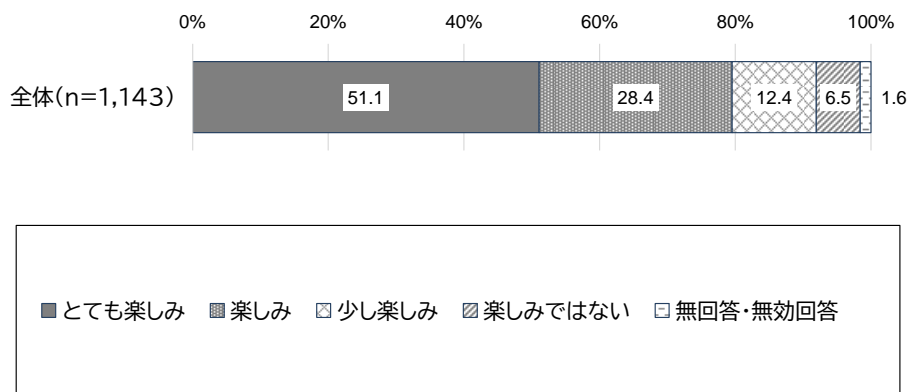


「休み時間」については、「とても楽しみ」が 51.1%、「楽しみ」が 28.4%であった。
生活満足 低位(n=133)では、「とても楽しみ」が 31.6%、「楽しみ」が 19.5%であった。

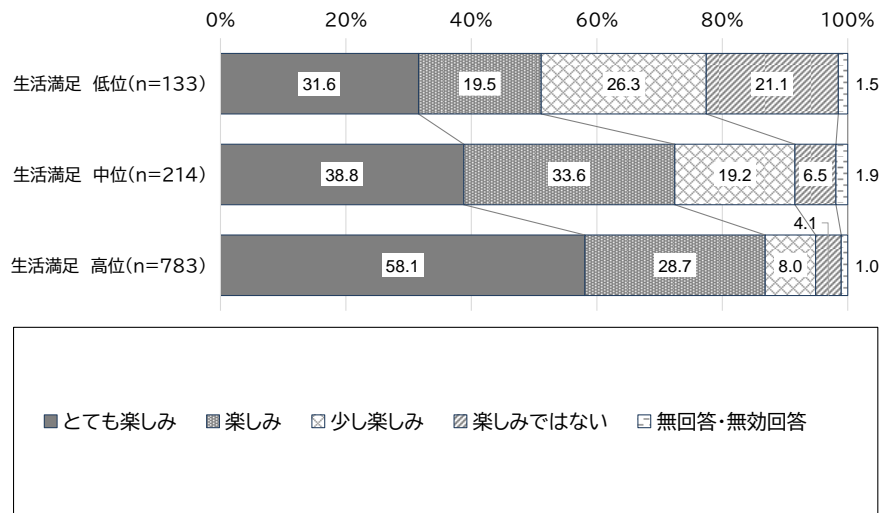
【中学2年生子ども問 17E】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-75 「休み時間」の回答割合（単純集計）



図表 6-76 「休み時間」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

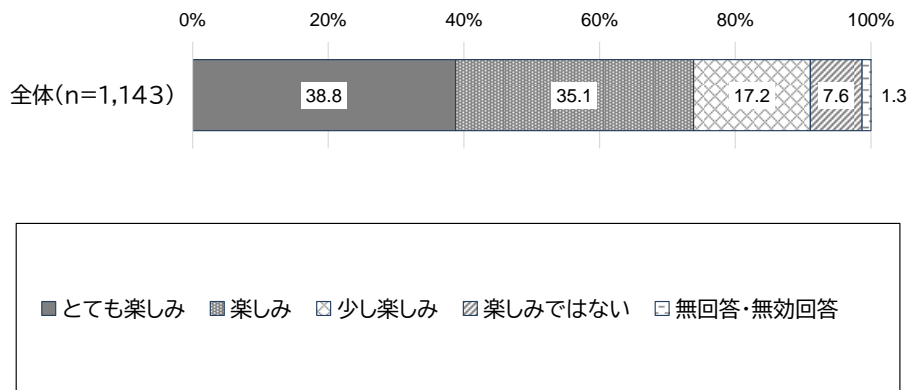


「昼食」については、「とても楽しみ」が 38.8%、「楽しみ」が 35.1%であった。
 生活満足 低位(n=133)では、「とても楽しみ」が 19.5%、「楽しみ」が 31.6%であった。

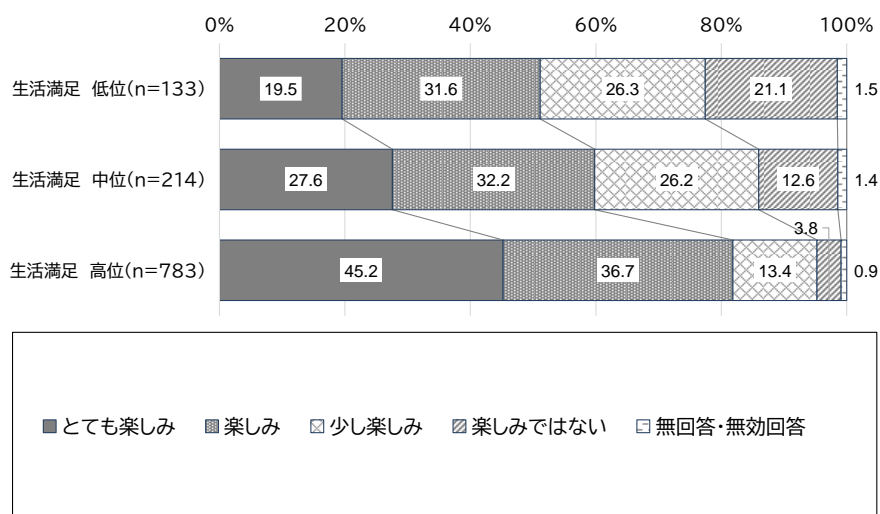
【中学2年生子ども問 17F】

あなたの学校生活についておききます。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-77 「昼食」の回答割合（単純集計）



図表 6-78 「昼食」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

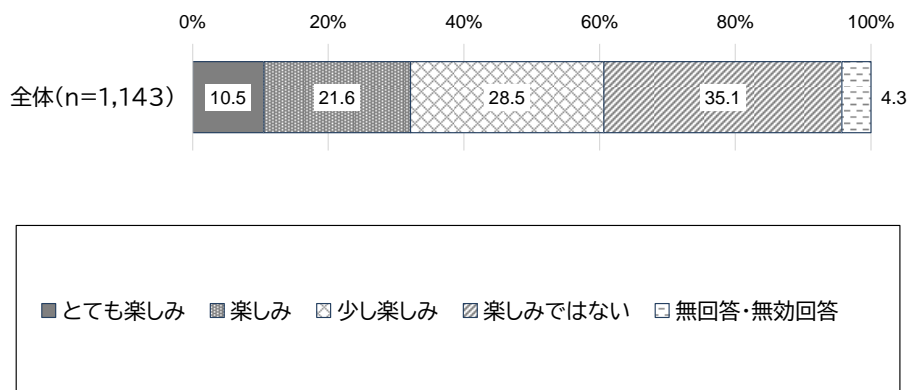


「生徒会活動(委員会活動をふくむ)」については、「とても楽しみ」が 10.5%、「楽しみ」が 21.6%であった。
 困窮層(n=56)では、「とても楽しみ」が 17.9%、「楽しみ」が 12.5%であった。
 生活満足 低位(n=133)では、「とても楽しみ」が 6.8%、「楽しみ」が 14.3%であった。

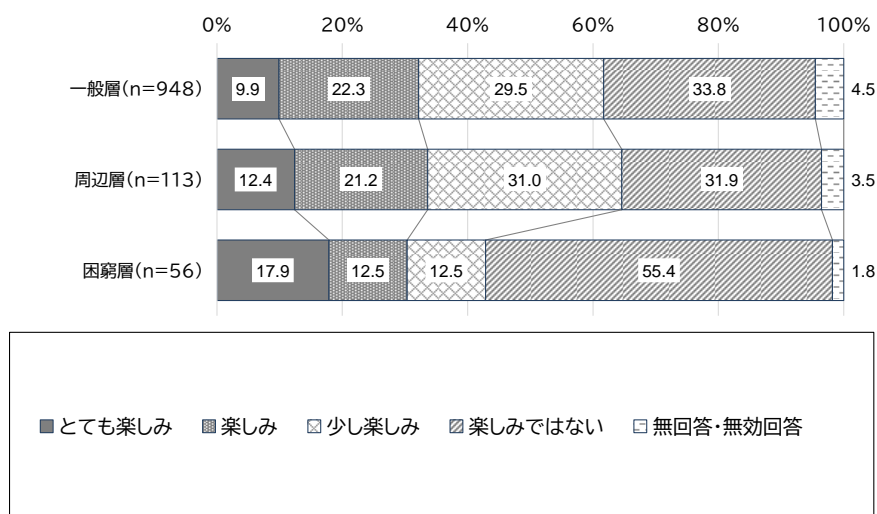
【中学2年生子ども問 17G】

あなたの学校生活についておききします。次のことについて、「1(とても楽しみ)」から「4(楽しみではない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

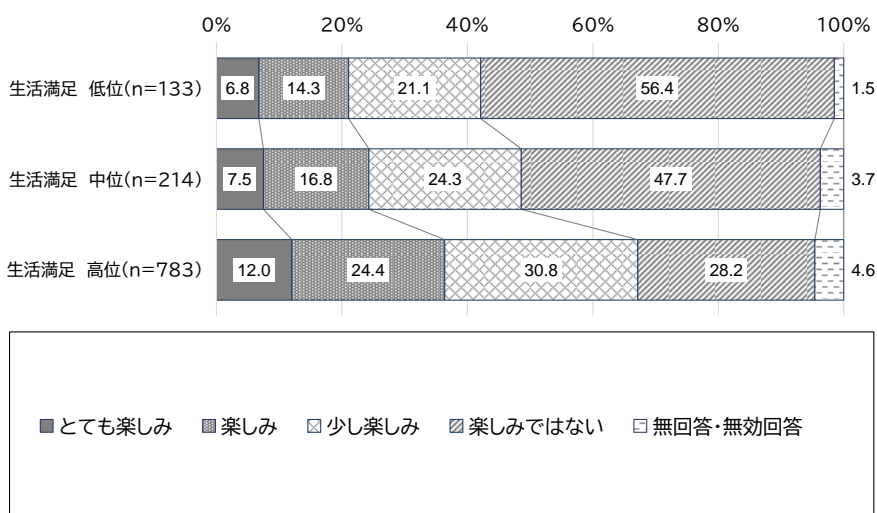
図表 6-79 「生徒会活動(委員会活動をふくむ)」の回答割合（単純集計）



図表 6-80 「生徒会活動(委員会活動をふくむ)」の回答割合 (生活困難層別クロス集計)



図表 6-81 「生徒会活動(委員会活動をふくむ)」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)



イ 授業の理解度

学校の授業の理解度については、「だいたいわかる」が 64.8%と最も多く、以下、「いつもわかる」が 17.9%、「あまりわからない」が 8.0%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「だいたいわかる」が 62.0%と最も多く、「いつもわかる」「わからないことが多い」がそれぞれ 11.4%と続いていた。

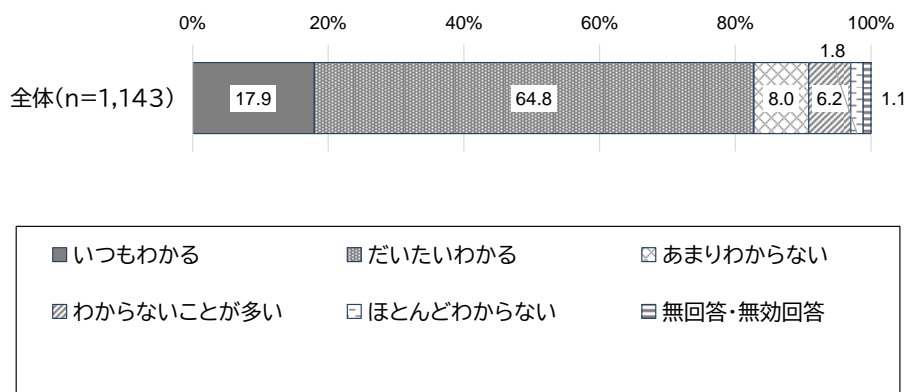
困窮層(n=56)では、「だいたいわかる」が 48.2%と最も多く、以下、「わからないことが多い」が 19.6%、「あまりわからない」「ほとんどわからない」がそれぞれ 14.3%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「だいたいわかる」が 48.1%と最も多く、以下、「あまりわからない」が 15.8%、「いつもわかる」「わからないことが多い」がそれぞれ 12.0%で続いていた。

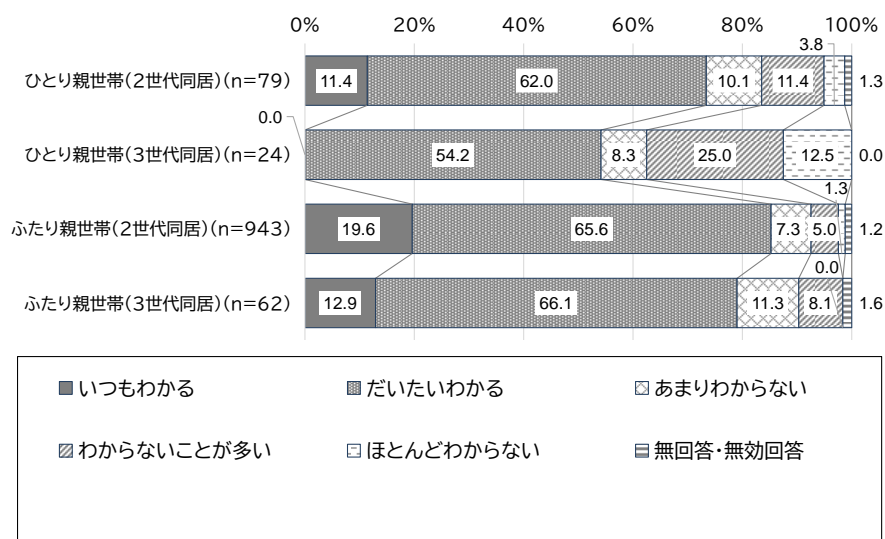
【中学2年生子ども問 18】

あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単一回答)

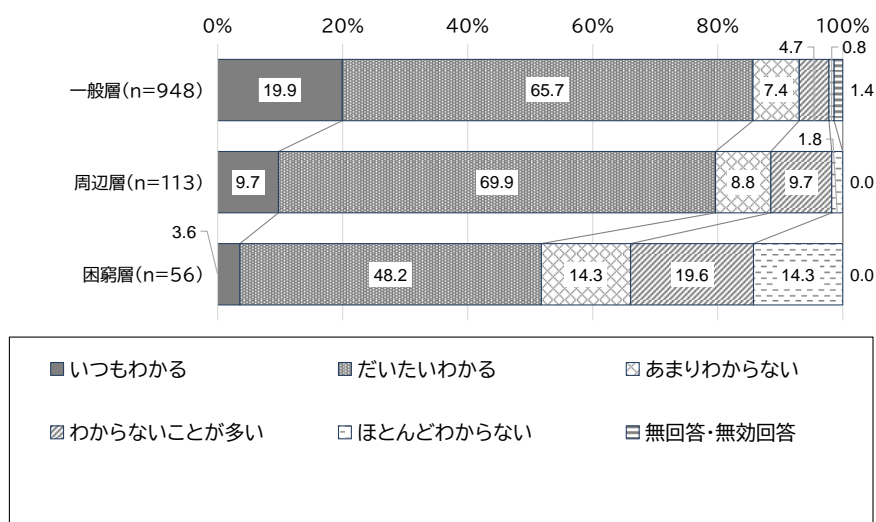
図表 6-82 授業の理解度 (単純集計)



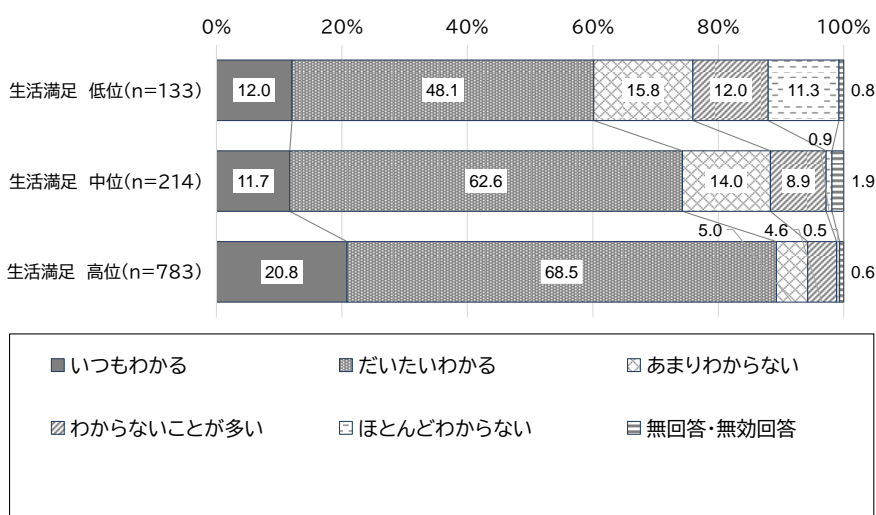
図表 6-83 授業の理解度 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 6-84 授業の理解度（生活困難層別クロス集計）



図表 6-85 授業の理解度（生活満足度別クロス集計）



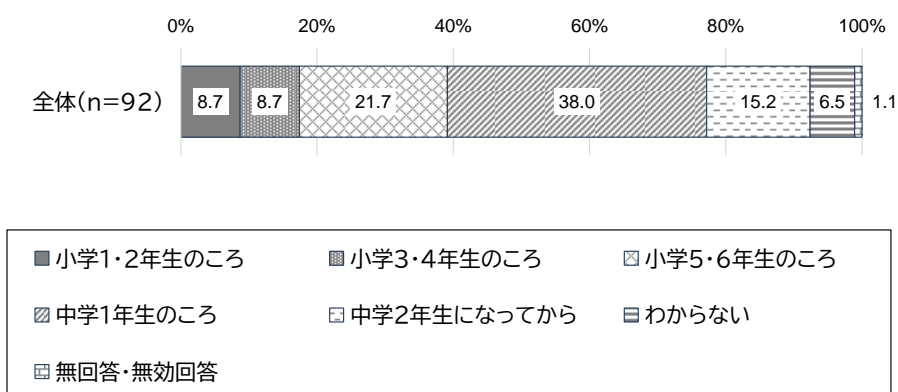
ウ 授業がわからなくなった時期

問 18 で 4 または 5(授業が分からない)と回答した方について、学校の授業がわからなくなった時期は、「中学 1 年生のころ」が 38.0%と最も多く、以下、「小学 5・6 年生のころ」が 21.7%、「中学 2 年生になってから」が 15.2%の順で続いていた。

【中学2年生子ども問 18-1】

問 18 で「4.わからないことが多い」または「5.ほとんどわからない」と答えた人におききします。いつごろから、授業がわからなくなりましたか。(単一回答)

図表 6-86 授業がわからなくなった時期 (単純集計)



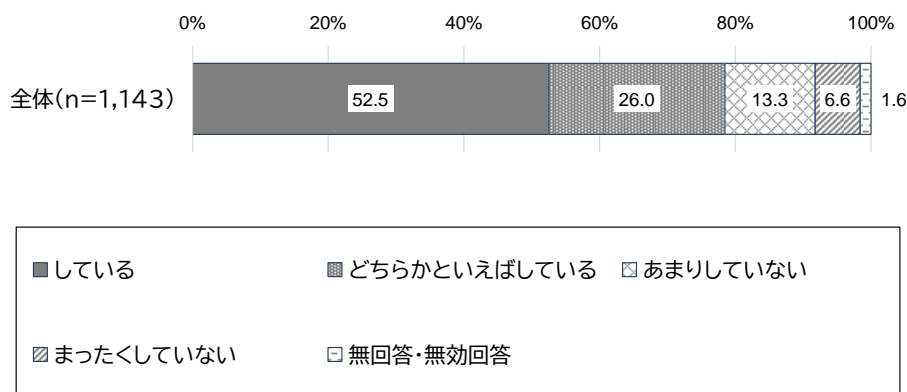
エ 家庭での学習状況

「学校の宿題」については、「している」が 52.5%、「どちらかといえばしている」が 26.0%であった。生活満足 低位(n=133)では、「している」が 37.6%、「どちらかといえばしている」が 33.8%であった。

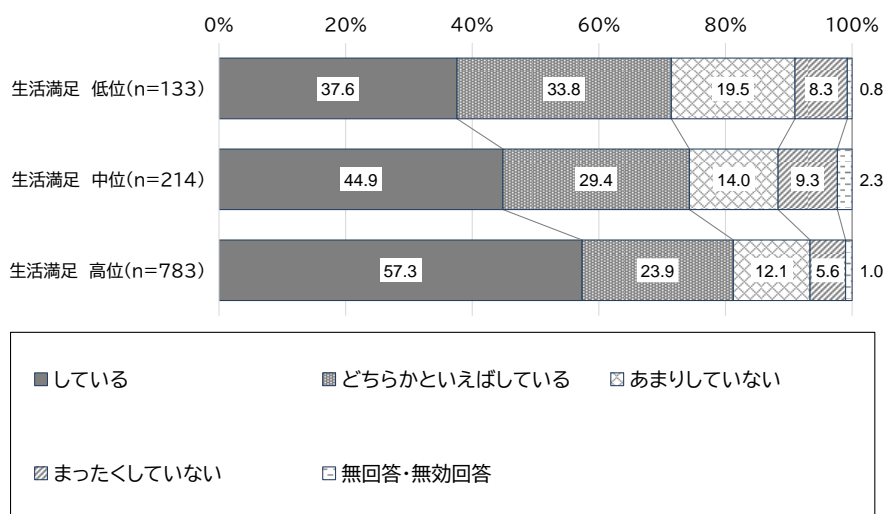
【中学2年生子ども問 19A】

あなたは、家で次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 6-87 「学校の宿題をしている」の回答割合 (単純集計)



図表 6-88 「学校の宿題をしている」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

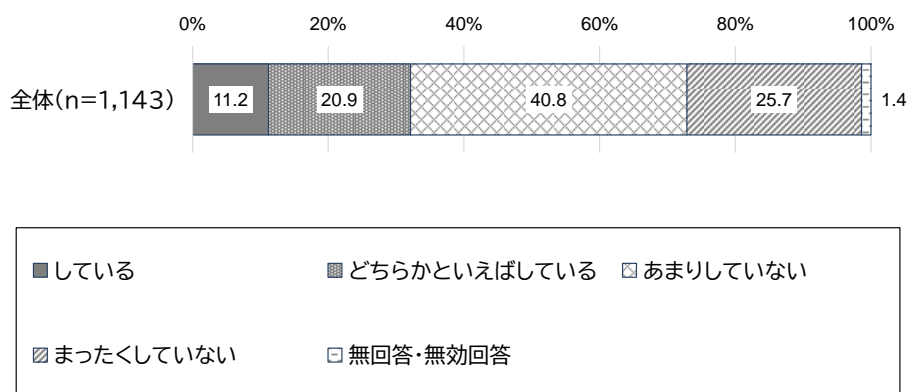


「学校の授業の復習」については、「している」が 11.2%、「どちらかといえばしている」が 20.9%であった。

【中学2年生子ども問 19B】

あなたは、家で次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 6-89 「学校の授業の復習をしている」の回答割合（単純集計）

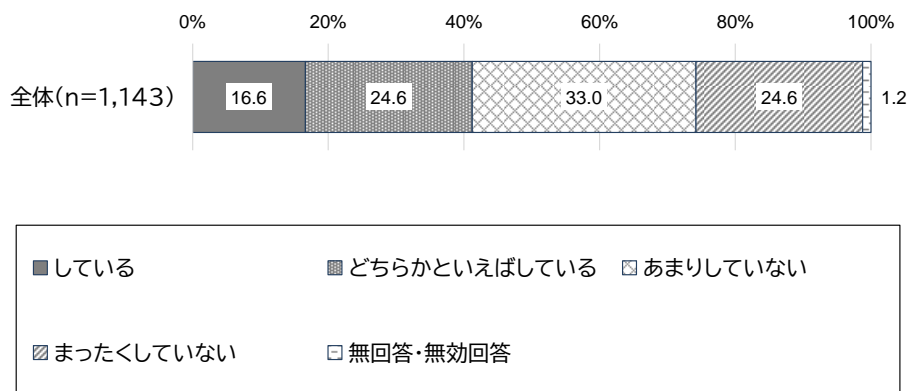


「自分で計画を立てて勉強をしている」については、「している」が 16.6%、「どちらかといえばしている」が 24.6%であった。

【中学2年生子ども問 19C】

あなたは、家で次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 6-90 「自身で計画を立てて勉強をしている」の回答割合 (単純集計)



オ 平日の学校以外での勉強時間

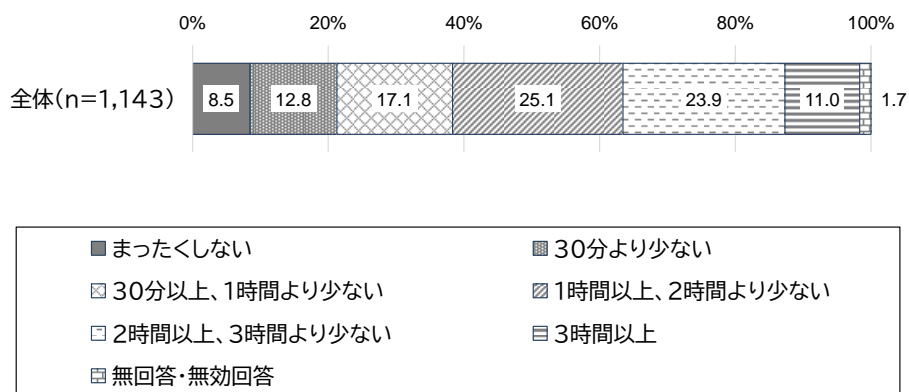
平日の学校以外での勉強時間(1日あたり)については、「1時間以上、2時間より少ない」が 25.1%と最も多く、以下、「2時間以上、3時間より少ない」が 23.9%、「30分以上、1時間より少ない」が 17.1%と続いていた。

困窮層(n=56)では、「30分以上、1時間より少ない」が 30.4%と最も多く、以下、「まったくしない」が 23.2%、「30分より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」がそれぞれ 16.1%で続いていた。

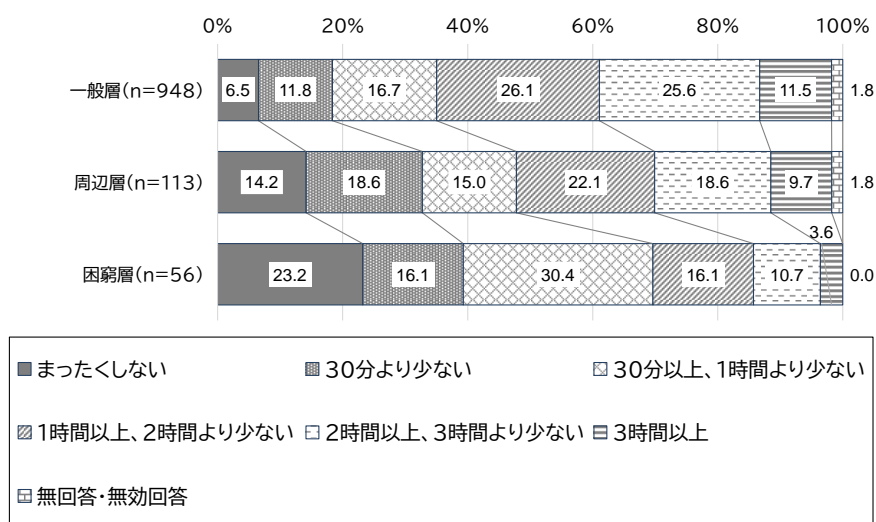
【中学2年生子ども問 20】

あなたは、平日(学校に行く日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。(単一回答)

図表 6-91 平日の学校以外での勉強時間 (単純集計)



図表 6-92 平日の学校以外での勉強時間（生活困難層別クロス集計）



カ 学校への遅刻の頻度

学校への遅刻の頻度については、「遅刻はしない」が 77.2%、「ほとんどしない」が 15.7%となっていた。

前回調査と比較すると、「遅刻はしない」と回答した割合は、今回調査は 77.2%、前回調査は 83.3%で、6.1ポイント減少した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「遅刻はしない」が 68.4%と最も多く、以下、「ほとんどしない」が 20.3%、「毎日またはほとんど毎日」「月に2~3日」が 3.8%と続いていた。

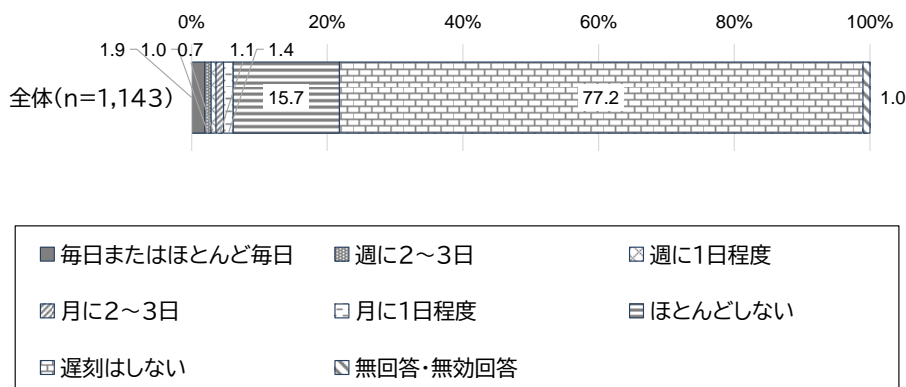
困窮層(n=56)では、「遅刻はしない」が 66.1%と最も多く、以下、「ほとんどしない」が 16.1%、「毎日またはほとんど毎日」が 7.1%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「遅刻はしない」が 68.4%と最も多く、以下、「ほとんどしない」が 15.8%、「毎日またはほとんど毎日」が 6.8%と続いていた。

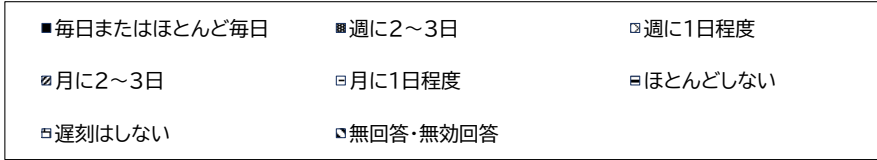
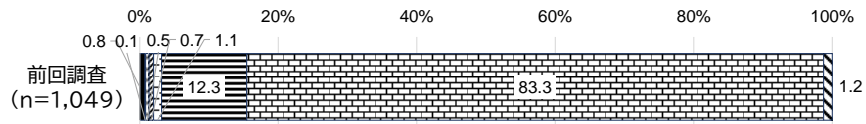
【中学2年生子ども問 21】

あなたは、学校に遅刻することがありますか。(単一回答)

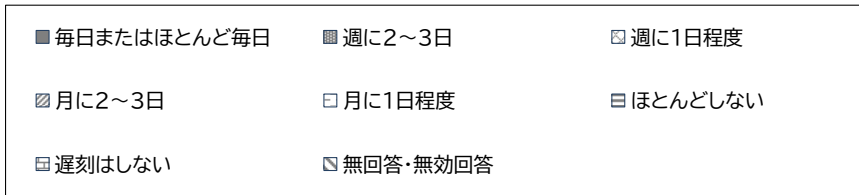
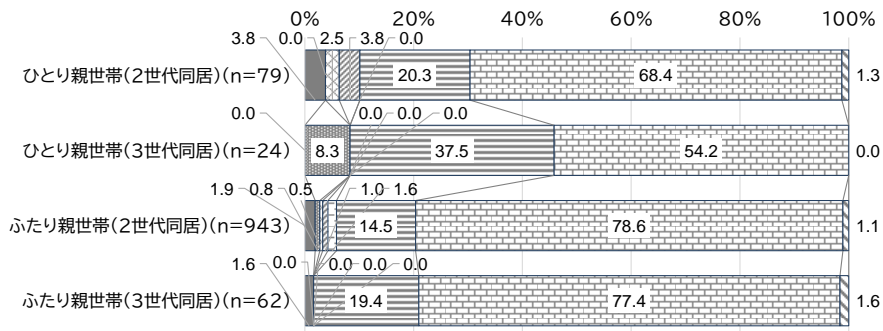
図表 6-93 学校への遅刻 (単純集計)



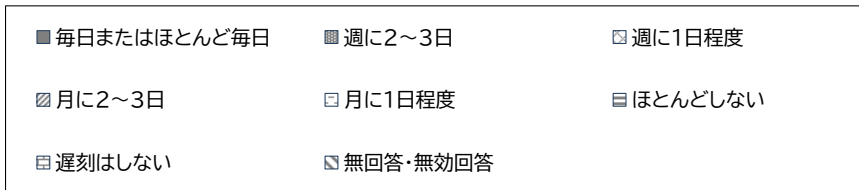
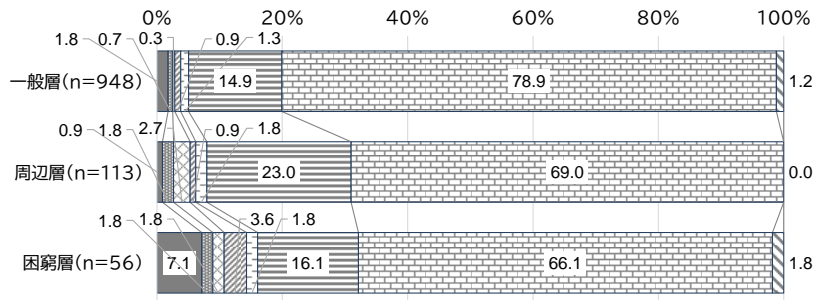
図表 6-94 学校への遅刻（前回調査 単純集計）



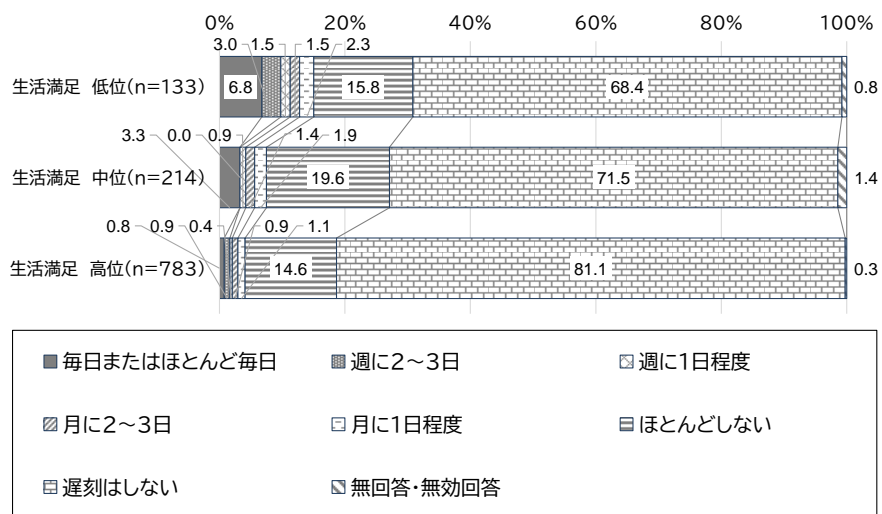
図表 6-95 学校への遅刻（世帯タイプ別クロス集計）



図表 6-96 学校への遅刻（生活困難層別クロス集計）



図表 6-97 学校への遅刻（生活満足度別クロス集計）



(4) あなたがふだん考えていることについてうかがいます

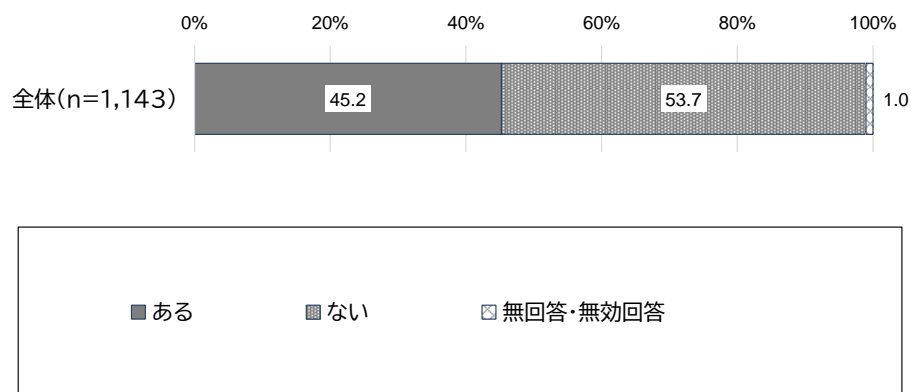
ア 将来の夢

将来の夢については、「ない」が53.7%、「ある」が45.2%となっていた。
前回調査と比較すると、「ない」と回答した割合は、今回調査は53.7%、前回調査は42.8%で、10.9ポイント増加した。

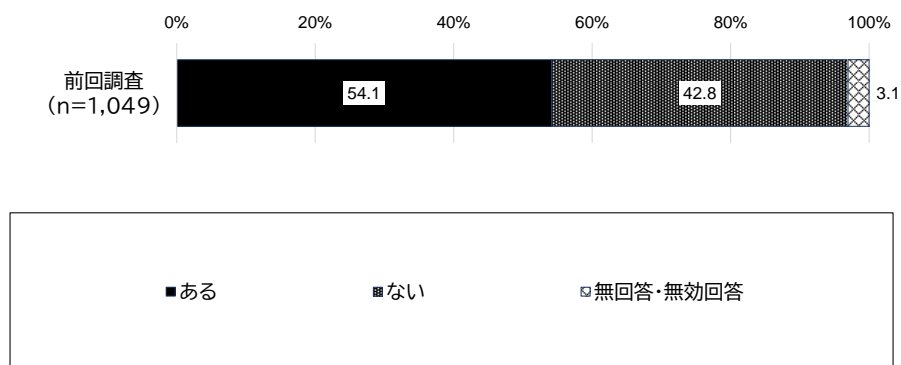
【中学2年生子ども問 22】

あなたは、将来の夢がありますか。(単一回答)

図表 6-98 将来の夢 (単純集計)



図表 6-99 将来の夢 (前回調査 単純集計)



イ 将来の夢の内容(自由記述)

問 22 で将来の夢が1(ある)と回答した方に、夢の内容を尋ねたところ合計 497 件の回答が寄せられた。

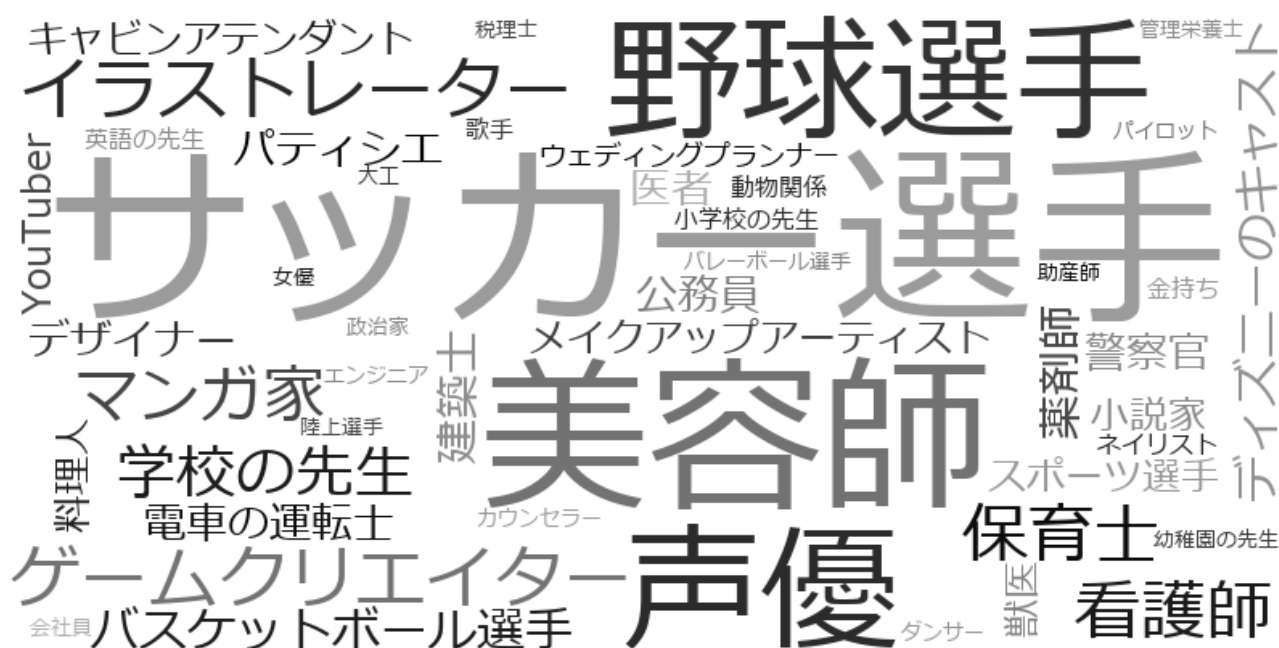
特に多かった職業は、「サッカー選手」「学校の先生」「美容師」「声優」「野球選手」「ゲームクリエイター」「イラストレーター」「看護師」「保育士」「漫画家」となっていた。

自由記述内に多く使われた単語ほど、大きな文字で表示するワードクラウド⁴⁵の手法により、将来の夢の記述内容を視覚化した結果を掲載した。

【中学2年生子ども問 22-1】

問 22 で将来の夢が「1.ある」と答えた人におききします。その夢は何ですか。(自由記述)

図表 6-1 将来の夢の内容 (自由記述から作成したワードクラウド)



※上位 50 件程度を出力しています。

⁴⁵ ワードクラウドとは、テキストデータの中の単語を出現頻度に合わせて大小をつけて視覚化する手法。自由記述に含まれる単語の出現頻度が多いほど文字サイズを大きく表示している。なお、各単語の文字の色の濃さが異なっているが、単語の出現頻度等とは無関係である。

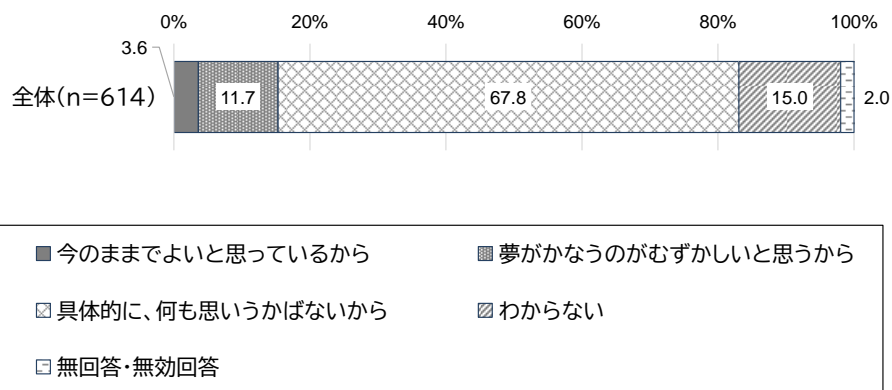
ウ 夢がない理由

問 22 で 2(ない)と回答した方について、夢がない理由としては、「具体的に、何も思いうかばないから」が 67.8%と最も多く、以下、「わからない」が 15.0%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」が 11.7%と続いていた。

【中学2年生子ども問 22-2】

問 22 で将来の夢が「2.ない」と答えた人におききします。夢がない理由は何ですか。(単一回答)

図表 6-100 夢がない理由 (単純集計)



工 進学意向

進学意向については、「大学またはそれ以上」が58.1%と最も多く、以下、「まだわからない」が21.8%、「短大・高専・専門学校まで」が10.8%と続いていた。

前回調査と比較すると、「まだわからない」と回答した割合は、今回調査は21.8%、前回調査は16.3%で、5.5ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「大学またはそれ以上」が48.1%と最も多く、以下、「まだわからない」が25.3%、「短大・高専・専門学校まで」が12.7%と続いていた。

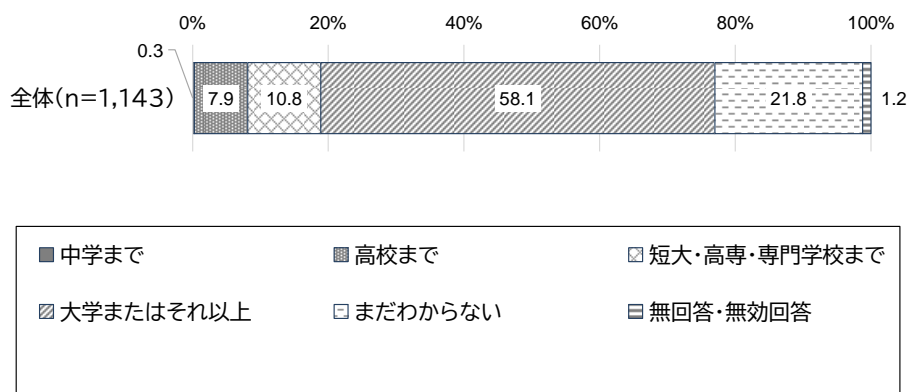
困窮層(n=56)では、「大学またはそれ以上」が35.7%と最も多く、以下、「まだわからない」が32.1%、「高校まで」が16.1%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「大学またはそれ以上」が48.1%と最も多く、以下、「まだわからない」が27.8%、「高校まで」が12.0%と続いていた。

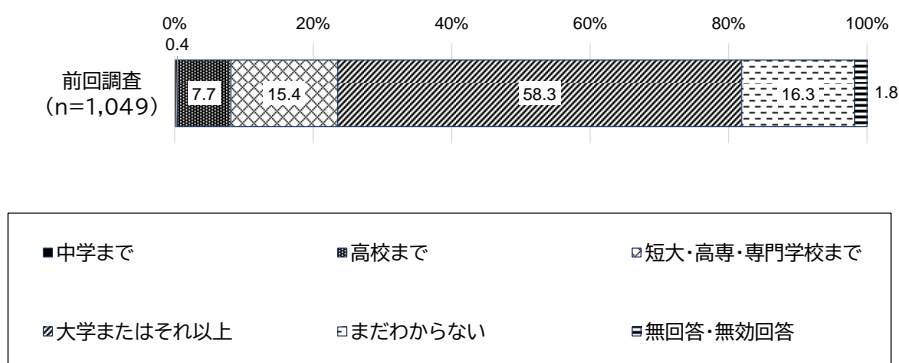
【中学2年生子ども問 23】

あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(単一回答)

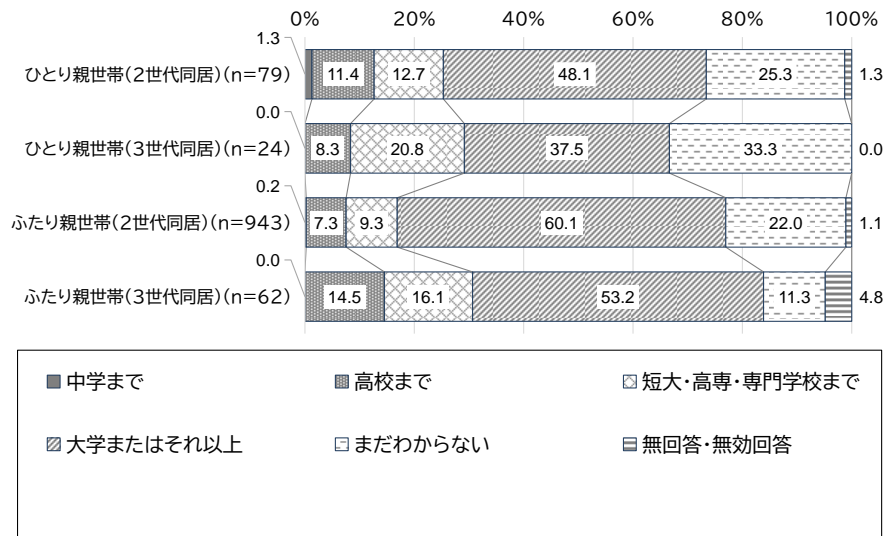
図表 6-101 進学意向 (単純集計)



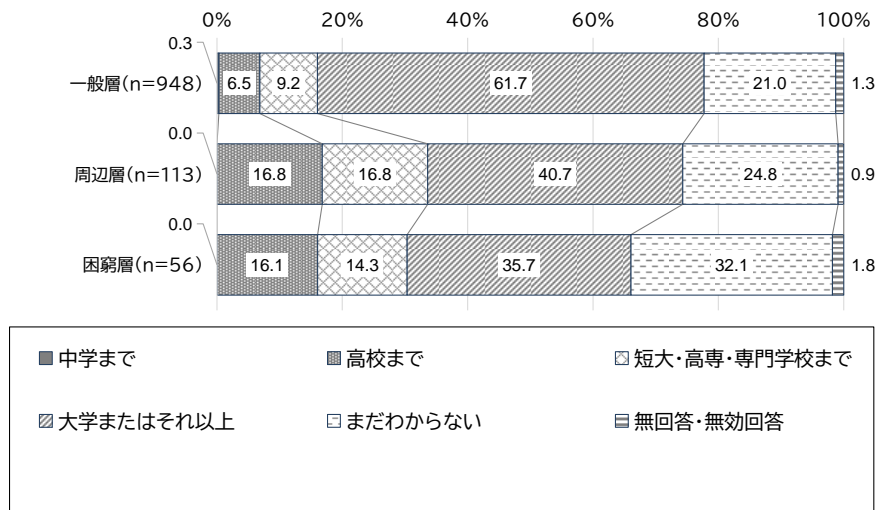
図表 6-102 進学意向 (前回調査 単純集計)



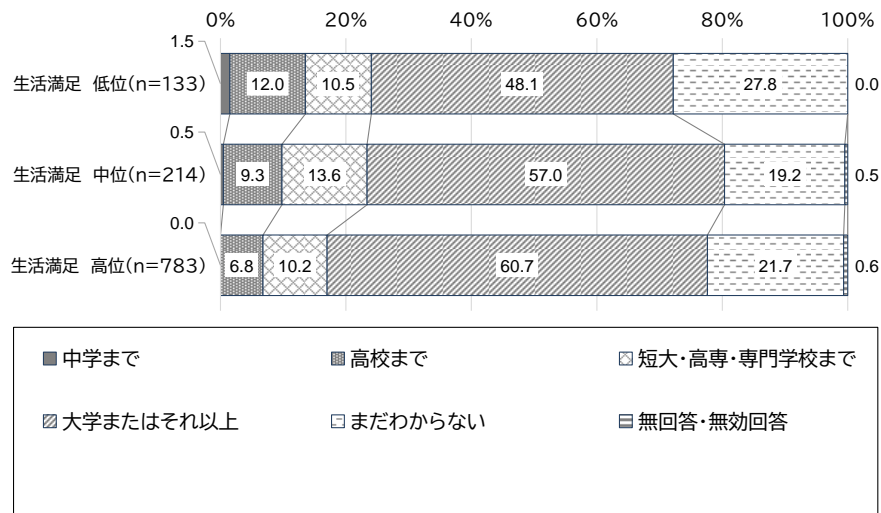
図表 6-103 進学意向（世帯タイプ別クロス集計）



図表 6-104 進学意向（生活困難層別クロス集計）



図表 6-105 進学意向（生活満足度別クロス集計）



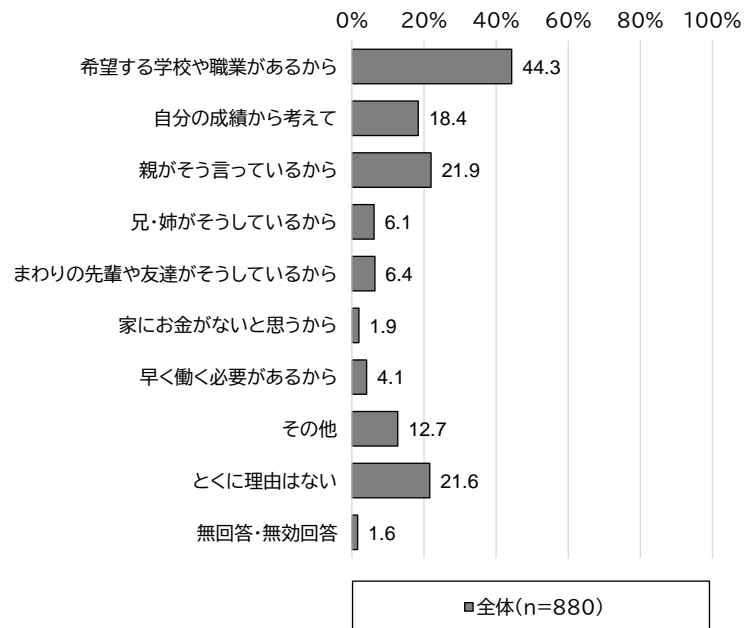
オ 進学したいと考える理由

進学したいと考える理由については、「希望する学校や職業があるから」が 44.3%と最も多く、次いで「親がそう言っているから」が 21.9%となっていた。また、「とくに理由はない」も 21.6%となっていた。

【中学2年生子ども問 23-1】

前の質問で1～4と答えた場合、その理由を教えてください。（複数回答）

図表 6-106 進学したいと考える理由（単純集計）



カ 生活満足度

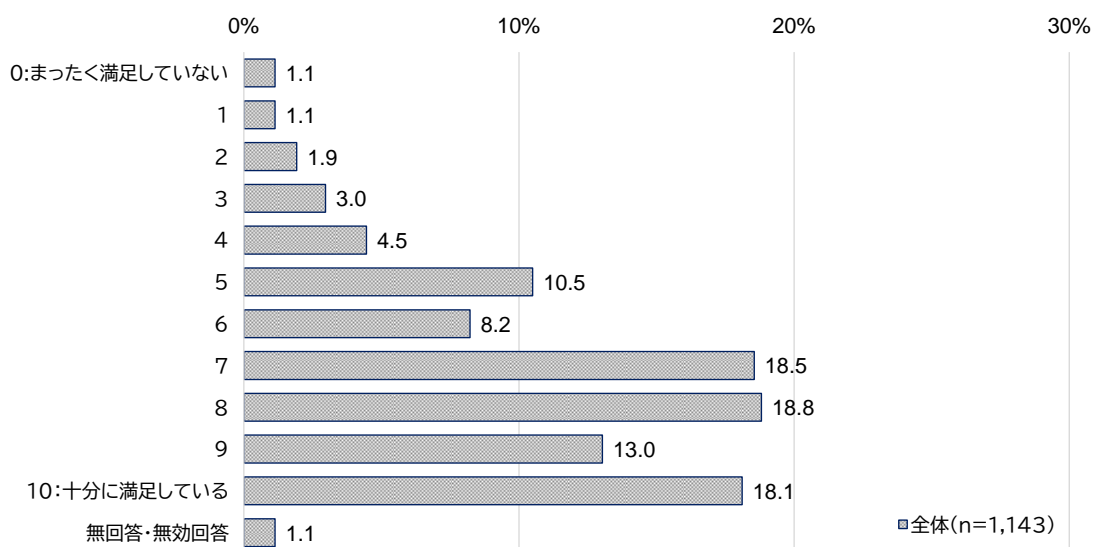
生活満足度については、「0～4」と回答した割合の合計は 11.6%、「5～6」と回答した割合の合計は 18.7%、「7～10」と回答した割合の合計は 68.4%であった。

困窮層(n=56)では、「0～4」と回答した割合の合計は 33.8%、「5～6」と回答した割合の合計は 23.2%、「7～10」と回答した割合の合計は 41.1%であった。

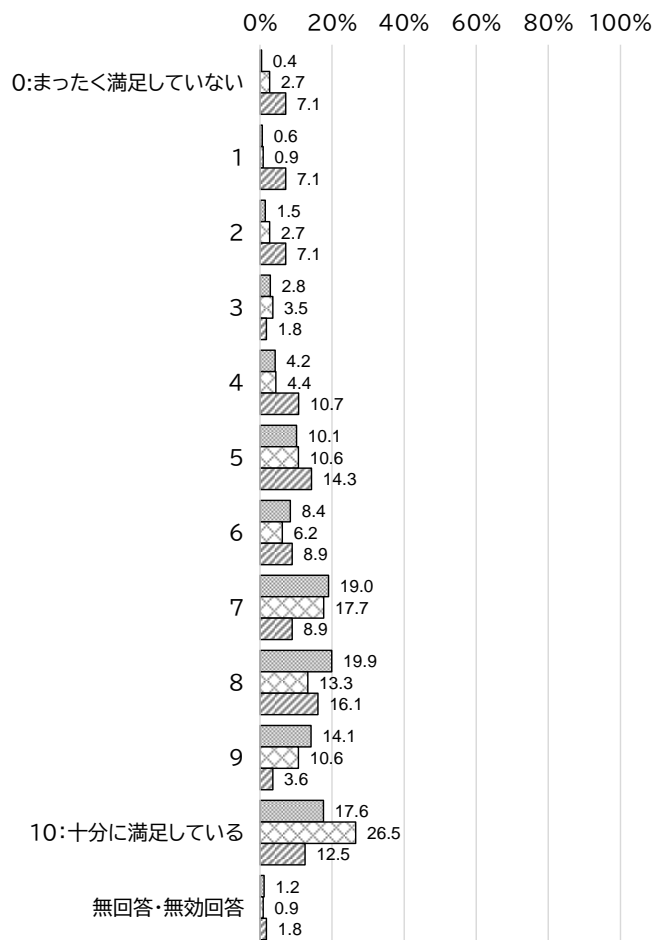
【中学2年生子ども問 24】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で答えてください。(単一回答)

図表 6-107 生活満足度 (単純集計)



図表 6-108 生活満足度（生活困難層別クロス集計）



一般層(n=948)
 周辺層(n=113)
 困窮層(n=56)

キ 自分の思いや気持ちについて

「自分のことが好きだ」については、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は56.0%であった。

前回調査と比較すると、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は、前回調査は48.4%で、7.6ポイント増加した。

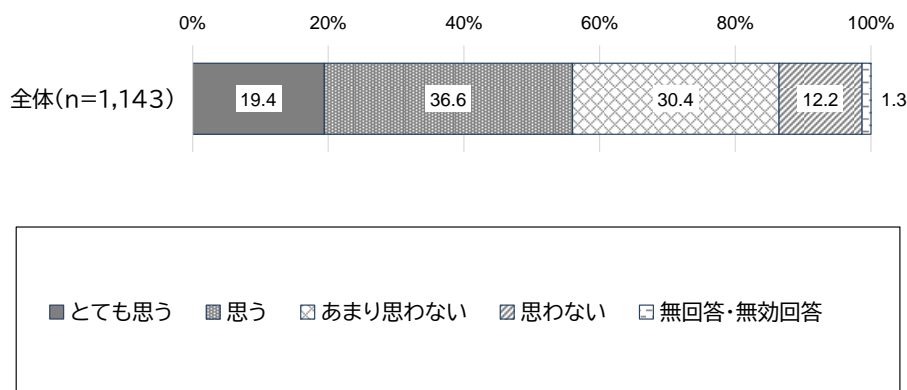
困窮層(n=56)では、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は48.2%であった。

生活満足 低位(n=133)では、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は21.1%であった。

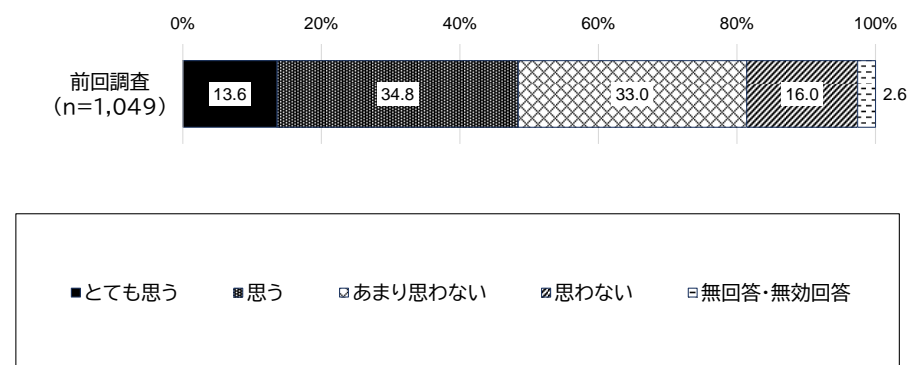
【中学2年生子ども問 25A】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

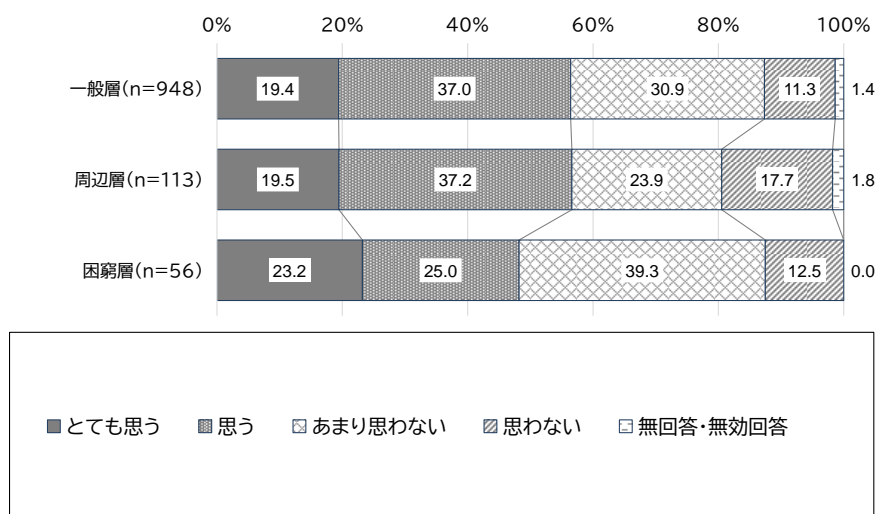
図表 6-109 「自分のことが好きだ」の回答割合 (単純集計)



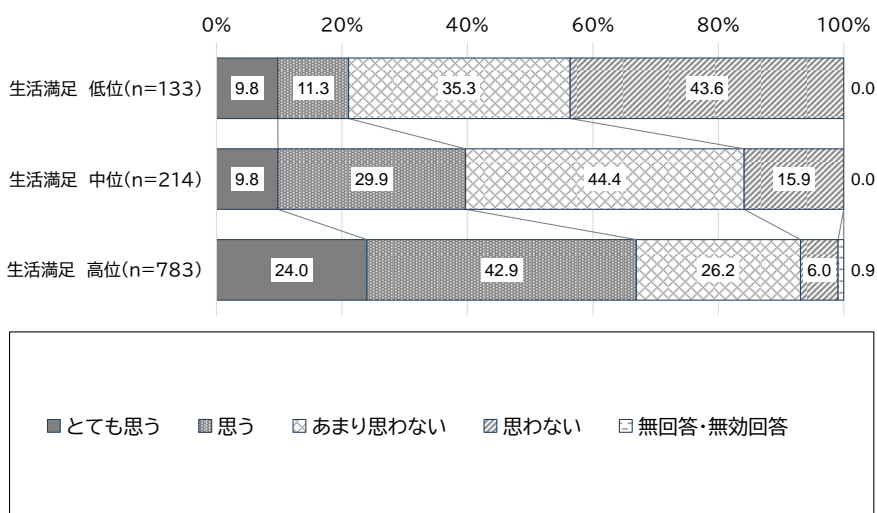
図表 6-110 「自分のことが好きだ」の回答割合 (前回調査 単純集計)



図表 6-111 「自分のことが好きだ」の回答割合（生活困難層別クロス集計）



図表 6-112 「自分のことが好きだ」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

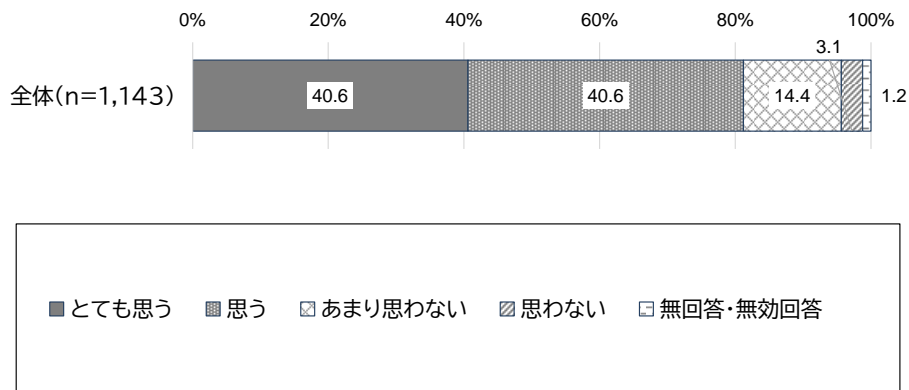


「楽しみにしていることがたくさんある」については、楽しみにしていることがたくさんある(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 81.2%であった。

【中学2年生子ども問 25B】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-113 「楽しみにしていることがたくさんある」の回答割合 (単純集計)



「自分の将来が楽しみだ」については、自分のことが好きだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 55.6%であった。

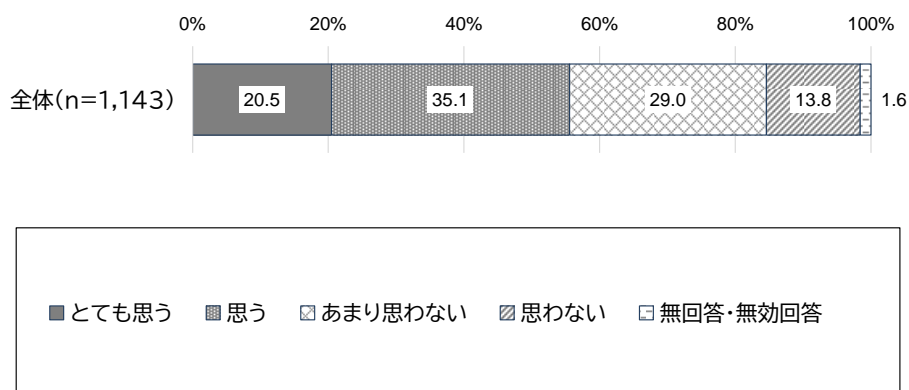
前回調査と比較すると、自分の将来が楽しみだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は、前回調査は 61.1%で、5.5 ポイント減少した。

生活満足 低位(n=133)では、自分の将来が楽しみだ(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 30.8%であった。

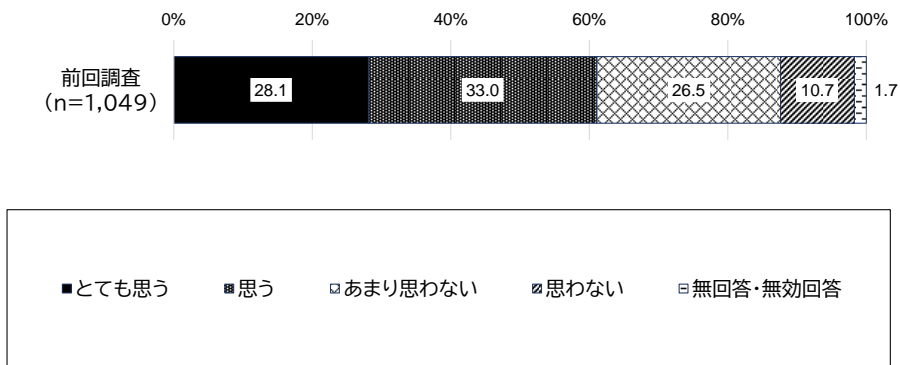
【中学2年生子ども問 25C】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

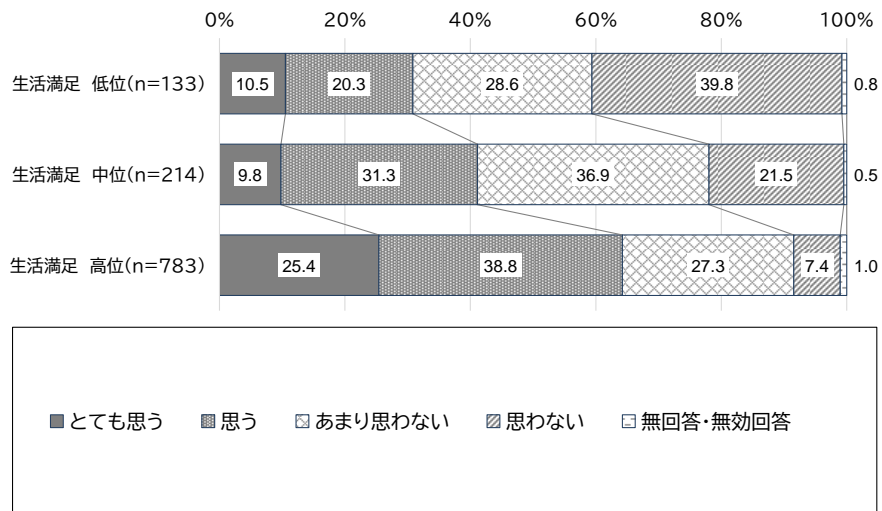
図表 6-114 「自分の将来が楽しみだ」の回答割合 (単純集計)



図表 6-115 「自分の将来が楽しみだ」の回答割合（前回調査 単純集計）



図表 6-116 「自分の将来が楽しみだ」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

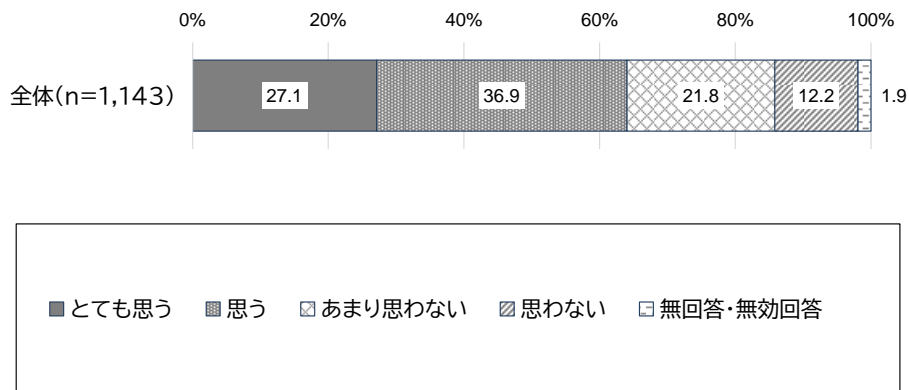


「不安に感じることがある」については、不安に感じることがある(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 64.0%であった。

【中学2年生子ども問 25D】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-117 「不安に感じることがある」の回答割合 (単純集計)

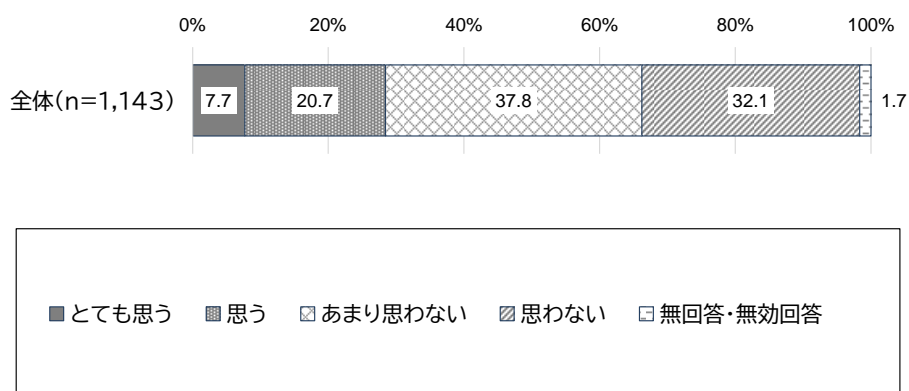


「ひとりぼっちだと感じることがある」については、ひとりぼっちだと感じることがある(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 28.4%であった。

【中学2年生子ども問 25E】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-118 「ひとりぼっちだと感じることがある」の回答割合 (単純集計)

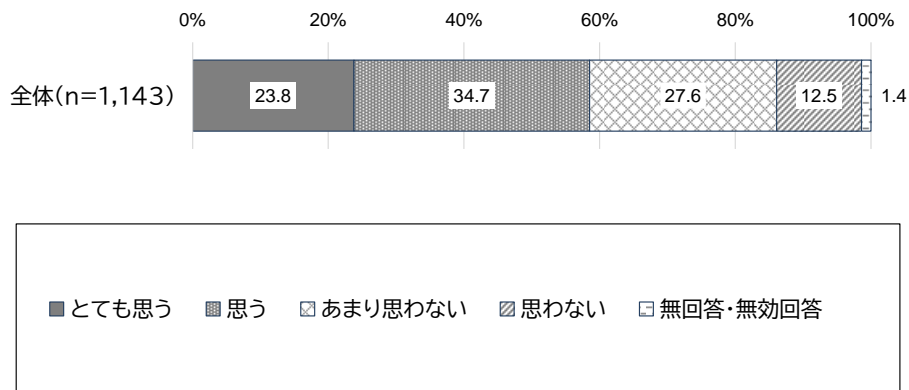


「落ち込んでいてもすぐに元気になれる」については、落ち込んでいてもすぐに元気になれる(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 58.5%であった。

【中学2年生子ども問 25F】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-119 「落ち込んでいてもすぐに元気になれる」の回答割合 (単純集計)

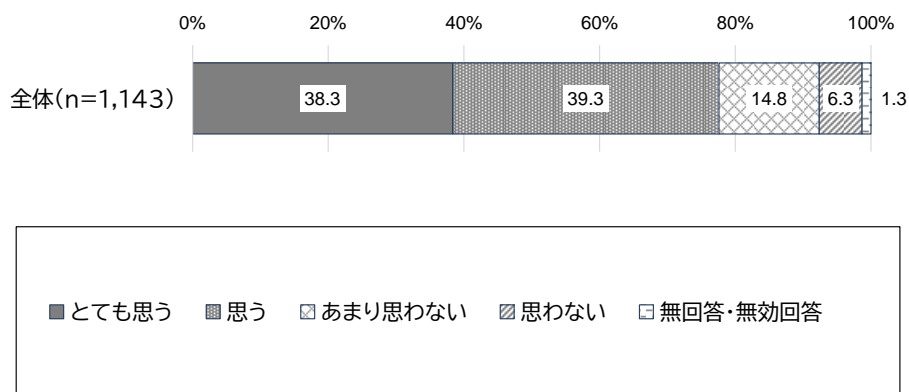


「がんばれば、よい結果が出ると思う」については、がんばれば、よい結果が出ると思う(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は 77.6%であった。

【中学2年生子ども問 25G】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-120 「がんばれば、よい結果が出ると思う」の回答割合 (単純集計)



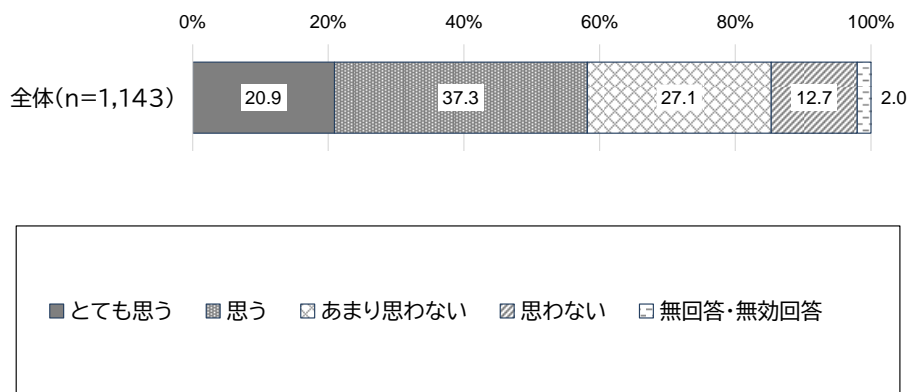
「自分は価値のある人間だと思う」は、自分は価値のある人間だと思う(「とても思う」、「思う」の合計)は58.2%であった。

生活満足 低位(n=133)では、自分は価値のある人間だと思う(「とても思う」、「思う」の合計)と回答した割合は32.3%であった。

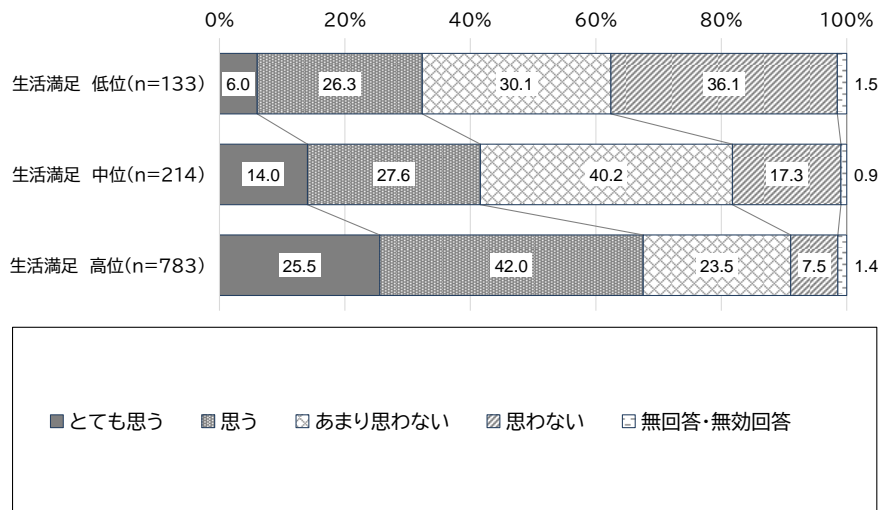
【中学2年生子ども問 25H】

あなたの思いや気持ちについて、「1(とても思う)」から「4(思わない)」のもっとも近いものに○をつけてください。(単一回答)

図表 6-121 「自分は価値のある人間だと思う」の回答割合 (単純集計)



図表 6-122 「自分は価値のある人間だと思う」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)



ク 悩み等の相談相手

悩み等の相談相手については、「誰にも相談したくない・できない」が 14.5%であった。相談相手としては、「お母さん・お父さん」が 57.9%、「学校の友だち」が 57.6%、「きょうだい」が 16.5%であった。

前回調査と比較すると、「学校の友だち」と回答した割合は、今回調査は 57.6%、前回調査は 67.3%で、9.7ポイント減少した。

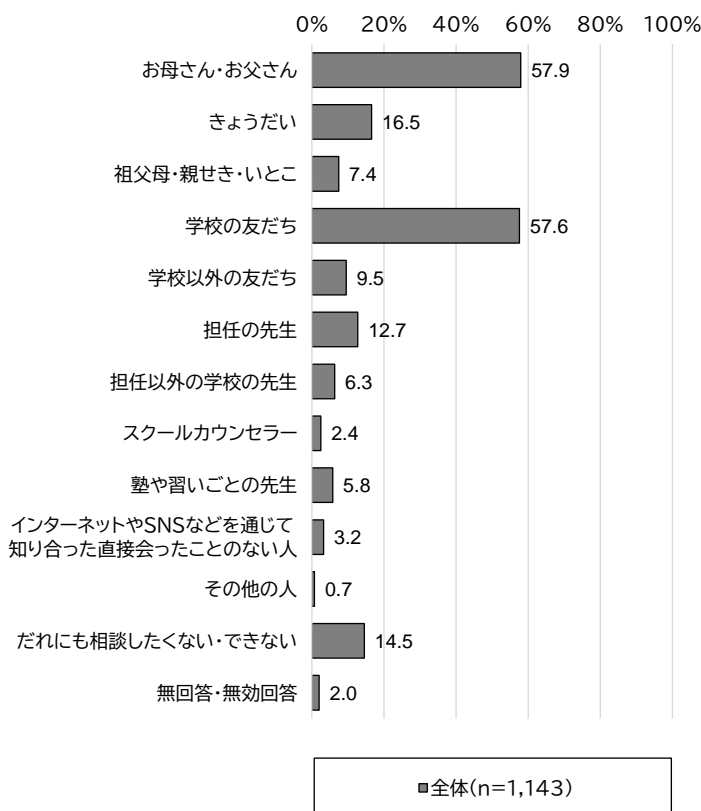
困窮層(n=56)では、「誰にも相談したくない・できない」が 14.3%であった。相談相手としては、「お母さん・お父さん」が 60.7%、「学校の友だち」が 46.4%、「きょうだい」が 21.4%であった。

生活満足 低位(n=133)では、「誰にも相談したくない・できない」が 26.3%であった。相談相手としては、「学校の友だち」が 39.8%、「お母さん・お父さん」が 33.8%であった。

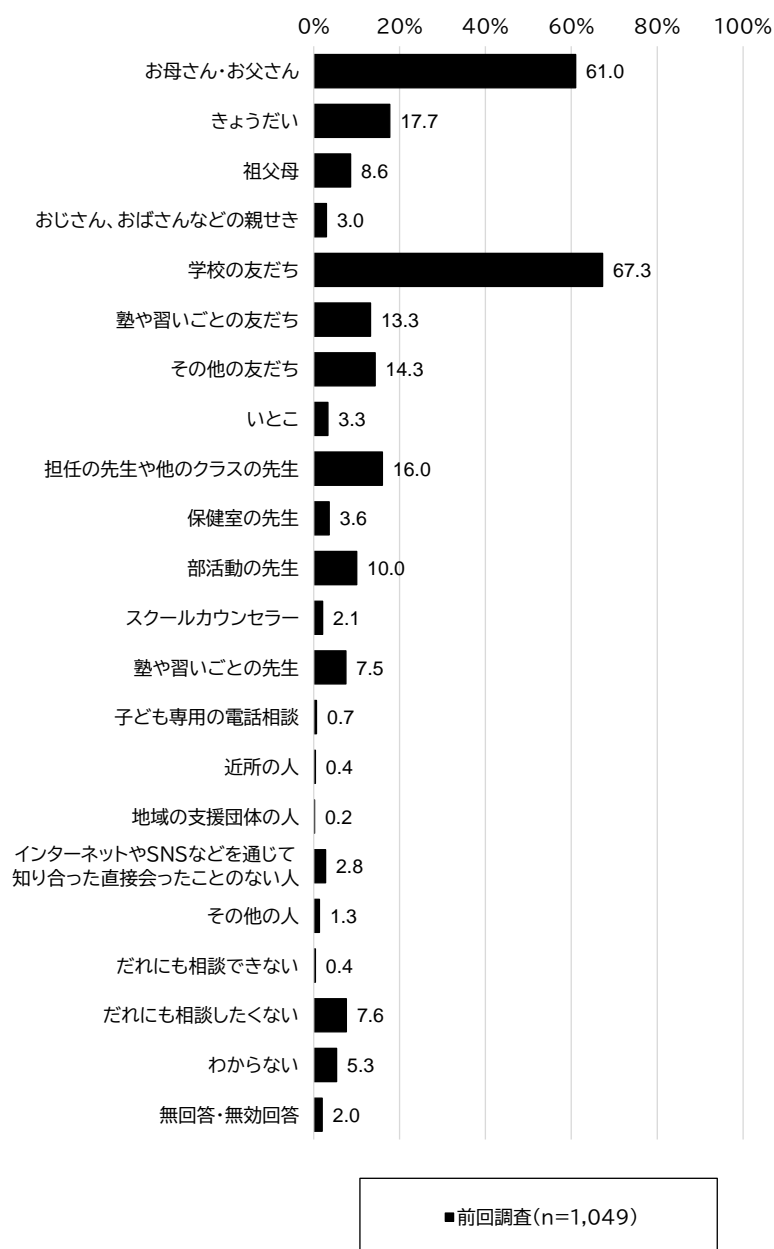
【中学2年生子ども問 26】

あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか(だれに話しますか)。(複数回答)

図表 6-123 悩み等の相談相手 (単純集計)

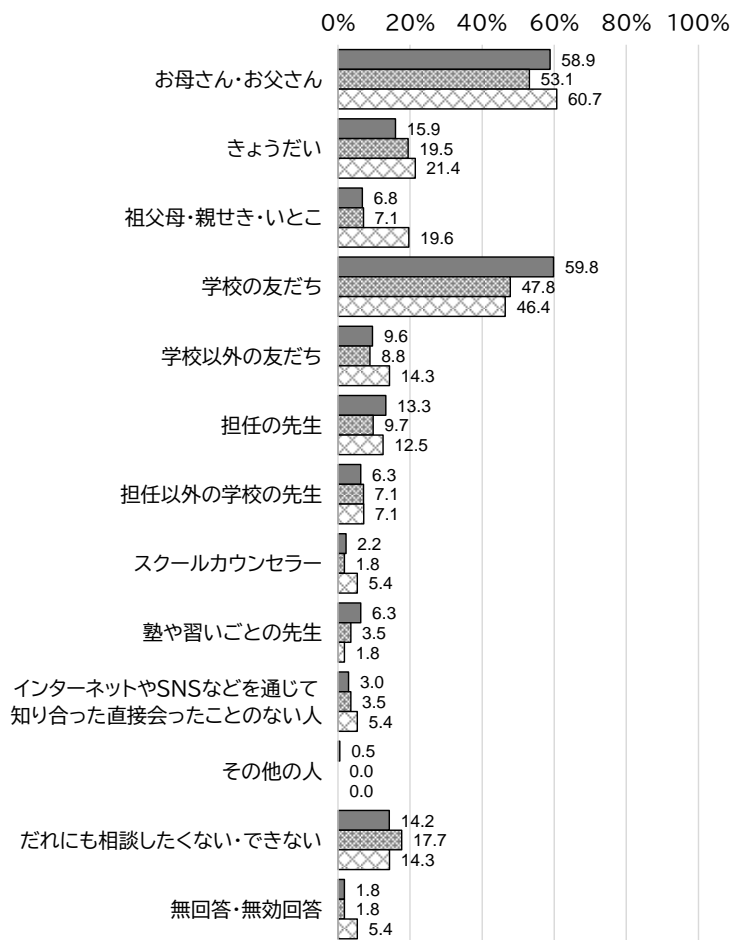


図表 6-124 悩み等の相談相手（前回調査 単純集計）⁴⁶



⁴⁶ 前回調査と「祖父母」「おじさん、おばさんなどの親せき」「塾や習いごとの友だち」「その他の友だち」「いとこ」「担任の先生や他のクラスの先生」「保健室の先生」「部活動の先生」「子ども専用の電話相談」「近所の人」「地域の支援団体」「わからない」の選択肢が異なる点に留意が必要。

図表 6-125 悩み等の相談相手（生活困難層別クロス集計）

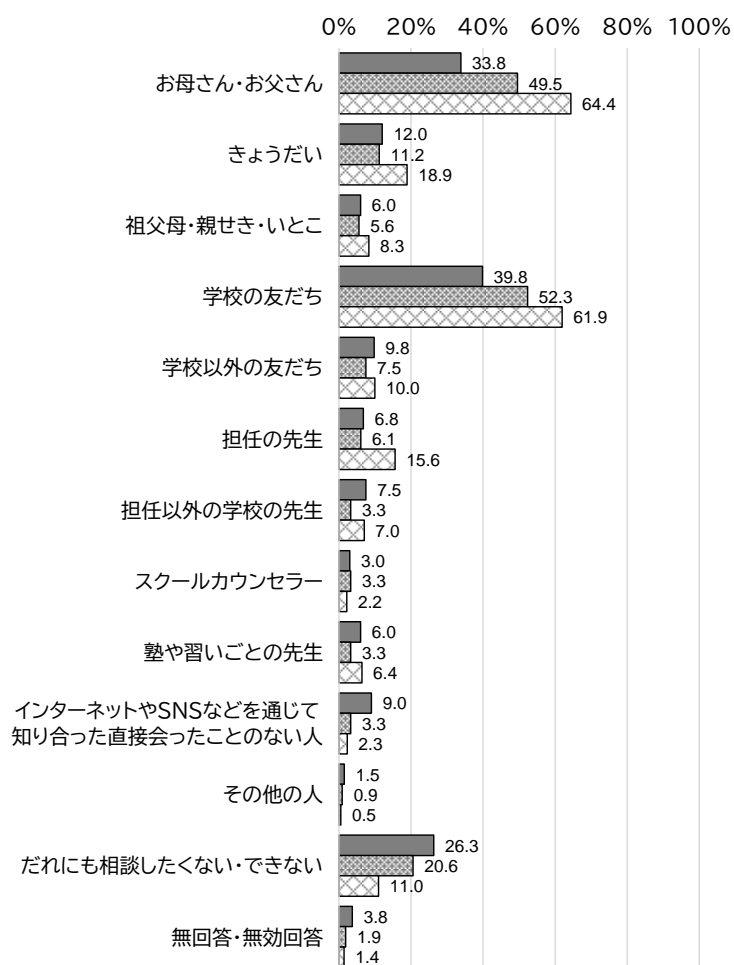


■一般層 (n=948)

▨周辺層 (n=113)

▤困窮層 (n=56)

図表 6-126 悩み等の相談相手（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=133) ■生活満足 中位(n=214) □生活満足 高位(n=783)

ケ 支援ニーズ

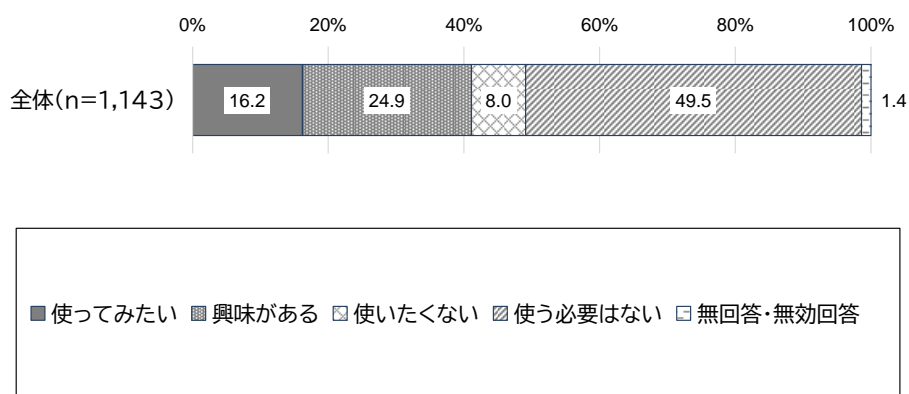
「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」については、「使ってみたい」が 16.2%、「興味がある」が 24.9%であった。

前回調査と比較すると、「使ってみたい」が「興味がある」と回答した割合の合計は、今回調査は 41.1%、前回調査は 36.0%で、5.1 ポイント増加した。

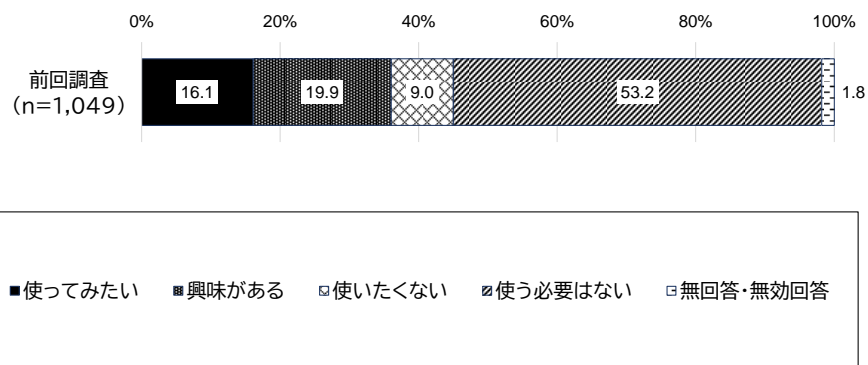
【中学2年生子ども問 27A】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-127 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」の回答割合 (単純集計)



図表 6-128 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」の回答割合 (前回調査 単純集計)



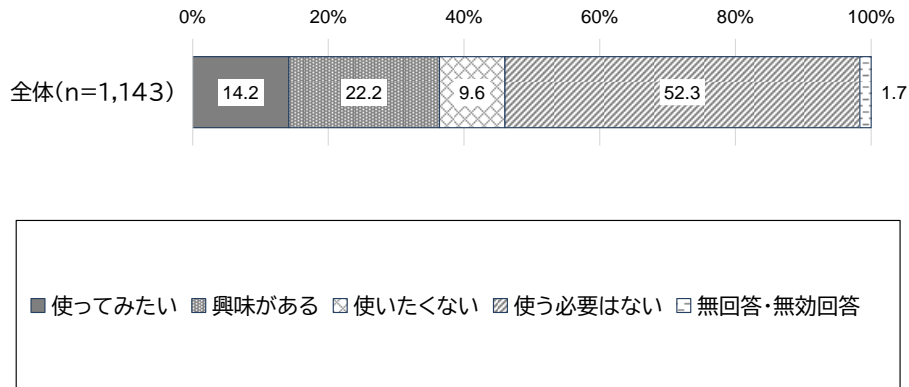
「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時以降にすることができる場所」については、「使ってみたい」が 14.2%、「興味がある」が 22.2%であった。

生活満足 低位(n=133)では、「使ってみたい」「興味がある」が 24.1%であった。

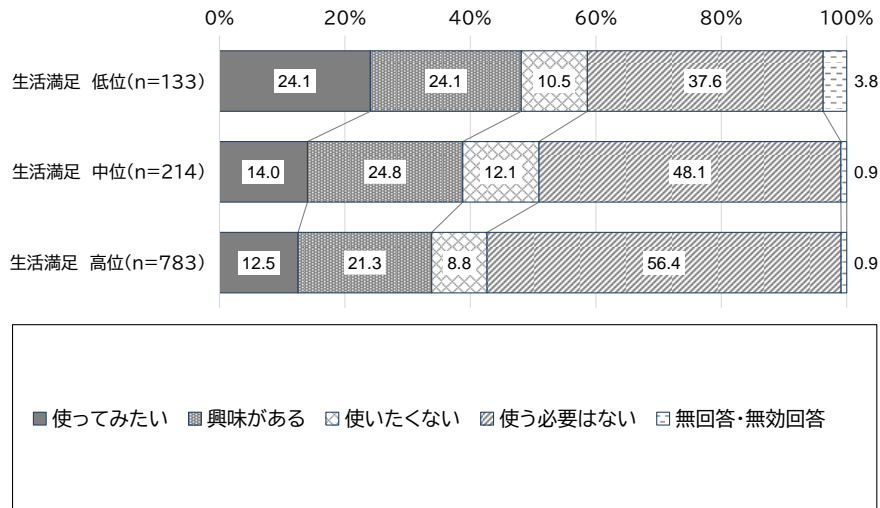
【中学2年生子ども問 27B】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-129 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時以降にすることができる場所」の回答割合
(単純集計)



図表 6-130 「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時以降にすることができる場所」の回答割合
(生活満足度別クロス集計)



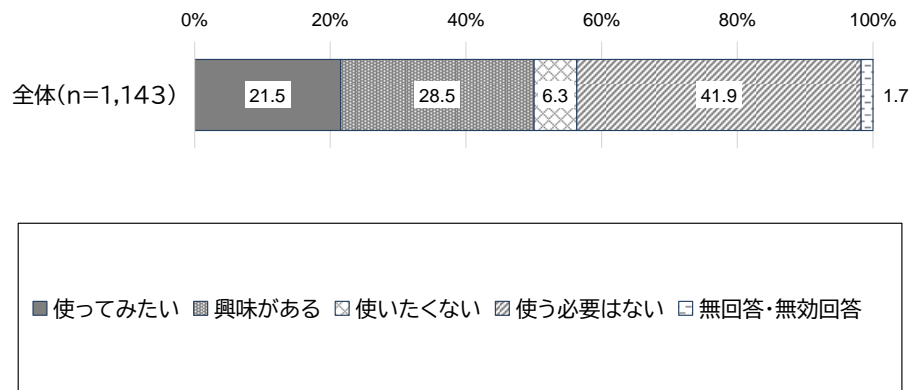
「家以外で休日にいることができる場所」については、「使ってみたい」が 21.5%、「興味がある」が 28.5%であった。

前回調査と比較すると、「使ってみたい」か「興味がある」と回答した割合の合計は、今回調査は 50.0%、前回調査は43.0%で、7.0 ポイント増加した。

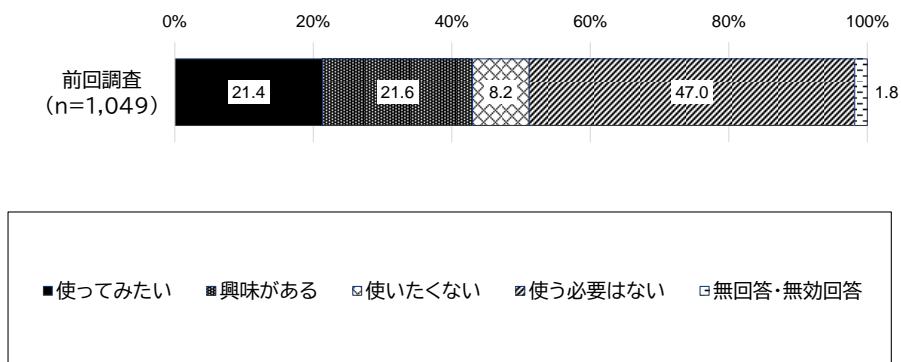
【中学2年生子ども問 27C】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-131 「家以外で休日にいることができる場所」の回答割合 (単純集計)



図表 6-132 「家以外で休日にいることができる場所」の回答割合 (前回調査 単純集計)

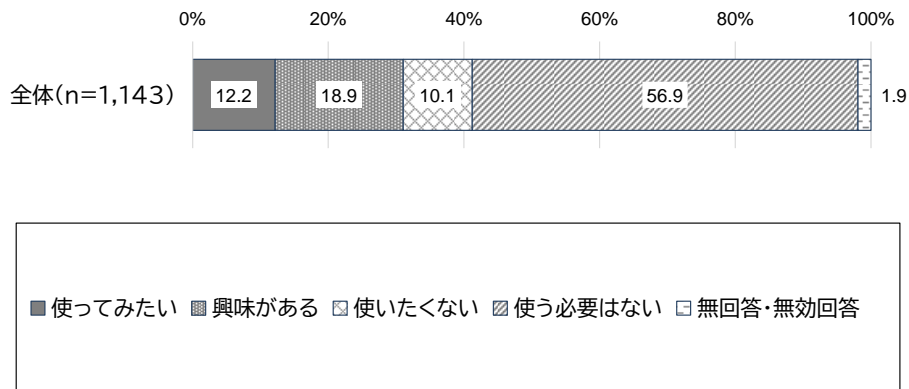


「おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」については、「使ってみたい」が12.2%、「興味がある」が18.9%であった。

【中学2年生子ども問 27D】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-133 「おうちの人がない時、夕ごはんをみんなで食べることができる場所」の回答割合
(単純集計)

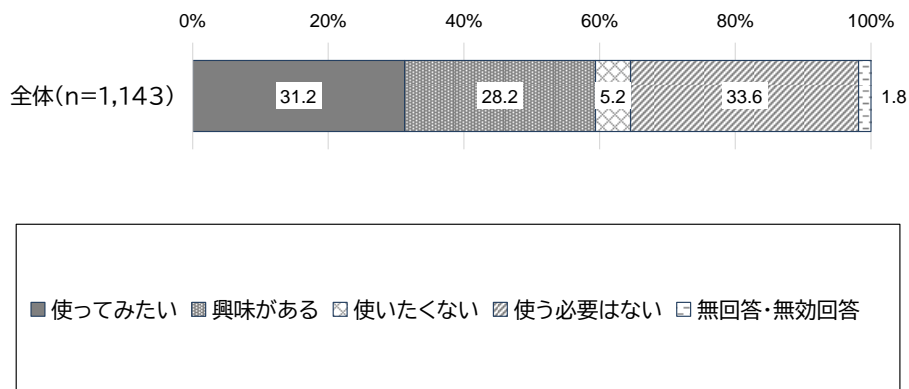


「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」については、「使ってみたい」が31.2%、「興味がある」が28.2%であった。

【中学2年生子ども問 27E】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-134 「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」の回答割合 (単純集計)

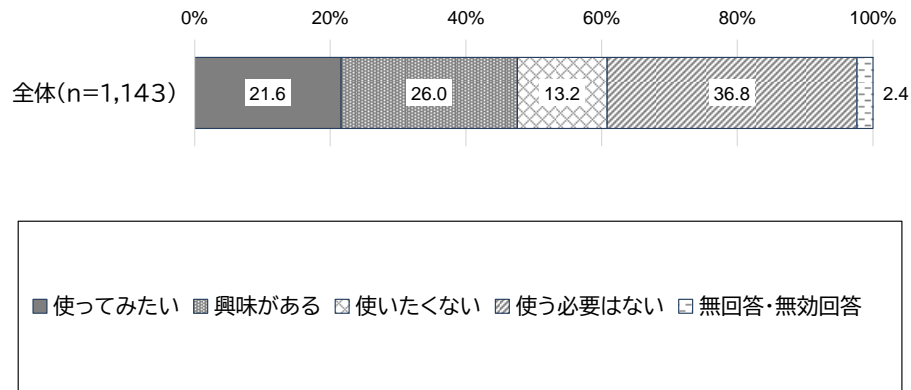


「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」については、「使ってみたい」が 21.6%、「興味がある」が 26.0%であった。

【中学2年生子ども問 27F】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-135 「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」の回答割合 (単純集計)

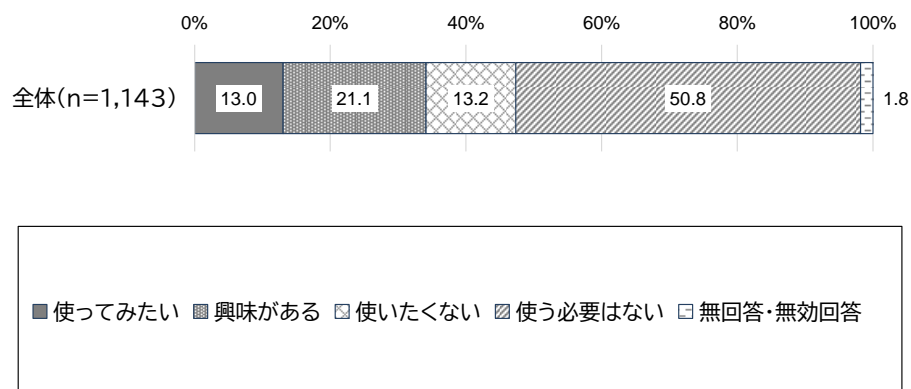


「学校以外で、なんでも相談できる場所」については、「使ってみたい」が 13.0%、「興味がある」が 21.1%であった。

【中学2年生子ども問 27G】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-136 「学校以外で、なんでも相談できる場所」の回答割合 (単純集計)

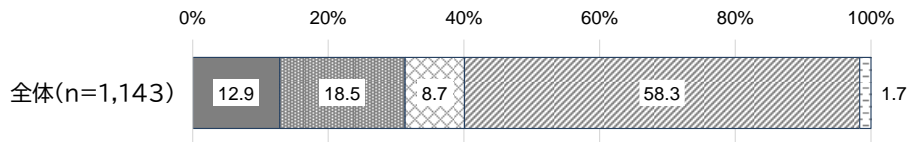


「夏休みの間、昼ごはんを出してくれる場所」については、「使ってみたい」が 12.9%、「興味がある」が 18.5%であった。

【中学2年生子ども問 27H】

あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(単一回答)

図表 6-137 「夏休みの間、昼ごはんを出してくれる場所」の回答割合 (単純集計)



■ 使ってみたい ■ 興味がある □ 使いたくない ▨ 使う必要はない □ 無回答・無効回答

コ 不登校傾向、いじめ等の経験

「学校に行きたくないと思った」ことについては、「時々あった」が 34.7%と最も多く、以下、「なかった」が 25.0%、「あまりなかった」が 20.3%、「よくあった」が 16.9%と続いていた。

前回調査と比較すると、「よくあった」が「時々あった」と回答した割合の合計は、今回調査は 51.6%、前回調査は 41.1%で、10.5 ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「時々あった」が 38.0%と最も多く、以下、「よくあった」が 22.8%、「あまりなかった」が 17.7%と続いていた。

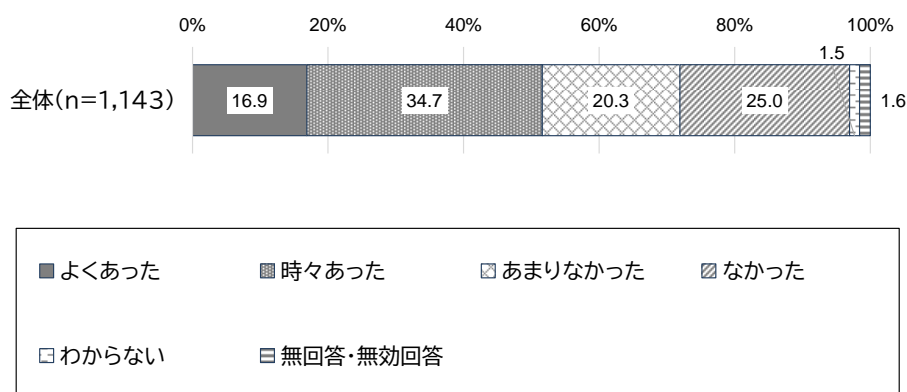
困窮層(n=56)では、「よくあった」が 30.4%と最も多く、以下、「なかった」が 26.8%、「時々あった」が 25.0%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「よくあった」が 48.1%と最も多く、以下、「時々あった」が 33.1%、「なかった」が 7.5%と続いていた。

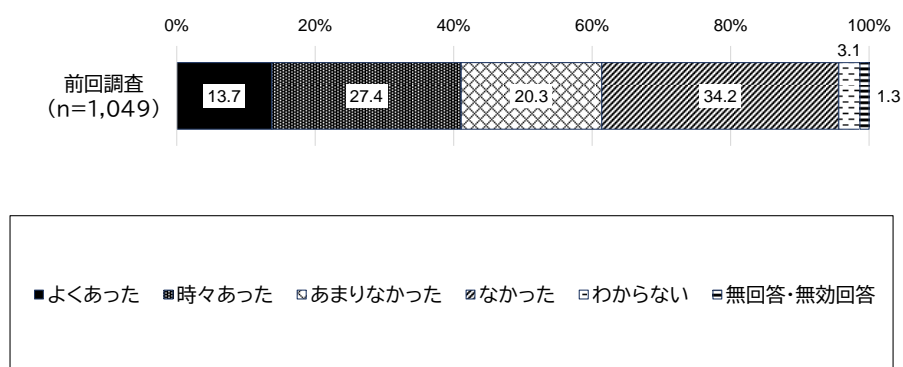
【中学2年生子ども問 28A】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

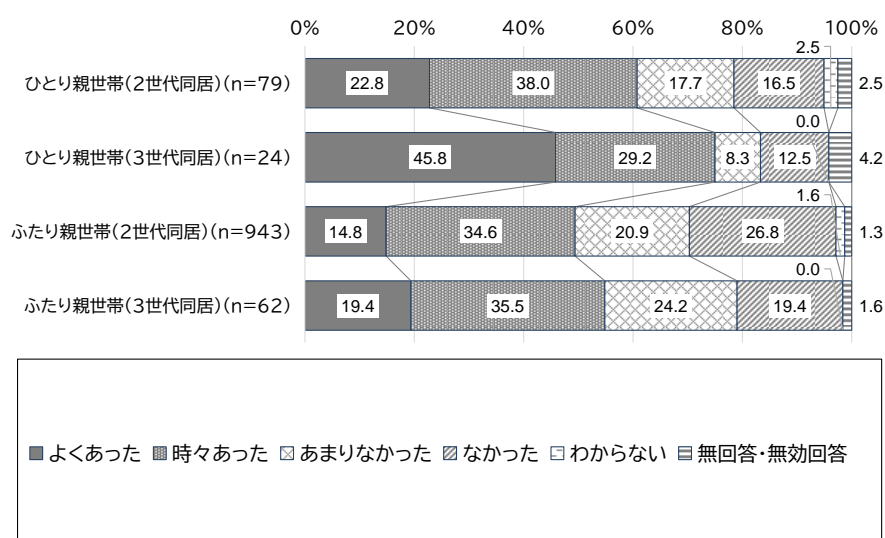
図表 6-138 「学校に行きたくないと思った」の回答割合 (単純集計)



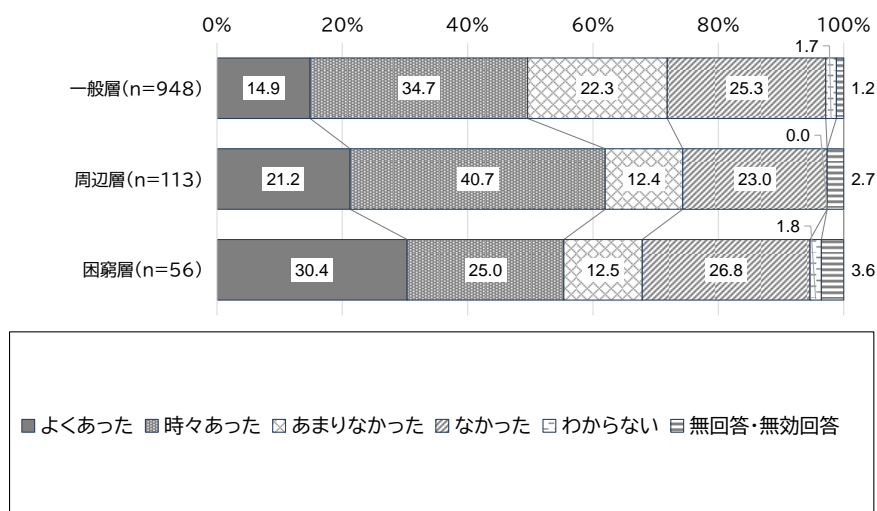
図表 6-139 「学校に行きたくないと思った」の回答割合（前回調査 単純集計）



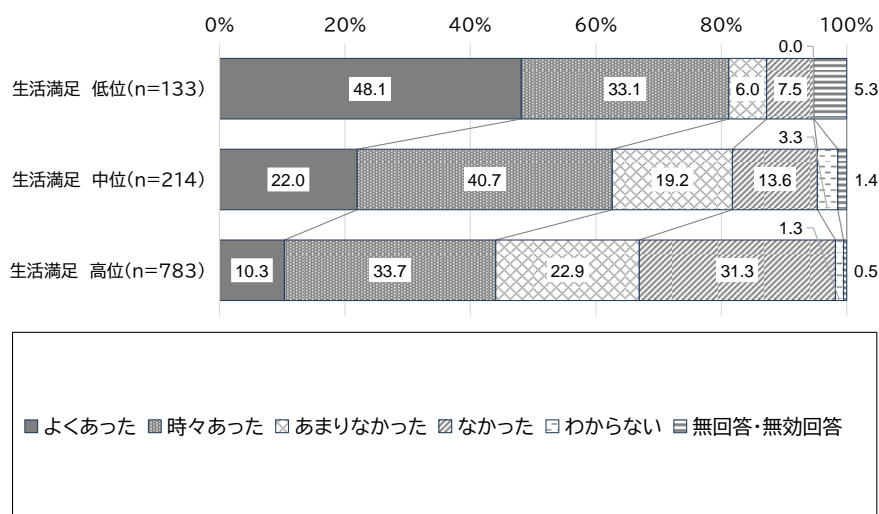
図表 6-140 「学校に行きたくないと思った」の回答割合（世帯タイプ別クロス集計）



図表 6-141 「学校に行きたくないと思った」の回答割合（生活困難層別クロス集計）



図表 6-142 「学校に行きたくないと思った」の回答割合（生活満足度別クロス集計）



「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」ことについては、「なかった」が 92.7%と最も多く、「よくあった」が 2.4%、「あまりなかった」が 1.7%、「時々あった」が 0.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「なかった」が 82.3%と最も多く、「時々あった」「あまりなかった」がそれぞれ 5.1%、「よくあった」が 2.5%となっていた。

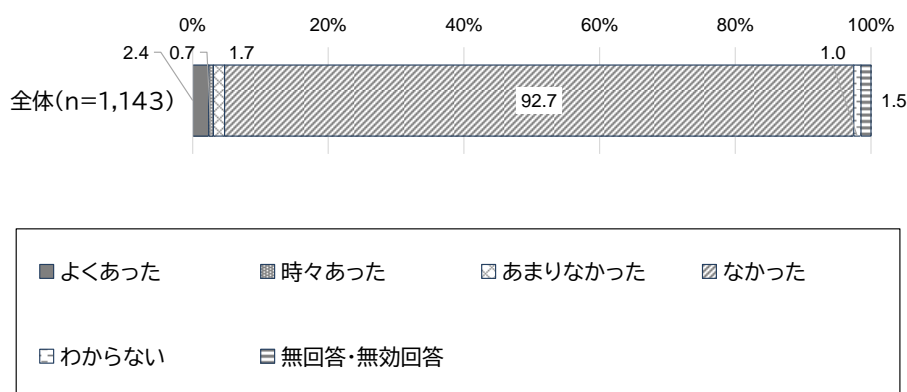
困窮層(n=56)では、「なかった」が 76.8%と最も多く、以下、「時々あった」「あまりなかった」がそれぞれ 7.1%、「よくあった」が 3.6%となっていた。

生活満足 低位(n=133)では、「なかった」が 83.5%と最も多く、「よくあった」が 6.0%、「あまりなかった」が 3.8%、「時々あった」が 1.5%であった。

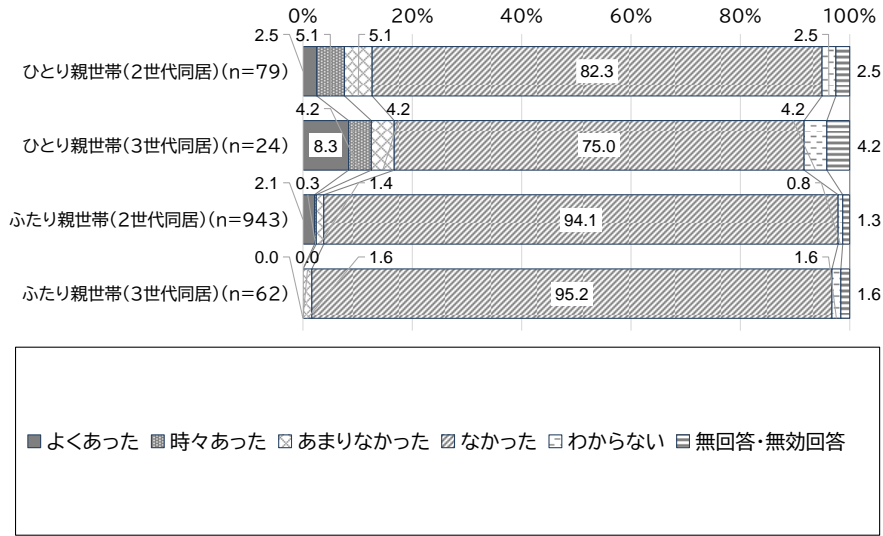
【中学2年生子ども問 28B】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

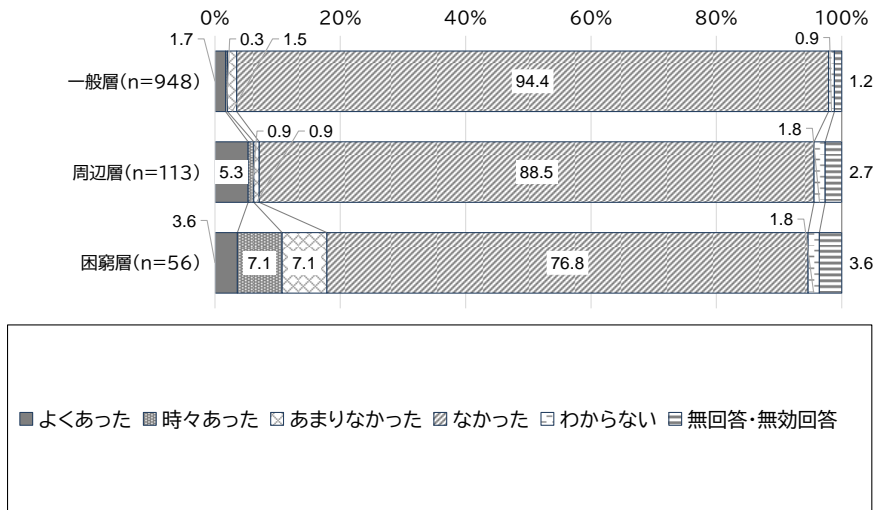
図表 6-143 「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」の回答割合（単純集計）



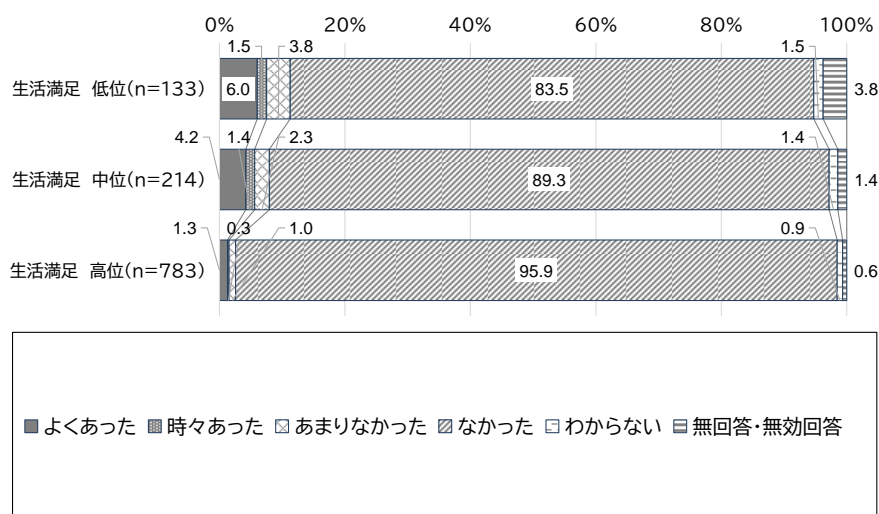
図表 6-144 「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」の回答割合 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 6-145 「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」の回答割合 (生活困難層別クロス集計)



図表 6-146 「1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)」の回答割合 (生活満足度別クロス集計)

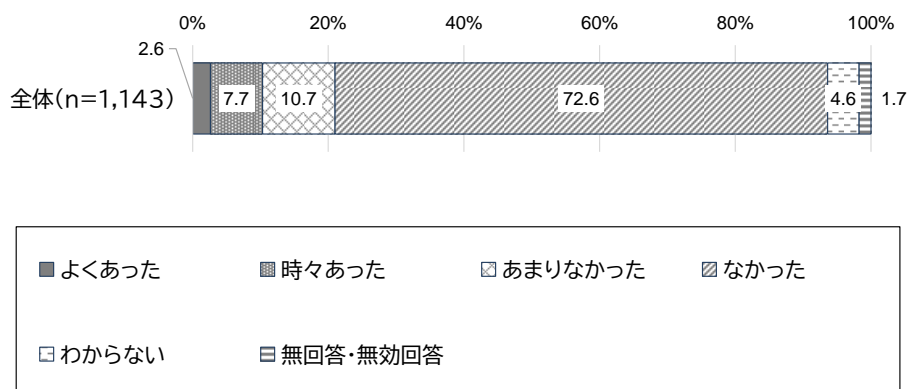


「いじめられた」ことは、「なかった」が72.6%と最も多く、「あまりなかった」が10.7%、「時々あった」が7.7%、「よくあった」が2.6%となっていた。
 生活満足 低位(n=133)では、「なかった」が54.1%と最も多く、以下、「あまりなかった」が18.0%、「時々あった」が10.5%、「あった」が6.0%と続いていた。

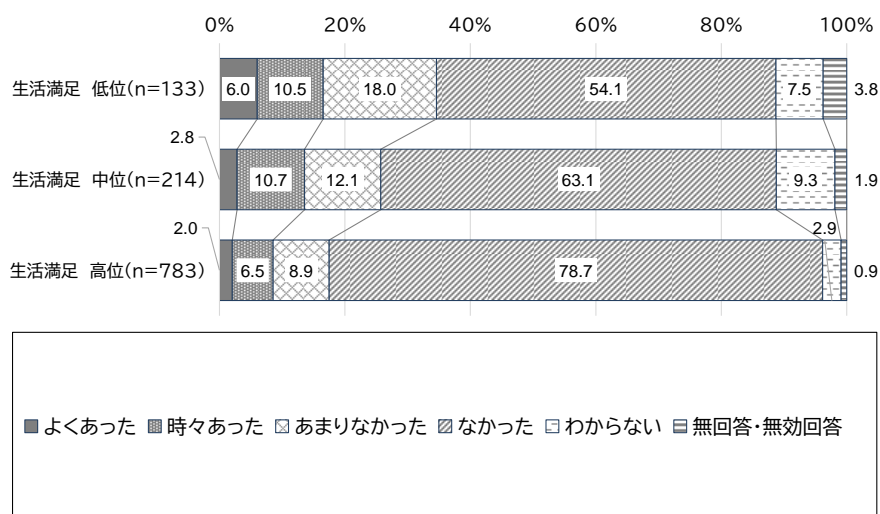
【中学2年生子ども問 28C】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

図表 6-147 「いじめられた」の回答割合 (単純集計)



図表 6-148 「いじめられた」の回答割合（生活満足度別クロス集計）

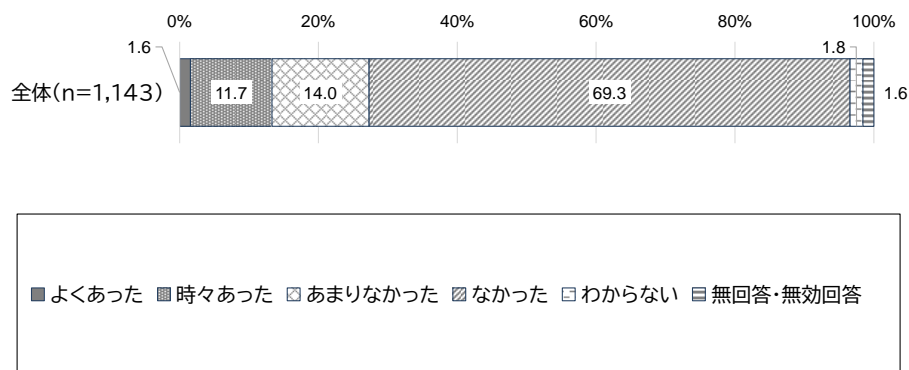


「夜遅くまで子どもだけで過ごした」ことは、「なかった」が 69.3%と最も多く、「あまりなかった」が 14.0%、「時々あった」が 11.7%、「よくあった」が 1.6%であった。

【中学2年生子ども問 28D】

あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(単一回答)

図表 6-149 「夜遅くまで子どもだけで過ごした」の回答割合（単純集計）



サ 自分や家族についての心配ごとや悩みごと

自分や家族についての心配ごとや悩みごとについては、「特に困っていることはない」が 69.4%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家の中が散らかっている」が 11.3%、「家で落ち着いて勉強できない」が 7.8%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「特に困っていることはない」が 62.0%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家の中が散らかっている」が 15.2%、「家で落ち着いて勉強できない」「家にお金がない(少ない)」がそれぞれ 11.4%となっていた。

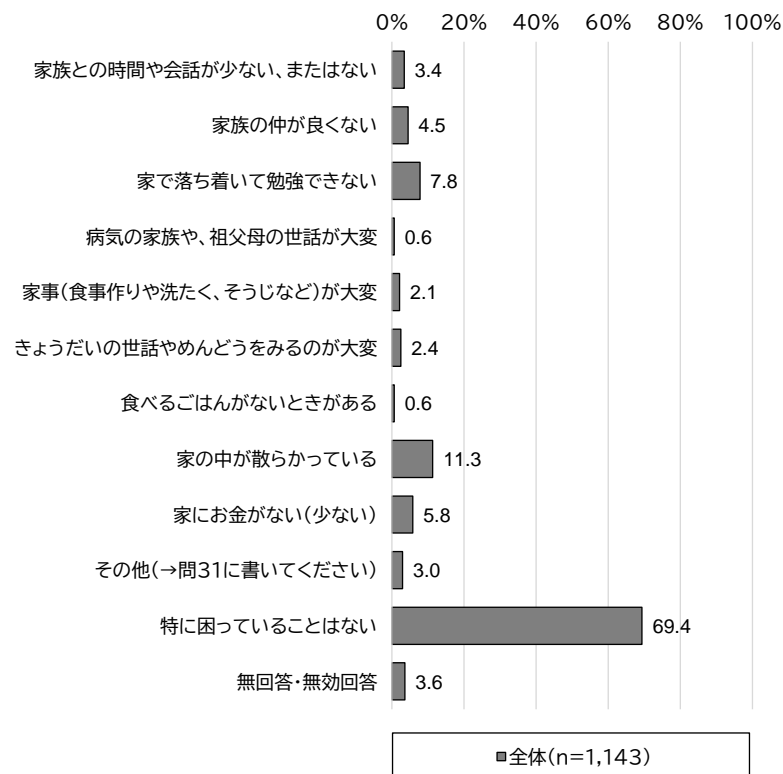
困窮層(n=56)では、「特に困っていることはない」が 42.9%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家にお金がない(少ない)」が 26.8%、「家で落ち着いて勉強できない」が 17.9%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「特に困っていることはない」が 46.6%と最も多かった。心配ごとや悩みごととしては、「家で落ち着いて勉強できない」が 20.3%、「家の中が散らかっている」が 19.5%と続いていた。

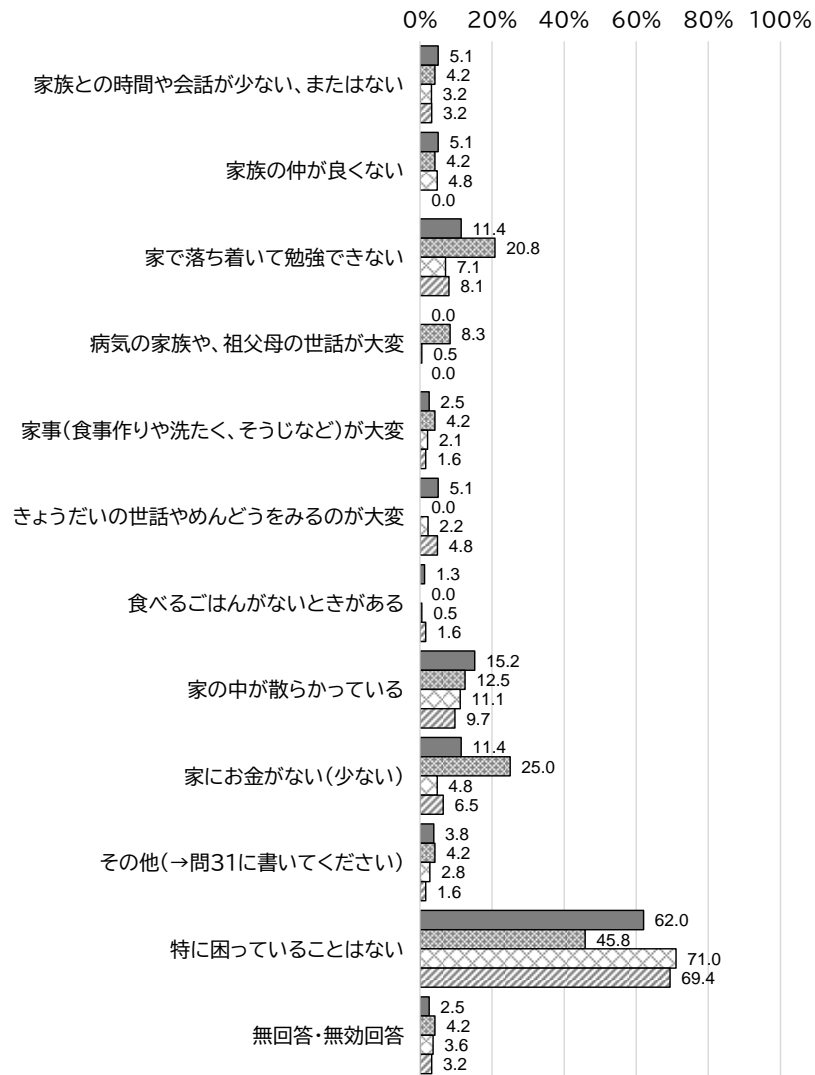
【中学2年生子ども問 29】

あなたは、自分や家族のことなどで、心配なことや困っていることはありますか。(複数回答)

図表 6-150 自分や家族についての心配ごとや悩みごと (単純集計)

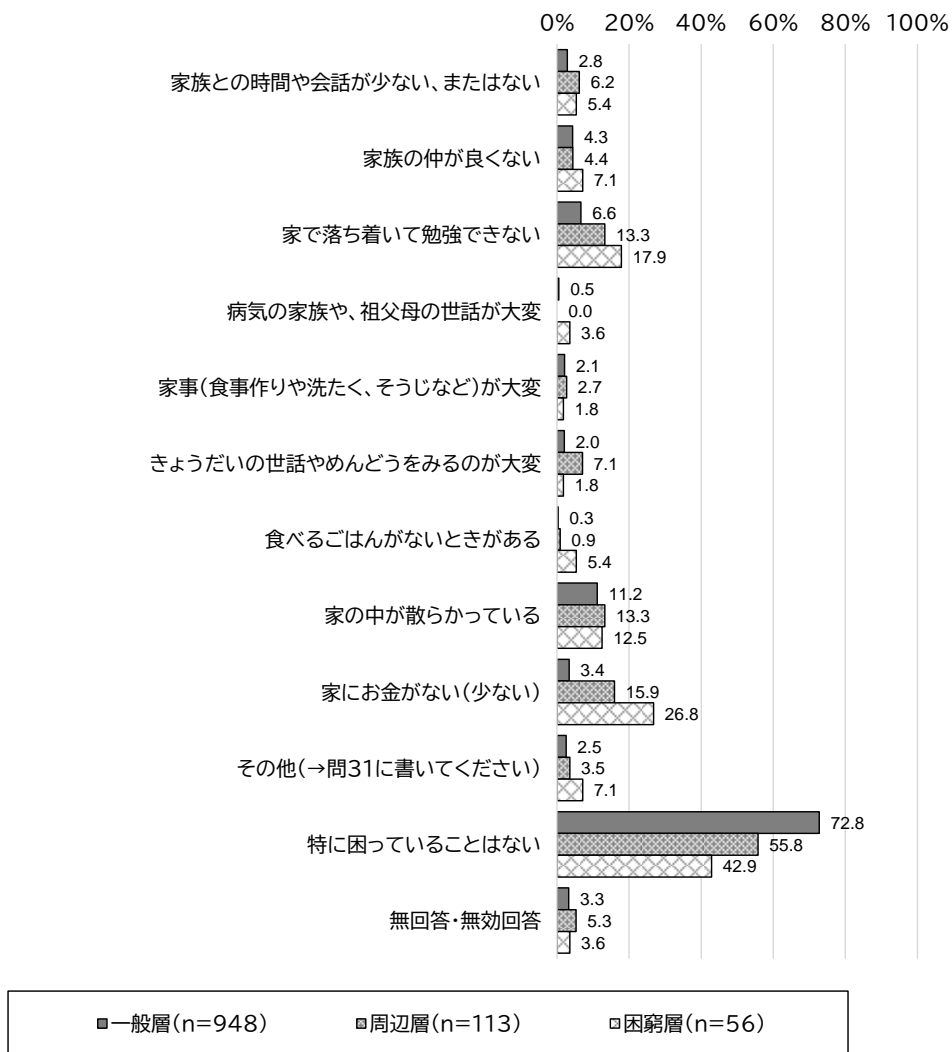


図表 6-151 自分や家族についての心配ごとや悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）

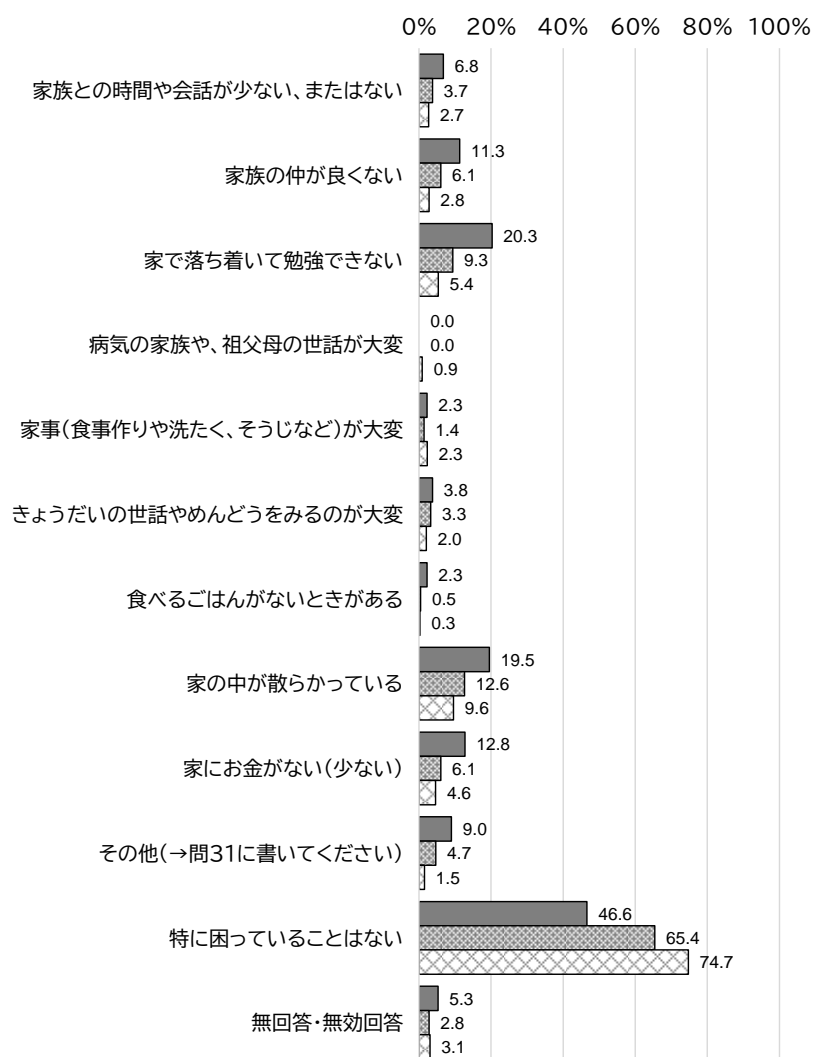


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=943) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 6-152 自分や家族についての心配ごとや悩みごと（生活困難層別クロス集計）



図表 6-153 自分や家族についての心配ごとや悩みごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=133) ■生活満足 中位(n=214) □生活満足 高位(n=783)

シ 学校での困りごと

学校での困りごとについては、「特に困っていることはない」が50.0%と最も多かった。学校での困りごととしては、「将来(進路)のことが不安」が33.6%、「勉強がよくわからない」が15.7%となっていた。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「特に困っていることはない」が46.8%と最も多かった。学校での困りごととしては、「将来(進路)のことが不安」が36.7%、「勉強がよくわからない」が25.3%と続いていた。

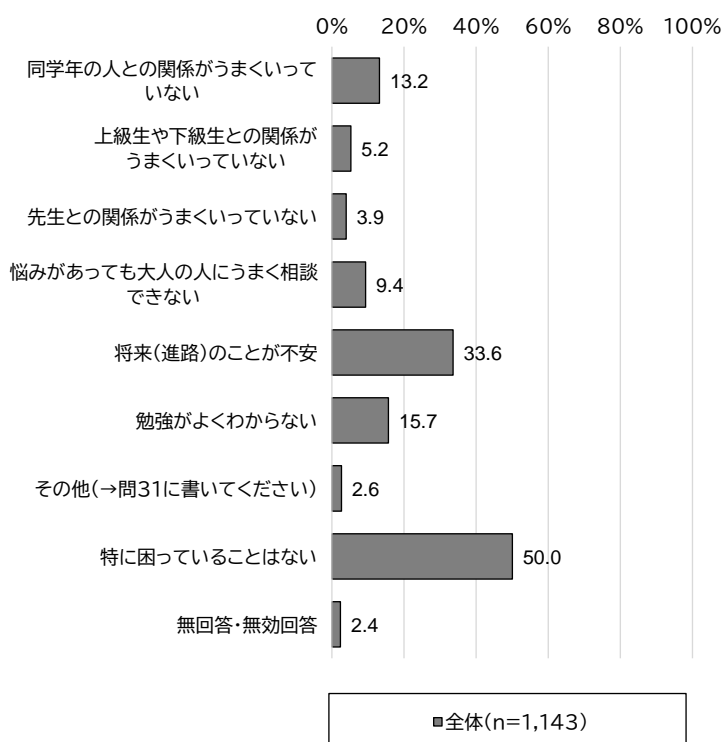
困窮層(n=56)では、「特に困っていることはない」が42.9%と最も多かった。学校での困りごととしては、「将来(進路)のことが不安」が39.3%、「勉強がよくわからない」が35.7%と続いていた。

生活満足 低位(n=133)では、「将来(進路)のことが不安」が50.4%と最も多かった。学校での困りごととしては、「勉強がよくわからない」が31.6%、「同学年の人との関係がうまくいっていない」「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」がそれぞれ30.1%となっていた。

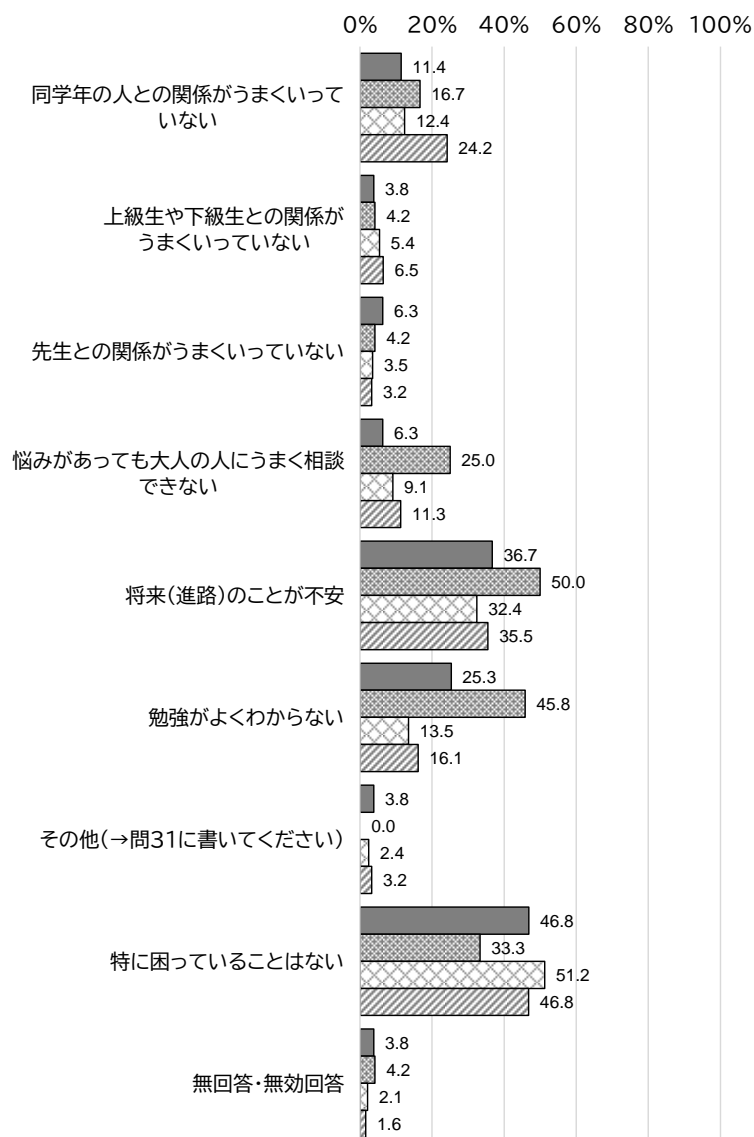
【中学2年生子ども問 30】

あなたは、学校のことで困っていることはありますか。(複数回答)

図表 6-154 学校での困りごと (単純集計)

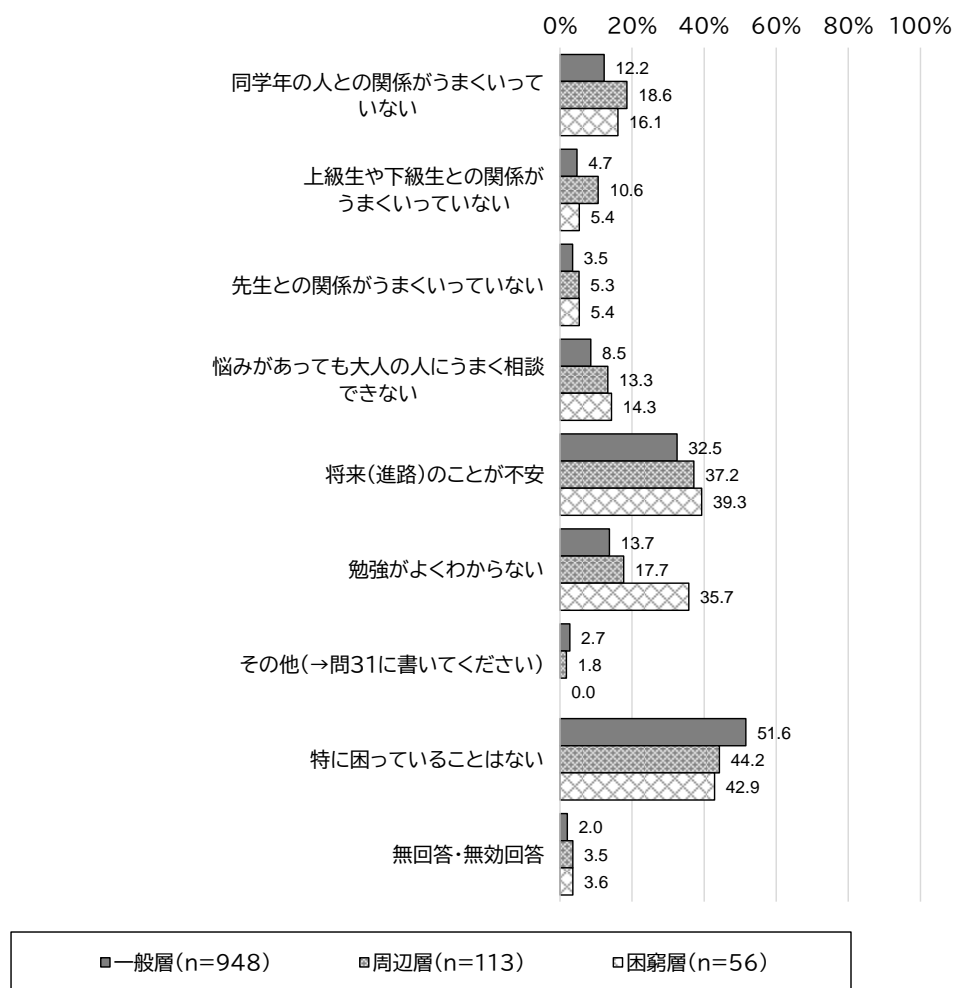


図表 6-155 学校での困りごと（世帯タイプ別クロス集計）

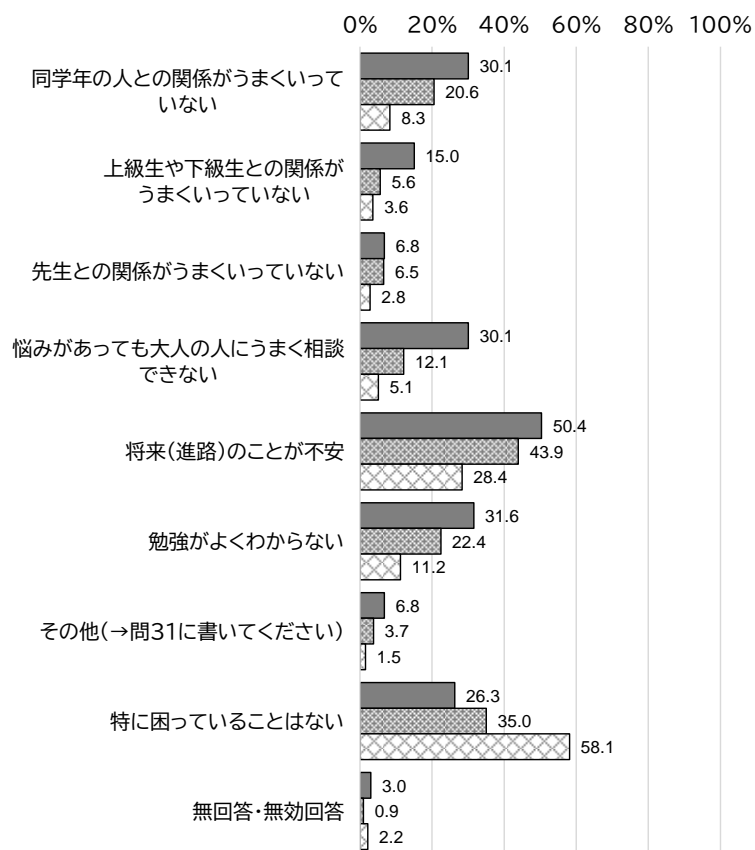


■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79) □ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=943) □ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 6-156 学校での困りごと（生活困難層別クロス集計）



図表 6-157 学校での困りごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=133) □生活満足 中位(n=214) ▨生活満足 高位(n=783)

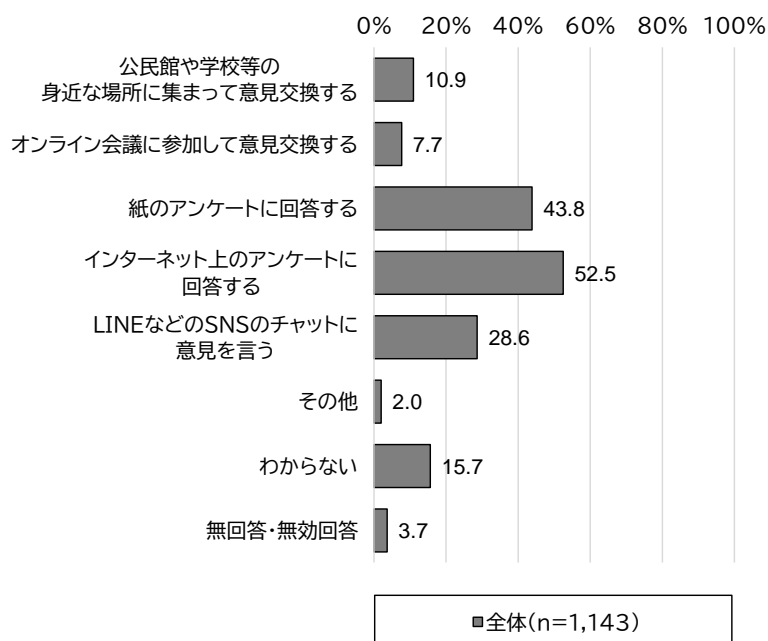
ス 市へ意見を伝えやすい方法

市へ意見を伝えやすい方法については、「インターネット上のアンケートに回答する」が 52.5%と最も多く、以下、「紙のアンケートに回答する」が43.8%、「LINEなどのSNSのチャットに意見を言う」が28.6%と続いていた。

【中学2年生子ども問 32】

藤沢市では、子どもや若者のみなさんの意見を聞いて、これからのまちづくりや制度づくりを考えたいと思っています。みなさんが意見を伝えやすい方法として、どのような方法がよいと思いますか。(複数回答)

図表 6-158 市へ意見を伝えやすい方法 (単純集計)



セ 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること(自由記述)

中学2年生の子どもに対し、つらい気持ちでいたり悩んでいたりする子どものために必要だと思うことや、あなたが困っていること(問 29 や問 30 のその他の回答)について尋ねたところ、353 件の自由記述が寄せられた。

「悩んでいる子どものために必要なこと」に関する意見では、「学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策」「気軽に悩み相談できる場所・工夫」「周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける」「居場所・安らげる場」「家族・身近な大人への相談」に関する意見が多くなっていった。

「あなたが困っていること」に関する記述内容は、「勉強・授業・学校生活全般の悩み」「学校のルール・制度・施設・設備のこと」「友達との関係・いじめ・人間関係の悩み」「部活に関すること」「家族・家に関する悩み」についての記述が多くなっていった。

【中学2年生子ども問 31】

あなたやあなたの周りの友だちを含め、つらい気持ちでいたり悩んでいたりする子どものために必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいことを自由に書いてください。また、問 29、問 30 の、あなたが困っていることについても、書きたいことを自由に書いてください。(自由記述)

図表 6-159 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること(自由記述の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
悩んでいる子どものために必要なこと			
1	学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策	81	22.9%
2	気軽に悩み相談できる場所・工夫	65	18.4%
3	周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける	41	11.6%
4	居場所・安らげる場	34	9.6%
5	家族・身近な大人への相談	29	8.2%
6	子ども同士の相談・友達が話を聞く	14	4.0%
7	経済的な支援・対策	11	3.1%
8	その他、悩み事への具体的な対処方法	20	5.7%
あなたが困っていること			
1	勉強・授業・学校生活全般の悩み	38	10.8%
2	学校のルール・制度・施設・設備のこと	26	7.4%
3	友達との関係・いじめ・人間関係の悩み	22	6.2%
3	部活に関すること	22	6.2%
5	家族・家に関する悩み	21	5.9%
6	学校の先生のこと	19	5.4%
7	将来・進路の悩み	15	4.2%
8	自分の健康・体調・心の悩み	14	4.0%
その他			
—	アンケート調査に関すること	6	1.7%
—	その他	19	5.4%
合 計(意見提出をした人数 353 件)		497	—

図表 6-160 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること(再掲 上位 10 項目)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
悩んでいる子どものために必要なこと			
1	学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策	81	22.9%
2	気軽に悩み相談できる場所・工夫	65	18.4%
3	周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける	41	11.6%
4	居場所・安らげる場	34	9.6%
5	家族・身近な大人への相談	29	8.2%
あなたが困っていること			
1	勉強・授業・学校生活全般の悩み	38	10.8%
2	学校のルール・制度・施設・設備のこと	26	7.4%
3	友達との関係・いじめ・人間関係の悩み	22	6.2%
3	部活に関すること	22	6.2%
5	家族・家に関する悩み	21	5.9%

① 悩んでいる子どものために必要なことに関する自由記述意見 (代表的意見)

1 位 学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策

- 学校で、一人ずつ先生と一対一で話す機会を設ける。先生は希望があれば担任でなくても、どの先生でも選べる。放課後に時間を作ることで、時間を気にせず相談できる。この面談は、私の学校にあります。全ての学校がこの制度を取り入れてほしい。
- もし悩みができたときに、スクールカウンセラーを利用しようと思ったとしても、使い方やどういふものなのかがよくわからないため、全体に説明が必要だと思う。
- スクールカウンセラーの方が「いつ・どこにいて・何をしてくれる」のかがわかりにくいので、もっと気軽に相談できるよう、貼り紙などをしてほしい。
- 学校のカウンセリングに行くと「異常な子」や「可哀想な子」として扱われるから行きたくないと言っていた子がいた。そもそもカウンセリングに行きづらいという意見もあったので、カウンセリングに関する問題は考えたほうがいいのかと思う。
- 悩んだりする子どものために必要だと思うことは、みんなでいじめなどについて考える機会を増やすと良いと思う。いじめや他の困ったことで悩んでいる人がいるならば、私はその人の話を聞いてあげたい。前に「STOP:いじめ 中学生の集い」に参加した時に、あるスクールカウンセラーさんが「話を聞いてあげるだけでも、困っている人の心の支えになる」ということを教えてくれた。自分が困った時、先生や家族、先輩に話を聞いてもらえて、とてもスッキリした経験がある。
- いじめについて、被害者のケアが一番大切ですが、加害者のいじめを起こした原因を探してほしい。例えば家庭環境や親との関係。先生ではなく、心のケアのプロにお願いしたい。いじめをゼロにしたい。
- 自分のクラスに何人か理由はわからないけど学校に来られない子がいるから、家からでもスマホとかで授業を受けられるようにしてほしいと思う。

2位 気軽に悩み相談できる場所・工夫

- 気軽にただ自分の話や悩み、考えを話せる場所があったらいいと思う(1対1)。愚痴をたくさん聞いてもらいたい。何かあったらスマホとかでパッと話せて、その話を聞いて共感してもらえるような制度があっても良いように思う。
- 気軽に相談できる無料の電話やメールを作る(対面だと相談しにくいと思うため)。もしこれがもともあったとしても、まだ知らない人もいると思うから、ポスターの提示やプリントで存在を知ってもらうことが良いと思う。
- 匿名で悩みを相談して、その話を誰かに聞いてもらうこと。でも話を聞いている人はメッセージ、コメントなどで反応してくれると悩みを相談しやすいから、そういうシステムを作ってほしい。
- どこから相談していいのかわからない人が多くいると思う。どんなことでも相談していいと言われても、「いや、こんなことで相談するのは迷惑かな」と自分だったら思ってしまいそう。もっと友だちみみたいな、重くなくて軽い感じのほうが、自分だったら相談しやすいかなと思った。
- 相談できない人は、大人の人たちに話づらいというのが、一つの理由だと思う。だから紙などでアンケートをとって、大変そうな人に手紙のような形で返事がきたらいいと思う。
- 「周りに相談したら悪いことはないし、気持ちが軽くなることが多いよ」ということを、つらかったり、悩んでいる人に教えてあげると良いと思う。「言う相手がいない」「言う勇気がない」という子は、勇気を出して誰かに相談すればいいんだよと伝えれば、話しやすいと思う。周りの大人は相談された時は、せかさずに、ゆっくりと言葉を最後まで待ち、ゆったりとした心構えで話をしてあげてほしい。

3位 周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける

- 悩みの解決策をアドバイスするのではなく、ただ「つらかったね。でももう大丈夫だよ」などの言葉をかけてくれる人。
- 優しく話を聞いてくれる。決めつけない。早く気付いて手を差し伸べてくれる。大丈夫?と聞かない。「大丈夫」以外答えづらくなってしまうから。一人一人に価値観や考え方があることを理解してくれる。否定しない。全部知っているふうには話さない。「そうだよね」「わかるよ」と言い過ぎて、「あなたにはわからないくせに」と思われてしまうかもしれない。「うんうん」「そっか」などと相づちをうってくれるだけでも、つらい人は気持ちが軽くなるから。
- なるべく悩みなどに関わる話をせず、その人の気持ちが少しでも楽になるように話をしたり、一緒にいたり、何かで遊んだりする。
- 何か相談したい時は自分から言うから、その時は話を聞いてほしい。そうでなくて、何も言わないけど落ち込んでいそうな時は、自分の中でいろいろ考えているから、そっちが不機嫌になったりせず、放っておいてほしい。何か悩みを相談したとき、あまり大事にしないでほしい。

4位 居場所・安らげる場

- つらい気持ちでいたり、悩んでいたりする子どもが遠慮することのないような雰囲気、伸び伸びと過ごすことのできる場所を身近に作ってもらえると良いと思う。なぜならたいいの子どものような制度は知っていても、なかなか緊張や恥ずかしさで入れていないと考えているから。
- つらい気持ちにいたり悩んでいたりする子どもには、どこか逃げ出せる場所が必要だと思ったので、大人の人がそういう施設を作ると良いんじゃないかと思った。
- 一人でいられる場所が一番大切なので、つらい時に一人で考えたりすることができる場所が大切。

5位 家族・身近な大人への相談

- 一人で抱え込まずに、まずは先生や友だちや親などに相談できる力があると、自分もの気持ちももっと楽になるだろうし、それができないのであれば、日常的に親など子どもと話す時間を設ければ良いと思う。
- つらくなっている子どもがいたなら、できるだけその子話を聞いてもらい、その子にアドバイスや解決方法を導き出せるようなことをしてくれると、助かると思う。
- 家庭内で問題があるのだったら先生に、学校で問題があるなら家に、いつでも頼れる人がいるのが大切だと思う。

② あなたが困っていることに関する自由記述意見（代表的意見）

1位 勉強・授業・宿題・学校生活全般の悩み

- 公立の学校でも苦手な教科の補習授業(放課後)をやってほしい。塾などに行かなくても、苦手な部分をなくしたい。塾代がかかるので、学校で学べれば良いと思う。
- 塾と学校のテストの期間が重なった時の時間がない。
- 学校にいるときは勉強をやる気があるけれど、家に帰るとやる気が失せる。わからないから。
- 教材が少なく、勉強がうまくできない。自分で買うお金がない。

2位 学校のルール・制度・施設・設備のこと

- 女子だけでなく、男子もスラックスかスカートかを選べるようにした方が良いと思う。ネクタイかリボンかを選べるようにした方が良いと思う。生徒が部活の環境や教師を評価できる機会がほしい。
- 同じ藤沢市立の中学校なのに、学校の設備(トイレ、机、椅子など)に差がありすぎているため、不平等だと思うので、平等にしてほしい。
- 小学校などで給食を無理矢理完食させるのをやめてほしかった。そのせいで、私は会食恐怖症になってしまった。私以外でもそんな子がいると思うので、やめてほしい。

3位 友達との関係・いじめ・人間関係の悩み

- 本当に仲良くて何でも相談し合える友だち、つまり自分からも相談できるが、相手からも相談してくれる、心理的に頼ってくれるような友だちが身の回りにいないので、いつも孤立しているような感じがある。
- 人の気持ちを考えてくれない人、わからない人と話してて、たまに辛くなる時がある。だから少し冷たくしてしまう。
- 人づきあいが苦手で、中の良い人以外には全然話せなかったり、話したこともない人から嫌われていたことも多くあって、自分への自信がどんどん下がってしまって正直とてもつらい。

3位 部活に関すること

- 部活の顧問と部員がうまくいっていない。
- 顧問の先生が担当する内容を専門にできる人がいい(例えばサッカー部だったら、サッカー専門にできる人とか)。

5位 家族・家に関する悩み

- 家族それぞれが忙しく、一緒にいられる時間が少なかったり、家の片付けができなかったりしている。
- 家事や買い物を毎日親にさせられて、平日の放課後も家事をするために部活を早退しなくてはいけない。

藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査
アンケート調査結果報告書
2024年(令和6年)3月

発行: 藤沢市 子ども青少年部 子育て企画課